

平成18年度

2006年

講義要綱・シラバス

目 次

日吉設置共通授業科目	1
------------	---

少人数セミナー形式授業科目	97
---------------	----

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】	98
【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】	100
【法学部設置の少人数セミナー形式科目】	109
【商学部設置の少人数セミナー形式科目】	115
【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】	127

学部独自設置授業科目	135
------------	-----

1 文学部	136
2 経済学部	
〔基礎教育科目〕	143
〔専門教育科目〕	152
〔総合教育科目〕	159
3 法学部	
〔数学・統計・情報処理科目〕	162
法律学科	167
政治学科	177
〔社会科学科目〕	177
〔政治学科目 - 基礎科目 (必修)〕	180
〔政治学科目 - 系列科目〕	182
〔政治学科目 - 集中学習科目〕	184
4 商学部	
〔基礎科目 類 (基礎必修科目)〕	193
〔基礎科目 類 (基礎必修科目)〕	194
〔専攻科目 類 (専攻核科目)〕	195
〔専攻科目 類 (専攻基本科目)〕	198
〔総合教育科目 (類)〕	201
〔総合教育科目 (類)〕	202
〔基礎科目 類〕	203

〔基礎科目 類 A群〕	204
〔基礎科目 類 B群〕	204
〔基礎科目 類 C群〕	205
〔専攻科目 類〕	205
〔専攻科目 類〕	205
〔総合教育科目 (類)〕	206
〔自主選択科目〕	206
5 医学部	
第1学年	
〔基礎科学必修科目〕	207
〔医学基礎教育科目〕	210
〔人文・社会科学科目 (選択履修)〕	210
6 理工学部	
〔基礎教育科目〕	211
〔専門基礎科目〕	215
〔総合教育科目〕	248

研究所設置講座、履修案内 253

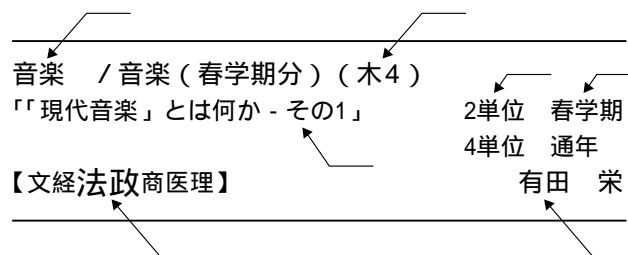
1 メディア・コミュニケーション研究所	254
2 体育科目 (体育研究所)	257
体育学講義	259
体育学演習	261
体育実技A/B (ウィークリー・スポーツ)	262
体育実技A/B (シーズン・スポーツ)	272
3 保健管理センター	278
4 外国語教育研究センター	279
5 情報処理教育室	282
6 教養研究センター	285
7 国際センター	287
8 言語文化研究所	289
9 知的資産センター	293
10 教職課程センター	294
11 外国語学校	297

日吉設置共通授業科目

【科目の掲載順について】

日吉設置共通授業科目は、原則として科目名の50音順（アイウエオ順）で、同じ科目名の中では担当者名の50音順に掲載しています。ただし、同じ担当者が「 」、「 」という科目名で春学期と秋学期を継続して授業を行う場合は「 」の後に「 」を掲載します。

<凡例>



科目名（太字部分）

学部・学年により科目名が異なる科目は科目名を複数記載しています

授業の曜日時限

曜日時限により授業の内容が異なる場合のみ曜日時限を記載しています

授業のサブタイトル

単位数

開講学期

通年 : 1年間通して行われる科目

春学期 : 春学期に開講される科目

秋学期 : 秋学期に開講される科目

春学期 / 秋学期: 春学期と秋学期にそれぞれ開講される科目

科目設置学部

【 】内の文字は以下の学部・学科を表し、それらの学部・学科の時間割にその科目が記載されています。科目を履修する場合は所属学部の時間割に記載のある登録番号（5桁の数字）で履修申告してください。

文：文学部 経：経済学部 法：法学部法律学科 政：法学部政治学科
 商：商学部 医：医学部 理：理工学部

他学部の科目は、科目設置学部（【 】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号で履修してください。

科目担当者

【複数の科目名が併記されている科目について】

<例1>

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期)	
文学 (通年)	
「舞踊論」	2単位 春学期 / 秋学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	石井 達朗

同一担当者の科目で、科目名に a または b がつくものがあります。これらはそれぞれ半期科目ですが、2科目を共に履修することが義務付けられています。またこれらの科目は年度末に2科目一括して成績評価されます。(春学期終了時には成績評価はされません。)なお、これらの科目を通年科目として履修する場合は年度末に成績評価されます。

<例2>

文学 / 文学 (春学期分)	
「フランス文学 (フランス象徴主義を読む)」	
	2単位 春学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	大出 敦

同一担当者の科目で、科目名に または がつくものがあります。原則として は春学期、は秋学期で1年間を通して継続する内容で授業が行われます。 と は共に履修することが望ましいものですが、それぞれ単独で履修することも可能です。

これらの科目を通年科目として履修する場合は (春学期分) と (秋学期分) の2つのシラバスを参照してください。継続する内容の授業については のシラバスの直後に のシラバスを掲載しています。なお、春学期と秋学期で担当者が変わる場合も継続する内容の場合は の順で掲載しています。

履修したい授業を、どの科目名で履修登録するのかは学部によって異なります。所属する学部の時間割・履修案内などで確認した上で履修申請してください。

【科目認定用紙について】

所属学部の時間割に記載のない科目を履修希望する場合は、科目認定用紙の提出が必要になります。

用紙は科目設置地区・所属学部の学事センター窓口で配布しています。

授業に出席して科目担当者から履修許可を得てください。(詳細は所属学部の履修案内の「第2 履修申告までの流れ」で確認してください。)

他学部に開放していない科目もあり、履修できない場合もありますので注意してください。履修申告をする場合、科目設置学部(【 】内の文字が大きく表示されている学部)の時間割に記載されている登録番号を選択してください。

科目認定用紙の提出締め切り：4月17日(月)15:00

宇宙の科学

「宇宙の過去・現在・未来」

2単位 春学期

【商】

表 實

【授業科目の内容】

観測装置の進歩により、宇宙の科学では近年相次いで新しい発見がなされ、宇宙の謎が解明されつつある。宇宙の科学が明らかにした宇宙の過去・現在・未来の姿とはどのようなものであろうか。

本講義の目的は、宇宙の科学が明らかにした宇宙の姿について、最近の成果をまじえながら紹介することであり、さらに宇宙について何が解明されたのか、また何が謎として残されているのかについて考えてみることである。

講義を履修するにあたって、高校物理の知識は必要としません。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

映像・音響文化論

2単位 春学期 / 秋学期

【経商医理】

杉田 敦

【授業科目の内容】

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

秋期は、ポリティカル・コレクトネス（PC：政治的正当性）関連の問題として、セクシャリティの問題にスポットをあてつつ、それをエドワード・サイードのオリエンタリズム批判と並行するものとして、また、ファイヤアーベント、ハンス・ペーター・デュルらの過激な相対主義を延長したものとして位置づけることができるかどうか考察する。さらに、大きな物語を一掃したポスト・モダニズム以降の、物語を再建しようとする、ポスト・ポスト・モダニズムの動きについても紹介する。

【参考書】

『メカノ 反電子主義の美学』杉田敦（青弓社）

『リヒター、グールド、ベルンハルト』杉田敦（みすず書房）

『開かれた作品』U・エーコ（青土社）

総合教育科目「音楽」について

慶應義塾大学日吉キャンパスでは、塾生諸君の興味や資質に併せ、導入的な授業から、かなり深い内容を扱うものまで、多彩な音楽関連の授業を提供しています。なかには、実習や実技、演習を含む音楽の授業もあり、このことは他の一般大学にない特徴です。

履修者は、次の各講義の要項をよく読んで、自分にあ

った授業を見つけてください。なお、設置学部の関係でここに掲載されていない授業もありますので、詳細は音楽学研究室ホームページ<http://musicology.fbc.keio.ac.jp/>も併せて参照してください。

音楽 / 音楽（春学期分）（金1）

『現代音楽』とは何か その1

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

有田 栄

【授業科目の内容】

西洋芸術音楽の歴史の中で、一般に「現代音楽」「同時代音楽」と呼ばれている音楽のレパートリーについて扱う講義。「現代音楽」は、クラシックなレパートリーと比べて一見、難解で取り付きにくい印象を与える。しかし個々の作品には、それ以前のいかなる時代にもまして、作曲家たちの豊かなアイディアがあふれている。そこには、このうえなく人間的な響きがあり、現代の私たちの生活までも生き生きと輝かせるような驚きや感動がある。この授業では、作品の歴史的・社会的背景を視野に入れながら、現代の音楽の「難しさ」を一つ一つ解きほぐしていく。歴史の中で繰り返し問われてきた普遍的な問いに、芸術家たちはどのように答えようとするのか。それを探ることは、翻って自分自身の考え方や感性を、歴史と現在の座標の中で問うことでもあるからだ。授業では、教養として必要な概説的な知識から、各自が他の芸術・学問領域へと興味を広げていくための、やや専門的な事柄も学ぶ。そこから、現代芸術の楽しみ方を見つけてほしい。「その1」（春学期）は、19世紀末の「現代の夜明け」から第二次世界大戦期までを扱う予定。（内容的には、秋学期とセットで学ぶことが望ましいが、春学期のみの履修も可能。）

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽 / 音楽（秋学期分）（金1）

『現代音楽』とは何か その2

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

有田 栄

【授業科目の内容】

春学期開講の「『現代音楽』とは何か その1」の続編。秋学期の「その2」では、第二次世界大戦以後の音楽を扱う。「その1」が、どちらかという音楽史的な内容であるのに対して、「その2」は、必然的に美学的な内容も多く含まれる。個々の作曲家にスポットを当てて、彼らの思想や創作活動（作品）が、私達自身の世界観とどうかかわっているのかを考えていく予定。（内容的には、春学期とセットで学ぶことが望ましいが、秋学期から新たに履修することも可能。）

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽 / 音楽 (春学期分) (金2)

「音楽と言葉 その1」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 有田 栄

【授業科目の内容】

「言葉」と「音楽」 これは、西洋芸術音楽の歴史が始まって以来、あらゆる時代にわたって、何度も繰り返し論じられてきたテーマである。それは、単に歌を作ったり歌ったりする時に、歌詞とメロディをどう組み合わせるかといった問題にとどまらない。このテーマの中には、そもそも「言葉」とは何か、「音楽」とは何か、そしてその両者を身にまとう「声」とは何か ひいては「存在」とは何か、「表現」とは何か、という西欧形而上学の問いそのものが含まれている。この授業は、「音楽と言葉」の歴史をゆっくりとひもときながら、それらが織りなす豊かで多様な世界を知ってもらうことを目的としている。授業は講義形式。教養として必要な概説的な知識に加え、各自が他の芸術・学問領域へと興味を拡げていくための、やや専門的な事柄も学ぶ。内容的には、秋学期とセットで学ぶことが望ましいが、春学期のみの履修も可能である。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽 / 音楽 (秋学期分) (金2)

「音楽と言葉 その2」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 有田 栄

【授業科目の内容】

春学期開講の「音楽と言葉 その1」の続編。「その2」では、ロマン派から現代の音楽を対象として扱う。「その1」と同様に、第1の目的は、できるかぎり沢山の音楽のレパートリーにふれ、その多様で豊かな世界を知ってもらうことにある。「その1」がいくらか音楽史的な内容であるのに対して、「その2」は、「その1」で学んだ知識をもとに、時には美学的な視点でのアプローチも含めて、「言葉」と「音楽」(あるいは「音」とのかかわりを論じる予定。内容的には、春学期とセットで学ぶことが望ましいが、秋学期から新たに履修することも可能である。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽 / 音楽 (春学期分) (火4)

「バロック期の音楽」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 石井 明

【授業科目の内容】

音楽史上では、バロック期の範囲を一般的に1600年頃から1750年までとしているが、これは、オペラの誕生からバッハの死までを指す。これ以前のルネッサンス期では、イタリアなどで教会を中心に他の芸術分野と共に音楽は飛躍的な発展を遂げた。しかし、ヨーロッパ全体では、社会が決して安定していた時期とは言えず、高度な音楽芸術の普遍という状態までには至らなかった。17世紀に入り、三十年戦争が終結した頃から社会が安定し始めると、各宮廷そして都市において、これまで以上の文化的な成熟が見られるようになった。これは音楽にも強く反映され、特に、世俗音楽の発展は目覚ましいものとなった。本講義では、このような歴史的な動きを、この時代に書かれた様々な音楽を通じて考察する。さらに、音楽の発展、音楽と社会、そして音楽と宗教との係わり合い等をも視野に入れる。

【教科書】

D. J. グラウト / C. V. パリスカ著 (戸口幸策 / 津上英輔 / 寺西基之共訳) 『新西洋音楽史』(中巻) 音楽之友社

音楽 / 音楽 (秋学期分) (火4)

「古典時代の音楽」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 石井 明

【授業科目の内容】

古典時代は、音楽史の流れの中でバロック期の後に位置付けられているが、これはこの時代が、バロックの最終後に訪れたことを意味しているのではない。バッハと同年に生まれより長生きしたヘンデルは、バッハ同様、自身が確立した作曲様式を崩すことなく晩年を過ごした。その反面、新しい音楽スタイルの模索は、ヨーロッパ各地でバッハの死以前に始まっていた。例えばバッハの息子達は、父親の影響を受けながらもそれぞれが新しい様式を作り上げていた。本講義では、まず、古典時代の音楽様式のルーツを探り、既存の音楽スタイルの変化に注目する。また、この時代の音楽は、社会の成長とともに生まれてきた新しい思想に大きく影響されたが、これを、特にハイドンとモーツァルトの作品を取り上げながら考えてみる。また、18世紀も終わりに近づくと、ヨーロッパでは社会が急変したが、このことは、ベートーヴェンの音楽に著しく影響した。このような事柄を彼の作品の中に見出すだけでなく、彼の音楽作品の中にある、ロマン派の作曲家達の手本となった要素をも考えてみる。

【教科書】

D. J. グラウト / C. V. パリスカ著 (戸口幸策 / 津上英輔 / 寺西基之共訳) 『新西洋音楽史』(中巻) 音楽之友社

音楽（春学期）／音楽（秋学期）
音楽（通年）（水5）

「18世紀のオーケストラと演奏習慣」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

石井 明

【授業科目の内容】

この授業は、ほとんどの学部では半期科目として開講されますが、1年を通して履修を希望する学生のみに履修許可を与える予定です。ただし、所属学部にもよりますが、出番の少ない楽器（例えばトランペット）を用いての履修希望者については、半期だけの履修を許可する場合もあります。詳しくはガイダンス時に説明を受けてください。

モーツァルト、ベートーヴェン、ハイドンなどが活躍していた18世紀後半は、オーケストラという概念が誕生して間もない頃です。その当時の作曲家達が抱いていたオーケストラ像は、現代に生きる我々のそれとは大きく異なっていました。相違点としては、グループ全体のサイズ、楽器の種類、演奏方法・概念、聴衆そして演奏会場の大きさなどを挙げることができます。18世紀後期に書かれた、交響曲と協奏曲を中心とした管弦楽曲は、スタンダード・レパートリーの一部として現代でも盛んに演奏されています。しかしそこにある姿、そして奏でられる音は、決して当時の作曲家達が求めていたものではありません。そこでこの授業では、現代のオーケストラで失われてしまったものがどのようなものなのかということ、18世紀に書かれた管弦楽曲を実際に演奏することにより模索します。

受講対象者は、弦楽器および管楽器を所有し またはそれらに常時アクセスでき かつそれを演奏する能力を備えている学生とします（ただし、コントラバスについては貸し出しを行っています）。本来は、当時の楽器またはそれを復元したものを使用するのを理想としますが、そのような楽器を揃えることは困難なことから、現代の楽器を使用しながら当時の演奏方法を検証します。演奏および講義を通じて学んだ成果は、コンサートという形で発表を行います（年2回を予定）。

今年度は、モーツァルトに焦点を置き、ザルツブルク時代の作品だけでなく、ウィーンで書かれた後期の交響曲も取り上げる予定です。オーケストラのサイズは、18世紀後半期のウィーンのそれに準じたものとします（約25名）。管楽器の募集は、オーボエ、ファゴット、ホルン（それぞれ2名）とします。弦楽器は、バイオリンを12名程度募集し、ヴィオラ、チェロ、コントラバスはそれぞれ若干名とします。その他の楽器については、ガイダンス時に説明を受けてください。

履修を希望する学生は、ガイダンスに必ず出席し、そこで履修希望届を教員に提出してください。その後、教員から履修許可証が発行されます。履修許可がないと履修登録ができません。注意してください。

音楽a（春学期）／音楽b（秋学期）
音楽（通年）

「器楽曲の歴史 ～交響曲を中心に～」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

石多 正男

【授業科目の内容】

言葉を使わず楽器の音だけで何かを表現している西洋クラシック音楽の器楽曲は世界的にみてもきわめて珍しい音楽です。音のさまざまな組み合わせだけでなぜ人を感動させることができるのか、しかも時代も国も人種も違う人々を！ 器楽曲の代表は交響曲です。交響曲の歴史を考えることは世界中に広まったクラシック音楽の本質を考えることにもつながります。

【教科書】

石多正男著「交響曲の生涯」東京書籍 3500円（予価）

【参考書】

授業中、随時紹介する。

音楽 / 音楽（春学期分）

「民族音楽概論1～人間の音楽活動をさぐる」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

尾高 暁子

【授業科目の内容】

民族音楽学の実態は、「人間にとって音楽とは何か」という問いかけそのものといえます。その方法論はこの数十年の間に多様化し、対象も洋の東西をとわず、音楽をふくめたパフォーマンス全般におよびました。この講義では民族音楽学の研究史をたどり、具体的な研究成果を紹介しながら、人間が音楽することの意味と実態をふりかえります。講義内容の理解を深めるため、毎回、関連する映像や音声をまじえて話をすすめます。

【教科書】

なし。

【参考書】

櫻井哲男・水野信男 編『諸民族の音楽を学ぶ人のために』2005、世界思想社

音楽 / 音楽（秋学期分）

「民族音楽学講義2～伝統音楽の世界を旅する」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

尾高 暁子

【授業科目の内容】

本講義の目的は、世界の諸民族が長い年月をかけて育んだ伝統音楽、あるいは伝統的パフォーマンスの世界を体験することにあります。伝統的パフォーマンスは、往々にして各文化の特定の時代の価値観や美意識を体現します。それだけに社会の変革によって、上演の意味自

体が失われたり、伝承の危機に直面するものが少なくありません。かたや本来の脈絡をはずれて、グローバル化の波にのるパフォーマンスも現れました。この講義では、こうした変革の波はいったんおき、五大大陸の本来の伝統パフォーマンスに数多く触れたいと思います。各地域ごとに、音のふるまい方のルール（音の組織やリズムの原理、楽曲の形式など）や歴史を確認しながら、代表的なジャンルを音と画像で紹介する予定です。

【教科書】

柘植元一・植村幸生編『はじめての世界音楽』音楽之友社

【参考書】

櫻井哲男・水野信男 編『諸民族の音楽を学ぶ人のために』2005、世界思想社 ほか講義中に逐次紹介します。

音楽 / 音楽（春学期分）

「オペラ入門」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

加藤 浩子

【授業科目の内容】

オペラ初心者を対象に、オペラの基礎的な知識や歴史を学ぶことを目的とする。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

講義中に指示する。

音楽 / 音楽（秋学期分）

「バロック・オペラ」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

加藤 浩子

【授業科目の内容】

最近ブームになっているバロック・オペラを紹介し、その魅力をさぐる。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

講義中に指示する。

音楽 / 音楽（春学期分）(水5)

「合唱音楽（春学期）」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

佐藤 望

【授業科目の内容】

海外の大学には、よくコレギウム・ムジクムというものがあります。この授業は、その伝統に倣い、音楽を実際の演奏を体験します。合唱の名曲を歌うことを通じて、音楽の歴史を身体で感じ取っていきます。取り上げる曲は、古い西洋のものから、現代の日本のものまでです。

秋学期の終わりには授業時間内に演奏会を企画します。演奏会では、オーケストラとの共演も予定していま

す。

履修の条件は、歌うことが好きであることだけです。多数の学生の参加を期待しています。なお、春学期は、秋学期の演奏会準備という性格が強いので、春学期（音楽）・秋学期（音楽）を通して履修してください。

【教科書】

その都度指示します。

【参考書】

その都度指示します。

音楽 / 音楽（秋学期分）(水5)

「合唱音楽（秋学期）」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

佐藤 望

【授業科目の内容】

音楽 「合唱音楽（春学期）」に引き続き、合唱音楽の歴史を歌いながら学び、秋学期は、学期の終わり近くで開かれる演奏会の準備を進めていきます。

【教科書】

その都度指示します。

【参考書】

その都度指示します。

音楽 / 音楽（春学期分）(金1)

「音楽理論入門」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

佐藤 望

【授業科目の内容】

本授業は、西洋音楽における理論的基礎を、実習を伴いつつ学ぶ授業です。授業は、1)教科書『総合和声』に従った和声学の学習と、2)西洋音楽理論の諸問題についての講義の、2つの部分からなります。

各回に、実習課題を課します。基礎編（春学期）においては、和声の原則を一通り学んだあと、簡単な4声体の和声を書けるようになることを目的とします。

内容的には高度の授業であり、予めそれなりの心構えが必要ですが、秋学期まで履修し1年間終わったあとにはかなりの技術が身に付くはずですので、チャレンジしてみてください。

【教科書】

島崎譲他著『総合和声 実技・分析・原理』、音楽之友社、1998年。

【参考書】

U. ミヒェルス編『図解音楽事典』（日本語版監修、角倉一朗）白水社、1989年。

野崎哲 著『新しい楽典』、音楽之友社。

音楽 / 音楽 (秋学期分) (金1)
 「音楽理論入門」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

音楽 「音楽理論入門 (春学期)」に引き続き、和声の学習と、音楽理論関連のトピックの講義を行います。秋学期の目標は、借用和音、転調課題ができるようになることです。また、和声の学習を生かして、実際の音楽の楽曲分析も試みます。

【教科書】

音楽 「音楽理論入門」と同じ。

【参考書】

音楽 「音楽理論入門」と同じ。

音楽 / 音楽 (春学期分) (金2)
 「バッハの器楽作品」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

J.S.バッハは、その作品を通じて後世の音楽に絶大な影響を与えました。その影響は直後の西洋音楽史だけでなく、現代のポピュラー音楽にまで至っています。この授業では、バッハを中心にしながら、古代から現代までのさまざまな音楽を紹介していきます。

この授業では、バッハとはどのような人物であったのか。バッハの音楽のすごさとは何か。歴史のなかで多数いる作曲家のなかで、なぜバッハがこれまで音楽家や、その他音楽を愛する人々に語り継がれ、聴き継がれていったのか、という問題を考えていきます。

バッハの時代、バッハ以前の音楽状況、バッハの音楽の極意、バッハの伝承の謎、バッハの影響について考えつつ、なるべくたくさん音楽を聴いていきます。

春学期は、器楽曲を扱います。

【教科書】

指定しない

【参考書】

D. シューレンバーグ『バッハの鍵盤音楽』(小学館、2001年) 佐藤 望『ドイツ・バロック器楽論』(慶應義塾大学出版会、2005年)

音楽 / 音楽 (秋学期分) (金2)
 「バッハの声楽作品」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

西洋音楽の屋台骨を築き後世に絶大な影響を与えたバッハの創作を通し、人間と音楽の関わりの真髄に迫っていきます。バッハの音楽を中心に古代から現代までのさまざまな音楽を紹介していきます。

音楽 「バッハの器楽曲」に引き続き、秋学期はバッハの声楽曲を中心に考察をしていきます。文化、社会との関連、美学との関連、私たちにとって音楽とは何かという問題とともに考えていきます。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

小林義武『バッハ 伝承の謎を追う』春秋社(1995年) 樋口隆一『バッハ カンタータ研究』音楽之友社(1987年)

音楽a (春学期) / 音楽b (秋学期)
 音楽 (通年)
 「ベートーヴェンの世界」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 福田 弥

【授業科目の内容】

【春学期】

本講義は、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)の生涯と作品を対象とし、彼を取り巻く環境、彼の音楽観、作品の様式変遷などを、貴族社会から市民社会への移行のなかで理解することを目標とする。市民社会の擡頭にともなって、18世紀末から音楽環境は著しく変化した。ドイツでも音楽家の立場、出版事情、ジャンル概念、楽器などが大きく変化していくが、ベートーヴェンは、まさにそうした時代に生きた音楽家である。そのため、彼の音楽を音楽学の対象とする際には、さまざまなパラダイムの変換を前提としなくてはならないことを理解してもらいたい。

春学期は、18世紀の伝統との関わりを中心に、ベートーヴェンの生涯と作品を扱う。交響曲第3番《英雄》あたりまでを講義する予定である。

【秋学期】

本講義は、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)の生涯と作品を対象とし、彼を取り巻く環境、彼の音楽観、作品の様式変遷などを、貴族社会から市民社会への移行のなかで理解することを目標とする。市民社会の擡頭にともなって、18世紀末から音楽環境は著しく変化した。ドイツでも音楽家の立場、出版事情、ジャンル概念、楽器などが大きく変化していくが、ベートーヴェンは、まさにそうした時代に生きた音楽家である。そのため、彼の音楽を音楽学の対象とする際には、さまざまなパラダイムの変換を前提としなくてはならないことを理解してもらいたい。

秋学期は、次のロマン派の世代に大きな影響を与えた、ベートーヴェンの音楽がもつ伝統と革新という側面に焦点を当てながら講義する。

【教科書】

教科書はとくに指定せず、随時プリント(楽譜を含む)を配付する。

【参考書】

講義時に指示する。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(春学期分)
 「化学結合と地球環境」 3単位 春学期
 6単位 通年
【文経法政商】 大場 茂

【授業科目の内容】

この授業では化学構造式の意味、その実体を学びます。また、科学史における化学の発展や、社会と化学との関わり、および地球を取り巻く環境問題にも触れます。これを通して、世界の路線をより良い方向に切り変えるような大局観が、諸君に少しでも芽生えることを期待しています。

【教科書】

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(秋学期分)
 「有機化学と生活環境」 3単位 秋学期
 6単位 通年
【文経法政商】 大場 茂

【授業科目の内容】

この授業では化学構造式の意味、その実体を学びます。また、科学史における化学の発展や、社会と化学との関わり、および地球を取り巻く環境問題にも触れます。これを通して、世界の路線をより良い方向に切り変えるような大局観が、諸君に少しでも芽生えることを期待しています。

【教科書】

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(春学期分)
 「現代化学のあけぼの」 3単位 春学期
 6単位 通年
【文経法政商】 小瀬村誠治

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接するこ

とができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(秋学期分)
 3単位 秋学期
 6単位 通年
【文経法政商】 小瀬村誠治

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(春学期分)
 「現代化学のあけぼの」 3単位 春学期
 6単位 通年
【文経法政商】 清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方な

どを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』(上、下)岩波書店

化学 (実験を含む) /

化学 (実験を含む)(秋学期分)

「現代化学のあけぼの」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』(上、下)岩波書店

化学 (実験を含む) /

化学 (実験を含む)(春学期分)

「物質の化学 基礎編」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】

私たちのまわりには、実にさまざまな物質があふれています。物質のもつ性質、すなわち色や形状、導電性などはすべて化学構造と密接に関係しています。近年の技術向上により生み出されている"新素材"と呼ばれるものも特殊な機能をもたせるため、化学的に構造設計されたものがほとんどです。

講義では、化学の一般的な事柄を分かりやすく解説し、物質とその性質について考えていく基礎を養います。

【実験】

文科系の皆さんにとってこれから先、自分の手で化学

実験を行う機会にめぐり合うことはまずありえないでしょう。実際に取り扱ってその性質を調べたり、物質を合成したりすることは、化学を理解する上で必要不可欠です。

実験では、金属イオンの系統分析、炎色反応などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

化学 (実験を含む) /

化学 (実験を含む)(秋学期分)

「物質の化学 応用編」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】

講義では、物質とその性質について化学的に考えていきます。

【実験】

実験では、有機化合物の合成、色素の合成と染色、化学発光などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

科学史

「科学の誕生とこれからの科学」

2単位 春学期

【経法政商】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

ルネッサンスの崩壊を契機に始まった近代は、デカルトの方法序説に代表される合理主義思想を体系化することで、新しい時代を主導する思想となった。科学はこの体系の中心的な柱であり、新しい時代のイデオロギーでもある。20世紀後半、近代合理主義は爛熟期に達し、無差別大量破壊兵器と環境破壊をもたらすにいたった。

講義では、十字軍と呼ばれるキリスト教軍団が西洋にもたらした東方の文化によって喚起されたルネッサンス時代を俯瞰し、最終局面に登場したジョルダノ・ブルーノとトンマーゾ・カンパネラの人生と思想をたどることから始める。この二人の哲人と同世代のガリレオ・ガリレイの地動説が近代の扉を開くことになるが、そこにはブルーノとカンパネラの絶望的悲劇が深く影を落としている。

ガリレオとデカルトによって切り開かれた近代は、自然の森羅万象を機械であると認識することで、科学や技術に飛躍的展開をもたらすことになったが、これに対する疑義も提起され、論議が展開された経過もある。ここではトーマス・クーンのパラダイム論を紹介しながら、次の時代を展望する視座を求めたい。この流れの中で、しばしば宮沢賢治の作品を素材にする。必読書は「銀河鉄道の夜」。

秋学期の「科学史」とあわせて履修することが望ましい。

【教科書】

教科書は使わない

【参考書】

講義の中で随時紹介する

科学史

「日本の公害史」

2単位 秋学期

【経法政商】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

明治新政府は欧米から合理主義思想を導入し、富国強兵を旗印に急速に近代化の路線を突き進んだ。日清日露の両戦争は日本の工業化に大いに貢献したが、同時におびただしい毒物が周辺住民を苦しめる公害事件が多発するようになり、その影響は今も続いている。

近年、地球環境問題が重視されるようになるのに並行して、公害問題がないがしろにされる傾向がある。あえてここに「公害史」の視点から日本の近代化の構造を検証する。公害事件の多くは裁判に持ち込まれ、法律家は立場の異なる科学者の証言や証拠を正しく判断することが求められる。裁判資料や判決文を資料に、いくつかの公害事件を個別に検討する。取り扱う事件は、1896（明治22）年に始まる足尾銅山鉍毒事件と田中正造、1923（大正12）年に表面化した土呂久亜ヒ酸鉍毒事件、1953（昭和28年）年に第一号水俣病患者が発見された水俣水銀中毒事件、さらに今年（2005年）に最高裁の判決が予定されている原子力裁判（「もんじゅ」設置許可取り消し請求事件）などを予定している。映像や裁判資料など、臨場感のある素材をふんだんに使った授業を展開する。

春学期の「科学史」とあわせて履修することが望ましい。

【参考書】

講義の中で随時紹介する。

科学史

「世界の核開発史（マンハッタン計画と戦後の核軍縮史）」

2単位 春学期

【経法政商】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

ナチスに支配されたヨーロッパから亡命した科学者たちはヒトラーが弁駁を作ることを恐れていた。彼らは米大統領に書簡を送り、歴史に例のない巨大プロジェクト、マンハッタン計画が発足した。科学者たちの思惑とは別に、米国政府は当初から日本を標的にすることを決めていた。そのことを知った科学者たちは、日本に対する核攻撃を押しとどめるためにフランク報告を取りまとめ大統領に提出するが、軍部と政府はこれを無視して広島と長崎にこれを投下した。

戦後、米ソを軸とする冷戦時代に核開発競争は激化し、おびただしい核実験が行われ、核被害者は日本のみならず世界に広がり、さらにチェルノブイリ原発事故など原

子力産業の周辺にも多数の被曝者が生み出されていくこととなった。

国連を中心に核廃絶のための取り組みが繰り返し行われたが、冷戦後、米一極支配時代になってさらなる核開発が行われている。

講義では、マンハッタン計画を扱った映画や、世界の核被害の調査を行ってきたフォトジャーナリストや国連を舞台に活躍するNGOの中心人物を特別講師に迎えて、できる限り具体的に問題を直視することに徹したい。

秋学期の「科学史」とあわせて履修することが望ましい。

【教科書】

教科書は使わない。

【参考書】

講義の中で随時紹介する。

科学史

「日本の核開発史（戦後の日本の核と原子力政策史）」

2単位 秋学期

【経法政商】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

広島・長崎の惨劇は核兵器を開発した科学者たちの予測を上回るものであった。しかし、日本は米軍の軍政が終わると同時に原子力をエネルギー政策の国策として採用することになった。原子力の軍事利用と商業利用の両面から日本の核（原子力）政策の歴史をたどる。

春学期の「科学史」とあわせて履修することが望ましい。

【教科書】

教科書は使わない。

【参考書】

講義の中で随時紹介する。

漢文 a（春学期） / 漢文 b（秋学期）

漢文（通年）

「中国の伝説・怪談」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

法学部生は通年の履修で2単位となります。

【文経法政商医】

種村 和史

【授業科目の内容】

漢文読解力を養成する。

様々なジャンルの古典文学作品を読み、中国古典文学に触れ、中国人の伝統的な思考様式を学ぶ。中国の古典的なフィクション文学として大きな位置を占める伝説・怪談はなしを素材にし、そこに見られる「靈魂は存在するか」「夢とうつつ」「異類との交感」といったテーマがどれほど豊かな広がりを持っているか、日本をはじめ周辺国の文化にどのような影響を与えているか、逆に中国の文化・思想は異文化をいかに消化してきたかを考える。そのために、時代・地理・ジャンル・思想の枠に縛られず様々な作品を読んでいく。

【教科書】

教員が用意します。

基礎の数学

「数学が苦手な人のための数学」

2単位 春学期

【経商理】

小松 建三

【授業科目の内容】

「共通科目の掲示板」(学事センターに向かって左)を見落とすと非常に不利な扱いを受けるのでくれぐれも注意すること。数学は現在苦手だが、その状態を少しでも改善したいという意欲のある学生のみを対象とする。数学が苦手とはいえない人は、決して履修しないこと(履修しても周囲の人たちから「ウソつきだ」といわれて不愉快な思いをするだけである)。「多項式の微分ができない」、「積分記号を見たことがない」といった、かなり「重症」の人も想定している。この科目に関しては、「内容がやさしすぎてつまらない」という苦情は受け付けない。反面、どんな初歩的な質問もOKである。

総合教育科目としての課題は「この科目を通じて友人を作ること」である。数学が苦手という共通項があり、妙なコンプレックスを持たなくてすむため、友人がしやすい環境ではあるが、それでも相当の努力をしないと、この課題の達成は困難である。しかし単なるタテマエではないので、履修する以上は真剣に取り組むことを期待する。

一変数関数の微分法と積分法を中心とする内容を予定しているが、一部若干変更する可能性もある。高校数学の復習と問題演習に重点を置く(出席重視)。また、偏微分と2変数関数の極値(経済・商・理工の必修科目で学ぶはず)についても解説する。

ガイダンス期間中の授業の際に、本当にこの科目の履修が適当であるかどうかを確かめるためのアンケート調査を行うので、履修希望者は必ず出席すること。履修申告をする前に、「共通科目の掲示板」を必ずチェックすること。自分の学部の掲示板しか見ないと、重要な掲示を見落とすことがあるので注意してほしい。

「楽そうだから」とか、「時間割が空いてるから」という理由で履修する科目ではない。それは授業に出てみればわかる。普段は遊んでいる内部生たちが、真剣な顔付きで数学に取り組んでいる姿が見られるはずである。ウソつき村の住人もいることはいるが、「駆け込み寺」の住人に囲まれて、この科目を選択したことを後悔しているようである。

【教科書】

なし

【参考書】

特に指定せず

教育学 / 教育学(春学期分)

「発達心理学から「教育」を考える」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経医】

秋学期担当 山梨 あや

大泉 郷子

【授業科目の内容】

発達心理学とは、子どもの思考や行動を支える「心の働き」について科学的に解明することを目指す学問である。「教育」における発達心理学の役割とは、子どもに関する基礎的なデータを提供することにより、子どもに対する共感的理解とより質の高い教育を提供することにある。そのような立場から、本講座では、発達心理学のいくつかのトピックを取り上げ、「教育」にまつわる基礎的な発達心理学の知見を提供することを目的とする。講義内容には、学齢期ばかりでなく、成人・就学前の子どもたちの話も多く含まれる。また、健常者ばかりでなく、学習障害(LD)・ADHD・自閉症などの発達障害を持つ人に関する話も含む。近年の脳研究の発展によって明らかになってきた子どもの能力と脳のメカニズムの関連性についても、基本的な知見を紹介する。これらの話を通して、「教育」の可能性と留意点について科学的かつ客観的な視点を受講者のみなさんと共有することを目標としたい。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義の際に、適宜紹介します。

教育学 / 教育学(秋学期分)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経医】

春学期担当 大泉 郷子

山梨 あや

【授業科目の内容】

秋学期では近代日本における学校教育の成立と展開という視点から、「教育」を考えたいと思います。

皆さんは、これまで様々な学校教育の経験を積み重ねてきているはずです。それでは、「学校」とはどのような機関で、どのように、なぜ成立したのか。そして人々はどのように学校教育を受け、このことはどのような意味を

持つものであったのか。このような素朴な問いを通して、「学校」、ひいては「教育」の問題を考察したいと思います。

【教科書】

講義のなかで随時紹介します。

【参考書】

講義のなかで随時紹介します。

近代思想史 / 近代思想史（春学期分）
 「常識をカッコに入れてみよう」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 有賀 誠

【授業科目の内容】

学問をすることの大きな喜びのひとつに、ものごとを根本から考え直してみることによって、当たり前だと思っていた常識があざやかにひっくり返されてしまうという経験があると思います。

例えば、皆さんは、「民主主義」と聞くと、「ともかくも素晴らしいもんなんだよね」と常識的な連想を働かせてはいませんか？ところが、面白いことに、その「民主主義」が世界で最初に花開いた古代ギリシアの大哲学者プラトン先生は、「民主主義」なんてくだらない、と大変な悪口を書いているのです。では、なぜプラトン先生は、そう考えたのでしょうか？きっと、それには、深いわけがあるはずです。

本講では、こうした問いを大切にしながら、常識をいったんカッコに入れて、われわれの世界観を作り上げている基本概念を考え直してみることにしたいと思います。

【教科書】
 有賀、伊藤、松井編『ポスト・リベラリズム』（ナカニシヤ出版、2000年、3000円）
【参考書】
 有賀、伊藤、松井編『現代規範理論入門』（ナカニシヤ出版、2004年、2600円）

近代思想史 / 近代思想史（秋学期分）
 「考えることを考える」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 有賀 誠

【授業科目の内容】

不思議なことといったら、あなたは何を思い浮かべますか？UFO、心霊現象、超能力、さまざまな奇跡でしょうか。確かにこうしたものも不思議であるには違いないのですが、思想を学ぶことで得ることができるのは、一見、不思議でもなんでもない「当たり前」こそ、実は極めて大きな不思議を秘めたものなのではないかという視点の転換です。

例えば、われわれは食堂でコックさんの作ってくれた料理を平気で口にしていますが、よく考えてみれば、これってとても不思議なことではないでしょうか？だって、自分がその人柄をよく知っている母親（父親）の作ってくれた料理を安心して食べるのならいざしらず、われわれはコックさんのことを何ひとつ知らないのですから。近代社会は、実は、このような一般的な他者への「信頼」によってはじめて円滑に機能しているのですが、いったい何がこの「信頼」を成り立たせているのでしょうか？「近代思想史」に続いて、本講でも、近代社会の様々な基本概念について、「当たり前」を異邦人の眼

で眺めるという視点を駆使しながら、再考してみたいと思っています。

【教科書】
 有賀、伊藤、松井編『現代規範理論入門』（ナカニシヤ出版、2004年、2600円）
【参考書】
 有賀、伊藤、松井編『ポスト・リベラリズム』（ナカニシヤ出版、2000年、3000円）

近代思想史 / 近代思想史（春学期分）
 「近代日本における文明の受容と拒絶」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 小野 修三

【授業科目の内容】

わが国では幕末維新期以来、西洋文明と総称されるものに対しては、これを受容する歴史と、拒絶ないしこれ以上は不要とする歴史との、二つの対応があった。この近代の受容と拒絶との観点から、本講義は近代日本の歴史を考えて行こうと思う。

具体的には、1864年生まれの小河滋次郎という国家官僚に関する伝記的研究を中心に置くが、小河と直接また間接に関係した同時代人たちの「人と業績」も紹介して行く。また講義全般にわたってヨーロッパにおける近代思想の諸潮流に言及する。

【教科書】
 無
【参考書】
 拙著『公私協働の発端』（時潮社）、高畠通敏編『現代市民政治論』（世織書房）

近代思想史 / 近代思想史（秋学期分）
 「解体と統合の継続」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 小野 修三

【授業科目の内容】

近代とは、オランダの歴史家ホイジンガの定義では「世界そのものの改良と完成をめざす道」であった。近代とは異なるのは「世界の外に通じる俗世放棄の道」と「きびしい現実から美しいみせかけへの逃避」の道であった。（『中世の秋』1919年）この近代を、近代以前と近代以後とを意識しつつ、原典およびその翻訳を通して、説明して行く。

【教科書】
 無
【参考書】
 随時紹介する。

近代思想史 a (春学期) / 近代思想史 b (秋学期)
近代思想史 (通年)

「ドイツ近代社会思想における自由と共同」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 針谷 寛

【授業科目の内容】

ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、西欧近代社会とその思想の諸問題を検討する。材料としてはカント、ヘーゲル、マルクスなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的に取り上げる予定である。これらの理論を扱う際には歴史的なコンテキストの中で考察することに努める。これを材料にして、現代の生活についてもその特殊性をみずからの頭で考え表現する力を培ってほしい。

【教科書】

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

【参考書】

講義の中で紹介する。

近代思想史 / 近代思想史 (春学期分)

「独仏近代市民思想像」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 松村 宏

【授業科目の内容】

ドイツ近代思想像の定義の叙述を重ねていく行程に、その歴史的文脈をさぐるというのが、本講の内容である。独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立した。しかし、さらに日本との比較を加えないと近代世界史はわからないことになる。ヴェーバーのキリスト教と「儒教と道教」研究に日本儒学古学派研究を補充して考えていく。(本講を発展させた「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。)

【教科書】

ヴェーバー著『職業としての政治』岩波文庫、丸山「日本の思想」岩波新書、他はプリント配布

近代思想史 / 近代思想史 (秋学期分)

「独仏近代市民思想像」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 松村 宏

【授業科目の内容】

フランス近代思想像の定義の叙述を重ねていく中に、その歴史的文脈をさぐるというのが、本講の内容である。独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立したのであるが、日本との比較が近代世界史の理解に不可欠でもある。モンテスキューからコンスタン、ギゾー、トクヴィル、そしてジード、アロンまでのテキストを活用する。(本講を発展させた「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。)

【教科書】

プリント配布。

近代日本と福澤諭吉

2単位 秋学期

【文経法政商医】 小室 正紘 (コーディネーター)
岩谷 十郎 小野 修三
樽井 正義 西澤 直子
平野 隆 松崎 欣一

【授業科目の内容】

福澤諭吉が死去してから、すでに百年以上が過ぎているが、近年においても慶應義塾の内外を問わず福澤諭吉に関する論評や研究は相変わらず盛んである。このことは、肯定的に見るにせよ、否定的に見るにせよ、福澤が近代日本に与えた影響が極めて大きかったことを示している。このような認識のもとに、この講義では、慶應義塾福澤研究センターの所員が講義担当者となり、講義全体をつらぬく視点を踏まえて、おのおのの専門との関連で福澤諭吉を取り上げる。福澤の人と思想を考察することを通し、単に福澤を知るだけでなく、近代日本と十九世紀後半の世界を知ることを目的としたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

福澤諭吉『福翁自伝』(各種の版がある) 福澤諭吉著『福澤諭吉著作集』慶應義塾大学出版会(2002~2003年)、慶應義塾編『福澤諭吉の手紙』岩波書店(2004年)、丸山真男『文明論之概略を読む』岩波書店(1986年)

経済学 / 経済学 (春学期分)

「経済の理論と現実」 2単位 春学期
4単位 通年

【文法医理】 武藤 功

【授業科目の内容】

経済理論(マクロ経済学を主とする)の基本的内容を扱う。
適宜、問題の演習を行う。

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

丸山徹著 新講『経済原論』 岩波書店

経済学 / 経済学 (秋学期分)

「経済の理論と現実」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文法医理】 武藤 功

【授業科目の内容】

経済理論を踏まえて経済問題の分析を行う。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

丸山徹著 新講『経済原論』 岩波書店

経済学 / 経済学（春学期分）

「マクロ経済学の初歩」 2単位 春学期
4単位 通年

【文法医理】 吉岡 忠昭

【授業科目の内容】

マクロ経済学は、一国の経済全体の立場から、国民総生産・利子・物価水準などの重要な経済変数の決定について

明らかにしようとするものである。これらの経済変数が経済政策によってどのような影響をうけるのかも検討する。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社
酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣

経済学 / 経済学（秋学期分）

「ミクロ経済学の初歩」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文法医理】 吉岡 忠昭

【授業科目の内容】

ミクロ経済学の基礎的・基本的事項のうちから重要なものを選んで講義する。また、近年、様々な分野で利用されるようになってきているゲームの理論の初歩についても経済分析との関連で取り上げる。

【教科書】

指定しない

【参考書】

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社
酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣

経済人類学a（春学期）/ 経済人類学b（秋学期）
経済人類学（通年）

2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

【文経商】 野口 建彦

【授業科目の内容】

「経済人類学」という科目名は、多くの学生諸君にとって、聴きなれないものでしょう。経済人類学の創設者は、K.ポラニー（K. Polanyi, 1883-1964）だといわれていますが、私は、経済人類学とは次のような広義の経済学だと考えています。従来の経済学を代表してきたマルクス経済学と新古典派総合の経済学は、考察の対象を19世紀に誕生した自己調整的な市場経済（自由主義的な資本主義経済）に限定し、その仕組みを明らかにしようとしてきました。そこでは、私的な利益（効用）を追求する個人もしくは経済的利潤（より多くの貨幣）を追求す

る資本家階級とその下で労働を提供し搾取される労働者階級という二つの対抗的集団によって構成される社会が前提されています。

ポラニーは、これに対して、19世紀まで支配的であった非市場経済社会の人間関係とそこに組み込まれている経済パターン（互報、再分配、家政の3パターン）に着目しました。19世紀に誕生した自己調整的市場経済は、そうした非市場社会の人間関係を解体し、経済を社会から切り離し独立した領域にするものだと考えたのです。つまり、19世紀以降の自己調整的市場経済の拡大（成長）は、そうした非市場社会を解体していく過程にほかならないというわけです。非市場社会を構成してきた諸要素は、さまざまな思想や運動を通して、この解体作用に抵抗します。こうした複眼的視点をもつ経済学を、経済人類学であると、私は考えるのです。

【講義の狙い】

1971年のアメリカ大統領ニクソンのドルと金の兌換停止声明、それに続く国際通貨体制の混乱、そして1973年に成立した変動相場制は、1816年以来続いてきたメタリズム（金もしくは銀のような貴金属を貨幣の標準にする通貨体制）の時代を終焉させました。それは、19世紀の市場経済システムの崩壊と、金や銀との兌換の裏付けがない不換紙幣 fiat money を、市場の需給関係に委ねて、経済を営む新しい市場経済の誕生を告げるものでした。

政府中央銀行が自らの発行する銀行券の価値を、金や銀の一定量で定め、そのレートを維持する責任を持ちつつ経済を営むという19世紀の通貨体制＝金本位制は消滅したのです。通貨レートは、市場の需給関係に委ねられた結果、安定状態に向かわず、通貨レートの変動による損失を回避するために考え出された先物取引や金融派生商品の出現により、逆に激しい変動にさらされることになりました。1980年代以降、経済において金融の占める比重が増大し、実体経済との遊離が顕著になり、通貨取引において短期的な利鞘を追求する傾向が強まりました。資本主義が「カジノ化」したと言われるようになったのです。

この講義では、1973年以降の変動相場制の下での投機的な性格の強い「現代市場経済」のメカニズムを解明するために必要不可欠な作業をおこなうことにしたいと思います。それには、1816年から1971年まで続いた「長い19世紀」の自己調整的市場経済の歴史的特徴を理解することが必要です。それは、以下のようにまとめることができるのではないのでしょうか。

【19世紀の自由主義的市場社会の歴史的特徴】

- (1) 人為的で倒錯的な社会である
19世紀の市場社会は、伝統的社会的発展の延長ではない。
- (2) 膨張的な社会である
私的な物質的利益を際限なく追求するために、経済活動に歯止めが利かない社会である。
- (3) グローバルな規模で画一的な社会である
地域や歴史や生活様式を異にしてきた人々を自由貿易と金本位制を軸にする画一的な経済制度によって包摂する社会である。

【参考書】

最初の講義で、文献リストを配布する予定です。

健康科学

「健康と環境因子、病気と薬」 2単位 春学期
 【商理】 西村 多美子 手島 玲子

【授業科目の内容】

様々な科学物質や新薬が生み出され、人々の健康に対する認識も高まっている。本講義では、皆の健康に対する興味をさらに深めるため、「健康と環境因子」及び「病気と薬」をとりあげ、身近な話題を例に解説したい。「健康と環境因子」-環境がヒトにどのような影響を与え、ヒトはどのように適応しているのか-

人々の健康を左右する天然ならびに人工の身近な環境因子を取り上げ、環境因子がヒトにどのように影響を与えるか、その仕組みについて考えると同時に、ヒトの持っている防御機構についても触れてみたい。

「病気と薬」-薬が病気に効くとは、体に現れるどのような変化であるのか-

元来生物が持つ調節機能のバランスが崩れた状態が病気であるとすれば、それをもとに戻す、あるいはもとに戻す手助けをするものが薬である。正しい使い方をすれば、安全に有効に使える薬も、使い方を誤れば、その有効性は発揮されず、安全性も保証されない。その理由を科学的に解説したい。

【教科書】

講義において、プリントを配布する。

【参考書】

講義の時に紹介する。

言語学 / 言語学 (春学期分)

「人間言語の特徴」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医】 小屋 逸樹

【授業科目の内容】

この授業では、人間言語の特徴を他の記号体系と区別しながら概説し、世界の言語の類型と日本語の位置づけ、ソシュールやチョムスキーの言語観、また時間が許せば認知言語学の新しい知見などを解説する予定である。

【教科書】

なし。

【参考書】

ジーン・エイチソン著 (田中他訳) 『改訂新版 入門言語学』金星堂

言語学 / 言語学 (秋学期分)

「言語の構造と機能」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医】 小屋 逸樹

【授業科目の内容】

この授業では、いわゆる言語学プロパーと呼ばれる音

声学、形態論、統括論、意味論といった個別分野を概説する。「言語学」とは独立に「言語学」を履修しても学習上の不都合はない。各論を取り上げる際は、日本語についても言及する予定である。

【教科書】

なし。

【参考書】

小泉保著 『日本語教師のための言語学入門』大修館

言語学 / 言語学 (春学期分)

「周辺事象から入る言語学」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医】 前島 和也

【授業科目の内容】

日本語を中心として、身近な言語事象が言語を通して行われる認識の仕方とどう関わっているかを考える。

【教科書】

青木三郎著 『ことばのエクササイズ』ひつじ書房。

【参考書】

随時指示する。

言語学 / 言語学 (秋学期分)

「言語学の中心問題」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医】 前島 和也

【授業科目の内容】

日本語を中心として、身近な言語事象が言語を通して行われる認識の仕方とどう関わっているかを考える。

【教科書】

青木三郎著 『ことばのエクササイズ』ひつじ書房。

【参考書】

泉井久之助 『印欧語における数の現象』大修館。

言語学

「コミュニケーションの言語学」 2単位 春学期
 【経法政商医】 井上 逸兵

【授業科目の内容】

言語学の分野の中で、コミュニケーション、会話、相互行為における言語を研究対象とする、社会言語学、語用論などの知見を学ぶ。またそれらで扱う事象を異文化比較という視点からも論じることで、コミュニケーションにおける文化の問題もとりあげたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

井上逸兵 『伝わるしくみと異文化間コミュニケーション』(南雲堂)

その他授業中に指示する。

言語学

「コミュニケーションの生態系」 2単位 秋学期
 【経法政商医】 井上 逸兵

【授業科目の内容】

言語学 でとりあげた相互行為の社会言語学の延長線上に、コミュニケーションと言語の多層性、多次元性を論じる。またそれらで扱う事象を異文化比較という視点からも論じることで、コミュニケーションにおける文化の問題もとりあげたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

井上逸兵『ことばの生態系 - コミュニケーションは何でできているか - 』（慶應義塾大学出版会）
 その他授業中に指示する。

言語認識論

2単位 秋学期
 【経商医理】 井上 京子

【授業科目の内容】

本講座では、言語学の成果と方法をもとに、ことばと文化、および人間の相関性を探り、ことばを通して文化を読み解こうと試みます。

このような試み、すなわち環境のカテゴリー化と表裏一体である言語を研究することは、人間の認識体系を発見し、当の文化に固有の行動様式を探る重要な手がかりとなります。今日、世界中で異文化接触が進む中、言語と文化の切り離しがたい結びつきはますます強くなってきていますが、そうした状況を視野に入れ、多言語・多文化主義の広がり、その逆方向の英語のグローバル化といった問題に対して、私たちが今後どのようなスタンスで対応していったら良いのかをここで考えてもらいたいと思います。また、それと関連して、人間の外界認識方法がどう言語教育分野/応用言語学の分野に関わるかといった問題も取り上げる予定です。

授業中は、グループを構成し、グループごとのディスカッションを取り入れた双方向的な意見交換の場にしたと思っています。

【教科書】

なし

【参考書】

R.ダンバー1996 [1998訳]『ことばの起源』青土社
 宮岡伯人編 1996『言語人類学を学ぶ人のために』（世界思想社）
 G.レイコフ 1987[1993訳]『認知意味論』紀伊国屋書店
 松本曜編 2003『認知意味論』大修館書店
 J.テイラー 1995 [1996訳]『認知言語学のための14章』紀伊国屋書店
 大堀壽夫 2002『認知言語学』東京大学出版会
 今井邦彦 2001『語用論への招待』大修館書店
 大堀壽夫編 2004『認知コミュニケーション論』
 井上京子著 1998『もし「右」や「左」がなかったら』

大修館書店

飯野公一他著 2003『新世代の言語学：社会・文化・人をつなぐもの』くろしお出版
 小林春美・佐々木正人編 1997『子どもたちの言語獲得』大修館書店
 渡部信一 2005『ロボット化する子どもたち』大修館書店

現代化学概論

2単位 秋学期
 【商理】 栄長 泰明 他

【授業科目の内容】

毎回の担当者が現代化学の最先端に関するトピックを講義する。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

現代芸術論

「第二次世界大戦後から現代までの美術」
 2単位 春学期
 【経商医理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

第二次世界大戦後、世界の美術の中心は、パリからニューヨークへと移ります。授業では、この時期から現代までの美術の動きについての基礎的な知識の習得を目的とします。適宜、現代美術のタイムリーな話題や展覧会のはなしを織り交ぜながら授業をすすめていく予定です。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

適宜授業中に指示します。

現代芸術論

「現代美術の諸特徴」 2単位 春学期/秋学期
 【経商医理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

現代美術の諸特徴について検討します。しかし、正史をただたどるのではなく、なるべく些細な、しかし現代芸術というジャンルを照らし出すような特徴をテーマとして立てて説明する予定です。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

授業中に指示します。

現代思想論

「ロラン・バルトの写真論」 2単位 秋学期
 【経商医理】 荒金 直人

【授業科目の内容】

20世紀後半の現代思想に極めて大きな影響を与えたフランスの思想家ロラン・バルト。彼が1980年に事故死する直前に刊行された『明るい部屋』の読解を通じて、「写真の本質は何か？」という彼の問いの道のりを辿ります。

【教科書】

ロラン・バルト著、花輪光訳、『明るい部屋 写真についての覚書』、みすず書房、1985年

【参考書】

特に無し

現代思想論

「近現代に考えるということ」 2単位 春学期
 【経商医理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

主として20世紀の思想から、私たちが考えるうえで参考になるはずのものを、テーマや人物ごとに（ただし非体系的に）解説します。

数回ごとに完結した話をする予定。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

授業中に指示します。

現代思想論

「現代思想の争点」 2単位 春学期 / 秋学期
 【経商医理】 田辺 秋守

【授業科目の内容】

「現代思想」において近年どのようなことが話題になっているのか、その論争の「争点」になっている事柄を、分かりやすく紹介したい。「現代思想」は独立した科目としてはほとんど定義不可能である。一般に欧米の大学の学科編成の中には、伝統的に「哲学」「現代哲学」という科目はあるが、「現代思想」という科目は見当たらない。アメリカの現代思想家フレドリック・ジェイムソンはそれと同等なものとして「現代の理論」という言葉を使っている。「現代」はおおよそ20世紀初頭から現在までであり、その理論として考えられるのは、哲学から社会学、精神分析から文学理論と多岐にわたる。そのなかでも特に「現代思想」として理解される理論のおもな特徴は四つある。(1) アクチュアリティ (actuality) (2) 脱領域性 (extraterritoriality) (3) ラディカリズム (radicalism) (4) 論争的性格 (polemic)。ここではおもに1960年以降の「現代思想」の基礎的な話題を取り上げたい。中心となるのはヨーロッパ、アメリカの思想家たちの議論である。しかしそうした議論がすでに現代日

本の課題と地続きであり、「われわれの課題」であることがすぐに理解されると思う。

【教科書】

田辺秋守著『現代思想の争点』(慶應義塾大学出版会今春刊行予定)

【参考書】

詳細な参考文献一覧は開講時に配付する。

現代社会論

「国民国家と社会変動 - その形成と変貌 - 」 2単位 秋学期
 【経商医理】 池田 緑

【授業科目の内容】

現代日本社会は、様々な社会システムの転換点にあります。私たちが子供の頃から「あたりまえ」と思っていたことは、じつはきわめて一時的な現象で特殊なものであり、これからは「あたりまえ」ではなくなる過程でもあります。この授業では、近代国民国家とともに発展してきた現在の社会システムとその転換を「脱工業化」と「植民地主義」という2つの視点から考えてゆきます。

まず前半では、近代国民国家の発展を支えてきた「工業化」が、どのように現在の社会システムをかたち作ってきたかを、フォーディズム、社会階層の形成、“地域”という枠組みの形成、などを通じて検討します。

さらに後半では、性差という社会制度を通して、国民国家における“女性”の構築と家族制度や婚姻制度と権力、植民地主義の関係を考えます。

授業全体を通じて、多様な選択肢を前にこれからの時代を生きてゆかなければならない私たちの社会との関係について、そのヒントを模索できる授業になればよいと考えています。

【教科書】

なし

【参考書】

授業中に紹介する。

現代社会論

「高齢社会の実態と課題」 2単位 春学期
 【経商医理】 岡田あおい

【授業科目の内容】

わが国は、世界に類例のない速さで人口の高齢化が進行している。高齢化が進む中で、高齢者の介護問題、年金問題、社会福祉・社会保険・老人医療の問題など、早急な解決を必要とする深刻な社会問題が山積している。こういった、いわゆる「高齢者問題」にいかに取り組みべきかを真剣に考え、迅速に対処することが現代社会を生きる私たちの一つの課題なのである。

本講義は、これまで提示されてきたさまざまな高齢化社会論を整理し、わが国の「高齢社会」の実態とその動向に伴う社会変化の必要性など、「高齢社会」とそこに内在する諸問題（特に介護問題）について具体的に考えていきたい。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

『日本人口論』清水浩昭 放送大学
『高齢社会基礎資料』中央法規

現代生物学概論

「生命科学、生命工学の最先端」 2単位 秋学期

〔経商医理〕 井本 正哉 他

〔授業科目の内容〕

生命体は、タンパク質、糖、脂質等が整然と制御されて動的平衡にある化学物質の集合体と見ることもできる。また、血液が体の隅々まで流れ、神経細胞には電子が流れて刺激が伝わるように、精緻な物理現象の場であると見ることもできる。また、免疫作用や発生の仕組みを見ればトータルなシステムとして制御されていると言うこともできる。さらに遺伝子や脳のことを考えれば、情報論の概念で捉えることもできる対象である。これらの神秘を解明することは興味の尽きないところであるが、一方これらの機能を護ること、利用することも非常に重要である。

「機能を護る」とは即ち健康を保つ、回復することであり、即ち医学ということになる。「使う」一例は、食料生産であり、物質変換にも生命機能は利用されている。

本講義では、これら様々な現代生物学の科学と工学に関するトピックの中から、幾つかのテーマを選び平易に解説する。

〔参考書〕

太田博道、柳川弘志編著 「生命科学への招待」三共出版、本体価格2200円

現代世界史

「20世紀の国際政治史とイラク戦争」 2単位 春学期

〔経商医理〕 齋藤 直樹

〔授業科目の内容〕

20世紀は二度にわたる世界戦争と半世紀近くに及んだ冷戦に彩られたことから、「戦争の世紀」と言われる。そうした「戦争の世紀」が終わったからといって、21世紀が調和と均衡のとれた明るく輝く世界であることが保証されているわけではない。これは2001年の「同時多発テロ事件」と2003年のイラク戦争の勃発が正確に物語るとおりである。今、21世紀を迎え世界は予想もできない混迷の時代に突入している。今後の21世紀がどのような世紀になるのだろうか。これを知るためには20世紀がどのような世紀であったのかという問いかけが行われる必要がある。20世紀の歴史は21世紀の世界に多くの教訓を与えるものであり、新世紀のための道しるべとなるはずである。本講はこうした問題意識の中で、20世紀の歴史を通観した上で、2003年に起きたイラク戦争を取りあげる。

〔教科書〕

齋藤直樹『イラク戦争と世界』現代図書

〔参考書〕

齋藤直樹『現代国際政治史』(上、下)北樹出版

現代日本史

「民衆意識と近代国民国家の形成」 2単位 春学期

〔経商医理〕 柳田 利夫

〔授業科目の内容〕

本講義では、まず、考え方の枠組みを理解していただくために、近代史そのものについて多少面倒な議論をしますが、近代国民国家としての日本と、その国民としての日本人が生成されるプロセスを、幕末から明治初頭にかけての具体的な出来事を通して再構成してゆくことを基本的な内容としています。

必然的に、政治や経済の歴史にも言及することになりますが、主な関心は、具体的な事件の経過の中に浮かび上がってくる民衆の素朴な国家意識を掘いだし、近代国民国家形成に民衆が果たした/果たせなかった役割を考えるところにあります。

あくまでも歴史学的方法を基礎に分析を行いながら、最終的には現代日本人のアイデンティティの創られ方や、大きく動いている世界の中で、私たちが向かってゆくべき方向を考えるための何等かの手がかりが掴めればと考えています。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

必要があれば適宜、授業中に紹介します。

現代メディア論

「メディア史から考える社会の変化と人間の変容」

2単位 秋学期

〔経商医理〕 木下 京子

〔授業科目の内容〕

身近なところでコンピュータや携帯電話の急速な普及や技術の進化は、生活形態や人間関係、社会環境だけではなく、私たち自身の思考法や諸感覚にまで大きな変化をもたらしている。そこでメディアの歴史を振り返り、新たなメディアが成立し発展する過程や社会にもたらした影響などをさまざまな角度より検証し、現況に照射して考察する。

〔教科書〕

授業時にプリントを配布。

〔参考書〕

佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店、1998年

現代メディア論

「絵画と社会」

2単位 秋学期

〔経商医理〕 村田 真

〔授業科目の内容〕

絵画はなぜ、どのようにして生まれ、いかにして社会と関わってきたのか。絵画というオールドメディアは現代

社会にいまだ有効なのか。その起源から現在まで、絵画と社会の関係を探ります。講義のほか、できるだけ美術館や展覧会などに足を運んで実作品に触れ、翌週それについて討論したい。

【教科書】

ありません。

【参考書】

適宜、授業中に挙げます。

国語国文 / 国語国文（春学期分）

「漢文入門」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商医】

佐藤 道生

【授業科目の内容】

国文学を理解するに必要な漢詩文の知識を教授する。

授業では、はじめに我が国の漢学について概説し、その後、日本人が馴染んだ漢文学作品をいくつか取り上げて読解する。尚、私が担当する秋学期の授業で取り上げる作品とは重複しない。

【教科書】

こちらで用意する。

国語国文 / 国語国文（秋学期分）

「漢文入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経商医】

佐藤 道生

【授業科目の内容】

国文学を理解するに必要な漢詩文の知識を教授する。

授業では、はじめに我が国の漢学について概説し、その後、日本人が馴染んだ漢文学作品を取り上げて読解する。尚、私が担当する春学期の授業で取り上げる作品とは重複しない。

【教科書】

こちらで用意する。

ジェンダー論

2単位 春学期

【文経商医】

長沖 暁子 他

【授業科目の内容】

文化的・社会的に形成される男女の差異を「ジェンダー」といい、これを考察する学問を「ジェンダー論」と呼んでいます。ジェンダーは、過去30年間の人文・社会科学全般において、もっとも大きなインパクトを与えてきた視点であり、北米・ヨーロッパの各国で大学・大学院に Gender Studies などの名称を持ったコースが設置されてきました。日本では市民権を得たのはこの10年くらいですが、現在の日本においても歴史と現代を理解し、未来を構想するために必要とされている考え方の一つであるといってもいいでしょう。法律・政治・経済・文学など、さまざまな領域をジェンダーという視点から分析することが、可能であり、ジェンダー論の領域は広範です。この授業は、ジェンダー論の基本的な視点を、入門

的に学ぶことができるように設置されているものです。

【教科書】

なし。

【参考書】

それぞれの講義で参考図書を紹介しします。

ジェンダー論

2単位 秋学期

【文経商医】

長沖 暁子 他

【授業科目の内容】

ジェンダー論 では恋愛、結婚、同性愛、インターセックス、トランスジェンダーなどのトピックを取り上げ、性の多様性について考えたいと思います。トピックによっては、当事者の方のお話も聞く予定です。具体的な講義の内容、担当は春学期のガイダンスでお知らせします。その他に関しては、ジェンダー論 を参照してください。

自然科学特論

「21世紀を生きるために知ってほしい化学」

2単位 春学期

【法政】

志村 正

【授業科目の内容】

宇宙が誕生したはるか昔から現在まで、そしてこれから先も永遠に自然科学はきわめて重要な役割を担い続けています。時間の長さから考えれば、最も大切な学問分野であるといっても過言ではありません。しかし、その意味や内容は残念ながら科学者の中だけで取り扱われていて、なかなか一般の人々にまで伝わっていないのが実情です。

この授業では、数ある自然科学分野の中から化学を中心に将来それを専門としない法学部の学生諸君に対して、21世紀を生きるために是非知っておいていただきたい知識をできるだけ分かりやすく講義します。併せて、自然科学的な発想力と思考法を学習してもらおうと思っています。

【教科書】

講義資料はwebサイト(URLは授業でお知らせします)からダウンロードできるようにする予定です。

自然科学特論

「自然界の資源から有用な材料へ」

2単位 秋学期

【法政】

小野 雅之

【授業科目の内容】

高校化学でもなじみのある「金属のイオン化傾向」を念頭に置きながら、金属の製法や性質について、実操業の体験などを交えて解説します。

【教科書】

なし。

【参考書】

富永博夫・櫻井宏・白田利勝著「資源の化学」
新化学ライブラリー 大日本図書

自然科学特論

「環境学 ・ 環境原論」

2単位 春学期

【法政】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

環境問題は現代の社会問題として認識されるようになりましたが、そこには無気力な絶望感と、打算的な楽観論とが無責任に交雑するのが現状です。環境問題を論ずる著作や論考は巷にあふれており、いまさら個別の問題について大学の講義で取り上げる必要もないと思います。

ここでは、エントロピー論を基礎に、生命がどのような構造に支えられて“持続”的な生態系を維持しているのかを原理論的に明かにすることで、地球生態系の構造を人間の社会経済システムにとりこんで行く方向を探っていきます。

宇宙船地球号の意味、鮭はなぜ川を遡るのか、などの問題を循環の構造として明らかにした上で、その意味を生態系の基礎理論として物理学的に把握することで、生命維持システムとしての循環論を、人間社会のシステムに取り込むことができれば、現在の破局的状況を持続的社會システムへと転換する道筋を見いだすことができるでしょう。

未来の社会システムの実例として江戸社会システムから学ぶべきことは多くあります。さらには、循環型社会システムを実践している日本各地の実践例も検証する予定です。

秋学期の「自然科学特論」と併せて履修することが望ましい。

【教科書】

テキストは用いない。随時参考図書を紹介する。

自然科学特論

「環境学 ・ 環境とエネルギー」

2単位 秋学期

【法政】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

京都議定書が批准され、いよいよ環境とエネルギーの問題が社会全体の問題として認識されるようになりました。しかし、政府の行動計画には、炭酸ガスを出さない原子力が環境に適合するとしてこれを推進することが述べられています。

原子力については半世紀に渡る論争が展開されてきました。推進側からは、原子力は経済性に優れている、石油の代替エネルギーである、すでに基軸エネルギーである、炭酸ガスを出さない環境適合型のエネルギーシステムである、などと主張されてきました。反対側は主に安全性について議論を展開し、必要性和安全性という別の局面の論争であったため、両者の議論はかみ合うことがありませんでした。

安全性論争と必要性論争の歴史をたどると、そこには環境論的なアプローチが十分に行われたとは言いがたい面が見えてきます。

ここでは、原子力という技術システムが本来的に持っている様々な側面について、データに基づいた検証を行い、望ましい方向性についての基本的戦略について議論を深めていきます。

春学期の「自然科学特論」と併せて履修することが望ましい。

【教科書】

使わない。

【参考書】

授業の中で随時紹介する。

自然人類学

「進化の産物としての自分を知る」

2単位 春学期

【商理】

青木 健一

【授業科目の内容】

自然人類学は、生物としてのヒトが辿ってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるがために有する特徴を理解することを目的としている。ヒトの形成には、遺伝的な変化による「遺伝」進化のほかに、文化的な変化による「文化」進化も大きく寄与している。この講義では、具体的な事例を踏まえて、両方の進化の原理について分かり易く解説する。進化によって獲得されたヒトの特徴はさまざまであるが、我々が日常的に行っている社会行動についても進化の視点から詳述する。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に参考資料を配布する。

社会科学概論

「社会科学者の社会科学」

2単位 春学期

【経商医】

小野 修三

【授業科目の内容】

社会科学が社会を対象とした時、そしてその社会をわれわれが構成すると考える時、そこで営まれる社会科学は社会科学を営む人たるわれわれ社会学者を対象とするという側面があるはずである。この社会学者を社会科学の正当な対象とする時、どんな社会科学が営まれるとすることが出来るであろうか。

本講義はそうした社会科学の例として、R.S.Lyndの『何のための知識か』を挙げるが、このR.S.Lyndに学びつつ、丸山真男、きだみのる、Michel Foucault、石田雄などの社会学者の業績を検討して行く。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会科学概論
「近代日本の異色の人間像」 2単位 秋学期
【経商医】 小野 修三

【授業科目の内容】

同時代人からは白い目で見られた人物でも、現代のわれわれにはむしろそうした人々の方がわれわれの価値観に近いものがある、と感じられることがある。この時間はそうした「異色の日本人」たちに関する私なりの伝記的理解を提示し、人間についての社会科学を営んでみたい。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会学
「世相から日本社会を読み解く」 2単位 春学期
【文経法商医理】 中山 和久

* 法律学科2004年度以前入学者は履修することはできません

【授業科目の内容】

日本の社会について「生活様式」という視点から考えて頂くことを目的とします。具体的には、日本における様々な文化を、特に明治・大正時代における生活の中に見られる習慣や風習について紹介・考察し、現代の文化を視野に入れた上で再考することを目的とします。社会を、実際に生きる人々の生活の中に位置付けて理解する視角を身につけることが目標です。それは他者との相互理解を深める基礎力になると思います。

【教科書】

柳田国男『明治大正史 世相篇』講談社学術文庫（新装版）1994年、1,200円

【参考書】

色川大吉『昭和史世相篇』小学館ライブラリー55（1994年）1,000円

社会学
「宗教社会学」 2単位 秋学期
【文経法商医理】 栗津 賢太

* 法律学科2004年度以前入学者は履修することはできません

【授業科目の内容】

宗教社会学や宗教人類学などの、社会的次元から宗教現象を理解しようとするアプローチの理論と方法を論じる。基礎的な理論や学説を学ぶとともに、出来るだけ具体的な事例に即して共に考察したい。社会学の理論的な中核部分であった宗教社会的なものの方と基本的な知識を習得するとともに、その今日的な意義を問う。

【教科書】

使用しない。プリントを配布する。

【参考書】

テーマにそくして、その都度指示するが、次のものに

目を通しておくことが望ましい。

井上順孝（編）『現代日本の宗教社会学』世界思想社、1994年。

中野毅（他編）著『宗教とナショナリズム』世界思想社、1996年。

大谷栄一（他編）『構築される信念：宗教社会学のアクチュアリティを求めて』ハーベスト社、2000年。

伊藤雅之（他編）『スピリチュアリティの社会学：現代世界の宗教性の探求』世界思想社、2004年。

ブライアン・ウィルソン『宗教の社会学：東洋と西洋を比較して』中野毅・栗原淑江訳、法政大学出版会、2002年。

マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』大塚久雄訳、岩波文庫、1989年。

山之内靖『マックス・ヴェーバー入門』岩波新書、1997年。

社会学 / 社会学（春学期分）
「若者論 しらけ世代とその子どもたち」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 小谷 敏

【授業科目の内容】

私は1956年生まれ。「しらけ世代」と呼ばれた70年代の若者の一員でした。

あなた方のお父さん、お母さんとほぼ同世代ということになります。授業では私たちの世代とみなさんの世代とを比較し、30年の時代の流れのなかで若者のそして日本社会の何が変わり、何がかわらなかったかを考えていきたいと思います。

【教科書】

小谷敏著『若者たちの変貌』世界思想社1998年 2300円

【参考書】

授業中において指示します。

社会学 / 社会学（秋学期分）
「若者とメディアー日本のマスコミュニケーションを考える」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 小谷 敏

【授業科目の内容】

さる総選挙は自民党の圧勝に終わりました。しかし何か変だと思いませんか。争点は郵政民営化に矮小化され、勝負を決したのは「小泉劇場」のパフォーマンスでした。どこか日本のマスメディアはおかしい。この講義では若者にとってのマスメディアという問題を考えると同時に、日本のマスメディアの発展を歴史的に跡付け、いまのメディアの「おかしさ」のよってきたる所以を考えてみたいと思います。

【教科書】

とくに使用せず。

【参考書】

追って指示します。

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)
社会学 (通年)

「社会心理学」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 榊 博文

【授業科目の内容】

現代社会心理学の対象・方法・歴史についてまず講義し、個人と個人の関係、個人と集団の関係、集団や社会の影響、集合現象について論じる。中でも、流行、流言、マスコミ、広告、デマ、普及、など、集合現象に重点を置いて講義する。

【教科書】

青池・榊 編著「現代社会心理学」慶應大学出版会

【参考書】

榊 博文「説得と影響 交渉のための社会心理学」ブレーン出版

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)
社会学 (通年)

「食・農・地域の社会学」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 土居 洋平

【授業科目の内容】

本講義では、(A)社会学の全体像を身に付ける、(B)特定のテーマを社会学の視点で考えられるようになる、という二つのことを目標にしています。

前期では、目標(A)に沿って、1)社会学の基本的な考え方、2)社会学の歴史、を学んだ後に、3)様々なテーマを社会学で読み解く、ということを行います。「私」「家族」「仕事」「国家」「都市」「農村」「環境」「福祉」「まちづくり」といった、様々なテーマを社会学の視点から読み解き、社会学の全体像を身に付けてることを試みます。

後期では、目標(B)に沿って、「食・農・地域」というテーマを社会学の視点から、読み解いていきます。「農業の産業化」「有機農業運動」「農村の商品化」「外食産業の展開」「食の安全・安心」といった、食と農、地域を巡る現代的なトピックを扱いながら、一つのテーマについて社会学の視点で読み解いていきます。

講義を通じて、履修者各人が社会学の視点・考えかたを身に付け、それをういて特定のテーマについて考えられるようになることを期待します。

【教科書】

藤田弘夫・西原和久編、2000、『権力から読みとく現代人の社会学・入門』有斐閣

榊 博文・松村和則編、2002、『食・農・からだの社会学』新曜社

【参考書】

講義中に適宜指示します。

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)

社会学 (通年) 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 藤川 千歳

【授業科目の内容】

社会はすでに存在しているものとして私たちに与えられているが、それは所与であると同時に構成されていくものである。それを可能にするのがコミュニケーションである。講義では、私たちが他者と関わるそのあり方を考えていくことで、実際の社会現象を問い直してみる。

社会心理学

「社会的認知と対人行動」 2単位 春学期

【政商メコ】 萩原 滋

【授業科目の内容】

春学期は、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題を取り上げる。すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。また対人魅力など、対人行動の基礎となる問題も取り上げることにする。

【教科書】

使用しない

【参考書】

山本真理子他編(2001)「社会的認知ハンドブック」北大路書房

唐沢穰・池上知子・唐沢かおり・大平英樹(2001)「社会的認知の心理学 社会を描く心のはたらき」ナカニシヤ出版

社会心理学

「メディアとコミュニケーション」 2単位 秋学期

【政商メコ】 萩原 滋

【授業科目の内容】

秋学期は、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程に関わる諸問題を取り上げる。対人コミュニケーションに関しては「説得効果」、マス・コミュニケーションに関しては「テレビの社会的機能、对人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

萩原滋・国広陽子編(2004)「テレビと外国イメージメディア・ステレオタイプ研究」勁草書房

萩原滋編著(2001)「変容するメディアとニュース報道 テレビニュースの社会心理学」丸善

田中義久・小川文弥編(2005)「テレビと日本人

「テレビ50年」と生活・文化・意識」法政大学出版局

宗教学a（春学期） / 宗教学b（秋学期）
宗教学（通年）

「宗教とは何か」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 由木 義文

【授業科目の内容】

宗教学とは、宗教現象を客観的・実証的に研究する学問である。本講義では春学期においてはデュルケーム、ベルグソン、モースなどの理論を用いて、宗教の定義、発生と役割などについて考察し、秋学期においては、特に日本の宗教をとりあげ、神道・仏教・新宗教の成立・展開を社会との関わりにおいて講ずる予定である。

【教科書】

由木義文著『宗教学序説』朝倉書店

【参考書】

岸本英夫著『宗教学』

身体 / 感覚文化

「食覚・自己・社会」 2単位 春学期

【文経法政商医理】 武藤 浩史 他

【授業科目の内容】

普段は気にもとめないが、私たち一人一人が持つ身体は、とても興味深い働きをしている。私たちは諸感覚によって自らの身体を認識し、その身体を境界線として自己とそれを取り巻く世界を別個のものとして切り分ける。持ち主にとって身体は「個」を支えるものであり、自己組織化され「閉じた」システムだ。しかしその外に広がる世界から見れば、身体もまた自然を構成する数えきれないモノの一つにすぎない。また身体という境界線は安定したものではない。身体 / 感覚を通して認識された外界の姿は、その外界に視点を置いて自らの姿を客体視する時に、同じ身体 / 感覚を通して自己認識へと反映される。切り分けられた自己と外界は、身体を通して絶えず相互作用を繰り返し、互いの姿を規定しあうのである。こうして身体 / 感覚は私たちを取り巻く世界に、そして私たち自身に、常に新たな形を与え続ける。その相互作用の積み重ねが文化であり、ある時代、ある地域に生きる私たちは、そこにある文化の流れに巻き込まれながら身体 / 感覚の相互作用を体験し、同時に文化の変容や生成を支えていることになる。この講座では、身体のような働きを取り上げ、なかでも身体を場とした相互作用の媒介となる感覚に注目する。平成18年度は「聴覚」をキーワードとする。音楽の話が多くなると思うが、それに留まらず人が生きて聴くということのさまざまな意味を塾内外の、文系、理系にまたがる各界の一流の講師を招いて、考えてゆきたい。

身体文化論

「ダンスと身体」

2単位 春学期

【経商理】

稲田奈緒美

【授業科目の内容】

身体を素材、媒体とする芸術であるダンスは、古今東西さまざまに変化してきました。それは、ダンスの様式の変遷や技術の発展であると同時に、身体に関する社会的な規範、美意識、価値観、タブーなどが反映された結果でもあります。身体は個人的なものであると同時に他者とコミュニケーションし、情報を発するメディアであり、社会的、政治的な場でもあります。この授業では、様々なダンスの身体に現れた、動作、身振り、フォーム、スピード、ダンサーのジェンダー、体格、衣装などを取り上げることによって、身体にまつわる文化を解説します。

【教科書】

特に使いません。

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

人文総合講座 / 人文総合講座

「21世紀のアメリカの行方」

2単位 春学期

【経法政商】 鈴木 透（コーディネーター）

近藤 光雄

杉浦 章介

マイケル・エインジ

大和田俊之

【授業科目の内容】

21世紀のアメリカは、民族構成が大きく変化しつつある中、貧富の差の増大や文化戦争など、国内には分裂の危機を抱え、一方、対外的には、冷戦の終結からテロとの戦いへという転換点を迎えて、これまで未経験の次元に足を踏み入れようとしています。この授業では、「マイノリティー」、「メディア」、「コミュニティ」、「集団的記憶の再構築」の4つのキーワードを軸に、アメリカがこの難局をどう乗り越えようとしているのか、未来のアメリカを方向づけようとする知の潮流を、現代アメリカが抱える様々な社会現象・文化現象の中から領域横断的に探り当て、アメリカ社会の現状と今後を展望します。とりわけこの授業では、こうした新たな時代状況の中で、従来からの積み残し課題と現代アメリカ社会がどう向き合おうとしているのかに着目しながら、アメリカ社会にどのような変化が忍び寄ってきているのかを考えるとともに、そうした新たな動きがアメリカという枠を越えていかなるインパクトを持ちうるのか、考えていきます。

【教科書】

近藤光雄 他『記憶を紡ぐアメリカ：分裂の危機を超えて』（慶應義塾大学出版会、2005）

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

心理学履修ガイド

心理学は自分の所属する学部に設置されている心理学のみ履修申告できます。設置学部以外の学生は履修申告の結果、定員に余裕がある場合に限って心理学研究室で手続きの上、追加履修申告（5月上旬）時に申告することができます（下表参照）。追加申告できる心理学については4月下旬に発表予定の抽選結果で確認してください。

【文学部設置心理学】

文学部の学生のみ履修申告することができます。経済学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は文学部の時間割で確認してください。

文	心理学	小嶋 祥三	春学期	2単位
文	心理学	小嶋 祥三	秋学期	2単位
文	心理学	増田 直衛	春学期	2単位
文	心理学	増田 直衛	秋学期	2単位
文	心理学	望月 要	春学期	2単位
文	心理学	望月 要	秋学期	2単位

【経済学部設置心理学】

経済学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は経済学部の時間割で確認してください。

心理学	曾我 重司	春学期	2単位
心理学	曾我 重司	秋学期	2単位
心理学	中野 泰志	春学期	2単位
心理学	中野 泰志	秋学期	2単位

【法学部設置心理学】

法学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は法学部の時間割で確認してください。

心理学	菅野理樹夫	春学期	2単位
心理学	菅野理樹夫	秋学期	2単位
心理学	鈴木 恒男	春学期	2単位
心理学	鈴木 恒男	秋学期	2単位
心理学	福田 真実	春学期	2単位
心理学	福田 真実	秋学期	2単位

【商学部設置心理学】

商学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、法学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は商学部の時間割で確認してください。

心理学	小松 英海	春学期	2単位
心理学	小松 英海	秋学期	2単位
心理学	北島 洋樹	春学期	2単位
心理学	北島 洋樹	秋学期	2単位
心理学	増田早哉子	春学期	2単位
心理学	増田早哉子	秋学期	2単位

心理学

「self自分を考える」

2単位 春学期

【文】

小嶋 祥三

【授業科目の内容】

たとえば、紅葉した桜の葉をみたとき、その丸みを帯びた形や赤や黄の色の主観的な経験をもつ。と同時に、そのような経験をしている自己を意識する。自己を理解するには様々な面から検討する必要があるだろう。ヒトがもつ自己意識を動物も持つのか、ヒトは何歳くらいから自己意識を持つのか、自己や人格の障害はどのようにあらわれるのか。self自己は脳と無関係ではない。近年の脳機能画像研究はそのような問題を扱うことを可能にした。self自己に関する比較心理学、発達心理学、認知心理学、精神医学、神経科学などの新しい知見を紹介する。

【教科書】

なし。

【参考書】

随時紹介する。

心理学

「self自分を考える」

2単位 秋学期

【文】

小嶋 祥三

【授業科目の内容】

たとえば、紅葉した桜の葉をみたとき、その丸みを帯びた形や赤や黄の色の主観的な経験をもつ。と同時に、そのような経験をしている自己を意識する。自己を理解するには様々な面から検討する必要があるだろう。ヒトがもつ自己意識を動物も持つのか、ヒトは何歳くらいから自己意識を持つのか、自己や人格の障害はどのようにあらわれるのか。self自己は脳と無関係ではない。近年の脳機能画像研究はそのような問題を扱うことを可能にした。self自己に関する比較心理学、発達心理学、認知心理学、精神医学、神経科学などの新しい知見を紹介する。

【教科書】

なし。

【参考書】

随時紹介する。

心理学

「知覚・認知」

2単位 春学期

【文】

増田 直衛

【授業科目の内容】

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで

「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との相互作用としてとらえようとしています。

ここでは、個体がいかに環境からの情報を得て行動しているのか、知覚、認知を中心に講義をします。

【教科書】

テキストは特に指定しません。

講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。

【参考書】

大山 正ほか(著)「心理学のあゆみ(新版)」有斐閣新書

野口 薫ほか(著)「心理学入門(新版)」有斐閣新書

心理学

「行動・個性」

2単位 秋学期

【文】

増田 直衛

【授業科目の内容】

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との相互作用としてとらえようとしています。

ここでは、環境に適応して生きていくためにどのような行動するか、動物も含めて行動変容のダイナミズムを講義します。また、個性はどのように理解され、それはどのように形成されてくるのか考えます。

【教科書】

テキストは特に指定しません。

講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。

【参考書】

大山 正ほか(著)「心理学のあゆみ(新版)」有斐閣新書

野口 薫ほか(著)「心理学入門(新版)」有斐閣新書

心理学

「知覚と認知の心理学」

2単位 春学期

【文】

望月 要

【授業科目の内容】

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的な方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。春学期の『心理学I』では、知覚と認知に関する心理学を取り上げる。秋学期の『心理学II』と通して履修することが望ましい。

【教科書】

使用しない。授業資料は授業用web site
(<http://web.hc.keio.ac.jp/moc/psychology/>)で配布する。

【参考書】

授業中に随時紹介する。

心理学

「行動分析学入門」

2単位 秋学期

【文】

望月 要

【授業科目の内容】

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的な方法で探求する分野である。この授業では、春学期の『心理学』にひき続き、行動分析学が明らかにした行動の法則を紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。行動分析学が提供する常識にとらわれない人間観を理解してもらいたい。できれば『心理学』と通して履修することが望ましい。

【教科書】

使用しない。授業資料は授業用web site
(<http://web.hc.keio.ac.jp/moc/psychology/>)で配布する。

【参考書】

授業中に随時紹介する。

心理学

「ヒトは環境をどのように知覚するのか」

2単位 春学期

【経】

曾我 重司

【授業科目の内容】

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。現代心理学の方法論、人間と他の動物の比較に基づく生物としての人間の特徴、有機体を取りまく環境世界からの情報をどのように取り入れているのかなど、主に知覚・認知的側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

【教科書】

特に指定しない。(必要な資料は講義中に配布する)

【参考書】

特に指定しない。

心理学

「ヒトは環境にどのように働きかけるのか」

2単位 秋学期

【経】

曾我 重司

【授業科目の内容】

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。ヒトが自らを取り巻く環境に対してどのように働きかけているの

かについて主に行動・個性の側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

【教科書】

特に指定しない。(必要な資料は講義中に配布する)

【参考書】

特に指定しない。

心理学

「知覚・認知心理学の教育・福祉・支援技術への応用」

2単位 春学期

【経】

中野 泰志

【授業科目の内容】

心理学は人間や動物の純粋な経験(現象)を整理し、その働き(機能)や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズム(機序)を探求する学問です。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」(行動)の理解と予測であり、個々の豊かな生活(Quality of Life; QOL)を保障し、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことです。

本講義の最大の特徴は、実験心理学の研究手法や成果を、主として障害児・者の教育・福祉や彼らの生活をより豊かにする支援技術と関連させながら紹介する点にあります。高齢化社会を目前にしている今、障害や福祉は身近な問題になりつつあり、最先端科学技術等を用いてその問題点を解決する支援技術が注目を集めています。「障害」を理解し、支援技術等を用いて、障害がある人達の教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たします。例えば、目が不自由であっても単独で行動することは可能なわけですが、白杖(白い杖)や盲導犬が自動的に導いてくれるわけではありません。白杖や盲導犬という道具を使って目の不自由な人自身が「自分はどこに行きたいのか」「そのためにはどういうルートをとるのか」「そのルートに沿って移動するためにはどういう手がかりがあるのか」「ルート中に段差や穴や障害物はないか」「迷ってしまったときにどうするか」等を判断しながら移動していきます。このような判断がより安全に、効果的にできるためには、人が環境や地理を知覚・認知する方法を科学的に明らかにしなければなりません。このように、本講義では、知覚・認知心理学が対象とする諸現象や科学的方法論を障害児・者の教育・福祉に関する具体的な事例や支援技術開発と関連づけながら、わかりやすく解説します。

【教科書】

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

【参考書】

適宜紹介します。

心理学

「行動・個性の測定と発達」

2単位 秋学期

【経】

中野 泰志

【授業科目の内容】

私達人間を含め、生物にはそれぞれ個性があり、同じ状況下でも、それぞれが異なる行動をすることがあります。そして、それぞれがユニークでかけがえのない存在です。本講義では、それぞれの行動や個性がどのように形成され、変容していくのかについて紹介します。また、科学としての心理学がどのような方法で行動や個性を測定するかについて、実習等を交えながら、解説します。それぞれの個性的な行動がどのようにして発達するのか、また、何らかの原因で発達が阻害された場合に、どのような困難（障害）が生じるのかについても概観します。さらに、行動や個性を変えるためには、どのような取り組みが可能かについて、適宜、事例も紹介しながら、理論的に解説します。

本講義の最大の特徴は、心理学の研究手法や成果を、教育や福祉や支援技術と関連させながら紹介する点です。少子高齢化社会を目前にしている今、教育や福祉は身近な問題になりつつあり、最先端科学技術等を用いてその問題点を解決する支援技術が注目を集めています。「障害」を理解し、支援技術等を用いて、障害がある人達の教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たします。

【教科書】

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

【参考書】

適宜紹介します。

心理学

「精神の座の変遷と視覚系に関連する脳の構造と機能」

2単位 春学期

【法政】

菅野理樹夫

【授業科目の内容】

心理学、あるいは環境心理学とは何かを、どのように明らかにしようとする学問なのかについて考える。自らを取り巻く日常生活のかかわり合いの中から考える。そして、その中で人間は環境をどう捉え、どのように関わりあうのか？そのとき人間は環境のことをどれだけ知っているか、あるいは環境を知っている自分のことについてどれだけ知っているのだろうか？このようなことを理解するためには何を知らなければならないかについてできるだけわかりやすく解説する。本講は環境科学と行動科学の関連性を重視しながら人間の「意図」あるいは、

その背景に潜む本質を考えることが目標である。これらのことを知るためには基礎的な知識が必要である。たとえば、人間の生理学的側面である脳の構造と機能、神経系、視覚系などである。また、心理学的側面として感覚、知覚、認知、記憶、学習、発達、知能などの領域がある。人間が環境世界をどのように見ているか、あるいは環境世界とどう折り合いをつけて共存していくかということについて考えていただきたい。特に基礎知識は必要としない。受講を希望する学生は講義でこれらのことを理解できるように努力する態度をもつことが望ましい。

講義内容は以下のような項目にそっていくつかの適宜な話題を取り上げ略説する。

授業計画：

1. 心理学の講義の受け方
2. 古代から近世までに考えられてきた精神の座
3. アリストテレスの精神の座
4. 古代ギリシアや古代ローマ、イスラム世界ではものがどう見えていたと考えていたか（古代の視覚論の変遷）？
5. ガレノスの視覚論
6. イスラムの視覚論
7. ギリシア、イスラム、ヨーロッパ中世、近世の精神の座の変遷（考え方がどう伝わっていったのか？）
8. デカルトは精神の座を心臓から脳にどうして移したのか
9. デカルトの人体機能論と心身二元論
10. 脳の構造と機能
11. 高度な精神作用を生む神経細胞
12. 神経細胞の構造はだれが見つけたか
13. 知覚系の神経伝導路
14. 網膜はどこにあるのか？
15. 暗いところでも何かが見える暗順応

【教科書】

作成中

【参考書】

随時案内

心理学

「人間は環境世界をどのように知覚し行動するのか」

2単位 秋学期

【法政】

菅野理樹夫

【授業科目の内容】

1. 心理学をどのように研究するのか
2. 研究対象はどのようなものか
3. 研究方法にはどのようなものがあるか
4. 感覚とはどういうことをいうのか
5. 知覚とはどういう意味か
6. 視野とはなにか
7. 図と地のはなし
8. 要素主義的心理学は何をする学問か
9. ゲシュタルト心理学はコペルニクスの転回か？
10. 錯覚は間違いか？
11. 錯覚はどうして生じるのか？

- 12. 知覚の恒常性とはどのようなことか？
- 13. 環境世界を知るために必要なこと(生態学的知覚論)
- 14. 環境世界からやってくる光(知覚のために必要な生態光学)
- 15. 知覚心理学とアフォーダンス(環境の知覚と自己の意図)

参考書：講義の中で随時必要な文献を指示する。

以下の文献は環境心理学を理解するために必要な概念とその歴史的、哲学的背景が詳述されているので参照されたい。

1. J.J.ギブソン著、古崎敬他共訳『生態学的視覚論 - ヒトの知覚世界を探る』サイエンス社 1985
2. T.J.ロンバルド著、古崎、境、河野監訳『ギブソンの生態学的心理学 - その哲学的、科学史的背景』勁草書房 2000
3. 境 敦史他共著『ギブソン心理学の核心』勁草書房 2002

【教科書】

作成中

【参考書】

随時案内

心理学

「知覚・認知(見る行為を考えることから論理的思考を養う)」 2単位 春学期

【法政】 鈴木 恒男

【授業科目の内容】

我々が物を見ることを日常的に行っているのだから、目を開けば見えることは当たり前だと思っている。しかし、見るとは何をやっているのかに関しては、自分で行っているのに自分では分からない。

この日常的な行動である誰でもが行っているが自分では何が行われているかが理解できない行為である見ることを考え、その行為を論理的に説明することを行う。その繰り返しから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学

「行動・個性(人間の行動を観察することから論理的思考を養う)」 2単位 秋学期

【法政】 鈴木 恒男

【授業科目の内容】

我々が日常的に行っている行動はほとんど無意識である。何故その行動が起こるのであるのか、その行動は何を目的としているのだろうか、等のことは意識することはほとんど無い。日常的に行っている行動を取り上げ、

その行動理由その他を分けることが出来るのだろうかを考えることから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学

「心理学の基礎を学ぶ(知覚・認知)」 2単位 春学期

【法政】 福田 真実

【授業科目の内容】

心理学的なもの見方、考え方、研究のすすめ方について、様々なトピックスを例として解説し、心理学の基礎的な力を見につけることを目的とします。簡単な解説や実習を行います。ビデオやDVD等を用い、視覚的にわかりやすい授業を心がけます。

【教科書】

長谷川寿一『はじめて出会う心理学』(有斐閣アルマ)有斐閣

【参考書】

授業時に指示。

心理学

「心理学の現在を学ぶ(行動・個性)」 2単位 秋学期

【法政】 福田 真実

【授業科目の内容】

心理学の様々な領域における研究の現状について学ぶこと、社会で話題になっている事柄を心理学で理解する可能性について探求します。トピックスに対して、自分の視点を作り、表現していくことが大切だと考えています。

【教科書】

長谷川寿一『はじめて出会う心理学』(有斐閣アルマ)有斐閣

【参考書】

授業時に指示。

心理学

「知覚・認知」 2単位 春学期

【商】 小松 英海

【授業科目の内容】

人間は外界を知覚し、その知覚した環境の中で行動している。心理学では、こうした人間の働きのうちで、知覚と認識の部分を重点的に考える。そもそも人間にとっての環境とは何で、そこから何を情報として得ているのかに焦点を当て、日常生活での経験と関連づけて考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを随時行っていく。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

心理学

「学習・個性」

2単位 秋学期

【商】

小松 英海

【授業科目の内容】

人間は外界を知覚し、その環境の中で行動している。行動は他者を含む周囲の環境との相互作用を経る中で変容していく。このことを心理学では学習と呼んでいる。心理学では、この学習に焦点を当て、人間を含む生体の行動の法則性について考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを随時行っていく。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

心理学

2単位 春学期

【商】

増田早哉子

【授業科目の内容】(*従来の講義要綱に相当する部分)

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問である心理学に関する関心も高まっている。では、「心」とは何を指しているのだろうか。本講義では、心理学が対象とする様々なかたちの「心」に関する、基本的な知見を得ることを目的としている。また最近の脳科学の知見が行動科学に与える多大な影響を鑑み、脳科学からの心理学への貢献に若干比重を置きながら講義を進める。

心理学の講義では、「心」の一側面として、環境とひととの相互作用の問題についてとりあげる。ひとは環境からの情報を、どのように知覚し、また認知しているのだろうか。また、知覚し、認知した情報に基づいて、ひとはどのように行動するのだろうか。ひとがものを見たり聴いたりする仕組み(知覚心理学)、ひとの記憶の仕組み、問題の解決の方法(認知心理学)といった領域について、日常的な現象をもとに、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説する。

【教科書】(参考書と区別してください)

なし

【参考書】(教科書と区別してください)

講義中に適宜指示する

心理学

2単位 秋学期

【商】

増田早哉子

【授業科目の内容】(*従来の講義要綱に相当する部分)

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問であ

る心理学に関する関心も高まっている。では、「心」とは何を指しているのだろうか。本講義では、心理学が対象とする様々なかたちの「心」に関する、基本的な知見を得ることを目的としている。また最近の脳科学の知見が行動科学に与える多大な影響を鑑み、脳と心の問題に比重を置きながら講義を進める。

心理学「では、「心」の一側面として、対人関係における問題についてとりあげる。我々の日常生活は、様々な人との関わりによって豊かに彩られている。ひとは生きているかぎり社会的・感情的存在であるといえる。そこで本講義では、感情が知覚・認知とどのように関わっているか(感情心理学)、対人・集団における個人の行動様式(社会心理学)、さらに様々な心的機能がどのように発達するのか(発達心理学)について、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説する。

【教科書】(参考書と区別してください)

なし

【参考書】(教科書と区別してください)

講義中に適宜指示する

心理学

「外界と自己を知るための心理学(知覚・認知)」

2単位 春学期

【商】

北島 洋樹

【授業科目の内容】

自分自身や他者をよりよく理解したい、という気持ちは人間にとって自然なことですが、そのためには心の仕組みを理解することが重要です。日常生活の中で誰も経験しうる体験を取上げ、外界の認識(知覚)、記憶の特性、脳の働き、など心理学の基礎的な知見を概説します。いわばハードウェア・ソフトウェア両面から、人間の心を見つめることを目指します。また、このような観点を通して、客観的、科学的なものの見方について考えます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

必要に応じて、授業中に紹介します。

心理学

「社会における行動に関する心理学(行動・個性)」

2単位 秋学期

【商】

北島 洋樹

【授業科目の内容】

いわゆる応用的研究に焦点をあてて概説します。行動の予測と制御に関する基礎的・応用的な研究、社会と個人の関わり、産業心理学の知見などを紹介します。さらに労働における技術革新をテーマに、人間と機械との関係(ヒューマン・マシン・インタフェース)や負担や疲労、個人差などを考察します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

必要に応じて、授業中に紹介します。

住宅・建築史概論

2単位 春学期

【経商医理】

岸本 達也

【授業科目の内容】

建築デザインとその形式は、その時代の技術、文化や社会システムと関係している。この授業では古代から近現代までのその歴史的な変遷について学びます。

【教科書】

プリントを配布する予定。

【参考書】

- 『三訂版 西洋建築史図集』日本建築学会編 彰国社
- 『日本建築史図集』新訂版 日本建築学会編 彰国社
- 『建築史』オーム社 堀口捨己ほか
- 『図説 建築の歴史 西洋・日本・近代』西田雅嗣ほか 学芸出版社
- 『空間・時間・建築』S.ギーディオ 丸善
- 『西洋建築入門』森田慶一 東海大学出版会
- 『日本建築史序説』大田博太郎 彰国社
- その他

女性学

「家族とは何か？」

2単位 春学期

【文経商理】

長沖 暁子

【授業科目の内容】

あなたにとって家族とはなんだろう。理想的な家族とは？そして普遍的な家族はあるのだろうか？

温かい家族像をイメージした人もいれば、自分を束縛する枷のようなイメージがわく人もいる。家族に癒される人もいれば、家族に傷つく女・男・子どもたちもいる。家族に課せられたさまざまな役割 - 例えば国家の基礎単位としての家族、次世代育成・老人介護を担う家族、個人の精神的な支えとしての家族 - を、近代の産物である「専業主婦の母と仕事中毒の父と二人の子どもたち」の核家族は担いきれるのだろうか。現代の家族が抱える問題を考え、家族の意味を考えることがこの授業の目的です。

具体的には、家族に関するあらゆるテーマ、例えば近代国家と家族、家制度、戸籍、夫婦別姓、性的役割分業、結婚・離婚、性、妊娠・出産、少子化、育児、家事労働、介護、母性、父の不在、虐待、ドメスティック・バイオレンスなどを対象にし、グループ発表と討論を中心に考えます。

【教科書】

使いません。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

女性学

「セクシュアリティとジェンダー」

2単位 秋学期

【文経商理】

西山千恵子

【授業科目の内容】

セクシュアリティは、性現象と認識されることがあります。やや抽象的ですが、女性学ではセクシュアリティ論として、性をめぐる諸問題、諸課題が論じられてきました。例えば性行動、性意識における男女差や、男女の関係、売買春、ポルノグラフィ、妊娠・避妊・出産・中絶など性と生殖に関する問題、性表現、性をめぐる欲望やファンタジー、性暴力、性教育、婚姻制度などさまざまに広がります。

一方、最近の女性学は、「女性・男性」という区分を自明視せず、性別を相対化して捉えようとする傾向があります。その中で、性別についての自己同一性や、異性愛、同性愛などの議論も展開してきました。また、女性学のみならず、セクシュアリティをめぐる研究やセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の主張を反映する社会的な動き、情報はますます広がっています。

授業では、女性学のキーワードであるジェンダー（社会・文化的性別）概念を中心に、これらセクシュアリティ論の入門的理解を目指すとともに、現代の性をめぐる諸問題のいくつかを取り上げ検討します。ビデオ教材を使用することもあります。

【教科書】

特に使用しません。授業時に資料等を配布します。

【参考書】

授業時に適宜紹介します。

人類学a（春学期）/人類学b（秋学期）

人類学（通年）

「自然界の中のヒト：進化と変異」

2単位 春学期/秋学期

4単位 通年

【文経】

高山 博

【授業科目の内容】

ヒト（Homo sapiens）の定義を知っていますか？人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト（地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位）が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なんです。どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

講義内容に近いものとしては、埴原和郎「人類の起源」(講談社) ルーウィン、R.(保志訳)「ここまでわかった人類の進化」(てらぺいあ) 馬場・高山編著「人類の起源」(集英社)

人類学

「進化から見た人類の理解」 2単位 春学期

【経商】

真家 和生

【授業科目の内容】

生命誕生から現在のヒトが形成されるまでの進化過程をたどりながら、人類の特徴がどのように獲得されてきたかを講義する。履修者は人体に秘められた進化過程に伴う獲得形質を実感することを目標としてもらいたい。

【教科書】

「生理人類学」富田守他著(朝倉書店)

【参考書】

適宜紹介する。

人類学

「体のしくみから見た人類の理解」 2単位 秋学期

【経商】

真家 和生

【授業科目の内容】

人類が世界各地の環境にどのように適応して拡散移住したのか、そしてその結果として現在の人類がどのような多様性を持つに至ったかを講義する。履修者は自分がこうした多様性のなかのどのような位置にいるのかを実感することを目標としてもらいたい。また、筋骨格系の解説と人類の動作の特徴を解説。履修者は自分が人類であることをより深く実感することを目標としてもらいたい。

【教科書】

「生理人類学」富田守他著、朝倉書店

【参考書】

適宜紹介する。

数学 / 数学(春学期分)

「2次元の線形代数」 2単位 春学期

4単位 通年

【文経】

松岡 勝男

【授業科目の内容】

微分積分学とともに、もっとも基本的な数学的方法・手段の一つである線形代数学について、講義する。主に、 n 次元への一般化の基礎となる具体的な2次元での論理構成や計算を厳密に行う。

【教科書】

松岡勝男著「線形代数学 2次元・3次元の線形代数」(培風館、1996年、1,470円)

数学 / 数学(秋学期分)

「確率論の基礎」 2単位 秋学期

4単位 通年

【文経】

松岡 勝男

【授業科目の内容】

現在、重要性が認識されている確率論について、講義する。数理統計学の基礎としての立場から、可能な限り厳密な証明を簡潔に行う。

【教科書】

特に指定しません。

政治学 / 政治学(春学期分)

「ネーション・ステイト(国民国家)とナショナリズム」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経/法商医理】

阿南 友亮

【授業科目の内容】

ネーション・ステイトおよびナショナリズムに関する基礎的な知識を習得し、我々の意識に深く埋め込まれているネーション(民族・国民)という共同体概念ならびにナショナリズムという思考パターンに対して客観的な視点を養うことが本講義の目的である。春学期においては、主としてヨーロッパにおけるネーション・ステイトの形成過程を概観する。

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

谷川稔『世界史リブレット35 国民国家とナショナリズム』(山川出版社)

なだいなだ『民族という名の宗教 人をまとめる原理・排除する原理』(岩波新書)

アーネスト・ゲルナー著、加藤節訳『民族とナショナリズム』(岩波書店)

E.L.ホブズボーム著、浜林正夫訳『ナショナリズムの歴史と現在』(大月書店)

ベネディクト・アンダーソン著、白石さや・白石隆訳『想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』(NTT出版)

アンソニー・スミス著、巢山靖司訳『二〇世紀のナショナリズム』(法律文化社)

エティエンヌ・バリバル、イマニユエル・ウォーラスティン著、若森章孝訳『人種・国民・階級 揺らくアイデンティティ』(大村書店)

ミシェル・ヴィノック著、川上勉訳『ナショナリズム・反ユダヤ主義・ファシズム』(藤原書店)

アンソニー・ギデンズ著、松尾精文訳『国民国家と暴力』(而立書房)

政治学 / 政治学 (秋学期分)
「東アジアにおけるネーション・ステイト (国民国家) の形成とナショナリズム」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】 阿南 友亮

【授業科目の内容】

19世紀以降、東アジアにおいてネーション・ステイトの概念はどのように受容され、実際にネーション・ステイトはいかにして形成されたのか。また、その過程でいかなるナショナリズムが生まれたのか。こうした問題について主として中国の例を中心に概観する。それを踏まえて、今日の日本あるいは中国におけるナショナリズムの問題について考察する。

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

古田元夫『世界史リブレット42 アジアのナショナリズム』(山川出版社)

富永健一『日本の近代化と社会変動』(講談社学術文庫)

西川長夫、松宮秀治編『幕末・明治期の国民国家形成と文化変容』(新曜社)

小熊英二『単一民族神話の起源』(新曜社)

橋川文三『ナショナリズム その神話と論理』(紀伊国屋書店)

土屋健治編『講座現代アジア1 ナショナリズムと国民国家』(東京大学出版会)

中兼和津次編『講座現代アジア2 近代化と構造変動』(東京大学出版会)

西村成雄『中国ナショナリズムと民主主義』(研文出版)

吉澤誠一郎『愛国主義の創成 ナショナリズムから近代中国を見る』(岩波書店)

古厩忠夫「従属地域における国民国家形成ー中国とトルコの国民革命」歴史学研究会編『講座世界史6必死の代案』(東京大学出版会)

アレン・ホワイティング著、岡部達味訳『中国人の日本観』(岩波書店)

政治学 / 政治学 (春学期分)

「統治と自治」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】 小野 修三

【授業科目の内容】

今日の国民国家 (nation state) の基礎を成している諸条件に関して、「統治と自治」の観点から、歴史的な解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントはstateという言葉の当初の意味である。ブルクハルトはその『イタリア・ルネサンスの文化』(1860年)のなかで、マキャベリにおいては「支配者と、それに付随するものをいっしょにして、lo statoと呼ぶ。そしてこ

の名称はやがて不当にも、一つの領土全体を意味することになる」という一節を、理解することから、この政治学の時間は始まる。

【教科書】

無

【参考書】

篠原一『ヨーロッパの政治』(東大出版会)、高島通敏編『現代市民政治論』(世織書房)

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「国家と社会」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】 小野 修三

【授業科目の内容】

今日の国民国家 (nation state) の基礎を成している諸条件に関して、「国家と社会」の観点から、ヨーロッパ史上の出来事を材料に、解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントは国家という言葉の当初の意味である。篠原一がその『ヨーロッパの政治』(1986年)のなかで、16世紀の「国家はのち、市民革命の発生とともに生まれた国民国家と同一のものではなく、国王を中心とした中央機構の成立を意味するにすぎない」と述べた、その一節を理解することから、この政治学の時間は始まる。

【教科書】

無

【参考書】

篠原一『ヨーロッパの政治』(東大出版会)、高島通敏編『現代市民政治論』(世織書房)

政治学 / 政治学 (春学期分)

「日本の対外関係」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】 小野 直樹

【授業科目の内容】

現在の世界政治を理解するために必要な基本的な問題を国際関係論の考え方を使いながら検討する。前期は、日本の対外関係に関わる諸問題を国家を中心的な視点として検討する。

【教科書】

特に指定しないが、関連する文献については講義の中で紹介する。

【参考書】

有賀、宇野他 編、『講座 国際政治 4 日本の外交』、東京大学出版会、1989年

同、『講座 国際政治 5 外交政策』、東京大学出版会、1989年

五百旗頭眞、『日本政治外交史』、放送大学教育振興会、1980年

編、『戦後日本外交史』、有斐閣、1999年

池井優、『増補 日本外交史概説』、慶應通信、最新版

入江昭、『日本の外交』、中央公論社、1966年

同、『新・日本の外交』、中央公論社、1991年
 衛藤、渡辺他 編、『国際関係論』、東京大学出版会、1982年
 加藤祐三、『幕末外交と開国』、ちくま書房、2004年
 木村昌人、増田弘、『日本外交ハンドブック』、草野厚、梅本哲也 編、『現代日本外交の分析』、東京大学出版会、1995年
 佐藤英夫、『対外政策』、東京大学出版会、1989年
 田中明彦、『安全保障』、読売新聞社、1997年
 西川吉光、『日本の外交政策』、学文社、2004年
 野林健 他、『国際政治経済論』、有斐閣、2003年
 花井等、『新外交政策論』、東洋経済新報社、1998年
 細谷千博、『日本外交の軌跡』、日本放送出版協会、1993年
 増田弘、『日米関係史概説』、南窓社、1977年
 渡辺昭夫 編、『戦後日本の対外政策』、有斐閣、1985年
 同、編、『現代日本の国際政策』、有斐閣、1997年

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「現代世界政治の主要問題：東アジア、世界と日本」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 小野 直樹

【授業科目の内容】

現在の世界政治を理解するために必要な基本的な問題を国際関係論の考え方を使いながら検討する。後期は、日本にとって今後ますます重要となる東アジア地域との関係を軸として21世紀の世界政治の基本問題について考える。

【教科書】

特に指定しないが、関連する文献については講義の中で紹介する。

【参考書】

青木健・馬田啓一 編著、『APEC-アジア太平洋の新しい地域主義』、日本評論社、1995年
 泉昌一・佐藤栄一 編、『冷戦後アジア環太平洋の国際関係』、三嶺書房、1999年
 小此木、小島(編著)、『東アジア危機の構図』、東洋経済新報社、1997年
 小原雅博、『東アジア共同体』、日本経済新聞社、2005年
 鴨武彦、『ヨーロッパ統合』、日本放送出版協会、1992年
 加藤朗、『テロ』、中央公論新社、2002年
 菊池努、『APEC』、日本国際問題研究所、1995年
 P.R. クルグマン, M. オブズフェルド、『国際経済 理論と政策 1 国際貿易』、新世社、1996年
 小島清、『続・太平洋経済圏の生成』、1990年、文真堂
 佐々木潤、『一体化する北米経済』、日本貿易振興会、1994年
 中川信義編、『アジア・北米経済圏と新工業化』、東京大学出版会、1994年

田中俊郎、『EUの政治』、岩波書店、1998年
 D. ヘルド、A. マッグルー、『グローバル化と反グローバル化』、日本経済評論社、2003年
 細野昭夫、『APECとNAFTA』、有斐閣、1995年
 丸山・佐護・小林(編著)、『アジア経済圏と国際分業の進展』、ミネルヴァ書房、1999年
 最上敏樹、『国連とアメリカ』、岩波書店、2005年
 山影進、『ASEAN』、東京大学出版会、1988年

政治学 / 政治学 (春学期分)

「政治現象理解のために(国内政治編)」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 粕谷 祐子

【授業科目の内容】

現代の政治現象を構造的に、かつ複眼的視点をもって理解したい人のための入門的講義。春学期は国内政治(domestic politicsであり、Japanese Politicsではありません)に焦点をあて、有権者・政治家や利益団体の行動、政治制度の機能、公共政策の決定過程などを理解するための分析道具を提供します。具体的には、これらの政治現象に関し、政治学においてなにが研究され、どのようなものの見方が存在し、なにが研究者間の通説として確立しているのか、そして、一般理論をどのように個々の現実政治分析に応用できるのか、に焦点をあます。特定の国の政治解説はしませんが、理論や分析枠組みの説明をよりわかりやすくするため、あるいは理論の応用力をつけるための事例として、日本の政治を中心に世界各地の政治に言及する予定です。政治思想、政治史は本講義の対象外なので、これらの分野に興味のある学生の受講は勧めません。本講義を通じ、現在進行形で起こっている世界各地の政治現象を批判的に考察する能力を身につけてもらうことが目標です。

【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページ(<http://homepage3.nifty.com/yukokasuya/>)よりダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「政治現象理解のために(国際政治経済編)」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 粕谷 祐子

【授業科目の内容】

現代の政治現象を構造的に、かつ複眼的視点をもって理解したい人のための国際政治経済学に焦点をあてた入門的講義。国際政治経済学は、「政治」と「市場」の相互作用を分析する国際関係論の一分野です。より具体的には、政治が市場に対しなぜ、どのように介入するのか、そして、市場は政治家の行動や政策にどのように影響するのか、を考察します。本講義では、国際政治経済学の

主要なテーマに関する重要な概念、分析枠組み及び理論の紹介、そしてそれらの現実への応用方法を解説します。国際政治史上のできごとそのものは本講義の中心的関心ではありませんが、理論的考察に必要な範囲で紹介いたします。本講義を通じ、現在進行形でおこっている国際政治経済現象を批判的に考察する能力を身に付けてもらうことが目標です。

【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページ (<http://homepage3.nifty.com/yukokasuya/>) よりダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

政治学 / 政治学 (春学期分)

「権力からみた政治」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 加地 直紀

【授業科目の内容】

政治とは、権力を獲得・維持し、あるいは行使する権力闘争である。このように定義すると、権力は政治を分析するための重要なキーワードであることがわかる。春学期は権力を中心に講義する。権力を正当性の観点から説明し、次いで権力の暴走を防ぐための手段である民主主義の原理・原則について解説した上で、最後に権力を行使する政治家を正当化する儀式である選挙について検討する。説明する際には、できるだけ具体的に行う。折にふれ、時事問題に言及する。

【教科書】

中村勝範編『主要国政治システム概論 改訂版』(慶應義塾大学出版会、2005年6月)

【参考書】

なし。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「制度からみた政治」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 加地 直紀

【授業科目の内容】

政治とは、権力を獲得・維持し、あるいは行使する権力闘争である。春学期の政治学では、権力を中心に政治学の総論に当たる事象を説明したが、本講義では、各国の政治制度を概観しながら、国家により権力の暴走を防ぐ手段が異なることや、かかる相違がその国家の歴史・文化・伝統・慣習に由来することを説明する。春学期同様、説明する際には、できるだけ具体的に行う。折にふれ、時事問題に言及する。

【教科書】

中村勝範編『主要国政治システム概論 改訂版』(慶應義塾大学出版会、2005年6月)

【参考書】

なし。

政治学 / 政治学 (春学期分)

「アフリカの政治」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 加茂 省三

【授業科目の内容】

日本にとってアフリカは遠き大陸であるが、その重要性は年々高まっている。日本政府によるTiCAD(東京アフリカ開発会議)の開催がその代表例であろう。その一方で、我々はアフリカを知る機会は少ない。それは、アフリカにニュースがないからでなく、アフリカをニュースにしないからである。この授業では、そのようなアフリカの政治・経済を初学者にわかりやすく講義します。スライドやビデオを用いて、受講者の理解を深めます。

【教科書】

特になし。

【参考書】

小田美郎編『アフリカ』自由国民社、1998年。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「フランスの政治」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 加茂 省三

【授業科目の内容】

日本ではフランスは文化大国としてのイメージが強いですが、フランスは政治大国です。そこで、受講者のみなさんには、政治大国としてのフランスを「共和国」という側面から学び、フランスが独自に築いてきた政治的な特性を学ぶことを本授業の目的とします。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中に適宜指示。

政治学 / 政治学 (春学期分)

「戦後日本政治を理解する基礎」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 河野 武司

【授業科目の内容】

戦後日本政治の展開を歴代内閣の業績と選挙結果を通して解説し、さらにはそれらに関連する政治学の基礎知識を適宜紹介することで、学生諸君の現代日本政治のこれまでの展開を理解する目を養うことが本講義の目的です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

・石川真澄『戦後政治史』(岩波新書、1995年、780円)、その他適宜紹介します。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「現代日本政治を理解する基礎」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 河野 武司

【授業科目の内容】

現代日本政治における様々なトピックスについて、現実と理論とを織り交ぜながら解説することを通して、学生諸君の現代日本政治に関する理解を深めることが本講義の目的です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

- ・小林良彰『現代日本の政治過程』(東京大学出版会、1997年)。
 - ・河野武司他編『利益誘導政治』(芦書房、2004年)。
 - ・北山俊哉・真淵勝・久米郁男『新版 はじめて出会う政治学』(有斐閣、2003年)。
- その他適宜紹介します。

政治学 / 政治学 (春学期分)

「徳富蘇峰とアメリカ 日露戦争まで」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰(1863~1957年)は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。その言動を検証することによって、近代日本人の典型的なアメリカ認識が引き出せるのではないかと考えられる。春学期は、蘇峰が誕生してから日露戦争(1904~05年)に至るまでの時期をとり上げ、その中で蘇峰ひいては明治の日本人がアメリカといかに格闘したか、当時の時代背景を見ながらその軌跡を追ってみたい。

【参考書】

沢田次郎『近代日本人のアメリカ観 日露戦争以後を中心に』(慶應義塾大学出版会、1999年)

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「徳富蘇峰とアメリカ 日露戦争以後」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰(1863~1957年)は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。その言動を検証することによって、近代日本人の典型的なアメリカ認識が引き出せるのではないかと考えられる。秋学期は、日露戦争(1904~05年)から太平洋戦争(1941~45年)とその後に至るまでの時期をとり上げ、その中で蘇峰ひいては明治、大正、昭和の日本人がアメリカといかに格

闘したか、当時の時代背景を見ながらその軌跡を追ってみたい。

【参考書】

沢田次郎『近代日本人のアメリカ観 日露戦争以後を中心に』(慶應義塾大学出版会、1999年)

政治学 / 政治学 (春学期分)

「国際政治入門」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 細谷 雄一

【授業科目の内容】

本講義では、現代の国際政治の構造を理解することを目的とする。9.11テロ事件以来、21世紀に入って国際社会は混沌とし、混迷を続けている。そして、圧倒的なアメリカの力と、宗教的な対立に直面し、われわれは旧来の国際社会が大きく変容していると語っている。それでは、何がどのように変わりつつあるのか。そのような問題意識を前提として、国際政治の多様な問題を扱い、それぞれ領域での基本的な理解を深めたい。

【教科書】

細谷雄一・矢澤達宏編『国際学入門』(創文社)

【参考書】

田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』(有斐閣)

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』田中明彦・村田晃嗣訳(有斐閣)

原形久編『国際関係学講義〔新版〕』(有斐閣)

基本的な参考文献については、テキストの『国際学入門』にある読書案内を参照のこと。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「国際政治の歴史 イギリス外交と国際体制」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 細谷 雄一

【授業科目の内容】

本講義では、ナポレオン戦争から現在に至るまでの国際政治の歴史を、イギリス外交の視座から検討することになる。イギリスは、ナポレオン戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦と三度の世界戦争で戦勝国となった。また、ウィーン体制における「欧州協調」、ヴェルサイユ体制における国際連盟、第二次世界大戦後の国際連合といずれにも中心的な大国として関与して、新しい国際体制を構築し維持する上で重要な役割を担った。しかし冷戦体制下では、米ソ二つの超大国の狭間で、世界に広がる植民地を失い影響力を衰退させてきた。このような視座から、過去200年の国際政治の歴史を振り返り、国際体制についての理解を深めることを目指す。

【教科書】

佐々木雄太・木畑洋一編『イギリス外交史』(有斐閣)

【参考書】

細谷雄一『大英帝国の外交官』(筑摩書房)

細谷雄一『外交による平和』(有斐閣)
 渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』(有斐閣)
 キッシンジャー『外交(上・下)』岡崎久彦監訳(日本経済新聞社)
 クレイグ=ジョージ『軍事力と現代外交』木村修三他訳(有斐閣)
 ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』田中明彦・村田晃嗣訳(有斐閣)
 石井修『国際政治史としての二 世紀』(有信堂)

政治学 / 政治学(春学期分)

「なぜ政治が必要か? 理論と実際」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法商医理】 増山 幹高

【授業科目の内容】

本講義では、なぜ政治が必要なのかという問題設定から、春学期では政治的決定を理解する理論的枠組みを提示し、秋学期ではそうした枠組みから日本政治の実際を把握していきます。具体的には、政治を理解するアプローチの一つとして、集合的選択や民主主義、選挙の理論について初歩的な解説を行い、そうしたアプローチから現代日本の政治的実態を理解できるようにし、政治学的な思考方法を習得する第一歩となることを本講義では目指します。

【教科書】

平野浩・河野勝『アクセス日本政治論』日本経済評論社(2003年、2,800円)

【参考書】

村松岐夫ほか『日本の政治〔第二版〕』(有斐閣、2,000円)
 真淵勝ほか『はじめて出会う政治学：フリー・ライダーを超えて』(有斐閣、1,800円)
 伊藤光利『ポリティカル・サイエンス事始め・新版』(有斐閣、1,900円)
 小林良彰『選挙・投票行動』(東京大学出版会、2,500円)
 森脇俊雅『集団・組織』(東京大学出版会、2,500円)
 宇佐美誠『決定』(東京大学出版会、2,500円)

政治学 / 政治学(秋学期分)

「なぜ政治が必要か? 理論と実際」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法商医理】 増山 幹高

【授業科目の内容】

本講義では、なぜ政治が必要なのかという問題設定から、春学期では政治的決定を理解する理論的枠組みを提示し、秋学期ではそうした枠組みから日本政治の実際を把握していきます。具体的には、政治を理解するアプローチの一つとして、集合的選択や民主主義、選挙の理論について初歩的な解説を行い、そうしたアプローチから現代日本の政治的実態を理解できるようにし、政治学的な思考方法を習得する第一歩となることを本講義では目

指します。

【教科書】

平野浩・河野勝『アクセス日本政治論』日本経済評論社(2003年、2,800円)

【参考書】

村松岐夫ほか『日本の政治〔第二版〕』(有斐閣、2,000円)
 真淵勝ほか『はじめて出会う政治学：フリー・ライダーを超えて』(有斐閣、1,800円)
 伊藤光利『ポリティカル・サイエンス事始め・新版』(有斐閣、1,900円)
 小林良彰『選挙・投票行動』(東京大学出版会、2,500円)
 森脇俊雅『集団・組織』(東京大学出版会、2,500円)
 宇佐美誠『決定』(東京大学出版会、2,500円)

政治学 / 政治学(春学期分)

「日本の有権者意識からみた政治学」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法商医理】 三船 毅

【授業科目の内容】

本講義の目的は、政治学の基礎概念を整理・習得し、受講者各人が現代政治を理解できる能力を形成することにある。講義内容は政治学の基礎概念を整理しつつ、現代日本における有権者の政治意識から日本政治が如何なる政治過程を形成しており、そのどこに問題点が存在するのかを詳説する。現代の代議制民主主義は、その根幹に有権者による選挙・政治参加がある。本講義では、有権者の政治行動を形成する政治意識や政治制度・政党などから、現代の民主主義政治を解明していく。

【教科書】

小林良彰 編 (2005年)『日本における有権者意識の動態』慶應義塾大学出版会

政治学 / 政治学(秋学期分)

「日本の有権者意識からみた政治学」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法商医理】 三船 毅

【授業科目の内容】

本講義の目的は、政治学の基礎概念を整理・習得し、受講者各人が現代政治を理解できる能力を形成することにある。講義内容は、政治学の基礎概念を整理しつつ、現代日本における有権者の政治意識から日本政治が如何なる政治過程を形成しており、そのどこに問題点が存在するのかを詳説する。現代の民主主義は、国家と地方自治体の複雑な関係から形成される。しかし、いずれにしてもその根幹には有権者による選挙・政治参加がある。本講義では、有権者の政治行動を形成する政治意識・価値観や政治制度・政党、マスメディアなどから、現代の民主主義政治を解明していく。

【教科書】

小林良彰 編 (2005年)『日本における有権者意識

の動態』慶應義塾大学出版会

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分) /
生物科学（実験を含む）(春学期分)

「ニュースの中の生物学」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。BSEと狂牛病の問題、鳥インフルエンザ問題、遺伝子鑑定、遺伝子組み替え食品などの遺伝子関連の話題、クローン、臓器移植、代理母、ガンやエイズなどの病因解析、さまざまな環境問題などなど、これらの話題は専門家のみならず、現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらのトピックを各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、映像資料や教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。講義の始めに、年間授業予定を検討しますので皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

【教科書】

「生きているってどういうこと」種田保穂・秋山豊子 共著 培風館（近刊）

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期分) /
生物科学（実験を含む）(秋学期分)

「ニュースの中の生物学」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。BSEと狂牛病の問題、鳥インフルエンザ問題、遺伝子鑑定、遺伝子組み替え食品などの遺伝子関連の話題、クローン、臓器移植、代理母、ガンやエイズなどの病因解析、さまざま

な環境問題などなど、これらの話題は専門家のみならず、現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらのトピックを各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、映像資料や教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。講義の始めに、年間授業予定を検討しますので皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

【教科書】

「生きているってどういうこと」種田保穂・秋山豊子 共著 培風館（近刊）

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分) /
生物科学（実験を含む）(春学期分)

「ヒトはどのあたりまで遺伝子に支配されているか？」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。だからといって文系学部の皆さんにとって、知らなくて良いものであるわけがありません。これらの技術は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生きてゆく時に求められる判断の材料に必要と考えられるからです。講義では遺伝や遺伝子の仕組みについて、基礎から解説することが中心になりますが、それが我々ヒトにとってどのような意味を持ち、将来どのような判断を迫られる可能性があるのかについても解説を加えます。実験では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『調査・研究レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期分) /
生物科学（実験を含む）(秋学期分)
「ヒトの高次生命現象を『遺伝子』で斬る」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】

小野 裕剛

【授業科目の内容】

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。だからといって文系学部の皆さんにとって、知らなくて良いものであるわけがありません。これらの技術は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生きてゆく時に求められる判断の材料に必要と考えられるからです。最近特に話題になる遺伝子診断（着床前診断）、移植医療、環境ホルモン、エイズ、アレルギー、BSE、アルツハイマーなどの高次生命現象を取り上げて、「遺伝子」という切り口から解説を加えていきます。実験では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『調査・研究レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分) /
生物科学（実験を含む）(春学期分)

「ヒトの生命活動」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】

金谷 信宏

【授業科目の内容】

ヒトは生きている間に様々な生命活動を行っている。ヒトは空腹になると食物を食べる。食物は消化され、分解されてエネルギーが生成される。そのエネルギーを使いヒトは運動することができるし、体の一部をつくり成長させることができるのである。これらの生命活動は細胞という、生命の基本単位で行われる。細胞の核にはDNAという高分子化合物が存在していて、その一部は遺伝子という、生命の設計図になっている。それは生殖により子孫に伝えられていくのである。このようなヒトの生命活動を生物学的に理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容の理解を深めるために、細胞の観察、細胞運動の観察、DNA模型作製、DNAの抽出、体細胞分裂などのテーマで隔週行われる。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業の時に紹介する。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期分) /
生物科学（実験を含む）(秋学期分)

「環境因子の生物への影響」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】

金谷 信宏

【授業科目の内容】

今日、地球環境の悪化は深刻な問題になっている。フロンがオゾン層を破壊することにより、地上に到達する有害紫外線量が多くなり植物の生育が阻害され、ヒトの皮膚がんが増えると予想されている。アスベストによる肺がん増加、ダイオキシンなどの環境ホルモンの生殖細胞への影響も懸念されている。このような様々な環境因子が生物に対してどのような影響を及ぼすのか、また生物はそれにどのように対応しているのかを理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容と関連するテーマで隔週行われる。浸透圧と原形質分離、気孔の観察、酵素反応、ヒトの染色体、発がん物質による染色体異常の観察などを予定している。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業の時に紹介する。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分)

「どうして私たちは、今ここにいるのか？：生物の進化」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】

金子 洋之

【授業科目の内容】

あなたたちは、「自分がどうして今ここにいるのか？」といった疑問を持ったことがあるだろうか？この問いは、現在、そして未来を生きていくあなたたちに、生物としての自分、そして自身の存在意義を考えさせることに繋がる大変重要なテーマである。何故なら、あなたたちの身体には、生物進化の歴史が刻まれており、両親の愛の結晶として生まれてきたといった個人レベルを越えた約38億年もの時間があなたたちの背景に存在している。この様な壮大な時間軸を背負っていることを明確に意識すれば、急速に変化を遂げている社会に個人としての尊厳無しに埋没させられがちな状況、対人関係などの些細な悩みに、全く別の視点（知的根拠）を持って立ち向かえると考えられる。さらに、あなたたちは人間社会のみでなく、地球家族の一員でもあり、ヒトのみが行うようになった自然破壊の危険を本当に自覚できるようになると思われる。

生物進化を少し紐解いてみたい。地球が46億年前に誕

生し、細胞のプロトタイプが出来てきたのが38億年前。現在のバクテリアのような生き物であったと考えられている。そのうちにあるものは酸素を排出し、またあるものは酸素を利用するシステムを獲得し、約20億年といった気が遠くなるような膨大な時間をかけて、現在のあなたたちを構成する細胞と似たものになってきた。最初は、これらの生き物（細胞）は個々に生活していたが、そのうちに互いが集合し、協調して生活する状態の多細胞生物が現れた。約18億年前のことである。多細胞生物は多様な形や生活様式を可能にするようになったと思われ、5億3000万年前のカンブリア紀と名付けられている時期では、約1万種とも推測される「かたち」の創出を試みた生き物たちが海の中に生存していた。そのうちの1種、ピカイアは私たちの先祖であり、他の多くの種は滅んでいった。やがて海から川を經由して、魚の一部が陸に上がり、最初は水部で生活していたが、代謝システムを発達させ、次第に陸の奥深くまで進出していった。

繁栄を窮めた恐竜の中で冴えない連中が哺乳類への進化を遂げた。この過程でも、多くの生き物は絶滅し、ほんの一部が地球環境の変化の荒波に偶然生き残り、リスからサルへ、そしてヒトへと分かれていった。地球46億年の歴史の中で、カンブリア紀以降の進化は加速している。現在の地球上に見られる多種多様な生き物は、絶滅の危機を回避しているものであるが、ヒトはその1種にしか過ぎない。

本講義では、生物進化に軸足を置き、「どうして私たちは今ここにいるのか？」というテーマで自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

M.ホーグランド『Oh 生きもの!』（三田出版会）
石原勝敏他『目でみる生物学』（培風館）

生物学（実験を含む）/

生物学（実験を含む）(秋学期分)

「私っていったい何? : 生物としての身体の成り立ち」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

金子 洋之

【授業科目の内容】

多かれ少なかれ、あなたたちは自分の身体について何らかの興味を持ったことはあるだろう。しかし、それは自身が病気の時であったり、マスクミが何らかの形で紙面を賑わしていたりする時のみであったりするのかもしれない。もう少し幅を広げた視点から、生き物としての自分を学んでみると、あなたたちは如何に精緻な生き物であるかに驚かされると思う。そして、その理解は己の

潜在的な能力だけでなく、逆にその脆さをも、日々の生活の中で意識させることに繋がると考えられる。それゆえ、これらの知識は、あなたたちに個人としての自立のための知的根拠を提供する。

講義内容を少し紹介してみよう。あなたたちの身体の構造は、クラゲの身体が2段階ほど複雑になっただけである。またそのボディプランは、ハエやヒトデと一緒にある。一方、脊椎動物でもあるあなたたちは、無脊椎動物の生体防御システムを踏襲しながら、日吉と三田のバクテリアを識別して攻撃できる精密な防御システムを備えており、親兄弟での移植手術も不可能なことが多い程の生き物としての独自性を持っている。さらに脊椎動物でも最大に発達したあなたたちの脳は、本能的な、そして崇高な愛を遂行する器官であり、思考を介しての柔軟な記憶回路をも備えている。約60兆個もの細胞から成るあなたたちの身体には、機能的な無駄もあることは分かっているが、細胞どうしが協調し、互いに連携を行う効率性の高いシステムを完備した芸術品であることに気付かれることだろう。

本講義では、「私っていったい何?」というテーマのもと、自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。

具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

M.ホーグランド『Oh 生きもの!』（三田出版会）
石原勝敏他『目でみる生物学』（培風館）

生物学（実験を含む）/

生物学（実験を含む）(春学期分)

「生物多様性をまなぶ」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

岸 由二

【授業科目の内容】

時代は自然と共存する持続可能な未来を目指して文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として進化論の視野を基礎としつつ、微生物、植物、動物、ヒトにわたる多様多彩な生物の特性をまなぶ。講義と隔週で実施される実験では多様な生きものにふれ、理解する機会を提供する。

【教科書】

なし

【参考書】

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期分)
「地球環境危機と生態系」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 岸 由二

【授業科目の内容】

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として地球環境危機を主体的・構造的に理解するための基本ツール、ならびに生態系に関する基本的な理解を提供する。講義と隔週で実施される実験では身近な機会を活かして生物多様性と生態系の姿にふれる。

【教科書】

なし

【参考書】

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分)
「科学技術・生殖技術と人間」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 長沖 暁子

【授業科目の内容】

生物・の講義と実習を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知ることがテーマにします。春学期は性と生殖をめぐる問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

【教科書】

使いませんが、必要に応じて資料・プリントを配布します。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期分)
「環境と人間」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 長沖 暁子

【授業科目の内容】

生物・の講義と実習を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知ることがテーマにします。秋学期は地球の歴史とヒトの誕生、環境問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

【教科書】

使いませんが、必要に応じて資料・プリントを配布し

ます。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分)
「誕生と死をめぐる先端生命技術」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 中島 陽子

【授業科目の内容】

ヒトの遺伝子は二万個余りといわれています。私たちのこの精巧な体はマウスとほぼ同じタンパク質という有能な部品で作られ運営されているということです。遺伝子研究の進展は、遺伝子の異常が病気の原因となることも明らかにしました。私たちは発病前にその病気になる可能性を知ることができる水晶玉を手に入れたのです。治療法の無い病になると予告されて生きねばならない人の想いは如何ばかりでしょう。この水晶玉は生まれてくる子の未来も予測できます。子供がほしいカップルのための体外受精の技術を組み合わせると病気の可能性の低い受精卵を選んで妊娠することも、さらにはまたその遺伝子を加工することも可能となります。命の選別という人間性の未来にかかわる課題をはらむ技術をわれわれは手にしているのです。

生命技術の発展はまた、病気の治療法の一つとして、壊れたパーツを入れ替えるように病んだ臓器を取り替える臓器移植も可能にしました。「命のリレー」として脳死体からの移植臓器の提供が期待されています。しかし、脳死体はヒトの生とは、死とは、死のときとはなど、尽きぬ問題を提起しています。一方、移植技術の普及向上による恒常的な臓器不足への対策、脳死という他人の死を期待しないですみ、拒絶反応も避けられる胚性幹（ES）細胞から任意の臓器を分化させる技術に熱い視線が注がれています。しかしそのもととなる細胞は将来ヒトとなりうる『胚』に由来します。

有性生殖をするわれわれにとって死は必然です。誕生と死にかかわるこれらの先端生命技術は私たちの生活のあらゆる場面に深く入り込み、相互に複雑に絡み合っています。この授業が目指していることの一つは、柔軟な目で物事を多面的に見ることができるようになるということです。先端生命技術の理解と受容、さらには自己決定について、ともに考えていきたいと思っています。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

講義参考プリントの配布、参考書籍類の紹介を随時する予定です。

[現代生命科学入門] 小比賀・中島著 慶応大学出版（講義の構成と直接リンクはしませんが、現代社会で避けて通れない生命科学技術の理解のための解説読み物として紹介します。）

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期分)

「いま地球に生きる」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 中島 陽子

【授業科目の内容】

生命の仕組みを学ぶことは、人間はヒトという生物の一種であるということに改めて気づかせてくれるはずで
す。どんなに進んだ技術を以ってしても私たちの生物学的側面を切り離すことはできません。38億年の生命の歴史を受け継いで、今ここに生きる私たちは、相互に深く
かかわりあいながら未来に命を引き継いでいく生き物たちの一員です。このことを認識することが、いま世界が抱えている環境問題や生命倫理を解く鍵になるのではないかと考えます。

講義は『いま地球に生きる』というテーマで、地球の歴史、生物の歴史の中で人類はどのような位置を占めているのか、ヒトを人たらしめている脳の仕組み、その人類は自然からどのような制約を受け自然環境へどのような影響を与えているのかを考えていきます。

生きているうちには病むこともあります。確かに人はヒトという生物種ですが、病の苦しみはその生物学的側面からだけでは理解しきれないでしょう。たとえば、エイズについて原因ウイルスや免疫システムについて知ること大切ですが、否応無くそのウイルスにさらされてしまう人たちのいる社会の問題にまで目配りをしてはじめて、この病気の理解に近づいたことになるのではないのでしょうか。日本では薬害エイズで幼い子供が命を失いました。これは、血友病の治療薬がエイズウイルスに汚染されていた、それを未然に防げなかったためにおきた悲惨な事件です。愛するわが子の命を助けようと血液凝固剤を注射したお母さんは、自分の手で自分の息子の体内にエイズウイルスを送り込んでいたということになるのです。この授業が目指していることの一つは、柔軟な目で物事を多面的に見ることができるようになるということです。『病の苦しみは社会が作る』という章は、そのお母さんの口惜しさにまで想いを致して見ることを目指しています。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

講義参考プリントの配布、参考書籍類の紹介を随時する予定です。

[現代生命科学入門] 小比賀・中島著 慶応大学出版
(講義の構成と直接リンクはしませんが、現代社会で避けて通れない生命科学技術の理解のための解説読み物として紹介します。)

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分)

「ヒトに見る生物学」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 長谷川由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられ、文系の人たちにとっても無関心ではいられなくなってきました。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期分)

「ヒトに見る生物学」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 長谷川由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられ、文系の人たちにとっても無関心ではいられなくなってきました。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期分)

「生命のしくみを探る（遺伝子から見た生命）」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解説がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。バイオの知識と技術が我々に恩恵をもたらす一方で、「何をどこま

でやるか」ということが大きな問題となっている。これからの時代においては、「生命とは何か」という本質的な問いかけに一人一人が真剣に向き合い、自分の“生命観”を持つことが必要になる。そこで本講義では、生命の設計図である遺伝子DNAの構造・機能を踏まえた上で、生命のしくみを分りやすく解説する。また、遺伝子DNAに関する応用技術・トピックなど、生物学や医学の興味深い話題も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生物学（実験を含む）/
 生物学（実験を含む）(秋学期分)
 「生命のしくみを探る（遺伝子から見たヒト）」
 3単位 秋学期
 6単位 通年
 福澤 利彦

【文経法政商】

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。このような時代だからこそ、「生命とは何か」「ヒトとは何か」といった、根源的な問題を生物学的に考えることが重要になっている。そこで本講義では、ヒトに関するさまざまな生命現象をとりあげ、ミクロレベル・マクロレベル・進化的観点から多角的に考察し、分りやすく解説する。また、遺伝子が関係する身近な病気やトピックなど、我々の健康に関する有用な情報も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生物学（実験を含む）/
 生物学（実験を含む）(春学期分)
 「生物の多様な世界」
 3単位 春学期
 6単位 通年
 福山 欣司

【文経法政商】

【授業科目の内容】

未知種も含めると地球上に暮らす種（species）の数は一千万から三千万種に達するのではないかとされています。これらの種は、程度の差はあるものの、お互いに異なった形態と異なった生活手段を持っています。言

うならば、生物の世界には三千万通りもの多様な形態や生活様式があるわけです。

この授業では、こうした生物の多様性がどのように進化してきたかを理解することを目的とします。内容的には、細胞レベルの現象にはあまり踏み込まず、個体レベルや集団レベルと言った、いわゆる「生き物まるごと」を扱うような授業になります。授業は、講義と実習を隔週で行います。実習では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

生物学（実験を含む）/
 生物学（実験を含む）(秋学期分)
 「生態系とその危機」
 3単位 秋学期
 6単位 通年
 福山 欣司

【文経法政商】

【授業科目の内容】

生物と環境あるいは生物間の調和のとれた関係を生態学（ecology）的視点から理解することを目的とします。また、生物の世界に与える人間活動の影響という観点から地球環境問題についても考えてみたいと思います。授業は、講義と実習を隔週で行います。講義では、通常の講義以外に新聞などを材料に今日的な話題を取り上げ、グループ発表を行います。実習では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

生命現象の分子科学
 2単位 秋学期
 【商理】
 柳川 弘志

【授業科目の内容】

現在の生物では遺伝情報の流れは、DNA RNA（リボ核酸）タンパク質となっている。これはセントラルドグマ（中心教義）と呼ばれている。DNA の情報がいったんmRNA（メッセンジャーRNA）に転写され、それからその情報がタンパク質に翻訳される。情報は核酸が、機能はタンパク質が担っている。核酸はタンパク質の働きによってつくれ、そのための情報は核酸がもっている。どちらが先に出現したのだろうか。本講では、分子生物学の立場から、生命の基本的な性格や特徴、仕組み、セントラルドグマ、生命の起源や化学進化、タンパク質と酵素の働き、RNAの基本的な性質とRNA触媒、進化分子工学、ゲノムと医療などについて、基礎から先端分野まで解説する。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

配布プリント

柳川弘志著『遺伝子情報は人類に何を問うか』ウエッジ選書、ウエッジ

柳川弘志（共著）『新しい地球史・46億年の謎』有隣堂

柳川弘志著（共著）『地球惑星科学入門』岩波講座・地球惑星科学第1巻、岩波書店

生命の科学

「生命科学の最前線の現況と問題」 2単位 春学期

【文経商医】 竹内 勤 秦 順一

*医学部生は履修できません 岡野 栄之 相磯 貞和

末松 誠 大前 和幸

小安 重夫 池田 康夫

鹿島 晴雄

【授業科目の内容】

最近の生命科学の進歩には著しいものがあるが、それにつれて人文、社会科学などとの接点が次第に複雑、多面化しつつある。従って、相互の理解を推進することは益々重要になってきている。このような状況に鑑み、本科目においては現在の生命科学のうち最も先端的なテーマを選定し、人文、社会、理工など他領域との接点に配慮しながら、医学部の専門研究者が平易な解説を行う予定である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

世界の政治

「グローバル化する世界と日本」 2単位 春学期

【経商医理】 明田ゆかり

【授業科目の内容】

グローバリゼーションの進行は、安全保障や経済的繁栄の追及における多国間協力の必要性を高める一方で、世界各地での地域主義の増大を招いています。この講義では今日の国際関係におけるこの多国間主義と地域主義の関係を理解し、またそれに対する日本のこれまでの政策と今後の戦略についての理解を深めることを目的としています。第1部では集団安全保障の枠組みである国連（UN）、第2部では多国間の貿易レジームである世界貿易機関（WTO）、そして第3部では地域統合の代表である欧州連合（EU）およびアジアにおける地域主義を扱い、それぞれにおける日本の立場を解説します。

講義ではパワーポイントと教材提示装置を用い、毎回講義のハンドアウトを配布します。さらに必要に応じてビデオ、インターネットを活用します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

藤原帰一・他 [編] 『国際政治講座』1-4（東京大学出

版会、2004年、各2625円）

テーマ毎の参考書は毎回配布するハンドアウトに記載します。

戦争と社会

2単位 春学期

【経商】 松村 高夫 矢野 久 他

【授業科目の内容】

20世紀は 戦争の世紀 といっても過言ではないほど、戦争や虐殺がおこなわれ、地域紛争も絶えなかった世紀であった。20世紀の戦争は、戦争の手段、技術あるいは規模といった点で、19世紀までの戦争とは根本的に異なる性格をもっている。そして、今世紀は9・11で始まり、対イラク戦争などが生じ、戦争が終わる徴候は一向にみられない。

本総合講座は、戦争にかかわるさまざまな問題を社会・歴史に関係させて多面的に考えてみようという試みである。戦争は政治、経済、社会、文化、宗教などさまざまな要因がからんでいるからである。また、「戦争と社会」といっても、多様な考え方がある。本講座では、さまざまや領域で活躍する人を、経済学部のスタッフをはじめ、韓国から池明観、中国から歩平の両教授など多数の講師を学外から招いて、それぞれの立場から、戦争と社会の問題を論じてもらう。

造形・デザイン論

「茶の湯の文化と日本の美術」 2単位 秋学期

【経商医理】 木下 京子

【授業科目の内容】

喫茶の習慣は中国より日本にもたらされたが、やがて「茶の湯（茶道）」へと昇華し、日本独自の文化として認識されるようになる。茶の湯の発展に伴い、茶道具や茶掛の書画なども変化に富むようになり、数々の名品が世に輩出される。本授業では、主に室町時代から江戸時代にかけての茶の湯にまつわる美術品を中心に、各時代を代表する作品のスライドを見ながら、日本の造形デザイン、そして作品に垣間見られる日本人の美意識について考察する。

【教科書】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

辻惟雄監修『日本美術史』美術出版社、1991年

造形・デザイン論

「ヴィジュアルの意味：すぐれた造形、良いデザインとは？」 2単位 秋学期

【経商医理】 児島やよい

【授業科目の内容】

「造形・デザイン」を広くとらえ、日常接するもの、メディアで目にするものから、美術、建築、ファッション、映像なども含め、「ヴィジュアル」の意味を考えて

みましょう。そのヴィジュアルはなぜカッコイイのか？なぜ人の心を打つのか？と。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

授業時にプリントを適宜配布します。

地域研究 スペイン事情

「スペインにおける国と地域」

2単位 春学期

【文経商医】

八嶋由香利

【授業科目の内容】

スペインと聞くと皆さんは何をイメージしますか。フランメンコや闘牛でしょうか。それともサッカーですか。最近ではマドリードの列車爆破テロが世界を驚かせました。スペインは実に多様な地域からなり、地中海と大西洋、内陸中央と周縁部では気候・風土や言語、歴史、文化・習慣などがかなり異なっています。サッカーなどのスポーツからテロという社会問題に至るまでこの「地域性」が関わっているのです。本授業ではスペインの基礎的な知識を習得し、「国」と「地域」との関係性を軸にこの国の多様性について理解を深めたいと思います。

【教科書】

特になし。(授業中にプリント配布)

【参考書】

- ・坂東、戸門、碇編『現代スペイン情報ハンドブック』(三修社、2004年)
- ・碇順治『現代スペインの歴史』(彩流社、2005年)(授業中にビブリオ配布)

地域研究 スペイン事情

「スペイン社会の多様性：移民とエスニック・マイノリティ」

2単位 秋学期

【文経商医】

八嶋由香利

【授業科目の内容】

国境を越えてヒトやモノが容易に移動する今日、スペインでも今までになかった問題が生じています。その一つが近年急増している外国人労働者の存在です。スペインはジブラルタル海峡を挟んでアフリカと接し、EUへの「玄関口」とであるという特殊な事情を抱えています。またマドリード列車爆破テロやフランスでの暴動発生後、この問題に対する人々の関心も高まっています。さらに「豊かな社会」に住むわれわれ日本人にとっても無関係ではありません。授業ではスペインにおける移民問題の現状をとりあげ、「文化的多様性」の名の下にスペイン人がどのようにこの課題と向き合おうとしているのかについて講義します。また、外国人ではないものの、長い間一般スペイン人から疎外されてきた「ヒターノ(ジブシー)」と呼ばれる人びとについても触れる予定です。

【教科書】

特になし。(授業中にプリント配布)

【参考書】

- ・坂東、戸門、碇編『現代スペイン情報ハンドブック』(三修社、2004年)
- ・碇順治『現代スペインの歴史』(彩流社、2005年)(授業中にビブリオ配布)

地域研究 中国事情

「近代中国の歩み」

2単位 春学期

【文経商医】

宇 振領

【授業科目の内容】

中国はアヘン戦争(1840 - 1842)で負けた。その年から中国が二千年以上も続いた封建社会が終わり、半植民地・半封建社会に入った。それまで、「天朝大国」とうめぼれていたが、この敗戦より強い屈辱感を受けた。アヘン戦争から第二次アヘン戦争、清仏戦争、日清戦争、八国連合軍の北京占領……、敗戦の連続だった。敗戦の恥をそそぎ、外国列強の抑圧から抜け出す熱望が近現代中国の底流になっている。

当講義では、中国近現代史で大きな役割を果たした人物また事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

適宜に指示する。

地域研究 中国事情

「現代中国の歩み」

2単位 秋学期

【文経商医】

宇 振領

【授業科目の内容】

第一次世界大戦と第二次世界大戦の時、アジア唯一の強国 日本はその機に乗じて、中国や東南アジアでの勢力範囲を拡大した。特に、中国での権益を守り、さらに拡大のために、「満洲事変」「盧溝橋事件」などを起こし、八年間も続く「日中戦争」に発展した。中国は国際戦線の一員として戦勝を得た。

その後、蒋介石と毛沢東はさらに五年間の戦争を経て、新中国建国。やっと外国列強の抑圧と戦乱から逃れた人民大衆は、平和な生活を望んだが、それと裏腹に建国後も「運動」に続く「運動」の混乱による災難が余儀なく経験させられた。

当講義では、中国現代史で起った事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

適宜に指示する。

地域研究 中国事情

「中国情報化社会概論」

2単位 春学期

【文経商】

千田 大介

【授業科目の内容】

中国語の基礎を修得した学生を対象として、中国における情報化の現状と背景について講義する。

周知のように、中国は今や世界の工場と称され、製造業の国際的な一大拠点となっているが、その一方、政府のイニシアチブのもと、通信インフラの整備や情報化も相当に進展している。国家としての情報化への意識は、むしろ日本を凌ぐほどである。その結果、インターネットや携帯電話が広く普及して人々の生活や社会システムに組み込まれ、中国にも情報化社会が形成されつつある。しかし、中国の持つ歴史や政治さらには国民性などの特殊要因によって、その社会のあり方は日本などとは様相をかなり異にしている。

かかる中国独特の情報化社会の状況を具体的に知るためには、インターネットを通じた情報収集が欠かせない。このため、本講義ではまず3～4回にわたりWindowsPCによる中国語処理方法を実習する。同時に文字コード問題などのコンピュータ多言語処理の基本的な技術・政治的背景や理念についても概説する。その上で、中国の情報化社会の現状について、いくつかのトピックを取りあげて検討する。それを通じて中国とその情報化社会の現状と特色とを理解することが、本講義の目的である。

【教科書】

『Chinese Culture Review』 vol.1・2

(好文出版、2005。ISBN4-87220-096-9、4-87220-097-7)

【参考書】

教場にて随時指定

地域研究 中国事情

「中国現代文化概論」

2単位 秋学期

【文経商】

千田 大介

【授業科目の内容】

1990年代半ば以降の急速な経済発展は、中国の社会や文化に多大な影響を与えている。それは一方では共産主義の理想の崩壊にともなう伝統の復活という形で、一方では情報化を含むグローバル化の進展にともなって大規模に流入する海外文化の受容と独自の消化としてあらわれており、この両者が複雑に絡み合っていることが現代中国社会・文化への理解を難しくしている。かかる特色を持つ中国現代の社会・文化を、本講義では情報化という視点から読み解く。

具体的には、中国社会・文化理解の基礎となる情報収集の方法、統計資料の所在、中国語ポータルサイトの特色と使用方法などについて、はじめに実習する。このため、本講義を受講するものは、基礎中国語とパソコンにおける中国語処理方法とを身につけている必要がある。また、中国は社会主義体制の国家で、文化・マスメディアなどが国家によって管理されるという特色を持つた

め、中国文化を理解する基礎として文化・情報管理制度についても概説する。以上をふまえて、オンライン図書館とその利用方法、中国における海賊版の氾濫とその影響、ネットワークと海外文化・日本文化の受容、海外からの文化の流入にともなう新語の出現と中国語の変容などのトピックを取り上げて、特に中国的発想の特色や日本との比較に留意しつつ詳述する。本講義を、中国文化への理解を深め、将来の日本との関係について考察する上で足がかりとしてもらいたい。

【教科書】

『Chinese Culture Review』 vol.1・2

(好文出版、2005。ISBN4-87220-096-9、4-87220-097-7)

【参考書】

教場にて随時指定

地域研究 北米事情

「文化地理への入門」

2単位 春学期

【文経商医】

近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。全米各地の文化地理を紹介します。将来旅行、留学、滞在を考えている学生には特に有益な授業になると思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

Luther S Luedtke, Making America, 1988

地域研究 北米事情

「多様なアメリカ文化」

2単位 秋学期

【文経商医】

近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。現在のアメリカ社会の多様性についての文化・歴史背景を探って、アメリカ社会をまとめているものは何かを探っていきます。合衆国の人びとのもつどのような価値観からアメリカ合衆国がなぜ世界や日本にたいし現在にいたる態度をとるのか。アメリカ合衆国を中心に北米社会の種々な問題を歴史、言語、文化、エスニックの巨視的観点から論じ講義をすすめます。

【教科書】

なし。

【参考書】

Luther S Luedtke, Making America, 1988

鈴木透『実験国家：アメリカの履歴書』慶應義塾大学出版会、2003

地域生態文化論

「自然と共存する都市をつくる」 2単位 春学期/秋学期
【文経商】 岸 由二

【授業科目の内容】

自然と共存する都市の形成は、環境回復の時代を拓く大テーマのひとつである。本講義は流域を中心とする自然ランドスケープ、ならびに生態文化複合という概念を手がかりとして、都市における自然保全、あるいは自然共生型都市づくりのモデルや実例を学ぶ。

【教科書】

なし。

【参考書】

- ・岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）
- ・岸由二『リバーネーム』リトル・モア（1994年）
- ・岸由二ほか『流域圏プランニングの時代』技報堂（2005）
- ・慶応義塾経済学部編『変わりゆく共生空間』弘文堂（1999年）
- ・本間義人『国土計画を考える』中公新書（1999年）

地域文化論

「現代オーストリア研究入門」 2単位 秋学期
【経商医理】 鈴木 伸一

【授業科目の内容】

現在のオーストリアは人口800万人の小国ですが、第一次世界大戦まではハプスブルク帝国の中心として、ヨーロッパでも政治的・文化的・社会的に重要な役割を担っていました。そのような「過去の栄華」は、今でもウィーン等で視覚的に体験することが出来るだけでなく、オーストリアのナショナル・アイデンティティの形成にも影響を与えています。一方で、こうしたイメージが増幅されて再生産されることにより、オーストリアの「実像」が隠蔽されてしまう傾向もみられます。

従って、本講義の主眼は、現代のオーストリアについて歴史的、文化的、社会的側面から多角的にアプローチしていくことにより、ステレオタイプ化されたイメージとは異なるオーストリアの「実像」に迫ることにあります。その際、上述した「過去の栄華」、特に19世紀以降の歴史を概観しながら、以下のような項目を中心として複合的に検証を加えていく予定です。

1. 観光立国としてのオーストリア：商品化されたイメージ
2. オーストリア近代史：オーストリアの政治的・社会的変遷（19世紀～現代）
3. 世紀末ウィーンの社会と文化：19世紀から20世紀初頭のオーストリア
4. ナショナル・アイデンティティの形成：ドイツとオーストリア、民族問題など
5. 過去の清算：オーストリア・ファシズムおよびナチズムと戦後のオーストリア
6. 現代オーストリアの政治と社会
7. 現代オーストリアの文化：クラシック音楽と大衆音

楽、カフェ文化の今昔など

8. 都市と地方

【教科書】

教科書は使用せず、資料等を適宜配布します。

【参考書】

必要に応じて、授業の中で紹介していきます。

「地域文化論 ～ 」の履修ガイド

「地域文化論 ～ 」は、特定の国や地域の問題を扱う際、専攻領域を問わず要求される基礎知識や背景的知识を学べるように法学部に設置された人文科学科目で、その地域の文化・社会・歴史に対する総合的な理解を深めるのが目的です。入門篇の「地域文化論 ・ 」に接続するより高度な内容の授業が、「地域文化論 ・ 」。「人文科学研究会」という名称で設置されており、外国研究コースとして系統立てて履修した場合、法学部生は副専攻として認定されます。今年度開講の授業は次の通りです。

〔A群〕 一・二年生対象

地域	科目名	担当者
イギリス	「地域文化論 」	太田 昭子
	「地域文化論 」	武藤 浩史
アメリカ	「地域文化論 」	大和田俊之
	「地域文化論 」	鈴木 透
ドイツ	「地域文化論 」	坂口 尚史
	「地域文化論 」	三瓶 慎一
フランス	「地域文化論 」	笠井 裕之
	「地域文化論 」	笠井 裕之
ロシア	「地域文化論 」	山田 恒
	「地域文化論 」	山田 恒
スペイン	「地域文化論 」	渡邊 千秋
	「地域文化論 」	鈴木恵美子
ラテンアメリカ	「地域文化論 」	大久保教宏
	「地域文化論 」	矢澤 達宏
中国	「地域文化論 」	林 秀光
	「地域文化論 」	安田 淳

〔B群〕 原則として二年生対象（各論的でより高度な内容なので、「地域文化論 ・ 」を履修済であることが望ましい）

イギリス	「地域文化論 」	横山 千晶
	「地域文化論 」	横山 千晶
アメリカ	「地域文化論 」	鈴木 透
	「地域文化論 」	大和田俊之
フランス	「地域文化論 」	鷗崎 明彦
	「地域文化論 」	鷗崎 明彦
ラテンアメリカ	「地域文化論 」	本谷 裕子
	「地域文化論 」	本谷 裕子
中国	「地域文化論 」	安田 淳 ・ 林 秀光

〔C群〕 三田設置のゼミ形式の授業

イギリス	「人文科学研究会」	太田 昭子
イギリス	「人文科学研究会」	武藤 浩史
アメリカ	「人文科学研究会」	井上 逸兵
アメリカ	「人文科学研究会」	鈴木 透
ドイツ	「人文科学研究会」	岩下 真好
ドイツ	「人文科学研究会」	許 光俊
ドイツ	「人文科学研究会」	斎藤 文雄
ドイツ	「人文科学研究会」	三瓶 慎一
フランス	「人文科学研究会」	鷗崎 明彦
フランス	「人文科学研究会」	アンリ, ナタリー
ロシア	「人文科学研究会」	山田 恒
スペイン語圏	「人文科学研究会」	本谷 裕子
スペイン語圏	「人文科学研究会」	大久保教宏
中国	「人文科学研究会」	安田 淳
言語学	「人文科学研究会」	辻 幸夫
歴史	「人文科学研究会」	平林 正司

上級学年用の授業を将来履修したい人は、なるべく一年生時に自分の希望する地域の「地域文化論 ・ 」の履修を済ませて下さい。法学部以外の学生も履修できますが、履修希望者が多い場合、法学部生が優先されることがありますので、担当者の指示に従って下さい。

地域文化論

「中米・カリブ海地域とメキシコ」 2単位 春学期
 【経法政商医】 大久保教宏

【授業科目の内容】

一口にラテンアメリカと言っても、あまりにも広大な地域であり、国の数も多いため、当地域文化論では便宜的にパナマより北の部分扱います。そこには世界でも有数の小国地帯かつ「文化混淆地帯」である中米・カリブ海地域が広がっています。この地域に着目することで、大国、先進国中心の現代世界の捉えられ方を相対化し、「ラテンアメリカは本当にラテン文化圏なのか」という具合に地域と文化の関連を問うことも可能です。併せて、「ラテンアメリカの大国」メキシコについても学ぶことで、同じラテンアメリカという地域内での対照性を見ることができるとでしょう。取り上げるテーマは、宗教、人種、言語、運河、鉄道、バナナ、コーヒー、さとうきび、海賊、地震、火山、国立公園、遺跡、革命、内戦、非武装中立、ノーベル平和賞、経済統合など様々です。これらを通して国をこえた地域としての連続性とその内部での多様性、地域内各国の個性について考察していきます。

「国と地域」という視点から講義を進める関係上、ラテンアメリカ、カリブ海地域33か国の場所、国名、首都名くらい憶えておいてもらわないと話がしにくいので、これらについて中間試験を行います。スリナムの首都はパラマリボで、アンティグア・バーブーダの首都はセントジョンズだ、といったことを憶えてもらいます。くだらないと思われるかもしれませんが、たとえば首都がロンドンであることを知らずにイギリスのことを、イタリア、スペイン、ドイツなどと接していることを知らずにフランスのことを語れないのと同じと考えてください。

地域文化論

「イギリス地域研究入門」 2単位 春学期
 【経法政商医】 太田 昭子

【授業科目の内容】

日吉で開講される、イギリス地域研究の「地域文化論Ⅰ～Ⅳ」の入門講義として、イギリス社会の様々な側面を検討します。(詳細は授業計画を参照して下さい。)

イギリス社会を立体的に捉えるために、歴史的展望という縦軸、他の諸国との比較という横軸を念頭において、双方からの考察を進めます。様々な「他者」(内なる「他者」地域ナショナリズム/アイルランド問題/階級、目に見える「他者」人種問題/帝国意識/多文化主義への対応、社会的弱者という「他者」社会福祉・倫理観/ジェンダー)へのまなざしを探ることが考察の核となる予定です。

【教科書】

特に使用しません。

【参考書】

参考文献表などを随時配布します。

地域文化論

「アメリカ研究入門」 2単位 春学期
 【経法政商医】 大和田俊之

【授業科目の内容】

今後とも日本にとって重要な国であり続けるであろうアメリカを理解するには、統合化と多様化という相反するベクトルが、この国の推進力としてどのように作用しているのかを把握する必要があります。この授業では、アメリカに関わる問題を扱う際に欠かせない基礎知識や背景知識を整理しながら、これら二つのベクトルを軸に実験国家としてのアメリカ文化・社会の特質を考えます。アメリカ史の概略も理解できるよう、各回のテーマを組んであります。

【教科書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会(2003年 2400円)

地域文化論

「フランス文化入門(中世から19世紀前半まで)」 2単位 春学期
 【経法政商医】 笠井 裕之

【授業科目の内容】

いかなる時代・文化に属すものであれ、フランス文化の所産に関心をもつ諸君を対象に、これだけは欠かせないと思われる基本的知識を習得してもらうことが目的である。時代を画し、あるいは時代を変革するにいたった重要な文化事象を年代を追って取り上げていく。諸君がこれからフランス文化に親しんでいく上で、多少とも有益な見取図を描くことができればと考えている。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

授業中に適宜、紹介する。

地域文化論

「ドイツ・オーストリアの文化入門」 2単位 春学期
 【経法政商医】 坂口 尚史

【授業科目の内容】

現在のドイツ連邦共和国、オーストラリア共和国、スイス連邦を含む神聖ローマ帝国の成立(962年)を出発点とし、中世キリスト教文化、ルネッサンスと宗教改革、17世紀のバロックの文化、そして市民文化の頂点となる18世紀～19世紀の文化まで、最も基本的な、文化概論を講義します。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

講義中に述べる。

地域文化論

「ロシア文化を芸術から探る」 2単位 春学期
 【経法政商医】 山田 恒

【授業科目の内容】

ロシア文化が日本の文化に与えた影響はよく知られています。最初に石川啄木を日露文化交渉の具体例として取り上げます。その上で、伊豆の戸田（へた）など、受講生諸君の出身地とロシアとの関連を紹介できたらと思っています。文化交渉史の一側面を紹介したうえで、ロシア文化の紹介を行います。

残念ながらロシア文化は総体的に紹介されていません。そこで春学期にはロシア文化の基本的な部分を総合的に紹介する予定です。

ロシア民族の成立過程、ロシアの自然と地理が与えた影響、さらにキリスト教の受容と民族固有の信仰などを、さまざまな芸術作品を通して紹介します。

例えば、ドストエフスキーの『罪と罰』で主人公が何故、大地に接吻して許しを請うのか、これは古くからの「地母神」信仰を理解しなければ、作品を読み解くことはできません。またチャイコフスキーの『白鳥の湖』には非業の死を遂げた若い女性の形象である「ルサールカ」信仰が強く影響しています。当然のことながらキリスト教（正確にはロシア正教）と文化も考えなくてはなりません。「痴愚の行者」も文学や絵画に登場します。スリコフの絵で具体像をつかみ、「カラマーゾフの兄弟」でさらに理解を深めるといった方法をとります。

いずれにせよロシア文化の奥底にある固有のもの、根底の部分を明らかにしてゆきたいと考えています。

【教科書】

この講義に適した教科書はありません。

【参考書】

講義毎にペーパーを配布し、その中で参考文献を紹介します。

地域文化論

「中国政治と人々の暮らし」 2単位 春学期
 【経法政商医】 林 秀光

【授業科目の内容】

中国はその悠久の歴史に育まれてきた民俗、文化、政治が多様かつ変化に富んだものであるため、観察の対象としてそれ自体は不思議な国である。一方日本では中国に親近感を持つ人、なんとなく中国が好きになれないあるいは反感を持つ人に分かれるというのも不思議である。その背景に、中国の歴史や文化のロマンに惹かれつつも、今日の中国の政治体制に違和感を覚えたり、アジアまたは世界で影響力を増していく中国の姿が威圧に感じたりする、という複雑な感情が存在する。そこで、この授業は中国社会への接近を図るべき文化、民俗、政治、社会問題について幾つかのトピックを取り上げ、中国の実像に迫ることによって、中国をより身近な国に捉えられるようにするのが本講義の目標である。

【教科書】

とくに指定しない。

【参考書】

各授業の前に適宜に指定する。

地域文化論

「スペイン文化入門」 2単位 春学期
 【経法政商医】 渡邊 千秋

【授業科目の内容】

現代のスペインでは、いわゆるスペイン語（カステーリヤ語）の他、ガリシア語、バスク語、カタルーニャ語など、様々な言語を母語とする人々が暮らしており、社会文化的にみて非常に多様で豊かな要素が存在しています。しかし、この多様性は一方で、歴史上さまざまな紛争を呼び起こす要因の一つともなりました。また地理的な面からは、ヨーロッパとアフリカの間に存在することによる様々な歴史文化的影響を指摘することができます。この授業では、受講生の皆さんに現代スペインの文化・社会・政治的状况に関する知識を深めてもらうことを目的とします。

【教科書】

指定なし。

【参考書】

立石博高他編『スペインの歴史』昭和堂（1998年）、立石博高他編『スペイン・ポルトガル史』山川出版社（2000年）他、参考文献は授業内で適宜紹介します。

地域文化論

「フランス文化入門（19世紀後半から20世紀まで）」 2単位 秋学期
 【経法政商医】 笠井 裕之

【授業科目の内容】

春学期に続いて19世紀後半から20世紀までを取り上げる。われわれの時代により近い、近現代の所産となれば、諸君にもおそくなじみのある芸術家の名が多く登場することになるだろう。ただ、単なる知識の確認に終わらせず、各自の体験にもとづく考察の端緒となるように、主な作品に実際に触れる機会を増やし、諸君のあらたな発見を手助けできればと考えている。とくに20世紀初頭のパリを舞台にあらゆる芸術ジャンルを巻きこむ形で展開したロシア・バレエ団（バレエ・リュス）の活動の軌跡をたどり、現代の文化・芸術を特徴づける要素である「異質なものの交錯によって生まれる創造力」について考察したい。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

授業中に適宜、紹介する。

地域文化論

「戦後ドイツ あゆみと葛藤」 2単位 秋学期
【経法政商医】 三瓶 慎一

【授業科目の内容】

日本の戦後史との比較も含め、第2次大戦終結から現在までを通史的に講じる。現代ドイツを理解するために不可欠な、主として政治的事件を中心としたドイツ戦後史の通史的理解を得つつ、同時にドイツ語の現代史用語の習得を目指す。コンピューターソフト、インターネットを駆使し、CD、ビデオ、スライド等の資料を多用する講義形式である。

【教科書】

各自がまとめたノート。

【参考書】

初講日に網羅的文献リストを配布する予定。

地域文化論

「スペイン語の世界」 2単位 秋学期
【経法政商医】 鈴木恵美子

【授業科目の内容】

スペイン語は、世界の20カ国以上で約3億5千万人という莫大な話者によって話されている言語です。この授業は、多様な文化・社会をもつスペイン語圏の世界に第一歩を踏み出すために、スペイン語とはどのような言語か、世界の中でどのような位置を占めるかなど、特に言語に関する基本的な情報を押さえることを目的とします。スペイン語を足がかりにどのような知の世界が広がっていくか、皆さんに何らかの糸口を見出してもらえれば幸いです

【教科書】

特に指定しません。随時プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

地域文化論

「アメリカ南部論」 2単位 秋学期
【経法政商医】 鈴木 透

【授業科目の内容】

ジョージ・W・ブッシュは、久しぶりの極めて南部的な大統領だといわれています。実際、宗教や軍事を重視する彼の姿勢や政策は、国際政治の動向以前に、南部的風土との関連性が顕著に認められます。その意味で、現代アメリカの動向を把握するには、国際政治の舞台にも流出し始めたこの南部的気質に対する理解が重要といえます。

この講義では、日本人にはあまりなじみがなく、差別的な後進地域というイメージの強いアメリカ南部が、実は今日にいたるまでアメリカ社会全体に対して様々な社会的・文化的・政治的・経済的インパクトを与えてきている点を取り上げ、南部という地域がアメリカの歩みに

とっていかなる意味を持っているのかを考えます。授業では。

明確な地理的境界を持たない「南部」という概念がどのようにして成立したのか

奴隷制度という負の歴史を背負った後進的農業地域だった南部が、なぜアメリカ全体に様々なインパクトを与える存在となりえたのか

現代アメリカにおいて南部の存在感が増しているのはなぜか

という3点に留意し、ほぼ時代順に並べた以下のような話題を軸に進めます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

地域文化論

「イギリス的想像力とイギリス社会」 2単位 秋学期
【経法政商医】 武藤 浩史

【授業科目の内容】

映画、音楽、文学などの芸術作品を用いて、第二次世界大戦後のイギリス的想像力の諸相と政治・社会・文化との関係を探ってゆきたい。もっとも、戦後は戦前と繋がっているから、戦前のイギリス文化の伝統がどのように受け継がれ、どのように断絶しているかも、合わせて検討することになるだろう。中心を成すのはビートルズを核として世界を席卷した1960年代のイギリス発「文化革命」論である。

【教科書】

D.H.ロレンス著『チャタレー夫人の恋人』ちくま文庫

地域文化論

「南アメリカの社会と文化 ブラジルを中心に」 2単位 秋学期
【経法政商医】 矢澤 達宏

【授業科目の内容】

「ブラジル」と聞いて、何を思い浮かべるであろうか？ サッカー、コーヒー、サンバ、アマゾン、日系人。これらはたしかにブラジルを語るときには欠かせないキーワードではある。しかし、これらキーワードを挙げるとき頭のなかで描いているイメージは、それらの実際のありようとどの程度まで合致しているであろうか？ また、一般的に流通しているこうしたキーワードでは象徴されてこなかったブラジル社会の横顔には、どのようなものがあるだろうか？

ブラジルの社会や文化の様々な側面は、かねてより外部の人々の好奇心を刺激し、それに触れた多くの者たちを魅了してきた。「未来の国」、「人種の楽園」など、これまでに生み出されてきた数々のレッテルがそのことを物語っている。しかし同時に、そこに足を踏み入れ、容

易ならざる社会矛盾を目の当たりにして、とまどいを覚えてきた人々もまた少なくない。理想、希望と現実とが交錯し、表裏一体をなすブラジル社会は、多くの人々にとって様々な示唆に富んだ興味深い対象であるに違いない。

この授業は、ブラジルをおもな題材として、南アメリカ地域の社会・文化のなりたちと現在のありように対する理解を深めてもらうことを目的とするものである。ブラジルのケースを中心にとりあげるが、性格を共有する地域として、あるいは比較の対象として、他の南米諸国に関しても適宜、言及していくことにしたい。

なお、トピックによってビデオやスライドなどを利用することも予定している。

【教科書】

本授業では特定の教科書は使用せず、各トピックごとに要点をまとめたレジュメと、必要に応じて資料を配布する予定である。

【参考書】

一般的なものとして、以下のものを挙げておく。その他についてはトピックごとに適宜、紹介していきたい。

- ・ブラジル日本商工会議所編『現代ブラジル事典』新評論、2005年
- ・シッコ・アレンカール他『ブラジルの歴史 ブラジル高校歴史教科書』明石書店、2003年
- ・斉藤広志『新しいブラジル 歴史と社会と日系人(新版)』サイマル出版会、1983年
- ・アンジェロ・イシ『ブラジルを知るための55章』明石書店、2001年

地域文化論

「現代中国の軍事と安全保障」 2単位 秋学期
【経法政商医】 安田 淳

【授業科目の内容】

現代中国が、その歴史的な要因、多様な環境、地理的位置関係などいずれの点においても、世界の安全保障環境に大きな影響を与え、また国際関係から大きな影響を受けていることは改めて言うまでもない。なかでも中国の軍事については、まだ不明な点も多く、また理解も不足している。中国の、またひいては東アジアの安全保障を考察する際に無視することのできない中国の軍事についての理解を深め、併せて中国の安全保障にかかわる諸問題についての基礎的な知識を習得することが、この講義の目的である。

【参考書】

講義中に適宜、提示する。

地域文化論

「ロシア芸術論」 2単位 秋学期
【経法政商医】 山田 恒

【授業科目の内容】

秋学期は二分割し、さらに深い理解をしてもらうために、ロシア芸術の二つの分野を選び、紹介します。映像

(ロシア映画、エイゼンシュテインからソクーロフ)、バレエ(チャイコフスキーとチャーギレフ)を予定しています。

映像論では、今年度は日本文化、ことに歌舞伎と絵画がエイゼンシュテインに与えた影響を中心に考えてみたいと思っています。タルコフスキーとソクーロフにも日本の文化は強い影響を与えているので、そこまで踏み込みます。

チャイコフスキーの作品に見られるロシア的な要素を指摘するとともに、チャーギレフの率いたバレエ・リュスが世界に与えた衝撃も論じたいと考えています。

いずれにせよ何らかの作品を少なくとも二点、観ることになります。

ただし映画に替えて文学(ドストエフスキーを中心に)、バレエに変えて演劇(チェーホフとモスクワ芸術座)を取り上げることも考えています。その場合には、受講者諸君と相談の上決定します。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

かなり大部のペーパーを配布します。その中で参考文献も紹介します。

地域文化論

「第二帝政期のパリ 産業と芸術」 2単位 春学期
【経法政商医】 鶴崎 明彦

【授業科目の内容】

第二帝政期(1852~1870年)はフランス近現代史の分岐点となった時代です。ナポレオン一世の甥ナポレオン三世は、クーデターで帝位に就くや革命と動乱の時代に終止符を打ち、イギリスに遅れを取った産業の振興とフランスの近代化を強力に推進していきます。人口増加、コレラの流行、犯罪と暴動に苦しむパリは空前の大改造によって壮麗な近代都市に変貌し、また万国博の開催は産業社会、消費社会への移行の起爆剤となりました。デパートの誕生、そしてモードと歓楽のパリの出現。つまり我々が知る現代のパリは第二帝政期にそのおおよその姿ができあがったのです。それは近代都市社会の原風景でもありました。しかし、パリのあまりに急激な変貌は、そこに住む人々のいわば生態系に大きな歪みを生み出し、普仏戦争の敗北で第二帝政が崩壊した時、パリ・コミュンとなって爆発します。このように功罪相半ばするナポレオン三世の再評価は、近年になってようやく始まったばかりです。

ところで、パリの町、社会と風俗の急速な変貌は、うつろいゆく同時代の諸相を描く、芸術における現代性(モデルニテ)の追求を促し、新しい表現を目指す芸術家たちは、永遠不変の理想美を旨とする伝統的な芸術との葛藤を経ながら近代芸術を生み出していったのです。第二帝政期は、マネや後のいわゆる「印象派」の画家たちが活動を始めた時期でもありました。

しかし、そうした主題や様式の変化にとどまらず、第二帝政期は芸術をめぐるシステムにおいても近現代の分

岐点となった時代です。産業の発展によって台頭した新興ブルジョワジーが従来の王侯貴族に代わって芸術の新たなパトロンとなったことで、注文制作から不特定多数のための制作へと芸術制作をめぐる環境は変化し、古典的な教養を持たない公衆の出現は、伝統的な芸術の枠組そのものを大きく揺るがすことになります。作品評価と流通のシステムは「美術アカデミー＝公式展覧会（サロン展）システム」から「批評家＝画商システム」へと徐々に移行し始め、さらにイギリスとの経済競争は産業振興のための産業と芸術の融合を引き起こし、大芸術の衰退と小芸術（美術工芸）の隆盛は新しい芸術の誕生を促していきます。そしてそのような時に芸術家たちが万国博を通じて出会ったのが日本の美術であり、その流行、いわゆるジャポニスムは西欧の伝統的な芸術を変革する触媒となったのです。

このように様々な領域で既存のシステムが変動する過渡期であった第二帝政期のパリの社会・風俗・文化・芸術を、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

開講時に参考文献一覧を配布いたします。

地域文化論

「アメリカ文化の中の性と暴力」

2単位 春学期

【経法政商医】

鈴木 透

【授業科目の内容】

セクハラや中絶論争、銃の氾濫や幼児虐待など、現代アメリカは性と暴力をめぐる様々な社会問題を抱えています。しかし、元来この国が異なる背景の人々による人為的な集団統合、及び、それに伴う集団内の対立をいかに解消するかという二つの課題を背負ってきたことを考えれば、性の問題は前者、暴力の問題は後者に通ずる、見逃せない重要な社会現象といえます。また、深刻さを増している家族や家庭の問題は、性と暴力の両方の領域の接点として捉えることもできるでしょう。この講義では、内容に関連したビデオを何本か交えながら、アメリカにおける性や暴力をめぐる諸問題の法的、政治的、文化的、歴史的側面を総合的に検討し、性や暴力に対する人々の意識からみたこの国の特質を考えます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

地域文化論

「メソアメリカ(おもにメキシコ・グアテマラ)からラテンアメリカ世界を知ろう！」

2単位 春学期

【経法政商医】

本谷 裕子

【授業科目の内容】

この授業ではメキシコ・グアテマラを中心とするメソアメリカ地域をとりあげ、ラテンアメリカ世界の不思議とその魅力について学んでいきたいと思います。授業内容は、アステカ・マヤをはじめとする先スペイン期の話(遺跡がいろいろ) チョコレートやとうもろこし、タバコ・コチニールをはじめとするメソアメリカ原産の食べ物と大航海時代の話、メキシコ建国に見る国民国家形成とアイデンティティの話、メキシコ壁画運動やチカーノ(アメリカ生まれのメキシコ人)の壁画運動をはじめとするメキシコ現代美術の話、メキシコ南部からグアテマラ北西部高地に暮らす先住民たちとその暮らしから考える南北問題などを予定。考古学・歴史学、はたまた民族学や社会学、美学美術史などさまざまな視点とテーマからこの地域について学びつつ、この地域のかかえる社会経済的問題や文化問題の所在について、みなさんとともに考えていきたいと思います。

【教科書】

最初の授業の際にお話します。

【参考書】

最初の授業の際にお話します。

地域文化論

「東アジアの中の日中関係」

2単位 春学期

【経法政商医】

安田 淳 林 秀光

【授業科目の内容】

今日、日中関係にはさまざまな問題が生じているが、この日中関係は東アジアにとっても世界全体にとっても重要な国際関係の一つである。この授業では、そうした日中関係を総合的・歴史的に検討し、今後の日中関係を考察するための材料を提供する。単なる日中関係の通史を学ぶのではなく、これまで比較的取り上げられることの少なかった事象にも、東アジアの中の日中関係という視点から光を当てるのが、この授業の目的である。したがって近現代の日中関係に関する多様な分野のそれぞれの専門家を招き、オムニバス形式で授業を展開する。なおこの授業は2005年度法学部設置科目「東アジアの中の近代日本」を発展させたものであり、教養研究センター及び東アジア研究所の協力を得て開講される。

【教科書】

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

【参考書】

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

地域文化論

「科学」の確立と社会 ヴィクトリア朝の英国

2単位 春学期

【経法政商医】

横山 千晶

【授業科目の内容】

自然科学、という学問分野がイギリスの社会の中で確立してきたのはそれほど古いことではありません。19世紀のイギリスでは、伝統的な価値観と宗教、そして自然の事物を新しい光のもとで解釈しようとする「科学」の発達がせめぎ合いつつも共存を計ろうとした時代でした。その意味で、科学はそれだけでは独立した存在ではありませんでした。一方で常に道徳的意義や社会的価値観から逸脱するものとして危険視されながらも、科学はそれらの価値観や個人の主観、歴史に培われた慣習に大いに左右されながら発達していったのです。

この講義では自然科学の発達が、イギリスの社会・文化のどのようなコンテキストの中でうながされていったのか。また、当時の思想や芸術などの諸分野にどのような影響を与えたのかを19世紀を中心に広い視野から見ていきたいと思います。科学の発達は、どのようにそれまでの理念と共存しようとし、あるものは理念の名のもとに力をつけ、あるものは理念を逆に押しつぶしていったのでしょうか。映画や絵画などの視覚資料を使いつつ、その様子を探っていきましょう。

【教科書】

なし。プリントを使います。なお、重要な文献については随時授業中に紹介します。

【参考書】

授業の中で紹介します。

地域文化論

「ベル・エポックのパリ 知の変革の時代」

2単位 秋学期

【経法政商医】

鷗崎 明彦

【授業科目の内容】

19世紀末から第一次世界大戦までのフランスは、「ベル・エポック」(よき時代)と呼ばれ、世紀末の退廃と新しい時代の幕開けがないまぜになった享乐的な文化が爛熟した時代です。

「ベル・エポック」は、急速な科学技術の発達により世界の一体化が進行すると同時に、日常生活の様式が物質的にも精神的にも大きく変化した時代でした。こうした科学文明のシンボルが、1889年のパリ万博で建設されたエッフェル塔です。

一方で、現代史の負の部分形成された時代でもあります。科学・経済・軍事力の圧倒的優位を背景にヨーロッパが世界をのみ込んだ、帝国主義による世界の序列化の時代だったのです。特に普仏戦争の敗北の後、フランスではナショナリズムが異常なまでに高揚し、傷ついた威信を回復するため帝国主義の道をひた走り、世界第二の植民地帝国を形成します。「人権宣言」を謳ったフラ

ンス革命の後継である第三共和制と植民地主義の矛盾。またドレフス事件はフランス社会に深刻な分裂を引き起こすと同時に、20世紀のユダヤ人迫害の前兆ともなりました。

ヨーロッパによる世界支配。しかしその裏では、急激な科学の発達によって旧来の世界観が動揺し、近代合理主義に対する疑念が生じた、ヨーロッパ精神の危機と知の変革の時代でもありました。物質主義に対する嫌悪はデカダンスの文学や象徴主義の絵画を生み、世界の一体化による異文化の流入が、伝統的世界観の解体と新たな創造を促す。ヨーロッパはその圧倒的な力で世界に影響を及ぼしましたが、一方で世界から多くのものを受け取っていったのです。パリはそうした異文化との出会いが新たな創造を生む舞台となりました。日本美術との出会い、ジャポニスムは印象派の絵画やアール・ヌーヴォーを、アフリカ芸術との出会いはキュビズムを生む起爆剤となりました。

様々な矛盾を抱えた知の変革の時代、「ベル・エポック」のパリに生まれた芸術について、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察していきます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

開講時に参考文献一覧を配布いたします

地域文化論

「アメリカン・ポピュラー・ミュージックの文化史」

2単位 秋学期

【経法政商医】

大和田俊之

【授業科目の内容】

ブルース、ジャズ、カントリー、R&B、ロックンロール、ファンク、ヒップホップなど、20世紀ポピュラー音楽の多くはアメリカで誕生しました。本講義では、アメリカの音楽文化を社会との関わりにおいて考察し、様々な音楽ジャンルがどのように形成され、発展してきたかをたどります。先住民の音楽文化から現代のポピュラー・カルチャーまで概観しますが、その際、「アメリカ音楽の歴史」を単に年代順に解説するだけでなく、そのような「音楽史」そのものがどのように構築されてきたかという系譜学的手法を採用します。

ある国の音楽文化は、その国の法制度や政治形態、さらには産業構造と無縁ではありません。特にアメリカにおいては、「その音楽は誰のものなのか?」という所有=音楽著作権の問題がジャンル形成や商品の流通と深く関わってきました。ヒップホップにみられる「サンプリング」の技術や、昨今のCD違法コピーの問題はその顕著な例でしょう。また、ブルースやジャズ、それにカントリーなど主に「人種」によって分節化される音楽ジャンルの発展は、各時代の政治的イデオロギーと密接な関係があります。こうした点を念頭におきつつ、最終的にはアメリカン・ポピュラー・ミュージックの日本への流入にも触れる予定です。

講義の性質上、CD、DVD、ビデオ等の資料を頻繁に

利用し、実際の音源や映像を通してアメリカのポピュラー音楽に対する理解を深めます。

【教科書】

毎回プリントを配布する。

地域文化論

「メキシコ」「文化装置」としてのアート」

2単位 秋学期

【経法政商医】

本谷 裕子

【授業科目の内容】

メキシコをはじめとするラテンアメリカ諸国が経てきた歴史を鑑みると、16世紀にはじまるスペインとの文化接触の意義は、征服や搾取といったどちらかといえば異文化接触のもたらした功罪の「罪」の部分に目を向けて語られがちでした。そうした負の遺産が現在のラテンアメリカをとりまく貧困問題の根源であるのは事実です。しかしながら、「アート」という視点からラテンアメリカを見つめなおすと、功罪の「功」の部分、つまり旧大陸と新大陸の異なる価値観が融合した結果、ラテンアメリカにはヨーロッパのものとは明らかに異なる、不思議な生命力と魅力に満ち溢れた独自の芸術文化が開き展開されてきたという歴史の新たな側面が見えてきます。そこで、この授業ではメキシコの事例をとりあげ、「アート」をキーワードに、考古学・歴史学・建築学・美学・映画学・民族学といったさまざまな視点からメキシコの歴史を紐解いていきたいと思えます。

地域文化論

「愛と戦いの20世紀（前半）イギリス」 2単位 秋学期

【経法政商医】

武藤 浩史 太田 昭子
横山 千晶

【授業科目の内容】

20世紀前半に、さまざまな領域で、イギリス文化が開いた。

アルフレッド・ヒッチコックとチャーリー・チャップリンという2人のイギリス人が揺籃期の映画を20世紀の芸術に育てあげた。コナン・ドイルがシャーロック・ホームズを書きアガサ・クリスティがエルキュール・ポワロやミス・マーブルを生んで、探偵小説が一大ブームをまきおこした。J・M・バリの戯曲『ピーター・パン』は、子どもだけでなく大人も楽しめる意味深い児童文学を誕生させた。『タイム・マシン』や『透明人間』や『宇宙戦争』を書いたSF小説の父H・G・ウェルズがいた。繊細きわまる女流作家ヴァージニア・ウルフや『チャタレー夫人の恋人』を書いた爆弾児D・H・ロレンスがいた。ラジオや大衆新聞が大流行し、ウェンブレイ・スタジアムが出来て、プロ・サッカーが盛り上がった。

しかし、文化が開く時代は常に激動と混乱の時代である。20世紀前半のイギリス社会は、第一次世界大戦に大きく傷めつけられ、フェミニズムと婦人参政権が絡んだ女性運動で揺さぶられ、精神分析やオカルトが流行り西洋的理性信仰が弱体化して、インドやアイルランドの

独立問題で頭を悩ました。しかし、アメリカの追い上げにも関わらず、いまだイギリスは世界最大の植民地を誇り、構造改革と不況による深刻な階級戦争と失業者問題にもかかわらず、経済は成長を示した。そして、ヒトラーとナチス政権の誕生、第二次世界大戦、戦時中の左傾化。その結果、1945年には労働党が多数派となり、戦後福祉社会が実現される。

本講義では、このような20世紀前半の多彩な文化を、さまざまな角度から紹介しようと思う。われわれは『愛と戦いのイギリス文化史』という題のイギリス地域文化論を執筆中だが、そこから美味しいところを抜き出して、武藤を中心としながらも、他の研究者の協力を得て、イギリス文化の楽しさと怖さを紹介したいと思っている。

【教科書】

武藤ほか編『愛と戦いのイギリス文化史（仮題）』（慶應義塾大学出版会、近刊予定）

【参考書】

参考文献については、毎回の授業の中で紹介していきます。

地学a（春学期）／地学b（秋学期）

地学（通年）

「地球と生命の歴史」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経商理】

大路 樹生

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

地球温暖化やオゾン層の破壊など、地球環境の危機が社会的関心を集め、人類はこの危機にどのように対処すべきか、判断を求められている。しかし現在の多くの議論に欠けていることは、長大な時間軸にわたって地球表層環境を形成してきた地質学的、生物学的な背景の考察である。当講義では、過去46億年間地球環境がどのように変遷し、その中で生命がどのような歴史をたどってきたのかを理解することを目指す。

講義では、まず地球の基本構造の理解を、なじみ深い現象（地震、火山など）から学び、この地球がダイナミックな動きを持つ特異な惑星であることを理解する。続いて生物進化を中心とした地球史をたどり、生命現象がどのように地球環境に影響を与えながら、いわゆる「共進化」してきたのかを考える。

高校で地学を履修しなかった学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。受講者には積極的に授業に参加する態度を期待する。

【教科書】

大路樹生著『進化古生態学』東京大学出版会（出版予定）資料集を実費販売します。

地学 / 地学 (春学期分)
 「地球を知る 測地学入門」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経商理】 里 嘉千茂
 *理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

地球は私たち人間の生活の場であり、それをよりよく理解することは基本的に重要なことであろう。この授業では、地球を測地学的な観点から概観し、その理解を深めることを目的とする。はじめに、地球の形と大きさに関連して地球球形説や地球楕円体説などについて学ぶ。次いで、測地測量や近年発展してきたGPSに代表される宇宙測地技術、さらに、地殻変動や地球の重力とその測定方法、地球潮汐と地球回転などについて概説する。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じて講義資料プリントを適宜配布する。

【参考書】

- ・力武常次著『地球科学ハンドブック』(聖文社、1992年)
- ・日本測地学会監修・大久保修平編著『地球が丸いつてほんとうですか?』(朝日新聞社、2004年)

地学 / 地学 (秋学期分)
 「地球を知る 地震・火山・テクトニクス」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経商理】 里 嘉千茂
 *理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

私たちの生活の場である地球を、地震や火山、テクトニクスなどの観点から概観し、その理解を深めることを目的とする。はじめに、身近な地学現象であり、かつ、私たちの生活にも関連が深い地震や火山などについて、地球内部構造にも触れながら重点的に講義する。次に、これらの地学現象と密接に関連するプレートテクトニクスについて、その基礎としての大陸移動説や海洋底拡大説にも触れながら、概説する。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じて講義資料プリントを適宜配布する。

【参考書】

- ・パリティ編集委員会編『地震の科学』(丸善、1996年)
- ・中村一明・松田時彦・守屋以智雄共著『火山と地震の国』(岩波書店、1987年)
- ・瀬野徹三『プレートテクトニクスの基礎』(朝倉書店、1995年)

地学 / 地学 (春学期分)
 「地球システムの科学」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経商理】 鹿園 直建
 *理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

以下の内容の授業を行う。

1. 地球システムの構成物質についての理解を深める。
2. 地球システム構成物質間の相互作用(地学現象)
3. 人間-自然システム間の相互作用(資源)

【教科書】

鹿園直建著「地球システム科学入門」東大出版(1992年)

【参考書】

- 鹿園直建著「地球システムの化学」東大出版(1997年)
- 鹿園直建著「廃棄物とのつきあい方」コロナ社(2001年)

地学 / 地学 (秋学期分)
 「地球システムの科学」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経商理】 鹿園 直建
 *理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

以下の内容の授業を行う。

1. 人間-自然システム間相互作用(環境、自然災害)
2. 地球システムの進化

【教科書】

鹿園直建著「地球システム科学入門」東大出版(1992年)

【参考書】

- 鹿園直建著「地球システムの化学」東大出版(1997年)
- 鹿園直建著「廃棄物とのつきあい方」コロナ社(2001年)

地学 / 地学 (春学期分)
 「宇宙の科学」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経商理】 坪田 幸政
 *理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

宇宙の科学の基礎と自然観の変遷を学習します。そして、現代の宇宙観や地球観を養い、現代社会と科学の関係について考える。

【教科書】

坪田幸政訳「宇宙の科学」、丸善

【参考書】

加藤万里子著、「100億年を翔ける宇宙」、恒星社厚生閣

地学 / 地学 (秋学期分)
 「地球環境論」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経商理】 坪田 幸政
 *理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

- ・天気予報を主体的に利用できるようになり、その評価を科学的に行えるようになる。
- ・地球環境に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、自ら判断・行動できるようになる。

【教科書】

未定。

【参考書】

坪田幸政・吉田優著、「インターネット気象学」、クラ
 イム
<http://www.dpc.ucar.edu/globalChange/index.html>
 高橋庸哉・坪田幸政訳、「ワクワク実験 気象学」、丸善

地球科学概論
 「大気科学」 2単位 春学期
【商理】 坪田 幸政

【授業科目の内容】

- ・地球科学の諸分野の中の大気科学を体系的に授業を行います。
- ・この授業を通して大気科学の基礎を理解し、地球環境問題に対して、各自の意見を持てるようになることがこの授業の目的となります。
- ・内容は気象予報士試験の学科試験と一致しており、夏の試験では履修者から合格者が出ています。

【教科書】

小倉義光著「一般気象学 第2版」(東京大学出版会、1999年、2800円)

【参考書】

坪田幸政・吉田優著「インターネット気象学」(クラ
 イム、2002年、980円)
 高橋庸哉・坪田幸政訳「ワクワク実験 気象学」(丸善、
 2000年、2800円)

地球科学概論
 「インターネット気象学」 2単位 秋学期
【商理】 坪田 幸政

【授業科目の内容】

- ・地球科学の諸分野の中で特に気象学に焦点を合わせて授業を行う。
- ・天気予報を主体的に利用できるようになり、その評価を科学的に行えるようになる。
- ・地球環境に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、地球人として自ら判断・行動できるようになる。

【教科書】

坪田幸政・吉田優著「インターネット気象学」(クラ
 イム、2002年、980円)

【参考書】

高橋庸哉・坪田幸政訳「ワクワク実験 気象学」(丸善、
 2000年、2800円)
<http://www.dpc.ucar.edu/globalChange/index.html>

中国事情
 「現代中国の政治と社会」 2単位 春学期
【文経商医】 段 瑞聡

【授業科目の内容】

本講義は現代中国の政治と社会に対する基本的知識を身につけるためのものである。

中国は1978年から鄧小平主導下で改革開放政策を実施し、92年には社会主義市場経済体制の導入を正式に決定した。以来、中国経済は目覚ましい発展を遂げてきた。2001年のWTO加盟によって、市場経済はさらに加速化し、2004年には中国は世界で第3番目の貿易国になった。しかし、中国共産党は依然として一党支配を続け、社会主義体制を堅持しようとしている。経済発展は中国社会にさまざまな変化をもたらした。本講義では中国における政治のメカニズムを解明すると同時に、経済発展がもたらしたさまざまな社会問題をも検討する。

【教科書】

家近亮子・唐亮・松田康博編著『5分野から読み解く現代中国』、晃洋書房、2005年。

【参考書】

授業中、適宜紹介する。

中国事情
 「中国の風習と地方文化入門『詩歌の中の歳時 伝承と習俗』日本の年中行事と比較して」 2単位 秋学期
【文経商医】 許 曼麗

【授業科目の内容】

何気なく過ごしている毎日の中に、実にたくさんの中国文化と出会うことが出来る。この授業は、中国の歳時行事を中心に講義をし、それにまつわる有名な詩歌を紹介しながら、日本のそれと対比しつつ、表象の違いを認識し、その伝来と変遷のプロセスを考察していきたい。そして、この講義を通して、中国が身近な存在であることを改めて実感してもらい、より深い理解をすることを期待したい。

【教科書】

ガイダンスで指示する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

地理学a(春学期)/地理学b(秋学期)
 地理学(通年) (水曜日)
 「都市に関する問題を考える」 2単位 春学期/秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 長田 進

【授業科目の内容】

地理学の取り扱う現象は幅広いが、この講座では、「都市」についての理解を深めることを主な目標とする。都市とは、現代のわれわれが生活する場所であり、政治・経済・文化といった多様な綿にわたり重要な役割を果たす場所でもある。そこで、この講座で取り上げる具体的な内容として、「都市」理解のための理論的枠組について学びつつも、現実の具体的な問題について考察するまでの幅広い話題を取り上げて講義をしていく予定である。

【教科書】

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

【参考書】

高橋、村山、菅野、伊藤(1997)「新しい都市地理学」東洋書林
 その他については授業の中で紹介する。

地理学a(春学期)/地理学b(秋学期)
 地理学(通年) (金曜日)
 「企業の活動を考える」 2単位 春学期/秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 長田 進

【授業科目の内容】

地理学は実証的な学問として幅広い話題を含んでいるが、この講座では「立地論」を軸にした社会現象の分析を話題の中心とする。

「立地論」とは、企業(経済主体)がどの場所が経済的に有利な場所であるかを検討する学問である。したがって、立地論を学ぶことは、(1)企業が特定の場所に集中する理由、や(2)企業の発展するパターン、など、実社会で起こる事象について学ぶことでもある。

今回、この講座では古典的立地論を学ぶことに始まり、具体的な問題について考察するまでについて講義を進めていく予定である。

【教科書】

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

【参考書】

授業の中で紹介する。

地理学a(春学期)/地理学b(秋学期)
 地理学(通年) (月曜日)
 「自然災害の地理学的解析」 2単位 春学期/秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 松原 彰子

【授業科目の内容】

人類は、長年にわたって気象災害・地震災害・火山災害などのさまざまな被害を受けてきた。近年では、これらに加えて地盤沈下や海岸侵食なども新たな災害として問題になっている。本講義では、災害の原因や実態を解説すると共に、災害と地理的条件(特に地形条件)との関係について考察し、災害予測のための基礎資料を示す。

【教科書】

松原 彰子著 『自然地理学』(慶應義塾大学出版会、2006年3月刊行予定)

【参考書】

適宜紹介します。

地理学a(春学期)/地理学b(秋学期)
 地理学(通年) (火曜日)
 「自然地理学的視点から見た地球環境変動」
 2単位 春学期/秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 松原 彰子

【授業科目の内容】

近年の地球環境問題を理解する上で、広域的な視野に立ち、長時間スケールで自然環境の変動を把握することがきわめて重要である。本講義では、自然地理学の立場から、最も新しい地質時代である第四紀後期における地球環境変遷を中心にして、環境変動の原因と実態を解説する。

【教科書】

松原 彰子著 『自然地理学』(慶應義塾大学出版会、2006年3月刊行予定)

【参考書】

適宜紹介します。

地理学a(春学期)/地理学b(秋学期)
 地理学(通年)
 「日本と世界の農業・農村地域」
 2単位 春学期/秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 水嶋 一雄

【授業科目の内容】

この講義は、農業・農村地域の持続的発展に関わる方策を考えるため、日本と世界の農業・農村地域の現状と変化、問題点を、具体的な事例で理解することを目的とする。春学期は、日本の食料自給の現状と問題点、環境保全型農業(持続的農業)の考え方と問題点、水田開発の過程を地形や水との関わり、などについて講義

する。秋学期は、近年における農業地域の現状と変化、とくに農業形態の変化を具体的な事例を紹介して講義する。また、アジア諸国やカリフォルニア州の農業・農村地域についても、日本との関連性を踏まえながら具体的な事例で講義する。講義内容を補足するために、ビデオやスライドを使用する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業時間中に指示する。

地理学 / 地理学 (春学期分)

「～歴史地理学研究、その方法と実際～」

2単位 春学期

4単位 通年

宮瀧 交二

【文経法商医理】

【授業科目の内容】

人文地理学の中における歴史地理学研究の目的・方法を確認したうえで、古代・中世を対象とした具体的調査事例から研究の実際を学ぶ。

【教科書】

講義の中で適宜紹介する。

【参考書】

講義の中で適宜紹介する。

地理学 / 地理学 (秋学期分)

「～歴史地理学研究、その方法と実際～」

2単位 秋学期

4単位 通年

宮瀧 交二

【文経法商医理】

【授業科目の内容】

人文地理学の中における歴史地理学研究の目的・方法を確認したうえで、古代・中世を対象とした具体的調査事例から研究の実際を学ぶ。

【教科書】

講義の中で適宜紹介する。

【参考書】

講義の中で適宜紹介する。

地理学a (春学期) / 地理学b (秋学期)

地理学 (通年)

「現代の地域問題を地理学から考える」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

宮地 忠幸

【文経法商医理】

【授業科目の内容】

この授業では、現代における地域問題の特質を具体的に学んでいきます。地理学の一つの特質は、地域で発現している諸事象を具体的に把握する研究方法にあります。授業では、まず身近な地域にみられる地域問題から日本社会の構造的特質を予察します。また、(人文)地

理学が研究対象としてきた地域を(人文)地理学ではどのように捉えようとしてきたのかについて学びます。その上で、戦後の日本経済・社会の構造的特質とそれに条件づけられて生じてきた大都市問題、地方都市問題、農山村問題の実態について、代表的な地理学研究の成果から学んでいきます。最後に、地域や地域問題の認識方法について検討を加え、現代の地域問題を考えるために必要な視角を考察したいと思います。こうした一連の学習を通して、私たちの生活空間であり、市民社会の基盤である地域の見方・考え方について理解を深めることができます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

- ・岡田知弘・川瀬光義・鈴木誠・富樫幸一(2002)『国際化時代の地域経済学 改訂版』有斐閣アルマ。
- ・富田和暁(2004)『地域と産業 - 経済地理学の基礎 -』原書房。
- ・中俣均編(2004)『国土空間と地域社会』朝倉書店。
- ・伊藤喜栄(2004)『図説 日本の生活圏』古今書院。
- ・杉浦章介・松原彰子・武山政直・高木勇夫(2005)『人文地理学 - その主題と課題 -』慶應義塾大学出版会。

哲学 / 哲学 (春学期分)

「ジャックデリダの思想」

2単位 春学期

4単位 通年

荒金 直人

【文経法政商医理】

【授業科目の内容】

ジャック・デリダ(1930-2004)の著作の読解を通じて彼の思想への接近を試みます。

【教科書】

ジャック・デリダ著、守中高明訳、『コーラ、プラトンの場』、未来社、2004年。

【参考書】

(例えば次のものが参考になると思います)
高橋哲哉著、『デリダ、脱構築』、講談社、2003年。

哲学 / 哲学 (秋学期分)

「ジャックデリダの思想」

2単位 秋学期

4単位 通年

荒金 直人

【文経法政商医理】

【授業科目の内容】

ジャック・デリダ(1930-2004)の著作の読解を通じて彼の思想への接近を試みます。

【教科書】

未定(最初の授業で指示します)。

【参考書】

(例えば次のものが参考になると思います)
高橋哲哉著、『デリダ、脱構築』、講談社、2003年。

哲学 / 哲学 (春学期分)

「日本の芸術における「美」と我々の「生命」の本質」
2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 板橋 勇仁

【授業科目の内容】

中井正一著『美学入門』は、書名から想像するような入門書・概説書ではなく、むしろ「美しい」とはいかなることか、それが我々の「生命(いのち)」にとっていかなる意味を持っているかについて哲学的に考察した書であり、その根源的な洞察ゆえに、今なお名著の呼声が低い書である。中井正一は、西田幾多郎、三木清らの思想の流れをくむ、戦後日本を代表する美学者の一人であるが、彼の代表作の一つであるこの『美学入門』の「日本の美」の部分は、日本における自然・技術・芸術における「美しさ」を探究しつつ、とりわけ芸術における美しさを、さまざまなジャンルを例にあげて、また東西のさまざまな文化に見られる芸術を比較しながら論じている。この「日本の美」の部分を順次講読しながら、日本において美とは何か、生命とはどのように捉えられてきたのか、中井と共に真剣にかつ精密に議論しながら、我々にとっての美と生命の本質を探っていきたい。担当教員が研究している西田幾多郎の哲学についてもあわせて紹介し、日本に根ざした哲学的思索がどのように展開しうるのかも考察していきたい。

【教科書】

中井正一『美学入門』(朝日選書32)

【参考書】

板橋勇仁『西田哲学の論理と方法』(法政大学出版局)

哲学 / 哲学 (秋学期分)

「日本の芸術における「美」と我々の「生命」の本質」
2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 板橋 勇仁

【授業科目の内容】

中井正一著『美学入門』は、書名から想像するような入門書・概説書ではなく、むしろ「美しい」とはいかなることか、それが我々の「生命(いのち)」にとっていかなる意味を持っているかについて哲学的に考察した書であり、その根源的な洞察ゆえに、今なお名著の呼声が低い書である。中井正一は、西田幾多郎、三木清らの思想の流れをくむ、戦後日本を代表する美学者の一人であるが、彼の代表作の一つであるこの『美学入門』の「日本の美」の部分は、日本における自然・技術・芸術における「美しさ」を探究しつつ、とりわけ芸術における美しさを、さまざまなジャンルを例にあげて、また東西のさまざまな文化に見られる芸術を比較しながら論じている。この「日本の美」の部分を順次講読しながら、日本において美とは何か、生命とはどのように捉えられてきたのか、中井と共に真剣にかつ精密に議論しながら、

我々にとっての美と生命の本質を探っていきたい。担当教員が研究している西田幾多郎の哲学についてもあわせて紹介し、日本に根ざした哲学的思索がどのように展開しうるのかも考察していきたい。

【教科書】

中井正一『美学入門』(朝日選書32)

【参考書】

板橋勇仁『西田哲学の論理と方法』(法政大学出版局)

哲学 (春学期) / 哲学 (秋学期)

哲学 (通年)
「哲学の諸問題」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 木原 弘行

【授業科目の内容】

哲学で問題となっているトピックに関して、どうしてそれが問題となるのか、どう考えれば答えられるのか、といったことを論じていきたいと思えます。考えるのは学生の皆さんなので、決してどの哲学者がどんなことを言ったかを暗記するものではありません。下記の問題のうちひとつでも興味を持って、自分の考えを主張できるようにするのが、本講義の目的です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

西脇与作著『現代哲学入門』慶応義塾出版会
また、内容に合わせて紹介します。

哲学 / 哲学 (春学期分)

「ライプニッツ『形而上学叙説』を読む」
2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 田子山和歌子

【授業科目の内容】

近代ヨーロッパにおける代表的哲学者ライプニッツ Leibnizの中期の著作『形而上学叙説』*Discours de Metaphysique*を精読し、そこで論じられているさまざまな問題について考えたい。同時に、彼の論争相手であったフランスの僧侶アルノー Arnauldとの往復書簡を検討し、当時の知識人がライプニッツの学説にいかなる反応を示したかについても見てみたい。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

『ライプニッツ著作集』(工作舎)

哲学 / 哲学 (秋学期分)
 「ライプニッツ『形而上学叙説』を読む」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 田子山和歌子

【授業科目の内容】
 近代ヨーロッパにおける代表的哲学者ライプニッツ Leibniz の中期の著作『形而上学叙説』 *Discours de Metaphysique* を精読し、そこで論じられているさまざまな問題について考えたい。同時に、彼の論争相手であったフランスの僧侶アルノー Arnauld との往復書簡を検討し、当時の知識人がライプニッツの学説にいかなる反応を示したかについても見てみたい。

【教科書】
 プリントを配布します。
【参考書】
 『ライプニッツ著作集』(工作舎)

哲学 / 哲学 (春学期分)
 「心の歴史」
 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 中川 純男

【授業科目の内容】
 われわれ現代人は、過去の意味をいまの視点から評価しがちであるが、過去のほんとうの意味は、それがわれわれの現在の一部となっていること、いまが過去によって意味を与えられていることにある。いまに蓄積された過去、それが文化とか文明と呼ばれるものの本質である。この講義では、古代から近世に至る思想史の中から、いくつかの主題を取り上げ、その思想がわれわれにとって身近なものであることを実感することを目指す。

【教科書】
 用いない。
【参考書】
 『中世哲学を学ぶ人のために』中川純男・加藤雅人編、世界思想社、2005年、定価2100円

哲学 / 哲学 (秋学期分)
 「心の歴史」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 中川 純男

【授業科目の内容】
 われわれ現代人は、過去の意味をいまの視点から評価しがちであるが、過去のほんとうの意味は、それがわれわれの現在の一部となっていること、いまが過去によって意味を与えられていることにある。いまに蓄積された過去、それが文化とか文明と呼ばれるものの本質である。この講義では、古代から近世に至る思想史の中から、いくつかの主題を取り上げ、その思想がわれわれにとって身近なものであることを実感することを目指す。

【教科書】
 用いない
【参考書】
 『中世哲学を学ぶ人のために』中川純男・加藤雅人編、世界思想社、2005年、定価2100円

哲学 / 哲学 (春学期分)
 「アリストテレスから西洋哲学史にアプローチする(その1) 人間と生命」
 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 中村 公博

【授業科目の内容】
 アリストテレスの人間観、生命(魂)観というテーマの下、彼の考え方がよく分かり、かつ、哲学史上重要だと思われる箇所を抜粋し、注釈を加えながら、解説します。また、それらの箇所から生じた西洋哲学史上の諸問題・概念についても適宜解説していきます。

【教科書】
 プリントを配布します。
【参考書】
 必要があれば、授業中に紹介します。

哲学 / 哲学 (秋学期分)
 「アリストテレスから西洋哲学史にアプローチする(その2) 自然と存在」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 中村 公博

【授業科目の内容】
 アリストテレスの自然観、存在観というテーマの下、春学期の「哲学」と同様の仕方で、注釈・解説します。
【教科書】
 プリントを配布します。
【参考書】
 必要があれば、授業中に紹介します。

哲学 / 哲学 (春学期分)
 「哲学的な問題とその考え方」
 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 福田 敦史

【授業科目の内容】
 トマス・ネーゲルの『哲学ってどんなこと?』は、平易な言葉で哲学的な問題を語りながら、いささかも、それらの問題の質や面白さを低めることのない、とてもよい著作です。今年度は、この本をテキストにして、これに沿って授業を進めます(用意するテキストは翻訳でも原著でも、どちらでも構いません)。講義の進め方は、まずテキストを読んでもらい哲学的問題を理解してもらいます。その際、内容についての解説を適宜行いますし、テキストでは扱われていないことで関連する事柄もお話していく予定です。この時に、学生の皆さんからの積極的な質問や意見を求めます。皆さ

んからの質問や意見の紹介、そして、それらへの回答も交えて、哲学的問題の何がいったい問題なのかを考えていきましょう。

ひとつの章は2回から3回の講義で扱っていく予定ですが、各章を読み終えるたびに、みなさんにはその章での内容を題材にして、長めの論述をしてもらいます。ですから、半期で4回ほど（通年で8回から9回）の論述筆記試験があるものと考えてください。

この授業では、哲学的な問題を理解してもらい、その問題についてどのように考えることができるか、ということ、具体的な問題を取り上げることでみなさんに実際に体験してもらうことを目標とします。

【教科書】

トマス・ネーゲル『哲学ってどんなこと？』（昭和堂、1993年、2,039円）

【参考書】

Nagel, T., *What does it all mean?* Oxford University Press, 1987.

野矢茂樹『哲学の謎』（講談社現代新書、1996）

他にも参考書はその都度紹介します。

哲学 / 哲学（秋学期分）

「哲学的な問題とその考え方」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 福田 敦史

【授業科目の内容】

トマス・ネーゲルの『哲学ってどんなこと？』は、平易な言葉で哲学的な問題を語りながら、いささかも、それらの問題の質や面白さを低めることのない、とてもよい著作です。今年度は、この本をテキストにして、これに沿って授業を進めます（用意するテキストは翻訳でも原著でも、どちらでも構いません）。

講義の進め方は、まずテキストを読んでもらい哲学的問題を理解してもらいます。その際、内容についての解説を適宜行いますし、テキストでは扱われていないことで関連する事柄もお話していく予定です。この時に、学生の皆さんからの積極的な質問や意見を求めます。皆さんからの質問や意見の紹介、そして、それらへの回答も交えて、哲学的問題の何がいったい問題なのかを考えていきましょう。

ひとつの章は2回から3回の講義で扱っていく予定ですが、各章を読み終えるたびに、みなさんにはその章での内容を題材にして、長めの論述をしてもらいます。ですから、半期で4回ほど（通年で8回から9回）の論述筆記試験があるものと考えてください。

この授業では、哲学的な問題を理解してもらい、その問題についてどのように考えることができるか、ということ、具体的な問題を取り上げることでみなさんに実際に体験してもらうことを目標とします。

【教科書】

トマス・ネーゲル『哲学ってどんなこと？』（昭和堂、1993年、2,039円）

【参考書】

Nagel, T., *What does it all mean?* Oxford University Press, 1987.

野矢茂樹『哲学の謎』（講談社現代新書、1996）

他にも参考書はその都度紹介します。

哲学 / 哲学（春学期分）

「レヴィナスを読む」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 堀江 聡

【授業科目の内容】

エマニュエル・レヴィナスの第一の主著『全体性と無限』を邦訳で講読する。

【教科書】

『全体性と無限』上（熊野純彦訳）岩波文庫、2005年。

【参考書】

『全体性と無限 外部性についての試論』（合田正人訳）国文社、1989年。

Emmanuel Lévinas, *Totalité et Infini. Essai sur l'extériorité*, La Haye, 1961, *Totality and Infinity*, trans. by Alphonso Lingis, Pittsburg, 1969 ; *Totalität und Unendlichkeit*, übersetzt von Wolfgang Nikolaus Krewani, München, 1993.

哲学 / 哲学（秋学期分）

「レヴィナスを読む」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 堀江 聡

【授業科目の内容】

エマニュエル・レヴィナスの第二の主著『存在の彼方へ』を邦訳で講読する。

【教科書】

『存在の彼方へ』（合田正人訳）講談社学術文庫1383、1999年。

【参考書】

Emmanuel Lévinas, *Autrement qu' être ou au-delà de l'essence*, La Haye, 1974; *Jenseits des Seins oder anders als Sein geschieht*, übersetzt von Thomas Wiemer, München, 1998.

哲学 / 哲学（春学期分）

「経験主義と合理主義」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 町田 一

【授業科目の内容】

「知っている」と言えるための基準は何か。
「知っている」と「信じている」とは何かが違うのか。

知識と経験に関する哲学的問題を論じる。

【教科書】

授業時に指示する。

【参考書】

授業時に指示する。

哲学 / 哲学（秋学期分）

「経験主義と合理主義」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 町田 一

【授業科目の内容】

意識したり感情をもつといった「心のはたらき」とは何であるか。何かを「考える」とはどのようなことなのか。心と合理的思考に関する哲学的問題を論じる。

【教科書】

授業時に指示する。

【参考書】

授業時に指示する。

哲学（春学期）/ 哲学（秋学期）

哲学（通年）
「心と言語をめぐる哲学の諸問題」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 星野 嶽男

【授業科目の内容】

これまで哲学において議論されてきた様々な問題の中から、特に「心」と「言語」に関するものをとりあげ、そうした問題に対してどのような解決が与えられるかを考えたいと思います。

哲学においては、単なる用語から、ものの考え方、論証の方法に至るまで、独特のものが多くあります。この授業では、具体的な議論を紹介し、いくつかの問題点とその解決を考えてゆく中で、こうした哲学的な手法というものを理解して頂くことを目的とします。

背景となる古典的な議論などもその都度紹介しますが、できるだけ最近のトピックを扱うつもりです。一例を挙げれば、今日の物的世界観における、感覚質（qualia）と呼ばれるものの位置付けなどがあります。

授業で扱う問題について、単に議論を追うばかりでなく、実際に自分で考えてみるよう心がけてください。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

必要に応じて授業で紹介します。

哲学 / 哲学（春学期分）

「世界と知識」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 室田 憲司

【授業科目の内容】

哲学にはさまざまな側面がありますが、この講義では特に、その論証的な側面を強調します。こうした立場から、世界の一般的なあり方について、そして、そうした

世界の知り方について考えていきたいと思います。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布する予定です。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

哲学 / 哲学（秋学期分）

「世界と知識」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 室田 憲司

【授業科目の内容】

哲学にはさまざまな側面がありますが、この講義では特に、その論証的な側面を強調します。こうした立場から、世界の一般的なあり方について、そして、そうした世界の知り方について考えていきたいと思います。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布する予定です。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

哲学（春学期）/ 哲学（秋学期）

哲学（通年）
「神を哲学する エックハルトにおける哲学と神学」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 山崎 達也

【授業科目の内容】

《神》についてどこまで知ることができるのか、この問いをいっしょに考えていきたいと思います。そのさいに、エックハルト(Meister Eckhart, 1260 1327/29)に私たちのナビゲーターになってもらいます。エックハルトはおもに14世紀に活躍したドイツ・ドミニコ会士の一人です。エックハルトはこれまで「神秘主義者」としてイメージされてきましたが、しかし最近では「哲学者」として捉え直そうとする研究動向が強まりつつあります。

本講義では、まずはギリシアから中世への哲学の系譜のなかでエックハルトの思想を位置づけ、そこから神学的問題領域にアプローチしていきます。ここで扱われる問題は、《創造》、《神の受肉》、《三位一体》などです。たとえば「机の上にコーヒーカップがある」といわれるときのコーヒーカップの存在は神の創造行為といかに関係しているのか、あるいはそのコーヒーカップを私たちが認識する行為は神の受肉といかに関係しているのか、こうした問題を具体的に考えていこうと思っています。

《哲学》という精神的営みを遂行するのはあくまでも人間知性です。それに対して、《神学》はその知性を超えた領域に成立する学です。これら二つの学を統一しようとしたのがエックハルトです。そして哲学はエックハルトの思索のなかで研ぎ澄まされた形となって私たちの前に現れてくるはずですが、本講義のモチーフは、その姿をどうしても見たいというどうにも抑えがたい好奇心に発しています。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

天文学a（春学期） / 天文学b（秋学期）

天文学（通年）

「宇宙の中の人間」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経商理】 加藤万里子

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

宇宙は波瀾万丈で、ダイナミックな出来事に満ちている。私たちはなぜ地球に生まれたのか、宇宙の中で地球と人間のおかれた位置を明らかにすることがこの講義の目的である。まず、宇宙観が歴史的にどのような変遷をとげたかを見る。アリストテレスの宇宙から、現代のビッグバン宇宙にいたるまでのいろいろな発見と試行錯誤の歴史に注目したい。宇宙は高温高密度の大爆発で始まり、次第に冷えていく中で、銀河や星ができた。星はいまでも生まれている。星は核融合反応のエネルギーで光っており、最後には超新星爆発など劇的な現象を引き起こす。そのとき星の中にあつたいろいろな元素が宇宙にまき散らされる。太陽系には地球型惑星と木星型惑星がある。地球型惑星は岩石と金属からなる星で、わたしたち生物はそこで生まれて進化してきた。からだを作っている元素は、むかし星の中心部で核融合反応により作られたものである。太陽系で起こったことは、宇宙のどこかでもやはり起こった可能性がある。宇宙のどこかにいるかもしれない知的生命とめぐりあうことはあるのだろうか。グループ発表や絵本製作を行うので、初回の講義に出て説明をうけること。過去の履修者が作成した絵本は<http://sunrise.hc.keio.ac.jp/mariko/astro.html>にある。

【教科書】

加藤万里子著『新版 100億年を翔ける宇宙』恒星社

21世紀の実学

2単位 秋学期

【文経商】 コーディネーター 鈴木 順二
瀧本佳香子

【授業科目の内容】

社会に対する自主的関心と豊かな発想をもってつねに新しい課題に取り組み、大学で体得した科学的態度と教養を積極的に問題解決に適用できる人物を社会に送り出すことはわれわれ教員の目標とするところである。このような実学の精神を具現化し実社会で指導的役割を担っている先輩には枚挙にいとまがないが、この授業はこれらの人々の力を借り展開される。

各回の授業に実社会で活躍している方々を講師として招きオムニバス形式の講義を展開する。そこでは、他人と協働するとはどういうことなのか、実社会で指導的役

割を果たすとはどういうことなのか、社会に出て実学の精神を実践するためには学生時代いかに過ごすべきかなど、先輩の立場から話してもらい、大学における勉学の意味を積極的に考える機会を諸君に持ってもらうと思っている。各回異なる講師による講義が展開されるため具体的な講義内容は多岐にわたることになるが、大学初年級の君達が有意義な大学生活を送れることを目標にして、実社会での成功あるいは失敗の経験から得られた講師の知恵に基づいて講義がなされることは共通している。

日本の政治

「現代日本の政治過程」 2単位 春学期
【経商医理】 水戸 克典

【授業科目の内容】

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわれています。しかしながら、実際に誰が政治の実験を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義では具体的事例を取り上げながら、日本政治についていわれている様々な特質を解説し、わが国における政治力学を多面的に検討していきます。

【教科書】

授業中に適宜指示します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

比較文化論a（春学期） / 比較文化論b（秋学期）

比較文化論（通年）

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経商医】 コーディネーター 石井 康史
佐谷眞木人 田代 真
根岸宗一郎

【授業科目の内容】

「外国」「外国人」、「異邦」「異邦人」、さらには「外国性」「異邦性」が各文化の中でどのように表象されているかを主題にした昨年度に続き、今年度はある特定の文化に大きな負荷がかかったとき、その重荷をどのように表象するかという問題を主題にします。文化とは社会を機能させているひとつの下部システムとも考えられますが、そのシステムがいわばオーヴァーロード状態に陥ったとき、それに対する対応は文化ごと社会ごとにさまざまです。この講義では、その対応の仕方の多様性を描写することで、それぞれの文化の特性を分析し比較検討します。

石井は20世紀初頭アルゼンチンにおいて、知識人や芸術家たちが新しい環境にどのように反応したかを、根岸は中国の近代国家形成から今日に至る歴史過程の中で、代表的な知識人がどのような証言を残しているかを、それぞれ検討します。佐谷は日清戦争という大事件が近代国家としての日本にとってどのような意義を持ったか

を、田代は複数の文化が構成する力関係の場という視点から、文化の翻訳という現象を、それぞれ考察します。「20世紀初頭アルゼンチン文化とヨーロッパ世界の関係について」石井康史

20世紀初頭、首都ブエノスアイレスの人口はヨーロッパからの移住者で8倍近くにまで膨れ上がります。とりわけ1914年に第一次大戦が始まるまでのアルゼンチンは世界有数の富裕国だったのです。それまで地方ではスペイン文化、都市部ではさらにフランス文化を模範とする社会であったのが、とりわけイタリアからの移住者の急増で都市部の構成員が大きく変化するこの時代、ブエノスアイレス都市文化の表層には大規模かつ深い変動が記録されています。たとえば、こうした環境から生まれた移民労働者の音楽がタンゴだったのです。ブエノスアイレスにおけるこうした劇的变化に、老若を問わず知識人や作家たちも無関係ではいらませんでした。彼らは言語や造形、音楽による表象活動によって、自分たちなりの現代ブエノスアイレスを描こうとしますが、その生産物は実に多種多様であり、相互に気の遠くなるくらいの隔たりがありました。この講義では、スペイン的民族主義、あるいはフランス文化の特権化という旧来の立場から、移住者たちの混沌とした都市を新しい環境として積極的に受容・擁護する立場にいたるまで、ブエノスアイレスをめぐるさまざまな表象を分光器にかけると併置することを通じて、新しいブエノスアイレスに対する知識人・芸術家たちの対応の多様性を分析的に検討します。

「近現代中国と日本・西洋」根岸宗一郎

中国は13億を超える人口をかかえる国であり、イギリス・フランス・ドイツといったヨーロッパ近代国家の20倍近い規模をもつ。しかし、ウエスタン・インパクトを受けて中国の近代国家形成は極めて急速に進んだ。本講義は、中国の近代国家形成の問題（ナショナリズム、言語）から出発し、激動の20世紀中国を日本・西洋との関係に注目しながら考察していく。中国は20世紀初頭、日本を経由して西洋文化を吸収していくため、西洋との関係も日本との関係抜きには語ることができない。そこで、激動の時代の中で突出した観察眼を有した中国と日本の知識人たちの証言を手がかりに、時代を追いながら論じていきたい。具体的には中国知識人の魯迅、周作人、日本知識人の芥川龍之介、武者小路実篤などに焦点を当てながら進めていく予定である。

「日清戦争を 読む 」佐谷眞木人

日清戦争は、近代日本が最初に経験した大規模な対外戦争であり、その後の日本の進む道筋を方向付けただけでなく、今日の日本と東アジアの関係にまで影響を及ぼしている。この講義では、日清戦争当時の知識人や文学者の書いた文章や、当時の俗謡・大衆芸能などを 読む ことを通して、日清戦争がどのような経験として当時の日本人に共有され、内面化されていたかを明らかにしたい。それは、幕末以来のナショナリズムの高揚と社会的波及が臨界点に達した時点で起きた「事件」であった。また、同時に近代的な徴兵制による軍隊が初めて組織的に機能した「実績」でもあった。結論を先に見通してお

くと、日清戦争は帝国議会の開設と相俟って、日本が近代的な国民国家へと再編成される過程に起きた、一種の「建国運動」としての側面を有していたと、私は考えている。過去の侵略戦争を、犯罪的行為として単純に断罪するのではなく、また「仕方のなかったこと」として免責するのではなく、そこにいかなる現象が生起しているかをクールに分析することによって、日本と東アジアの関係をより見通しのよいものにできればと考えている。

「文化の翻訳 『比較』における非対称的な力関係」田代真

本講義の科目名には「比較」という言葉が含まれている。二者を「比較」する場合、実際には両者の間には非対称な力関係（「強者」と「弱者」の力関係）が伴うことがほとんどである。私の担当分では、「比較」におけるこのような非対称な力関係に着目して、科目名に含まれるもうひとつの概念である「文化」について考えてみたい。表題にある「文化の翻訳」とは、ここでは異言語間の翻訳という字義的な意味にとどまらず、他の文化や他の文化ジャンルの移入や書き換え、混淆といった広義の文化現象を含むものとする。「文化」とその「翻訳」はどのように関わるのか？ 非対称的な力関係が「文化」の形成にどう関わるのか？ 以上のような問題圏を各回のトピックのうちに探ってみる予定である。各トピックは現段階の暫定的なものなので取り上げる順番や内容の変更もありうる。私の担当分の初回の授業で詳しい内容を説明する。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中に適宜指示・紹介する。

美術 / 美術（春学期分）

「江戸時代の絵画」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 金子 信久

【授業科目の内容】

江戸時代の絵画史を概観します。江戸時代は、美術という営みに携わる人々の拡大、個性の表現、科学的な眼に基づく写実的な描写の展開など、日本の絵画史の上で、今日につながるとも言える変化が現れた時代です。現代に生きる私たちにとっても、この時代の美術を知ることには大きな意味があるでしょう。授業では、重要な画人と作品にポイントを置きながら、この時代の特徴的な動向と流れをお話しします。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度紹介します。

美術 / 美術 (秋学期分)

「日本絵画と自然」 2単位 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 金子 信久

【授業科目の内容】

古代から近世(江戸時代)までの絵画の中で、自然景観や動植物がどのように描かれてきたかを通観します。各時代の作品には、その時々における人々の自然との接し方や世界観、あるいは芸術観が反映されています。表現技法の変遷や近代絵画への道程という視点だけではなく、その作品が描かれた時代のありようを考えながら、実感をもって捉えることが目標です。また、本講義は美術「江戸時代の絵画」に続く内容でもあります。すなわち、江戸時代に現れた革新的な風景画や花鳥画について、広い視野から考え、その成立について深く理解しようという目的を含んでいます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度紹介します。

美術a (春学期) / 美術b (秋学期)

美術 (通年)
「日本絵画の特徴を名作に探る」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 河合 正朝

【授業科目の内容】

日本の美術を絵画に焦点を当てながら、他の美術、すなわち彫刻や工芸や建築などにも時には触れながら、日本美術の特徴やその見方などについて話します。小学校、中学、高等学校では、歴史や文化史の時間に紹介され記憶に残る美術作品が、美術史という学問の視点から見るとどのように見えるのかといったことなどを説明し、聴講者にはそのことが理解が出来、興味を持てるようにしたいと思います。

【教科書】

とくになし。必要であればプリントを配布する。

【参考書】

授業時間中に必要に応じて紹介する。

美術 / 美術 (春学期分)

「スペイン美術史」 2単位 春学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 木下 亮

【授業科目の内容】

16世紀から19世紀前半のスペイン美術史を、エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤを中心に概観し、同時に東京都美術館で開催される「プラド美術館展」の出品作品を講義で取り上げる。またスペイン美術の特質を理解するた

めに、スペインと他のヨーロッパ諸国との美術における影響関係についても適宜ふれていきたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

講義のなかで紹介する。

美術 / 美術 (秋学期分)

「スペイン近現代美術史」 2単位 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 木下 亮

【授業科目の内容】

19・20世紀のスペイン美術を、ガウディ、ピカソ、ダリを中心に概観する。スペインが影響を受けた他のヨーロッパ諸国の前衛芸術との関係についても適宜ふれていきたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

講義のなかで紹介する。

美術

「20世紀の美術」 2単位 春学期
【文経法政商医理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

20世紀美術史の講義です。基本的知識を前提とした知的なアプローチによって、美術作品のなかに込められたアーティストの主張を正確に理解することを目的とします。

内容としては、今世紀初頭のパリにおいて美術にどのような革新がおこったかマティス、ピカソなどを中心に考えます。

この講義では近・現代美術を見る上での基本的な知識の修得を目的としますので、時系列的に出来事の脈絡を考えたり、重要作品や語句を暗記することが求められます。

【教科書】

なし。

【参考書】

『カラー版20世紀の美術』美術出版社

美術 a (春学期) / 美術b (秋学期)

美術 (通年)
「日本の仏教美術」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 塩澤 寛樹

【授業科目の内容】

本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連続と通史的に流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史

を中心にして日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解しようとするものである。また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情などとも密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指す。

そのうち、春学期は、飛鳥時代から平安時代前期までを、秋学期は、平安時代後期から江戸時代までを扱う。

【教科書】

特に定めない。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布する。

【参考書】

佐和隆研『仏像図典』（吉川弘文館）、『仏教美術事典』（東京書籍）

美術 / 美術（春学期分）

「イタリア・ルネサンスの絵画」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 末吉 雄二

【授業科目の内容】

美術や音楽を理解し愛好するのは、その人の趣味にすぎないと思われ、残念ながら、日本社会の指導的な立場に居ながら「私は美術は全くわからない」と言って恥じない者も少なくない。しかし、傑作か否かを問わず、芸術作品一点には、それを産出し・受容し・保持してきた社会と個人の価値観（制度・思想）が結晶しているので、それを理解するのはきわめて知的な営みである。美術作品を知って楽しむことは、知性と感性をバランスよく育むことができた者の特権なのである。この授業はこのような観点に立ってルネサンス絵画を鑑賞するための「入門講座」である。

【教科書】

特に指定しないが、限られた授業時間内に多数の作品を紹介することは困難なので、各人が美術全集などでできるだけ多くの作品を「見る」ようにしてほしい。ヨーロッパの「歴史」および「キリスト教信仰」が深く関わってくるので、各自勉強してほしい。講義の資料は授業の際に配布する。

【参考書】

聖書とギリシア・ローマ神話に関しては解説書が各種あるが、美術作品の主題を知るためには『西洋美術解説辞典』（河出書房新社）が便利。『黄金伝説』（人文書院）、『キリスト教大事典』（教文館）などにも目を向けてほしいが、文化史としては『イタリア・ルネサンスの文化』（J・ブルクハルト著）が「ルネサンス」概念の理解のためには不可欠。『世界美術大全集』、『世界美術大事典』（共に小学館）。

美術 / 美術（秋学期分）

「イタリア・ルネサンスの絵画」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 末吉 雄二

【授業科目の内容】

美術や音楽を理解し愛好するのは、その人の趣味にすぎないと思われ、残念ながら、日本社会の指導的な立場に居ながら「私は美術は全くわからない」と言って恥じない者も少なくない。しかし、傑作か否かを問わず、芸術作品一点には、それを産出し・受容し・保持してきた社会と個人の価値観（制度・思想）が結晶しているので、それを理解するのはきわめて知的な営みである。美術作品を知って楽しむことは、知性と感性をバランスよく育むことができた者の特権なのである。この授業はこのような観点に立ってルネサンス絵画を鑑賞するための「入門講座」である。

【教科書】

特に指定しないが、限られた授業時間内に多数の作品を紹介することは困難なので、各人が美術全集などでできるだけ多くの作品を「見る」ようにしてほしい。ヨーロッパの「歴史」および「キリスト教信仰」が深く関わってくるので、各自勉強してほしい。講義の資料は授業の際に配布する。

【参考書】

聖書とギリシア・ローマ神話に関しては解説書が各種あるが、美術作品の主題を知るためには『西洋美術解説辞典』（河出書房新社）が便利。『黄金伝説』（人文書院）、『キリスト教大事典』（教文館）などにも目を向けてほしいが、文化史としては『イタリア・ルネサンスの文化』（J・ブルクハルト著）が「ルネサンス」概念の理解のためには不可欠。『世界美術大全集』、『世界美術大事典』（共に小学館）。

美術（春学期） / 美術（秋学期）

美術（通年）
「イギリスの風景画」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 杉村 浩哉

【授業科目の内容】

自然とのかかわりの中から生まれてきたイギリスの美術についての講義です。中心となるのは18～19世紀の風景画ですが、新しい形態をとる20世紀以降の美術についても考えたいと思います。個々の作品を歴史的な文脈の中でとらえること、また広く美術一般についての関心を深めることを目的とします。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業の中で適宜指示します。

美術a (春学期) / 美術b (秋学期)
美術 (通年)

「19世紀美術史概説 (西洋)」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 富田 章

【授業科目の内容】

西欧の19世紀は、社会構造が大きく変化した時代であった。美術の世界にもその影響は及んでいる。美術が広い層に受け入れられるようになったことによって、受容層の趣味が多様化し、その結果、多彩な主題がとりあげられるようになった。このことは、アカデミーを頂点とする美術界の制度にも改変を迫ることとなった。アカデミーにおいては、歴史画を最も価値あるものとする絵画ジャンルのヒエラルキーが厳然と存在していたからである。一方で科学の発展は、人々の生活を一変させた。これは主題の変化を促すと同時に、美術の手法にも変化をもたらした。そして、個人と個性とを尊重する傾向が強まっていったことが、これらの変化を促進することになった。本講義では、19世紀美術の流れを概観しつつ、以上のような主題、手法、制度などにおける変化の様相について検討し、その中で制作された個々の作品の意味について考えていく。20世紀美術に影響を与えたフランスの革新的な傾向の美術を中心に講義を進めるが、保守的なアカデミズムの美術や、ヨーロッパ各国の動向についても触れ、19世紀西洋美術の本質と同時にその多様性をも理解できるよう配慮する。

【教科書】

なし。

【参考書】

必要に応じて指示する。

人の尊厳

「社会と人権」 2単位 秋学期
【文経商医】 関場 武 安藤 寿康

【授業科目の内容】

国内外の情勢を眺めたとき、今日ほど人の尊厳の基盤が危機に瀕している時代はない。国際情勢においては民族間の葛藤が、国内においては少年犯罪、同和問題、性差別、児童虐待、さまざまなハラスメントや、いじめなどの諸問題が、また科学の領域では遺伝子情報や生命操作に絡む倫理的危機が、そしてわが心のうちには自分自身の尊厳を見いだすことができずにさまよう一人一人の精神的・思想的危機がある。これらは一見別々の問題のようでありながら、実は互いに連動しあっている。この講義は単なる「知識を得る」ための授業ではない。これら多様な問題に自ら立ち向かっておられるさまざまな分野の専門家に毎回登場いただき、自らの経験や問題状況を語っていただく。それを受けて、学生諸君には、これらの諸問題を考え、さらには自らを振り返り自分自身の考え方や生き方を問い直すきっかけをつかんでほしい。それが、この講義の目的である。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業時に各講師が適宜紹介する。

表象文化論a (春学期) / 表象文化論b (秋学期)
表象文化論 (通年)

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経商医】 コーディネーター 小湊 昭夫
石井 康史 林 栄美子
藤崎 康

【授業科目の内容】

「写真と映画の誕生」林栄美子

人間が始めて「映像」を手にしたのは19世紀です。

写真は19世紀前半に、映画は19世紀末に誕生しましたので、人間の長い歴史の中ではつい最近のことと言えます。

それでも短い間に映像は我々の周りに氾濫し、いつのまにか人間を変え、今では映像の存在しない世界を想像することさえ難しくなっています。写真を初めとする映像は、人間に何をもたらしたのでしょうか。

写真や映画の誕生の頃に戻って、それらがどのようにして生まれてきたのかを知り、黎明期の写真・映画を今改めて見てみると、それらの面白さに驚かされます。

写真は誕生から1930年代ぐらいまでの、映画は19世紀末と20世紀初頭の、実際の映像資料に接して楽しみながら、写真とは映画とは何かを考えてみましょう。

最後には、写真の現代的な問題のいろいろを具体的に考察してみようと思っています。

「言文一致とは何か 20世紀日本語文字言語の構築過程」石井康史

表象文化の中でも一昨年度は落語、昨年度講談と<音声言語によるパフォーマンス芸術>を取り上げて来ましたが、今年度は私たちが学校教育や読書行為を通じて習得し現在使用しているいわゆる書き言葉、すなわち現代日本語の文字言語がどのように形成されてきたかという問題を考察します。その目的のために音声言語と文字言語の関係性の議論を主軸に、1900年前後の言文一致の問題を取り上げます。そもそも言文一致とは果たして何が一致することを指すのか、という設問自体がすでに難問なのです。音声言語と文字言語の一致であるのならば、そもそも両者の差異は媒体のみということになってしまうでしょうし、そのいっぽう音声言語と文字言語とが相互に排他的な関係にあるのだとすれば、音声言語と文字言語の<一致>とは永遠に到達不能な課題ということになるでしょう。今回は音声言語・文字言語というものがそれぞれ持っている特性を概念的に理解することから出発します。そのうえで具体的なテキストを取り上げながらそれぞれの特性を分析的に検討して行きます。その結果、私たちが今こうして使っている(この講義要項も!)日本語の文字言語がどのような動機から何を目的に構築されてきたのか、その一端を理解することがこの授業の

目的です。

「映画史の名作を奪還せよ！」藤崎 康

ヒッチコックや小津安二郎さえ知らない若い人がふえてしまった。まあそれは、「時」の風化作用であるゆえ致し方なからう(日本人の「知の崩壊」「思考停止」はあらゆる年齢層で進行し尽くしてしまったが、それを憂いても仕方ない)。が、だからこそ今、ヒッチや小津を、あるいは山中貞雄を(きみはあの美しい『丹下作膳余話』を見たか!?)、ジョン・フォードを(きみはあの崇高な『搜索者』を見たか!?)、黒沢清を、マックス・オフルスを、ハワード・ホークスを、カール・ドライヤーを「発掘」せねばなるまい。授業では、古今東西の名作映画をビデオ、DVDなどで紹介し、あわせて映画史、撮影技法、演出などについて講義する。

「メディアとしての表象文化」小淵 昭夫

西欧の文芸を遡ると、ギリシア悲劇や聖書に突き当たる。これらは古典と言われている作品だが、私たち現代人がこれらの古典にアプローチするのはなかなか困難をとまなうが、絵画というメディア、音楽というメディア、文学というメディアあるいは近年では写真や映画というメディアを通して古典は鮮やかに甦ってくる。本講義では、創造的に古典を見・聞きして今に甦らせたい。

【教科書】

(石井 康史)なし。

【参考書】

(石井 康史)なし。

(藤崎 康) 教室で言及する。

(小淵 昭夫) 授業中に指示する。

物理学 (実験を含む) /

物理学(実験を含む)(春学期分)

「原子と量子力学」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

青木健一郎

【授業科目の内容】

原子論はギリシア時代からありましたが、原子の存在を確かめ、その構造を解明したのは20世紀の物理学の大きな功績です。この講義では、原子論の視点から物のふるまいを考えます。そして量子力学について考え、原子の構造を理解します。原子論的な視点は、ブラック・シヨールズ理論におけるデリバティブの評価などの経済物理にも応用されており、それについても触れます。量子力学は奥深いおもしろい分野で、量子コンピューターなどの分野で近年も発展し続けています。さらに原子論のミクロな視点は素粒子物理や超弦理論に自然とつながります。これらの最先端の展開についても解説します。

実験から結果をどのように導くかを体験し、自然科学における「事実」とは何かを実感できると思います。実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

物理の本質は「なぜ」という問題に答えるところだと思っています。理屈だけではなく、その理論の実証的根拠を理解することを重視して講義を進めます。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験 I」慶應義塾大学日吉物理学教室編。

講義の教科書：特にありません。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学 (実験を含む) /

物理学(実験を含む)(秋学期分)

「宇宙物理と相対性理論」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

青木健一郎

【授業科目の内容】

人類の宇宙に対する強い興味は古代からのものですが、宇宙像は20世紀にもっとも大きく変わったものの一つです。19世紀には銀河の存在さえも確立されていませんでした。講義では、現在の宇宙像をその根拠となる観測の持つ意味とともに理解することを目的とします。宇宙はどのように変化してきたのか？

星の構造、そしてブラックホールは何なのか？といったトピックを扱います。

相対性理論は20世紀初頭にアインシュタインの作った理論です。一方、相対性は自然な考え方であり数百年前にもありました。講義では相対性の考え方を中心にアインシュタインの相対性理論を解説します。相対性理論は重力レンズやブラックホールの理解には不可欠です。相対性理論が様々な現象や技術製品にどのように反映されているかも説明します。

実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験 I」慶應義塾大学日吉物理学教室編。

講義の教科書：特にありません。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学 (実験を含む) /

物理学(実験を含む)(春学期分)

「時間と空間 相対性理論」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

表 實

【授業科目の内容】

物理学 は、隔週で講義と実験を交互に実施する3単位(通年履修者は春学期・秋学期で6単位)の科目です。講義では、相対性理論を中心に物理学の考え方をじっくり話すつもりです。相対性理論は、人類が獲得した最も美しい理論体系の一つであり、時間と空間に関する従来の考え方を根本的に変革し、人類の自然観に大きな影響を与えました。

実験では、自らの手で基本的な物理量の測定を経験することによって、観測と実験の意義を理解すると同時に、

自然界の構造に親しみを深めることを目指しています。実験は二人で協力して行う基礎的なものです。

【教科書】

講義については特に指定しません。実験は、慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」をテキストとして使用します。

【参考書】

特に指定しません。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(秋学期分)

「自然界のミクロとマクロ 素粒子と宇宙」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

表 實

【授業科目の内容】

物理学は、隔週で講義と実験を交互に実施する3単位（通年履修者は春学期・秋学期で6単位）の科目です。講義では、素粒子物理学と宇宙物理学を中心に、自然界のミクロとマクロな構造を学ぶことを目的とします。物質を形成する究極の要素は何か、ミクロ世界の不思議を支配する物理法則とは、また我々の宇宙の構造とは、それはどのようにして形成されたのであろうか。これらの問題について、現代物理学は何を明らかにし、また未解明の課題として何が残されているか、を話すつもりです。

実験では、自らの手で基本的な物理量の測定を経験することによって、観測と実験の意義を理解すると同時に、自然界の構造に親しみを深めることを目指しています。実験は二人で協力して行う基礎的なものです。

【教科書】

講義については特に指定しません。実験は、慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」をテキストとして使用します。

【参考書】

特に指定しません。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(春学期分)

「素朴な疑問に答える物理学」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

下村 裕

【授業科目の内容】

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものを見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験I」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、誰もがいまだ素朴な疑問に対して物理学がどのように答えるのかを解説します。

【教科書】

「物理の実験I」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(秋学期分)

「相対性理論入門」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

下村 裕

【授業科目の内容】

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものを見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験II」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、物理学でもっとも美しい理論だといわれる相対性理論を、できる限り数式や専門用語に頼らず解説します。アインシュタインによって作り上げられたこの理論は、単純な原理から時間と空間に対する我々の常識を覆します。たとえば「動くものは、長さが縮み、時間の進みかたが遅くなり、質量が増える」などは信じがたい事実です。ビデオ等も援用して、相対性理論の考え方を理解し、その描く不思議な世界(宇宙)を学びます。

【教科書】

「物理の実験II」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

佐藤勝彦監修「『相対性理論』を楽しむ本」(PHP文庫、1998年、500円)

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(春学期分)

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

杉本 剛

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。物理学は、身の回りで起こる自然現象のからくりを謎解きしてくれる学問です。したがって現象そのものの知見がないと、理解するのは難しいでしょう。そこで、一人または二人で行う実験を用意しました。講義は、実験のテーマにかかわりがあり、なおかつ、身近でわかりやすい題材を取り上げていきます。はじめの1時限+ で主題に沿って講義します。後半は、演習に当てます。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(秋学期分)

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

杉本 剛

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。物理学は、身の回りで起こる自然現象のからくりを謎解きしてくれる学問です。したがって現象そのものの知見がないと、理解する

のは難しいでしょう。そこで、一人または二人で行う実験を用意しました。講義は、実験のテーマにかかわりがあり、なおかつ、身近でわかりやすい題材を取り上げていきます。はじめの1時限+ で主題に沿って講義します。後半は、演習に当てます。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(春学期分)
「19世紀の物理学」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】

新田 宗土

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。基本的に高校の物理学、数学の知識を仮定しません。人々は太古から日常の様々なレベルで様々な疑問を抱いてきました。熱い、冷たいとはどういうことか？温度とは何か？熱とは何か？光とは、色とは何か？音とは何か？このような日常の疑問に加えてもっと哲学的な疑問を持つ人もいるかも知れません。時間とは、空間とは何か？力とは何か？そもそも物とは何か？このような様々な疑問に答えるために生まれた学問が物理学です。物理学的な物の見方、考え方は、文系の皆さんにとっても将来必ず必要になりますので、これを習得しやすいように工夫したいと思います。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験」 慶應義塾大学日吉物理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

【参考書】

物理学基礎 原 康夫（著）学術図書出版社；ISBN: 487361662X；第3版（2005/03）

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(秋学期分)
「20世紀の物理学、21世紀の物理学」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】

新田 宗土

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。基本的に高校の物理学、数学の知識を仮定しません。物理学Iに引き続き、現代物理学を解説します。19世紀とは異なり、20世紀の物理学はより哲学的な疑問にまで答えられるようになってきました。時間とは何か？空間とは何か？そして人々の常識を覆すような概念の変革がありました。相対性理論と量子論です。アインシュタインや数々の天才達が世の中の謎を解いていく様子はドラマチックでもあります。森羅万象に対して、現代の物理学がどこまで答えることができ、どこから答えることができないのかをわかってもらえるように工夫します。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験」 慶應義塾大学日吉物

理学教室編

講義の教科書：特に指定しません。

【参考書】

その都度、紹介します。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(春学期分)

「日常体験する現象（台風のような流れも含む）を通して運動への理解を深める」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】

吉澤 徴

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週に行う授業です。講義では、物理法則を覚えるのではなく、物理的な見方を養うことを目的とし、できる限り数式に頼らず直感的に理解することに重点をおきます。このため、高校での物理の知識を前提としません。実験では、約3.14という身近な円周率の値を興味深い方法で知るなどのテーマを通して、実験感覚を養います。

【教科書】

[講義] とくにありません。

[実験] 慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」を使用します。

【参考書】

とくにありません。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(秋学期分)

「オーロラを通して地球や太陽のさまざまな現象を理解する」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】

吉澤 徴

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週に行う授業です。講義では、物理法則を覚えるのではなく、物理的な見方を養うことを目的とし、できる限り数式に頼らず直感的に理解することに重点をおきます。このため、高校での物理の知識を前提としません。実験では、気体1モル（約22.4リットル）中の分子数（アボガドロ数）を巧妙かつ簡単な方法で知るなどの興味深いテーマを通して、実験感覚を養います。

【教科書】

[講義] とくにありません。

[実験] 慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験II」を使用します。

【参考書】

とくにありません。

文学a (春学期) / 文学b (秋学期)
 文学 (通年)
 「舞踊論」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 石井 達朗

【授業科目の内容】

現代における様々な舞踊表現・身体文化を考察する。シャーマニズム、祭祀、民族舞踊からモダンダンス、舞踏、ポストモダンダンス、コンテンポラリーダンスまで。身体表現とセクシャリティの領域も含む。

【教科書】

石井達朗『アジア、旅と身体のコスモス』(青弓社)を春学期に、石井達朗『アクロバットとダンス』(青弓社)を秋学期に使う。

【参考書】

- 石井達朗『男装論』青弓社
- 石井達朗『異装のセクシュアリティ』新宿書房
- 元藤子『土方巽とともに』筑摩書房
- 土方巽『病める舞姫』白水社
- ロデリック・ランゲ『舞踊の世界を探る』音楽之友社
- イサドラ・ダン＝カン『芸術と回想』富山房
- 海野弘『モダンダンスの歴史』新書館
- 市川雅『ダンスの20世紀』新書館
- マーサ・グレアム『血の記憶』新書館
- ダンスマガジン編『ダンス・ハンドブック』新書館

文学a (春学期) / 文学b (秋学期)
 文学 (通年)
 「文学と演劇にみる文化継承の問題」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 井戸田総一郎

【授業科目の内容】

ヨーロッパ文学と日本文学および双方の演劇を考察しながら、文化の継承とその断絶の問題を扱います。ヨーロッパ文学における古典ギリシャ・ローマの継承をめぐる現象をルネッサンスやフランス古典主義、特にドイツ文学のゲーテとニーチェのなかにみていきます。日本文学については特に明治初期に光をあてて、鷗外や道達などをとりあげます。比較文化学も含めた広い視点から、文化継承の問題域について理解を深めてもらいます。

【教科書】

プリントで配布。

【参考書】

その都度指示します。

文学 / 文学 (春学期分)
 「フランス文学を読む - コンスタンの『アドルフ』」 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 木俣 章

【授業科目の内容】

近代心理分析小説の傑作とされるバンジャマン・コンスタン(1767 - 1830)の『アドルフ』(1816)を、構造主義的文学批評の担い手の一人であるツヴェタン・トドロフの解釈を援用しながら講読します。絆を求めつつもまたそのくびきから自由でありたいともがき苦しむ青年の不幸な恋愛を、人間関係を取り結ぶとともにまたそれを破壊する両刃の威力を持つ言葉に焦点を当てて読んでみましょう。

【教科書】

バンジャマン・コンスタン著、新庄嘉章訳『アドルフ』(新潮文庫版)

【参考書】

ツヴェタン・トドロフ著、小野潮訳『バンジャマン・コンスタン - 民主主義への情熱』(法政大学出版局)

文学 / 文学 (秋学期分)
 「フランス文学を読む - メリメの『カルメン』」 2単位 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 木俣 章

【授業科目の内容】

ビゼーのオペラの原作である、メリメ(1803 - 1870)の『カルメン』(1845)を講読します。メリメはロマン主義時代の作家ですが、その作風は客観的な観察眼をして考証的又は写實的に淡々と表現することに秀でています。『カルメン』の悲劇とは、規範と逸脱という本来交わり得ない領域に属する者(ホセとカルメン)が、その境界を侵犯するところに生じるという観点から物語を読み解きます。

【教科書】

プロスペル・メリメ著、林捷夫訳『カルメン』(岩波文庫版)

【参考書】

ビゼー作曲のオペラ『カルメン』

文学 / 文学 (春学期分)
 「シェイクスピア講義」 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 小菅 隼人

【授業科目の内容】

ウィリアム・シェイクスピア(1564 ~ 1616)の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。今日、シェ

イクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

文学 においては、シェイクスピアの外面的背景を中心に講義をします。作品自体についてさらに興味がある学生は、文学 もあわせて履修してください。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

小菅隼人編著、『腐敗と再生』（慶應義塾大学出版会、2004）4200円

小菅隼人他訳、『ベスト・プレイズ』（白凰社、2000）4500円

文学 / 文学（秋学期分）

「シェイクスピア講義」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 小菅 隼人

【授業科目の内容】

ウィリアム・シェイクスピア（1564～1616）の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

文学 においては、シェイクスピアの作品を中心に講義をします。背景知識に興味がある学生は、文学 もあわせて履修してください。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

小菅隼人編著、『腐敗と再生』（慶應義塾大学出版会、2004）4200円

小菅隼人他訳、『ベスト・プレイズ』（白凰社、2000）4500円

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）

文学（通年）

「オーストリアの文学と社会」

2単位 春学期/ 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】 鈴木 伸一

【授業科目の内容】

2004年のノーベル文学賞受賞者エルフリーデ・イエリネクは、カール・クラウスやヴィーナー・グルッペ等に見られる、オーストリアの伝統的な言語批判・言語実験の系譜に連なるものとして自身の作品を語っています。このことが示唆しているように、特に19世紀から20世紀にかけての世紀転換期以降、多くの著名な詩人や作家がオーストリアから輩出しており、「オーストリア文学」をみていくことはドイツ（語）文学を考える上でも非常に重要であるといえます。その一方で、「オーストリア文学」をドイツ文学から際立たせている特徴や独自性をめぐっては、その存在自体に度々疑義がさしはさまれるなど、これまで活発な論議が展開されてきました。本講義では、最初に「オーストリア文学」をめぐる様々な言説を紹介しながら、そこにみられる問題点を考察します。その上で、ホーフマンスタール、ムージル、クラウスなどの作品を通して「オーストリア文学」の潮流を概観していきませんが、その際、当時の思潮や社会状況といった時代背景と作品との関連性を明らかにすることで、「オーストリア文学」に対する理解を深めたいと思います。また、今まで紹介されることの少なかった1930年代のオーストリアの文学と社会も視野に入れることにより、現代へと繋がる「オーストリア文学」の全体像（の一端）を解明していきます。

【教科書】

特に指定せず、授業の中で適宜プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で紹介していきます。

文学 / 文学（春学期分）

「フランスの起源から現代に至る、歴史、芸術、文化、社会の一切を網羅する」 2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】 鷲見 洋一

【授業科目の内容】

この授業ではいわゆる「文学」だけの偏った扱いや、「フランス語」を意識的に排除し、フランスの文化や歴史を理解するために欠かせない基本知識を、あくまで日本語環境で扱う。慶應義塾大学でおそらく唯一の、フランスについてすべてが学べる講義である。従って、フランス語を履修している必要はまったくなく、どのような学生でも、フランスに関心を持つ受講生であればおおいに歓迎する。たとえば、フランス美術史やフランス史や仏法を研究したい人で、とりあえずは国全体について一通りの常識を身につけたいという向きには過不足ない授

業だろう。いわゆる「ブランド・イメージ」だけで、フランスにある種の一方向的な偏愛や偏見を抱いている向きにも、目が覚めるような発見や出会いは用意されているはずである。毎時間の出席を重視する。というのも、授業の約三分の一はDVDやCDなどを中心とした、画像や音像による生きた視聴覚教育を実践するからである。半年間で、皆さんはフランスをめぐる夥しい音や光を、それこそシャワーのように浴びるだろう。

【参考書】

約百冊程度の書物をリストにして配布する。

文学 / 文学(秋学期分)

「フランスの起源から現代に至る、歴史、芸術、文化、社会の一切を網羅する」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

鷲見 洋一

【授業科目の内容】

秋学期のこの授業では、フランスを中心とし、さらに慶應義塾大学アート・センターで展開してきたさまざまなアートに関する活動記録、現代における文学や芸術の諸問題を、幅広く主題別に、毎回読み切り式で講義する。毎時間の出席を重視する。

【参考書】

約百冊程度の書物をリストにして配布する。

文学 / 文学(春学期分)

「『万葉集』を読む」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

平舘 英子

【授業科目の内容】

日本最古の歌集である『万葉集』を読みます。『万葉集』は文字を持たなかった日本人が中国の文字を借りて日本語を書き表したものです。『万葉集』の歌を読むことを通して、古代の日本人が自然を始め、周囲の事象をどのように捉え、言葉と文字による表現の世界を構築していったか、その展開の諸相について学びます。

【教科書】

佐竹昭広、木下正俊、小島憲之著『補訂版 萬葉集本文編』塙書房(2205円)

【参考書】

坂本信幸、毛利正守編『万葉事始』和泉書院(720円)

文学 / 文学(秋学期分)

「『万葉集』を読む」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

平舘 英子

【授業科目の内容】

日本最古の歌集である『万葉集』を読みます。『万葉集』は文字を持たなかった日本人が中国の文字を借りて日本語を書き表したものです。『万葉集』の歌を読むことを通して、古代の日本人が自然を始め、周囲の事象をどの

ように捉え、言葉と文字による表現の世界を構築していったか、春学期に続いて、その展開の諸相について学びます。

【教科書】

佐竹昭広、木下正俊、小島憲之著『補訂版 萬葉集本文編』塙書房(2205円)

【参考書】

坂本信幸、毛利正守編『万葉事始』和泉書院(720円)

文学a(春学期) / 文学b(秋学期)

文学(通年)

「音楽を通してみた文学の姿」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

高橋 宣也

【授業科目の内容】

古今、作家たちはいろいろなジャンルの芸術から刺激を受けながら小説や詩などを作ってきました。そのような影響の相互関係の中から、この授業では文学と音楽との関係について探っていきます。具体的には、主にイギリス文学とクラシック音楽との結びつきを、具体的な例を豊富に紹介しながらたどります。

文学 / 文学(春学期分)

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

堤 康德

【授業科目の内容】

イタリア文学史を概観します。

【参考書】

『イタリア文学史』(東京大学出版会)

文学 / 文学(秋学期分)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

堤 康德

【授業科目の内容】

現代イタリア文学の翻訳(おもに短篇小説)を読みながら、そこにあらわれたいくつかのテーマについて検討します。

文学a(春学期) / 文学b(秋学期)

(水曜日)

文学(通年)

「和歌文学の歴史」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

寺澤 行忠

【授業科目の内容】

和歌は、万葉の時代から今日に至るまで、長い年月にわたり、歌いつがれ、読みつがれてきた。その和歌文学の歴史を、主要な作品あるいは歌人に焦点を合わせながらたどる。近世までを範囲とし、歌謡や俳諧などにも言

及する。できるだけ多くの歌をとりあげ、文学史の理解を深めたい。

【教科書】

『日本詩歌選』（新典社）

文学a（春学期）／文学b（秋学期） （金曜日）
文学（通年）

「百人一首をよむ」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 寺澤 行忠

【授業科目の内容】

かつては、正月になると、どの家庭でも『百人一首』を楽しみ、多くの人が百首の歌をそらんじていたものである。長い年月にわたり、国民の間に広く愛され、日本人の教養の基盤を形成してきた。だから、『百人一首』は、日本人が必ず知っておかなければならない、最も重要な古典の一つなのである。

この『百人一首』は、藤原定家が、王朝和歌の精髓を集めたものである。これを一首ずつよみ解きながら、王朝歌人たちの詩と真実を考えていきたい。

【教科書】

『百人一首』（笠間書院） 『字典かな』（笠間書院）

文学 / 文学（春学期分）

「近代日本の文学と映画」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 十重田裕一

【授業科目の内容】

近代日本の文学と映画は、さまざまなかたちで交流していました。その交流の状況を、大正時代後期から昭和時代初期（1920 - 30年代）のモダニズムの時代にポイントを置きながら検討していきます。とりあげる近代日本の作家は、谷崎潤一郎、横光利一、川端康成です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

最初の授業時に指示します。

文学 / 文学（秋学期分）

「近代日本の文学とマスメディア」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 十重田裕一

【授業科目の内容】

この授業では、マスメディアとの相関関係という視点から、近代日本の文学について検討していくことを目的とします。ここで想定する具体的なマスメディアとは、雑誌、新聞、書物、映画、テレビ、広告などです。こうした様々なマスメディアを通じて、近代日本の文学がどのようにして読者に伝えられてきたか、また、そこにどのような問いを立てることが可能か、皆さんと考えていきたいと思ひます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

最初の授業時に指示します。

文学a（春学期）／文学b（秋学期）
文学（通年）

「明治三十年代の文学と文化」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 中丸 宣明

【授業科目の内容】

森鷗外は明治三十年代の文学を評して「末流（ばつりゅう）文壇」の時代と評した。たしかに明治二十年代の紅露道鷗（尾崎紅葉、幸田露伴、坪内逍遙、森鷗外）の時代と明治三十年代末に勃興する「自然主義」文学の狭間にあって一見沈滞した時代であったかのようである。しかしながらこの時代は、日本近代における社会の変化を考える上で重要な変化が出来た時代であるとともに、メディアのありようが大きく変化し始めた時代であった。本年は明治三十年代文学の動向をメディアの変化、それまでとは異なった「読者」の様態、新派を中心とした演劇の動向などとの関わりの中で論じ、近代文学形成期の一側面を学びたい。作品としては前期は徳富蘆花の「不如帰」、後期は尾崎紅葉「金色夜叉」泉鏡花の「婦系図」の展開と受容をそれぞれ中心とする予定である。

【教科書】

『不如帰』岩波文庫
『婦系図』岩波文庫

【参考書】

教室で指示

文学a（春学期）／文学b（秋学期）
文学（通年）

「フランス文学、その発想と感覚」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 西尾 修

【授業科目の内容】

歴史と文学、文学と社会、というような観点から、いわゆる「文学」について語り、ある作品なり、文学現象なりの内容と周辺を探りながら、そのとき活用される歴史的想像力について考えることが中心となる。文学を自分なりに感得するには様々なやり方があるが、さて、文学作品らしいと思われるものを読み、鑑賞し、これを楽しむという側に立つとき、ひとつのやり方として、それがたとえ簡便なものであれ、歴史的想像力の活用という方策もあるのではないかとと思われるからである。

対象は主にフランスを舞台とするもの、時代は大革命以後、とりわけ19世紀前半（ロマン主義の時代）のものが多くなる。担当者の専門が、19世紀前半に生きた小説家バルザックであるという事情からそうなるのだが、と

はいっても時代を問わず日本のものについても語りません。

準備としては、十九世紀フランスの小説（翻訳）を何かひとつ（短くない作品）読んでおくと後が楽（スタンダール『赤と黒』、バルザック『ゴリオ爺さん』、フローベール『感情教育』等々）。

【教科書】

指定なし。

【参考書】

参考書は特に指定しませんが、できれば文庫本程度の簡単な文学史（たとえば岩波文庫別冊「フランス文学案内」、高校教科書の「日本文学史」等々）で結構、時代区分などを少しは気にしながら一度でいいからざっと目を通しておけば申し分なし。フランス文学についてより高い関心のある諸君は慶應義塾大学出版会の「十九世紀のフランス文学」なども好適。

文学 / 文学（春学期分）

「アメリカ文学と歴史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

秋学期担当 朝比奈 緑
西川 僚介

【授業科目の内容】

アメリカの建国の歴史は、他に類例のないもので人工的な実験国家の成立と発展といってもよいでしょう。この特異な建国のプロセスからアメリカ文学が誕生し、独自の言語表現として成立していく過程を、歴史的な背景と文化の形成とを重ね合わせて考察します。

【教科書】

プリント

【参考書】

授業の時に紹介。

文学 / 文学（秋学期分）

「アメリカの詩を読む」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

春学期担当 西川 僚介
朝比奈 緑

【授業科目の内容】

アメリカの歴史や文化を、詩というジャンルから読み解いていきたい。できるかぎり、対訳のかたちで紹介する。また、CDやビデオを用いて、詩人の生の声を味わい、詩の言葉の魅力を伝えたい。

【教科書】

プリントによる。

【参考書】

参考書も授業時にリストを配布する。

文学 / 文学（春学期分）

「物語・自己・歴史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

人は言葉を発するとそれは大抵物語を作り上げます。

「今日は雨が降っていやな日だった」も「今日は雨にぬれたけれどもかえって気持ちよかった」もすでに1つの物語です。人はそうして大量の物語を作り、又、大量の物語を外から受容しながら自己との関係、他者との関係を作り、物語の中に自己・社会・歴史を屈折させながら反映してゆきます。つまり、皆さんは知らず知らずの内にたくさんの物語の中で生きながら自己像や社会・歴史像を作っているのです。

そこで、皆さんが否応なくその中で生きている物語とは何か、みなさんが無意識の内にどのような物語を作った中で生きているのか、その中で生きることによってどのような自己、社会、歴史象が生まれるのか、物語ることによって混沌の中からどのような秩序が生まれ、又、どのような秩序が破壊されるのか、そして物語れないこととは何かなどについて、様々な芸術作品にふれながら考えてゆきたいと思います。

また、現代とはどういう時代か、そこに生きる僕たちとは何者？というのが隠れテーマです。

【教科書】

岡崎京子著『リバーズ・エッジ』、ミヒヤエル・エンデ著『モモ』、D・H・ロレンス『チャタレー夫人の恋人』（武藤浩史訳、ちくま文庫）

文学 / 文学（秋学期分）

「物語・自己・歴史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

文学の続きですが、戦後日本文化をテーマとして物語と歴史について考えてゆきます。『青い山脈』（石坂洋次郎）や「墮落論」（坂口安吾）から始めて、やくざ映画を経由し、現代にたどりつこうと思います。読みたい本の希望をつのります。

現代に生きる私たちの諸問題を小説とともに考えてゆきます。

【教科書】

石坂洋次郎『青い山脈』（新潮文庫）ほか。

文学a（春学期） / 文学b（秋学期）

文学（通年）

「季節の詩学」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

森 英樹

【授業科目の内容】

四季の風物とその表現を探ります。すなわち、和歌、俳句、漢詩、近代詩などを読むことを通して、日本に古くからある言葉、風物、情調、およびその表現や思考を学びます。時には外国の詩をも併せて読んで、風土や情緒を比較することもあります。

今年度からは人数を少なくして、短歌や俳句、それに漢詩や口語韻律詩の実作を試みる演習的な要素も加えるつもりです。

【教科書】

森 南仙著 『南柯唱和抄』

【参考書】

森 南仙著 『南柯の四季』、俳句歳時記、短歌歳時記などの類

文学a（春学期） / 文学b（秋学期）

文学（通年）

「戦後ドイツと現代作家」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

八木 輝明

【授業科目の内容】

1990年に統合されてから現在までのドイツにおいて、政治・文化・教育・メディアなどあらゆる分野で中心的役割を担ってきた世代は、「68年世代」と呼ばれます。彼らの多くは、第二次世界大戦後に生まれ、未曾有の犯罪を犯したナチスドイツの過去と向き合い、その時代を検証、記憶し、現在と未来へつなげる作業を通じて、克服しようとしてきました。

文学においても、彼らはさまざまなアプローチをしながら、作品のなかでこの問題を取り上げています。また、作家として深く政治に関わってきた人たちもいます。講義では、世界的ベストセラー『朗読者』を生み出したベルンハルト・シュリンクの作品やエッセイを紹介するとともに、ペーター・シュナイダーなどの「68年世代」作家を中心に、戦後から現在にいたるドイツ文学における「過去への取り組み」と「未来への展望」を紹介していく予定です。

講義の進度をみながら、68年世代の次の世代の監督によって製作された最近のドイツ映画も紹介していく予定です。

ドイツのみならずEU諸国も含めた時代の動き、社会の政治・文化的状況などと広く関連づけながら、講義を進めていきたいと思っています。

【教科書】

必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

授業を進めるなかで、参考になる資料を紹介していきます。小説の読書としてお勧めしたいのは：新潮文庫『朗読者』（B・シュリンク著）です。戦後ドイツ史としても読むことができます。

法律の分野に興味がある受講生には：岩波書店『過去の責任と現在の法』（B・シュリンク著）をお勧めします。

文学 / 文学（春学期分）

18世紀イギリス文学への入門

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

レイサイド・ジェームス

【授業科目の内容】

この授業は18世紀イギリス文学や文化について余り知らない学生が対象です。18世紀イギリス社会や政治に関する基本的な説明の上で、一番有名な作家と彼らの代表作をおおまかに年代順に取りあげます。作家についての概要的な説明に続いて作品を検討します。日本語に翻訳された作品を中心に扱うつもりですから、殆どの場合、英語と日本語の両方を配ります。

授業は日本語で行いますが、18世紀の詩や散文を味わうためにかなりの英語力が要求されることを念頭においてほしい。

春学期は1700年からウォルポール首相時代の終わりまで（1740年前後）に焦点をあてます。秋学期は1740年からロマン派時代の始まりまで（1790年あたり）を扱うつもりです。

【教科書】

プリント。

文学 / 文学（秋学期分）

18世紀イギリス文学への入門

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

レイサイド・ジェームス

【授業科目の内容】

この授業は18世紀イギリス文学や文化について余り知らない学生が対象です。18世紀イギリス社会や政治に関する基本的な説明の上で、一番有名な作家と彼らの代表作をおおまかに年代順に取りあげます。作家についての概要的な説明に続いて作品を検討します。日本語に翻訳された作品を中心に扱うつもりですから、殆どの場合、英語と日本語の両方を配ります。

授業は日本語で行いますが、18世紀の詩や散文を味わうためにかなりの英語力が要求されることを念頭においてほしい。

春学期は1700年からウォルポール首相時代の終わりまで（1740年前後）に焦点をあてます。秋学期は1740年からロマン派時代の始まりまで（1790年あたり）を扱うつもりです。

〔教科書〕

プリント。

文化人類学

「身近な不思議の探究」

2単位 春学期

〔経商医理〕

井上 京子

〔授業科目の内容〕

文化人類学という学問は、言語、心理、宗教、婚姻形態などを比較分析することにより、多角的視野に立って人間を全体像としてとらえるものです。ここでは特に、文化の一般論化に伴う危険性に焦点を当てながら、日本文化を他の文化と照らし合わせていきます。すると今まで知らない間にみなさんが身に付けていた先入観が、浮き彫りとなって来るはず。自分自身を世界の様々な人間社会における一つの枠組みの中での存在としてとらえ直せるような、客観的視野を養うことがこのコースの目的です。

特にコースの前半は言語と文化の関わりを中心に、後半は文化の多様性を採り上げて、身近な不思議を探究しその解明を目指します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

祖父江孝男著『文化人類学入門』増補改訂版、中公新書

斗鬼正一著『目からウロコの文化人類学』ミネルヴァ書房

綾部恒雄編『文化人類学15の理論』中公新書

飯野公一他著『新世代の言語学：社会・文化・人をつなぐもの』くろしお出版

井上京子著『もし「右」や「左」がなかったら』大修館書店

佐藤郁哉『フィールドワーク』新曜社

米山俊直／谷泰編『文化人類学を学ぶ人のために』世界思想社

文化人類学

「異文化理解の歴史と方法」

2単位 秋学期

〔経商医理〕

坂本 邦彦

〔授業科目の内容〕

人類が地球上に誕生してから今日までの間、さまざまな民族によって多種多様な文化が作られてきた。現在、世界には6000をこえる言語があるといわれる。これは、また、それだけの異なった民族によって世界が構成されているということにほかならない。人間は、自ら生まれ育った文化の中だけで世界を完結させてきたわけではない。異なった文化に触れ、人類が積み重ねてきた知の多様性をさまざまな形で理解しようとしてきたのである。

本講では、これまで文化人類学が研究対象としてきたさまざまな社会に関する民族誌をもとに、文化のコンテクストにそって異文化を理解するとはどういうことかを考えていく。アフリカに関するデータを中心に、アジア、

オセアニアなどからの研究データも取り込んでいく予定である。

〔教科書〕

使用せず。

〔参考書〕

随時紹介する。

文化人類学 / 文化人類学（春学期分）

「伝統と文化遺産」

2単位 春学期

4単位 通年

〔文経医〕

櫻井 準也

〔授業科目の内容〕

近年、地域の伝統的行事として捉えられていた事象の多くが近代になって創られたものであることが指摘されている。また、「過去」の遺跡や史跡を利用しようとした行為も古くから存在し、現在では世界遺産の登録にみられるように歴史遺産や文化遺産を観光資源として活用しようとする動きが加速している。本講義では、文化遺産や歴史遺産とされているものの実態がいかなるものであるか、それらをどのように保護・活用してゆくべきかについて考える。また、講義の一貫として日吉キャンパス内にある海軍地下壕の見学も予定している。

〔教科書〕

使用しない。適宜プリントを配布する。

〔参考書〕

必要に応じ指示する。

文化人類学 / 文化人類学（秋学期分）

「物質文化研究の可能性」

2単位 秋学期

4単位 通年

〔文経医〕

櫻井 準也

〔授業科目の内容〕

現代はモノが溢れている時代である。我々は何気なく生活財を購入、消費しているように見えるが、生活財は用途や機能によって選択されるだけではなく、記号として消費されている。生活財はわが国の経済生活について知る手がかりとなるだけでなく、その背景にある文化や社会を反映するものであり、モノの消費や流用のされかたは文化研究にとって有効な研究手段となるのである。本講義では、わが国の生活財研究の実態について概観したのち、人とモノとの関係に注目しながら物質文化研究の可能性について検討する。

〔教科書〕

使用しない。適宜プリントを配布する。

〔参考書〕

必要に応じ指示する。

文明学説史

「由来学からみた福沢学」

2単位 春学期

【経商】

松村 宏

【授業科目の内容】

福沢諭吉の著「文明論之概略」は、なお今日の現代世界転回期に有効な真理を多く含んでいる。それは戦国末期と江戸中期の日本文明（上級武士道）の頂点となっている学説（由来学）を土台としていたからでもある。テキスト批判から始めて、福沢学の内容を解説する作業を進めながら、学生諸君の学業練習を求めていく。（本講を発展させた「日本文明学説史」を土曜日三田に開講している。）

【教科書】

『文明論之概略』岩波文庫、『職業としての学問』岩波文庫、他はプリント配布。

【参考書】

『文明論之概略を読む』岩波新書、日本思想大系「荻生由来」岩波書店

文明学説史

「由来学の近現代的意味」

2単位 秋学期

【経商】

松村 宏

【授業科目の内容】

戦国末期に日本文明の頂点として各独立職業人の業績が達成されている。その思想的省察の結晶として姿を現したのが、江戸中期の由来学であった。由来学のテキスト批判と直近の訓読復元から内容解読まで研究と論述をすすめながら、学生諸君の学業練習を求めていく。（本講を発展させた「日本文明学説史」は、土曜日三田に開講している。）

【教科書】

プリント配布。

【参考書】

日本思想大系『荻生由来』岩波書店、吉川幸次郎著『論語』朝日新聞社

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(春学期分)

「法の主要な分野である憲法、民法（財産法、家族法）、

刑法の基本的な問題の検討」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

石渡 哲

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（春学期には、憲法と民法の財産法）の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

【教科書】

石渡哲 = 渡井理佳子著『シュタットプラン法学』（成文堂）

六法（法令集）(出版社は問わない)

【参考書】

金子宏ほか編『法律学小辞典』（有斐閣）、井上薫著『法廷傍聴へ行こう』（法学書院）。その他、適宜授業中に紹介する。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(秋学期分)

「法の主要な分野である憲法、民法（財産法、家族法）、

刑法の基本的な問題の検討」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

石渡 哲

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（秋学期には、民法の家族法と刑法）の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

【教科書】

石渡哲 = 渡井理佳子著『シュタットプラン法学』（成文堂）

六法（法令集）(出版社は問わない)

【参考書】

金子宏ほか編『法律学小辞典』（有斐閣）、井上薫著『法廷傍聴へ行こう』（法学書院）。その他、適宜授業中に紹介する。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(春学期分)

「法および法律についての基礎知識」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

河村 好彦

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法的問題に適切に対処するためにむしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。法学は、このような視点から法についての基礎理論を説明したうえで、憲法を中心

として具体例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

【教科書】

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(秋学期分)

「法および法律についての基礎知識」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

河村 好彦

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることができない以上、われわれは法的問題に適切に対処するためにむしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。法学は、このような視点から民法を中心として具体例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

【教科書】

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(春学期分)

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】

河原田有一

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事等を利用することで、いかに法がみづかな存在であることを学んでいきたい。

【教科書】

石川明編『プライマリー法学』信山社

【参考書】

講義資料プリントを配布します。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(秋学期分)

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

河原田有一

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事等を利用することで、いかに法がみづかな存在であることを学んでいきたい。

【教科書】

石川明編『プライマリー法学』信山社

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(春学期分)

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】

佐藤 拓磨

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、一般教養として必要な、法学についての基礎的知識を修得することを目的とします。全13回のうち、前半部分を法に関する基礎理論の解説に割り、後半部分で我が国の憲法について概説し、基本的人権や統治機構について学習します。加えて、我が国の裁判制度、2009年5月までに導入されることが予定されている裁判員制度等のテーマについても扱う予定です。

【教科書】

六法（小型のもので良い）

【参考書】

必要に応じて指示します。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）(秋学期分)

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

佐藤 拓磨

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

春学期に引き続き、法学についての基礎知識を修得することを目的とします。全13回のうち、前半部分で民事法及び刑事法の概略について解説します。後半では、ストーカー規制法やDV法、医療をめぐる法律問題などといったトピカルなテーマを扱う予定です。

【教科書】

六法（小型のもので良い）

【参考書】

必要に応じて指示します。

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(春学期分)

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】

水津 太郎

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法および法学の内容と特質につき、具体的・個別的な法および法学領域の分析・検討から出発し、しだいに抽象的・全体的なそれに視野を広げていくことをもって、基本的な知識を習得するとともに、自ら考える力を涵養することを目的とします。

授業においては、細部を捨象して、もっとも基本的な事柄を、具体例を用いながらも、なるべく体系的に整理したかたちで講義することとします。

【教科書】

とくに指定しません。

【参考書】

授業内で指示します。

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(秋学期分)

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

水津 太郎

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法および法学の内容と特質につき、具体的・個別的な法および法学領域の分析・検討から出発し、しだいに抽象的・全体的なそれに視野を広げていくことをもって、基本的な知識を習得するとともに、自ら考える力を涵養することを目的とします。

授業においては、細部を捨象して、もっとも基本的な事柄を、具体例を用いながらも、なるべく体系的に整理したかたちで講義することとします。

【教科書】

とくに指定しません。

【参考書】

授業内で指示します。

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(春学期分)

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】

藤田 祥子

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生

に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『プレップ法と法学』弘文堂

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(秋学期分)

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

藤田 祥子

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『プレップ法と法学』弘文堂

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(春学期分)

「法学の基礎および日本国憲法」
2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】

本田 耕一

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法学の基礎として、諸種の社会規範との関係における法の特徴、近代法の成立とその性格、成分法（憲法・法律・命令・規則・地方自治法規・条約）及び不文法（慣習法・判例法・条理）とその効力、法の実用的ないし理論的な分類、法の解釈等を取扱う。

【教科書】

特に特定しません。

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(秋学期分)

「法学の基礎および日本国憲法」
2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

本田 耕一

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

日本国憲法に関して、これにより保障される基本的人権や統治機構、地方自治、平和主義と国際関係等を取扱う。

【教科書】

特に特定しません。

法学（憲法を含む）/
 法学（憲法を含む）(春学期分)
 「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの見方」
 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法商医理】
 山田美枝子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常社会生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。学生生活、職業活動、家族関係等においても、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記7の1)~6)において、法律を実践的に学び、法的なものの見方を身につけてほしいと思います。

【教科書】

開講時に指示。

【参考書】

小型の六法。

法学（憲法を含む）/
 法学（憲法を含む）(秋学期分)
 「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの見方」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】
 山田美枝子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常社会生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。誕生してから老後、死亡に至るまで、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記7の1)~5)において、法律を実践的に学び法的なものの見方を身につけるとともに、同6)において、法学の基礎に触れてほしいと思います。

【教科書】

開講時に指示。

【参考書】

小型の六法。

法学（憲法を含む）/
 法学（憲法を含む）(春学期)
 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法商医理】
 尹 仁河

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義では、法的思考のために不可欠な法学の基本概念を正確に理解し、私たちの身近にある様々な問題を法的な観点から分析する力を養うことを目標にします。講義全体の基軸となるキーワードは「人権」です。私たち一人一人にはどのような人権がどのような法で保障されているか、その保障に至るまでにはどのような経緯があったか、もし人権が侵害された場合にはどのような方策をとりうるか、弱者を常に意識しつつ、国内さらには世界に目を向けて「人権」を考える時間にしたいと思います。

春学期は、法学を学ぶにあたっての基礎を理解した上で、国の最高法規である憲法を中心に、具体的事例を検討しながらともに学んでゆきます。

【教科書】

講義資料プリントを配布します。小型の「六法」をなるべく持参してください。

【参考書】

開講時に一覧を示します。

法学（憲法を含む）/
 法学（憲法を含む）(秋学期分)
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】
 尹 仁河

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義では、法的思考のために不可欠な法学の基本概念を正確に理解し、私たちの身近にある様々な問題を法的な観点から分析する力を養うことを目標にします。講義全体の基軸となるキーワードは「人権」です。私たち一人一人にはどのような人権がどのような法で保障されているか、その保障に至るまでにはどのような経緯があったか、もし人権が侵害された場合にはどのような方策をとりうるか、弱者を常に意識しつつ、国内さらには世界に目を向けて「人権」を考える時間にしたいと思います。

秋学期は、春学期の続編として法学の基礎および憲法の復習を十分に行い、私たちの生活に密着している民法、国の刑罰権を枠づける刑法の基本的考え方について、具体的事例を検討しながらともに学びます。その上で、憲法および国際法（各人権条約）による人権保障について考えてゆきます。

【教科書】

講義資料プリントを配布します。小型の「六法」をな

るべく持参してください。

【参考書】

開講時に一覧を示します。

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(春学期分)

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】

頼松 瑞生

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

まず、憲法について、基本的な内容を中心にして、その体系がどのようになっているのかということを読んでいきます。

次に、国会において、法がどのようにして制定されていくのかということの説明します。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(秋学期分)

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

頼松 瑞生

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

国会以外のところで、法というものがどのようにして生成され、社会においてどのように機能しているのかということを読み学びます。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

民族文化論

「民族問題における民族イメージの影響について」

2単位 秋学期

【文経法政】

コーディネーター 羽田 功
石井 康史 臼杵 陽
佐谷真木人 鈴木 透
種村 和史

【授業科目の内容】

「民族問題」は21世紀に入り、いよいよ混迷の度を深めている。ところが、残念ながら私たちは「民族問題」あるいは「民族」について必ずしも十分な理解を持っているわけではなく、「民族」自体を取り上げて時代や場所によって意味するところは多様であり、一義的に定義することはできない。その結果、ある「民族」の実際とこれにまつわる「民族イメージ」との間に大きな乖離

が生じる場合も少なくない。

そこで、この授業では、「民族」と「民族イメージ」のさまざまな関係のあり方をできるだけ広範な時間・空間の中で取り上げることを通して「民族問題」を考える一つの視座を提示すると共に、自己を理解し、他者を理解するための土台作りに寄与することを目的としている。

【教科書】

羽田功（編著）『民族と民族イメージ』（仮題）[慶應義塾大学出版会]を予定。

ラテンアメリカ研究a（春学期）/
ラテンアメリカ研究b（秋学期）
ラテンアメリカ研究（通年）

「ラテンアメリカをめぐるヒト・モノのネットワーク」

2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

【経商医】

コーディネーター 八嶋由香利
清水 透 横山和加子
出岡 直也 石井 康史
安井 伸 伏見 岳志

【授業科目の内容】

オムニバス形式で進められるこの授業では、学内外のラテンアメリカ、スペイン研究者が一堂に会して、それぞれがもっとも得意とする専門領域から「ラテンアメリカ」という地域にアプローチして講義します。今年度は大西洋や太平洋を越えて広がるヒトやモノのネットワークという側面から、アジアとヨーロッパを結びつける「開かれた地域」としてのラテンアメリカについて考えます。また最終講義日には講師全員が出席して「座談会」を開く予定です。ラテンアメリカやスペインについて自由に楽しく語り合しましょう。

倫理学 / 倫理学（春学期分）

「善への欲望 生きられる倫理学(1)」

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

今村 純子

【授業科目の内容】

わたしたちの欲望はすべて、どのようなものであれ、本来的には「善への欲望」であるとプラトンは述べています。しかしひとたび現実の世界を振り返ると、わたしたちの欲望がいと容易く「悪への欲望」へと頹落していつてしまう事実を認めざるをえません。他方、自らの内面を振り返ってみても、いつの間にか「嫉妬」や「憎悪」といった「悪への欲望」が芽生えてしまい、愕然とした経験があるのではないのでしょうか。わたしたちの「善への欲望」は、どうして「悪への欲望」へと頹落してしまうのでしょうか。どうしたらひとたび悪へと落ちてしまった自らの欲望を悪から脱却させ、善へと転回させることができるのでしょうか。

本講義では、プラトン、ストア派、カント、シモー

又・ヴェイユ、西田幾太郎など、その哲学が自ずから倫理学に収斂してゆく哲学者たちの思想の核心に迫ると同時に、新聞記事、ドキュメンタリー映画作品、ホロコースト文学作品などを様々な角度から取り上げることによって、「今、ここで」生きられ、感じられる現実の問題を、「善への欲望」の視点から形而上学的に考察したいと思います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

ミクロス・ヴェトー著『シモーヌ・ヴェイユの哲学』慶應義塾大学出版会（2006年）

倫理学 / 倫理学（秋学期分）

「言葉と欲望 生きられる倫理学(2)」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

今村 純子

【授業科目の内容】

わたしたちが真に善行為を為すならば、その行為は、「世界は美しい」と言いうる、わたしたち自身の自由に裏付けられていなければなりません。ところで、倫理学の根本をなすと考えられている「意志」は、実のところ、罰の恐れや保護の欲求という陥穽をその背後にもっています。「意志」はこの陥穽を打ち砕く「欲望」に貫かれる必要があります。そしてこの「欲望」は、一見したところ不思議とも思われる「言葉」によってこそ、その本質をダイナミックに開花させます。

本講義では、「善への欲望 生きられる倫理学(1)」を前提講義として、言葉のダイナミズムがわたしたちの欲望をどのように惹起し、わたしたちがどのようにして「世界に住まう」と言いうるのかを、ソクラテス以前の哲学者たち、シラー、ニーチェ、ヴィトゲンシュタイン、ハイデッガー等、言葉と倫理の連関に着目した哲学者たちの思想の核心を捉え、その捉えたものがわたしたちの生きる現実の世界においてどのような表象をもちうるのかを、「リアリズム」と言いうる文学作品、映像作品を多様に活用することによって考察します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

ミクロス・ヴェトー著『シモーヌ・ヴェイユの哲学』慶應義塾大学出版会（2006年）

倫理学 / 倫理学（春学期分）

「倫理学の根本的な問い 自由・幸福を中心として」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

岩井 美好

【授業科目の内容】

ずっと当たり前と思ってきたことに、ある日居心地の悪さを覚えた時、倫理学の問いは始まります。衝動も激

情も中和されて現実の社会は収まっているわけですが、ひとりひとりの自由と幸福を譲歩させた力の均衡の産物であるこの組織は、有史以来最善のかたちをめぐって様々な角度から議論がなされてきました。本講義では、西洋倫理思想史の流れに沿って、そうした善のあり方を批判検討しつつ、現実を成り立たしめている原理とその構造を見抜く方法を学んでいきます。この査定に基づいて、何が欠けているのか、そしてより善い生に向けて今なお何がなしうるのかを共に考えて行きましょう。また、生きることに伴う諸々の葛藤が、古今共通の問題であることを明確にするために、毎回その日の授業内容と関連した新聞記事を紹介していく予定です。

【教科書】

その回に扱う思想家の原典（翻訳）から、必要な箇所をプリントして配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。

倫理学 / 倫理学（秋学期分）

「倫理学の根本原理をめぐる問い 近現代の思想家たちとわれわれの社会のつながりとは」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

岩井 美好

【授業科目の内容】

倫理学と同様に、西洋倫理思想史で扱われた種々の考え方のパターンに鑑みつつ、「当たり前」の底に潜む構造を探り出す目を養って行きたいと思います。そのためには、引きつづき新聞記事で取り上げられた現代人の諸問題や、環境倫理、生命倫理といった火急事に絶えず目配りすることが欠かせません。そしてそのうえで、時代の要請に応じたこれら論点に対して、倫理学の根本原理はどの程度一貫した拘束力を発揮してきたかを考えて行きます。

【教科書】

その回に扱う思想家の原典（翻訳）から、必要な箇所をプリントして配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。

倫理学 / 倫理学（春学期分）

「倫理学の理論」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

柘植 尚則

【授業科目の内容】

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わることがらについて哲学的に考えるものです。この講義では、倫理学の代表的な理論を学び、現実の倫理問題を考えるための基礎を身につけることを目標とします。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学 理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

【参考書】

講義の中で紹介します。

倫理学 / 倫理学 (秋学期分)

「倫理学の課題」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 柘植 尚則

【授業科目の内容】

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わることがらについて哲学的に考えるものです。この講義では、現実の倫理問題について考えながら、倫理のあり方を探ることを目標とします。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学 理論と課題』(慶應義塾大学出版会、2006年)

【参考書】

講義の中で紹介します。

倫理学 / 倫理学 (春学期分)

「責任と自由」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 成田 和信

【授業科目の内容】

ある人の行った行為に関して「あの人はそれに関して責任がある」と言えるためには、その人はその行為を自由に行ったのでなければならない。この授業では、「この自由(つまり責任に必要な自由)とは何なのか」という問題を、近代から現代までの西洋哲学の諸理論に触れながら考えます。それを通して「人とはどのような存在なのか」ということを少しでも明らかにできればよいと思います。

【教科書】

『責任と自由』成田和信著(勁草書房2004年)

【参考書】

『自由：哲学的分析』：M・クランストン著(岩波新書)
(日吉と三田の図書館にあります)

倫理学 / 倫理学 (秋学期分)

「幸福と生きがい」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 成田 和信

【授業科目の内容】

この授業では、「幸福」や「生きがい」について哲学的に検討します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に案内します。

倫理学 / 倫理学 (春学期分)

「倫理学の基礎」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 二見 千尋

【授業科目の内容】

如何なる行為が「善く」、そして、「正しい」のか? 「道徳的である」とは、そもそも如何なることを意味するのか? これらの問いが、常識的な道徳観のもつ自明性を突破し、道徳そのものの基盤を探ろうとするものとして現れるや、道徳をめぐる思考は錯綜し、わたしたちは確たる答えを導くことに困難を覚える筈です。本講義の目的は、倫理学の主要な理論を批判的に検討し、そこで論点や問題点を学ぶことを通じて、道徳についての思考を自ら整理し、構築するための基礎を習得することにあります。

【教科書】

小松光彦他編『倫理学 理論と課題』慶應義塾大学出版会(2006年)

(「第1部 理論」の内容を中心に講義します。)

【参考書】

永井均著『倫理とは何か』産業図書(2003年)
他、講義中に適宜紹介します。

倫理学 / 倫理学 (秋学期分)

「倫理学の諸問題」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 二見 千尋

【授業科目の内容】

道徳についての思考を深化させればさせるほど、これまで見えなかった、あるいは、「自明である」ことを言い訳にして見ようとしてこなかった問題が浮かび上がってくる筈です。わたしたちが生きるプロセスの傍らに、道徳の問題はいつでも絡みつき得るものとして控えているのです。本講義の目的は、道徳が孕むこうした諸問題の幾つかに触れることを通じて、各自が「この私にとって、道徳とは如何なるものであるか」ということを考えるための足場を築くことにあります。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

小松光彦他編『倫理学 理論と課題』慶應義塾大学出版会(2006年)

永井均著『倫理とは何か』産業図書(2003年)

R・ノーマン著『道徳の哲学者たち 倫理学入門(第2版)』ナカニシヤ出版(2001年)

他、講義中に適宜紹介します。

倫理学a (春学期) / 倫理学b (秋学期)
 倫理学 (通年)
 「理論と課題」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 村山 達也

【授業科目の内容】

春学期授業では、簡単なイントロダクションの後、倫理学説の通覧を行います。古代から始めて現代へと至るといった倫理学説史の形ではなく、「義務論」や「功利主義」などの項目に分けた形で、様々な学説を紹介していきます。

秋学期授業では、前期の内容を踏まえた上で、現代におけるわたしたちの生活に深く関わる幾つかの倫理学的問題について考えていきます。

この講義の目標は、(1) 倫理学の学説について基本的な事柄を学ぶこと、(2) 現代のわたしたちを取り巻く、ときとして目に付きにくくもある色々な倫理学的問題に視線を向けること、あるいはそうした問題を発見できるようになること、(3) そうした問題を倫理学的観点から考察できるようになること、です。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学 理論と課題』慶應義塾大学出版会、近刊

【参考書】

特になし (必要時にはプリントを配布)

倫理学 / 倫理学 (春学期分)
 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 森 庸

【授業科目の内容】

社会の諸制度や法などはいかにあるべきか。これが中心テーマです。この問題に主に近現代の道德哲学者や社会哲学者はどのように取り組んできたかについて講義します。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学』(慶應義塾大学出版会)

【参考書】

ジェームズ・レイチェルズ『現実をみつめる道德哲学』(晃洋書房、2003年、2,940円)

倫理学 / 倫理学 (秋学期分)
 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 森 庸

【授業科目の内容】

社会の諸制度や法などはいかにあるべきか。これが中心テーマです。この問題に主に近現代の道德哲学者や社会哲学者はどのように取り組んできたかについて講義し

ます。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学』(慶應義塾大学出版会)

【参考書】

ジェームズ・レイチェルズ『現実をみつめる道德哲学』(晃洋書房、2003年、2,940円)

歴史 / 歴史 (春学期分)

「日本近世の対外関係」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 浅見 雅一

【授業科目の内容】

大航海時代には、カトリック教会は、イベリア両国という世俗の権力と密接に結びつきながら海外布教を推進した。ローマ教皇がイベリア両国の海外への勢力拡大に権威を与え、その代わりに両国を後ろ楯としてカトリック宣教師達が海外に進出していったのである。ポルトガル人は、アフリカからインドや東南アジア方面に進出し、16世紀中葉には日本にまで到達した。かくして、日本においてキリスト教の布教が開始されたのである。ポルトガル人が日本に初めて渡来してから江戸幕府による「鎖国」にいたるまでの約一世紀は、キリシタン時代と呼ばれる。この時代の日本の対外関係をカトリック教会の布教活動を軸として捉えてみたいと思う。

【参考書】

高瀬弘一郎著『キリシタンの世紀』岩波書店(1993年)
 五野井隆史『日本キリスト教史』吉川弘文館(1990年)

歴史 / 歴史 (秋学期分)

「日本近世の対外関係」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 浅見 雅一

【授業科目の内容】

大航海時代には、カトリック教会は、イベリア両国という世俗の権力と密接に結びつきながら海外布教を推進した。ローマ教皇がイベリア両国の海外への勢力拡大に権威を与え、その代わりに両国を後ろ楯としてカトリック宣教師達が海外に進出していったのである。ポルトガル人は、アフリカからインドや東南アジア方面に進出し、16世紀中葉には日本にまで到達した。かくして、日本においてキリスト教の布教が開始されたのである。ポルトガル人が日本に初めて渡来してから江戸幕府による「鎖国」にいたるまでの約一世紀は、キリシタン時代と呼ばれる。この時代の日本の対外関係をカトリック教会の布教活動を軸として捉えてみたいと思う。

【参考書】

高瀬弘一郎著『キリシタンの世紀』岩波書店(1993年)
 五野井隆史『日本キリスト教史』吉川弘文館(1990年)

歴史 / 歴史（春学期分）
 「旧石器時代・縄文時代概説」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 安藤 広道

【授業科目の内容】
 日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、狩猟採集社会の時代である旧石器時代と縄文時代について、東アジア的な視点を含めて概観します。併せて考古学という学問の紹介もしたいと思います。

【教科書】
 使用しません。
【参考書】
 必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史 / 歴史（秋学期分）
 「旧石器弥生時代・古墳時代概説」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 安藤 広道

【授業科目の内容】
 日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、弥生時代と古墳時代について、つまり農耕社会の成立から古代国家の成立までを、東アジア的な視点を含めて概観します。併せて考古学という学問の紹介もしたいと思います。

【教科書】
 使用しません。
【参考書】
 必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史 / 歴史（春学期分）
 「アーリー・モダンとしての江戸時代」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 井奥 成彦

【授業科目の内容】
 江戸時代を近代・現代へと連続する時代と捉え、その時代の諸相を見ていきます。
【教科書】
 特に用いない。
【参考書】
 随時紹介します。

歴史 / 歴史（秋学期分）
 「近代日本社会経済史」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 井奥 成彦

【授業科目の内容】
 急速な発展を遂げた近代日本の経済と社会の諸相を、現代との関連において見ていきます。
【教科書】
 特に用いない。

【参考書】
 随時紹介します。

歴史（春学期） / 歴史（秋学期）
 歴史（通年）
 「18世紀英米政治思想史（王位排斥法案危機からアメリカ独立宣言へ）」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 大森雄太郎

【授業科目の内容】
 「イギリス」では王位排斥法案危機（the Exclusion Crisis, 1679年 - 1681年）を通じてウィッグ（Whig）とトーリー（Tory）の党派対立が生じた。しかしその後イギリス革命（1688 / 89年）を経て政権が安定すると、ウィッグとトーリーの区別は残しながらも、宮廷派（Court）と在野派（Country）の対立が生じるようになり、特に在野派が独特の思想体系を形成することになる。この思想体系をCountry Ideology（またはClassical Republicanism より包括的にはCivic Humanism）と呼んでいる。この歴史においては、イギリス革命の弁護論としてジョン・ロックの政治思想は異端的にラディカルであって、あまり重要な役割を担っていないことがわかってきている。しかしイギリス領北米アメリカ植民地では、アメリカ革命の際にCountry Ideologyとともにロックの思想的伝統が前景に出て来ることになる。実際のところ北米アメリカ植民地の政治思想については、1760年代以前についてはいまだに手探り状態であって、よくわかっていない。しかし、Country Ideologyとロックの両者が、18世紀前半に大西洋を越えて植民地に根付いたと考えると良いだろう。

この授業では最初にウィッグとトーリーの対立を見て、その後主にCountry Ideologyがどういうものであったかを紹介し、最後に独立宣言（1776年）に至るまでのアメリカ革命での、主にロックの思想的「影響」を検討します。

なお、できるだけ実感を持つことのできる授業にしたため、しばしば18世紀の英語史料を読むこととなります。

この授業科目は通年半期制で行います。だから制度上は春・秋学期をそれぞれ独立して履修できます。しかし、春学期のみの履修はかまいませんが、秋学期は春学期の授業内容の上に立って授業を進めるため、秋学期を履修する人は春学期も履修して下さい。

【教科書】
 ありません。
【参考書】

Country Ideologyについては、日本語による良い参考書はまだありません。アメリカ革命のロックは授業担当者のオリジナルな勉強成果であって、英語による参考文献さえありません。参考書がないのですから、履修者は授業に集中して下さい。

歴史 / 歴史（春学期分）

「アジア太平洋戦争の開戦と終戦の過程」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

佐藤 元英

【授業科目の内容】

演習の狙いは、アジア太平洋戦争期における閣議・大本営政府連絡会議・最高戦争指導会議・御前会議などについての、政策決定のメカニズムを検証することにある。

そこで、外務省・陸軍省・海軍省・参謀本部・軍令部の文書を読解しながら、それぞれの立場の主張と政戦略決定過程の会議システムの解明を試みる。そのうえで、アジア太平洋戦争の開戦へむかわせた要因と終戦決断の意志決定を考察しようとするものである。

さらに、この時期において重要な役割を演じた政治家・外交官・軍人の日記・回顧録・手記・伝記など、あるいは国内の関係各種史料館およびイギリス国立公文書館・アメリカ国立公文書館・中国国立档案館などの情報公開状況をまじえて解説する。

【教科書】

佐藤元英『概説 アジア太平洋戦争と日本の近代』（虹有社 2003年 2000円）

関係史料のコピーを配布する。

【参考書】

野村実『太平洋戦争と日本軍部の研究』（山川出版社 1983年）

池井優『日本外交史概説』（慶応通信 1992年）

歴史 / 歴史（秋学期分）

「アジア太平洋戦争の開戦と終戦の過程」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

佐藤 元英

【授業科目の内容】

演習の狙いは、アジア太平洋戦争期における閣議・大本営政府連絡会議・最高戦争指導会議・御前会議などについての、政策決定のメカニズムを検証することにある。

そこで、外務省・陸軍省・海軍省・参謀本部・軍令部の文書を読解しながら、それぞれの立場の主張と政戦略決定過程の会議システムの解明を試みる。そのうえで、アジア太平洋戦争の開戦へむかわせた要因と終戦決断の意志決定を考察しようとするものである。

さらに、この時期において重要な役割を演じた政治家・外交官・軍人の日記・回顧録・手記・伝記など、あるいは国内の関係各種史料館およびイギリス国立公文書館・アメリカ国立公文書館・中国国立档案館などの情報公開状況をまじえて解説する。

【教科書】

佐藤元英『概説 アジア太平洋戦争と日本の近代』（虹有社 2003年 2000円）

関係史料のコピーを配布する。

【参考書】

野村実『太平洋戦争と日本軍部の研究』（山川出版社 1983年）

池井優『日本外交史概説』（慶応通信 1992年）

歴史 / 歴史（春学期分）

「『実隆公記』からみた中世の文化と社会」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

中島 圭一

【授業科目の内容】

三条西実隆（1455～1537）は室町・戦国期の公家（内大臣）で、当時のいわゆる東山文化における最高の文化人の一人です。その名声により、朝廷の内部だけでなく、室町幕府の要人や地方の大名などとも交流がありました。彼が遺した日記『実隆公記』（東京大学史料編纂所蔵、重要文化財）には、三条西家周辺の生活とともに、当時の文化や政治・社会の様相などが浮き彫りになっており、古代・中世の文化について、あるいは中世後期の政治や社会について考えるためのとっかかりとして、最適の人物と言えます。

この授業では、実隆の事跡や日記の記述を手がかりとして、古代・中世の文化や政治・社会について見ていきたいと思えます。

【教科書】

特になし。毎回、資料プリントを配布します。

【参考書】

三条西実隆についての参考文献として、以下の2点が挙げられます。

原勝郎『東山時代における一縉紳の生活』（講談社学術文庫）

芳賀幸四郎『三条西実隆』（吉川弘文館、人物叢書）

その他、必要に応じて授業内で提示します。

歴史 / 歴史（秋学期分）

「『実隆公記』からみた中世の文化と社会」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

中島 圭一

【授業科目の内容】

春学期（歴史）に引き続き、三条西実隆（1455～1537）の事跡や日記の記述を通じて、古代・中世の文化や政治・社会について見ていきたいと思えます。

春学期の講義を前提として授業を進めていきますので、秋学期のみの履修ではわかりにくいところもあるかもしれませんが、できるだけ春学期の授業と合わせて履修して下さい。

【教科書】

特になし。毎回、資料プリントを配布します。

【参考書】

三条西実隆についての参考文献として、以下の2点が挙げられます。

原勝郎『東山時代における一縉紳の生活』(講談社学術文庫)
 芳賀幸四郎『三條西実隆』(吉川弘文館、人物叢書)
 その他、必要に応じて授業内で提示します。

歴史 / 歴史(春学期分)
 「ペルシャ文化史論」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 中村 公則

【授業科目の内容】

現代のイランがどのような国で、民衆はどのような生活をしているかを具体的に視聴覚教材などを活用しつつ説明し、併せてイスラーム期イランの歴史を略述する。

【教科書】

本田実信著「イスラーム世界の発展」講談社

【参考書】

岡田恵美子ほか「イランを知るための65章」明石書店

歴史 / 歴史(秋学期分)
 「ペルシャ文化史論」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 中村 公則

【授業科目の内容】

現代のイランがどのような過去の遺産を文化として引き継いでいるかできる限り具体的に明らかにしていく。

【教科書】

本田実信著「イスラーム世界の発展」講談社

【参考書】

長沢和俊著「正倉院の至宝」青春出版社

歴史 / 歴史(春学期分)
 「中世イスラーム史概説」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 長谷部史彦

【授業科目の内容】

中世(10~15世紀)を中心に、イスラーム世界の政治・経済・社会・文化について概観する。

【参考書】

佐藤次高編『新版世界各国史 西アジア史 アラブ』山川出版社、2002年

歴史 / 歴史(秋学期分)
 「近世・近代アラブ史概説」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 長谷部史彦

【授業科目の内容】

東アラブ地域(エジプト、シリア、イラク、アラビア半島など)の近世・近代(16~19世紀)の歴史を政治・社会・文化の動きに注目しながら概観する。

【参考書】

佐藤次高編『新版世界各国史 西アジア史 アラブ』山川出版社、2002年

歴史 / 歴史(春学期分)(火3)
 「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会(2000年)

歴史 / 歴史(秋学期分)(火3)
 「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会(2000年)

歴史 / 歴史(春学期分)(火4・5)
 「バレエの歴史」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。春学期は十九世紀フランス・バレエまでを論じる。ヨーロッパ近代文化史・文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『「胡桃割り人形」論』三嶺書房(1998年)

【参考書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会(2000年)

歴史 / 歴史 (秋学期分) (火4・5)
 「バレエの歴史」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。秋学期はロシアにおけるバレエと現代バレエを論じる。ヨーロッパ近・現代文化史、文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『「胡桃割り人形」論』三嶺書房 (1998年)

【参考書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会 (2000年)

歴史 / 歴史 (春学期分) (月1)
 「環大西洋世界の歴史的展開：その形成」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。この講義 (春学期) では、こうした研究者たちの思考を追いながら、大西洋世界共通の歴史を素描していく。そのうえで、より一般的に「海」という視点をとることによって、新たに理解できることは何であり、理解できないことは何であるかについて、考察してみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

初回のガイダンスで参考書リストを配布します

歴史 / 歴史 (秋学期分) (月1)
 「環大西洋世界の歴史的展開：その展開」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。この講義 (秋学期) では、こうした研究者たちの思考を追いながら、大西洋世界が相互に依存していく様子を素描していく。そのうえで、より一般的に「海」という視点をとることによって、新たに理解できることは何であり、理解できないことは何であるかについて、考察してみたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

初回のガイダンスで参考書リストを配布します。

歴史 / 歴史 (春学期分) (木1・2)
 「グローバル化の歴史的前提：近世ヨーロッパ商業」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

今日的な現象として「グローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。この長期的なプロセスで、とくに大きな意義を持ったのが、ヨーロッパの商業的な発達と、その外部世界への進展である。この講義 (春学期) では、とくに15-17世紀にヨーロッパで商業が形成されていく過程を辿りながら、今日のグローバル化について、長い歴史的な文脈で考えることを試みる。そのうえで、「グローバル化」を題材として、歴史的思考が現代の問題にどのように関与するのかについて考えてみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

初回のガイダンスで参考書リストを配布します

歴史 / 歴史 (秋学期分) (木1・2)
 「グローバル化の歴史的前提：ヨーロッパの海外進出」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

今日的な現象として「グローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。この長期的なプロセスで、とくに大きな意義を持ったのが、ヨーロッパの商業的な発達と、その外部世界への進展である。この講義 (秋学期) では、とくに16-18世紀にヨーロッパ商業が外へと拡大していく過程を辿りながら、今日のグローバル化について、長い歴史的な文脈で考えることを試みる。そのうえで、「グローバル化」を題材として、歴史的思考が現代の問題にどのように関与するのかについて考えてみたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

初回のガイダンスで参考書リストを配布します。

歴史 / 歴史 (春学期分)
「アメリカ合衆国通史() 植民地時代から20世紀初頭まで」
2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 松本 典久

【授業科目の内容】

植民地時代から20世紀初頭あたりまでのアメリカの歴史について学びます。時間の制約もありますので、各時代の主な出来事や、政治理念・経済理念などを、テーマ別に選んでお話しします。

【教科書】

拙著『日米比較文化論』(慶応大学出版会) 授業でそのまま使用することはありませんが、授業内容に関連する重要事項が取り上げられています。必ず読んでください。1990年代以降の展開については、秋学期用に掲げた拙稿3点のうち、はじめの2点を参照してください。

【参考書】

以下の3点のうち、いずれか一冊を読むことをお勧めします。
有賀貞・大下尚一編著『概説アメリカ史』(有斐閣選書)
岡田泰男・永田啓恭編著『概説アメリカ経済史』(有斐閣選書)
斉藤真『アメリカ政治外交史』(東大出版会)

歴史 / 歴史 (秋学期分)
「アメリカ合衆国通史() 20世紀初頭から今日まで」
2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 松本 典久

【授業科目の内容】

それまでの歴史的経緯を踏まえ、20世紀初頭から今日までのアメリカの歩みを追ってみます。同時に、現在アメリカの置かれている状況を、世界史の流れのなかで考えます。最終的には1990年代以降の「グローバリゼーション」とアメリカとの関わりに焦点が当てられます。

【教科書】

拙著『日米比較文化論』(慶応大学出版会) 春学期に読んだ方はそのままお使いください。まだ読んでない方は必ず読んでください。さらに以下3点を加えます。

拙稿「グローバリズムと反グローバリズム」(『日吉紀要、英語英米文学』43、2003年)
拙稿「歴史のおわり、もしくは新しい歴史のはじまり」(『同誌』44、2004年)
拙稿「グローバリズムの研究、18世紀以降の英米経済を中心に」(『同誌』、2005年)
日吉紀要Web上もしくは担当者のサイト (<http://www.geocities.jp/proteus11jp>) で閲覧できます。

【参考書】

以下の3点のうち、いずれか一冊を読むことをお勧めします。
有賀貞・大下尚一編著『概説アメリカ史』(有斐閣選

書)
岡田泰男・永田啓恭編著『概説アメリカ経済史』(有斐閣選書)
斉藤真『アメリカ政治外交史』(東大出版会)

歴史 / 歴史 (春学期分)
「フランス革命史」
2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 宮崎 洋

【授業科目の内容】

18世紀に生じたフランス革命はフランスばかりか、他の多くの国々に大きな衝撃と影響を与えた。革命は政治的には正面から封建制と絶対王政を否定し、共和制という民主主義政治の体制を、社会的、経済的、文化的には新しい考え方やシステムを導入した。この授業は講義形式で、主として絶対王政末期の社会、経済、政治状況から、革命下1792年の対外戦争までの歴史的経過とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

柴田三千雄他編「フランス史2」世界歴史大系、山川出版社

歴史 / 歴史 (秋学期分)
「フランス革命史」
2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 宮崎 洋

【授業科目の内容】

フランス革命の通史です。授業は講義形式で、主として1792年8月10日の革命から1799年11月のナポレオンによるブリュメール18日のクーデタまでの歴史的経過と革命の成果を対象とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

柴田三千雄他編「フランス史2」世界歴史大系、山川出版社

歴史 / 歴史 (春学期分)
「水をめぐる中国古代史 - 環境史の方法」
2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 村松 弘一

【授業科目の内容】

かつての環境はどのようなもので、現在に至るまでそれはどのような変遷を経たのか。人間は周囲の環境をどう認識し、それとかがわってきたのだろうか。そういった問題をテーマとする歴史研究を環境史と言います。本講義では「水」をキーワードに中国環境史の研究を紹介します。時代は秦漢時代を中心に文明の発生から現代の環境問題にもふれます。また、文献史料のほか環境史研

究に必要な現地調査・考古資料・自然科学の成果なども紹介します。

【教科書】

特に指定はしません。毎回配布するプリントをもとに講義をします。

【参考書】

授業中に紹介します。

歴史 / 歴史 (秋学期分)

「始皇帝が見た風景 - 中国古代史の世界」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

村松 弘一

【授業科目の内容】

中国史上、はじめて「統一」を果たした始皇帝の見た中国の風景とはどのようなものだったのだろうか。始皇帝の歩いた道をたどりつつ、近年陸続として発見される考古学の遺物や遺跡、出土文献史料、さらには環境史と呼ばれる方法を利用することによって解明できる当時の自然環境についてお話しします。

【教科書】

特に指定はしません。毎回配布するプリントをもとに講義をします。

【参考書】

鶴間和幸『始皇帝 - 伝説と史実のはざま』吉川弘文館、2001年

鶴間和幸『中国の歴史 - ファーストエンペラーの遺産 (秦漢帝国)』講談社、2004年

鶴間和幸『始皇帝陵と兵馬俑』講談社学術文庫、2004年

歴史 / 歴史 (春学期分)

「8世紀までの日本文化史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

湯浅 吉美

【授業科目の内容】

寺院の造営や僧侶の活動など、仏教文化的な事象を中心として日本の古代史を見てゆく。すなわち春学期分としては、仏教伝来から奈良時代までをとりあげる。

文化史には、つくり出すはたらき、受け容れるはたらき、つくられたもの、以上3つの視点がなければならぬという。しかし、とかく についてのみ考え、作品名や人名を列挙して、それで「文化史」だとする風潮が強い。この講義では、むしろ や の解明に力点をおく。そして願うところは、一人でも多くの諸君が、歴史的遺産を愛し、守り伝えてゆく気持ちをもつ社会人に育ってほしいということである。

【教科書】

とくに使用しない。

【参考書】

井上光貞監修『図説 歴史散歩事典 2版』(山川出版社、1982年)

講義そのものには必須ではないが、博物館や史跡巡り

をしたい人、日本史に強い興味をもつ人にお薦めする。

歴史 / 歴史 (秋学期分)

「9世紀から12世紀までの日本文化史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

湯浅 吉美

【授業科目の内容】

寺院の造営や僧侶の活動など、仏教文化的な事象を中心として日本の古代史を見てゆく。すなわち秋学期分としては、平安時代初期から院政期までをとりあげる。

文化史には、つくり出すはたらき、受け容れるはたらき、つくられたもの、以上3つの視点がなければならぬという。しかし、とかく についてのみ考え、作品名や人名を列挙して、それで「文化史」だとする風潮が強い。この講義では、むしろ や の解明に力点をおく。そして願うところは、一人でも多くの諸君が、歴史的遺産を愛し、守り伝えてゆく気持ちをもつ社会人に育ってほしいということである。

【教科書】

とくに使用しない。

【参考書】

井上光貞監修『図説 歴史散歩事典 2版』(山川出版社、1982年)

講義そのものには必須ではないが、博物館や史跡巡りをしたい人、日本史に強い興味をもつ人にお薦めする。

歴史 / 歴史 (春学期分) (月5)

「イブン・ハルドゥーンとその時代を通じて中世イスラーム社会とその歴史を見る」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

湯川 武

【授業科目の内容】

高等学校レベルの世界史の教科書でも出てくるイブン・ハルドゥーンは、中世イスラーム世界の学者・思想家としてはかなりよく知られた人物である。彼の代表的な著作として『歴史序説』という名も比較的よく知られている。しかし、イブン・ハルドゥーンの名前と思想についての知識は、ほとんどそれだけで、その人物と思想そのものについてはほとんど何も述べられていないのに等しい。春学期の本講義は、イブン・ハルドゥーンの伝記を通じて、14世紀のアンダルス(イスラーム教徒支配下のイベリア半島)、マグリブ(北アフリカ)、エジプトを見るとともに、その背景となるそれにさらにそれ以前のアラブ・イスラームの歴史を見ていく。

【教科書】

なし

【参考書】

詳しい参考文献リストは第1回授業の時に降順次示すので、ここには次のものだけを挙げておく。

森本公誠著『イブン・ハルドゥーン』講談社(1980年)
M.ワット(黒田・柏木訳)『イスラーム・スペイン史』岩波書店(1984年)

歴史 / 歴史 (秋学期分) (月5)
 「イブン・ハルドゥーンの『歴史序説』」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 湯川 武

〔授業科目の内容〕

この講義では、現代にまで大きな影響を及ぼしているイブン・ハルドゥーンの『歴史序説』に示されている、彼の広い分野にわたる思想と理論について考察する。中世のイスラーム思想史の中でイブン・ハルドゥーンの思想はどのような意味を持っているかについても言及する。さらに、その『歴史序説』が後代に及ぼしたさまざまな影響についても考えていく。秋学期の履修者は、春学期の歴史「イブン・ハルドゥーンとその時代」を履修することが望ましい。

〔教科書〕

なし。原典の日本語訳については、必要な箇所はコピーして授業中に配布する。

〔参考書〕

詳しい参考文献リストは第1回授業の時以降順次示すので、ここには次のものだけを挙げておく。
 イブン・ハルドゥーン、森本公誠著『歴史序説』(全4巻)岩波書店(2001年)

歴史 / 歴史 (春学期分) (金3)
 「中東イスラーム世界の歴史：文明と宗教」
 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 湯川 武

〔授業科目の内容〕

中東は人類文明の発祥の地(古代オリエント文明)であり、その後には発達したさまざまな文明を通じ人類の歴史に大きな足跡を残してきた。そのような中東の文明は宗教の上でも人類に大きな影響を与えてきた。現代世界で「文明の衝突」と呼ばれる対比的に語られることの多い西洋文明とイスラーム文明にしても、西洋文明の背骨とも言うべきキリスト教はそもそも中東で生まれた宗教である。そしてその西洋文明と対比的に語られるイスラーム文明のイスラームも中東で生まれ育った宗教である。このように豊かな文明を育ててきた中東の歴史を「文明と宗教」という観点で歴史を見ていく。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

講義中に適宜示す。

歴史 / 歴史 (秋学期分) (金3)
 「中東イスラーム世界の歴史：政治と経済」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 湯川 武

〔授業科目の内容〕

中東はいわゆる「イスラーム原理主義」という過激な政治運動で世界中を揺れ動かし、また他方では、エネルギー資源として石油の最大の産地として世界の経済に大きな影響を与えている。このような中東の歴史を、「政治と経済」という観点から見ていくのがこの授業の目的である。イスラーム勃興以降現代に至るまでの中東の歴史の中から、このテーマに沿ってトピックを選び講義を進める。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

講義中に適宜示す。

論理学 (春学期) / 論理学 (秋学期)
 論理学 (通年)
 「われわれはいかに論理的でありうるか？」
 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

古典命題論理及び古典述語論理の意味論及び構文論(証明論)を概観し、現代論理学の基礎を学びます。又、直観主義論理や様相論理などの非古典論理を取りあげ、その意義を考察します。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

使用しない。

論理学 / 論理学 (春学期分)
 「形式論理学入門」
 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 佐々木昭則

〔授業科目の内容〕

推論について勉強する。特に、推論が正しいかどうか確かめる方法について、様々なアプローチを提供する。春期は、真理関数的推論を主に扱う。

〔教科書〕

特に指定せずプリント配布。

〔参考書〕

教室で適宜指示。

論理学 / 論理学 (秋学期分)

「形式論理学入門」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐々木昭則

【授業科目の内容】

春学期に引き続いて、授業を行う。秋学期は、量化学論を主に扱う。

【教科書】

特に指定せずプリント配布。

【参考書】

教室で適宜指示。

論理学 (春学期) / 論理学 (秋学期)
論理学 (通年)

「論理的推論の理解とその応用」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 長谷部浩二 (春学期)
岡田 光弘 (秋学期)

【授業科目の内容】

論理的思考や正しい論理推論の基準を明らかにする。命題論理及び述語論理の論証理論 (証明論) 及び意味論を中心に、現代論理学の基本的な考え方を学習していく。また、論理学の種々の応用についても具体例を用いながら解説を加えたい。

春学期

命題論理を中心とした入門的内容となる。特に現代的な立場から新しい教材も用いて、論理的思考や正しい推論の基準等の学習を進める。

秋学期

命題論理を学習したことがあるという前提で、主に述語論理を中心に授業を行う。特に現代的な立場から新しい教材も用いて、論理思考や正しい推論の基準等の学習を進める。

【教科書】

指定しない。

【教科書】

プリント (小冊子) を実費で日吉コピーセンターより購入して下さい。詳しいことは各学期最初の授業で指示します。

【参考書】

必要に応じて授業中に指示します。

論理学a (春学期) / 論理学b (秋学期)
論理学 (通年)

「推論の科学」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 星野 慎吾

【授業科目の内容】

論理学は「推論の構造」を研究の対象にします。推論するという知的行為は、人間のさまざまな行為のうちで

最も基本的なものの一つです。証明する、論証する、議論する、理論 (学問) を構成する等の知的行為は、すべて正しい推論を用いることで行われます。したがって、論理学は諸学問を形成するのに必要不可欠なものになり、また道具になるともいえます。

以上のような性格をもつ論理学を初心者を対象にして講義します。

【教科書】

大出・高野著『論理学』慶大出版会

【参考書】

なし。

論理学 / 論理学 (春学期分)

「妥当な推論 (確実な根拠付け) の基準の研究」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 弓削 隆一

【授業科目の内容】

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で最も基本的なものである命題論理の言語について解説する。

【教科書】

講義資料プリントを作成する。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

論理学 / 論理学 (秋学期分)

「妥当な推論 (確実な根拠付け) の基準の研究」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 弓削 隆一

【授業科目の内容】

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で基本的なものである述語論理の言語について解説する。

【教科書】

講義資料プリントを作成する。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

論理学序論

「思考形式の科学」 2単位 春学期
【経商医理】 星野 慎吾

【授業科目の内容】

論理学の研究課題は「推論の構造」の解明である。日常生活の分野での推論の展開から始まって、学問領域における論理的思考までが、どのような考え方と方法で論理

学として統一的に形成されているかについて概説する。

【教科書】

なし。

【参考書】

大出晁著『論理の探求』慶大出版社

論理学本論

「思考形式の科学」

2単位 秋学期

【経商医理】

星野 慎吾

【授業科目の内容】

現代論理学の方法と考え方に基づいて考察し、思考の形式である「推論の構造」がどのような性質を持ち、その特徴がいかなるものとして明らかにされているかについて概説する。

【教科書】

なし。

【参考書】

大出・高野共著『論理学』慶大出版会

少人数セミナー形式授業科目

ここからは、各学部で設置されている少人数セミナー形式の授業科目について紹介します。各学部で開講されている少人数の特色ある科目を、できるだけ多くの学生に共有してもらいたいという願いから、2003年度から、相互に、他学部の学生に授業を開放しています。他学部に開放された授業では、所属学部の学生の履修が優先された上で、履修人数に余裕のある限り、他学部の学生が履修することができます。

他学部の「少人数セミナー形式授業科目」を履修した場合、下記科目の単位となります。

文学部 : 総合教育科目の系列外科目
経済学部 : 総合教育科目(系)
法学部 : 自主選択科目
商学部 : 総合教育科目(・類)
医学部 : 自由科目
理工学部 : 自由科目

各学部の時間割に全学部分の「少人数セミナー形式授業科目」時間割を掲載しているので、曜日時限を確認してください。

「少人数セミナー形式授業科目」は、他学部設置の科目を履修する場合でも、科目認定用紙の提出の必要はありません。

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー ・ (各2単位)

主として、文学部1年生を対象に開講する少人数、セミナー型講義科目です。担当するのは、文学部の日吉所属教員で、三田所属教員が開講している「特論」とよく似た形態です。いわゆる教員が壇上で講義をしていく形態の総合教育科目とは違って、各教員が専門とする研究に沿って討論、対話、輪講などの形式で進められます。内容・講義形式等については、各担当教員が自由に設定しますので、必ず第1回目の授業に出席して、内容等を確認してください。なお、秋学期開講科目については、ガイダンスを行う科目のみ文学部掲示板でお知らせいたします。

科目名は、ゴシック(太字)部分です。()カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などに記載されない科目名)です。

総合教育セミナー (英米文学)
「これが噂の「日本人」! アメリカにおける日本人表象史1」 2単位 春学期
【文】 宇沢 美子

【授業科目の内容】

アメリカでは日本人はいかにみられ表象されてきたのか?

本セミナーではゲイシャ、サムライ、召し使い・・・アメリカにおいて(ミス)リプレゼントされてきた3大日本人表象を題材に、日本(人)という概念の変遷と多様性を探る。特にセミナーではゲイシャ他の日本人女性表象に焦点をあてる。舞台、映画、小説、新聞雑誌コラム、広告に登場した日本人たちの姿や意味を分析するとともに、分析例として、オリエンタリズム論、ステレオタイプ論、身体論、黄禍論ほかの議論も検討する。

【教科書】

マスターコピーを各自コピーする。

【参考書】

学期の初めにリストを配布。

総合教育セミナー (20世紀の科学の発見) 2単位 春学期
【文】 大場 茂

【授業科目の内容】

科学はどのようにして発展してきたのだろうか。世界の常識を覆すような発見や発明が、どのようになされたのであろうか。20世紀における科学の発展を振り返り、その時代背景や基礎的な科学の概念を学びます。

【教科書】

毎回プリントを配布します。

総合教育セミナー (人類学)
「動物園・水族館で進化を学ぶ」 2単位 春学期
【文】 高山 博

【授業科目の内容】

現在、生きている動物を観察することで、人類の進化について基礎知識を学ぶ機会としたい。今年度は、特に脊椎動物(魚類以降)の動物に注目して観察していく予定です。講義時間以外に、動物園・水族館等へでかけますので、休業日(日・祝)の観察会も講義の一環となります。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

総合教育セミナー (英米文学)
「これが噂の「日本人」! アメリカにおける日本人表象史2」 2単位 秋学期
【文】 宇沢 美子

【授業科目の内容】

アメリカでは日本人はいかにみられ表象されてきたのか?

本セミナーではゲイシャ、サムライ、召し使い・・・アメリカにおいて(ミス)リプレゼントされてきた3大日本人表象を題材に、日本(人)という概念の変遷と多様性を探る。特にセミナーではゲイシャ他の日本人女性表象に焦点をあてる。舞台、映画、小説、新聞雑誌コラム、広告に登場した日本人たちの姿や意味を分析するとともに、分析例として、オリエンタリズム論、ステレオタイプ論、身体論、黄禍論ほかの議論も検討する。

【教科書】

マスターコピーを各自コピーする

【参考書】

学期の初めにリストを配布

総合教育セミナー (細胞行動データベースの作成)
「細胞行動・高次生命現象・そして人間社会」 2単位 秋学期
【文】 金子 洋之

【授業科目の内容】

文系の学生諸君にとって、細胞行動、高次生命という言葉からどういった状況が思い浮かべられるだろうか? 生物の構成単位である細胞が疑人化され、何らかの振る舞いを行い、ダイナミックな細胞社会が構築され、その結果が高次生命現象として捉えられるのでは? との答えで十分正解である。多細胞生物の身体で生じる多彩な細胞行動が、ダイナミックな細胞社会を存在させていることは事実である。これらの知見を体系化できれば、人間行動と人間社会を新たな視点から考察できないだろう

か？本講義では、理系と文系の学際領域の開拓を目指し、生命科学が明らかにしてきた多くの知見を平易に解説しつつ、細胞行動の情報収集を試行する。これらを通して高次生命現象理解のための細胞行動データベースを作成することを体験してもらいたい。

【教科書】

指定しない。教材は教員が準備する。

【参考書】

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

総合教育セミナー（人類学）

「骨に聞く、骨を読む」

2単位 秋学期

【文】

高山 博

【授業科目の内容】

人体骨格についての基礎知識を習得しながら、人類学（化石人類学、骨格人類学）の基礎にふれる機会とした。人類進化の道筋を化石模型等に触れながら、形態進化を実体験していく予定。受講者のレベル等によりますが、他大学・研究所の見学にも出かけることもあります。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

総合教育セミナー（朝鮮・中国の社会と文化）

「朝鮮・中国の社会と文化をともに考えよう」

2単位 秋学期

【文】

野村 伸一

【授業科目の内容】

講義ではなく、各自の報告、討論の授業です。

朝鮮半島と中国の社会と文化は今日、激動しています。わたしたちはマスコミやインターネットを通して無数の情報を目にしています。そして夏休みなどを利用して、現地を旅行してきた学生も多数いるはず。しかし、残念なことに、文学部の授業のなかで、それに基づいて、その地の生活習慣、文化、歴史を考え、発表する場はほとんどありません。

文学部では、3、4年生を対象にゼミというクラスが設置されていて、ここでは毎時間、学生による自主的な報告、発表があります。しかし、日吉の一年生はいくら意欲があっても、それに参加することはできません。

この授業は、一年生を対象にゼミのクラスを設けようというものです。発表といっても、はじめのうちは見学したことの報告、鑑賞した作品についての感想などで終わるでしょうが、それに基づいて、意見を交換することで、視点が深まっていくものです。

対象地域は「朝鮮半島と中国」としましたが、その周辺の東アジア地域も含めます。夏休みに見学した地域の人と文化についてぜひ語りたいというような強い動機のある人には、最適の場となるでしょう。

元来の趣旨からいうと、東アジアの留学生が参加する

となお好ましいと考えます。

【参考書】

参加者の関心領域に応じて講義時に提示します。そのほか、ウェブサイト<http://web.hc.keio.ac.jp/shnomura/>および<http://www.flet.keio.ac.jp/shnomura/>（慶應義塾大学アジア基層文化研究会）を参照してください（随時更新します）。

【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】

自由研究セミナー（春学期半期）
「Javaでプログラミングをしてみよう」

2単位 春学期
青木健一郎

【経】

【授業科目の内容】

Java は現在様々な局面で使われている実用性の高いプログラミング言語です。

また、Java は文法も合理的で現代的な言語であり、プログラミングを学ぶ言語としても最適です。

このセミナーでは、プログラムを書くことによってプログラミングについて理解する事を目的とします。複雑なプログラムよりも、自分で完璧に理解できる簡単なプログラム（特に applet）を書くようにします。

Java の主な特徴はオブジェクト指向性と様々なプラットフォームで使える汎用性です。プログラミングで重要な事は、楽に正しく作ることで、オブジェクト指向性はこれにおおいに役立ちます。オブジェクト指向性などの概念は、意識せずともプログラムを書くことによって自然と実感できると思います。

【教科書】

ありません。

【参考書】

好きなもので良いですが、Java の解説書は必要です。
(例)「初体験 Java」丸の内とら著（技術評論社）

自由研究セミナー
「国際経済の計量分析」

2単位 春学期
秋山 裕

【経】

【授業科目の内容】

(1)貿易、為替レート、海外直接など、国際経済における経済現象について、回帰分析を中心とした簡単な計量分析を履修者が行えるようになること、および、(2)株式投資についてポートフォリオ理論の簡単な実践を履修者が行なえるようになることがこのセミナーの目標です。授業は 担当者による講義と 履修者のグループ発表からなります。

セミナーを効率的かつ活発で楽しいものにするため、演習、発表ではグループによる共同作業も行ないます。(2005年度のクラスでは、日本経済新聞社主催の学生円ダービーや日経ストックリーグなどのコンテストにもチームを編成して参加しました。コンテスト参加にあたって、MS Excelの分析ツールを中心に実践的な分析手法を習得していきます。)そのため、授業時間以外で準備の時間、および、課題をこなすための時間がある程度必要となります。

【教科書】

計量分析手法の学習にあたっては、講義資料プリントを配布します。

【参考書】

随時、担当者から指示があります。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「音楽 作曲の基礎としての対位法」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

石井 明

【授業科目の内容】

対位法は、西洋の古典的な作曲技法の1つで、ルネッサンス期の教会音楽において最盛期を迎えたものです。16世紀後期に活躍したパレストリーナによるミサ曲などにその手本を見ることができます。17世紀の初頭におけるオペラの誕生により対位法は、作曲技法の主流から遠ざかるようになりました。しかしながら、その後も対位法は、常に作曲の基礎として多くの音楽家によって学ばれてきました。モーツァルト、ハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスなどの作曲家達も対位法を学びました。そこでこのセミナーでは、基礎的な対位法を実践という形で基礎から学びます。単旋律の概念から始め、2声による学習的な対位法を経て、2声フーガの作曲を試みます。それと同時に、過去の作曲家達がどのように対位法を作り上げていったのかということと、彼らが対位法とどのように接してきたのかということを経史的に検証していきます。最終プロジェクトでは、1つの作品を完成させるだけではなく、その作品が持つ技術的な特徴などを、歴史的な作品と比較して分析します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「都市の風景 都市の公共性について」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

伊藤 行雄

【授業科目の内容】

ヨーロッパの古い街では、街路と建物とのあいだに曖昧な空間はなく、建物は街路に直接に面していて、日本のように門と建物とのあいだに植え込みのような曖昧な空間を残しているところはほとんどない。つまりヨーロッパでは建物のすぐ外側は、外的な公共性が強い空間であるのに対して、日本の場合は建物の外にわずかも私的な空間を残し、門の外に出てようやく外部空間に接するといった要素がみられ、建物が直接街並みに貢献していないケースが多いといわれている。この街並みの構成の相違は、都市の公共性への意識の差異から来ていると考えられる。本研究会ではこうした公共性への欧米と日本との意識の相異を考えながら、ヨーロッパの都市と街の深層部分に江戸の面影を残す近代都市東京の公共性を中心に比較検討していきたいと思っている。

ヨーロッパと日本の都市(特に東京)の分析には建築、都市論のテキスト、時には文学作品などを含めた多方面

のテキストを使用する予定である。

研究会は参加者のレポート発表と討論によって進められる。同時にレジュメや発表の基礎的なトレーニングも行い、後半からは研究発表の計画、実施を行う。成績は授業への貢献度、レジュメ発表、研究発表の回数、レポートの提出、セミナーに積極的に参加して授業に貢献しているかどうかなど、総合的に評価で決定する。

【教科書】

芦原義信『街並みの美学』（岩波現代文庫）
 榎文彦『記憶の形象』（ちくま学芸文庫）
 K.グルーバー『ドイツの都市造形史』（西村書店）
 隈研吾『負ける建築』（岩波書店）
 永井荷風『日和下駄』（岩波文庫）ほか

自由研究セミナー

「Introduction to Film Studies」(水5・金5)

4単位 秋学期集中

【経】 石井 康史 エインジ, マイケル

【授業科目の内容】

Movies “capture the imagination” -but what is meant by that? Movies “open up dream worlds” -but whose dreams, and toward what ends? Movies are also said to “tell it like it is” -but what do they in fact tell (or show), how do they do so, and what is the effect of their stories and images?

In this course, the two instructors will present a variety of approaches to cinema, with focus on film analysis, not simple appreciation. You will be introduced to some major film theories, and apply those to selected films. Ten films comprise the major course content, chosen not for their entertainment value but for their value as research materials.

There will be two class sessions per week, on Wednesdays and on Fridays, in addition to weekly Monday-evening screenings. Attendance at all discussion sessions is mandatory; though projected film screenings will be offered, students unable to attend may watch films on their own. There will also be a substantial amount of reading assigned, both primary sources; i.e., film theorists' writings, as well as commentary on those essays. Some analyses of specific films will also be assigned. The purpose of this course is to provide analytic tools for understanding and analyzing films, which the students will use to begin formulating their own critical approach. Toward that end, in-class presentations and discussions will offer students a forum for testing various analytic methods, while the final paper will allow them to demonstrate their analytic skills.

NOTE: THIS COURSE IS A PREREQUISITE FOR PROF. AINGE'S KENKYU PROJECT.

【教科書】

To be announced at the first meeting.

【参考書】

To be announced at the first meeting.

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「都市と自然における映像と音響の融合」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

小淵 昭夫

【授業科目の内容】

東京、パリ、ニューヨークそして日吉をテーマにして映像・写真・音楽を作成する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「まち」の活性化について」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

長田 進

【授業科目の内容】

今日の社会においては、あらゆる場所では、人々はそれぞれの問題を抱えている。たとえば、東京の中心部では地域人口の減少とともにコミュニティの崩壊が問題となっている。一方、地方においては、「シャッター商店街」と呼ばれるような中心地の衰退が問題になっている。

そこで、この研究セミナーでは、そのような、都市の抱える問題を理解することに始まり、実際に行動する機会を経験することを主な目的とする。

【教科書】

最初のセミナーの時間に指定する。

【参考書】

授業の中で適宜指定する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「経済分析の理論的方法」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

長名 寛明

【授業科目の内容】

経済現象は、自然現象や社会現象と同様に複雑であって、どのような要因がどのように作用し合って生じているか、理解するのが必ずしも容易ではない。これを理解するためには、当面の問題に直接関係がないと思われる要因を思い切って捨象して考えることが有益である。

不必要と思われる要因を捨象して残ったものが、経済分析に使われるモデルあるいは理論である。モデル（模型）が実物と異なることは当然であるが、経済学を学び始める者の中のある者は、理論が現実と乖離していることに驚き、経済学への興味を失う。これは学問を始めようとする者にとって極めて不幸なことであると思われるが、かなり多くの者に観察されるようである。これは一種のアレルギー反応といえるものであり、理論の理解と

共に消失する。また経済理論は、かなり本質的な部分において数学的分析を必要としており、したがって、この分析方法を習得しないと十分な理解に達することが難しい。

この自由研究セミナーでは、ミクロ経済学の主要項目について演習型式で理解を深めることを目指す。必要な数学的分析方法についても訓練する予定である。

【教科書】

H. R. Varian, Intermediate Microeconomics, Norton (6th Edition), 2002.

【参考書】

神谷和也・浦井憲著『経済学のための数学入門』東京大学出版会
その他必要に応じて指示する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「エコロジカルな地域づくりと経済」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 河田 幸視

【授業科目の内容】

農村滞在型観光、エコ・ツーリズム、酪農製品などの地産地消や認証制度、環境保全と農業、条件不利地域対策、自然再生など、国内外の農山村における環境や経済に関わったテーマを幅広く取り上げる予定です。春学期は複数の資料を題材として輪読を中心に進めます。秋学期は、受講者の希望を基に、進め方を決定します。

【教科書】

春学期はなし。秋学期は指定する可能性があります。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「日吉の自然入門」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 岸 由二

【授業科目の内容】

日吉の森の散策、資料を利用した討論、読書等を通して、危機と再生の中にある都市自然のモデルとして、日吉台地の生物多様性やランドスケープをまなぶ。学習と体験（自習を含む）の成果は、毎回簡単なレポートとして提出し、可能であれば年間を通しての作品化をめざしたい。

【教科書】

・岸 由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店
・伊藤隆広『日吉の森野鳥紀行』
参加人数を配慮して適宜指定します。

【参考書】

・R.カーソン『センス・オブ・ワンダー』
・岸ほか『流域圏プランニング時代』

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「アナログ・デジタルメディアの過去・現在・未来の批判的・総合的研究」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【経】 クナウプ, ハンス」

【授業科目の内容】

現代はデジタルメディアが日常生活に深く浸透し、私たちの身体の一部になっています。デジタルメディアと私たちの関わりが将来どのように展開し、どのような姿になっていくのかについて、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどにおける情報を共有しながら議論を進めていく予定です。また、アナログメディアの可能性についても十分な知識を持つことが必要です。書籍のような人間の身体の動きに快適に順応するメディアは、新しいメディアによって駆逐されることはないでしょう。メディアの現在と将来を問題にする場合、その歴史を見ることも重要です。この授業では、時間の差異と空間の境界を自由に越えながら、メディアに潜んでいる危険性にも注目しつつ、最もアクチュアルな問題に批判的・総合的に接近していくつもりです。

【参考書】

P.ヴィリリオ著『瞬間の君臨 リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』新評論
『情報エネルギー化社会 現実空間の解体と速度が作り出す空間』新評論
F.キトラ著『グラモフォン、フィルム、タイプライター』筑摩書房
その他の参考資料、ゼミの進め方などについては、第1回目の授業で説明します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「世界の中の日本経済」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 島田 晴雄

【授業科目の内容】

目標 私の自由研究クラスでは、現在の日本経済ならびに世界経済が直面している諸問題をテーマに選び、経済理論と分析方法をふまつつも、自由な発想による議論をつうじてグループ研究（あるいは個人研究）を進め、経済に対する問題意識を養うことを目的とする。とりわけ、大きな歴史的転換を経つつある日本経済をめぐる、内外に発生しつつある重大な構造問題を展望し、その解決策などを考えてゆきたい。

授業内容 私の自由研究は原則的に2年生を対象とするが、1年生が履修してもよい。その場合、学力の開きはグループ研究を活用して補うようにしたい。通常の授業は有益な書物を選んで各人がレポートを提出し、それにもとづいて皆で討論をしながら理解を深める形で進める。ディベート、ディスカッション・フォーラム、シン

ポジウム、実務家との対話、英語による討論など参加者の必要と興味に応じて多様なプログラムを工夫したい。

【教科書】

島田晴雄著『生活直結産業が日本を救う』NTT出版
 島田晴雄著『マーケット・パワー』PHP
 島田晴雄著『産業創出の地域構想』東洋経済新報社
 島田晴雄著『日本再浮上の構想』東洋経済新報社
 島田晴雄著『法人課税改革』東洋経済新報社
 島田晴雄著『労働市場改革』東洋経済新報社
 島田晴雄著『安全と安心の経済学』岩波書店
 島田晴雄著『日本経済 勝利の方程式』
 島田晴雄著『明るい構造改革』
 島田晴雄・吉川洋著『痛みの先に何があるのか』
 島田晴雄著『住宅市場改革』
 島田晴雄著『めしのタネ発見地図』
 島田晴雄著『雇用を創る構造改革』
 島田晴雄著『日本を元気にする健康サービス産業』
 その他適宜選定する。

自由研究セミナー

「近・現代における経済と社会」 2単位 春学期
 【経】 崔 在東

【授業科目の内容】

本セミナーは、近代に生きる人々が直面していた様々な問題を多面的に考察します。具体的に取り上げるテーマは、家族制度、土地所有、共同体、社会主義と経済体制の移行、植民と朝鮮・在日・韓国・北朝鮮などです。各問題について国家と人々はどのような戦略を取っていたか、その歴史的含意はどのようなものであるかを議論します。また、現代経済の諸問題と原理的にどのようにつながっているのかを模索します。

【教科書】

特に指定しません。資料プリントを配布します。

【参考書】

適時に提示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー
 「中国の都市と文化」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年

【経】 千田 大介

【授業科目の内容】

広大な国土を有する中国は、地域間の差異が非常に大きく、ある意味モザイク画のような国家である。この地域性および地域の差異への理解なくして、真の中国理解はありえないと言ってもよからう。本セミナーでは、中国の首都である北京を取り上げ、その風俗や文化の実態と形成とについて考察する。

具体的には、北京の風俗・文化について解説した中国語の簡単なエッセイを配布して輪読し、あわせて関連資料を参考する形で授業を進めていく。このため受講者は初級中国語を修得している必要がある。春学期は主に北

京の食文化を、秋学期は伝統芸能・アミューズメントなどの現代文化を取り上げるとともに、他の都市や地域についても取り上げて比較検討する。

【教科書】

コピーを配布。

【参考書】

教場で指定。

自由研究セミナー

「福澤諭吉の社会思想」 2単位 春学期
 【経】 蔦木 能雄

【授業科目の内容】

余りに著名にして比較的読まれることの少ない福澤諭吉の『学問のすすめ』を通して福澤諭吉の思想について学ぶ。

【教科書】

福澤諭吉著『学問のすすめ』（岩波文庫）

【参考書】

富田正文著『考証 福澤諭吉』上・下 岩波書店
 1992年

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー
 「東西文明の発達と経済学の現状について」
 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年

【経】 蔦木 能雄

【授業科目の内容】

「帝国主義」に関する古典的著作を通して「社会科学」の基本を身につける。

【教科書】

ホブスン著 矢内原忠雄訳『帝国主義論』（岩波文庫）

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー
 「カウンセリングと精神療法を学ぶ」
 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年

【経】 土屋 博政

【授業科目の内容】

この授業の目的は、人間の心理的メカニズムを学ぶことにより、精神的な病に悩み、苦しむ人への理解と共感を深めることです。この授業では、病を治そうとすることよりも、まず病がその人の自己表現であること、又それなりの理由があつての病であることを理解しようとしています。従って、一年間この授業を受けることで、自分のことや他者のことが少しばかり客観的に理解できるようになり、以前よりも肩の力を抜いて生きる事ができるようになるでしょう。

講義は必要に応じて行いますが、この授業はセミナーですので、中心は受講者の皆さんの発表と議論です。ア

パシー（無感動）、引きこもり、リストカット、虐待、家庭内暴力、ストーカー、カルト等の問題はなぜ起るのか。主として春学期の授業では、皆さんが今疑問に思っている問題を扱った書物を読み、そこから分かったこと、また依然として解けない点をまとめ、それをクラスの仲間の前で発表してもらいます。毎回の授業での発表者は一人、ないし二人です。皆さん個人が感じた問題は、今の若者全般に何らかの形で関わる問題です。それを授業で一緒に考えることが大切だと考えます。皆の前で発表することは、自分を客観視するのに役立つだけでなく、他の人の意見を聞く機会が与えられ、多元的なものの見方を学ぶよい機会ともなります。テーマは皆さんが自由に選んで下さい。

また秋学期は、配布するテキストと一緒に読むことで、今日の大学生が抱える様々な問題と、また問題を抱える学生に対してカウンセリングと精神療法はどのように行われるのか、具体的に学んでいきます。

【教科書】

Joseph E. Talley and W. J. Kenneth Rockwell (eds.), *Counseling and Psychotherapy with College Students* (New York: Praeger, 1986) テキストはコピーして授業時に配布します。

【参考書】

参考書は授業時に必要に応じて示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「日本とアジアの人口、家族、経済」

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

津谷 典子

【授業科目の内容】

本科目は、人口増加と経済発展 (population growth and economic development)、人口増加と環境・資源 (population growth and the environment)、人口高齢化と高齢者介護 (population aging and care of the elderly)、出生・家族形成 (fertility and family formation)、結婚とその解消 (marriage and marital disruption)、死亡・保健・衛生 (mortality and health)、労働力と就業 (labor force and employment)、家族・世帯 (family and household)、ジェンダー (gender relations) など、人口学や経済学が取り扱う様々なトピックや問題についての英文文献を読み、それらに関するクラスでの発表とを通して、人口問題と経済に関する知識・理解を深めることを目的とする。人口変動と経済変動は密接に関連しており、人口変動はまた環境・資源の最も重要な決定変数の1つである。人口は重要な政策的課題でもあるため、本科目では各トピックの政策的含意についても検討する。

【教科書】

教科書は特に指定しない。なお、本科目で取り上げる論文は、比較的平易かつ具体的内容をもつものを、現在わが国および国際社会が置かれている状況を考慮して、

適切であると思われるものを講師が予め選別する。

【参考書】

河野稔果著『世界の人口』(第2版) 東京大学出版会 (2000年)

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「海外における日本文化」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

寺澤 行忠

【授業科目の内容】

私は昨年度「海外における日本文化受容の研究」というテーマで各国を訪問する機会を与えられ、海外における日本文化の実情を調査するとともに、多数の各国大学の日本学担当者、在外公館の文化担当者、日本文化機関関係者と懇談し、意見を交換してきた。

それらを踏まえて、海外における日本文化のありようを歴史的に検討し、さらによりよい形で日本文化を海外に紹介するには、いかなる方策が有効かを考えてみたい。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「計量人類体格史 (Anthropometric History) 入門」

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

友部 謙一

【授業科目の内容】

本セミナーでは、近年、世界中の社会経済史研究者から注目され始めている「計量人類体格史」(入門)を研究する。「計量人類体格史」研究は、歴史的に形成されてきた、さまざまな生態学的・市場経済的・政治的・環境学的な要因を有する地域に暮らしてきた人々(の集団)が、工業化(産業化)前後で、その体格・体位(身長・体重・胸囲・初潮年齢など)をどのように変化させてきたのかを、体格・体位に関する信頼できる資料(史料)の収集とその統計学的な観察・分析を通じて、明らかにする。

【教科書】

講義時に提示する

【参考書】

講義時に提示する

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「少子・高齢化社会におけるバリアフリーとユニバーサルデザイン」

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

中野 泰志

【授業科目の内容】

現在、我が国の少子・高齢化傾向は加速し、高齢化率

は世界でも最高に近い水準に達しています。法的に認定された障害者だけでも600万人を超えており、65歳以上の高齢者も2500万人以上に達しています。このように、単純に人口比から考えただけでも、障害者・高齢者は、すでに国民中の一部のマイノリティーグループとは呼べない規模に増大しています。さらに、疾病や事故・災害等での一時的な障害も含め、短期的に心身のコンディションにハンディを持つ人は多く、何よりも「すべての人が加齢とともにやがて確実に高齢者になる」という現実を考慮すれば、バリアフリー問題は、すなわち国民全体のテーマであるといえます。

若くて、健康な人にとって、特別な理由がない限り「高齢」や「障害」ということを意識することは少ないと思います。しかし、一生を考えてみると、不自由なく、移動したり、考えたり、覚えたりできる状態に身体を保つことができるのは、一時的なこと(Temporary Able Body; TAB)です。例えば、誰も乳幼児のときには一人では上手に食事もできなかったわけです。また、いつ病気や事故等に遭遇するかもわかりませんし、老化を避けることは誰にもできません。この意味で「障害」は身近な問題であり、「障害」をもっている人にも住みよい社会を創っていくことは、すべての人にとって大切な課題だと言えるでしょう。

このセミナーでは、すべての人が快適に生活できる「バリアフリー(バリアのない)社会」を実現するために必要な事項について実践的なディスカッションを行います。また、障害のある状態を擬似的に体験する等のワークショップを実施しながら、障害のある人の遭遇している不便さや困難さを共感的に理解したり、キャンパスや街のバリアを検証したりします。さらに、参加者の希望に応じて、障害者やボランティア等との交流や教育・福祉施設の見学会も実施する予定です。より理想的な社会を創っていく意欲のある学生の参加を期待します。

【教科書】

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

【参考書】

適宜紹介します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「生殖技術から考える自己決定権」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

長沖 暁子

【授業科目の内容】

「自分のことは自分で決める」、これは現代社会では自明のことのように考えられています。しかし、長い間、妊娠、出産という機能を持つ女性のからだは国家や家の支配・管理の対象として考えられてきました。これに対

し世界の女性たちは、1970年前後の中絶の合法化運動、80年代以降の開発途上国の強制的な人口抑制政策に抵抗する運動と、性と生殖に関する自己決定権(リプロダクティブ・ライツ)を求めて闘ってきました。そして、今やこのリプロダクティブ・ライツは1994年のカイロ国際人口開発会議の行動計画、95年の北京世界女性会議の行動綱領で、明記され、国際的に承認されてきています。

一方で、からだに関する自己決定権は、私的所有権の拡大解釈であり、「私のからだをどうしようと私の勝手でしょ」という論理であると、中絶、売春、脳死、他者からの卵、精子の提供、代理母、出生前診断など、さまざまな場面で批判にもさらされています。

自己決定権はどのような場面で、どのように有効であり、どのように制限されるのかを他者からの卵、精子の提供、代理母、出生前診断などの生殖技術を通して考えたいと思います。

【教科書】

使用しません

【参考書】

適宜紹介します

春学期輪読候補(これらの中から相談して選びます)

『自己決定権とジェンダー』『生殖技術とジェンダー』『ジェンダー化される身体』『つくれる命』『自己決定権は幻想である』

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「文化/社会/歴史/文学、その発想と感覚」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

西尾 修

【授業科目の内容】

何でもいから、興味あることについてしゃべる(喋る) そういった授業です。

担当者の専門領域は19世紀のフランス文学ですが、別段それにこだわるつもりはありません。

日本のこと、現代のこと、あるいはそれ以外の世界のこと、硬質なものから軟弱なものまで何でも、テーマ選びには地域、時代を問いません。授業に参加する諸君個々人が、それぞれに関心を抱くテーマをまずは持ち寄って、そのテーマについて、皆でとにかく自分の考えていることを口にする、そういった授業です。真面目がっついていけば、議論する、討論するという経験を通して、通常それ以外のコミュニケーション手段で得られるものとはまた別のナニモノかを得られれば格別。この授業が参加者諸君の自己発見、自己開発の一助になれば、と願っています。

授業は、毎回、メンバーの誰かがあるテーマについて発表し、その後、皆で議論するという形式で行います。詳しくは第1回目の授業で説明します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「中国時事・文化を「読む」」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 根岸宗一郎

【授業科目の内容】

現在も高度経済成長を続ける中国は、政治・経済・文化・社会いずれもが日々めまぐるしく変化している。昨年「人民元切り上げ」「有人宇宙飛行船打ち上げ成功」「化学物質流出による水質汚染」等、ニュースが目白押しであった。この授業では、中国の最新ニュースを中国の新聞・雑誌記事を通して読み、急速に変化する中国の姿を追ってゆく。初級中国語をクリアできていれば、この授業を通して生の中国語の新聞・雑誌記事を「読む」力と、リアルタイムの中国社会・文化を「読む」力を養えるであろう。

【教科書】

適宜配布する。

【参考書】

適宜紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「現代経済をどう見るか」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 延近 充

【授業科目の内容】

1980年代後半以降、冷戦という戦後世界を長く規定してきた要因が消滅するとともに、国境を超えて巨額の資金が移動し国際競争が激しくなるとともに、巨大多国籍企業の提携・合併のような世界市場の再編の動きが激しくなりました。こうしたグローバル化の急速な進展によって経済的な相互依存も深まり一国の経済政策が他国に与える影響が大きくなって、混迷を深める経済問題や地球環境問題などの解決のために各国間の協力の必要性が強まる一方、政策手段は手詰りとなり活路を見出せない状態になっています。国際政治・軍事面でも大きな変化が起こっています。冷戦終結後に民族紛争や地域紛争が頻発はじまりました。ソ連の崩壊によって唯一の超大国となったアメリカは、21世紀にはいると9.11同時多発テロを直接の契機として、「テロとの戦争」を名目にアフガニスタンとイラクに事実上単独で軍事攻撃を行なって政権を打倒しました。両国は依然として不安定な状態が続き、周辺地域や関係諸国を含めてかえって暴力の連鎖が深刻化しています。現代世界は世界史的な一大転換期にあるとあってよいでしょう。

こうした現代世界が直面している問題の根源を明らかにするためには、理論的検討と現状分析を世界史的視野から行なう必要があります。そうした理論とそれを基礎とした現状分析を本格的に取り扱うのは三田に設置されている専門科目ですが、この自由研究セミナーでは、そ

の入門編として現代の経済が抱える問題についてどのようにアプローチしたらよいかを、理論・現状分析の両面から受講者諸君とともに考え、討論することを第1の目的としています。

【教科書】

初回授業で指示。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「写真への接近」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 林 栄美子

【授業科目の内容】

写真が発明されたのは1839年のことである。人間の長い歴史の中に置いてみれば、つい最近のこととさえ言えるだろう。しかし人間が手にした最初の「映像」である写真は、飛躍的な進歩をとげ、今や誰もが写真を撮り、撮られるという体験が日常的なこととなり、無数の写真に取り巻かれて我々は生きている。氾濫する写真は、我々の世界の捉え方にまで多大な影響を与えている。

「写真」とはいったい何か？そのことを具体的に考えるために、写真を撮るという行為、それを見せるという行為と、写真のさまざまなありようの考察とを、意識的に並行して行ってみよう。写真史を概観することもその助けとなるだろうし、写真家たちの作品にふれることも必要になるだろう。ただし、写真についての知識や体験は問わない。ただし、これは写真をうまく撮れるようになるための講座ではない。あくまでも「写真について考える」こと、それを通じて「見ること」「感じること」「人やものと接すること」を考え直す場だと思ってもらえればいいたろう。

カメラを手にして歩いたり、自分で写真展に出かけたりする実践作業の好きな人、議論しながら考えることの好きな人を歓迎する。

【参考書】

飯沢耕太郎著『わかりやすいあなたのための現代写真・入門』JICC出版、など授業中に紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「マルセル・ブルースト作『失われた時を求めて』を読む」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 比留川 彰

【授業科目の内容】

マルセル・ブルースト作「失われた時を求めて」全7巻を学生諸君に翻訳で読破していただくことを目標とします。

第一次世界大戦をはさんでフランスで発表された「失われた時を求めて」はフランス文学のみならず世界文学の最高峰に位置する作品と言っても過言ではありません。この小説は恋愛、芸術美学、ベル・エポックのフラ

ンス社交界、さらには同性愛までも描いており、その作品の豊かさは他に類を見ないといつてよいでしょう。この小説を読破することは人生における一つの出来事となりえます。人生観、世界観が一新されることさえあるのですから。しかし、プルーストが十数年を費やして書いた作品を読破するのはそれほど簡単なことではありません。フランスでは冗談半分に、「失われた時を求めて」を読破した者はその事実を名刺に刷り込むだけの価値があるとまで言われているそうです。

【教科書】

授業中に指示します。

【参考書】

授業中に指示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

福山 欣司

【授業科目の内容】

このセミナーはカエルをモチーフにして「人と動物との関わり」について考察していこうという授業です。一般的にはカエルのイメージは、気持ち悪い、汚い、などマイナスであることが多いようです。ところがその一方で、カエルは私たちの生活や文化の中に頻りに登場します。子どものおもちゃ、日用雑貨、文具、広告、オブジェ、絵画、写真、書物、音楽など、さまざまな場面で私たちはカエルと遭遇しています。マイナスのイメージのある生き物が何故頻りに登場するのでしょうか。カエルのイメージがどのように扱われているかを実際の例に当たりながら、人はカエルをどう見ているのかを考えてみたいと思います。また、現実のカエルは日本を含む世界各地で急激に減少しています。授業では環境問題としてのカエルも取り上げる予定です。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

藤田 康範

【授業科目の内容】

この自由研究セミナーでは、知識を構造化し、経済理論の活用方法を身につけ、戦略や政策を策定できるようになることを目標とします。

自由研究セミナーという科目の性質上、プレゼンテーションやディスカッションを重視しますが、無理なく丁寧に進めることを基本とし、必要なことについては随時説明しますので、特別な予備知識は不要です。

春学期は主としてマクロ経済理論的視点から、秋学期は主としてミクロ経済理論的視点から経済を把握します。

【教科書】

特にありません。必要に応じて文献を紹介します。

【参考書】

藤田康範『よくわかる経済と経済理論』学陽書房

藤田康範『よくわかる金融と金融理論』学陽書房

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「アーサー王伝説概論 伝説から歴史、そして物語へ」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

不破 有理

【授業科目の内容】

アーサー王と円卓の騎士を知っていますか？ 昨年公開された映画「キング・アーサー」を初め、今でも映画や小説に取り上げられるアーサー王は、イギリス史上もっともよく知られた「王様」です。しかしながらその実像は謎に包まれ、果たして実在したかどうかさえ定かではありません。それではなぜ今なお作品の主題に登場するのでしょうか。本セミナーでは、アーサー王伝説が過去から現代までどのように社会的、政治的、文化的な脈絡の中で変容し、人々を魅了してきたのか、年代記や中世騎士道物語、視覚芸術（中世写本の挿絵、ラファエロ前派の絵画）、映画などを題材に分析します。各回短い講義（もしくは各担当者の発表）と学生諸君による文献の分析と討論によって進める予定です。

【教科書】

教科書は特に指定しませんが、どの作品でもかまわないので、「アーサー王物語」を読んでおくことをお勧めします。参考書のいずれかを購入しておくことと便利です。資料プリントを随時授業内で配布します。

【参考書】

リチャード・バーバー『アーサー王 その歴史と伝説』（東京書籍）

アンヌ・ベルトゥロ 『アーサー王伝説』（創元社）

アンドレア・ホプキンス『アーサー王物語』（原書房）

ローズマリ・サトクリフ『アーサー王と円卓の騎士』（原書房）[サトクリフ・オリジナルシリーズ（1）から（3）まで]

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「地球環境と人間」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

松原 彰子

【授業科目の内容】

地球環境問題や自然災害について、各自の関心のあるテーマについて調べた結果を発表し、討論を行うことを主要な目的とする。春学期は文献紹介、秋学期は夏休み

に各自が行った現地調査の成果を発表して、その内容について全員でディスカッションを行う。

このほかに、日吉の地形に関する実習および野外観察も行う予定である。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

適宜紹介します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「音読で知る中国語と中国文化」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

村越貴代美

【授業科目の内容】

音読による学習効果が、近年見直されている。中国には幼少期から素読（意味を解釈せずひたすら音読する）の伝統があり、現在でも国語や外国語の授業で音読が盛んに行われ、教養教育の一端も担っている。おとなが外国語を学習する場合には、よく理解した文章を何度も音読することで、母語を介さずに直接その外国語で理解する「外国語脳」が開ける、とも言われている。

そこで、中国で名文とされる詩や散文（古典を含む）、歌・映画・ドラマ・ニュース・漫才・コントの一部、歴史的な演説や社説の一節、などを音読することにより、1) 中国の社会・文化を理解し、2) 各種中国語文のリズムと形式を把握し、3) 「中国語脳」を開発する、ことを目標とする。

必要に応じて発音の指導・矯正をする。また、90分間声を出し続けでは喉が疲れるので、文献紹介を兼ねて作品鑑賞の時間ももうける。

自由研究セミナー

「高度成長社会を生きた人々 父と母の子供時代再考」

2単位 秋学期

【経】

柳沢 遊

【授業科目の内容】

1955年から始まった高度経済成長は、日本列島にクラス人々の生活・労働、そしてコミュニケーションを大きく変えた。「昭和30年代」ブームといわれる現在の地点から、この時代の歴史的に意味を再考してみたい。城山三郎の小説、西岸良平のコミック、テレビとクルマの時代の開始を、広い社会経済史的文脈からときあかしていくことが、本セミナーのねらいである。

【教科書】

渡辺治編『高度成長と企業社会』吉川弘文館、3200円

【参考書】

中村政則『戦後史』岩波新書、石井寛治編『近代日本流通史』東京堂出版

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「ゲーテを読む」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

山本 賀代

【授業科目の内容】

ドイツの詩人ヨーハン・ヴォルフガング・ゲーテ（1749-1832）の著作を読みます。

作曲家たちがこぞって曲をつけた「野ばら」などの叙情詩、国境を越えて青年の心の代弁者となった小説『若きヴェルターへの悩み』、近代の人間の苦悩を壮大なスケールで描く戯曲『ファウスト』 精読したことがないとしても、これらのタイトルを一度も聞いたことがないという人はいないでしょう。ゲーテはさまざまな文学ジャンルで傑作を残したばかりでなく、ヴァイマル公国の政治家でもあり、ニュートンを批判した自然科学者でもあり、あるいは多数の美学論文や自伝的作品を執筆するなど、とにかくその活動領域は多岐にわたり、しかもそれぞれの分野で、ドイツの枠を越え、後世に大きな影響を及ぼしました。今日においてもゲーテの著作は色あせず、現代のわれわれが直面している諸問題について、彼から学ぶべきことはたくさんあるはずで。

この授業では、ゲーテの著作を輪読しながら、ゲーテについて語り、文学や近代社会の諸問題について考え、ドイツ史やドイツ文化についての理解を深めていきたいと思えます。話題の発端はゲーテの作品であっても、議論の可能性は無限に広がるでしょう。

【教科書】

授業内で相談します。

【参考書】

特にありません。授業中に適宜紹介します。

【法学部設置の少人数セミナー形式科目】

自然科学研究会

「ヒトと生物環境との共存を考える」 2単位 春学期
【法政】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

現在社会は、依然として引き続き景気低迷に加えて多発同時テロや地震・台風などの災害により、日本を含め広い範囲で低成長となっています。良い意味では、消費を押さえてリサイクルをし、シンプルな生活へと向かっているように思われます。そして、自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象の中にあるようにも思われます。環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染、野生動物の保護、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題など、現代人の関心事となっています。ヒトは動物の1種であるとの認識に立ち、他の多様な生物との共存の道を考察するという視点から、現代社会での自然科学の問題点を考えてゆきます。自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題への第一歩となれば良いと考えています。少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定、発表・討議など授業の進行も行います。校外活動、資料収集、観察、臨海実習など必要に応じて柔軟な形式も考えています。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

「生きているってどういうこと」種田保穂・秋山豊子
培風館（近刊）

自然科学研究会

「ヒトと生物環境との共存を考える」 2単位 秋学期
【法政】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

現在社会は、依然として引き続き景気低迷に加えて多発同時テロや地震・台風などの災害により、日本を含め広い範囲で低成長となっています。良い意味では、消費を押さえてリサイクルをし、シンプルな生活へと向かっているように思われます。そして、自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象の中にあるようにも思われます。環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染、野生動物の保護、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題など、現代人の関心事となっています。ヒトは動物の1種であるとの認識に立ち、他の多様な生物との共存の道を考察するという視点から、現代社会での自然科学の問題点を考えてゆきます。自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題への第一歩となれば良いと考えています。少人数のメリットを生

かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定、発表・討議など授業の進行も行います。校外活動、資料収集、観察、臨海実習など必要に応じて柔軟な形式も考えています。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

「生きているってどういうこと」種田保穂・秋山豊子
培風館（近刊）

自然科学研究会

「文系学生向けバイオテクノロジー寺子屋」
2単位 春学期
【法政】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

ヒトゲノム計画やクローン人間、遺伝子治療、組換え体作物など私たちの身の回りに最新バイオテクノロジーを応用した技術が迫ってきています。「全部理系の人にお任せ」で良いのでしょうか？これらの技術をしっかり理解しておくことは医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動を考える時に大きな武器になります。この科目では、文系の講義科目では扱いにくい、ちょっと専門に深入りしすぎたくらいのバイオテクノロジーについて膝詰めで説明していく形態をとります。また、可能な範囲で遺伝子研究の現場を視察・体験することもあります。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

履修者と相談の上、紹介します。

自然科学研究会

「バイオテクノロジーが引き起こす諸問題を考える」
2単位 秋学期
【法政】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

バイオテクノロジーに関連するトピックスの中から、受講者自らが問題点を見だし、グループディスカッション、情報収集とプレゼンテーションを実践します。取り扱う課題例として「生殖医療（クローン人間、遺伝子による選別）」、「ゲノム創薬と遺伝子診断」、「組換え体作物と食の安全、農業政策」、「新規感染症対策（エイズ・BSE・SARS・トリインフルエンザ等）」をあげておきます。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

履修者と相談の上、紹介します。

自然科学研究会
「植物成分の効能」 2単位 春学期
【法政】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

植物は成長のための代謝のほかに独自の代謝経路をもち、その植物特有の様々な化学物質を合成します。それらは香辛料、薬剤、毒薬としてヒトに利用されています。この研究会では各自が興味をもった植物成分の効能について調べ、他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより植物成分についての知識をより深められることが期待されます。

自然科学研究会
「植物と環境」 2単位 秋学期
【法政】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

動物と植物の大きな違いは、動物は動けるけど植物は動けないことです。環境が悪くなったら動物はその場所から逃げることができますが、植物は動けないので体内の環境を変えることにより、その環境悪化に対応しようとしします。また、植物は光合成により大気中の炭酸ガスを有機物に変えます。これにより植物は地球温暖化を引き起こす炭酸ガスを減らすだけでなく、他の生物に食糧を供給しているのです。このことから植物は環境中で重要な役割を担っているといえます。この研究会では、このような植物と環境の関わりについて、各自がテーマを見つけ、自分で調べて他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより、環境中での植物の重要性をより理解できるものと期待されます。

自然科学研究会
「化学の言葉で自然の不思議をひも解け」 2単位 春学期
【法政】 小瀬村誠治

【授業科目の内容】

改札をぬけると、そこには眩いばかりのイチョウ並木が広がる。小わきに分厚い履修案内を抱えていても、その新緑の美しさに心を奪われていないだろうか。やがて秋の訪れとともに、黄色く色づき風に舞うイチョウの葉。さて、“なぜ”イチョウの葉は黄色く色づき、風に舞うのだろうか。これは一例であるが、自然現象に接して“なぜ”と考えた時、諸君はその答えを見つけることができるだろうか。講義では、氷はなぜ水に浮くのか、リンゴはなぜ赤いのか、などの不思議をひも解き、また後半の授業では、諸君が自然に接して“なぜ”と感じたことを自ら調べ発表してもらおう。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

自然科学研究会
「自然科学で考える」 2単位 秋学期
【法政】 志村 正

【授業科目の内容】

情報があふれ、それに振り回されている感のある現代社会。その中に身をおいているとどんなことでも知っているかのような錯覚に陥ります。分かっているようで実は何も分かっていない。例えば、環境破壊が一向に収束する気配がないのも、その仕組みが周知されていないからなのです。それこそが最大の問題なのではないでしょうか。

この授業は、履修者ひとりひとりがテーマを持ち寄って研究発表し、全員で議論して、知識を深めることを目的としています。併せて、自然科学的な考察を行うことにより、その発想と思考を身につけていただきます。

自然科学研究会 2単位 春学期
【法政】 藤田 祐幸

【授業科目の内容】

自然科学研究会は少人数で、ゼミ形式で行われます。前期・後期続けて受講することを望みます。科学史や特論を受講している学生で、問題意識を共有し、さらに個別の問題について自ら学ぶことを志す者に参加してもらいたいと願っております。運営は全面的に学生たちによって主体的に行われるのがこれまでのやり方でした。必要に応じて、合宿や見学会、体験実習など行うことができます。内容によっては議論が白熱し6時になっても終わらない場合もありますので、6時以降の時間も空けておいてください。

秋学期の「自然科学研究会」とあわせて履修することが望ましい。

自然科学研究会 2単位 秋学期
【法政】 藤田 祐幸

【授業科目の内容】

自然科学研究会は少人数で、ゼミ形式で行われます。前期・後期続けて受講することを望みます。科学史や特論を受講している学生で、問題意識を共有し、さらに個別の問題について自ら学ぶことを志す者に参加してもらいたいと願っております。運営は全面的に学生たちによって主体的に行われるのがこれまでのやり方でした。必要に応じて、合宿や見学会、体験実習など行うことができます。内容によっては議論が白熱し6時になっても終わらない場合もありますので、6時以降の時間も空けておいてください。春学期の自然科学研究会と併せて受講することが望ましい。

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 マニエリスム・バロックとは何であり、何であったか?(総論・井田)および各国のマニエリスム・バロック美術・音楽(および哲学)の鑑賞(講読)と検証(分析)(各論・受講者)」

2単位 春学期

【法政医】

井田 三夫

【授業科目の内容】

いわゆる“マニエリスム/バロック現象”は、16世紀後半から18世紀前半にかけて美術、音楽、文学などの多くの領域に共通して現れた歴史的現象であり、この意味では特定の時代に限定された様式概念である。他方、これを古典主義(ルネサンス様式)と対立する歴史的な単なる様式概念と見ず、ヨーロッパ全歴史(精神史)にあつてと古典主義と交互的に、これと対立して現れるあらゆる反古典主義的(反自然主義的)傾向を指す普遍的な様式概念として、それも単に美術のジャンルのみでなく、音楽、文学、思想といった精神生活のあらゆる領域をも規定する一つの時代思潮として包括的に捉える考え方も提出されてきた。バロックやマニエリスムをこのように広義・包括的に考える見方は、前者にあつては例えばベネデット・クローチェやエウヘーニオ・ドールスがあり、後者では例えばE・R・クルティウスやアーノルド・ハウザーあるいはG・R・ホッケといったドイツ系の学者がいる。またこうした広義の見方を支持する立場から、“20世紀芸術・文学におけるバロック/マニエリスム(性)”とか“マラルメ(あるいはカフカ)におけるマニエリスム”といった問題提起も行われてきた。そこでこの授業では、前半ではまず総論として、私が“マニエリスム/バロック”とは何か、といった本質論をはじめ、両者の関係あるいはルネサンス(古典主義)様式(精神)との関係、さらにはその相違点と共通点などについて検討してみたい。またマニエリスム/バロック現象を16-18世紀の歴史事象と見た場合、これを現出させ成立させた真の要因ないし経済的・社会的あるいは精神的背景は何であったかといった問題についても検討してみたい。後半では、受講生各自が1人または2~3名のグループとなって予め発表期日を決め、各国における(広義の)マニエリスム・バロック美術あるいは音楽さらには哲学・思想の傾向を持っていると思われる芸術家・音楽家あるいは哲学者・思想家を選び、その時代背景やマニエリスム・バロック的特徴を、美術の場合は画像や写真を、音楽の場合はCD・MDなども使って、発表してもらい、その後で質疑応答を行い、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補足すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。各自が研究・発表したものを、質疑応答や私のコメントを踏まえて、試験に代わるレポートとして各自で仕上げ、期末に提出すること。

【参考書】

- ・アーノルド・ハウザー『マニエリスム ルネサンスの危機と近代芸術の始源』(岩崎美術社)

- ・グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界 マニエリスム芸術』(美術出版社)
 - ・下谷和幸『マニエリスム芸術の世界』(講談社)
 - ・“バロック・コレクション”(第1巻:バロックの愉しみ、第2巻:バロック的理性と女性原理、第3巻:天使の饗宴、第4巻:歪んだ真珠)(筑摩書房)
 - ・エウヘーニオ・ドールス『バロック論』(美術出版社)
 - ・若桑みどり『マニエリスム芸術論』(岩崎美術社)
 - ・イヴ・ポヌフォア『バロックの幻惑』(国書刊行会)
- マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので欧文文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 各国文学におけるマニエリスムバロック的作品の発見・鑑賞と検証(受講者)およびフランスマニエリスム・バロック詩の観賞と分析(井田)」

2単位 秋学期

【法政医】

井田 三夫

【授業科目の内容】

秋学期は、各論で初講日から二回目の間に出席者のほぼ全員が1人でまたは2~3人でグループとなって行う発表の期日を予め決定します。その上で例えばモンテーニュ、コルネイユ、パスカルといったフランスの作家・思想家やミルトン、シェイクスピア、ジョン・ダンといったイギリス作家、セルヴァンテス、ゴンゴラと言ったスペイン作家、さらに清少納言、上田秋成、三島由紀夫、泉鏡花といった我が国の作家など、受講者各自が(広義の)マニエリスム的/バロック的と考える作家・詩人を各自の発表日までに自ら「発見」し、その生涯・作品を調べ、その表現(文体)および思想(精神)におけるマニエリスムないしバロック的傾向(特質)を抽出、発表してもらい、それについて皆で質疑・応答し、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補足すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。初回と第2、3回の授業では、春学期を履修しなかった受講生のために、マニエリスム・バロックについての総論・概説を話し、以後は各時間(発表者が多い場合は隔週)の三分の一程度を使って私が翻訳のほとんどないフランスマニエリスム・バロック詩の実例を上げながら、鑑賞、分析するといった授業を考えています。

【参考書】

- ・アーノルド・ハウザー『マニエリスム ルネサンスの危機と近代芸術の始源』(岩崎美術社)
- ・グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界—マニエリスム芸術』(美術出版社)
- ・グスタフ・ルネ・ホッケ『文学におけるマニエリスム』(現代思潮社)
- ・藤井康生『フランス・バロック演劇研究』(平凡社)
- ・倉田信子『フランス・バロック小説の世界』(平凡社)
- ・ジャン・ルーセ『フランスバロック期の文学』(筑摩書房)

・高山宏『綺想の饗宴』(青土社)

マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので、欧文文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論 / 人文科学特論
「グスタフ・マーラーを考える」

各2単位 春学期 / 秋学期

【法政医】 岩下 真好

【授業科目の内容】

グスタフ・マーラーの作品世界を、その創作のイメージネーションの源泉となったドイツ・ロマン派の文学やニーチェの思想、あるいはマーラーの生きた時代の状況や時代思潮との関連で考察する。作品をただ聴くだけではなく、関連する書物を数多く読んでもらいながら進めてゆく。また、受講者の皆さんの関心に応じて別のテーマを取り上げてもよいと思っているし、授業担当者の最新の研究および批評家としての仕事のなかから、テーマに関連したホットな話題を選んで提供してゆくつもりでもいる。授業の一環としてじっさいにコンサートに行くこともあるかもしれない。(1回1500円~2000円程度の学生席利用)。たくさん聴き、たくさん読み、その上で濃い密度で語る授業と考えているので、履修者は多くて10名程度を理想と考えている。前年度の交響曲第1番、第2番に続いて、今年度は主として交響曲第3番と第4番を取り上げる。

【参考書】

岩下真好著『マーラー その交響的宇宙』、キューン/クヴァンダー編(岩下真好編訳)『グスタフ・マーラー その人と芸術、そして時代』、ジルバーマン著(山我哲雄訳)『グスタフ・マーラー事典』、シュライバー著(岩下真好編訳)『マーラー』など。また、ニーチェ著『ツァラトゥストラはこう言った』(翻訳は各種あり)も必読の参考書。その他、必要に応じて指示する。

人文科学特論
「日本の開国と世界 「近代」の黎明」

2単位 春学期

【法政医】 太田 昭子

【授業科目の内容】

春学期は、幕末維新期の日本の対外関係史を、主として日本人の対外論、開国日本を訪れた外国人の記録などを読み解きながら考察します。国家レベルの外交関係の背景にある、社会的・文化的な交流史の視点を重視し、異文化接触のあり方を、できるだけ原典を読みながらたどります。対外論・対外意識の変容をさぐる素材として、いわゆる外交政策論だけでなく、瓦版や錦絵、美術・工芸、博覧会、ファッションなどにも着目し、幅広くこの時代を検証したいと考えています。文庫版などで比較的簡単に入手できる文献を読み、当時の人々の視点や視座の特徴を探りたいと思います。時間に余裕があれば、横浜開港資料館や日本新聞博物館の見学なども行いたいと

考えています。

【教科書】

特にありませんが、田中彰編『開国』(『日本近代思想大系』第1巻、岩波書店、1991)は役に立つと思います。

【参考書】

文献表を、ガイダンス・ウィーク翌週の初回授業に配布します。

人文科学特論

「近代日本人の対外認識 / 自己認識 明治中期以降の対外思想」

2単位 秋学期

【法政医】 太田 昭子

【授業科目の内容】

秋学期は、明治中期以降の日本人の対外論、海外からのまなざしの双方に目配りしつつ、近代日本の対外観における連続性と非連続性、ナショナリズムのあり方を検討し、近代日本人の対外認識 / 自己認識などを分析したいと考えています。基本的なスタンスの取り方は春学期と同じです。時間に余裕があれば、横浜開港資料館や日本新聞博物館の見学なども行なう予定です。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

文献表を、秋学期初回の授業で配布します。

人文科学特論

「怪しい文学」

2単位 春学期

【法政医】 許 光俊

【授業科目の内容】

本当は文学はみな怪しい。しかし、日本の国語教育とは道徳教育であるがゆえ、文学の怪しさは隠蔽されている。だから国語がつまらない。私も嫌いだった。この時間は、三島、鷗外、川端など有名作家が実はどれだけ怪しいかを検証する。諸君の心のうちに怪しさを育ててほしい。人間とは怪しい生き物なのである。18歳未満入場禁止。良家の子女は親に黙って来ること。

【教科書】

『世界最高の日本文学』(光文社)

人文科学特論

「妖美な映画」

2単位 秋学期

【法政医】 許 光俊

【授業科目の内容】

妖美な映画の鑑賞と研究。18歳未満入場禁止。良家の子女は親に黙って来ること。

【教科書】

『世界最高の日本文学』(光文社)

人文科学特論 / 人文科学特論

「アメリカ文学の拾い読み(19世紀・20世紀)」

各2単位 春学期 / 秋学期

【法政医】

久我 俊二

【授業科目の内容】

文学を学ぶといっても、ただ講義で理論や内容を聞くことに終始し、肝心のテキストそのものは読まず・知らずに終わるといったこともある。この授業では少人数という特性を生かし、まず原文(の一部)を読み、かつ全体像を(少し不十分な形であっても)映画などで把握して、各自が作品を知り、そこから意見を言い、かつその意見を文章化することを行いたい。

【教科書】

最初の授業で指示する。

【参考書】

授業の中で指示する。

人文科学特論 / 人文科学特論

「外から見た日本語」

各2単位 春学期 / 秋学期

【法政医】

小屋 逸樹

【授業科目の内容】

この授業では、世界の中の日本語という視点から、日本語の特徴を文構造、文学、音声などにわたって、英語や他言語と比較しながら検討します。英文法は知っているが、日本語の文法は知らない(例えば、日本語のbe動詞は何か、といった問題)という学生や、我々の母語である日本語が他の言語と比べどのような仕組みになっているのか、といったテーマに関心のある学生の参加を望みます。演習形式の授業なので、受講希望者が多い場合は最初の授業にて選抜を行いません。

【教科書】

最初の授業にて紹介します。

人文科学特論

「星の王子さま」を5カ国語で鑑賞する試み」

2単位 春学期

【法政医】

斎藤 文雄

【授業科目の内容】

フランスの作家サン・テグジュペリ Antoine de Saint-Exupéryの「星の王子さま」Le Petit Princeをフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語の5カ国語で、特に発音に留意しつつ読み合わせるにより、他言語・他文化への目を開き、さらに新たな言語へのチャレンジ意欲喚起のための一つの契機を与えることを目指す。

【教科書】

- (仏) *Le Petit Prince* (Collection folio/Gallimard)
- (独) *Der kleine Prinz* (Karl Rauch Verlag)
- (伊) *Il piccolo principe* (TASCABILI BOMPIANI)
- (西) *El Principito* (El libro de bolsillo 348)

(ポ) *O Principezinho* (Caravela)

【参考書】

- (英) *The Little Prince* (A Harvest Book/Harcourt Brace & Company)
- (日) 星の王子さま(岩波書店他)

人文科学特論

「星の王子さま」を5カ国語で鑑賞する試み」

2単位 秋学期

【法政医】

斎藤 文雄

【授業科目の内容】

フランスの作家サン・テグジュペリ Antoine de Saint-Exupéryの「星の王子さま」Le Petit Princeをフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語の5カ国語で、特に発音に留意しつつ読み合わせるにより、他言語・他文化への目を開き、さらに新たな言語へのチャレンジ意欲喚起のための一つの契機を与えることを目指す。

【教科書】

- (仏) *Le Petit Prince* (Collection folio/Gallimard)
- (独) *Der kleine Prinz* (Karl Rauch Verlag)
- (伊) *Il piccolo principe* (TASCABILI BOMPIANI)
- (西) *El Principito* (El libro de bolsillo 348)
- (ポ) *O Principezinho* (Caravela)

【参考書】

- (英) *The Little Prince* (A Harvest Book/Harcourt Brace & Company)
- (日) 星の王子さま(岩波書店他)

人文科学特論

「ことばの認知科学への招待(基礎編)」 2単位 春学期

【法政医】

辻 幸夫

【授業科目の内容】

人間のことばと意味に関する諸問題について認知科学的観点から広く考察します。具体的には、言語学、心理学、人類学、哲学、脳神経科学、行動科学、生物学、社会科学、情報工学などの言語研究分野の鳥瞰図と共に、特に人間が営む意味の生成と復元に関する認知的研究はどのように進められるのか、とりわけ最近の言語学で大きな潮流となっている認知言語学との関連に焦点をあてながら考察します。

【教科書】

辻幸夫編、『認知言語学への招待』大修館、2003年

【参考書】

- 辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年
- 辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年
- 山鳥重、辻幸夫著、『心とことばの脳科学』大修館書店、2006年

人文科学特論

「ことばの認知科学への招待(応用編)」 2単位 秋学期
【法政医】 辻 幸夫

【授業科目の内容】

同じ担当者の人文科学特論I(春学期)で勉強したことを土台に、さらに人間のことばと意味に関する諸問題について認知科学的観点から敷衍して考察を深めます。

【教科書】

辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年
その他は、前期の人文科学特論Iの最終日および、後期同特論IIの最初の授業時もしくは掲示にて詳細をお知らせします。

【参考書】

随時、授業中に指示しますが、下記は前期・後期いずれにおいて教科書・参考図書とします。

辻幸夫編、『認知言語学への招待』大修館、2003年
辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年
山鳥重、辻幸夫著、『心とことばの脳科学』大修館書店、2006年

人文科学特論 / 人文科学特論

Shakespeare in Performance 「Romeo and Juliet」
各2単位 春学期 / 秋学期
【法政医】 マクリン・ニール B

【授業科目の内容】

In this course students will get the chance to develop their own interpretation of Shakespeare's Tragedy, Romeo and Juliet. We shall work through the play, devoting on average one class to each scene: each week several students will have to prepare ideas to 'direct' a portion of this scene, and they will then put their ideas into practice during class. Each class will be divided into three sections: first we shall do some warm-up activities all together, then we shall divide into groups and each group shall rehearse under the leadership of their student directors, and finally each group shall 'perform' their version in front of the others.

We shall use the original text of Shakespeare but students are welcome to use a Japanese translation if they prefer. English ability is an advantage but is not absolutely necessary; acting experience is also very welcome but is by no means required. The indispensable qualifications are energy, enthusiasm and a willingness to cooperate with other class members.

Because of the nature of the class, a maximum of 25 students will be admitted. If the numbers wanting to take the class exceed this, a short selection exercise will be held in the first week. *It is therefore vital that all*

those interested in taking the course attend the first class, or (if this is not possible) contact the teacher beforehand.

【教科書】

William Shakespeare, Romeo and Juliet

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナー履修案内

総合教育セミナーのすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしたくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気にならなくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士との交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のことばや文章で表現でき、さらに他人のことばや文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論を展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主な目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選べばよいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。

また**仮登録が必要な科目でもありません。**(エントリーシート提出不要)

以下の講義要綱は、「外国語科目・総合教育セミナー履修案内(2006年)」に記載されている内容と同一です。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ずオリエンテーション期間中にある初回の授業に出席してください。出席できない場合は、履修できないこともあります。

総合教育セミナーD (類)

「天体観測と天文学」 4単位 通年
【商】 表 實

【授業科目の内容】

夜空を眺めれば無数の星が光輝いていますが、これらの星の正体は・・・宇宙には数々の謎があります。

本セミナーでは、実際に天体観測を経験し、取得したデータに基づいて天文学について考えてみます。天体観

測は、リモート望遠鏡にインターネットを経由して行うものと、望遠鏡を用いた直接の天体観測を行う予定です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

総合教育セミナーD (類)

「数学の独立自学を目指して」 4単位 通年
【商】 小宮 英敏

【授業科目の内容】

このセミナーの第一の目的は数学の本を一人で読み進むことができる能力を身につけることです。数学に限らずあらゆる学問において、他人から教えられ触発されることは重要なことに違いはありませんが、最終的には自分の責任で自分の考えを構築していくことが要求されます。大学でのその最初の経験をしてほしいと思いこのセミナーを開講しました。サブタイトルの「独立自学」という言葉は福澤先生の「独立自尊」から連想した造語ですが、「独立自学」の第一歩として君達が慣れ親しんだ数学という題材を使おうと思っています。

第二の目的は英語で書かれた教材を使うことにより、英語により自分が得たいと思う情報をとらえる経験を積むことです。君達は中学、高校と少なくとも6年間英語を勉強していますが、英語を使い英語以外の科目を学習した経験はほとんど無いのではないのでしょうか。これは残念なことです。君達の英語学習の年月を考えるともう十分に英語を使いこなせる能力が身につけています。特に、数学の教科書の英語は構文が単純ですので、専門用語を覚えてしまえば読み進むことにそれほどの困難を感じないものと思われず。

以上記したように、英語を使い数学の学習能力を身につけることを通して、大学で勉強するとはどういうことなのかを体験することを目的にこのセミナーは開かれています。

【教科書】

教科書は使いません。適当な教材を配布します。

【参考書】

必要になった時点で、授業の中で紹介します。

総合教育セミナーD (類)

「応用論理学としての社会選択理論」 4単位 通年
【商】 白旗 優

【授業科目の内容】

社会選択理論は、望ましい社会のあり方を、個々人の意見の集約として民主的に決定することは不可能である、というアローの定理に由来する学問分野で、ケネス・アロー(1972年ノーベル経済学賞)やアマルティア・セン(1998年ノーベル経済学賞)らによって発展させられてきました。

アローの定理は、ある一定の条件を満たす順序関係に関する一般的な定理で、数理論理学の手法を使って厳密

に証明できます。この授業では、社会選択理論を数理論理学の応用と位置づけ、アローの定理や社会選択理論での他の定理の証明を、数理論理学の枠組みの中できちんと記述できるようになることをめざします。

授業担当教員（白旗）は、数理論理学を専門としていて、社会選択理論の専門家ではありませんので、社会選択理論についての授業というよりは、その基礎となる数学的枠組みについての授業とってください。

【教科書】

ガイダンス時に、社会選択理論に関する日本語の入門書を一冊指定します。

また、数理論理学については、講義ノートを配布する形になると思います。

【参考書】

授業を進めながら、社会選択理論に関する基本的な文献、概説書などを、適宜紹介するようにします。また、数理論理学の教科書もいくつか紹介します。

総合教育セミナーD（類）

「生命科学と社会の接点を考える」 4単位 通年

【商】 長谷川由利子

【授業科目の内容】

遺伝子診断、遺伝子組み換え農産物、臓器移植、エイズ、狂牛病、生殖工学、新型インフルエンザなどの例をあげるまでもなく、数多くの生命科学に関連する話題が、現代社会に対して倫理的・社会的・経済的な問題を投げかけています。このセミナーの目標の一つは、このような話題を取り上げて、どのような問題が生じているのかを調査し、解決策を模索することです。もう一つの目標は、資料収集の仕方、発表や討論の仕方、レポートのまとめ方などを身につけることです。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。

【参考書】

新聞・雑誌・学術書・インターネットなどから最新の資料を収集することもセミナーの大事な一部なので調査に必要な資料は自分で探すことを原則としますが、相談には応じます。また、こちらから紹介する場合もあります。

総合教育セミナーD（類）

「バイオテクノロジー・バイオビジネスを探る」 4単位 通年

【商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

今やバイオの時代である。バイオテクノロジーは飛躍的に発展し、それに伴ってさまざまなバイオビジネスが出現している。このセミナーでは、バイオ関連の話題の中から、各自興味のあるテーマを決めて文献調査・考察を行い、その結果をパワーポイントによって発表してもらう。さらに、質疑応答・ディスカッションを通して、議論を深める。各自プレゼンテーションした内容は、レ

ポートにもまとめてもらう。このセミナーの目的は、問題発見・解決能力や、社会に出てから必要とされる情報発信・コミュニケーション能力を鍛錬することである。バイオテクノロジーとバイオビジネスの現場を知ってもらうために、バイオ企業の研究所見学も予定している。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じて資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

総合教育セミナーD（類）

「生活の中の確率」 4単位 通年

【商】 安田 公美

【授業科目の内容】

私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にはどのようなものがあるのでしょうか。ゲーム、くじやギャンブル、株価の変動や品質管理、或いは天候、遺伝学など、身近に起こり得る問題を題材にしながら、その中の数学的法則を見つけてみましょう。前半ではパズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な問題にもチャレンジできるよう進んでいきます。後半には確率・統計に関連した自由課題について調査・研究をします。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD（類）

「数学と文化と社会」 4単位 通年

【商】 渡部 睦夫

【授業科目の内容】

数理的な考え方の諸科学の浸透は目覚ましいものがあります。近い将来、数学的素養は教養の重要な要件の一つになるかもしれません。数理科学のエンジンとなっている数学を生み出すものは何なのでしょう。未知なるものへの好奇心もあるでしょうし、数学それ自身の内発的な力もあるでしょう。さらには、外界である他の諸科学・文化・社会に触発されて、新しい考え方を発見したり新しい視点に出会ったりすることもあるでしょう。

このセミナーでは、メソポタミアから現代にいたる歴史の流れの中において、特に、18世紀、19世紀に限定して、数学・文化・社会の相互作用を概観し、「“無知”との戦いがいかになされてきたか」を問い、数学を中心に考察してみることを目的とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

最初の授業のときに説明する。

総合教育セミナーD (類)
「イギリス文化の研究」 4単位 通年
【商】 浅川 順子

【授業科目の内容】

イギリスの文化について理解を深めること、研究の方法を身につけることがこの授業のねらいです。

演劇、音楽、美術、文学など世界に発信されるイギリス文化の魅力を探り、それを生み出した社会や歴史について考察します。

最近では『ハリー・ポッター』が話題になりましたが、その作品世界がもつ魅力の背景にはイギリス・ヨーロッパ文化の長い歴史があります。魔術、錬金術、占星学、古い学はアラブ世界から中世ヨーロッパにもたらされた学問です。どのような学問だったのか、それらはどのように近代科学へと移行していったのか、などと興味を持ったなら科学史の研究につながるでしょう。イギリスはまた演劇が盛んなことでも知られています。イギリスにおける演劇はどのように始まり、どのように発展してきたのでしょうか。これらは一例ですが、授業では履修者各自の興味関心に応じた問題設定の可能性を探ることから出発します。その後、テーマを絞って発表・討論し、小論文にまとめていきます。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業で紹介します。

総合教育セミナーD (類)
「アメリカ研究 <多民族国家の歴史と文化>」 4単位 通年
【商】 朝比奈 緑

【授業科目の内容】

多様な民族の移民の歴史をふりかえり、その固有の文化が、どのようにアメリカ合衆国のなかで、<表現>されてきたのかを検証する。

【教科書】

授業にて指定する。

【参考書】

授業にて指定する。

総合教育セミナーD (類)
「イメージの魔術・魅力の構造」 4単位 通年
【商】 足立 典子

【授業科目の内容】

映画や音楽・ゲームなどさまざまな表現、あるいはプロモーション、広告などに使われるイメージ戦略の力について考えます。

スピード、自由、健康、かわいさ、笑い、あるいは暴力と残酷、不気味さなど、私たちの日常を取り囲んでいるイメージの「魅力」はどのように作られているのか。

また、ある物語に感動するとき、感情移入はどのような仕組みで起こるのか、物語に隠されたメッセージやトリックはないか。

参加者全員による発表と議論を中心に分析を試みます。

総合教育セミナーD (類)
「西洋古典紹介」 4単位 通年
【商】 入野田義人

【授業科目の内容】

西洋古典に興味をもってもらうため、その文学・哲学・社会学等の分野の古典を紹介する。分野については受講する諸君の希望をできるだけ取り入れたい。授業では、さまざまな著作の一部を、邦訳あるいは英語のテキストを用いて、購読、解説、討議を行う。受講する諸君は、随時、本人が自主的に選択した本（岩波文庫などから選択）について、レポートを作成し、提出する。また、授業に変化をつけるため、CD、ビデオを使用し、古典音楽、古典的映画も紹介したい。

書物を批判的に読む力と、自分の主張をレポートにまとめる力を習得することを目標とする。

【教科書】

原書のコピー、文庫、等。授業の際に配布する。

【参考書】

なし。

総合教育セミナーD (類)
「国際関係論・入門」 4単位 通年
【商】 宇津木愛子

【授業科目の内容】

ビジネスにおけるグローバル化が進む中、もう一度健全な国際関係の原点のようなものを考える時が来ていると思います。担当教員はイギリスと日本の関係に焦点を置き、学生の皆様はそれぞれに関心のある国に焦点を当て、共通項を模索するなどしながら一緒に語り合ってみましょう。

【教科書】

書籍、及び新聞記事からのコピーを配布いたします。

【参考書】

The Reluctant Super power, by Richard Halt

総合教育セミナーD (類)
「「文学」を読む」 4単位 通年
【商】 大畑 純一

【授業科目の内容】

普段楽しみ、気晴らしのために読んでいる「文学」と呼ばれているものは、その用途、効能等について少し真面目に考えてみると、実に曖昧模糊としたもので、得体の知れないところがあります。

「文学」とは何であって、何でないのか、どこから「文学」は始まるのか、日常無意識に行っている「読む」

という行為の意味は何か、読んでいる間読者の頭の中では何が起きているのか、などなどについて実際に作品を読みながら検討してみたいと思います。その際「文学とは何か」という答えのない愚問の周辺をかすめることもあるかもしれません。何はともあれ本を読むことが好きという人の参加を希望します。折りにふれて単なる「読書感想文」よりも少し踏み込んだものを書いてもらい、それについて検討を加えるということもします。

総合教育セミナーD (類)

「ハリウッドのシェイクスピア：戯曲と映像表現」

4単位 通年

【商】

大矢 玲子

【授業科目の内容】

「ハリウッド最高の売れっ子シナリオライターはシェイクスピアだ」という説があります。確かに400年近く前にイギリスの田舎で生涯を終えたこの劇作家の作品は、サイレント時代にすでに600回以上映画化されたといわれます。その後も、世界の著名な映画監督や人気俳優がシェイクスピアの映像化に取り組んできたことは、黒澤明の『乱』・『蜘蛛巣城』、アカデミー賞受賞の『恋に落ちたシェイクスピア』、ディカプリオ主演の『ロミオ&ジュリエット』などにも明らかです。この授業では、ハリウッド映画を中心に、映像化されたシェイクスピア作品をとりあげ、原作との比較や、映画がつけられた時代背景の分析などをとおして、劇の不変の生命力と、無限ともいえる変化の可能性をさぐることを目的とします。シェイクスピアを手がかりに、受講者たちが総合芸術である映画の魅力にふれる機会となることをねがっています。またアメリカ型資本主義社会のなかの芸術のありかたを考える、よい手がかりにもなるでしょう。

【教科書】

シェイクスピアの作品 (特にエディションは指定しません。原典を読むことは求めません。入手しやすいのは、白水Uブックスから出版されている、小田島雄志翻訳のシェイクスピア全集など。)

【参考書】

ラッセル・ジャクソン編；井上優[ほか]訳 『シェイクスピア映画論』 (東京：開文社出版, 2004)

総合教育セミナーD (類)

「社会行政と社会事業 公私協働の歩み」

4単位 秋集中

【商】

小野 修三

【授業科目の内容】

私自身がこれまで翻刻してきた石井十次の岡山孤児院の大阪事業に関する日誌(明治40年代末から大正初年)、また同じく私の翻刻した明治・大正期の監獄行政官僚小河滋次郎の草稿(明治40年頃執筆)などを読み、大阪の地における社会事業の展開が大阪府行政当局から援助される様子、また当時の人々の生活状態(貧困)を把握したいと思う。福祉は国家の財政状況によって左右される

側面があり、日露戦後の財政状況をも見ておく必要がある。

歴史を大学で勉強したいと思っている学生が多く参加されることを期待する。第一次資料を扱う経験を積むことが出来るはずである。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

総合教育セミナーD (類)

「日本における中国文化」

4単位 通年

【商】

許 曼麗

【授業科目の内容】

中国古来の文物が、日本の文化・風俗に対して、多大の影響を与えたことは周知のことである。何気なく過ごしている毎日の中に、実にたくさんの中国文化と出会うことが出来る。このセミナーは、日本の様々な分野において、中国文化の伝来と変遷のプロセスを探り、相互影響についても視野に入れて、考察していきたい。そして、この考察のプロセスを通して、中国が身近な存在であることを改めて実感してもらいたい。

【教科書】

ガイダンスで指示する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD (類)

「フランス「笑い」探索」

4単位 通年

【商】

コミネティ, フィリップ

【授業科目の内容】

フランスは日本から見れば、遠くに存在するものです。しかし、過去においても現在においても無縁と切り切れません。日本の日常生活でも、言葉を初め、「意味不明」の欠片のようにフランス産の物が散らかっています。その物に意味を持たせるのに、二つの道があります。近道を取れば、所謂ステレオタイプに出会います。もう一つの道は...やはり知識でしょう。ここでは、教員の出番と思われるかもしれませんが、一方的に一つの現実感の少ない物に対して知識を伝えようと思っても、それが豆知識に縮んでしまう(情報化される)事が多いのです。無論フランスという遠い国について学びだす(若しくは学び続ける)のが目的ですが、知識を得るのに体系化が必要不可欠である事を訴えるのもこのセミナーの二つ目の目標に定めます。

さて、欠片を本来の姿に戻すのに、どのように体系を作るのか。先ず、一つのテーマを選択する事。そうして、それより大きなもの(一つの文化)への広がりをも可能にするのが、歴史的に見ていく、つまりそのテーマの変貌を辿ることです。従って、このセミナーではフランス文化における「笑い」について考えます。それを通じて、幅広く、感覚的な物から観念的な物までCM、映画、絵、

音楽、文学、哲学に触れることにします。

【教科書】

なし。

【参考書】

第一回に文献リストを配布します。

総合教育セミナーD (類)

「恋愛論から社会を読む」

4単位 通年

【商】

識名 章喜

【授業科目の内容】

「冬ソナ」だとか「セカ中」、「電車男」だの、社会全体が純愛に浮かれている。どこか釈然としないものを感じている、そこのあなた。このセミナーでは、「恋愛」というきわめて個人的な妄想が、社会を通して、どのように一般化され、共同幻想を生み出していくのか、その仕組みを、ちまたに溢れる恋愛論、恋愛小説、恋愛漫画、恋愛映画、恋愛ドラマ、ラブ・ソングなどの分析を通じて考えてみようという試みです。従って、このセミナーに参加したからといって、モテようになるわけでもないし、また、みんなが勝手に自分の恋愛観や体験をしゃべりあう場でもありません。むしろみんながなにか一言発言できる身近なテーマであるがゆえに、分析の手法や自分の解釈が厳しい目にさらされる。ドイツの格言に「愛に教師は要らない」というのがあります。まあ、そうかもしれない。しかし、このセミナーでは教師の意地悪な質問が待っていることも覚悟しておこう。

【教科書】

小谷野敦 (編) 『恋愛論アンソロジーソクラテスから井上章一まで』中公文庫

【参考書】

小谷野敦『もてない男』ちくま新書、小谷野敦『性と愛の日本語講座』ちくま新書、森永卓郎『悪女と紳士の経済学』日経ビジネス文庫、その他の文献は授業初回に文献リストを配布します。

総合教育セミナーD (類)

「日仏比較文化入門」

4単位 通年

【商】

神保 剛

【授業科目の内容】

多様なフランス社会と文化について理解を深め、さらに日仏比較文化の視点から、フランス的な物の見方について考察していくことがこのセミナーの目的です。

フランスに関するいくつかの基礎的文献を講読した後、各自が関心のあるテーマについて調査・発表を行い、それに基づき全員で討論し、レポートにまとめていきます。そしてこの一連の作業を通して、フランスの社会と文化に関する様々な知識を得るとともに、日本文化との比較において、「フランス的であるとは何か？」ということをも皆で考えていく場にしたいと思います。

【教科書】

特になし。

【参考書】

必要に応じて紹介します。

総合教育セミナーD (類)

「入門フランス学」

4単位 通年

【商】

鈴木 順二

【授業科目の内容】

フランスは、私たちの生活のなかで比較的身近に感じることのできる国の一つでしょう。フランス語を学んだり、映画や美術、あるいは料理やワインなどの食文化を通じてこの国に親しみを抱いている人も多いと思います。

しかし改めて考えてみると、フランスの社会やフランス人について、私たちははたしてどれほどのことを知っているのでしょうか？例えば、フランス本土でも少なからぬフランス人が地域語と呼ばれるフランス語以外の少数言語を使って生活していることを。また、フランスの産業というと、観光、農業、流行のブランド品などを思い浮かべます。しかし先端科学技術を結集した航空・宇宙産業も盛んで、ミサイルや戦闘機も実は重要な輸出品なのです。

フランスに関する基本的知識を深め、フランスとフランス人の真の姿を探るのがこのセミナーの目的です。そのことはまた、日本と日本人自身について改めて考えるきっかけともなるでしょう。

【教科書】

『フランス』清水 徹・根本長兵衛ほか (新潮社)

【参考書】

授業で紹介します。

総合教育セミナーD (類)

「コレクティング行動・コレクション・文化」

4単位 通年

【商】

高山 晶

【授業科目の内容】

コレクティング行動、コレクション、文化 (文化資源・文化力) の3つのキーワードで人の営みを考えます。コレクティング、コレクションという言葉からすぐに連想されるのは「物」のコレクションですが、収集の対象は必ずしも「物」とは限りません。「経験」、「情報」、「技術」、「言葉」の収集もあります。コレクションは、公的なものでも私的なものでも、大きなものでも小さなものでも、多種多様な切り口で切り取られた「文化 (資源)」の凝縮されたひとつの表れとも言えるでしょう。

そしてコレクティング行動は、しばしば、有形無形のコレクションを「記録化・資料化」する過程で完成します。

収集の対象が「物」のときには、「展示」で完成するパターンもあります。ここで、美術館、博物館、図書館、アーカイブズも視野に入ってきます。公的なコレクションの「展示」です。しかし、図書館を例にとると、電子図書館であれば、収集対象は「物」ではなく「情報」で

すし、図書館では「展示」でコレクションが完成するわけではなく、時々刻々とコレクティングも行われています。あるいは、美術館と博物館はどうちがうのか、ちがわないのか？そしてアーカイブズとは？例にあげたのは、公的なコレクションですが、もちろんテレビ番組のような、個人による「物」のコレクションも、「世界のすべての国と地域を訪れる」といった「経験」のコレクションも、それらを記録化・資料化したケースも、広くセミナーの対象にしたいと思います。実際に、コレクション「展示」の場である展覧会を観て、展覧会を料理にたとえると、その「材料」(どのような文化資源が使われているか)、「料理のレシピ」(文化資源の切り取り方・組み合わせ方・味付け)、「料理の評価」(社会的影響・文化力)等をテーマに、担当者をきめて発表し、レポートを作成する課題があります。

【教科書】

プリントを配布します。

総合教育セミナーD(類)

「外国との交流史から見た日本」 4単位 通年

【商】 種村 和史

【授業科目の内容】

日本は、古来多くの国々と関わりその文化を受容しながら、独自の文化を創り上げてきた。本セミナーでは、そのありさまを様々な側面から探り、日本について広い視野から考える能力を養うことを目的とする。

【教科書】

随時指定します。

総合教育セミナーD(類)

「現代中国入門」 4単位 通年

【商】 段 瑞聡

【授業科目の内容】

本セミナーは、現代中国に関する基礎知識を身につけるための場を提供するものである。同時に日中関係をめぐる諸問題に対しても検討を加えたいと思う。

春学期は、家近亮子著『日中関係の基本構造』を輪読し、日中関係を取り巻く諸問題を検討する。

秋学期は、国分良成『中華人民共和国』と 若林正文『台湾』を輪読し、現代中国が抱えている諸問題を検討する。

【教科書】

家近亮子著『日中関係の基本構造』、晃洋書房、2003年。2400円。

国分良成『中華人民共和国』、筑摩書房、1999年。660円。

若林正文『台湾 変容し躊躇するアイデンティティ』、筑摩書房、2001年。740円。

【参考書】

授業中、適宜紹介する。

総合教育セミナーD(類)

「SEMINAR IN LEADERSHIP, IN GLOBAL ORGANIZATIONS」 4単位 通年

【商】 トビン, ロバート

【授業科目の内容】

This course examines current issues in global business leadership. Topics will include entrepreneurship, communication, marketing, joint ventures, leadership styles, market entry, and human resource development.

The course will be conducted as a seminar with lecture-discussions, student group presentations, case studies, video segments, experiential class activities, a simulation, and research assignments.

This course is conducted entirely in English and is open to all students.

【教科書】

1. Learning To Lead, Bennis and Goldsmith, First
2. Good To Great By Jim Collins
3. Virtual Leader Simulation

【参考書】

I urge you to read as much as possible in English, including Fortune, Business Week, the Economist, Asian Wall Street Journal, and to watch CNN, CNBC and BBC.

総合教育セミナーD(類)

「幸福について」 4単位 通年

【商】 成田 和信

【授業科目の内容】

このセミナーでは、幸福とは何か、その人にとって良い生き方とは何か、「その人のためになる」とはどのようなことなのか、といったことを、古代ギリシャから現代までの西洋哲学の文献(抜粋)を読みながら考えます。翻訳のあるものはなるべく翻訳を使いますが、半分くらいは英語で読むことになるかもしれません。それぞれの文献ごとに担当者を決めて、そこで何が書かれているかを自分の言葉で説明してもらい、それをもとに皆で議論します。それを通して、自分なりの幸福観をまとめることができればよいと思います。それに加えて、論理的で抽象的な議論を理解し、それを他の人になるべくわかりやすく伝える力を養うことができれば幸いです。学年末には短いエッセイを提出してもらいます。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

授業中に案内します。

総合教育セミナーD (類)

「イギリス研究2006」

4単位 通年

【商】

西川 正二

【授業科目の内容】

ガーデニングの流行や、イギリスに関する本の出版ブームは、今の日本に欠けているなにかを、イギリスを通して得ようとしている、現代日本人のこころの反映かもしれない。自分でイギリスに関する興味のあるテーマを見つけて、発表し、レポートにまとめることが、この授業の目的です。一見学問的でないようなテーマでも、興味に従って、自由に選択して下さい。自分の興味を知るのも、自分自身を知る方法の1つです。自発的な学習習慣をつけるのが、この授業の目的です。また、他の人の興味を知り、質問し、ディスカッションをする力をつけることも重要です。自分の考えを積極的に述べ、他人との違いを理解し、かつ建設的な道を模索するという、普段からの訓練が必要です。自分の頭でものを考えられる人間になることを目指しましょう。

履修するには必ず最初のガイダンスウィーク中の授業に出席すること。

【教科書】

なし。

【参考書】

小林 滋 監修『読んで旅する世界の歴史と文化 イギリス』(新潮社、1992年)

総合教育セミナーD (類)

「現代社会を考える」

4単位 通年

【商】

西川 僚介

【授業科目の内容】

明治維新から第二次世界大戦を経て、現代日本社会の抱える政治、経済、思想、心理等の諸問題について、日本の視点のみならず国際的な視座から考えてゆくセミナーとします。受講する学生は、社会的な問題に関心を持っていることが望ましい。本セミナーにおいて受動的に知識を得るのではなく、主体的関心により積極的にテーマを選択し、思考と論理を深め発表することを目的とします。

【教科書】

ハンナ・アレント『人間の条件』福沢諭吉『文明論の概略』Erich Fromm『Escape from Freedom』

【参考書】

クラスにて、随時紹介。

総合教育セミナーD (類)

「もう一つの言語としての映画」

4単位 通年

【商】

橋本 順一

【授業科目の内容】

19世紀末に誕生した映画の歴史を、創生期のサイレント時代から20世紀を経て21世紀の現代に至るまで通史的

に大急ぎで回顧しながら、表現のツールとして「様式(スタイル)」や映画固有の「言語」をどのようにみずから鍛え上げてきたか、通常の言語とまた先行する芸術メディアとどう違うか、その限界と可能性などを考察するセミナーです。

さまざまなジャンルにわたって作品を残した無数の映像作家たちが残した作品を分析し、それら(彼ら)に固有の文法と、またそれら(彼ら)に共通する普遍的な文法規範を(再)発見するのが諸君の作業になります。

【教科書】

特になし。

【参考書】

ヒッチコック『映画術』ほか適宜授業で指示。

総合教育セミナーD (類)

「歴史を通してドイツ語を学ぶ」

4単位 通年

【商】

フォークル, ヴァルター

【授業科目の内容】

学生向けに簡単に書かれたテキストを使い、ゲルマンの昔から現代に至るドイツ史を概観する作業を通じて、ドイツの昔と今にまつわるさまざまな語句、表現を学ぶことをねらいとする。

授業はテキストを読む作業のみならず、さまざまなAV教材を用いた作業を通しても行われる。

【教科書】

Manfred Mai: Deutsche Geschichte, Beltz Verlag, ISBN: 3407753225

【参考書】

語彙が豊富で、かつ語彙について詳しく解説された辞書を用意すること。

総合教育セミナーD (類)

「世界の言語の共通点・相違点と研究発表の方法」

4単位 通年

【商】

深澤はるか

【授業科目の内容】

本セミナーの目的は2つある。

1つめは、世界の言語の共通点と相違点を探究することである。人間の言語は5000以上あると言われている。それぞれの言語の構造はもちろんのこと、それが話されている社会、文化、起源など大変異なっているように思われる。しかしながら人間はどこに生まれてもそこで接する言語を母語として自然に身につけることができる。また人間の発声、発音の器官、言語を司る脳のしくみはどの言語を話す人も同じようである。世界の言語は一見したように異なるものなのか、それとも何らかの共通点があるものなのか？なぜ母語は容易に自然に獲得できるのに外国語の習得は難しいのか？世界中の言語をさまざまな角度から分析・分類・探究することにより、言語の不思議を探る。

2つめは、そのテーマを基に、研究の仕方、研究の口頭発表およびポスター発表の仕方、レポートの書き方を

学ぶことである。与えられたテーマに対し学生自らの視点を持ち、それを研究していく仕方、その研究の口頭発表、ポスター発表の仕方を学ぶ。また討論・議論・レポートにまとめる仕方も学ぶ。

【教科書】

- (1)「探検！ことばの世界」(2004) 大津由紀雄著 ひつじ書房
- (2) その他(担当教員よりの配布資料)

【参考書】

随時指示する。

総合教育セミナーD (類)

「カリブ海ウォッチング」

4単位 通年

【商】

伏見 岳志

【授業科目の内容】

カリブ海は日本から遠く、あまり知られていない場所である。この地域に存在するさまざまな国や植民地に関する、基本的な知識を身につけ、それぞれが抱える問題点を知るのが、このセミナーの目的である。履修者は、カリブ海について調べる過程で、情報の集め方、まとめ方、発表の仕方を身につけることになる。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

初回のガイダンスで参考書リストを配布します

総合教育セミナーD (類)

「中国経済入門」

4単位 通年

【商】

孟 若燕

【授業科目の内容】

この授業の目的は、中国経済についての基本知識を学ぶことです。一国の経済を理解するには、まず人口や地理、資源、民族、政治制度、社会構造などから入る必要があります。政治経済学の視点からすれば、これらの要素がいずれも経済成長に大きな影響を与えるわけです。それから、1979年末から始まった経済改革・対外開放政策とその実践について勉強します。計画経済から市場経済への転換、それに伴った一連の改革措置の導入およびそれらの成果。例えば、よく聞かれる国有企業改革はどのようなことなのか、私有企業は現在どのような位置づけなのか、等等、一つ一つ理解してもらいたいと思います。

【教科書】

Peter Nolan, Transforming China - Globalization, Transition, and Development, Anthem Press, 2004 (約3000円)

【参考書】

『中国経済統計年鑑(英語付き)』を授業中常用しますが、随時コピーを配布します。また、比較のため、日本、アメリカの統計資料も配布します。

総合教育セミナーD (類)

「Culture and Psychology」

4単位 通年

【商】

森吉 直子

【授業科目の内容】

The main objective of this course is to learn about different ways of perceiving the world by people living in different cultures. English is the only/primary language used in the class. Students will learn about human mechanism to understand how we human perceive the world in certain ways. It is essential to understand how *we* feel, think and act in certain ways before we try to understand *others*. Students will also learn how to make presentations effectively in both verbal and non-verbal aspects. In order to enhance presentation skills, writing and speaking based on strong evidence, especially objective data, such as statistics, will be encouraged. Therefore, library research to obtain relevant information will be required.

【教科書】

Will be announced.

【参考書】

Will be introduced in class

総合教育セミナーD (類)

「地域研究としてのラテンアメリカ研究」

4単位 通年

【商】

安井 伸

【授業科目の内容】

よく現代は「グローバルに考え、ローカルに行動する」ことが求められる時代だと言われる。では「グローバルに考える」にはどうすればよいかというと、それには少なくとも「先進国」からの視点だけではなく、「周辺」あるいは「南」から世界を見る視点をも身につけることが不可欠だろう。

もし仮に地球上のすべての人々が先進国並みの生活様式を送れば、地球環境はとても持ちこたえられないと言われる。だとすれば一般に「途上国」と呼ばれる国々は、一体どの程度までなら発展することが許されているのだろうか？そもそも「途上国」にとっての問題は本当に「発展の不足」にあるのだろうか？それとも「発展の仕方」そのものが問題なのだろうか？それならば、代替的な発展は可能なのか？

本セミナーでは、常にこれらの問いかけを行いつつ、現代ラテンアメリカが抱える諸問題(民主化、人権侵害、経済統合、金融危機、環境問題、貧困・不平等、インフォーマルセクター、児童労働・麻薬・売春、テロ・内戦、日系移民etc.)を議論して行きたい。

授業の進め方としては、春学期には教科書の輪読を通じて、社会科学的地域研究の方法および題材としてのラテンアメリカに関する基礎知識を学び、同時に、レジユメの作り方や発表・討論の基本を身につけることを目

指す。秋学期には、各自が選択したテーマに関する研究発表（パワー・ポイント）を行い、それをたたき台にレポートをまとめる。必要に応じ、基本的な論文作成法（テーマ設定、資料の検索・収集、文章構成、注の付け方等）の指導を行う。

【教科書】

国本伊代・中川文雄編著『ラテンアメリカ研究への招待 [改定新版]』新評論 2005年（3200円＋税）

【参考書】

松下洋他編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』新評論 2004年

西島章次他編『ラテンアメリカ経済論』ミネルヴァ書房 2004年

エリオット『持続可能な開発』古今書院 2003年

その他、授業時に紹介する。

総合教育セミナーD（類）

「世界と日本の今を考える」

4単位 通年

【商】

湯川 武

【授業科目の内容】

さまざまな意味で、またさまざまなレベルで、グローバル化が進んで行く現在、私たちは自分たちの生きる場所である「日本」をどう考えたいのだろうか。その「日本」を見る眼はこれまでどおりでいいのだろうか。

現代世界にあって、あらためて日本を見る見方について考える必要があるのではないだろうか。多くの観点や考え方が考えられる中で、このセミナーでは以下の二つの視点を大事にしたい。

第一に、日本だけを特別なものとして考えるのではなく、世界の他の地域や国々との比較を通じて、日本をいわば客観的に見てみる。

第二に、さらにその観点から、さらに日本そして日本人から視野をさらに広げて、世界とか人類という観点に立って、さまざまなことを考えてみる。

このような視点に立って、現在の日本と世界が抱えるさまざまな問題群を、このセミナーでは、政治・経済・環境・異文化共存という四つの分野で考えていきたい。

春学期は、四つの分野についてのどのような具体的な問題があるかについての議論を深める。秋学期はその中で各自が特に関心のある問題に特化して、それをより深く調べ考察し、その過程を報告・発表し、最後にレポート（小論文）にまとめる。問題の発見から、調査・議論の進め方・まとめ方・発表の仕方など、大学生としての必要な技法について学ぶこともこのセミナーの目的である。

【教科書】

なし

【参考書】

授業ごとに紹介する

総合教育セミナーD（類）

「メキシコから見るスペイン語圏世界とその周辺：都市」

4単位 通年

【商】

横山和加子

【授業科目の内容】

この総合教育セミナーは、商学部でスペイン語を履修する学生を対象とし、メキシコという国をとおしてスペイン語圏世界を知ることが目的としている。スペイン語を話す国と地域はヨーロッパとアメリカ大陸双方にまたがっている。古代文明の時代から現在まで、常にラテンアメリカの大国的存在であったメキシコは、この広大なスペイン語圏諸国を理解するための格好の条件を備えている。このセミナーでは、そうしたメキシコの歴史や現状をさまざまな側面からとりあげつつ、スペイン、その他のラテンアメリカ諸国、北米にまで関心を広げていきたい。

2006年度は「都市」というサブテーマを設定する。メキシコにはスペイン人到来前から都市文明が栄えていた。スペイン人による征服の後には、西欧風の植民都市が建設され、支配の拠点・文化の中心となった。20世紀後半からは急速な都市化が始まり、さまざまな問題が生じる。都市問題は農村問題と表裏をなし、その深刻さは今も増大しつづけている。参加者は、メキシコの都市から出発して、スペイン都市、イスラム都市などとの比較や、多様な都市の類型（鉱山都市、港湾都市、観光都市など）、建築物、都市社会・都市文化についての考察など、都市をめぐるさまざまな題材へと関心をひろげていくことが可能である。

【教科書】

オリエンテーションで指示する。

【参考書】

参考文献はセミナーの中で順次指示するが、セミナー初日までに、上記のテーマに関連した本を自分でひとつ（以上）選び、読んでおくこと。

総合教育セミナーD（類）

「異文化間トレーニング」

4単位 通年

【商】

吉田 友子

【授業科目の内容】

異なる文化の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じても文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。この授業では英語でのレクチャー、ディスカッション、ケーススタディーの分析やシミュレーション等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらう。授業はすべて英語で行われ、学生の積極的な参加を求む。

【教科書】

プリントを授業で配る。

【参考書】

(ア)「異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる」
八代京子、町恵理子、小池浩子、磯貝友子（著）

1998年 参修社出版

(イ) Intercultural Communication Training: An Introduction By: Richard Brislin & Tomoko Yoshida (1994). Sage Publications.

総合教育セミナーD (類)

「21世紀の商店街 - 地域との対話」 4単位 通年

【商】 牛島 利明

【授業科目の内容】

この授業では、皆さんが学ぶ日吉キャンパスの後背地である「日吉」および他の地域についてフィールドワークしながら、商店街の運営、大学と地域・行政の連携、文化的イベントによる地域活性化などについて考察・提言を行います。大学の立地する地域を、単に生活したり消費したりする場所と捉えるばかりではなく、魅力ある「商店街」や、魅力ある「街」としての文化を創出しようと試みる意欲ある学生の参加を歓迎します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業で指示します。

総合教育セミナーD (類)

「留学生セミナー」(国際交流を考える) 4単位 通年

【商】 佐藤 望

【授業科目の内容】

このセミナーは、留学生の皆さんの日本語能力を高めるとともに、皆さんの日本での生活をサポートすることを目的としています。また、日本人の学生も参加して相互の交流を進めることも意義のひとつです。

基本的には、大学で学ぶために必要な能力、すなわち学問的方法で調査し、自ら考え、評価し、表現する能力を総合的に身につけることを目的としています。すなわち、本の調べ方、読み方、情報収集、整理、文章の書き方、プレゼンテーションとディスカッションなどを、日本語でしっかりと行うことができるよう勉強していきます。商学部の留学生は必ずこのセミナーを受講しなければなりません。

留学生と交流をしながら、これらの能力を身につけた日本人の学生の参加も歓迎します。

【教科書】

適宜指示します。

【参考書】

適宜指示します。

総合教育セミナーD (類)

「荘内藩致道館徂来学」 4単位 通年

【商】 松村 宏

【授業科目の内容】

日本中でめずらしく存続している上級武士文化人集団の伝統たる致道館徂来学と一緒に学習研究する。彼らの

教養と強健と品格を求めて体得すれば今の世界市民ビジネス上層青年に文化的中軸を与える。その古典主義の新たな創造的体現への練習を積むことが、ここでの我々の目的であり方法でもある。初心者が対象なので素養は問わない。出席者に応じたレベルから出発する。題目は文字通りの無骨でも、内容は、狩野永徳の絵をどう見るか、京都派の雅楽はどう演奏されていたか、古流剣道の形(かた)は、どういう呼吸であるかという部類の問題である。(具体的方法は、授業内容に示す)

【教科書】

すべて原資料を複写して配布。

【参考書】

各回毎に指示。

総合教育セミナーS (類)

「現代物理学の諸相」 2単位 春学期

【商】 新田 宗土

【授業科目の内容】

最初のガイダンスの時に、参加者の興味のある内容を聞いてテーマを決めます。考えているものとしては、相対性理論、量子論などに端を発する現代物理学がありますが、それに拘る必要はありません。何か本をひとつ決めて、輪講形式で担当者に発表してもらい、大いに議論をしたいと思います。すでに完成している物理学ではなく、現在でも大きな問題となっているようなテーマを扱いたいと思っています。

【教科書】

今のところ未定。最初の授業で参加者で話し合って決めます。

【参考書】

参考書はたくさんあると思うので、参考書リストを作って配るつもりです。

総合教育セミナーS (類)

「原書講読セミナー(ドイツ語) : 『ヨーロッパ珈琲物語 *Der Kaffee und die protestantische Ethik*』」

2単位 秋学期

【商】 石原あえか

【授業科目の内容】

嗜好品「コーヒー」をキーワードに、ヨーロッパ文化史を考察する原書講読セミナーです。文化史家 Schivelbusch の著書 *Das Paradies, der Geschmack und die Vernunft. Eine Geschichte der Genussmittel* (1980) から、「コーヒーとプロテスタンティズムの倫理」の章を原書(ドイツ語)で講読します。西欧におけるコーヒーの歴史とその広く文化史的意義を論じた明解な文章です。なお学期末には、このテキストに関するレポートを提出してもらいます。

【教科書】

Wolfgang Schivelbusch: *Der Kaffee und die protestantische Ethik*. 同学社 定価1400円

【参考書】

白井隆一郎著：『コーヒーが廻り、世界史が廻る 近代市民社会の黒い血液』中公新書1095 定価680円
その他、必要に応じて紹介します。

総合教育セミナーS (類)

「Seminar in English Discussion and Presentation」

2単位 春学期

【商】

シェイ, ディビット

【授業科目の内容】

This course is designed to give students practice using English in academic and professional contexts. The general theme is “business and society” and students will decide in consultation with the instructor the topics we discuss in class. The course will be conducted as an *interactive seminar*, with chances to make regular presentations and participate in group discussions. Students will research topics, summarize key issues, define important terms, and express opinions. The goal of the seminar is to (1) increase knowledge about issues related to business and society, and (2) improve the ability to express that knowledge in natural, appropriate English

【教科書】

Readings will be (1) provided by the instructor and (2) collected by students from the internet or library. Students do not have to purchase a textbook.

【参考書】

We will use Power Point to make professional-looking presentations. No previous experience with Power Point is necessary, but students should be able to use a computer and willing to learn.

総合教育セミナーS (類)

「イベリアとイペロアメリカの歴史・文化」

2単位 春学期

【商】

瀧本佳容子

【授業科目の内容】

スペイン・ポルトガルのイベリア両国は、8世紀初頭から7世紀以上に及びイスラム支配を経験した結果、他のヨーロッパ諸国と共通の基盤を持ちつつもきわめてユニークな文化を築き上げました。レコンキスタが終結した15世紀末には近代国家としての原型を整えると同時に、アメリカとアジアに進出して大航海時代の立役者となり、世界史に決定的な方向転換をもたらしました。欧米諸国主導という現代世界の勢力図のもとができたのは、この大航海時代だといえます。日本にも、コロン(コロンブス)の航海から約半世紀後にポルトガル人が到来しますが、この最初の西洋文明との接触において日本は、世界史上でもまれな2世紀に及び鎖国の道を選びました。

このセミナーでは、以上のような流れを念頭に入れつ

つ、イベリアとイペロアメリカの文化と歴史について、各自テーマを見つけてレポート(最低400字×15枚)を書いてもらいます。

*参考までに、過去3回のこの授業で提出されたレポートのテーマをあげておきます。

「カタルーニャ・ナショナリズム ~カタルーニャ語の復権」

「アントニオ・ガウディ - サグラダ・ファミリア聖堂 - 」

「16~17世紀のポルトガル ~併合から再独立とセバステアニズム~」

「キリスト教の伝来 ~宣教師の活動~」

「スペイン内戦に対する各国の動向」

「イスラム教スペイン 後ウマイヤ朝その興亡」

「スペイン無敵艦隊 - フェリーペ2世とアルマダの海戦 - 」

「ブラジルのモノカルチャー経済の進展」

「イサベルとコロン - スペインによる新大陸発見とその背景 - 」

「スペインにおけるイスラム文化とヨーロッパ文化の出会い - コルドバ・メスキータを通して - 」

「ガウディ - グエル公園を中心に」

「日本に伝わったキリスト教」

「じゃがいも」

【教科書】

開講時に指示します。

【参考書】

開講時に指示します。

総合教育セミナーS (類)

「Research and Methods」 各2単位 春学期/秋学期

【商】

英 知明

【授業科目の内容】

選択したテーマに沿って自ら収集した情報をわかりやすく口頭で発表したり、リサーチした内容を説得力ある論にまとめ、「論文のマナー」に従って良質な日本語で書く技術的訓練を行う。また定められた字数の中で、自身の考えを過不足なく効果的に盛り込んだ「書評」や「論考」を書いたり、研究テーマについてハンドアウトや画像を使ってプレゼンする能力を養う。短期集中型科目(半期:前後期とも同内容により両学期共に履修することは不可)で密度の濃い授業を目指すため、履修者数の制限をする場合もある。

【教科書】

英語のプリントを使用。授業中に配布します。

【参考書】

特になし

総合教育セミナーS (類)

「English Presentation Skills (Intermediate Level)」

2単位 秋学期

【商】

ハンリー , マシュー

【授業科目の内容】

The main aim of this seminar is to develop your presentation skills in English. With this aim in mind, I will show you some basic model presentations at first, followed by comprehension questions, discussion, and analysis of successful and effective presentations. You will then be free to choose presentation topics that interest you, but I will have to approve them. I am particularly interested in interdisciplinary topics that connect the various subjects that you are studying at Hiyoshi with your own interests. Once you have chosen appropriate topics, you will have a chance to research them in the library and on the Internet. Your research, which I will supervise, will give you the vocabulary and expressions necessary to discuss your topics in English. It will also improve your ability to summarize and analyze written texts. Finally, you will have to present your results orally in PowerPoint presentations. Depending on the size of the seminar, your presentations may be given individually or in small groups.

Briefly, in addition to improving English presentation skills, this seminar should have the following outcomes:

- Increased vocabulary and mastery of English expressions
- Improved listening comprehension skills
- An ability to summarize texts and arguments
- Improved critical thinking skills
- The ability to make connections in English among discreet academic subjects
- A better knowledge of the Internet and PowerPoint

An additional benefit is that the skills you acquire should also be useful to you in Japanese (or French, Korean, Spanish, Chinese, German, Malay--in short, whatever your own native language or second foreign language happens to be).

The seminar will be held in a classroom equipped with computers. Everyone will have Internet access, and much of our material will be Web based.

*Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

【教科書】

Internet-based materials, printed articles and books appropriate to your research topics, and occasionally part of a video-taped program. Model presentations

from my files, Yale Global Online, BBC, and UC Berkeley Websites. There is no set textbook.

*Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

【参考書】

I will give you a list of recommended books in the second week of the semester. During the course of the semester, we will develop individual reading lists tailored to each student's research interest. Since we will be using a computer-equipped classroom, we will have access to most of the best dictionaries on the Internet.

*(Again!) Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

総合教育セミナーS (類)

「観光・航空経営研究入門」

2単位 春学期

【商】

中条 潮

【授業科目の内容】

本講義では、将来の観光論の設置に先駆けて、その準備作業として、観光とかかわりの深いいくつかの業種・職種（航空輸送産業、鉄道業、旅行業、客室乗務員等）について、前半では、航空輸送産業を中心に、当該産業の実態と、観光産業が発展していくうえで不可欠な共通課題であるサービス・マネジメント論やホスピタリティ論を現場担当者や経験者による講義によって入門的知識を提供し、後半では、学生にレポート執筆とプレゼンテーションを行わせ、文章の書き方、プレゼンテーション技術の基礎を学ばせることを目的とする。

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナー〔春学期〕・〔秋学期〕

本科目は知的探求の基本である論理的思考とその口頭ならびに記述による表現力の養成を目指します。上限20人程度の少人数クラスで、教員と学生、そして学年同志の密なコミュニケーションを通し、調査、発表、ディスカッション、レポート作成など、学問の基本的手順・在り方を体験してゆきます。設けられた多様なテーマの中から自分が関心のあるものを選び、積極的に授業に参加して下さい。

総合教育セミナー

「メディアの世界」

2単位 春学期

【理】

浅見 昇吾

【授業科目の内容】

メディアのさまざまな世界を具体的に知ってもらいたいと思います。ただし、受動的な知識を身につけることが目標ではなく、メディアを自分なりに積極的に活用できるようになることが目標です。メディアを利用したプレゼンテーション、企画書の作成などもして頂きたいと考えています。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

総合教育セミナー

「自分を読むための一つのヒント」

2単位 春学期

【理】

猪股 光夫

【授業科目の内容】

自分を読むための方法はたくさんありますが、ここでは古典的な精神分析の方法をヒントにして、子供時代の親子関係や、兄弟関係、友人関係などを考えることによって、現在の自分のありようを再検討してみたいと思います。

このような方法が有効な理由の一つは、私たちが現在の人間関係の中で、全く知らないうちに過去の人間関係を繰り返して演じているからです。このことはその人の知性や意識の持ち方を越えたところで再演されてしまうため、私たちはあまり考える機会を持たないまま暗闇の中に放置してしまいます。たとえば私たちが友人や先輩や恋人との関係で、今経験している愛や憎しみや嫉妬や挫折感や悲しみや怒りといった情動は、過去に母親や父親のような身近な人達との関係の中で何度も味わったことのあるものにちがいないのです。このような過去の繰り返しのなかにいる限り、私たちはどんなに新しい人と出会おうとも、深い部分では決して新しい出会いも感動も経験もなく、過去を虚しく繰り返しているだけになってしまいます。

過去の反復から少しでも自由になるためには、まず自

分の過去の人間関係を分析して、言語化し意識化する必要があります。なぜなら私たちは意識化できないものこそ反復する傾向があるからです。

過去の自分を考えるためのヒントをあたえてくれるテクストとして、アリスミラー（Alice Miller）の著作を第一候補と考えていますので、まずその一部を読んで、批判検討する予定でいます。彼女によれば、私たちは大抵自分の子供時代を、幸福なものであったと思っているけれども、実はそれはとんでもない嘘であり、当時の親子関係の不幸をおおいにかくすための幻想にすぎない。子供は親の期待や欲望に忠実であることを強制され、親の愛を失う恐怖によって、親に忠実な良い子になり、その結果社会のルールに忠実な良い大人になっていくのだ、ということになるのです。良い子になる過程において、子供は自分の欲望を捨て、他者の欲望だけで生きようになり、それでも本人は自分の欲望で生きていると思ひ込むようになる。自分では自分の欲望を生きているナルシストだと思ひかけても、そのような人は自分の核を失った、自己愛障害者なのだと言っています。これは特殊な家庭の出来事ではなくて、ごく普通の、いわば立派な家庭におけるドラマであるため、大抵の人が多かれ少なかれ自己愛障害（narcissistic disturbance）を生きており、本当の意味で自分を生きて、愛することが出来ずに、虚しさを反復することになります。

【教科書】

プリント教材。

総合教育セミナー

「デザインを考える」

2単位 春学期

【理】

大西 瞳

【授業科目の内容】

ランドスケープ、建築、プロダクト、グラフィック等のデザイン例を取り上げ、デザインを考える基本的な方法を学びます。次に実際に自分でデザインを考え、プレゼンテーションするところまでを目標とします。

【教科書】

未定。

【参考書】

未定。

総合教育セミナー

「カルチャーショックを考える」

2単位 春学期

【理】

熊野谷葉子

【授業科目の内容】

国際化と情報化が進む現在では、特に外国へ行かなくても異文化に関する情報はあふれている。だがそれでも、国内での文化の違いや外国人との接触の中で、思わぬカルチャーショックを受けることは多いだろう。私達はどんなことにカルチャーショックを感じ、それをどう乗り越えていくのだろうか。他人の行動に対するちょっとした違和感から、他民族に対するイメージや日本人像まで、具体的な事例を検討しながら意見を交換していきたい。

【教科書】

なし

【参考書】

授業内に適宜指示する

総合教育セミナー

「現代社会の中の日本語」

2単位 春学期

【理】

古賀 義顕

【授業科目の内容】

近年見直されている方言の地位や敬語の用法、インターネットの日本語など、身近な素材をもとに、日本語が現代社会の中でどのような状態にあるかをグローバルな視点から考察しつつ、調査や考察の方法、レポート作成やプレゼンテーションの作法を探求したいと思います。

【教科書】

『新世代の言語学』飯野公一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子著（くろしお出版，2003年）

【参考書】

授業で指示します。

総合教育セミナー

「「日本」を考える 外からの見方と内からの見方」

2単位 春学期

【理】

小林 潔

【授業科目の内容】

- ・いわゆる「外国人」の日本論を講読することで日本文化を再考します。
- ・外国語の（短い）日本論に取り組み、翻訳の練習をします。
- ・それをもとに調査・考察し、結果を発表する練習をします。
- ・クラスで討議します。

【教科書】

- ・題材として、
De Mente B.L. Jpana's Cultural Code Words. 233 Key Terms That Explain the Attitude and Behavior of the Japanese.-- Tuttle Publishing, 2004.
を考えています。
- ・講義資料プリント

【参考書】

- ・石井敏・久米昭元『異文化コミュニケーション研究法 テーマの着想から論文の書き方まで』有斐閣、2005年。
- ・北尾謙治他『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』ひつじ書房、2005年。

総合教育セミナー

「ユング心理学の世界に遊ぶ」

2単位 春学期

【理】

小林 邦夫

【授業科目の内容】

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人

間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。C. G. ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた、諸分野を堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できよう。ユング心理学の魅力はまさにそこにこそあるのであり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

【教科書】

文・大住誠、イラスト・田島薫美『ユング』（FOR BEGINNERSシリーズ65）現代書館（1236円）

【参考書】

アンソニー・ストー編著（山中康裕監修）『エッセンシャル・ユング』創元社（3914円）

総合教育セミナー

「人と自然とのつながりを考える」

2単位 春学期

【理】

小宮 繁

【授業科目の内容】

20世紀は、人間の生産・消費活動に起因する未曾有の規模の自然破壊を経験した時代でした。それは、人間が一方的に自然を収奪の対象として見るような思想が世界に広く、深く浸透した結果だといえます。そこで、こうした人間中心の自然観からの脱却ないし転換を果たし、人と自然とのあらたな持続可能な関係を構築していくことは、現在のわたしたちに課された重要な課題の1つといえるでしょう。

このセミナーでは、グローバルというよりはローカルな視点で、人と自然とのかかわりを考えてみたいと思います。（グローバル/ローカルについては、授業の中で明らかにしていきます。）みなさんには、（おそらくは、ちょっと昔の）農山村（里山）とか漁村だとかの地域的な暮らしについて調べてもらうこととなります。文献を読むことが中心の調査になるでしょうが、博物館や映像記録などからも有益な情報が得られるかもしれませんし、実際に聞き取り調査などもできるとさらに面白いと思います。こうした調査をもとにして、一緒に、人と自然とのあらたなかかわりを見出すための議論を深めていきたいと考えています。

【教科書】

授業時に指示します。

【参考書】

授業時に指示します。

総合教育セミナー

「20世紀の美術を考える」

2単位 春学期

【理】

近藤 幸夫

【授業科目の内容】

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかということも学びます。

【教科書】

ありません。

【参考書】

授業で見学した展覧会のカタログなど

総合教育セミナー

「『小さい』メディアと『小さい』場」 2単位 春学期

【理】 坂倉 杏介

【授業科目の内容】

マスメディアや公共空間といった制度化された「大きい」システムのほかに、普段の生活のなかには多種多様なコミュニケーションの形が存在します。本講義は、こうした「小さい」コミュニケーションを生む「メディア」や「場」を、みなさんの日常のなかに実際につくってみる、ワークショップ形式の授業です。何をつくるかは、みなさんとの議論によって決めます。昨年度開講の「『小さい』メディアをつくる」では、様々なディスカッションを経て、WEBサイトやショートフィルムなどを制作したり、手作りのミニFM局からの放送を行ないました。こうした実践を通じて、共同制作やプレゼンテーションの基本的なスキル、メディアや建築・デザインを身の回りの出来事から考えていく視点を身につけることがねらいです。

昨年度の授業内容は以下のWEBサイトを参照してください。

<http://smallmedia.inter-c.org/>

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「推理小説・推理小説論を読む(1)」 2単位 春学期

【理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

「推理小説」とは何か？ その実作品や、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐって、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

教室で指示します。

総合教育セミナー

「日本の歴史を再考する」

2単位 春学期

【理】 萩原 真一

【授業科目の内容】

私たちは小学校から高校まで、さまざまな教科書を通じて日本史の教育を受けてきました。この教科書の歴史像は、できるかぎり実証的・科学的であろうとする立場に基づいて描き出されていますから、それなりに事実即したものと見えるでしょう。しかし、何ら疑問を差し挟む余地のない教科書上のいくつかの通説でも、意外なほど間違った思い込みによって支えられていることが多く、その結果、私たちは往々にして偏った先入観にとらわれているように思われます。

先入観の典型的な例は「日本単一民族・単一国家」説です。これは、日本国を古代から現在にいたるまで均質度の高い「単一民族」の上に成立した「単一国家」であると見なす見解です。この「常識」からは、北海道・東北北部におけるアイヌの独自の社会の存在や沖縄諸島における琉球王国の存在などが、見事に抜け落ちています。このことを考え合わせれば、「常識」が虚像であることはいうまでもありません。

とはいうものの、担当者は日本史の専門家ではないので、大上段に構えて「常識」を問い直すことはできませんし、行うつもりもありません。では何をするかというと、図版（例えば、鎌倉時代のある絵巻物には、なんと金髪で鼻の高い北方系の武者が描かれています。これは、北方世界と日本列島との間にたえず人と物の交流があったことを物語っています）や漫画（例えば、白土三平『カムイ伝』には、1650年前後の江戸期の生き生きとした日本の姿が描かれています）などの視覚的な資料を利用しながら、できる限り具体的な細部から、履修者の皆さんと共に日本史の通説を再考してみたいと願っています。

【参考書】

網野善彦『日本の歴史をよみなおす』（ちくま学芸文庫、1200円）

総合教育セミナー

「異なる角度から見る日本語 コミュニケーション能力の強化のために」

2単位 春学期

【理】 羽田野洋子

【授業科目の内容】

カタカナ語の多用、顔文字の使用、若者言葉、慣用表現の誤用、など言葉は刻々と変化しています。変化している日本語について各自が身近なテーマを設定し、具体的に調査・分析し、その作業を通じて今まで無意識に使用してきたであろう日本語をいろいろな角度から客観的に見ていきます。日常生活では、例えば、「今晚は雪が降る。」という断定の文に「今晚は雪が降る+（だろーかもしれない・にちがいない・はずだ・と思う・と思われる・ようだ・みたいだ・らしい）」などの文末表

現を自然に使い分け、円滑なコミュニケーションをはかっています。日本語を客観的に見ることで表現が緻密で豊かになっていきます。日常会話も口頭発表もメールも手紙もレポートも言葉によるコミュニケーションです。

このセミナーでは、場面・目的にあった適切な日本語で書き・話し、自分の考えを端的に伝えられるようになることを目指しています。コミュニケーション・ツールとしての日本語をみがきあいましょう。

【教科書】

必要に応じて関連資料を配布します。

【参考書】

山崎信寿、富田豊、平林義彰、羽田野洋子『科学技術日本語案内新訂版』慶應義塾大学出版会（2002年）
木下是雄『理科系の作文技術』中公新書（1981年）
石黒圭『よくわかる文章表現の技術』明治書院（2004年）

総合教育セミナー

「化学でのぞく神秘の世界」 2単位 春学期
【理】 平林 義彰

【授業科目の内容】

工学における『化学』は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」として考えることが出来ます。

ここでは「ものをつくる」という観点から『化学』をとらえ、プラスチック光学材料研究室の見学やガラス細工の実験を体験しながら、実際に見学記や実験レポートを作成し、科学的表現法や科学技術文章の書き方などを学びます。また、新聞の科学記事の中から上に述べた「道具」としての『化学』の話題を検索し、それを書いた新聞記者の立場になって発表して、プレゼンテーションの基本的な方法を身に付けることを目標とします。

科学技術文章の特徴は、「事実」と「意見」をはっきり分けて書くことです。実験レポートを書くときにこの書き方の基本をおろそかにしますと、内容の不明瞭なレポートになり、再提出ということになってしまいます。この科学技術文章の書き方が卒業論文、ひいては研究論文の書き方の基本となります。

時間割の関係で春学期に履修できないときは、秋学期の総合教育セミナー [秋学期]平林義彰を履修してください。ほぼ同じ内容で実施する予定です。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します

【参考書】

山崎信寿他“科学技術日本語案内 - 新訂版”、慶應義塾大学出版会、2002
相吉英太郎編“理工系大学生のための日本語文書知的作成法”(非売品) 慶大理工学部、1998
木下是雄“理科系の作文技術”、中央公論社、1981
高木誠司“理科系の論文作法”、丸善、1997
山口喬“エンジニアの文章読本”、培風館、1988

総合教育セミナー

「生活者のための本音のデザイン」 2単位 春学期
【理】 山崎 信寿

【授業科目の内容】

新製品企画、人間と生活、道具、家具、住居などモノ作りに興味を持つ人向きです。自分が興味を持つモノについて、現状を調査し、もっとよくなるか、もっと自分にピッタリなものではできないか、新しいモノを発想し、発表し、議論し、再び考えてまとめていきます。このような作業を通じて多面的な見方と論理的思考力および表現力を訓練するのが、このセミナーの目標です。このため、書くことと話すことに慣れる様々な企画をしています。

【教科書】

特に指定しません。関連資料は配付します。

【参考書】

木下是雄：理科系の作文技術、中公新書、1981
日本機械学会編：生活を変えた技術、技報堂出版、1997
山崎信寿、富田 豊、平林義彰、羽田野洋子：科学技術日本語案内新訂版、慶應義塾大学出版会、2002

総合教育セミナー

「生命倫理の世界」 2単位 秋学期
【理】 浅見 昇吾

【授業科目の内容】

思想や倫理とは何かということからはじめ、生命倫理の具体的な問題について少しずつ知見を深めてもらう予定です。生命倫理では、社会の複雑な問題や人生の複雑な問題が比較的具体的な形で提示されます。生命倫理の問題を考え、社会や人生を生き抜くための手がかりを得て頂きたいと思います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

総合教育セミナー

「エレクトロニクスデザイン」 2単位 秋学期
【理】 石黒 仁揮

【授業科目の内容】

本セミナーでは、電子工作を通して理工学の基本である作る喜びを感じて欲しいと思っています。

図面と部品から、実際にハンダ付けしながら、1からトレーサーロボットを製作します。前半は、PIC、FET、センサー、初めは分からないことばかりですが、電子部品の動作を調べ、全体の回路の動作原理について発表します。後半はPICにプログラミングし、より安定にかつ高速にトレースできるアルゴリズムを開発します。電子製品は、ハードだけ、あるいはソフトだけではなく、両

方を理解してこそ良い製品が作られることを理解して欲しいと思います。ハードとソフトの開発過程で、数回の発表を行い、自分の作ったトレーサーロボットにつて、その特徴や苦勞したことを文章でまとめます。教材費として3千円（予定）必要です。

総合教育セミナー

「バイオテクノロジーの1断面を酵素反応にみる」

2単位 秋学期

【理】

太田 博道

【授業科目の内容】

21世紀の科学技術の重要なものの一つは生命科学・工学である。「生命を知る」、「生命を護る」、「生命の機能を利用する」ことが大きなテーマになっていくと考えられる。そしてその3つのテーマは当然互いに独立ではあり得ない。

上記の大きなテーマに対するアプローチは多様である。その一つに化学物質と生命機能の相互作用を調べる方法がある。ある化学物質が生命機能にどのような変化を与えるか研究し、生命機能を知る方法である。また逆に、生命の機能を利用して物質変換の手段とすることもできる。このような様々な変換反応を通して生命の機能、特にタンパク質の機能を分子論的に解析することが可能である。

本セミナーでは、最近盛んになってきている分野である、人工化合物を酵素によって変換する手法を解説してテキストを分担して読んで、内容を発表してもらう。このような「輪講」を通じて、生命科学の一端を垣間みると同時に、プレゼンテーションのスキルを身に付けることを目的とする。

【教科書】

Wolf-Dieter Fessner, "Biocatalysis: From Discovery to Application," Springer, 1998

【参考書】

太田博道「生体反応論」、三共出版

総合教育セミナー

「デザインを考える」

2単位 秋学期

【理】

大西 瞳

【授業科目の内容】

ランドスケープ、建築、プロダクト、グラフィック等のデザイン例を取り上げ、デザインを考える基本的な方法を学びます。次に実際に自分でデザインを考え、プレゼンテーションするところまでを目標とします。

【教科書】

未定

【参考書】

未定

総合教育セミナー

「サイエンスライター入門」

2単位 秋学期

【理】

加藤万里子

【授業科目の内容】

科学の成果を一般むけにわかりやすく解説できる力は、研究者になる人やマスコミを目指す人にはもちろんのこと、いろいろな職業につく人にも求められている大切な能力です。科学の内容がわからなければ、解説できないし、内容がわかっても、文章にすることができなければ伝わりません。このセミナーでは、科学のいろいろな分野をとりあげて解説文を書く練習をします。文章添削の他、ショートスピーチを繰り返し、人前で話すことに慣れる訓練もします。

総合教育セミナー

「日本文化の生成 - 異文化の受容とその展開 - 」

2単位 秋学期

【理】

木下 京子

【授業科目の内容】

日本文化は古くは中国や朝鮮半島、明治維新後は欧米諸国の文化の影響を強く受け、今日に至っている。一方、「スシ」や「テリヤキ」、「オタク」や「アニメ」などの言葉がそのまま通用するほど、日本の諸文化は海外にも浸透している。そこで本セミナーでは、受講者各自が日本文化に関する興味ある事項について、その成立背景や発展過程、あるいは海外における理解などさまざまな角度より調べて考察してもらう。その成果を授業時に口頭発表し、文章にまとめる練習をする。できればこの機会に、パワーポイントを利用した発表を試みることを期待する。

【教科書】

プリントを配布。

【参考書】

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論新社、1984年

総合教育セミナー

「笑いについて」

2単位 秋学期

【理】

金田一真澄

【授業科目の内容】

笑いは、人間とサルのみが持つ特徴です。

「笑い」について、人間と笑いとの関係、笑いの研究史、笑いの原因など、様々な問題を議論します。

まず笑いについて書かれた文献を読み、様々な角度から笑いを検討していきます。ある程度読んだところで、学生一人一人が好きなテーマを選び、そのテーマで口頭発表をし、同時にその発表について皆でディスカッションをします。最後に各自レポートとしてまとめます。

【教科書】

なし

【参考書】

文献リストを配付します。

総合教育セミナー

「言葉と文字とメディア」

2単位 秋学期

【理】

熊野谷葉子

【授業科目の内容】

携帯電話やインターネットの普及によって、今やキー操作による文字情報の伝達は、もっとも簡便な連絡手段となっている。そこでは文字は空気や水のような存在に見えるが、実は世界には、文字のない言語は山ほどある。この授業では、文字を情報伝達のひとつの手段として捉えなおし、口承文芸の特徴や文字の発展、印刷技術が社会に与えた影響などを勉強しながら、現在の話し言葉と書き言葉、メールやチャットの文体、漫画における会話や音声の表現方法など、様々な視点から言葉を考えていく。

【教科書】

なし

【参考書】

授業内に適宜指示する。

総合教育セミナー

「映像と文学」

2単位 秋学期

【理】

古賀 義頭

【授業科目の内容】

文学作品が映画やドラマなどのかたちで映像化される際、そこにはどのような相互関係が生まれ、そこから何を読み取ることができるのでしょうか。いくつかの作品の具体的な分析を通して自分の考えを発表し共有する練習を重ね、調査や考察の方法、文章作成やプレゼンテーションの作法を探求したいと思います。

【教科書】

プリントを適宜配布する予定です。

【参考書】

適宜指示します。

総合教育セミナー

「言葉の向こうにあるもの 言語と文化・社会」

2単位 秋学期

【理】

小林 潔

【授業科目の内容】

- ・言語と文化や社会との関わりを考察します。
- ・言語学の初歩にふれます。
- ・言語と文化・社会の関係に関して自覚的になり、言語に対する感覚を育てることが本セミナーの目的です。

【教科書】

- ・飯野公一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子 『新世代の言語学 社会・文化・人をつなぐもの』 くろしお出版、2003年。
- ・講義資料プリント

【参考書】

- ・河原俊昭・山本忠行 『多言語社会がやってきた - 世界の言語政策Q & A - 』 くろしお出版、2004年。
- ・北尾謙治他 『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』 ひつじ書房、2005年。
- ・その他、教場指示

総合教育セミナー

「ユング心理学の世界に遊ぶ」

2単位 秋学期

【理】

小林 邦夫

【授業科目の内容】

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「ころ」について、何も知らないに等しい。C. G. ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた、諸分野を堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「抛り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できよう。ユング心理学の魅力はまさにそこにこそあるのであり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

【教科書】

文・大住誠、イラスト・田島薫美 『ユング』(FOR BEGINNERSシリーズ65) 現代書館(1236円)

【参考書】

アンソニー・ストー編著(山中康裕監修)『エッセンシャル・ユング』創元社(3914円)

総合教育セミナー

「「小さい」メディアと「小さい」場」

2単位 秋学期

【理】

坂倉 杏介

【授業科目の内容】

マスメディアや公共空間といった制度化された「大きい」システムのほかに、普段の生活のなかには多種多様なコミュニケーションの形が存在します。本講義は、こうした「小さい」コミュニケーションを生む「メディア」や「場」を、みなさんの日常のなか実際に試してみ、ワークショップ形式の授業です。何をつくるかは、みなさんとの議論によって決めます。昨年度開講の『「小さい」メディアをつくる』では、様々なディスカッションを経て、WEBサイトやショートフィルムなどを制作したり、手作りのミニFM局からの放送を行ないました。こうした実践を通じて、共同制作やプレゼンテーションの基本的なスキル、メディアや建築・デザインを身の回りの出来事から考えていく視点を身につけることがねらいです。

昨年度の授業内容は以下のWEBサイトを参照してください。

<http://smallmedia.inter-c.org/>

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「推理小説論を読む(2)」

2単位 秋学期

【理】

高来 和巳

【授業科目の内容】

「推理小説」とは何か？ その実作品や、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐって、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

教室で指示します。

総合教育セミナー

「光への招待 - 光の持つ可能性を探る」

2単位 秋学期

【理】

二瓶 栄輔

【授業科目の内容】

光は我々の周りに満ち溢れています。そして我々は無意識のうちに光をさまざまな情報源として巧みに利用しています。しかし良く利用している光なのに、光って何？と質問されたときに、すぐに答えられるでしょうか。

本セミナーでは、光が持っている性質を解き明かし、さらに、現在の高度情報化社会を支える光技術や、先端医療を支える光技術など、様々な分野で利用されている光技術を理解し、また自分で調査すると共に、実際に光を制御する実験を体験しながら、光の持つ可能性について考えていきたいと思えます。

【教科書】

プリント教材

【参考書】

授業中に紹介する

総合教育セミナー

「身近な化学を調べよう」

2単位 秋学期

【理】

平林 義彰

【授業科目の内容】

科学文章の特徴は、「事実」と「意見」をはっきり分けて書くことです。実験レポートを書くときにこの書き方の基本をおろそかにしますと、内容の不明瞭なレポートとなり再提出ということになってしまいます。この科学技術文章の書き方が卒業論文や修士論文、ひいては研究論文の書き方の基本となります。

工学における『化学』は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」とし

て考えることが出来ます。

ここでは「ものをつくる」という観点から『化学』をとらえ、高分子化学研究室の見学やガラス細工の実験を体験しながら、実際に見学記や実験レポートを作成し、科学的表現法や科学技術文章の書き方を学びます。また、新聞の科学記事の中から上に述べた「道具」としての『化学』の話題を検索し、それを書いた新聞記者の立場になって発表して、プレゼンテーションの基本的な方法を身に付けることを目標とします。

時間割の関係で秋学期に履修できないときは、春学期の総合教育セミナー [春学期]平林義彰を履修してください。ほぼ同じ内容で実施する予定です。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します。

【参考書】

山崎信寿他 “ 科学技術日本語案内 - 新訂版 ”、慶應義塾大学出版会、2002

相吉英太郎編 “ 理工系大学生のための日本語文書知的作成法 ”(非売品)、慶大理工学部、1998

木下是雄 “ 理科系の作文技術 ”、中央公論社、1981

高木誠司 “ 理科系の論文作法 ”、丸善、1997

山口喬 “ エンジニアの文章読本 ”、培風館、1988

総合教育セミナー

「人物探検 調べる! 考える!! 表現する!!! 」

2単位 秋学期

【理】

村上 康代

【授業科目の内容】

自分の進路を真剣に考えている人に最適です。科学、人間、社会などに、広く興味を持っている人や視野を広げたい人のためのクラスです。この授業では、各自が興味のある先人の伝記や著書を読み、新たな人物像を追求します。自ら設定したテーマに沿って調査し、クラスで発表・議論し、最終レポートにまとめます。作文添削と口頭発表の練習とを繰り返し、日本語のコミュニケーション能力の向上を目指します。

【教科書】

木下是雄 『理科系の作文技術』中公新書 (1981)

【参考書】

大島弥生他5名 『ピアで学ぶ大学生の日本語表現』ひつじ書房 (2005)

荒木晶子他2名 『自己表現力の教室 大学で教える「話し方」「書き方」』情報センター出版局 (2000)

村上陽一郎 『科学者とは何か』新潮選書 (1994)

その他、授業中に紹介します。

学部独自設置授業科目

1 文学部

科目名は、ゴシック(太字)部分です。() カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などには記載されない科目名)です。

人類学

「自然界の中のヒト：進化と変異」 4単位 通年
高山 博

【授業科目の内容】

ヒト(Homo sapiens)の定義を知っていますか?人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト(地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位)が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なのですが、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

講義内容に近いものとしては、埴原和郎「人類の起源」(講談社)、ルーウィン、R.(保志訳)「ここまで分かった人類の進化」(てらぺいあ)、馬場・高山編著「人類の起源」(集英社)

言語学(1・2・3年生用科目名) / 言語(4年生用科目名)

「言葉 人間の本質を探る鍵」 4単位 通年
金田一真澄

【授業科目の内容】

言葉とは何かという素朴な疑問から入り、誰もが使う言葉の不思議な魅力に迫ります。まずは、言葉に関心をもってもらうことから授業を始めます。

初めに、言葉について、人はどのように考え、どのようにアプローチしてきたのか、その歴史を振り返ります。

言語学の歴史を古代ギリシャから近代まで辿り、言葉に対する人間の飽くなき探究心の歴史を跡づけます。

またその際に、言語と人間との関係を探ります。人間の認知や心理など、どちらかという今まで客観主義の言語学では敬遠されてきた側面に焦点を当て、人間にとって不可欠な存在である言葉の仕組みを明らかにします。関連するテーマとして、意味論、語用論、メタファ論、カテゴリー論などの分野についても触れます。

一方で、日本語表現の文法問題を扱い、自分が毎日何気なく使用している言葉について、その不可思議な性質を再発見します。

毎回、授業の後半30分ほどは、授業で扱ったテーマについて意見交換を行います。

年2回、各6000字のレポートを課題として要求します。

【教科書】

ありません。

【参考書】

授業の際に必要な応じて挙げます。

人文科学特論(哲学)

「哲学入門」 4単位 通年
斎藤 慶典

【授業科目の内容】

哲学のテキストを読み、その内容について参加者の報告と問題提起を求め、全員でディスカッションをします。この作業の積み重ねを通して、厳密に思考し、それを表現する訓練の場としたいと思います。取り上げる哲学のテキストは古今東西を問いませんが、入門者向けの授業であることを考慮して、「シリーズ・哲学のエッセンス」(NHK出版)から何冊かを取り上げます。一冊目は、現代フランスの哲学者「メルロ＝ポンティ」(熊野純彦著)を取り上げる予定です。授業担当者の専門と問題関心については、『文学部専任教員一覧』を参考にしてください。

【教科書】

上記のように「シリーズ・哲学のエッセンス」(NHK出版)より適宜取り上げますが、一冊目として『メルロ＝ポンティ』(熊野純彦著、2005年、1000円+税)を各自で用意しておいて下さい。

【参考書】

そのつど、必要に応じて紹介します。

人文科学特論(西洋史)

「アメリカ革命思想史(ジョン・ロックの思想的伝統を中心に)」 4単位 通年
大森雄太郎

【授業科目の内容】

恐れながら授業担当者の著作、『アメリカ革命とジョン・ロック』(慶應義塾大学出版会、2005年、¥4800)を材料として、さまざまな思想の合金であるアメリカ革命の思想を、他の思想的要素にも配慮しながら、主にロックの思想的「影響」を中心にみてゆきます。同書は専門研究書です。しかしかなり平明に書いたつもりなので、1年生でも努力すれば理解できます。授業はまず同書の特定部分を理解し、次に著者がその部分の証拠として引用している史料を読んで実際の歴史の手触りを得る、という仕方ではほぼ2週間を1組にして進めて行きます。史料は著者による日本語訳ではなく、もとの18世紀英語で書かれた新聞やパンフレットをそのまま用います。しかし史料読みは重要な証拠にしかつづけるだけ読みやすい史料に限定しますので、18世紀英語でも努力すれば理解できるように工夫するつもりです。但し、英語を読むの

が嫌いな人や読もうとする努力をするつもりのない人にとっては辛い授業になりますので、そういう人たちは履修しないで下さい。史料のコピーは授業担当者が毎回準備してハンドアウトします。

【教科書】

上記。

【参考書】

授業の進行に応じて適時推薦します。

人文科学特論（西洋史）

「歴史学について考え、西洋史に関するレポートを書く」

4単位 通年

神崎 忠昭

【授業科目の内容】

「歴史」といえば、受験勉強を経験してきた皆さんにとっては、「暗記」という印象が強いかもしれませんが。しかし、歴史学とは必ずしも暗記ではありません。資料を探し、読み、文脈を把握し、評価し、自らの結論を下すという過程の上に成立するものです。この特論の目的は、歴史学を学ぶとはどのようなことか、「本を読む」とはどのようなことであるかについて考え、最終的には西洋史に関する註と参考文献表つきのレポート（6000字相当）を書くことができるようになることです。

【教科書】

E.H.カー（清水幾太郎訳）『歴史とは何か』（岩波新書、1962）、澤田昭夫『論文の書き方』（講談社学術文庫、1977）。他に1冊ないし2冊の書籍（文庫または新書程度）を購入してもらい、さらに講義資料プリントを適宜配布します。

人文科学特論（国文学）

「絵入り御伽草子を読む」

4単位 通年

石川 透

【授業科目の内容】

御伽草子は、室町時代から江戸時代前期にかけて成立して短編の物語群である。この御伽草子の中から作品を選び、挿絵を觀賞するとともに本文を活字本で講読していきたい。また、江戸時代以前制作の、実物の絵巻物や絵入り写本を身近に閲覧する。

【教科書】

石川透『慶應義塾図書館蔵 図解御伽草子』慶應義塾大学出版会

【参考書】

石川透『魅力の御伽草子』三弥井書店

人文科学特論（民族学考古学）

「民族学考古学入門」

4単位 通年

阿部 祥人 佐藤 孝雄

安藤 広道

【授業科目の内容】

この科目は、考古学及び民族学がどのような関心を持

ち、成果を上げてきたのかを簡潔に紹介することを目的としている。文学部史学科民族学考古学専攻の教員3名がそれぞれの専門領域について基礎的な講義を行うので、最終的にはこれらの研究の全体像が大づかみで理解できるようになると期待される。担当は、それぞれ阿部が日本考古学（旧石器時代）、安藤が日本考古学（日吉地域の遺跡）、佐藤が環境考古学である。

【教科書】

特に使用しない。

【参考書】

講義中に随時指示する。

人文科学特論（美術）

「キリスト教図像学」

4単位 通年

遠山 公一

【授業科目の内容】

主題の観点から西洋美術作品を見ていきたい。伝統的な西洋美術における最大の主題と言ったならば、キリスト教主題である。中でもイエスの生涯を記す新約聖書からの主題が多い。美術史の主題研究をイコノグラフィー（図像学）と呼ぶが、それにのっかって今年度はイエス伝を扱い、その主題にまつわる象徴・記号、あるいは今日「作品」と呼ばれている様々な造形物（かつては墓・祭壇画、つまり記念や崇敬の対象）のもつオリジナルの機能などについて考えてみたい。スライドを用い、プリントを配布して講義を行う。

【教科書】

特になし。授業中に配布物。

【参考書】

J・ホール『西洋美術解説辞典』（吉川弘文館）など

人文科学特論（日本史学）

「近代史を読む」

4単位 通年

柳田 利夫

【授業科目の内容】

近代初頭の出版物（著作・新聞）を講読して、近代日本の形成期について考えることを目的とします。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

適宜、授業の中で指示します。

人文科学特論（国文学）

「日本語・日本文芸の諸相」

4単位 通年

関場 武 岩松研吉郎

川村 晃生 藤原 茂樹

松村 友視 佐藤 道生

石川 透

【授業科目の内容】

国文学専攻の専任教員によるオムニバス形式の講義。古事記や風土記・万葉集、伊勢物語・御伽草子・仮名草

子、軍記物語・説話集、泉鏡花・宮沢賢治、それに辞典・往来物等を材料として、近現代を含む日本文芸や芸能・ことばについて、各々の立場から考察を行う。文献学的・書誌学的な面からのアプローチがある一方、折口信夫流の民俗学的研究による芸能史・古代学、平安朝日本漢文学を中心とする日中比較文学、さらにはその対策が焦眉の急の環境・景観問題、英和・仏和・日ボ等の外国語対訳辞書編纂の歴史と、その間口は広い。いずれにしても、日本語・日本文化に対する理解を深め、日本人の心の傾きについて広く深く考察するためのものとなっている。

【教科書】

なし。原本やそのコピー、映像資料等を適宜使用。

【参考書】

授業時に各講師が適宜紹介する。

人文科学特論（中国文学）

「中国の怪異文学」

4単位 通年
八木 章好

【授業科目の内容】

「志怪・伝奇」と呼ばれる中国の古典小説を読みます。「志怪・伝奇」とは、怪異・珍奇な事柄について漢文の文体で書かれた短編小説のことです。「幽鬼」「冥界」「仙境」「夢幻」「道術」「妖怪」「異類」など特定のテーマに沿って幾つかの作品を選読します。作品を読みながら、その背景にある中国古代人の宗教・信仰や思考様式について考察します。

【教科書】

八木章好編『中国怪異小説選』（慶應義塾大学出版会）

【参考書】

授業内に適宜紹介します。

人文科学特論（倫理学古典読書会）

「『正しい生活』は善いか？ 『生きる』を問う」

4単位 通年
小松 光彦

【授業科目の内容】

「成功の秘訣」、「幸せになる方法」、「他人と上手につきあう法」...等々、いわゆる処生術に関するさまざまなマニュアル本が、最近とくに目につく。それにひきかえ、落ち着いて人生について考えさせる良書に出会うことは、めっきり少なくなった。エートスの崩壊という未曾有の危機をかかえる新世紀を生きる私たちにとって最も大切なことは、急テンポで移り変わる眼前の光景に目を奪われることなく、己れの内なる心象風景に沈潜すること、心の奥底に隠れた不安から逃亡するのではなく、それを凝視することではあるまいか？本授業では、各自が「よく生きる」とは？」という古くて新しい問いを携えて幾冊かの古典を味読し語り合う場を求めていきたい。

【教科書】

岩田靖夫著『よく生きる』ちくま新書 2005年

中島義道著『悪について』岩波新書 2005年

【参考書】

プラトン『ゴルギアス』『パイドン』『ソクラテスの弁明』（いずれも岩波文庫）『饗宴』（新潮文庫）ドストエフスキー『地下室の手記』（新潮文庫）その他必要に応じて指示する。

人文科学特論（独文学）

「ドイツ学入門 ドイツと理論についての基礎知識」

4単位 通年
平田栄一郎

【授業科目の内容】

ドイツ語圏に関するあらゆる事象を研究する学問を「ドイツ学Germanistik」といいます。本講義ではこの地域の文化、歴史、社会、芸術、メディアの特徴を文献や映像資料などから理解してもらい、ドイツ学への手ほどきをします。春学期ではドイツ語圏の歴史と文化を個別に紹介しつつ、ドイツ学の基礎的な知識を説明します。秋学期ではドイツ的な学問世界に顕著な理論や方法論を紹介し、専門分野をよりよく理解するための予備知識を身につけてもらいます。

【参考書】

その都度紹介します。

人文科学特論（倫理学）

「古典を通して宗教性を学ぶ」

4単位 通年
谷 寿美

【授業科目の内容】

東西の古典的名著の講義を通して、各文化圏の精神的基礎となっている宗教性に触れます。

【教科書】

文献はプリントで配布します。

【参考書】

授業時に紹介します。

人文科学特論（仏文学）

「20世紀フランス文学と思想」

4単位 通年
市川 崇

【授業科目の内容】

「何のために書くのか」、「自分について、自分と世界の関わりについて、思いつくままに文章を綴るとき、私たちは何をしているのか」、これらの身近であると同時に、難解な問いを巡って、受講者と自由に議論をしながら、ゼミ形式で授業は進められます。議論の材料として、春学期は主に、ジイド、ブルトン、マルロー、セリーヌ、バタイユ、ブランショ、サルトル、カミュなど、20世紀フランス文学の作家たちの作品、また彼らが「書く」ことを通じて持とうとした社会との関係を紹介し、秋学期からは、サルトル、バタイユ、ブランショ、バルト、デリダらの「書くこと」を巡る代表的な評論をも検討の対象とし、文学の社会的機能についてのさまざまな考え方を比較対照することになると思います。フランス語の

履修者が多い場合には、作品を原文で読む作業も取り入れたいと思います。テキストは、授業時間内に教室でプリントを配布します。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

サルトル「文学とは何か」人文書院
 サルトル「存在と無」人文書院
 バタイユ「文学と悪」筑摩文庫
 バタイユ「内的体験」現代思潮社
 ブランショ「文学空間」現代思潮社
 ブルトン「シュールレアリスム宣言集」現代思潮社
 バルト「零度のエクリチュール」筑摩文庫
 デリダ「エクリチュールと差異」法政大学出版
 ドゥルーズ「プルーストと記号」法政大学出版
 ドゥルーズ・ガタリ「千のプラトー」河出書房
 イーグルトン「文学とは何か」岩波書店
 大修館「フランス文学講座」
 白水社「フランス文学史」

人文科学特論（東洋史）

「中国を知るために 地域研究と農村研究」

4単位 通年
 桐本 東太

【授業科目の内容】

「反中」「親中」とりまぜて中国論議がかまびすしい昨今であるが、そうした議論がもたらした「中央」の「政治」についてのみなされているのは好ましい状況とは言えない。真の中国を知るためには「中央」だけではなく「地方」を、また「都市」だけでなく「農村」を理解する必要がある。そうした観点から本特論では地域として「華南」、階層として「農民」をとりあげ、中国理解の一助としたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

適宜指示する。

人文科学特論（音楽）

「作曲家研究入門」

4単位 通年
 西川 尚生

【授業科目の内容】

ある特定の作曲家について調査・研究しようとする際、どのようなアプローチの仕方があるのかを学ぶ。今年度は、生誕250年を迎えたW. A. モーツァルト（1756-1791）を題材として、伝記研究と作品研究のさまざまな方法論、作曲家研究の抱える諸問題について講義する。また履修者には課題を与え、授業内に発表してもらう予定である。

【教科書】

西川尚生『モーツァルト』音楽之友社、2005年。

【参考書】

授業内で指示する。

人文科学特論（英米文学）

「英米文学・英語学における『愛』と『性』」

4単位 通年
 河内 恵子 松田 隆美
 大串 尚代 高橋 勇

【授業科目の内容】

みなさんはイギリス文学やアメリカ文学にどのようなイメージをお持ちでしょうか。映像化されたものだけでも、イギリス文学なら『プライドと偏見』『デイヴィッド・コパーフィールド』『眺めのいい部屋』、アメリカ文学なら『風と共に去りぬ』『華麗なるギャツビー』『スカーレット・レター』など、さまざまな作品が思い浮かぶことでしょう。文学や映画の他、音楽や芸術などの文化的側面でも、イギリスやアメリカは常に視野に入ってくる国ですし、また「英語」という言葉は、わたしたちがもっとも親しんできた外国語の一つでもあります。

この講座では、英米文学・英語学に関連した様々な話題について、オムニバス形式で授業をすすめます。今年度は「英米文学・英語学における『愛』と『性』」を全体のテーマとして、文学やことばの文化的な背景をさぐる予定です。人間の性愛は生物的な現象であると同時に、文化による創造物でもあります。文化と生理、観念と現実の複雑な関係の結晶ともいえる「愛」と「性」が言語・文学にどのような影響を与え、また与えられてきたのか、いろいろな角度から学んでいきましょう。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に指示します。

社会科学特論（社会学）

「現代社会を読み解く」

4単位 通年
 浜 日出夫

【授業科目の内容】

「階層格差」「少子化」「フリーター」「不登校」「自己責任」「テロ」「ナショナリズム」などをキーワードとして現代社会を多角的に読み解く。

【教科書】

新書を中心に20冊程度。

社会科学特論（人間科学）

「introduction to sociological way of thinking」

2単位 秋学期
 渡辺 秀樹

【授業科目の内容】

この特論は人間科学専攻の出講科目ですが、本講義ではとくに、＜社会的なものの方見方＞に馴染むことを目的とします。（人間科学専攻の出講科目は、もうひとつ

ありますが、そちらは文化人類学的な講義になるでしょう。社会のさまざまなできごとや現象を社会的に見るとは、どのようなことか一緒に考えたいと思います。社会的なできごとや現象は多岐にわたりますが、ここでは家族や子ども、ジェンダー関連を対象に考えます。

【教科書】

特に定めず。

【参考書】

渡辺秀樹編『現代日本の社会意識：家族・子ども・ジェンダー』（慶應義塾大学出版会、2005年刊行）

社会科学特論（人間科学）

「転換期にあらわれた人間社会と心身の諸問題への人間科学的接近」

2単位 秋学期
宮坂 敬造

【授業科目の内容】

転換期にさしかかった現代世界における人間と文化・社会の諸問題から問題を「転換期にあらわれた人間社会と心身の諸問題」という角度から設定し、社会科学ないし人間諸科学から複数の分野にまたがって複眼的人間科学的アプローチを試みる一部のやりかたを、講読討論形式を通して訓練する機会とする。まず、ウォーミング・アップとして、日本社会におけるさまざまな社会・文化的問題に関する話題をいくつかえらび討論する。これらの話題は、ジェンダー問題、家族のありかたの変化、高齢化、世代論、病理的嗜好、伝統文化からの根断ち、異文化接触、「未開」と文明、グローバリゼーション、PTSD、戦争・紛争、医療化・サイボーグ化する身体、地球環境諸問題、等々にまたがるが、それらの討論から、参加者の多様な興味をすりあわせつつ、複数の話題に重層的に関連している根っこの問題をとりだす作業をこころみる。その過程で、そうした問題群（たとえば、臓器移植に関連する問題群）を問う問題意識を展開し、分析し、理解していくためには、どのような社会科学的・人間科学的方法（ひろい意味での、心理学的人類学的方法を主軸とする）がありうるのかを検討する。

【教科書】

- (1) 上野・中村『21世紀へのキーワード：インターネット哲学アゴラ 日本社会』岩波書店
および、巽・宮坂・坂上・岡田・坂本編『幸福の逆説』慶應義塾大学出版会
- (2) 二巡目にも教科書を用いるが、「転換期にあらわれた人間社会と心身の諸問題」に関する文献を講義時に指示する

【参考書】

- ・『二十世紀思想辞典』三省堂

社会科学特論（図書館情報学）

「情報社会、知の公共領域、情報アクセス」

4単位 通年
原田 隆史

【授業科目の内容】

図書館・情報学では、古代の記録から紙、さらに最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、これらの情報メディアに蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには、情報メディアの収集、提供、保存のための社会的な制度である図書館をはじめとする情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。この講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことがらについて、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。特に春学期は、図書館のしくみやはたらきを中心に、図書を保存し、貸し出しを行うということ以外に多くの役割を果たしている状況について説明していきます。また秋学期はインターネット上のサーチエンジンなどを題材に情報へのアクセスについて考えます。PCを使って実際に検索を行うだけではなく、効果的な検索を可能にするためには、どのような仕組みが使われているのかについても検討します。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

社会科学特論（教育学）

「江戸儒学の教育思想研究」

4単位 通年
山本 正身

【授業科目の内容】

近代社会において教育とは、意図的・計画的に組織された学校という機関を通して、国家・社会の発展に必要なとされる知識・機能をその将来を担う成員に授ける営み、として理解されている（少なくとも、これが近代教育に対する認識の中核をなしている）。今日の私たち一般の教育認識も、おそらく以上のような理解の線に沿って形成されている、と見なしてよからう。

だが、目を前近代社会に転ずると、そこには上記のものとは異質の教育認識が様々な主張となってあらわれていた。概していえば、その教育認識とは一定の組織や計画、あるいは場合によっては「教える」という働きかけをも前提としない、その意味で外側からの形成という意味合いの稀薄なものであったといえる。それゆえ、前近代社会においては教育思想と呼ぶことのできる思想は微弱であった、と評されることもある。

ただし、こうした「教える」ことに関わる思想の微弱さは、必ずしも人間形成に関わる思想全体が未成熟な段階に止まっていたことを意味するわけではない。たとえ「教える」思想が微弱・稀薄であったとしても、前近代社会には、主体的・自律的に「学ぶ」ことを説く思想が

普及していたからである。そして、前近代社会において「学び」の思想を代表するものが儒学思想であったことはいうまでもない。

本特論は、以上のような認識に基づき、「学び」の視点から人間形成の問題を論じた書として、『大学』（この書が、朱子によっていわゆる「四書」の一つに加えられたことは指摘するまでもない）を取り上げ、その講読を通して江戸儒学における教育認識の特質を探ることにする。テキストには、伊藤仁斎(1627-1705)の『大学定本』（仁斎その人の思想を知るためには、「元禄十六年七月稿本」<いわゆる「林本」>を使用すべきであるが、授業では履修者の便宜を考慮して「正徳三年刊本」を使用することにする）を使用する。なお、数ある『大学』注釈書の中からあえて仁斎の注釈を用いるのは、仁斎こそが朱子学と対峙しつつ、儒学思想を再構築して日本の社会・文化に適合させようとした最初の儒者であったと認められるからである。

【教科書】

上記『大学定本』のコピーを用意する。

【参考書】

島田虔次『大学・中庸』（新訂中国古典選第4巻）朝日新聞社、1967年。

源了圓編『江戸の儒学』思文閣、1988年。

子安宣邦『伊藤仁斎の世界』ペリかん社、2004年。

なお、上記以外の文献・資料については、授業の中で適宜紹介する。

自然科学特論（心理学）

「『脳と心』の謎に挑む」

2単位 春学期

梅田 聡

【授業科目の内容】

この授業では、「脳と心」をテーマとして、心理学的現象と脳の活動の関連性について、近年明らかにされている知見を中心に深く考えていきたいと思います。

まずは、心理学における見方や考え方を知るために、記憶、学習、注意といった側面について、これまでに得られた興味深い事実を紹介します。次いで、脳のある部分の損傷によって、それぞれの側面にどのような障害が示されるのかを調べる研究や、MRIなどの脳機能画像法によって、ある課題を行っている時に、脳のどこがどのように動くのかを調べる研究について取り上げます。そして、心理現象がどのような脳内メカニズムによって実現されているのかを考えます。

それぞれの研究の方法論が一通りわかったところで、より複雑な側面である、感情、人格、推論などの問題に取り組んでみたいと思います。統合失調症や認知症などの精神神経疾患や、自閉症などの発達障害を対象とした「脳と心」の問題も取り上げる予定です。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

授業中に紹介します。

自然科学特論（心理学）

「心理学特論」

2単位 春学期

山本 淳一

【授業科目の内容】

現代の科学的な心理学のテーマから、いくつかのトピックスをとりあげ、その中に含まれる問題、論点、心理学的事実、心理学的研究方法について、概説、発表、討議を行う。

授業は、まずそれぞれのトピックスの概要の講義を行う。その後、発表者を割り当てる。発表者は、文献で調べ、レポートを作成し、発表を行う。

履修者全員に、毎回、課題が与えられ、翌週までにレポートを作成して提出することが求められる。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

授業内で指示する。

基礎情報処理（A）～（I）

2単位 春学期 / 秋学期

（A）岸田 和明

（B）三根 慎二

（C）～（D）森山 剛

（E）（I）井垣 竹晴

（F）宮本 忠

（G）～（H）名倉 正剛

【授業科目の内容】

コンピュータや各種アプリケーションの使い方を学びながら、情報を処理する際に必要な「考え方」やネットワークを介したコミュニケーションを行う際に必要な「倫理」について解説します。コンピュータを利用して情報を扱う基礎知識を身につけ、大学での活動や今後の社会生活に役立たせることを目的としています。

辞書の世界（国文学）

「辞書・事典万華鏡」

2単位 春学期

関場 武 野村 伸一

坂田 幸子 平田栄一郎

喜田 浩平 山下 輝彦

田村 俊作 原田 隆史

高橋 信裕他

【授業科目の内容】

辞書・事典はその時々のことばや文化を如実に写す鏡であり、また言葉や事柄の意味・用法を教えてくれる規範性を持った鑑である。今回、文学部の学生諸君を対象にオムニバス形式で行うこの講座は、語学辞書を中心に、文化史や藝術等の面を含めて、辞書編纂の歴史や内容を眺めようとするもので、各国語や情報処理のスペシャリスト、書誌学者、辞書史研究者らがガイド役を務める。印刷された書物形式のものが中心となるが、電子辞書・

シソーラス等も取上げる。本講座を聴き、奥行きが深く幅も広い辞書の世界を知り、辞書・事典に親しみ有効に使いこなせるようになってほしい。

〔教科書〕

なし。コピー、映像等を適宜使用する。

〔参考書〕

各講師が授業時に紹介する。

書物の世界

「書誌学の愉しみ」

	関場 武	川上新一郎
	佐々木孝浩	佐藤 道生
	高橋 智	松田 隆美
	長谷部史彦	白崎 容子
	武藤 康史	田村 俊作他

2単位 秋学期

〔授業科目の内容〕

書物の世界は奥が深く幅も広い。日吉には生協以外にも、売り場面積の広い書店がキャンパスの近くにあるが、書棚や平台に、毎日毎日華やかな装丁の書物が次々と並べられて行く。実に夥しい数である。これを見る限り、近年しばしば言われる活字離れ等は何処吹く風である。書物は見てくれ・装丁も大事だが、その内容がより大切である。別段どの本が高級でどれが俗悪というわけでは決まてないが、最近の新刊本の様相を見ると、如何なものかという感を禁じ得ない。一昔前なら確実に発禁本扱いになる本も散見される。いずれにしてもその書物の世界は、流通面も含め急速に変化して来ている。すぐに店頭から姿を消し購入しにくくなってしまふ本も多い。また、バーゲン・ブック等と称される形態も出現してきている。本年度は、日頃書物に慣れ親しんでいる手だれ達が、それぞれの立場でその現状や制作・出版の来し方行く末、研究方法等について蘊蓄を傾ける予定である。

〔教科書〕

なし。原本やコピー、映像資料等を適宜使用する。

〔参考書〕

授業時に各講師が適宜紹介する。

朝鮮文化・文学の歴史

4単位 通年

野村 伸一（春学期担当）
李 泰文（秋学期担当）

〔授業科目の内容〕

朝鮮民族の文化と文学を歴史のなかで考える授業です。春学期、秋学期ともに、問題の所在を知らせるための講義を50分ほどやり、そのあと受講生との質疑をします。

春学期は在日の文化創造、そして、彼らの文化的なルーツに相当する朝鮮半島の伝統文化について概論していきます。あまり専門的なことにこだわらずに進めます。各人は『朝鮮を知る事典』に記されているいどのことは確認してきてください。

秋学期は、文学とのかかわりのなかで文化の諸相を取

り上げます。西欧列強との葛藤、新興日本帝国による侵略といった難しい状況下、人びとの文化的な営みはどのような状況に置かれたのか、知識人の模索した近代はどのような作品を生み出したのかを提示します。

〔教科書〕

毎回プリントを配布。

〔参考書〕

講義時にプリントで提示。そのほか、

ウェブサイト<http://web.hc.keio.ac.jp/shnomura/>

および<http://www.flet.keio.ac.jp/shnomura/>（慶應義塾大学アジア基層文化研究会）に掲載されたものを参照してください（随時更新します）。

2 経済学部

基礎教育科目

線形代数	2単位 春学期
池田 薫	小木曾啓示
桂田 昌紀	佐古 彰史
西岡久美子	船越 正太

〔授業科目の内容〕

ベクトルや行列の演算、行列式、その応用として連立1次方程式の解法について学ぶ。これらの知識は多変数関数の解析においても使われるので確実に理解しておく必要がある。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

2年次に経済数学、
(99学則は経済数学 A、経済数学 B、経済数学)を履修しようとしているタイプの学生には履修しておくことを強く勧める。また1年次に履修しなかった場合には2年次に経済数学、
(99学則は経済数学 A、経済数学 B、経済数学)の履修と並行して履修してください。

〔教科書〕

「線形代数」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分	2単位 秋学期
厚地 淳	小木曾啓示
小林 正史	鈴木 達夫
戸瀬 信之	光 道隆
宮崎 直哉	

〔授業科目の内容〕

2変数関数の偏微分、1, 2変数関数の積分について学ぶ。偏微分は経済学を理解するために必須であり、また積分は統計学で必要となる。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

再履修する学生で1変数の微分法をしっかりと修得していない場合には春学期の微分積分入門も履修してください。

〔教科書〕

「微分積分」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分入門

「微分積分への導入としての1変数微分学の基礎」

2単位 春学期	
厚地 淳	小木曾啓示
小林 正史	鈴木 達夫
戸瀬 信之	光 道隆
宮崎 直哉	

〔授業科目の内容〕

春学期の「微分積分入門」ではイプシロン-デルタ論法に基づく極限概念を導入し、そこからRolleの定理やTaylorの定理など説明し、さらに、その応用にまで話が及ぶ。演習も織り交ぜながら講義をする予定であるが、講義時間以外にも各学生が自主的な演習を行うことが望ましい。

秋学期の「微分積分」では春学期の「微分積分入門」の知識を前提とし講義を行う。従って、**春学期に基礎教育選択科目の「微分積分入門」を未履修のものは秋学期必修科目の「微分積分」の合格がきわめて難しくなる(実質的に不可能となる)ので、必ず春学期に「微分積分入門」を履修すること(クラス指定有)。**

〔教科書〕

「微分積分」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

線形代数続論

2単位 秋学期	
池田 薫	小木曾啓示
桂田 昌紀	佐古 彰史
西岡久美子	船越 正太

〔授業科目の内容〕

線形代数に引き続きベクトルや行列について学ぶ。2年次の経済数学、
(99学則は経済数学 A、経済数学 B、経済数学)はこの講義の内容を前提とする。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

2年次に経済数学、
(99学則は経済数学 A、経済数学 B、経済数学)を履修しようとしているタイプの学生には履修しておくことを強く勧める。また1年次に履修しなかった場合には2年次に経済数学、
の履修と並行して履修してください。

〔教科書〕

授業開始までに指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学概論 2単位 春学期
光 道隆

〔授業科目の内容〕

経済の成長や市場メカニズムなどの、経済の基本的な事項を記述するのに、数学が用いられている。そのため、経済学を理解するのに、数学、特に微分積分の考え方が必要になってくる。数学概論 では高校ではあまり数学を勉強してこなかった学生諸君を対象にして、マクロ、ミクロ経済学で必要になる数学を準備する。

数学概論 では高校の復習をしながら1変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

講義の冒頭で指定する。

〔参考書〕

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館、
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会、
戸瀬信之『経済学を学ぶための微分積分』エコノミスト社

数学概論 2単位 秋学期
光 道隆

〔授業科目の内容〕

数学概論 で扱った1変数の関数 $f(x)$ は変数 x の値が決まると1つの値 $f(x)$ が決まるような関数であった。

しかし、実際の現象では1つの要因によって決まるといことは珍しく、2つ以上の要因によって値が決まるといことが多い。そこで、数学概論 ではマクロ、ミクロ経済学で必要になる多変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

講義の冒頭で指定する。

〔参考書〕

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館、
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会、
戸瀬信之『経済学を学ぶための微分積分』エコノミスト社

世界経済の現状と問題
「日本の通商政策入門」 2単位 春学期
馬田 啓一

〔授業科目の内容〕

本講義では、最新かつ重要な世界経済の諸問題を平易に解説します。講義を通じて、世界経済の実際の展開に対する学生諸君の関心と理解を大いに高めたいと思う。このため、単なる基礎的な経済理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる世界経済のトピックス、例えば、貿易摩擦、海外直接投資、通貨不安、WTO交渉、地域統合の動きなどをできるだけ講義のテーマに取り上げて、わかり易く解説していく方針です。

〔教科書〕

青木健/馬田啓一編著『日本の通商政策入門』東洋経済新報社、2002年、2800円

馬田啓一/浦田秀次郎/木村福成編著『日本の新通商戦略』文眞堂、2005年、2600円

なお、毎回、簡単なレジュメを一枚配布します。

〔参考書〕

青木健/馬田啓一編著『日米経済関係論』勁草書房、2006年、3300円

馬田啓一/大木博巳編著『新興国のFTAと日本企業』ジェット口、2005年、2200円

青木健/馬田啓一編著『提言/日本の対アジア経済政策』日本評論社、2004年、2800円

青木健/馬田啓一編著『経済検証/グローバリゼーション』文眞堂、2001年、3300円

青木健/馬田啓一編著『ポスト通貨危機の経済学』勁草書房、2000年、3800円

世界経済の現状と問題 2単位 秋学期
竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

日本経済の現状と問題
「戦後から今日の日本経済の動き」 2単位 春学期/秋学期
大村 達弥 島田 晴雄

〔授業科目の内容〕

このコースは、初めて経済学を学ぼうとする一年生を対象に、日本経済の実態を経済データや経済理論を用いて解説することである。特に、戦後の復興、高度成長、二度にわたる石油危機、プラザ合意とバブル経済、平成不況、金融危機そして近年の景気回復といった、戦後から今日に至る日本の経済の動きを歴史的に勉強する。また人口構造の変化を背景に深刻化しつつある財政赤字や社会保障費の累増などの問題にどう取り組むかといった構造改革の課題を扱う。その中では、どのような要因によって日本経済が動いているのか、それぞれの時期でどのような経済政策(財政・金融政策)が採られ、その効果はどのようであったのかを解説する。「世界経済の現状と問題」と合わせて履修し、経済を学ぶことへの知識と興味を持つことを期待したい。具体的な講義内容と講

義の編成は、講義担当者によって異なる。

主な講義内容：

経済と経済学をいかに学ぶか

1. 経済現象をいかに理解するか
2. 経済データめ読み方
3. 経済理論の意義と実証分析の方法

世界における日本経済

1. 世界における日本経済の大きさ
2. さまざまな経済システムと日本経済
3. 国際協力と日本経済

日本経済の発展と変動

1. 日本経済発展の軌跡
2. 日本経済発展のメカニズム
3. 日本経済の景気変動と経済政策

日本経済の構造変化と政策課題

1. 日本経済社会の構造変化と経済・社会政策
2. 日本の行政システムと政策決定
3. 日本経済の政策課題

【教科書】

各担当者が指定する。

情報処理履修上の注意事項

履修にあたっての学則上の制約などについて

1. 卒業するためには「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」のいずれか1科目2単位を履修し、合格しなければなりません。
2. ただ、これは一科目のみしか履修できないことを意味するわけではなく、複数の情報処理科目を履修することができます。
3. また違うサブタイトル*のものであれば同一名称の科目であっても履修することが可能です。たとえば同じ「情報処理 」「情報処理 」であってもサブタイトルの違う「C言語プログラミング 」と「WWWによる情報発信とサービス提供 」の両方を履修できます。(もちろん履修単位上限の範囲を超えて履修はできません。)
*「情報処理 (Windows入門) <既習者用> 」と「情報処理 (Windows入門)」は同じサブタイトルと見なします。
4. ただし同一名称の情報処理科目を複数履修する場合、2科目めからは自由科目として履修します。進級や卒業要件として算入される単位数には制約がありますので、注意してください。

進級単位

第2・3学年に設定されている**基礎教育科目の進級条件**には、「情報処理 」「情報処理 」2単位の合計4単位までが含まれます。

卒業要件

- a. 違うサブタイトルの同一科目(「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」)を複数履修した場合は、2科目めからは自由科目としての履修となり、卒業要件には含まれません。
- b. 「情報処理 」「情報処理 」の片方だけを履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目として卒業要件に認定されます。
- c. 「情報処理 」「情報処理 」の両方を履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目に、残りの2単位分は卒業単位認定科目として認定されます。
- d. 「情報処理 」は履修し合格すると1科目2単位分が基礎教育科目の選択科目として卒業単位認定科目に認定されます。

どのような科目を履修すればよいか

経済学部において「情報処理」は基礎教育科目として位置づけられています。今後、諸君が経済学部で必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的としています。もちろん必要最低限の知識を修得するだけでなく、さらに高度な知識を得られるような科目も用意されています。

諸君は、自らの興味と必要を満たすためにどの科目を受講すべきかを考えて、履修科目を決めましょう。

ただし、科目によっては、ある程度の知識を前提として必要とするものがあります。何も無い状態で教室に来てすべてがわかるほど学問というものは甘いものではありません。それは段階を追って必要な科目を履修することによって(もしくは自分で知識を得ることによって)得られるものです。たとえばある科目を履修したいと思ったならば、その科目を履修するために必要な知識は何かを見極め、それを得るために必要な科目を履修したのちに自分がターゲットとする科目を履修する、という**履修プラン**をたてましょう。

各科目を履修するために必要な知識については、各科目の講義要綱に記載されています。また科目によっては、はっきりとある科目の履修を前提としている場合もあります。これらについても講義要綱に記載されています。まず、講義要綱を熟読することが大事です。(次ページにも表としてまとめられていますが、これはあくまでサマリーです。詳細については講義要綱を見てください。)

過去、時間割の「選択必修科目」という項目だけを見て、わけもわからず高度な内容の講義の教室に学生が多数殺到するという情けない状況が見られました。**自分のレベルはどの程度なのか、そして、自分がどういった知識を身につけたいのか、をきちっと把握してから、科目を選択しましょう。**

まずレベルについてですが、ただし初心者であればあるほど、自分のレベルは見極めにくいものです。だいたい次ページの表を目安としてください。

レベル	科目
まったくさわったことがない	情報処理 (Windows入門)
パソコンを使ったことがあるけれども ・ゲームで遊ぶだけ ・ホームページ*を見る程度	
Windowsパソコンで ・Eメールの文章の編集・送受信 ・WWWページを見る ・ワープロでの文章作成 をやったことがある	・情報処理 (Windows入門 既習者) ・情報処理 (UNIX入門) ・情報処理 の各科目

*) ちなみに世間一般に「ホームページ」と呼ばれているので、わかりやすくするためにこう書きましたが、これは誤用です。

次に前提とする知識ですが、どの科目をあらかじめ履修すべきかは各科目の講義要綱に記されています。また、必ずしも前提条件というわけではありませんが、関連する知識を提供する科目であるため、履修しておく、別の科目の理解が容易になる、という科目もあります。これらをまとめておきます。

科目名	前提となる科目	関連する知識を提供する科目
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (UNIX入門) 情報処理 (C言語プログラミング) 情報処理 (fortran言語による統計データ処理)
情報処理 (C言語プログラミング)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (C言語プログラミング)	情報処理 (C言語プログラミング)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	情報処理 (fortran言語による統計データ処理) 統計学 統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (Excelによる統計データ処理)	情報処理 (Windows入門) (もしくはそれ相当の知識) 統計学 / (並行して履修すること)	

以上の表と各講義の講義要綱をよく読んで、情報処理科目の履修プランをたてた上で、今年度の履修科目を決めましょう。

履修制限について

情報処理の各科目は講義とともにPCを使った演習を伴うため、配当された教室の定員が履修者数の上限となります。したがって、履修希望者が教室の定員を超えた場合、履修制限を実施することになります。

クラス指定のある「情報処理 (Windows入門)」

1. 情報処理 (Windows入門) の多くのクラスにはクラス指定が設けられています。これらのクラスは、春学期が未習者用の内容、秋学期が既習者用内容となっています。
2. 未習者・既習者の振り分けは4月5日に諸君が提出する「情報科目 未習・既習申告」に基づいて行われます。
3. 「情報科目 未習・既習申告」においては、高校において情報科目を履修したはずの学生はすべて既習者となります。
4. ただし教室定員の関係で、一部の既習者は未習者クラスに振り替えられる場合があります。
5. 詳細については入学式後のガイダンスで説明があります。

クラス指定のない「情報処理（Windows入門）」、「情報処理（UNIX入門）」、情報処理、情報処理

1. クラス指定のない科目（情報処理（UNIX入門）情報処理（Windows入門）の一部）情報処理、情報処理）で履修希望者が定員を超えた場合には**事前登録に基づいた履修制限**を行います。
2. 事前登録は、各科目の第1回目の講義（科目ガイダンス週間中）の際に行いますので、履修希望者は必ず出席するようにしてください。
3. 履修制限を行う場合、この事前登録を行ったものを優先的に扱うことになります。（ただし事前登録者数が教室定員を超えてしまった場合には、事前登録者の中から抽籤を行うことになりますので、事前登録者が必ず履修できるわけではないことはご承知おきください。）

 情報処理 (Windows入門)

 2単位 春学期 / 秋学期
 コーディネーター 赤林 由雄 他

【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して(極端に言えば)全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならなくなることは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理」は、Windows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理(作成・編集・加工など)・データ処理(計算・グラフの作成など)・情報の受発信(Eメール・WWWなど)の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

なお、この授業では「既習者向け」のクラスと「未修者向け」のクラスが設置される。未修者向けクラスでは、電源投入の仕方・切断の仕方、マウスやキーボードの基本的な使い方、といったところから始まる。既習者向けクラスは、そういった初心者を対象とした部分は扱わない。高校において「情報」を履修してきた学生や既にある程度の経験がある学生にとっては、そのような内容をわざわざ習う必要はないはずであるから、「既習者向け」のクラスを受講すること。

【教科書】

最初の講義で指示する。

【参考書】

最初の講義で指示する。

 情報処理 (UNIX入門)

 2単位 春学期 / 秋学期
 北川 尚 丸山 文綱

【授業科目の内容】

この授業では、通常のパソコン(WindowsまたはMacintosh)しか扱ったことのない学生を対象にして、コマンドラインからコンピュータを操作する方法を、ワークステーションを通して学びます。ワークステーションのオペレーティングシステムの1つであるUNIXの基礎を学び、簡単なアプリケーションの利用を紹介します。Windows等のウィンドウシステムを通さない、従来の基本的なコンピュータの操作方法を会得することによって、コンピュータの理解が進むでしょう。また、プログラミング言語を用いたアプリケーションの開発・拡張が容易になるでしょう。

パーソナルコンピュータは、構成や仕組みを知らなくてもひととおり「道具」として使えるようになっていきます。そして多くの人が仕組みを知らずに便利な道具として使っています。

しかし、自分で新しい作業を始めようと思ったり、トラブルに自分で対処しなければならなくなったり、トラブル防止のために保守作業を自分でするためには、コンピュータの仕組みと動作原理についての基本的な知識が必要になります。

WindowsでもMacintoshでも、オペレーティングシステムやアプリケーションは、UNIX等の、コマンドラインから命令を与えて処理をする、という環境がもたっています。

したがって、コンピュータ本来の扱いを、UNIXを通してひととおり体験しておくことは、コンピュータの理解、さらにはコンピュータを使って自ら新しい処理作業に取り掛かる際の助けになるでしょう。

【教科書】

特に指定しません。授業では毎回プリントを配布します。

【参考書】

特に指定しません。授業では毎回プリントを配布します。

 情報処理 (Excelによる統計データ処理)

 2単位 秋学期
 赤林 由雄

【授業科目の内容】

諸君には「統計学」が必修科目として課せられている。経済を分析するためには統計学の知識は不可欠だと考えられているからである。(経済現象だけではなく、さまざまな現象を計量的に分析しようとするための作法として統計学は必須の知識である。)

ところが統計学では、時間数に比して学ぶことが多く、実際のデータを用いた演習が不足しがちである。(もちろん担当者による差異はある。)また、演習の際には大

量の計算が必要であるが、そのために用いられているのは電卓であることが多いようである。(これには学生全員がパーソナルコンピュータを教室に持ち込める環境ではない、という事情もある。)

しかしながら、諸君が三田に来て直面するのは、実際に大量のデータを使った分析であり、その際には電卓での計算などはほとんど考えられず、多くの場合はコンピュータを駆使して計算せざるをえなくなるはずである。

この授業では、統計学の知識に基づいて(…といても現実には忘れてしまっている学生が多いので、復習をかねた話を混ぜながら)統計学で学んだことをコンピュータで処理する方法、さらには、その前後で必要となるさまざまな処理法(たとえば、経済データを日経NEEDSなどの各種データベースから収集する方法など)について身につけてもらうことを目的としている。この授業を通じて、統計学の知識をより確実なものにし、実際のデータ分析にも強くなってもらおう、というのが、担当者のねらいである。

情報処理 (C言語プログラミング) /

情報処理 (C言語プログラミング)

2単位 春学期 / 秋学期

北川 尚 丸山 文綱

〔授業科目の内容〕

春学期の情報処理 (C言語プログラミング)では、これまでC言語を学んだことのない学生を対象にして、C言語の基礎的な内容を紹介します。

秋学期の情報処理 (C言語プログラミング)では、春学期の情報処理の内容を前提としてさらに高度な内容を紹介します。

プログラミングを通して、コンピュータの処理(或はコンピュータを通した論理的思考の演習)を理解すれば、自前のアプリケーションの作成や開発もできるようになるでしょう。また、Windows等のアプリケーションでの高度な操作が容易になることも期待できます。

〔教科書〕

授業で毎回プリントを配布します。

〔参考書〕

最初の講義で指示します。

情報処理 (fortran言語による統計データ処理)

情報処理 (fortran言語による統計データ処理)

2単位 春学期 / 秋学期

赤林 由雄

〔授業科目の内容〕

諸君が大学において研究を進めていくにあたって、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。その際、強力なツールになるのはコンピュータであり、その処理の多くはワードプロセッサや表計算ソフト、統計処理パッケージなどのアプリケーションソフトで対処できるものである。しかしながら、そこでできるのはあくまでお仕着せの処理であり、必ずしもかゆいところに手

が届くような仕様になっているとは限らない。自分が本当にやりたいことをコンピュータにやらせるためには自分でプログラムを組む必要がある。そのためには何か一つ言語を習得しておくことが必須の条件である。

また自分でプログラムを組むことにより、コンピュータがさまざまな処理をどのようにおこなっているかの一端が理解できるようになる。これは決して無駄なことではない。この経験はアプリケーション・ソフトを使用している際に発生するさまざまなトラブルに遭遇したときに生きてくる。計算機での一般的な処理がわかればある程度の対処の仕方がわかってくるのである。

私が担当する情報処理 Ⅰでは、fortran言語を使ったプログラミングを扱う。

このfortranはコンピュータが実用化した当初からあるプログラミング言語であり、主に科学技術計算に使われている。計算機科学の専門家にはいつも時代遅れというレッテルを貼られ、まもなく廃れるであろうと言われ続けながらもしぶとく生き残ってきている言語である。それは大型コンピュータでもパーソナル・コンピュータでもそれほど使い勝手が変わらず、**初心者にとっては理解が容易な言語だから**というのがその理由の一つである。おそらく実際の処理に使える段階に到達する速度は他の言語よりもかなり早いのではなからうか。

諸君はこの言語によるプログラミングを通じて、コンピュータで情報を処理するためにはどのような手順をふむべきかを修得してほしい。ここで一つの言語と処理の手順をものにできれば、他の言語での処理の修得はかなり楽なものになるだろう。

また経済学部の学生がよく使う**計量分析用のパッケージTSP**はもともとfortran言語で開発されたという経緯があり、fortran言語に近いコマンド体系をとっている。したがってfortranを学ぶことにより、TSPを違和感なく高いレベルで使えるようになるだろう。

春学期の情報処理 Ⅰではプログラミング言語fortranの基本的な文法と基本的なアルゴリズム(処理の手順)の修得を目的とする。これはあくまで基本である。この基本を前提として、秋学期の情報処理 Ⅱでは諸君が経済学の研究を行っていくうえで実際に遭遇するであろうさまざまな事例を解決していくためのプログラミング技法の修得を目的とする。実際のデータを扱う場合、さまざまなデータの性質をふまえて処理をする必要がある。数値計算をするとき、統計処理をするとき、また大量のデータを効率的に処理しようとするとき、その場面に応じて必要となる技法がある。それらを具体例に即して覚えていき、この講義が終わったときには使えるプログラムを組めるようになることがこの講義の目標なのである。

〔教科書〕

浦 昭二編『FORTRAN77入門』(培風館)

〔参考書〕

- ・ William H. Press, et al . NUMERICAL RECIPES
The Art of Scientific Computing , Cambridge
- ・ 茨城俊秀・福島雅夫『岩波コンピュータサイエンス
FORTRAN77最適化プログラミング』岩波書店

情報処理（wwwによる情報発信とサービス提供）
 「HTMLによる情報発信（HTMLとスタイルシート）」
 2単位 春学期
 細川 達己

【授業科目の内容】

当科目では、Webページを作成できるHTML関連の知識を習得することを目的とする。ただし、いわゆる個人の趣味的なページの作成に必要な能力ではなく、企業や各種団体のページなど、より公的な意味を持つページを作っていく技術の習得に目標を置き、Web関連の技術と方法論について学んでいく。

このようなWebページでは、単に画面のデザインや内容だけではなく、サイトのトータルデザインや、さまざまな環境における使いやすさ、そして視覚障害者への対応など、個人のWebページをつくる以上に考慮すべき事項が多くあり、またそれらは必ずしも「技術的」なものではない。

当科目では、日吉ITCの使用権（アカウント）とkeio.jp教育支援システムの利用権を持っていることを前提としている。また、パソコンやWebブラウザに関しても、基本的な操作の知識を持っていることが望まれる。テキストエディタ（Windowsなら「メモ帳」でもよい）を使ってテキストファイルを作成することが必要である。

当科目の対象は、例えば次のような人である。

- ・Webページを作ったことはあるが、より実際のWebページの作り方に興味がある
- ・はじめてWebページを作ってみたいと思っており、HTMLの書き方に興味がある
- ・CGIなどを将来的に作ってみたいと思っている

なお、当科目では、各種プラグイン等のHTMLにあまり関係のない話題はあえてテーマから外し、HTMLとスタイルシートに話題を絞る。また、いわゆるHTMLエディタは使用せず、HTMLを直接テキストエディタで記述することで、HTMLの持つ意味を理解しながら学習していく。そして最終的にはHTMLエディタのようなツールをよりよく使えるようになることや、CGIを作成する基礎となるHTMLの知識を得ることを目的とする。

まずは「Webのコンテンツを書き、インターネット経由で公開する」ということが、従来の印刷による出版やワープロによる文章作成とどのように異なる性質を持つかという、もっとも根本的な問題からはじめ、その性質を踏まえてHTML（とスタイルシート）の使用法、活用法を学習していく。

【参考書】

- ・エ・ビスコム・テック・ラボ「XHTML+CSSスタンダード・デザインガイド」（毎日コミュニケーションズ、2005）
- ・神崎 正英「ユニバーサルHTML/XHTML」（毎日コミュニケーションズ、2000）

情報処理（wwwによる情報発信とサービス提供）
 「CGIによるサービス提供」 2単位 秋学期
 細川 達己

【授業科目の内容】

HTMLによる静的なWeb情報提供サービスに動的な要素を加えたのはCGIであり、他にもさまざまな動的コンテンツに関する技術が出て来た現在でも、もっとも重要な技術のひとつである。

CGIはインターネットに対して、計算機資源を用いたサービスを公開する技術であり、従来であればネットワークプログラミングの経験豊かなプログラマーが行なうことが多かったものである。このため、CGIを製作するには、ネットワークのセキュリティに対する一般的な知識も重要である。

また、情報処理（WWWによる情報発信とサービス提供）で取り上げたさまざまなHTMLに関する知識を前提として、より公的なサービスに適用できるCGIの作り方を取り上げていく。

CGIのプログラミング言語としては、基本的にPerlを使用する。WebサーバとしてApache httpdをインストールしたUnixサーバを利用し、その上で演習を行なう。

当科目は、情報処理（WWWによる情報発信とサービス提供）を前提とする。

対象となるのは、例えば以下のような人である。

- ・CGIの作り方に興味がある、プログラミングに興味がある
- ・Webサーバの管理をしたいと思っている、あるいはする予定がある
- ・ネットワークの管理者となる可能性がある

【参考書】

秋本 祥一、古川 剛「CGIプログラミング入門 第二版」（翔泳社、2002）

統計学

「データの記述・統計的推測・仮説検定」

2単位 春学期

赤林 由雄 秋山 裕
 河井 啓希 中妻 照雄
 宮内 環

【授業科目の内容】

- (1) 統計的記述（実際のデータをどのように捉えるか）
- (2) 統計的推測（標本から母集団の特徴をどのように推定するか）
- (3) 統計的検定（理論的主張をどのように検定するか）
 を学ぶことにより統計的分析の基礎を身につける。
 講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行なう。

【教科書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

統計学

「回帰分析・社会科学分野における応用・統計学の数理的基礎」

2単位 秋学期

赤林 由雄 秋山 裕
河井 啓希 中妻 照雄
宮内 環

〔授業科目の内容〕

- (1) 回帰分析（複数の変数の間の因果関係についての分析）を学ぶことにより、経済理論の実証の基礎を身につける。
- (2) 応用分析（様々な経済・社会現象を統計的に分析）を学ぶことにより、統計学を現実社会で幅広く応用する力を身につける。
- (3) 統計学の数理的基礎を学ぶことにより、より高度な統計的分析に備える。
- 講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行う。

〔教科書〕

第1回の講義において担当教員から指示がある。

〔参考書〕

第1回の講義において担当教員から指示がある。

専門教育科目

経済史

2単位 春学期

飯田 恭 崔 在東
中野 忠 松村 高夫
矢野 久

〔授業科目の内容〕

経済史の入門的講義を行う。三田で欧米経済史、日本経済史、アジア経済史等を学ぼうとしている学生に対して基礎的知識を与え、また、理論、政策を中心に、学ぼうとしている者に対しては、その視野を広めることを目的とする。講義の大意は下記の通りであるが、地域的には欧米を主に扱うことにする。

1. 経済史の方法と課題
2. 近代以前の社会と経済
3. 近代化の過程
4. 産業革命と工業化
5. 工業化の波及
6. 国際経済の展開
7. 現代の経済と社会

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

経済史

「アジア・日本経済史」

2単位 秋学期

小室 正紀 杉山 伸也
友部 謙一 古田 和子
柳沢 遊

〔授業科目の内容〕

15世紀～20世紀の中国・日本を中心とするアジアの経済史について入門的講義を行う。この講義の目的は、経済学を学習するために必要な歴史的視野の拡大と、日本経済史およびアジア経済史についての基礎的な知識を習得してもらうことにある。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

長岡新吉・太田和宏・宮本謙介編『世界経済史入門：欧米とアジア』ミネルヴァ書房（1992年）

マクロ経済学初級

2単位 春学期

酒井 良清 塩澤 修平
白井 義昌 瀬古 美喜

〔授業科目の内容〕

国民所得あるいは国民総生産の大きさは、国民の経済活動の水準を示す指標である。その高さや変動の有様が、雇用と物価を定め、国民の暮らし向きに影響を与える。国民総生産、失業率、物価などの指標を見ながらそれらの統御を目指す政策をマクロ経済政策という。「マクロ経済学初級」では、まず経済学の基本的な考え方を説明した上で初歩のマクロ経済学を説き、経済変動とマクロ経済政策の問題を考えるための基礎を与える。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ 入門経済学』東洋経済新報社（1999年）

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ マクロ経済学』東洋経済新報社（1995年）

N. グレゴリー・マンキュー著（足立他訳）『マンキュー マクロ経済学（1）入門篇・（2）応用篇』東洋経済新報社（1995年、1996年）

オリヴィエ・ブランシャール著『マクロ経済学』上・下 東洋経済新報社（1999年、2000年）

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）

瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）

マクロ経済学初級	2単位 秋学期
伊藤 幹夫	大平 哲
尾崎 裕之	山田 太門

〔授業科目の内容〕

「マクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きマクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「マクロ経済学初級」を参照のこと。

ミクロ経済学初級	2単位 春学期
長名 寛明	須田 伸一
丸山 徹	矢野 誠

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級」では、ミクロ経済学の入門的内容を講義する。消費者と生産者の選択が成立させる需要法則と供給法則を分析すると同時に、希少資源の配分問題を解く一つの経済メカニズムである「市場機構」の分析手法を学ぶ。これらの分析を通じて「市場機構」の機能に関する理解を深めることを目標とする。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

- (1) 入門書（経済学部以外の学生をも対象としたもの）
 - ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ ミクロ経済学』（第2版）東洋経済新報社（2000年）
 - 伊藤元重著『ミクロ経済学』日本評論社（1992年）
 - 矢野誠著『ミクロ経済学の基礎』岩波書店（2001年）
 - 矢野誠著『ミクロ経済学の応用』岩波書店（2001年）
 - 奥野正寛著『ミクロ経済学入門』（新版）日本経済新聞社（1990年）
 - 石井安憲・西條辰義・塩澤修平著『入門・ミクロ経済学』有斐閣（1995年）
 - 塩澤修平著『経済学・入門』有斐閣（1996年）
- (2) 中級（経済学部教養過程）
 - 福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）
 - 瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）
 - 西村和雄著『ミクロ経済学入門』（第2版）岩波書店（1995年）
 - 武隈慎一著『ミクロ経済学』新世社（1989年）
 - ハル・R・ヴァリアン著（佐藤隆三監訳）『入門ミクロ経済学』勁草書房（2000年）
- (3) 中級以上（経済学部教養過程あるいはそれ以上）
 - 奥野正寛・鈴木興太郎著『ミクロ経済学』岩波書店（1985年、1988年）
 - 根岸隆『ミクロ経済学講義』東京大学出版会（1989年）

Hal R. Varian, 『Microeconomic Analysis』（3rd ed.）（Norton, 1992.）

ミクロ経済学初級	2単位 秋学期
石橋 孝次	グレーヴァ香子
玉田 康成	中村 慎助

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きミクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「ミクロ経済学初級」を参照のこと。

経済思想の歴史

「経済思想史への誘い、古典派からマルクスまで」

2単位 春学期
池田 幸弘

〔授業科目の内容〕

古典派経済学からマルクスに至るまでの経済思想史。入門的講義。常に現代の問題を射程におきつつ、主として歴史的アプローチによりつつ、講ずる。

〔教科書〕

とくに指定しない。

〔参考書〕

適宜指示する。

経済思想の歴史

「経済学はどのように作られたのか」 2単位 春学期
伊藤誠一郎

〔授業科目の内容〕

なぜ経済学を学ぶのか、それをその学問の歴史をとおして探ることが本講の目的である。しかし、経済学がどのようにできてどのように形を変えていったのかは過去の経済学のテキストを見ていくだけでは理解することはできない。経済学はそれがなかったからこそ必要とされ、作り出されたのであり、経済学を作り出した人たちはそもそも経済学がない世界に生きていたのである。したがって本講では、経済学がまだ経済思想としか呼びえない頃にそれがどのような歴史的文脈のなかで論じられ、表現されてきたのか、そしてそれはどのような必要性の中で経済学として形を整え、人々に受け入れられていったのかをみていく。さらに、経済思想の歴史は単なる一つ学問の歴史ではなく、実際にさまざまな経済現象をみたその時代の人々がはじめは戸惑い、不安をいだき(17世紀)、やがてそれを解釈し、分析し(18世紀)、そして自らの社会の未来を予想する(19世紀)ようにさえなってきたことの表れであったことも描き出していきたい。

〔教科書〕

使用しない。必要な資料はその都度配布する。

【参考書】

講義内で必要に応じて指示する。

経済思想の歴史

「経済学の成立から古典派およびマルクスまで」

2単位 春学期
神代 光朗

【授業科目の内容】

1890年にマーシャルの『経済学原理』が登場するまでは、経済学はすぐれて政治経済学 (political economy) と言われ、理論・歴史・政策を統一した体系的な且つ政治的な学問としての特質と名称をもっていた。そして、この体系的統一の導きの糸こそが経済思想または歴史的ヴィジョンなのである。しかるに近年、とりわけこの10数年来、経済学の著しい専門・細分化の下で、現実世界の不安定に対応しきれない経済学の危機といわれる現状がある。本講義では、重商主義からはじまり、古典学派をへて、マルクスに到る経済思想の概略を講じ、経済学のそもそもの成り立ちを考え、それによって経済学という学問の特質とあり方を考察したい。

【教科書】

特にスタンダードな教科書はない。履修者は必ず出席をし、ノートを自らとることを心掛けてほしい。

【参考書】

内田義彦著『経済学史講義』(著作集第2巻)岩波書店または未来社(復刻版あり)
内田義彦著『社会認識の歩み』岩波新書
馬渡尚憲著『経済学史』有斐閣

経済思想の歴史

「日本の経済思想」

2単位 秋学期
小室 正紀 蔦木 能雄

【授業科目の内容】

この講義は、日本における経済思想史を扱う。学期の前半は、小室が担当し、江戸時代から明治初期までを扱い、後半は、蔦木が担当し明治時代から大正時代頃までを対象とする。

広く経済現象や経済問題についての考え方は、時代とともに変化するとともに、もちろん、国・地域・文化圏によっても相互に異なる。現代のように情報や知識が瞬時に世界を駆け回る時代においてさえも、国により経済についての考え方の違いはあるが、時代をさかのぼればさかのぼるほど、その違いは一層大きい。それは、それぞれの国や地域により社会形態が異なり、また特定の知性・学問・宗教などの伝統もあり、経済思想もその影響を受けざるを得なかったからである。そして、このような歴史的な相違は、単に過去の問題にとどまらず、現代の思想にも深く影響し、現実世界における経済思想の違いを形づくっていると言える。

そのような中で、日本の経済思想の特質を歴史的に把握することは、日本に特別な関心を抱く者の単なる興味を越えて、世界的に極めて大きな意義をもっている。従

来、経済思想の歴史は、欧米における展開を中心に論じられてきた。それは、近代資本主義が世界に先駆けて成長したのが欧米であったからである。しかし、現代世界は、欧米のみでなく、多くの文明圏に資本主義経済が存在し、またそれを目指している国々が至る所にある。そして、日本は、非欧米世界の中で、最も早く、近代資本主義へと進んだ国であった。日本が歴史的に経験した、固有の経済思想の展開と、欧米から導入された思想や経済システムとの軋轢・融合の経過は、単に日本のみの問題ではなく、多くの非欧米圏の経済思想の問題でもある。そして、このような非欧米の事例を考えることなしに、現代世界の経済をグローバルな視点で理解することもまた出来ないのである。

なお、講義を江戸時代から始めるのは、その時期に、日本独自の経済社会の始動とともに、中国の思想の影響をうけつつも、日本独自の経済思想が形成されてくるからであり、それが、明治以降の経済思想の隠れた原型をなしていると考えられるからである。また明治初期については、小室が主に江戸時代から見る視点で扱い、蔦木が、明治以降の出発点としての視角から扱い、両者が取り上げることになる。講義の最後は、大正期ないし昭和恐慌の開始前に置かれる。これは、その時期をもって、「日本の近代化」に一応の区切りがつけられると考えるからである。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

逆井孝仁・藤原昭夫他編『日本の経済思想四百年』日本経済評論社(平成12年)
テッサ・モリス・スズキ『日本の経済思想』岩波書店(平成3年)
杉原四郎・長幸男編『日本経済思想史読本』東洋経済(昭和54年)

経済思想の歴史

「経済思想史への招待」

2単位 秋学期
佐藤 方宣

【授業科目の内容】

この科目では限界革命以降の経済思想の歴史を講義します。新古典派や制度学派の興隆、ケインズ『一般理論』の登場からその批判へ...と展開していくプロセスを、単線的な理論の発展史としてではなく、独占・寡占の進展、大恐慌・ニューディールの登場といった経済社会のダイナミックな展開と共に、広く思想的に扱います。それぞれの時代において人々がどのような問題に直面していたのか、そして個々の経済学説・経済思想がそれに対しいかなるかたちで解答しようとする試みであったのか、という点を中心に学んでいただければと思います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

必要に応じて指示します。

経済思想の歴史

2単位 秋学期
丸山 徹

〔授業科目の内容〕

19世紀後半 - 20世紀前半の経済学が、革命や戦争などの政治的過程、学問を支える哲学・数学の動向、あるいはこの時代の文学などの文化を相互に接触・干渉しながら変貌をとげてゆくありさまを講述する。聴講者の読書会生活の道案内となるような講義にしたいと思っている。〔体系的な経済学の理論史については、三田の経済学史 においてこれを述べる。〕

経済数学 [05学則] / 経済数学 A [99学則]

「経済学のための微分積分」 2単位 春学期

厚地 淳 桂田 昌紀
西岡久美子 宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

この科目の目的は1年生の「微分積分」(履修タイプ)と「数学概論」(履修タイプ)に引き続き多変数の微分とその応用を学ぶことにある。

1. 連続関数の性質 (開集合、閉集合)
2. 多変数関数の微分 (合成関数の微分、平均値の定理、テーラーの定理)
3. 多変数関数の極値問題 (行列の符号と極値)
4. 等式条件の下での極値問題 (陰関数定理、ラグランジュ乗数法 (必要条件))

履修タイプ の学生に対する注意

「数学概論」に合格していない学生の履修を妨げる理由はないが、推奨はできない。また「線形代数」を履修しておくことを強く勧める。

関連する講義について

時間の制限もあって、積分を数えることはできないが、積分を学ぶことは経済学部生にとってますます必要になっている。統計学をちゃんと理解する上でも積分は必須である。三田にいて、計量経済学や確率・統計を学ぶ上でも積分の基礎は不可欠であろう。そこで、2年生諸君には「統計学」を春学期に学ぶと同時に総合教育科目「積分入門」(2単位)を学ぶことを推奨する。また「解析学入門」では微分、積分ともに厳密に学ぶことができる。

最近、金融機関では確率論をもとにしたファイナンスを多用するようになっている。興味がある諸君は、総合教育科目「ファイナンス数学」を受講するとよいだろう。「ファイナンス数学」では「経済数学」(99学則は経済数学 A、B)の応用となる内容を含む。

「経済数学」(99学則は経済数学 A、B)の内容の経済学者による視点からの解説を含む総合教育科目「経済数学入門」が開講される。興味がある諸君は多数受講されることを望む。

単位について

秋学期に開講する「経済数学」(99学則は経済数学

B)」と両方を履修してもよい。春学期、秋学期の「経済数学」(99学則は経済数学 A、B)」を両方合格して、3、4年生で理論経済学、計量経済学を学ぶ数学的な準備が整うことに注意しよう。

〔教科書〕

「経済数学」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

経済数学 [05学則] / 経済数学 B [99学則]

「経済学のための線形代数」 2単位 秋学期

厚地 淳 桂田 昌紀
西岡久美子 宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

この科目の目的は1年生の「線形代数」に引き続き、線形代数のさらに深い内容を学ぶことにある。1年生の「線形代数」では、行列、ベクトルの演算、線形方程式の解法(掃き出し法)、線形独立性、行列式の内容を学んだ。計算が中心で論理的な構成に関しては少しおろそかになっている。そこで、この科目では線形独立性、部分空間とその基底、次元などの解説を行った後に、固有値問題とその応用に関して詳しく解説する。

1. 数ベクトル空間と線形写像 (部分空間、基底、次元、線形写像)
2. 内積空間 (グラム・シュミットの直交化法、直交行列、直交補空間、最小自乗法)
3. 行列の対角化 (固有値、固有ベクトル、対角化、直交行列による対角化、2次形式、対称行列の符号)

履修タイプ の学生に対する注意

この講義を履修する前に、必ず、「線形代数」を履修することが必要である。

関連する講義について

総合教育科目「データ解析入門」、「データ解析」では、線形代数が統計学と一緒に応用されている内容を学ぶことができる。経済学部でなぜ線形代数を学ぶのか、その必要性がこれらの講義で理解できるであろう。

最近、金融機関では確率論をもとにしたファイナンスを多用するようになっている。興味があるものは、総合教育科目「ファイナンス数学」を受講するとよいだろう。「ファイナンス数学」では「経済数学」(99学則は経済数学 A、B)」の応用となる内容を多く含む。

「経済数学」(99学則は経済数学 A、B)」の内容の経済学者による視点からの解説を含む総合教育科目「経済数学入門」が開講される。興味がある諸君は多数受講されることを望む。

単位について

春学期・秋学期の「経済数学」(99学則は経済数学 A、B)」を両方合格して、3、4年生で理論経済学、計量経済学を学ぶ数学的な準備が整うことに注意しよう。

【教科書】

「経済数学」(慶應義塾大学経済学部)

【参考書】

授業中に指示する。

経済数学 [05学則] / 経済数学 [99学則]
2単位 秋学期
内海 幸久

【授業科目の内容】

近年、社会科学においても数学やコンピューターが次々と取り入れられ、数理的な手法は社会科学を分析する上で必要不可欠な道具となっています。この講義では、数理的な分析手法の理解を深めつつ、経済分析に必要なとされる基本的な手法の習得を目指します。

【教科書】

高橋渉著「現代解析学入門」(近代科学社、1990/04月)

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

経済数学 [05学則] / 経済数学 [99学則]
「最適化とゲームの数理」 2単位 秋学期
中山 幹夫

【授業科目の内容】

この講義では、経済学に必要な数理的思考と分析力を身につけ、最適化理論とゲーム理論の初歩について学びます。

【教科書】

特に指定せず、適宜、講義資料を配布します。Webサイト

<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakayama/gakubu.html> からダウンロードできるものもあります。

【参考書】

より詳細な数学的基礎の勉強には、たとえば岡田章著『経済学・経営学のための数学』東洋経済新報社(2001年、3200円)などがよい。

経済と環境
「自然の人間のかかわり」 2単位 春学期
細田 衛士 青木健一郎

【授業科目の内容】

本講義は、環境問題を自然科学および社会科学(経済学)の目で眺め、問題が一体どこにあるのか、問題解決のために現象をどのように理解したらよいかを提示することを目的とする。環境問題と一口にいってもその現象形態・内容は多様である。もとより、すべての環境問題を語りつくすことはできないので、我々が学生諸君と共有したいと思っている問題を講義の中で提示したい。環境問題に的確に対処するためには、既成概念にとらわれることのない見方が必要である。履修を希望する学生には、柔軟な思考をすることを求めたい。現代のみでなく、歴史の中の環境問題にも目を留め、環境問題がいつの時

代にもどこにでもあったことを明らかにする。歴史の中の環境問題と対比することによって現代の環境問題の特徴を明確にすることも本講義の一つの目的である。とりわけ身の回りの環境問題にスポットをあて、環境と経済のかかわりについて解き明かして行きたい。

【参考書】

授業中に提示する。

経済と環境
「経済活動を取りまく多様な環境」 2単位 春学期
武山 政直 松原 彰子

【授業科目の内容】

経済活動をとりまく自然、社会、情報の分野の諸環境に注目し、それらとの関連性において経済の諸問題を考える視座と視点を獲得する。

【教科書】

特に指定しません。講義資料を配布します。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

経済と環境 2単位 秋学期
大沼あゆみ 清水 健一

【授業科目の内容】

今日の環境問題を、経済学と自然科学の立場から概観する。

【教科書】

[大沼担当] ヒール著『はじめての環境経済学』(細田・大沼・赤尾訳 東洋経済新報社)

【参考書】

授業中に適宜指示する。

経済と環境 2単位 秋学期
河田 幸視 福山 欣司

【授業科目の内容】

(福山担当)

1. 地球環境の成り立ち
2. 生物多様性とは何か
3. 生物多様性の危機
4. 生命を支える生態系
5. 生態系に対する人為的な攪乱
6. 自然環境の未来

(河田担当)

1. 自然環境と経済学
2. 自然環境の価値の計測(2回)
3. 自然資源の持続的な利用(3回)

【教科書】

教科書は使用しない。

【参考書】

(福山担当)

地球白書2005-06(ワールドウォッチ研究所 家の光協会発行)

(河田担当分)

授業中に指示する。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」 2単位 秋学期
秋山 裕

〔授業科目の内容〕

コンピュータの発達および普及に伴い、経済現象を統計的に分析することは実社会でもごく当たり前の時代になってきました。計量経済学は、経済現象を統計的に分析するにあたって生じる様々な問題を解決していく研究分野です。計量経済学概論は、統計学を履修した学生諸君を対象とした計量経済学の入門コースです。この秋山クラスは、経済現象として国際経済分野の例を中心として取り上げます。

講義を受けるだけで統計的分析を身に付けるのは難しいため、実際の経済データを用いた演習を行うことが不可欠となっています。そのため、講義においてはコンピュータを用いた分析の解説も行います。コンピュータでは、MS Excel(表計算ソフト)およびTSP(統計ソフト)を利用します。

本講義は入門コースなので、複雑な数式の展開は避け、図を用いた直感的理解を重視し、大変な計算はコンピュータに任せて進めていきます。

〔教科書〕

講義資料をプリントで配布します。

〔参考書〕

第1回目の講義において指示します。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」 2単位 秋学期
河井 啓希

〔授業科目の内容〕

計量経済学(Econometrics)とは、観察可能な経済データからその資料の発生メカニズムを経済理論にもとづいて推測する方法を示すものである。一般に経済分析に登場するデータは自然科学のように条件をよくコントロールされた実験データではないため、経済分析固有の統計的問題がおこりうる。この授業では、統計学で学んだ知識を確認しながら、経済分析固有の問題を実例を交えて紹介していく。

〔教科書〕

浅野哲・中村二郎『計量経済学』有斐閣

〔参考書〕

山本拓『計量経済学』新世社
菘谷千鳳彦『計量経済学(第3版)』東洋経済

計量経済学概論

2単位 秋学期
田中 辰雄

〔授業科目の内容〕

計量経済学の基礎を講義する。2年生の段階では知識

を広げるより、基礎的分析手法を確実に身につけた方がよいので、話題を絞ってトレーニングを行う。2回に1回はパソコンを使って演習を行い、受講生はデータを打ち込み、回帰分析を走らせるという作業を自ら行うことになる。統計解析のためのソフトは、エクセルを使う予定である。したがって、エクセルの操作に慣れておいてもらおうと講義の理解がスムーズだろう。

前提とする知識は、学部の統計学の前期の知識だけである。講義の中で数式で説明した事は、そのあとグラフで補完して直感的な理解が得られるように工夫するので、数式の苦手な諸君も意欲さえあれば理解できるであろう。ただし、自分でパソコンを操ることを厭わないという決意だけはしておいていただきたい。成績は2回課すレポートを中心につける。計量分析は経済理論の実証という意味もあるが、それ以外に実世界に出てから使う場面が多い手法なので、この機会に是非覚えておく事をおすすめする。景気予測、支店の売上予測、マーケティング、コンサルティングなどの分野で計量分析が使われることは多い。将来留学を考えている人、国際機関に出て働きたい人も学んでおいて損はないだろう。「数字に強い」というのは将来の諸君の大きなセールスポイントになる。

なお、教室で同時に使えるパソコン台数に限りがあるため、受講人数に制限(100名強)がかかる。これを越える希望者が出た場合は、春学期冒頭に簡単なレポートを課して受講者を選ぶ予定である。掲示に注意されたい。

社会問題

2単位 春学期
柳沢 遊

〔授業科目の内容〕

本講義では、明治末期(1910年代)から太平洋戦争期(1940年代)における日本の社会問題に焦点をあて、知識人の社会問題認識および、社会問題(病理)の解決方法について、同時代の歴史的文脈に即して講述する。

〔教科書〕

とくに指定しない。

〔参考書〕

- ・林宥一『「無産階級」の時代』青木書店、2000年
- ・松野尾裕『日本の近代化と経済学』日本経済評論社、2002年

社会問題

2単位 秋学期
金子 勝

〔授業科目の内容〕

今日の日本の経済社会の状況を、時代的特徴を明らかにしながら講義したい。その中で、バブル崩壊と二極化現象、膨大なフリーターの存在と希望格差社会、出生率の低下と少子高齢社会の到来、年金や介護制度の動揺、家族とジェンダー問題、地域社会の衰退と格差の拡大など、現代日本社会が解決しなければならない社会問題の全体像に迫っていきたい。

【参考書】

金子勝「セーフティネットの政治経済学」ちくま新書
 金子勝「長期停滞」ちくま新書
 金子勝「経済大転換」ちくま新書

マルクス経済学 2単位 春学期
 北村 洋基 神代 光朗
 延近 充

【授業科目の内容】

カール・マルクスの主著『資本論』は、資本主義社会の経済的運動法則を解明することを目的として、資本主義経済の特質を総体的に明らかにした著書である。同書が出版されて1世紀以上過ぎたが、資本主義のメカニズムを構造的・体系的に明らかにした著書として、今日においてもなお有効性をもっている。

もちろん今日の資本主義はマルクスの時代とはかなり変化したところもある。「マルクス経済学」は資本主義の変化をも踏まえながら、現代資本主義を総体として把握するとともに、現代経済の諸問題を批判的に解明する理論的基礎を提供することを目的としている。

【教科書】

担当者が個別に指定する。

【参考書】

担当者が個別に指定する。

マルクス経済学 2単位 秋学期
 北村 洋基 駒形 哲哉
 延近 充

【授業科目の内容】

「マルクス経済学」における叙述を参照されたい。

【教科書】

担当者が個別に指定する。

【参考書】

担当者が個別に指定する。

解析学入門
 「距離空間と位相構造」 2単位 春学期
 西岡久美子

【授業科目の内容】

解析学入門 において、確率論、ファイナンス数学などの解析学的色彩の強い分野を学習する際に必要と考えられる、位相や多変数解析学に関して基本的なことを学習する。また、解析学、(三田)のための基礎科目でもある。

解析学入門 において解説される、距離空間や位相といった概念は解析学を学ぶ際の言葉であり、早い時期にこれを習得することで、以後の解析学の学習を確実なものにすることができる。数学における証明に慣れる良い機会でもある。

「入門」という名が付いているが易しい講義という訳ではなく本格的な数学の講義である。

【教科書】

「解析学入門」(慶応義塾大学経済学部)

解析学入門
 「多変数関数の微分、リーマン積分」 2単位 秋学期
 西岡久美子

【授業科目の内容】

「解析学入門」において、多変数関数の微分積分について、様々な分野で使われる基本的な結果を学ぶ。いずれも、理論的側面を強調していく。この講義を履修するには「解析学入門」を履修していることが必要である。

【教科書】

「解析学入門」(慶応義塾大学経済学部)

確率論入門 2単位 春学期
 厚地 淳

【授業科目の内容】

近年、金融業務のリスク管理のために確率論を用いる手法が盛んに用いられている。「金融工学」という言葉を諸君は聞いたことがあるだろうが、金融工学を学ぶためには、それなりに数学の「修行」が必要である。そのために、経済学部2年生に対して開講するのが「確率論入門」、「」および「解析学入門」、「」である。東京工業大学、一橋大学などでは、すでに金融工学の大学院が開設されているが、この科目はその進学をサポートすることをその目的の一つとしている。もちろん、金融工学に興味を持たないものも、確率的な発想は知的に生きるための一つの知恵であるので、履修する価値は十二分にある。

確率に関しては、「統計学」、「」でも、初歩的なことを学ぶことができるが、それでは将来、金融工学を学ぶために不十分であろう。また、「統計学」、「」では、数学的に厳密な構成がなされていない部分が多いが、この講義では完全とは言わないが、それなりに数学的な論理性を重視して教えるつもりである。その意味で、「統計学」、「」の別の意味での理解を促す役割も果たしたいと考えている。多くの計算実例を与えるので、「統計学」、「」の演習ともなるであろう。

講義の内容は常に具体的なモデルや実例を多く用いて理解を促すつもりである。そのために、多くの計算練習をしてもらう予定である。

【参考書】

P.ブレモー著『モデルで学ぶ確率入門』Springer東京
 コルモゴロフ他著『コルモゴロフの確率論入門』森北出版 他 講義の時に述べる

確率論入門 2単位 秋学期
 厚地 淳

【授業科目の内容】

この科目では、前期の「確率論入門」に引き続き、確率論の初歩を学ぶ。前期では離散的なモデルを多く扱

うが、後期では連続的なモデルを多く扱うこととする。
後期だけの履修は望ましくない。数学は積み上げていくものであり、一夜にして理解することは不可能だからである。

【参考書】

P.ブレマー著『モデルで学ぶ確率入門』Springer東京
コルモゴロフ他著『コルモゴロフの確率論入門』森北出版 他

簿記a [05学則] / 簿記b [05学則] /
簿記 [99学則]

「財務諸表の技術的基礎」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年 李 精

【授業科目の内容】

複式簿記とは、企業の行う経済活動を帳簿に複式記録することによって、企業の財政状態と経営成績を明らかにするものである。財政状態は貸借対照表（バランスシート）、経営成績は損益計算書によって示されるが、これらは複式簿記の手続きを経て誘導的に作成される。貸借対照表や損益計算書は企業の決算書類であるが、財務諸表と呼ばれる。

本講義は、複式簿記の基礎知識を提供するものであり、決算に至るまでの一巡の簿記手続きの理解を図ることを目的としている。

【教科書】

新田忠誓編著『エッセンス簿記会計』森山書店
なお、演習用に問題集を使うことも予定している。

簿記a [05学則] / 簿記b [05学則] /
簿記 [99学則]

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年 高久 隆太

【授業科目の内容】

簿記は、「帳簿記入」の略称と言われ、企業の日々の経済活動を勘定科目と貸借記入原則によって記録・計算・整理し、その結果として財産計算と損益計算とを同時に行う記録システムである。

本講義では、複式簿記の基礎から決算手続きに至るまでを学習する。簿記には、固有の専門用語やルールがあり、初学者にはとっつきにくさがあるが、練習問題を通じて計算に慣れることで理解を図る。

【教科書】

初回の講義で説明する。

【参考書】

初回の講義で説明する。

総合教育科目

経済数学入門

2単位 春学期
伊藤 幹夫

【授業科目の内容】

この講義では、経済理論で非常によく用いられる数学の基礎を、例を多く引きながら解説する。ミクロ経済学初級に登場する例を中心に取り上げる。

授業計画：

1. 序
 - (a) 経済学と数学
 - (b) 最大化問題と経済理論
 - (c) 限界概念と微分概念
 - (d) 接点条件
2. 線形代数と解析学の基礎
 - (a) ベクトル
 - (b) 行列と行列式
 - (c) 線形写像
 - (d) 関数の連続性
 - (e) 1変数関数の微分
 - (f) 多変数関数の微分
 - (g) 解析学の応用
3. ラグランジュの方法（古典的条件つき最大化）
 - (a) 問題設定
 - (b) 制約条件
 - (c) 接点条件
 - (d) 経済学上の例：消費者需要・生産者供給
4. クーン＝タッカーの定理（現代的条件つき最大化）
 - (a) 端点解の意味
 - (b) 制約想定
 - (c) 経済学の例
5. 条件付き最大化問題と経済学
 - (a) 比較静学
 - (b) 等式制約と不等式制約
 - (c) 影の価格と見えざる手
 - (d) 包絡線定理
 - (e) 経済学上の例：長期・短期費用関数その他
 - (f) 最大化のための二階の条件
 - (g) 大域的最大と局所的最大
 - (h) 経済学上の例：消費者需要の理論その他

【参考書】

神谷和也・浦井憲(1996)『経済学のための数学入門』, 東京大学出版会

経済数学入門

2単位 秋学期
伊藤 幹夫

【授業科目の内容】

この講義では、経済理論で非常によく用いられる数学の基礎を、例を多く引きながら解説する。ミクロ経済学初級に登場するものに加えて、ファイナンスや計量経済学に関連した例を取り上げる。具体的には、

授業計画：

1. 時間を通じての最大化問題：最大値原理入門

- (a) 問題の設定
- (b) われわれの定式化の一般性
- (c) 最適制御の必要条件：最大値原理
- (d) 最大値原理の意味
- (e) 連続型モデルの最大値原理
- (f) 経済学上の例：成長理論
- (g) 経済学上の例：ライフサイクル仮説

2. 経済学のための確率論

- (a) 確率とは
- (b) 確率変数と確率分布
- (c) 期待値
- (d) 不確実性と経済行動
- (e) ファイナンスへの応用
- (f) 統計学と確率論

【参考書】

神谷和也・浦井憲(1996)『経済学のための数学入門』、東京大学出版会

積分入門

2単位 春学期

池田 薫

【授業科目の内容】

この講義では経済学部生にとって必要と思われる積分のエッセンスについて解説する。最近の経済学の中で確率論がよく使われるようになってきている。社会にでると金融派生商品(デリバティブ)を理解するには、確率的なものの考え方が必須である。そのためにも、基礎となる積分を学ぶことは諸君の一生の財産となるに違いない。経済学部では統計学、が必修であり、積分を理解することは統計学を理解する上でも重要である。

講義を受ける前提として、高校2年生までに学ぶべき積分を仮定する。高度な微分法を学んでいないことを考慮しながら、まず1変数の積分のイメージをしっかりと教える。その後、様々な公式、部分積分、変数変換の公式を教える。さらには、多重積分を実践的に教える。すなわち、2重積分め定義を教えた後、Fubiniの定理、変数変換の具体的な公式(線形座標変換、極座標変換など)について解説する。その中で、統計学を学ぶ上で必要な積分の計算についても解説する。

【教科書】

講義の冒頭で指定する。

【参考書】

講義の冒頭で指定する。

データ解析

「線形モデルとデータ」

2単位 春学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。ここでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要があり。その場合、収集されたデータを分析

するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、説明変数と被説明変数が想定される場合のデータ解析について講義する。受講者が、

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析

「特徴の抽出」

2単位 秋学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。ここでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要があり。その場合、収集されたデータを分析するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、多変量データが得られた場合に、それを要約する場合のデータ解析について講義する。受講者が、

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門

「データを探る」

2単位 春学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

ある事柄についてデータをもとに分析する機会が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、1変数の場合のデータ解析について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) データから基礎的な統計推論が可能となる
- (2) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よ

りダウンロードできます。

データ解析入門

「データによるモデル構成を行うには」 2単位 秋学期
今泉 忠

〔授業科目の内容〕

ある事柄についてデータをもとに分析する機会が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、2変数の場合について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 2変数間の関係について、仮説構築、検討、評価を行うことができる

〔教科書〕

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

ファイナンス数学

「確率論の基礎と金融商品の価格決定」 2単位 春学期
戸瀬 信之

〔授業科目の内容〕

金融商品の開発にあたって確率論的な手法が近年重要になってきている。この科目と秋学期で開講される「ファイナンス数学」では、その入門として「金融工学」の初歩について解説する。しかも、微分積分と線形代数を前提とする以外には、確率論・統計などの数学的な前提知識を準備しながら解説を進める。

前期では、ポートフォリオ理論について解説するとともに、後期で用いる確率論の準備をする予定である。時間が許せば、2項モデルと呼ばれる金融派生商品の価格モデルの極限としてのブラック・ショールズモデルについて解説する予定である。

〔教科書〕

指定しない

〔参考書〕

伊藤幹夫・戸瀬信之訳「デリバティブの数学入門」(共立出版)

戸瀬信之「経済数学」(新世社)

ファイナンス数学

「確率論の基礎と金融商品の価格決定」 2単位 秋学期
戸瀬 信之

〔授業科目の内容〕

金融商品の開発にあたって確率論的な手法が近年重要になってきている。この科目と春学期で開講される「ファイナンス数学」では、その入門として「金融工学」の初歩について解説する。しかも、微分積分と線形代数を前提とする以外には、確率論・統計などの数学的な前

提知識を準備しながら解説を進める。

後期では、前期の準備のもとで最も単純な金融派生であるヨーロッパ・オプションの価格理論に対するブラック・ショールズのモデルについて解説する予定である。

〔教科書〕

指定しない

〔参考書〕

伊藤幹夫・戸瀬信之訳「デリバティブの数学入門」(共立出版)

戸瀬信之著「経済数学」(新世社)

衰谷千鳳彦著「よくわかるブラック・ショールズモデル」(東洋経済新報社)

伊藤幹夫・戸瀬信之著「経済学とファイナンスのための数学(仮題)」(共立出版、2006年秋出版予定)

3 法学部

数学・統計・情報処理科目

基礎数学

「初等整数論（ユークリッドの互除法と連分数）」

2単位 春学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

2以上のすべての正の整数は有限個の素数の積に分解され、その分解に現れる素数は積の順序を除いて一意的に定まるというのが、初等整数論の基本定理と呼ばれるものである。この講義の目標の1つは、この定理の成り立つ根拠を明らかにすることである。いままではこの定理は至極当然のこととして扱ってきたが、2次体の整数に関してはこの定理は成り立たない。このような例についても述べることにする。

ユークリッドの互除法、1次不定方程式、連分数の3つの事項は密接に関連している。これらの関係を述べるのが、この講義の目標の2つ目である。一般に無理数の小数展開は複雑、不規則（循環小数でないという意味）である。しかしながら無理数の連分数展開は単純な形をしている。これらについても述べる。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

初等整数論 H.スターク 著 芹沢正三・安藤四郎 共訳 現代数学社

整数論周遊 片山孝次 著 現代数学社

基礎数学

「初等整数論（整数の合同と平方剰余の相互法則）」

2単位 秋学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

初等整数論では合同という概念はきわめて基本的である。2つの整数 a, b を正の整数 n で割ったとき余りが同じであれば a と b は n を法として合同であるという。この考えは数学の世界だけでなく日常的にも使われている。たとえば、1週間を7日とし、4と18を7で割れば余りが4であるから、4と18は7を法として合同である。それで4日と18日には同じ曜日を当てるのである。この合同という考えをきちんと理解してもらうのが本講義の目標の1つである。

x を変数とし、 a, n を整数とするとき、 x の平方と a が n を法として合同であるという2次合同式が整数解を持つとき、 a は法 n の平方剰余であるという。整数解を持たないとき、平方非剰余という。重要なのは n が奇素数（3以上の素数） p のときである。この場合平方剰余に関して重要ないくつかの定理がある。その1つが平方剰余

の相互法則である。これらの定理の応用として、いくつかの初等整数論の定理が証明される。講義の後半でこれらのことについて説明をする。平方剰余の相互法則をきちんと理解してもらうのが、本講義の2つ目の目標である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

初等整数論 H.スターク 著 芹沢正三・安藤四郎 共訳 現代数学社

整数論周遊 片山孝次 著 現代数学社

基礎統計学

2単位 春学期

中野 文平

〔授業科目の内容〕

コインを何回か振ったとき表が出る回数は、およそ $1/2$ と予想されるが、実際、10回程度振ったとき、いつも振った回数の $1/2$ だけ表が出るとは限らない。しかし、多数回振れば、表が出る回数は、 $1/2$ にだんだん近くなるであろう。このような現象は、私たちの身の回りにいろいろあり、たくさんのデータがあって初めてその様子が分かる現象である。ここでは、多数あるデータの取り扱いの基礎を解説する。

1章 順列・組み合わせ

- (1) 順列
- (2) 組み合わせ
- (3) 二項定理と組み合わせ

2章 確率

- (1) 専門用語と記号
- (2) 和の法則
- (3) 乗法定理
- (4) 余事象の定理
- (5) ベルヌイ試行
- (6) メレの臨界値

3章 確率変数と確率分布

- (1) 離散型確率変数
- (2) 連続型確率変数
- (3) 確率の平均
- (4) 分散・標準偏差
- (5) 確率変数の変換

4章 代表的な確率分布

- (1) 二項分布
- (2) 二項分布の平均・分散・標準偏差
- (3) 大数の法則
- (4) 正規分布
- (5) 標準化正規分布
- (6) 標準化正規分布とその応用

5章 データの整理

- (1) 頻度分布

- (2) 頻度分布表
- (3) 累積分布関数
- (4) 資料の代表値

【教科書】

勝野恵子著『確率・統計入門』八千代出版

【参考書】

福井幸男著『知の統計学』共立出版

基礎統計学

2単位 秋学期
中野 文平

【授業科目の内容】

基礎統計学 では確率の基礎とデータ整理まで学んだので、後期では体重と身長の関係などの扱い方、シミュレーション実験の基礎としての乱数の発生と使い方、標本調査の話などを解説する。基礎統計学 を学んでいることを前提として進める。

6章 相関関係

- (1) 共分散
- (2) 相関関係
- (3) 相関係数
- (4) 回帰直線

7章 確率現象のコンピュータシミュレーション

- (1) 乱数とは
- (2) 一様乱数
- (3) 正規乱数
- (4) 二項乱数
- (5) Excelを用いた様々な乱数の発生と分布の作成

8章 母集団と標本

- (1) 母集団
- (2) 標本調査
- (3) 確率変数の一次結合の平均と分散
- (4) 中心極限定理

9章 推定

- (1) 点推定
- (2) 不偏推定量
- (3) 母平均の区間推定
- (4) t分布
- (5) 母比率の区間推定
- (6) カイ自乗分布
- (7) 母分散の区間推定

10章 仮説検定

- (1) 帰無仮説
- (2) 片側検定と両側検定
- (3) 平均値の検定

【教科書】

勝野恵子著『確率・統計入門』八千代出版

【参考書】

福井幸男著『知の統計学』共立出版

数学

「微分法と積分法」

2単位 春学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

連続型の変数により記述される量があるとき、それが変化していく状態を調べるのに微分法は欠くことの出来ない道具である。微分法は曲線に接線を引くという問題から生じたが、力学における速度や加速度の表現に用いられて以来その重要性が認められた。

長さ、面積、体積などを求めるいわゆる求積法は、ずいぶん昔からいろいろと考えられている。17世紀にニュートンとライプニッツにより微分法が発見される以前の求積法では、個々の場合に工夫が必要であった。ところが、微分法の逆算法を用いれば求積問題が統一的に解けることがわかり、それによって求積法が長足の進歩を遂げた。微分法の逆算法が積分法であり、積分法は求積問題だけでなく多くの問題を解決するのに利用される。(この文章は下記5の教科書第3章からの引用です。)

微分法と積分法について基本的な力を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

文科系の数学(第4版)渡部隆一 / 深見哲造 共著
森北出版

【参考書】

解析入門(岩波全書)田島一郎 著 岩波書店

数学

「線形代数学(ベクトル、行列式と行列)」

2単位 秋学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

社会科学における数学的モデルでは、1つの数値でなく、いくつかの数値の組によって表現される量がしばしば登場する。そのような量はベクトルで表し、日常接している平面や空間に当てはめて考えると直観的でわかりやすい。ベクトルの項では、まず平面ベクトルと空間ベクトルについて学び、それを用いて基本的な図形の方程式やその性質を調べることにする。

ベクトルにつづいて、連立1次方程式、行列式、行列についての基礎的な知識を順を追って学んでいく。直線や平面の方程式は変数についての1次式で表される。多くの変数の間の1次式で表されるような関係は、それらの変数の間の関係を考える際に基礎的で重要なものである。線形代数を英語ではlinear algebraというが、linearには1次式の1次という意味もある。線形代数の知識が数学のいろんな場面で使われるのも当然といえる。(この文章は下記5教科書第4章、第5章からの引用です。)線形代数について基本的な力を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

文科系の数学(第4版)渡部隆一 / 深見哲造 共著

森北出版

【参考書】

線形代数入門 光 道隆 著 培風館

数学

「行動科学における数学(集合論)」 2単位 春学期
松岡 勝男

【授業科目の内容】

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」

などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

【教科書】

特に指定しません。

数学

「行動科学における数学(エントロピーとマルコフ連鎖)」 2単位 秋学期
松岡 勝男

【授業科目の内容】

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」

などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

【教科書】

特に指定しません。

統計学

「データの視覚的呈示法と読み取り方」 2単位 春学期
広田すみれ

【授業科目の内容】

IT社会において、数量的なデータの理解やコンピュータによるその計量的分析は必須の教養となりつつある。統計学はその基礎となるものだが、文系にとっては

数学の一分野としての印象が強く、敬遠しがちなことも事実である。そこで、本講義は「文系のための」社会科学の実証的研究の基礎としての統計学の講義を行う。

内容は法学部の学生が調査・分析を行う際の入門的知識として、データ収集とデータの基本的なまとめ方を中心に講義を行う。また雇用や犯罪などの社会統計、マスメディアの記事などを例に、様々なデータの読み取り方やその嘘、図表による効果的呈示法など、データの読み方・記述の基礎を視覚的に示しながら講義する。

【教科書】

広田すみれ(2005)「読む統計学 使う統計学」慶應義塾大学出版会

【参考書】

上田尚一(1988)「統計グラフの賢い見方・作り方」講談社ブルーバックス

統計学

「データの記述と予測、推測の基礎」 2単位 秋学期
広田すみれ

【授業科目の内容】

インターネットの普及により、数値で表現された定量的情報を直接入手できる機会が大幅に増大し、この莫大なデータをコンピュータにより適切に処理・理解し、有効利用する能力の重要性も飛躍的に高まっている。本講義では、人口・雇用・環境などの社会統計や国際統計を利用しながら、調査や実験において収集されるデータを記述・理解する方法について、統計学 よりやや踏み込んで、具体的な手法を説明する。またコンピュータでこれらの手法を実行する方法についても紹介する。受講生諸君には「データを解読する楽しみ」を知ってほしい。

【教科書】

広田すみれ(2005)「読む統計学 使う統計学」慶應義塾大学出版会

【参考書】

鳥居泰彦(1994)「はじめての統計学」日本経済新聞社
福井幸男(2001)「知の統計学1 第2版」共立出版

統計学

「推測統計学の基礎」 2単位 春学期
大森 貴秀

【授業科目の内容】

統計学の基礎知識(記述統計・確率分布)を持つ学生を対象に、推測統計の論理と基本的な統計検定の手法を解説します。ばらつきを持ったデータを用いてどのようにして事象の白黒を判断できるのかという検定の論理を理解し、実際の個々の検定手法の使い方を実習を通じて身につけてもらうことを目指します。

【教科書】

なし

【参考書】

P.G.ホーエル著、「初等統計学」(培風館、1981、1650円)

白旗慎吾著「統計解析入門」(共立出版、1992、2400円)

その他、講義内で適宜紹介します。

統計学

「多変量解析の基礎」

2単位 秋学期
大森 貴秀

〔授業科目の内容〕

統計検定の基礎知識を持つ学生を対象に、より複雑で多数のデータに対しておこなう多変量解析の主な手法について、その論理を解説し、Excelを用いて計算の実習をおこないます。また、SPSSによる実習を通して、どのようなデータがあるときに、どの分析法を選び、どうやって分析をおこない、どのように結果を解釈するのかについても学んでもらいます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

田中豊・脇本和昌著、「多変量統計解析法」(現代数学社、1983、2900円)

その他、講義内で適宜紹介します。

情報処理 / 情報処理

「情報処理とエクセルを使った統計処理の基礎」

各2単位 春学期 / 秋学期
恩田 憲一

〔授業科目の内容〕

これからの大学生活や社会に出てからも役に立つ実践的なコンピュータリテラシーの習得を目標として、インターネットとプレゼンテーション、そしてデータ処理に重点を置いた情報処理の講義を行います。この科目では、日吉ITCのPCを使用して、電子メール、Web、ワードプロセッサ、プレゼンテーション、表計算など、様々な応用プログラムの使い方を学習しますが、調査結果の分析に用いられる多変量解析など、法学部の学生としてやがて必要となるデータ処理に関しては、特に時間をかけて詳細な解説を行う予定です。相関や回帰分析などの統計学の基礎的な事項を理論と実践の両面から理解して「正しい知識」と「Excelできちんと使える」事を目標としています。

〔教科書〕

講義のはじめに指示します。

〔参考書〕

講義の進行に従い、適宜紹介します。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
木元 宏次

〔授業科目の内容〕

日吉ITCのPCを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。しかしながら、

各応用プログラムの使い方を学ぶこと自体が目的ではなく、コンピュータを利用した情報の獲得、整理、加工、さらには伝達、発信するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが主目的である。また、インターネット時代の今日、ネットワーク上でのトラブルや被害にあわないために、情報セキュリティの基礎知識についても学んでゆく。

〔教科書〕

講義のはじめに指示する。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
遠山 朋子

〔授業科目の内容〕

パソコンで使用するワープロなどのソフトウェアの使い方を学びながら、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを理解する。それぞれのソフトウェアの使い方を学ぶこと自体が目的ではなく、コンピュータとインターネットを駆使して情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達する能力を身につけ、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方以外にも、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、の仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションスキルについても理解することが大切である。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
鼠屋 将志

〔授業科目の内容〕

日吉ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのみではなく、コンピュータの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。基本的に毎回、ITに関する時事問題の紹介・解説も行うので、新技術や世の中でのITの流れなどについて知識を得てもらうことも狙いとしている。

〔教科書〕

基本的には指定なし。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理 各2単位 春学期 / 秋学期
松永 賢次

(情報処理)

〔授業科目の内容〕

コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための情報処理の基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることを目的とする。コンピュータやネットワークの仕組み、利用する上での様々な注意(情報倫理、著作権、セキュリティ、なりすまし、など)についてもあわせて学習していく。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

(情報処理)

〔授業科目の内容〕

情報処理 で身につけた情報処理能力を活用して、より実践的な情報処理活動ができるようにする。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理 各2単位 春学期 / 秋学期
吉舗 紀子

〔授業科目の内容〕

日吉ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり、情報利用者/発信者として知っておくべきことを、応用(アプリケーション)プログラムの使い方を学びながら理解する。応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるだけでなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組み、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解し、情報社会におけるマナーや常識を身に付けることが大切である。

〔教科書〕

講義のはじめに指示する。

〔参考書〕

講義中に適宜指示する。

情報処理 2単位 春学期
三船 毅

〔授業科目の内容〕

この授業では、表計算ソフト(Excel)の基本的な使用方法に関して学ぶ。表計算ソフトは、簡単な計算から、統計分析まで多くの用途に用いることができる。この授

業では、初歩的な計算と関数の使い方、各種グラフの作成の仕方について習得する。また、授業期間内の後半では、受講生各自に簡単なプレゼンテーションをしてもらうことを予定している。

情報処理 2単位 秋学期
三船 毅

〔授業科目の内容〕

この授業では、表計算ソフト(Excel)の基礎を踏まえて高度な使用方法に関して学ぶ。内容はより高度な関数を用いたデータ加工や、より複雑なグラフ作成である。Excelは、簡単な計算から、統計分析まで多くの用途に用いることができる。しかし現在では、難解な科学計算は専門的なソフトウェアを用いることが多い。しかし、データ作成に関しては、Excelを用いることは頻繁に行われる。このように、Excelは表計算ソフトとしての役割の他に、他の演算処理・統計分析ソフトウェアに対するデータ加工の役割を持っている。この授業では、より専門的なソフトウェアへの橋渡しとしてのExcelの機能にも注目していきたい。

法律学科

2004年度以前入学者参照

2004年度以前入学者は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2004年度以前入学者の科目名	春学期のシラバス	秋学期のシラバス
法学(憲法を含む)	法学 (憲法を含む)	法学 (憲法を含む)
憲法	憲法 A	憲法 B
憲法	憲法 A	憲法 B
民法	民法 A	民法 B
民法	民法 A	民法 B
民法	民法 A	民法 B
刑法	刑法 A	刑法 B
刑法	刑法 A	刑法 B
民法演習	民法演習 A	民法演習 B
民法演習	民法演習 A	民法演習 B

法学 (憲法を含む) /

法学(憲法を含む)(春学期) * 2004年度以前入学者
2単位 春学期
4単位 通年
霞 信彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、今後「法」との長い関わりを持つことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識を持ってもらうことを目的として開講される。本講義では、まずわが国において「法」を学習するために必要な諸種の基本情報を提供したいと思う。すなわち、法典近代化の経緯、法律関係基本文献、「六法」の利用方法、法と言葉の諸問題等の内容を講じるつもりである。

〔教科書〕

霞信彦「法学講義ノート」(慶應義塾大学出版会)

授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること(ただし最初の授業において「六法」についてのガイダンスをするので、それを聞いてから選択することをすすめる)

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する。

法学 (憲法を含む) /

法学(憲法を含む)(秋学期) * 2004年度以前入学者
2単位 秋学期
4単位 通年
霞 信彦

〔授業科目の内容〕

本講義は、「法学」に連続し、今後「法」との長い関わりを持つことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識を持ってもらうことを目的として開講される。ここでは、法の存

在形式、法の種類、法の効力、法の解釈と適用等について、逐次述べていきたいと思う。併せて、現行司法制度の概要や今回の司法制度改革の内容(裁判員制および法曹養成を中心に)についても言及するつもりである。受講を通じて、学生諸君の「法」への、より強い興味が喚起できればと望んでいる。

〔教科書〕

霞信彦「法学講義ノート」(慶應義塾大学出版会)

授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること。

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する。

法学 (憲法を含む) /

法学(憲法を含む)(春学期) * 2004年度以前入学者
「実定法入門」 2単位 春学期
4単位 通年
藤原淳一郎

〔授業科目の内容〕

時事々例(新聞、TV)を示しつつ、官・民・刑の3科目の枠にとらわれず諸君に法的考え方を身につけてもらう。

法学 (憲法を含む) /

法学(憲法を含む)(秋学期) * 2004年度以前入学者
「実定法入門」 2単位 秋学期
4単位 通年
藤原淳一郎

〔授業科目の内容〕

時事々例(新聞、TV)を示しつつ、官・民・刑の3科目の枠にとらわれず諸君に法的考え方を身につけてもらう。

憲法 A / 憲法 B /

憲法 * 2004年度以前入学者
「憲法原理と基本的人権」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
小林 節

〔授業科目の内容〕

国家生活の基本法たる憲法の基本原則とその憲法が私達に保障している基本的人権について、標準的な見解を体系的に語る。

〔教科書〕

小林節・園田康博著『憲法』(全訂版)南窓社

〔参考書〕

小林節・平沢勝栄著『憲法危篤!』KKベストセラーズ

憲法 A /

憲法 (春学期) * 2004年度以前入学者

「統治機構論・前編(「国家意思の形成と実現」)

2単位 春学期

4単位 通年

駒村 圭吾

〔授業科目の内容〕

この講義では、憲法における統治機構論を扱う。春学期に配当されているこの科目では、「国家意思の形成と実現」と題して、近現代の国家観、主権論、選挙権と選挙制度、国会、内閣、財政に関する主要論点を講義する。

〔教科書〕

特に指定しない。講義概要レジュメを作成する予定であるが、その配布方法は現在検討中である。担当者が意識しているのは、芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法』(岩波書店)、小林節 園田康博『憲法』(南窓社)、佐藤幸治『憲法』(青林書院)、野中俊彦・中村睦男・高橋和之・高見勝利『憲法』(有斐閣)、長谷部恭男『憲法』(新世社)といった基本書である。これ以外の基本書も含め、各自の好みと必要に応じていずれかを選択してほしい。

ロースクール時代を迎え、判例知識の習得が重要な課題になってきている。人権論と比べると、統治機構論では比較的判例に言及する機会は少ないかもしれないが、適当な判例集を携行し随時参照されることを勧めたい。一例を挙げれば、戸松・初宿『憲法判例』(有斐閣)が便利である。

また、統治機構論では、憲法条文その他の関連法令に言及することが多いので、各自、六法を携行してほしい。

〔参考書〕

授業で触れた論点をさらに深く検討するために、小山・駒村編『論点探求・憲法』(弘文堂)を参考書とする。

憲法 B /

憲法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「統治機構論・後編(「法の支配」「自治」「天皇・国防と国際平和」)

2単位 秋学期

4単位 通年

駒村 圭吾

〔授業科目の内容〕

この講義では、憲法における統治機構論を扱う。秋学期に配当されているこの科目では、「法の支配」「自治」「天皇・国防と国際平和」と題して、司法権の本質と限界、司法の独立と裁判所の構造、憲法訴訟論、地方自治、天皇制、9条論、改憲論(場合によっては割愛)に関する主要論点を講義する。

〔教科書〕

特に指定しない。講義概要レジュメを作成する予定であるが、その配布方法は現在検討中である。担当者が意識しているのは、芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法』(岩波書店)、小林節 園田康博『憲法』(南窓社)、佐藤幸治『憲

法』(青林書院)、野中俊彦・中村睦男・高橋和之・高見勝利『憲法』(有斐閣)、長谷部恭男『憲法』(新世社)といった基本書である。これ以外の基本書も含め、各自の好みと必要に応じていずれかを選択してほしい。

ロースクール時代を迎え、判例知識の習得が重要な課題になってきている。人権論と比べると、統治機構論では比較的判例に言及する機会は少ないかもしれないが、適当な判例集を携行し随時参照されることを勧めたい。一例を挙げれば、戸松・初宿『憲法判例』(有斐閣)が便利である。

また、統治機構論では、憲法条文その他の関連法令に言及することが多いので、各自、六法を携行してほしい。

〔参考書〕

授業で触れた論点をさらに深く検討するために、小山・駒村編『論点探求・憲法』(弘文堂)を参考書とする。

憲法 A /

憲法 (春学期) * 2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

小山 剛

〔授業科目の内容〕

憲法 A と B を通じて、日本国憲法の統治に関わる主要な論点について講述する。

憲法 A では、憲法の観念、国民主権、代表制などの基本概念の確認と、政党、選挙制度、国会までを対象とする。憲法 B とあわせて履修することが望ましい。

なお、開講の際に各週ごとの大まかな予定表を配布し、講義の際には詳細なレジュメを配布する。

〔教科書〕

野中俊彦ほか『憲法 第3版』有斐閣

〔参考書〕

小山剛・駒村圭吾(編)『論点探求 憲法』弘文堂

憲法 B /

憲法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

小山 剛

〔授業科目の内容〕

前期に引き続き、日本国憲法の統治に関わる主要な論点について講述する。

憲法 B では、議院内閣制、司法権、憲法訴訟、財政、地方自治、憲法の変動が主たる対象となる。憲法 A とあわせて履修することが望ましい。

なお、開講の際に各週ごとの大まかな予定表を配布し、講義の際には詳細なレジュメを配布する。

〔教科書〕

野中俊彦ほか『憲法 第3版』有斐閣

〔参考書〕

小山剛・駒村圭吾(編)『論点探求 憲法』弘文堂

民法 A /	
民法 (春学期) * 2004年度以前入学者	
「民法総則」	2単位 春学期
	4単位 通年
	平野 裕之

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分(1条から174の2条まで)の部分を講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に勤めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な量がありスピードを上げなければ全部を説明することはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。

〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之『民法総則(第2版)』(日本評論社)を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していたきたい。『民法判例百選』(百選と俗称されるシリーズ。有斐閣)、『新判例マニュアル民法1総則』(三省堂)、『判例講義民法 総則・物権』(悠々社)は解説つきであるが、『民法判例集(総則・物権)』(有斐閣)は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法 B /	
民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者	
「民法総則」	2単位 秋学期
	4単位 通年
	平野 裕之

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分(1条から174の2条まで)の部分を講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に勤めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な

量がありスピードを上げなければ全部を説明することはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。

〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之『民法総則(第2版)』(日本評論社)を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していたきたい。『民法判例百選』(百選と俗称されるシリーズ。有斐閣)、『新判例マニュアル民法1総則』(三省堂)、『判例講義民法 総則・物権』(悠々社)は解説つきであるが、『民法判例集(総則・物権)』(有斐閣)は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法 A /	
民法 (春学期) * 2004年度以前入学者	
「民法の基本原則と民法総則の基礎理論(1)」	2単位 春学期
	4単位 通年
	松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、民法の基本原則と民法総則の基礎理論を、具体的な事例に置き換えながら、かつ体系的に理解することを目的とする。それによって法律学の基礎知識をしっかりと身に付け、法的思考方法の基本をマスターするとともに、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

民法は、私人間の法律関係において、誰に、どのような権利が帰属するのかを決定する実体法の一般原則を定めている。そこには、権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についての基本ルールが含まれている。日本民法はこれらを、総則、物権、債権、親族および相続の5つの部分に分けて規定している。民法 A は、このうちの総則の前半に重点を置き、権利の主体および客体について検討するとともに、法律学の基本概念や民法の基本原則についても解説する。

〔教科書〕

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎(第4版)』慶應義塾大学出版会(2005年)

〔参考書〕

内田貴『民法(第3版)』東京大学出版会(2005年)

民法 B /

民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「民法の基本原則と民法総則の基礎理論(2)」

2単位 秋学期

4単位 通年

松尾 弘

【授業科目の内容】

この授業では、民法の基本原則と民法総則の基礎理論を、具体的な事例に置き換えながら、かつ体系的に理解することを目的とする。それによって法律学の基礎知識をしっかりと身に付け、法的思考方法の基本をマスターするとともに、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

民法は、私人間の法律関係において、誰に、どのような権利が帰属するのかを決定する実体法の一般原則を定めている。そこには、権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についての基本ルールが含まれている。日本民法はこれらを、総則、物権、債権、親族および相続の5つの部分に分けて規定している。民法 B は、このうちの総則の後半に重点を置き、権利の変動について検討するとともに、権利の一般原則についても解説する。

【教科書】

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎 (第4版)』慶應義塾大学出版会(2005年)

【参考書】

内田貴『民法 (第3版)』東京大学出版会(2005年)

民法 A /

民法 (春学期) * 2004年度以前入学者

「物権法」

2単位 春学期

4単位 通年

花房 博文

【授業科目の内容】

本講義は、前・後期を通じて民法第二編「物権」を対象とした講義です。春学期は、第一章「総則」から第六章「地役権」までを範囲とし、物権の分類、物権変動、登記の機能や、所有権(共有も含む)・占有権・用益物権等に関する効力等を説明します。

前半(春学期)の講義では、特に、排他的な支配権を確立させるための前提となる制度、物権変動における静的安全と動的安全の調和、共同所有・共同利用関係の法理、多数の権利者間における権利の優先関係を決定する基準、等への理解を深めていただき、秋学期以降の講義へと繋げたいと考えています。

【教科書】

初回の講義で指示します。また、理解状況をみながらレジュメを配布したり、適宜指示したいと考えています。

【参考書】

淡路・鎌田他編『民法 - 物権法(第2版補訂)』有斐閣Sシリーズ(有斐閣、2003年、1900円)

その他、適宜指示します。

民法 B /

民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「担保物権法 - 民法典中の担保物権 - 」

2単位 秋学期

4単位 通年

斎藤 和夫

【授業科目の内容】

民法典中の担保物権、民事執行法による実行手続が二つの柱となります。

【教科書】

レジュメ配布の予定。

【参考書】

随時、指示します。

浦野編・基本法コンメンタール・民事執行法(第5版)(担保権の実行:斎藤)・日本評論社・2004年

民法 A /

民法 (春学期) * 2004年度以前入学者

「物権法の基礎と諸問題」

2単位 春学期

4単位 通年

武川 幸嗣

【授業科目の内容】

民法の物権法に関する講義を行う。当該科目では、物権法入門および総論から、物権変動、占有の意義と機能、所有権、用益物権までを主要な講義対象とする。物権法に関する基本的理解の確立と問題思考力の養成に資する授業を目指している。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

【教科書】

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、森泉章=武川幸嗣『民法入門 物権法』日本評論社(2006年4月刊行予定)を挙げておく。

【参考書】

同上

民法 B /

民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「担保物権法の基礎と諸問題」

2単位 秋学期

4単位 通年

武川 幸嗣

【授業科目の内容】

民法第二編・物権編のうち、担保物権にあたる部分を講義対象とする。民法典に規定されている担保物権のみならず、実務上重要な担保手段についても取り上げる予定である。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

【教科書】

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、森泉章=武川幸嗣

『民法入門 物権法』日本評論社（2006年4月刊行予定）を挙げておく。

【参考書】

同上

民法 A /

民法（春学期）*2004年度以前入学者

「契約および不法行為の基礎理論（第1部）」

2単位 春学期

4単位 通年

片山 直也

【授業科目の内容】

いわゆる「債権各論」中、「契約総論」および「不当利得」の講義を行う。

【教科書】

笠井修 = 片山直也 = 前田陽一『弘文堂NOMIKA 4・債権各論』（2006年刊行予定）。同テキストが刊行されるまでは担当教員が作成したレジュメで補う。

【参考書】

講義の初回に解説する。

民法 B /

民法（秋学期）*2004年度以前入学者

「契約および不法行為の基礎理論（第2部）」

2単位 秋学期

4単位 通年

片山 直也

【授業科目の内容】

いわゆる「債権各論」中、「契約各論」、「事務管理」および「不法行為」の講義を行う。

【教科書】

笠井修 = 片山直也 = 前田陽一『弘文堂NOMIKA 4・債権各論』（2006年刊行予定）。同テキストが刊行されるまでは担当教員が作成したレジュメで補う。

【参考書】

講義の初回に解説する。

民法 A /

民法（春学期）*2004年度以前入学者

「債権各論1」

2単位 春学期

4単位 通年

北居 功

【授業科目の内容】

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の前半部分を扱う。主として、契約法の基本的なモデルを習得することとなる。具体的には、契約総論と不当利得とを扱う予定である。

【教科書】

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定である。

【参考書】

参考書は、授業の最初に説明する。

民法 B /

民法（秋学期）*2004年度以前入学者

「債権各論2」

2単位 秋学期

4単位 通年

北居 功

【授業科目の内容】

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の後半部分を扱う。契約法の各論と不法行為法の基本的なモデルを習得することとなる。

【教科書】

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定である。

【参考書】

参考書は、授業の最初に説明する。

刑法 A /

刑法（春学期）*2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と解釈論入門」

2単位 春学期

4単位 通年

伊東 研祐

【授業科目の内容】

本講義は、刑法 B と実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関して詳細に検討し、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、近時における幾つかの身近な社会的問題への刑法的対応の可能性、それがもたらす理念的変動の批判的検討等を通じて、現代社会における刑法解釈論の基礎を固めることを第2の目的とする。今後、刑法・同・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論（学）領域を対象とするものである。

【教科書】

伊東研祐（編著）『はじめての刑法』、成文堂（2004年）
『別冊ジュリスト刑法判例百選 総論 [第5版]』有斐閣（2003年）

【参考書】

授業の進行に伴い、適宜、授業中に指示する。

刑法 B /

刑法（秋学期）*2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と解釈論入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

伊東 研祐

【授業科目の内容】

本講義は、刑法 A と実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との

関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関するものを詳細に検討して、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、近時における幾つかの身近な社会的問題への刑事法的対応の可能性、それがもたらす理念的変動の批判的検討等を通じて、現代社会における刑法解釈論の基礎を固めることを第2の目的とする。今後、刑法・同・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論(学)領域を対象とするものである。

【教科書】

伊東研祐(編著)『はじめての刑法』成文堂(2004年)
『別冊ジュリスト刑法判例百選 総論[第5版]』有斐閣(2003年)

【参考書】

授業の進行に伴い、適宜、授業中に指示する。

刑法 A / 刑法 B /

刑法 *2004年度以前入学者

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

加藤 久雄

【授業科目の内容】

刑法 で学ぶ基本的問題点と学習の仕方：刑法 では、刑事法学(刑法総論・各論、刑事訴訟法、刑事政策・少年法、行刑法、犯罪者処遇制度 など)と言われる領域の諸問題を総合的に学習する科目である。拙著「加藤久雄『ポストゲノム社会における医事刑法入門』新訂(補正)版・2005年・東京法令出版」を教科書として、刑事法学に関する基礎的知識を学んで行く。わたしの講義は、「刑事法学は人間学である」というテーゼからスタートする。

わたしの「刑事法学」研究のアプローチは、学祖福澤諭吉先生の現場主義、人道主義、人間平等主義に基礎を置き、刑事法学の学説史的視点、犯罪論・刑罰論の基礎になる法哲学的視点、国際社会で通用する国際比較刑事政策的視点に基づいている。

こうしたグローバルな視点から刑法の目的・機能とは何か、刑法はどのような法益(国家・社会・個人)を保護することにより犯罪の予防と防止、社会の安全の確保、犯罪者と被害者の権利を確保し、平和で安全な社会を構築することに貢献できるのか、などについて学んでいく。

刑法を学ぶ上での基本的視点として、人道主義的な刑事政策の「最後の手段性」(ウルティマ・ラティオ)という性質から派生する(1)罪刑法定主義、(2)責任主義、(3)刑法の謙抑性・補充性の原則という3大原則を尊重するところにある。この刑法1では、これらの重要なキーワードである「罪刑法定主義」とは、「責任主義」とは何かなどの刑法の大原則の淵源、学説史、学派の争いなどについて、具体的・基礎的判例・学説について学んでいく。

刑法の基礎判例の徹底的研究：例えば、(1)信頼の原則(最高裁昭和42年10月13日)、(2)刑法における生命

の「始期」と「終期」：末期医療における刑法の介入(東海大学病院殺人被告事件判決)(3)統合失調症(精神分裂病)犯罪者の刑事責任能力の判定(元自衛官の殺人・殺人未遂事件：最高裁第2小法廷判1978年3月24日刑集32巻2号408頁以下)などの基本的判例の分析・検討の仕方を学ぶ。

刑法の適用に伴う「法的安定性」確保のために刑事裁判の量定基準の科学的客観化が必要である。そのため隣接諸科学の研究が必要となる。科学鑑定と刑事司法制度運用の科学化に関して、例えば、(1)刑事訴訟手続きにおけるDNA鑑定、(2)染色体異常と刑事責任能力、(3)SIDS(乳幼児突然死症候群)訴訟と司法鑑定制度などのテーマを検討することにより隣接諸科学への関心を広げ、刑法の研究対象となるテーマを学際的に研究していく方法を学ぶ。

比較法的アプローチの重要性：ボーダーレス社会における刑法解釈論にとって大切なのは、日本人のみに通用する独り善がりの狭い価値観に基づく法解釈を克服するために国際的な視野を身に付けることである。この国際比較法的アプローチにとって重要なのは、マスメディアなどの情報だけに頼らず情報のオリジナリティーを求めるとは当然であるが、可能なかぎり、現場主義に基づいて情報の正確性や客観性を確認するか、その情報の時代背景、著者の基本的立場、他の関連著作や情報との比較を行って、参考にしていく必要がある。法律学に入門したばかりの諸君には、まだこうしたアプローチの方法は難しいので、国際経験に基づくわたしの講義における情報を通してこうしたアプローチの方法を身につけて、「刑事法学」は「人間」を理解するために必要な法領域であることを学んでほしい。

【教科書】

加藤久雄『ポストゲノム社会における医事刑法入門』(新訂(補正)版・2005年・東京法令出版)

【参考書】

加藤久雄『人格障害犯罪者と社会治療』(成文堂・2003年)

伊藤孝夫『瀧川幸辰 汝の道を歩め』(ミネルウェア書房・2003年)

刑法 A / 刑法 B /

刑法 *2004年度以前入学者

各2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

鈴木 左斗志

【授業科目の内容】

「刑法典第2編 罪」に規定されている個別の犯罪の検討

【教科書】

西田典之・山口厚・佐伯仁志 編『判例刑法各論』(有斐閣)

【参考書】

最初の講義で説明する。

刑法 A / 刑法 B /

刑法 *2004年度以前入学者

「刑法各論の重要問題」 各2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
高橋 則夫

〔授業科目の内容〕

刑法総論が犯罪の一般的成立要件すなわち構成要件該当性・違法性・責任を中核とする犯罪論体系を問題とするのに対して、刑法各論は個々の具体的な犯罪(殺人罪、窃盗罪など)の成立要件を問題とする。

刑法各論は、各構成要件上保護される法益によって、その対象を区分する。すなわち、個人的法益、社会的法益、国家的法益の三分類がこれである。この中でもとくに重要な領域は財産犯であり、財産犯については体系的に全体を包括する形で勉強することが望ましい。

刑法各論における解釈論の基本的視点は次のとおりである。

各規定の解釈論の現状を明確に把握する必要がある。そのためには、判例と学説を整理して学習し、よく検討し、自分が採用したいと考える説を選択し、自説の根拠づけと反対説に対する批判を熟考しなければならない。

各犯罪の解釈に際して、現実的な意味、機能および実益という観点から考察することも必要である。

総論における基本的アプローチ、とくに行為無価値と結果無価値の対立が各論における解釈にどのように反映しているかを考える必要がある。

憲法との関係・接点を意識して各論の解釈を展開する必要がある。刑法の憲法的前提を解釈の枠組みとして設定する必要がある。

そして、最後に、処罰の限界を明確化させなければならない。

〔教科書〕

中山研一『新版 口述刑法各論(補訂版)』(2005年、成文堂)

高橋則夫『刑法各論講義ファイル』(成文堂)

高橋則夫『刑法総論講義案』(2005年、成文堂)

〔参考書〕

『刑法判例百選 各論(第5版)』有斐閣

民法演習 A / 民法演習 B / 民法演習

「初学者のための民法総則の基本知識の取得と事例分析力の修得」 各2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
浅井 隆

〔授業科目の内容〕

授業の目的は、民法総則分野の、(1)基礎知識の習得と、(2)事例を変えることによって応用力を身につけることです。

そして授業は、当初の数ヶ月間は基礎知識の習得を重

点に、その後は事例中心に行う予定です。事例を考えることで学生のみなさんが、裁判官、弁護士等法律実務家に興味を持つことを期待しています。

教科書は、内田貴著「民法」第3版(総則・物権総論)を使用し、事例問題についても、同教科書にある事例を中心に使います。

各授業は、対象範囲をあらかじめ指定しますので、事前にその部分を読んで参加すると、より効果が上がるようになっています。なお、六法は、必ず用意して授業に出席してください。

〔教科書〕

内田貴著『民法』第3版(総則・物権総論)東京大学出版社

〔参考書〕

六法(模範六法がよりベター)

民法演習 A /

民法演習 (春学期)*2004年度以前入学者

「民法の基礎を習得する」 2単位 春学期
4単位 通年
岡 伸浩

〔授業科目の内容〕

本講義は、主にはじめて民法を学習する学生を対象に、民法の基礎を習得できるよう、わかりやすい内容を目指しています。学習の対象は、民法総則の分野です。教科書として指定した基本書を履修者とともに読み進めることによって、法律学の基本書の読み方や、条文の読み方、指定した教科書に掲載されている重要判例の内容を丁寧に伝えたいと考えています。法律実務家として実際に民法がどのように使われているかという視点から実学としての法律学を講義し、民法の基礎を習得して欲しいと考えています。出席の際は、教科書と六法を用意して下さい。

〔教科書〕

内田貴『民法』東京大学出版社(最新版を使用します)

〔参考書〕

『民法判例百選』ジュリスト

近江幸治『民法講義 民法総則』成文堂

大村敦志『基本民法 総則・物権総論』有斐閣

民法 B /

民法演習 (秋学期)*2004年度以前入学者

「民法の基礎を習得する」 2単位 秋学期
4単位 通年
岡 伸浩

〔授業科目の内容〕

前記民法 Aに引き続き、民法総則を学習します。

指定した教科書の民法総則の後半部分を読み進めていきます。民法 Aと同様に、出席の際は教科書と六法を用意して下さい。

〔教科書〕

内田貴『民法』東京大学出版社(最新版を使用しま

す)

【参考書】

『民法判例百選』ジュリスト
 近江幸治『民法講義 民法総則』成文堂
 大村敦志『基本民法 総則・物権総論』有斐閣

民法演習 A /

民法演習 (春学期) * 2004年度以前入学者
 2単位 春学期
 4単位 通年
 流矢 大士

【授業科目の内容】

民法をこれから学習しようとする諸君を対象とし、「法律的なものの考え方」「民法的なものの考え方」の基本を習得することを目的とします。

教科書として、内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)を指定します。基本書を精読して行きますので、各自で用意して下さい。

最初は、教科書に従って、基本的な概念、用語の意味、制度趣旨・立法趣旨の把握等に主眼をおいて進めますが、それと共に、実際の判例や演習問題を題材として、紛争解決に向けての心構え、考え方、結論の出し方等をみんなで考えて行きます。したがって、受講生一人ひとりの考え方を聞いて行きます。

なお、毎回出席を取ります。

【教科書】

内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)

【参考書】

我妻栄著「新訂民法総則」(民法講義)(岩波書店)
 「民法判例百選 総則・物権」[第5版](別冊ジュリストNo.159、有斐閣)

民法演習 B /

民法演習 (秋学期) * 2004年度以前入学者
 2単位 秋学期
 4単位 通年
 流矢 大士

【授業科目の内容】

民法をこれから学習しようとする諸君を対象とし、「法律的なものの考え方」「民法的なものの考え方」の基本を習得することを目的とします。

教科書として、内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)を指定します。基本書を精読して行きますので、各自で用意して下さい。

最初は、教科書に従って、基本的な概念、用語の意味、制度趣旨・立法趣旨の把握等に主眼をおいて進めますが、それと共に、実際の判例や演習問題を題材として、紛争解決に向けての心構え、考え方、結論の出し方等をみんなで考えて行きます。したがって、受講生一人ひとりの考え方を聞いて行きます。

なお、毎回出席を取ります。

【教科書】

内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)

【参考書】

我妻栄著「新訂民法総則」(民法講義)(岩波書店)
 「民法判例百選 総則・物権」[第5版](別冊ジュリストNo.159、有斐閣)

民法演習 A /

民法演習 (春学期) * 2004年度以前入学者
 「物権」
 2単位 春学期
 4単位 通年
 小坏 淳子

【授業科目の内容】

物権についての基礎的な理解を目標とします。

授業では、なるべく具体的な事例を使って、基礎的知識をおさえ、法解釈の考え方を学びます。

【教科書】

特に指定しませんが、各自何か1冊教科書を用意して、授業に合わせて読み進めてください。

なお、六法は必ず持参してください。

民法演習 B /

民法演習 (秋学期) * 2004年度以前入学者
 「担保物権」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
 小坏 淳子

【授業科目の内容】

担保物権についての基礎的な理解を目標とします。

授業では、なるべく具体的な事例を使って、基礎的知識をおさえ、法解釈の考え方を学びます。

【教科書】

特に指定しませんが、各自何か1冊教科書を用意して、授業に合わせて読み進めてください。

なお、六法は必ず持参してください。

民法演習 A /

民法演習 (春学期) * 2004年度以前入学者
 2単位 春学期
 4単位 通年
 菅野 智巳

【授業科目の内容】

主として物権法及び債権法分野にかかわる事例を題材に、講義・議論・判例研究等を行うことにより、法律的なものの考え方、民法的な思考法を身につけることを目的とします。あわせて物権法・債権法分野の基礎的知識の習得を目指します。更に、2年次では、民事訴訟実務の視点からの事例分析や民法の基本構造の検討もしていきたいと考えています。金融法・担保法についても法律実務に関する話を適宜提供していきます。現に機能している法現象の一端に触れてもらえればと考えています。

できるだけ受講生による議論の場を設けたいと考えています。

【教科書】

民法判例百選
民法判例百選 他
詳細はガイダンスにて紹介します。

【参考書】

ガイダンスにて紹介いたします。

民法演習 B /

民法演習 (秋学期) * 2004年度以前入学者
2単位 秋学期
4単位 通年
菅野 智巳

【授業科目の内容】

前期に引き続き事例演習を主に行う。
債権総論・担保物権法の分野についても扱う予定です。

【教科書】

民法判例百選
民法判例百選

【参考書】

ガイダンスにて紹介いたします。

民法演習 A /

民法演習 (春学期) * 2004年度以前入学者
「民法物権法を理解する。」 2単位 春学期
4単位 通年
菅原万里子

【授業科目の内容】

民法物権法について、授業時間前半では学部での講義を念頭においてその補習的な意味合いを含めた形で講義を行う。適宜リーディングケースとなる判例を中心に説明を加えていきたい。授業時間後半では、事例解決のための演習問題、実社会での役立つ法律問題についての演習をしていきたい。(民法演習 Aでは物権法を予定し、民法演習 Bでは担保物権法を予定している。)

【教科書】

適宜指定する。

【参考書】

判例百選民法
民法(2)物権 遠藤浩・川井健他編集 有斐閣
「民法」内田貴著 東大出版会

民法演習 B /

民法演習 (秋学期) * 2004年度以前入学者
「担保物権法を理解する。」 2単位 秋学期
4単位 通年
菅原万里子

【授業科目の内容】

民法担保物権法を学ぶ。

授業時間前半は補習的講義、授業時間後半は演習。演習は実務的なものから判例研究までバラエティをもって行いたい。

【教科書】

適宜指定する。

【参考書】

判例百選民法
民法(3)担保物権 遠藤浩・川井健他編集 有斐閣
担保物権法 高木多喜男著 有斐閣
「民法」内田貴著 東大出版会

法学情報処理

2単位 秋学期
池田 真朗 原田 隆史 他

【授業科目の内容】

この講義においては、法学研究および生涯学習に必要な各種の学術情報源、情報処理方法、図書館利用法について説明するとともに、法学関係資料・文献の利用法、法学論文の書き方などについて解説する。各テーマにつき、本塾大学文学部の原田隆史(図書館・情報学専攻)、法学部法律学科の池田真朗、駒村圭吾ら(担当者には追加・変更があり得る)がそれぞれ講義を担当し、メディアセンター職員が基本的な文献検索ツールとリサーチの方法について説明を行う。

【教科書】

教科書は特に指定しない。なお、担当教員によっては授業で使用する資料等を以下のサイトにアップすることがあるので必要におうじて参照すること。

<http://www.slis.keio.ac.jp/ushi/infolaw.html>

【参考書】

いしかわまりこ = 村井のり子 = 藤井康子 『リーガル・リサーチ』日本評論社(2003年)

団体法

「もう1つの権利主体である法人その他の団体に関する法制度について」 2単位 春学期
阿久沢利明

【授業科目の内容】

権利の主体は、自然人と法人に分かれる。われわれは、民法その他の法分野における法律関係を考えるとき、自然人という個人を念頭において考えがちである。しかし、人の人たるゆえんは、団体に結合することにあると言われるように、個人の限界を意識して、人と人が重合して大きな力を発揮する団体の存在が歴史を支えてきたことも事実である。われわれは、自然人個人に対してもう一方の法主体である法人を中心とした団体について、その存在の意義と内容および使命・課題を十分理解しておく必要があるであろう。

本講義は、そこで、以下のようなことを明らかにしたい。

【教科書】

森泉章著『新・法人法入門』有斐閣(2004年 2300円)

法制史（基礎）／

法制史（基礎）＊2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

霞 信彦

〔授業科目の内容〕

法律学という学問に取り組み、これから長い期間にわたり法との関わりを持つであろう学生諸君にとって、古代以来のわが国の法の変遷を承知することは、法に対する知見を広げ、現行法理解に向けて豊かな基礎力を涵養するために、有効な手段のひとつであると考えられる。そこで本講義では、古代から近世に至る日本法の足跡をたどり論じてみたいと思う。つまり学生諸君は、通史的に、わが国の法の流れを俯瞰することとなる。

さて、具体的な内容であるが、古代については、まず聖徳太子の手になるといわれる「憲法十七条」、大化改新後に示された、古代律令制発祥の原点ともいえるべき「改新詔」、さらには、中国法継受の結果わが国にもたらされた「律令」をとりあげ、その編纂過程や具体的な内容を概観する。次いで中世における武家社会の法として著名な鎌倉時代の「貞永式目」、室町時代開幕期に定められた「建武式目」、さらに、戦国大名が領国経営のために制定した戦国家法について、それらの特徴に言及するつもりである。近世では、江戸時代の「法」の代表的な存在として、幕府と大名との支配関係を詳らかにする「武家諸法度」および、幕府が自ら直接支配する地域におこなった「公事方御定書」の具体的な内容を明らかにしたい。

〔教科書〕

霞・漆原・浜野「日本法制史史料集」(慶應義塾大学出版会)

〔参考書〕

講義において必要に応じて指摘する

法制史（基礎）／

法制史（基礎）＊2004年度以前入学者

「法と文化の歴史的展開」

2単位 秋学期

4単位 通年

岩谷 十郎

〔授業科目の内容〕

日本の現行法システムの大部分は、明治時代以降の我が国の近代化過程において形成されたものである。しかもその制度的・思想的基幹部分は、その殆どが西欧諸国から導入されたものである。本講義では、特に日本における西欧法継受過程を中心に、法を歴史的・文化論的観点から語る枠組みを受講者に提示し、解釈学とは異なった方法の下に法を考える視点を学んでゆきたい。

具体的には、古来西洋や東洋では、法がどのようにイメージされてきたのか、様々な図像 - 絵画・彫刻・建築・他 - を取り上げ、「書かれた法」のみならず「描かれた法」に着眼して、法を読み解く方法を提示する。特

に西欧法の影響下で形成された近代の日本法との比較から、シンボルや諸表象を通して、法観念・法文化の異同に受講者の関心を啓いてゆきたい。

さらに本講義では、明治期の日本においてお雇い法律顧問の果たした役割にも注目して、これを紹介してゆく。歴史的・文化的に異なる日本において、西洋法の導入を試みた明治政府に雇用された「異文化の法律家」たちとは、どのような背景から来日し、どのような思想を有し、またどのような働きを実際におこなった者たちなのか。人物的なエピソードなども踏まえながら、歴史・人・法に関わる様々なトピックをお話したい。

そして最後に、本講義では、慶應義塾を場とした法学教育の歴史についても言及する。啓蒙家・教育者として名高い福澤諭吉ではあるが、彼の法思想についても解説することにしたい。

〔教科書〕

森征一・岩谷十郎他編『法と正義のイコノロジー』慶應義塾大学出版会

安西敏三・岩谷十郎・森征一編『福澤諭吉の法思想』慶應義塾大学出版会

〔参考書〕

授業内で指示する。授業内ではプリントを配布する。

政治学科

社会科学科目

社会学

「社会学の基本的な考え方 / 現代社会と人生の諸相」

4単位 春学期集中
澤井 敦

〔授業科目の内容〕

本講義の目標は、受講生諸君が「社会学」という「道具」をもちいて現代社会を考え理解することができるようになるための、イントロダクションとなることである。

全体の内容を大きく2部（1時限と2時限）にわけて授業をすすめていく。第1部「社会理論の基礎」（1時限）では、社会学的な思考法の本質をつかむために、いくつかの社会学理論を具体的な分析事例とともに紹介していく。第2部「社会分析の基礎」（2時限）では、現代社会（とりわけ日本社会）の状況に関する基礎知識を、誕生、結婚、仕事と家事、老いと死といった人生の場面に即して学んでいく。

〔教科書〕

特に使用しない。

〔参考書〕

授業中に授業内容におうじて指示する。

社会学

「社会学の基礎」

4単位 春学期集中
霜野 寿亮

〔授業科目の内容〕

我々は社会の中で生活すると共に社会を支えている。社会学が扱うのは、人間と社会とが織りなす、この相互関係である。行為・集団・構造・変動など、社会学に特有の理論を紹介しながら、現代社会についても考察を加えていきたい。

〔教科書〕

最初の授業時間に指示する。

〔参考書〕

最初の授業時間に指示する。

法学（憲法を含む）

「法学入門 わが国の社会と法」 4単位 春学期集中
青木 淳一

〔授業科目の内容〕

我われを取り巻く社会と「法」との関わりを議論すること、法学に接するにあたり求められる基礎的な知識を得ることが、この講義の目的である。

前半は、わが国の社会における特定の領域・分野に目を向ける。それがどのような状況にあり、いかなる問題や課題を抱えているか。そこに「法」がどのように関わっていて、また関わるのが期待されるのか。現状認識、

問題発見という過程を通じて、そこに見え隠れする「法」の存在をイメージする。「法」が我われの実に身近なところであって、極めて重要な役割を演じていることがわかるだろう。

法学への興味と関心を抱き、さらに深く学ぼうとするには、その前に、やはり基礎的な用語、制度、約束事を正確かつ確実に習得しておかなければならない。授業の後半は、我が国の法体系、「六法」とは何か、司法制度、資料調査方法などを解説する。

〔教科書〕

六法（『ポケット六法』（有斐閣）等、小型のもので良い。最新年版を用いること）

〔参考書〕

木村晋介・中野麻美・島村麻里『二十歳の法律ガイド〔第4版〕』（有斐閣、2003年）

土田道夫・高橋則夫・後藤巻則＝編『ブリッジブック先端法学入門』（信山社、2003年）

そのほか必要な範囲内で、その都度指示する。

法学（憲法を含む）

「現代社会を支える法の体系と、相互の関連性を理解する」

4単位 春学期集中
内藤 恵

〔授業科目の内容〕

初めて法学を学ぶ皆様に、現代社会を支える法のシステムと体系を解説し、さらに法システムが我々の社会生活にどのように関わるかを理解して戴きたいと思えます。加えて、法体系を整えることによって、我々の国家は何を目指しているのかを考えたいと思えます。7の授業計画を合わせて、ご参照下さい。

〔教科書〕

特に指定せず、毎回レジュメを配布して講義を進めるつもりです。

レジュメは講義用のサイトからプリントして戴くつもりです。URLは初回講義の際に、お伝えします。

〔参考書〕

内容は決して軽いものではありませんが、入手しやすいコンパクトな概説書に下記があります。

末川博・編、『法学入門（第5版補訂2版）』（有斐閣双書、2005）

伊藤正巳・加藤一郎・編、『現代法学入門（第4版）』（有斐閣双書、2005）

憲法

「立憲主義、人権、統治機構」 4単位 秋学期集中
大沢 秀介

〔授業科目の内容〕

この講義では、法学部政治学科の学生として理解しておくことが望ましい日本国憲法についての基本的な知識について学びます。具体的には、立憲主義の意味、人権の意味、内容、統治機構を取り上げます。

【教科書】

大沢秀介『憲法入門（第3版）』（成文堂、2003年、3000円）野中俊彦＝江橋崇編著『憲法判例集』（有斐閣、2004年、950円）六法（小型のもの）

【参考書】

芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第3版）』（岩波書店、2002年、3000円）

憲法

「日本国憲法が私たちの生活と私たちのための政治・行政に欠かすことのできない法であると実感するために」

4単位 秋学期集中

小林 伸一

【授業科目の内容】

憲法に関する歴史、思想、基本概念等を概観した上で、日本国憲法の基本的人権規定と統治機構規定について平易に解説します。具体的には、憲法条文と標記の教科書にそくして、主要な条文に明記されている事項とそこから論理必然的に導き出される事柄の意味内容を講述することになります。表現の自由を保障した第21条のように解釈上の議論の多い条文については、最高裁判所の判例や学説にも言及することになります。

【教科書】

大沢秀介著『憲法入門（第3版）』成文堂（2003年）六法 - 『ポケット六法』（有斐閣）等のコンパクトなものでよいが、必ず平成18年度か平成19年度のいずれかの版

【参考書】

芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法（第3版）』岩波書店（2002年）、大沢秀介編著『はじめての憲法』成文堂（2003年）

民法

「民法総論および総則・物権法の基礎」

4単位 春学期集中

武川 幸嗣

【授業科目の内容】

民法は、財産上の権利義務関係を規律する最も基本的な法律であり、取引・経済活動に関する基本法でもある。この科目では、民法総論および、民法典の第一編総則、第二編物権までを講義対象とする。主要な諸制度の概要および重要な問題点につき、できるだけ明快に説くよう、心がけつつ、法的思考力の養成に努めたい。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

【教科書】

上記の通り、講義内容は担当者によるレジュメにしたがうが、自習用の補助教材として、山野目章夫『民法総則・物権』有斐閣アルマシリーズを挙げておく。

【参考書】

同上

民法

「債権法の基礎」

4単位 秋学期集中

武川 幸嗣

【授業科目の内容】

この科目は、民法典第三編の債権編の諸規定（債権法）を講義対象とする。債権法は債権総論・各論に分かれるが、本講義では、契約と不法行為を二つの柱としつつ、主要な制度を効果的に取り上げながら、それらの概要および重要な問題に関する解説を行う予定である。なお、講義は、担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

【教科書】

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用の補助教材として、池田真朗『スタートライン債権法』日本評論社を挙げておく。

【参考書】

同上

行政法

4単位 秋学期集中

磯部 哲

【授業科目の内容】

この講義では、行政法総論と行政救済法の諸問題を取り扱う。具体的な内容については下記「7. 授業の計画」を参照のこと。基本方針としては、実益の乏しい問題の説明はできるだけ控え、重要と思われる論点について突っ込んだ説明を行っていきたいと考えている。

【教科書】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

刑法

「刑法一般」

4単位 春学期集中

亀井源太郎

【授業科目の内容】

刑法総論および刑法各論につき講義する。

【教科書】

木村光江『刑法（第2版）』（2002年・東大出版社）前田雅英『最新重要判例250刑法（第5版）』（2004年・弘文堂）

【参考書】

亀井源太郎『正犯と共犯を区別するということ』（2005年・弘文堂）（2004年・現代人文社）

国際法

4単位 秋学期集中

尹 仁河

【授業科目の内容】

本講義では、国際社会において適用される法としての国際法とは何か、その基本構造・用語・概念について学

び、現実に行き起している国際問題を国際法の観点から理解してゆきます。国際社会を見る眼として、経済・政治・文化等様々な観点がありますが、法的観点から分析する力を養うことに目標をおきます。

【教科書】

- ・栗林忠男『現代国際法』（慶應義塾大学出版会、1999年）
- ・大沼保昭編『国際条約集2006年版』（有斐閣、2006年）

講義資料プリントを配布します。

【参考書】

開講時に一覧を示します。

経済原論 4単位 秋学期集中
担当者未定

4月に法学部掲示板参照のこと。

経済原論

「マクロ経済学入門」 4単位 秋学期集中
岡崎 哲郎

【授業科目の内容】

経済原論は、経済問題を分析するための基礎的な考え方を体系としてまとめたものです。その中でマクロ経済学は一国全体の経済活動を分析対象とします。具体的には、景気、インフレーション・デフレーション、失業率、国際収支等について分析していきます。

【教科書】

講義で指示します。

【参考書】

講義で指示します。

経済原論 4単位 春学期集中
「ミクロ経済学入門」 麻生 良文

【授業科目の内容】

ミクロ経済学の入門的講義を行う。租税政策、国際貿易政策、競争政策、環境政策など、さまざまな公共政策の目的や効果を理解するために、ミクロ経済学の習得は不可欠である。マクロ経済学が経済全体の変数（GDPやインフレ・失業率など）に注意を集中するのに対し、ミクロ経済学では消費者や生産者が価格や政策にどのように反応するかという個別の意思決定の問題を明示的に扱う。ミクロ経済学を学ぶことによって、市場メカニズムがどのように機能し、そしてその限界がどこにあるのかを理解できるようになる。講義内容は以下の通り。

- 1) 経済学入門
- 2) 市場メカニズムの機能と限界
- 3) 消費者行動の理論
- 4) 生産者行動の理論
- 5) 独占・寡占

【教科書】

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/aso/>

【参考書】

スティグリッツ『スティグリッツ ミクロ経済学』東洋経済新報社、ヴァリアン『入門ミクロ経済学』勁草書房、奥野正寛『新版ミクロ経済学入門』日経文庫

経済原論

「家計や企業などの経済行動についての学問分野」

4単位 春学期集中
鞠 重鎬

【授業科目の内容】

経済概論（ミクロ経済学）では、主に家計や企業の経済行動やその応用について学ぶ。

ミクロ経済学は、マクロ経済学とともに近代経済学の分野を勉強するにあたって基本的なツールとなっている。経済概論では、経済主体の合理的な意思決定がどう行われるかを扱っているだけに、独立した科目ともなっていると見えよう。近代経済学を学びたい学生だけではなく、他の専門分野の学生でも近代経済学の基本的な分析方法がどのようなものなのかについて味わえる機会を与えることが授業のねらいである。

【教科書】

井堀利宏『入門ミクロ経済学』第2版 新世社。

【参考書】

参考書：Minkiw『Principles of Economics』Dryden（日本語訳：足立英之他訳『マンキュー経済学ミクロ編』東洋経済）

文化人類学

「自文化を再考する」 2単位 春学期
中野 紀和

【授業科目の内容】

他者・他文化理解を深めると同時に、自己・自文化理解を深めることが目標です。日常生活を再考し、物事にたいする多面的な視点を習得することを目指します。

【教科書】

特に指定しません。参考資料を配布します。

【参考書】

授業中に随時紹介します。

文化人類学

「自文化を再考する」 2単位 秋学期
中野 紀和

【授業科目の内容】

祭りを通して現代社会を再考すると同時に、「伝統」のありかたを多面的に捉えていきます。多様な祭りの展開を学ぶことで、日本の多面性について知ることを目指します。

【教科書】

特に指定しません。参考資料を配布します。

【参考書】

授業中に随時紹介します。

政治学科目 - 基礎科目（必修）

政治学基礎

「政治学の基礎概念・理論・アプローチ」2単位 春学期
萩原 能久

【授業科目の内容】

この講義では政治学の基礎概念、理論、アプローチについて、以下のような順序でできるだけわかりやすく説明していくつもりです。

- 1) 権力、権威、自由、正統性、イデオロギー
これらの諸概念について、特に相互の関連に留意して説明し、いくつかの理論を紹介します。
- 2) 国家
ネーション・ステートおよびナショナリズムの成立・展開と現在におけるその問題点を示し、未来の世界への展望を考えます。
- 3) 民主主義
近代民主主義の成立と現代における様々な民主主義・民主化理論を検討します。
- 4) 戦争と平和
平和の構築という課題の重要性と、政治学における戦争と平和の関係について様々な角度から考えます。

【教科書】

特に用いませんが、Web上に置いた、関連する様々な私の文章をあらかじめ読んで受講すれば理解が高まるでしょう。

【参考書】

逐一、講義・レジュメのなかで示していきます。多いです。

政治学基礎

「現代政治学」 2単位 春学期
小林 良彰

【授業科目の内容】

公務員試験などの公的試験で重視されている「第二次世界大戦以降の現代政治学」を中心に、政治学における中心的テーマである「公共政策が形成される過程」、つまり政治過程の実態について、できるだけわかりやすく説明を行うことにします。

本授業では、まず「政治とは何か？」について説明した上で、政治学における重要なテーマである「決定」と「配分」の問題について、これまでの政治学で何が明らかになり、何が課題として残されているのかを説明します。また、政治に関する利益集団論や地域権力構造論、権力エリート論、政治多元論、ポリアーキー論、ネオ・コーポラティズム論、ニュー・ポリティカル・カルチャ

ー論など様々な理論についても紹介して行くことにします。

本授業を通して、履修者は公共政策における必要な知識を得ると共に、これからの社会や政治を見ていく上で、新しい視点を持ってもらうことができると考えています。

【教科書】

小林良彰著『選挙・投票行動』東京大学出版会

【参考書】

小林良彰著『現代日本の政治過程』東京大学出版会

小林良彰著『公共選択』東京大学出版会

小林良彰著『選挙制度』丸善

小林良彰著『現代日本の選挙』東京大学出版会

小林良彰編『日本における有権者意識の動態』慶應義塾大学出版会

小林良彰編『地方自治体をめぐる市民意識の動態』慶應義塾大学出版会

小林良彰編『リーダーシップから見る公共性』東京大学出版会

小林良彰編『地方自治の国際比較』慶應義塾大学出版会

小林良彰編『地方自治の実証分析』慶應義塾大学出版会

政治思想基礎

2単位 春学期

蔭山 宏

【授業科目の内容】

政治思想の入門講義。今日なお命を保っている政治思想の多くが近代ヨーロッパにおいて生まれたので、ここを中心として講義し、最後に近代政治思想が20世紀にどのように変質していくかを取り上げたい。

【教科書】

特に用いない

【参考書】

その都度指示する。参考文献は多数ある。

政治思想基礎

「西欧政治思想史概説 近代を中心に」

2単位 春学期

田上 雅徳

【授業科目の内容】

西欧政治思想史の入門講義を行います。授業の中心は近代となります。これは、受講者の関心が例えば「日本」や「現代」の政治（思想）にあるとしても、近代ヨーロッパに登場した著名な政治思想家たちの理論を理解しておくことは（引照基準を設定する意味でも）極めて大切だと、担当者が考えているからです。また授業では、思想家たちが生きた時代状況の説明にも少なからぬ時間を割く予定です。思想の学習で大切なのは、思想内容を把握し性急にその是非を論じることよりも、個々の思想家が自分を取り巻く環境の中にかなる問題を見出したのか・そしてそれにどれだけ真摯に答えようとしたのか、そのことへの理解にあると思われるからです。「理論としては矛盾だらけだが、問題意識は恐ろしく一貫してい

る。時にはこういう事例をも紹介しながら、受講者に思想を学ぶ面白さをお伝えできればと思っています。

【参考書】

授業中に適宜紹介していきますが、さしあたって福田 歓一『政治学史』(東京大学出版会) 佐々木・鷲見・杉田 共著『西洋政治思想史』(北樹出版)をあげておきます。

日本政治基礎

「現代日本の政治とガバナンス」 2単位 秋学期
大山 耕輔

【授業科目の内容】

この授業の目的は、これまでの政治学が作り上げてきた日本政治の理論やモデルを検討することを通じて、受講者の皆さんが現代日本の政治を政治学的に理解できるようにすることです。時間の余裕があるなら、最近注目されるようになってきたパブリック・ガバナンスの視点についても考察します。

【教科書】

村松岐夫・伊藤光利・辻中豊『日本の政治(第2版)』(有斐閣Sシリーズ、2001)

【参考書】

拙著『エネルギー・ガバナンスの行政学』(慶大出版会、2002)

日本政治基礎

「日本の統治体制と政治文化」 2単位 秋学期
玉井 清

【授業科目の内容】

日本政治の特徴を多角的に理解するため以下の授業項目に従い講義する予定である。抽象論に終始することなく、下記の授業計画の項目に従い過去から現在まで日本に生じた種々の具体的政治現象を取り上げながら話を進める予定である。

【教科書】

特に教科書は用いず、授業中に適宜参考文献を指示する予定。

地域研究基礎

2単位 秋学期
粕谷 祐子

【授業科目の内容】

自分の興味惹かれる国・地域を研究対象とする地域研究は(特にフィールド調査は)楽しい。しかし、政治学の徒として地域研究を「学問として」楽しむためには、社会科学に関する最低限の作法、概念、理論を習得する必要がある。本講義は、これらを習得することで、皆さんが(恐らく現時点では)漠然として持っているある地域に対する興味関心を、政治学的な探求心に再構成してもらうことを主な目標とする。講義では、ある特定の地域を政治学的に研究する際に知っておくべき重要な概念や分析枠組みを紹介する(各回のテーマについては授業計画参照)。個別の地域の政治を特に解説することはし

ないが、概念・分析枠組みの応用のしかたを身につけてもらうことを目的とした事例研究(途上国、先進国の両方を含む)を多くとりあげる。

【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページ(<http://homepage3.nifty.com/yukokasuya/>)よりダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

地域研究基礎

2単位 秋学期
高橋 伸夫

【授業科目の内容】

地域研究は、一方で特定の地域の個性をつかまえる学問でありながら、他方で豊富な素材をもとに各地域を横断するモデルの構築を志向する。こうした内的緊張をはらむこの学問分野の輪郭を、主として比較政治学と歴史学という二つの視座から描くのがこの講義の目的である。

【参考書】

参考文献は最初の講義で紹介する。

国際政治基礎

「20世紀の戦争と平和」 2単位 秋学期
赤木 完爾

【授業科目の内容】

このコースは、主として20世紀の戦争と平和に関する国際政治の出来事を学びながら、国際政治研究における基礎的な考え方の枠組みや、多用される術語の意味、国際政治を分析する視角などを体得することを目的としています。講義は国際政治の核心にある戦争と平和の問題を中心に議論を展開する予定です。さらに21世紀に入ってから国際政治における大きな変化である非国家主体による脅威がもたらした戦略環境の変化や、大量破壊兵器の問題についても、論議する予定です。

【教科書】

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』[原書第5版](有斐閣、2005年)

【参考書】

ポール・ケネディ『決定版 大国の興亡』全2冊(草思社、1993年)

ヘンリー・A・キッシンジャー『外交』全2冊(日本経済新聞社、1996年)

ゴードン・A・クレイグ、アレキサンダー・L・ジョージ『軍事力と現代外交 歴史と理論で学ぶ平和の条件』(有斐閣、1997年)

ジョン・ギャディス『歴史としての冷戦』(慶應義塾大学出版会、2004年)

石井修『国際政治史としての20世紀』(有信堂高文社、2000年)

有賀貞『An International History of the Modern World 近現代世界の国際関係史』(研究社、2004年)

岩内亮一、藪野祐三『国際関係用語辞典』（学文社、2003年）

田中明彦、中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』（有斐閣、2004年）

[追加の文献紹介は講義開始後に行う。またプリント教材を使うことを予定しているが、詳細は開講後に指示する]

国際政治基礎 2単位 秋学期
山本 信人

【授業科目の内容】

本講義では、国際関係論の基本的な考え方を紹介する。国際関係論の史的展開をふまえつつ、伝統的に重要な概念と実態・実践、現在の課題とそれをめぐる概念と実態・実践との関係を概観する。

【教科書】

特になし。

【参考書】

比較的入手しやすい入門書を掲げます。天児慧ほか編『アクセス国際関係論』（日本評論社、2000年）、衛藤藩吉ほか編『国際関係論』（東京大学出版会、1989年）、高坂正寿『国際政治』（中公新書、1966年）、進藤栄一『現代国際関係学』（有斐閣、2001年）、中西寛『国際政治とは何か』（中公新書、2003年）、百瀬宏『国際関係学原論』（岩波書店、2003年）ほか。

政治学科目 - 系列科目

アフリカ現代史
「植民地支配期におけるアフリカ」 2単位 秋学期
井上 一明

【授業科目の内容】

19世紀末のヨーロッパ列強による植民地化から、1960年代初頭の時期における植民地の独立までのアフリカにおける「植民地時代」を中心にして講義をおこなう。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

講義のなかで紹介する

近代日本政治史 2単位 春学期
玉井 清

【授業科目の内容】

本授業は2部構成になっている。前半の（授業計画1～3）では、日本政治史研究の現状と課題を概括した上で、研究を進めて行く上での資料の可能性（文字情報だけでなく映像の歴史資料としての可能性）に関して紹介する。

上記のことを前提に、後半（授業計画4～7）では、近代日本における立憲政治導入の意義を、伊藤博文を中心に推進された明治憲法制定の過程と、当時のわが国を取り巻く国際環境との連関から、あるいは近代日本の精神

史の観点から、福沢諭吉の言説なども紹介しながら検証したい。

【教科書】

特定の教科書は用いず授業中に適宜参考文献を紹介する予定。

行政学

「『独立自尊（ガバナンス）の行政学』は可能か」

2単位 春学期
大山 耕輔

【授業科目の内容】

行政学（public administration）の前半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「独立自尊（ガバナンス）の行政学」の可能性と限界を考察します。

【教科書】

村松岐夫『行政学教科書（第2版）』有斐閣（2001年）

【参考書】

西尾勝『行政学（新版）』有斐閣（2001年）、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』法律文化社（2002年）、拙著『エネルギー・ガバナンスの行政学』慶大出版会（2002年）、拙著『行政学入門 CDブック』慶大通信教育部（2000年）等

行政学

「『独立自尊（ガバナンス）の行政学』は可能か」

2単位 秋学期
大山 耕輔

【授業科目の内容】

行政学（public administration）の後半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「独立自尊（ガバナンス）の行政学」の可能性と限界を考察します。

【教科書】

村松岐夫『行政学教科書（第2版）』有斐閣（2001年）

【参考書】

西尾勝『行政学（新版）』有斐閣（2001年）、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』法律文化社（2002年）、拙著『エネルギー・ガバナンスの行政学』慶大出版会（2002年）、拙著『行政学入門 CDブック』慶大通信教育部（2000年）等

現代中国論

「中華人民共和国政治史」

2単位 春学期
国分 良成

【授業科目の内容】

中華人民共和国の政治史を時代順にあとづけるが、

視点は現在に置く。

【参考書】

- ・ 国分良成 『中華人民共和国』、ちくま新書、1999年
- ・ 毛里和子 『現代中国政治』名古屋大学出版会、2004年

国際政治論

「冷戦史」

2単位 秋学期

阪田 恭代

【授業科目の内容】

授業科目の内容：本講義では、現代国際政治の歴史のなかで、冷戦という時代に焦点を当てる。冷戦の起源、展開、終結の三つの時期における主要なトピックをとりあげ、その現代的意義について考える。

【教科書】

初回の授業にて発表する。

【参考書】

- 松岡完、広瀬佳一、竹中佳彦編 『冷戦史 その起源・展開・終焉と日本』同文館出版、2003年。
- 松岡完 『20世紀の国際政治 二度の世界大戦と冷戦の時代（増補改訂版）』同文館出版、2003年。
- 石井修 『国際政治史としての20世紀』有信堂高文社、2000年。
- ヘンリー・キッシンジャー（岡崎久彦監訳）『外交』（上・下巻）日本経済新聞社、1996年。
- ジョン・ルイス・ギャディス著（赤木完爾・齊藤祐介共訳）『歴史としての冷戦 力と平和の追求』慶應義塾大学出版会、2004年。
- ジョン・ルイス・ギャディス（五味俊樹ほか共訳）『ロング・ピース 冷戦史の証言「核・緊張・平和」』芦書房、2002年。
- 下斗米伸夫 『アジア冷戦史』中公新書、2004年。
- その他、適宜、授業にて紹介する。

西洋外交史

「近代ヨーロッパの国際政治史」

2単位 春学期

細谷 雄一

【授業科目の内容】

本講義では、近代国際社会の成立から第二次世界大戦勃発までの、近代ヨーロッパ外交史を検討することになる。主要なテーマは、以下の通り。

【教科書】

渡邊啓貴編 『ヨーロッパ国際関係史』（有斐閣）

【参考書】

- キッシンジャー 『外交（上）』岡崎久彦監訳（日本経済新聞社）
- クレイグ＝ジョージ 『軍事力と現代外交』木村修三他訳（有斐閣）
- ジョセフ・S・ナイ 『国際紛争 理論と歴史』田中明彦・村田晃嗣訳（有斐閣）
- 石井修 『国際政治史としての二 世紀』（有信堂）
- 佐々木雄太・木畑洋一編 『イギリス外交史』（有斐閣）
- 細谷雄一・矢澤達宏編 『国際学入門』（創文社）

細谷雄一 『大英帝国の外交官たち』（筑摩書房、近刊予定）

細谷雄一 『外交による平和』（有斐閣）

日本外交史

「国際環境の変動と日本外交」

2単位 春学期

黒沢 文貴

【授業科目の内容】

戦前日本の外交が、江戸後期以降の国際関係の変動に依りて、どのように展開されたのかを考察することにする。とくに国際関係の秩序原理と日本外交の国際認識の諸相についての基礎的理解を得ることを目的とする。

【教科書】

とくに指定しない

【参考書】

- 池井優 『三訂 日本外交史概説』（慶応通信、1992年）
- 入江昭 『日本の外交』（中公新書、1966年）
- 井上寿一 『日本外交史講義』（岩波書店、2003年）
- イアン・ニッシュ 『日本の外交政策 1869-1942』（ミネルヴァ書房、1994年）
- 細谷千博 『日本外交の軌跡』（日本放送出版協会、1993年）
- 三谷博・山口輝臣 『19世紀日本の歴史』（放送大学教育振興会、2000年）
- 山室信一 『思想課題としてのアジア』（岩波書店、2001年）
- 日本国際政治学会編 『日本外交の国際認識と秩序構想』（有斐閣、2004年）
- 外務省編 『日本外交年表並主要文書』上下（原書房、1965年）
- 外務省外交史料館編 『日本外交史辞典』（山川出版社、1992年）

マス・コミュニケーション論

「マス・コミュニケーションと社会」

2単位 春学期

川端 美樹

【授業科目の内容】

現在われわれの日常生活に深く関わっているマスメディアがどのようにして誕生し、発達してきたのか。また、社会にどのような影響を与え、その中でどのように機能してきたのか。さらに、マス・コミュニケーションは人間の社会的行動や心理にどのような影響を与えているのか。

本講義の目的は、以上のようなトピックについて学び、理解した上で現在の自分を取り巻く現状を見直し、マス・コミュニケーションをめぐる状況について客観的・批判的に考え、分析することである。

【教科書】

大石裕 『コミュニケーション研究（第2版）』慶應義塾大学出版会、2006年

【参考書】

授業時に必要に応じて指示する。

民主主義思想論

「デモクラシーの原理的考察 古代から現代まで」

2単位 秋学期

堤林 剣

〔授業科目の内容〕

冷戦終結後の現在、デモクラシーはもはや唯一実現可能にして正義に適う政治的イデオロギー、理論、制度として広く受容されるに至った（少なくとも建前上は）。また、日本を民主主義国家と定義することも、日本国憲法において主権在民、人権および平和が基本原理として尊重されている事実から疑うべくもないものとされる。しかしこうした一見自明な「事実」を前にして、「民主主義とはいったい何であるか」、「それは何・誰のためにあるのか」、「それは永遠にして不変的かつ普遍的なものか」、「もしそうでなければそれはどう変わりうるか」といった問いに答えようとした時 その答が決して容易に得られないこと、そして実際には民主主義という理念および現実をめぐる見解が甚だしく多様かつ論争的であることが明らかになるであろう。

本講義の目的は、勿論こうした混迷に終止符を打つことでも唯一絶対にして真理の民主主義の定義・理論を提供することでもない。（それは不可能のみならず、そもそも問題解決のアプローチとして多くの問題を孕んでいると思われる 詳しいことは講義で。）そうではなく、「民主主義とは何か」という原理的問いに立ち返り、古代ギリシアに遡る西洋政治思想の歴史のなかでそれがどのように問われてきたかを概観し、そこで得られる視野を通じて今日のデモクラシーの理論と現実を規定する問題群を理解し批判的に吟味する（これは否定とはまったく異なる）ための概念ツール、思考枠組みを探求することである。つまり、本講義で問題となるのは、答そのものではなく、問うべき問いをいかに探すか、そして問うべき問いに答える際に必要となる座標軸としていかなるものがありうるかを、西洋政治思想の伝統にヒントを求めつつ考えることである。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の際に適宜紹介します。

政治学科目 - 集中学習科目

演習

「ナショナリズムに関する考察」

2単位 春学期

阿南 友亮

〔授業科目の内容〕

本演習では、ナショナリズムに関連した近代社会の諸問題について幅広く議論をすることを目的とする。学生は、テキストを読み、報告をおこない、その報告に関して積極的に討論をすることが求められる。

〔教科書〕

アーネスト・ゲルナー著、加藤節訳『民族とナショナリズム』（岩波書店）

ベネディクト・アンダーソン著、白石さや・白石隆訳『想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』（NTT出版）

〔参考書〕

E.L.ホブズボーム著、浜林正夫訳『ナショナリズムの歴史と現在』（大月書店）

アンソニー・スミス著、巢山靖司訳『二〇世紀のナショナリズム』（法律文化社）

エティエンヌ・バリバル、イマニユエル・ウォーラーズティン著、若森章孝訳『人種・国民・階級 揺らくアイデンティティ』（大村書店）

橋川文三『ナショナリズム その神話と論理』（紀伊国屋書店）

演習

「政治学の古典を読む」

2単位 春学期

有賀 誠

〔授業科目の内容〕

それぞれの学問領域には、古典と言われている書物があります。しかし、それらは、名前はよく知られているとしても、実際に読まれることは極めて少ないのではないのでしょうか。

理由はいくつも考えられますが、古典は、たいてい、教科書的な本の中でその概要が紹介されており、読む前からすでに読んだ気になってしまうということが大きいように思います。実は私もそのようにして学生時代に古典を読む機会を逸してきたのですが、後年、必要に迫られて読んでみると、概要には現れてこない細部にむしろ古典の魅力が残されていることに気づきました。

本演習では、なかなかひとりでは読み通せない古典を、みんなで輪読していきたいと思います。毎回、担当者を決め、レジュメを作成した上で、30分程度の報告をしてもらいます。残り時間は、私のレクチャーと参加者のディスカッションにあて、理解を深めていくというのが基本的なスタイルになります。

取り上げる本は、広い意味での政治学の古典で、いまのところ、J・S・ミル『自由論』（塩尻公明・木村健康訳、岩波文庫）、A・トクヴィル『アメリカのデモクラシー』（松本礼二訳、岩波文庫）、W・リップマン『世論』（掛川トミ子訳、岩波文庫）といった候補を考えていますが、参加者の希望も聞いた上で、最終的な決定をしたいと思います。

〔教科書〕

輪読対象の本が、そのまま教科書ということになります。

〔参考書〕

必要に応じて、授業時に、紹介します。

演習

「昭和戦前期の政治と知識人」 2単位 春学期
岩村 正史

〔授業科目の内容〕

昭和戦前期に活動した自由主義者の評伝を輪読し、議論を行う。当時の政治状況を理解した上で、狭められた言論空間における知識人やマスメディアのあり方について考える。

〔教科書〕

北岡伸一『清沢潤 外交評論家の運命』（中公新書、2004年）
御厨貴『馬場恒吾の面目危機の時代のリベラリスト』（中央公論社、1997年）

〔参考書〕

授業中に適宜紹介する。

演習

「文学と現代思想」 2単位 春学期
蔭山 宏

〔授業科目の内容〕

「近代」とは区別される「現代」とは何か、がメインテーマ。

文学者、批評家の「現代」論をとりあげる。

ミラン・クンデラ、ベンヤミン、サイドなどを読む予定。

演習

「政党政治の実証分析」 2単位 春学期
粕谷 祐子

〔授業科目の内容〕

政党は、謎の多い組織である。民主主義の規範理論においては、政党は民主的な代議政治にとって必要不可欠な制度であり、市民と公共政策とを結ぶ「要」であるというコンセンサスがある。しかし、実証政治学における政党研究を概観すると、いまだ研究者の間で論争され、「謎」とされている点が多い。例えば、そもそもなぜ政党という組織がつけられるのか。なぜある国の政党は政策志向が強く「クリーン」なのに、他の国の政党は汚職にまみれているのか。なぜ、一見不利に見える少数派内閣を形成する政党があるのか。より身近な例では、なぜ最近の自民党においてこれまでの特徴であった族議員の活動や派閥政治が衰退しているのか。このような、理想ではなく現実の政党をめぐるさまざまな疑問について考えようとするのが本演習の目的である。より具体的には、(1) 最近の比較政治学における政党研究の主要な分析枠組みを学び、(2) それらの枠組みを現実の政党政治分析に応用する能力を身につける、の二点をめざす。毎回の授業の進め方は、まず、報告担当者による教科書1章分のまとめ、コメンテーター(2名)による論点の提示をおこなった後、クラス全体でディスカッションをおこな

う。期末レポート(A4用紙2行間隔で5枚程度)では、授業で学んだ理論を自分の興味のある国・地域での政党政治に応用した分析をおこなってもらう(対象国は途上国、先進国、どこでも可)。

〔教科書〕

川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙』有斐閣アルマ、2000年、1800円。(各自購入してください)

〔参考書〕

随時紹介します。

演習

「近代日本と戦争」 2単位 春学期
加地 直紀

〔授業科目の内容〕

所謂「東京裁判史観」に基づくと思われる学校教育、あるいは偏向したマス・メディアの報道により、戦争=悪という一面的な捉えられ方がなされている。しかし戦争は、政治・経済・軍事・文化・思想・科学等の総力をあげて遂行される国策であり、道徳で割り切れるものではない。本演習では近代日本が遂行した戦争を検討し、その上で、今後日本が選択すべき国家戦略について討論したい。かかる目的を達成するため、最初に私の講義により、日清戦争から太平洋戦争までを概観していただく。その後、各履修者が、担当する戦争について発表する。また過去の新聞を、マイクロフィルム・リーダーで検索することにも習熟していただく。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

必要であれば、提示する。

演習

「マス・コミュニケーションと社会をめぐる諸問題」 2単位 春学期
川端 美樹

〔授業科目の内容〕

本演習では、マス・コミュニケーションと社会、特に政治、文化、そして人間の現実認識に関する諸問題をさまざまな側面からとりあげ、学び、考え、そして議論することを目的とする。マス・コミュニケーション論に関する基礎的な知識など、こちらから提供する内容を身につけた上で、受講者がテレビ、新聞などさまざまなマス・メディアに関して興味のある具体的なテーマについて考え、調べ、発表し、議論することを最終的な目標としている。

〔教科書〕

授業時に必要に応じて指示する。

〔参考書〕

授業時に必要に応じて指示する。

演習

「昭和戦前期の戦争について考える」 2単位 春学期
黒沢 文貴

【授業科目の内容】

昭和戦前期の戦争については、大東亜戦争、太平洋戦争、十五年戦争、第二次世界大戦、アジア・太平洋戦争などさまざまな呼称があり、さらに政府は「先の大戦」と呼びならわしている。戦争の呼び名はそれぞれの価値観の反映であるが、それゆえ多様な呼称の存在は、「あの戦争」にたいするさまざまな評価・認識が日本国内にあることをあらわしている。本演習では、そうしたすべての視点を網羅的に取りあげることにはできないが、比較的最近出版された著作物を手がかりにして、昭和戦前期の戦争をめぐるいくつかの論点について考えてみたい。

【教科書】

演習参加者の意見も参考にしたいが、現在講読を予定しているのは、保阪正康『あの戦争は何だったのか』（新潮新書）、東條由布子編『大東亜戦争の真実』（WAC）、吉田裕『日本人の戦争観』（岩波現代文庫）、藤原帰一『戦争を記憶する』（講談社現代新書）、小菅信子『戦後和解』（中公新書）。

【参考書】

入江昭『歴史を学ぶということ』（講談社現代新書）

演習

「地方自治の歴史的展開」 2単位 春学期
神崎 勝一郎

【授業科目の内容】

この授業では、わが国の地方自治の歴史的展開について、基礎を学びながら一緒に考えていきます。まず、下記教科書の第4章「地方自治制度の形成と発展」を読み、各節ごとに問題点や疑問点を、受講者全員から提示してもらいます。次にそれら問題点や疑問点を中心に、より深く検討することで、明治から平成にかけての地方自治の発展とその歴史的背景の理解を深めていきます。

【教科書】

笠原英彦・桑原英明編著『日本行政の歴史と理論』芦書房（平成16年 2800円）

【参考書】

適宜提示します。

演習

「いかに政治参加をなすのか」 2単位 春学期
河野 武司

【授業科目の内容】

アメリカにおいてNPO・市民活動のための画期的ガイドブックとされる下記の教科書を輪読することを通して、政治参加の諸問題を理解します。

【教科書】

バリー・R・ルービン『アメリカに学ぶ市民が政治を

動かす方法』鈴木崇弘監訳、日本評論社、2002年。

【参考書】

特に指定しません。

演習

「社会学を疑う」 2単位 春学期
小谷 敏

【授業科目の内容】

パオロ・マツァーリノさんの下記のテキストを読みます。マツァーリノさんは、社会学は統計を巧みに用いてとんでもない通念を社会にもたらす、眉唾ものの学問だとかかなり過激なことをいっています。果たしてそうなのか。じっくりと考えてみましょう。

【教科書】

パオロ・マツァーリノ『反社会学講座』イーストプレス 2,100円

【参考書】

追って指示します

演習

「徳富蘇峰の生涯と近代日本史」 2単位 春学期
沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰（1863～1957年）は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。蘇峰の生涯を記した日本語文献を講読することにより、近代日本の歴史を内面から探ってみよう。

【教科書】

授業内に指示（コピー配布の場合あり）

演習

「脱工業化・グローバル化と多文化交錯社会における市民意識の動態」 2単位 春学期
関根 政美

【授業科目の内容】

本授業では、著作あるいは論文を土台に討論を行う演習授業を実施する。履修者の数にもよるが、毎回2、3名の報告者による競争的報告を行ってもらい、それらをもとに討論する。また、必要に応じて本授業のテーマに沿ったビデオを見て討論したいと思う。著作論文の選択に際しては履修者の希望も取り入れたいと思う。

授業のテーマは以下の通り。現代世界はグローバル化（国際化）の影響を経験し大きな文化・社会変動を経験している。「グローバル化」、近年日本でも盛んに使われるようになった言葉だが、グローバル化そのものは多様な現象であり、一筋縄ではその実態をつかむことが難しい。本授業では、人口移動のグローバル化に焦点を当てて、国民国家の多文化・多民族社会化の動きと、その社会・文化的影響について議論しながら考察を加えたい。

〔教科書〕

未定 最新のものを利用したいので未定。著書の他に論文の輪読も予定。最初の授業で提示するので履修希望者は必ず参加すること

〔参考書〕

関根政美『多文化主義社会の到来』朝日新聞社、2000年。

D・ヒーター（田中・関根訳）『市民権とは何か』岩波書店、2003年。

演習 2単位 春学期
三船 毅

〔授業科目の内容〕

現代日本政治過程研究に関する基礎的文献を購読する。具体的内容としては、有権者の政治行動（投票行動、政治参加など）に関する実証分析の文献を中心に講読し、政治学における実証研究とその方法を学ぶ。講読する文献は、最初の時間に受講者と相談したうえで決定する。

演習 「遠い戦争の記憶」 2単位 春学期
萩原 能久

〔授業科目の内容〕

戦後60余年を経過し、戦争の記憶は風化の一途をたどっている。平和とは「戦争のない状態」として定義されることが多いが、この定義の良し悪しはおくとしても、身近に戦争がない、つまり戦争はどこか遠くの異国の地のできごとであり、時間的にも忘却のかなたに追いやられた遠い過去のものであるとの認識が今日、われわれが享受している平和の根底にあることは否定できない。だからこそ、平和の本当のありがたさがわからず、「ふつうの国」論を持ち出したりして戦争をしたがる人が増えてきている。確かに人間は「忘れる動物」であり、だからアウシュヴィッツの後も生き残ることのできた存在なのだが、その他方で、近代国家は、様々な「公的記憶」の制度化によって、「国民の栄光の物語」を産出しつづけているのである。記憶と忘却のはざまに、それとは異なる人間の可能性は存在しないのだろうか。

この演習では戦争をめぐる記憶と忘却をテーマに、できるだけ多くの書物を読みながら議論を重ねたい。

〔教科書〕

初回の授業の際に履修者と相談したいと思いますが、少なくとも以下にあげる書物は是非とも読みたいと思います。

『戦争の記憶をさかのぼる』、坪井秀人、ちくま新書

『戦争の記憶』、イアン・ブルマ、ちくま学芸文庫

『アウシュヴィッツは終わらない』、ブリーモ・レイヴィ、朝日選書

『アウシュヴィッツの残りもの』、ジョルジョ・アガンベン、月曜社

〔参考書〕

必要だと思ふ文献は議論のなかでアドヴァイスしてい

きます。

演習

「現代アメリカ政治と「保守化」」 2単位 秋学期
天野 拓

〔授業科目の内容〕

現代共和党の変容を通して、アメリカ政治の現状について学ぶのが、本授業の目的である。近年のアメリカ政治のひとつの特徴は、共和党がこれまでになく保守的な性格を強めるとともに、その勢力を拡張させている点にある。こうした保守化傾向は、内政、外交を問わず、顕著である。その背景には、共和党内の保守派議員の増加だけでなく、共和党を支持する利益団体やシンクタンクの活発な活動の存在がある。現ブッシュ政権を支えているのも、これら共和党保守派とその支持勢力に他ならない。本授業では、なるべく具体的な事例を参照しながら、現在共和党が進めようとしている保守的な政策、そしてその支持勢力についての理解を深めるとともに、現代アメリカ政治における「保守化」傾向について考えたい。

〔教科書〕

久保文明編『G.W.ブッシュ政権とアメリカの保守勢力 共和党の分析』日本国際問題研究所（2003年）

〔参考書〕

佐々木毅『現代アメリカの保守主義』（岩波書店）、グロバー・ノーキスト『「保守革命」がアメリカを変えろ』（中央公論社）、中岡望『アメリカ保守革命』（中公新書ラクレ）など。

演習

「国際関係理論と大国外交」 2単位 秋学期
今野 茂充

〔授業科目の内容〕

本演習では、国際関係理論および国際安全保障の基本的な考え方を学んだ上で、受講者が自らの頭で大国外交の諸問題について理論的に分析し、議論できるようになることを目指します。毎回、2、3名程度の報告者に課題文献（および参考文献）の要旨と問題点について報告してもらい、報告内容と担当者による補足説明を土台に全員で討論する形をとります。

〔教科書〕

初回の授業の際に文献リストを配布します。

〔参考書〕

ジョセフ・ナイ『国際紛争 原書第5版』（有斐閣、2005年）を初回の授業までに必ず読んでおいてください。

演習

「冷戦史を読む」 2単位 秋学期
阪田 恭代

〔授業科目の内容〕

現代国際政治を理解する上で冷戦に関する知識は不可欠である。本演習では、冷戦史研究の代表者の一人であ

るギャディスの著作を読み、冷戦という時代における様々な問題、そしてその現代国際政治における意味を考える。

【教科書】

ジョン・ルイス・ギャディス著（赤木完爾・齊藤祐介共訳）『歴史としての冷戦 力と平和の追求』慶應義塾大学出版会、2004年。（原版 John Lewis Gaddis, *We Now Know: Rethinking Cold War History*, Oxford University Press, 1997）（邦訳版を購入して初回の授業に持参して下さい。）

【参考書】

以下 - はレポート作成のためのガイドである。授業で適宜利用するので、とくに and/or は購入しておくことを勧める。 - は冷戦史の関連参考文献である。その他、適宜、授業にて紹介する。

河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会）（第3版あるいは最新版）

小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書

小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術 インターネット完全活用編』講談社現代新書

ジョン・ルイス・ギャディス（五味俊樹ほか共訳）『ロング・ピース 冷戦史の証言「核・緊張・平和」』芦書房、2002年。

下斗米伸夫『アジア冷戦史』中公新書、2004年。

演習

「戦前昭和期の革新思想」 2単位 秋学期
玉井 清

【授業科目の内容】

近代日本政治史上、5・15事件とともに2・26事件は、軍部青年将校による軍事叛乱として特筆すべきものであろう。叛乱自体は失敗に帰したものの、同事件がその後の日本の政治に与えた影響は多大なものがある。また、彼等青年将校の思想は、同時代の日本人が抱えていた、政治、外交、経済、社会等に対する不満を先鋭的に表出させていたと捉えることもできる。本演習では、2・26事件を首謀した彼等青年将校の意識と心理に考察を加えた下記の書籍を題材に、昭和戦時期の政治思想について議論を深めていきたいと考えている。

また、研究を進めていく上で必要になる、新鮮かつ解決可能な問題設定の方法、既存研究の調査、資料の収集、整理、分析、さらにはこれを論理的帰結へと導く方法に関しても講義する予定である。

【教科書】

須崎慎一『二・二六事件 青年将校の意識と心理』（吉川弘文館、2003年）

演習

「現代韓国政治を見る眼」 2単位 秋学期
西野 純也

【授業科目の内容】

現代韓国の政治・経済に関する文献を購読することで、韓国政治に関する専門的知識を習得すると共に学問的な問題意識を深めることを目的とする。

【教科書】

木宮正史『韓国 民主化と経済発展のダイナミズム』ちくま新書、2003年。

木村幹『朝鮮半島をどう見るか』集英社新書、2004年。

渡辺利夫『韓国経済入門』ちくま学芸文庫、1996年。

その他、韓国政治・経済関連論文（最初の授業で指示）

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

演習

「戦後日米関係と対日イメージ」 2単位 秋学期
昇 亜美子

【授業科目の内容】

戦後の日本外交は、安定した友好的な日米関係に支えられて展開してきた。しかしながら、米国の知識人および大衆が形成する対日イメージには、時代とともに大きな振幅があった。太平洋戦争中に形成された「敵」としての日本イメージから、共産主義圏と和解する可能性の高いひ弱な同盟国、そして米国にとって脅威となる経済大国といったイメージの変化が見られたのである。

本演習では、戦後日米関係史を学ぶと共に、主に米国における知識人の論考に表れた米国の対日イメージに焦点を当てることにより、日米関係の多角的な理解を深めることを目的とする。また、マス・メディアによる報道、世論調査、映画や文学に表れた対日イメージについても随時触れ、映画やドキュメンタリーフィルムの上映も予定している。

毎回の授業の進め方は、指定文献につき、要旨のまとめと問題提起の2名の報告者を割り当てる。授業の後半は、戦後日米関係と対日イメージに関する自由な研究テーマに基づき各自が発表を行う。

【教科書】

細谷千博編『日米関係通史』（東京大学出版会、1995年）

奥井智之著『日本問題 「奇跡」から「脅威」へ』（中公新書、1994年）

梅垣理郎編訳『戦後日米関係を読むー「フォーリン・アフェアーズ」の目』（中央公論社、1993年）

【参考書】

加藤秀俊・亀井俊介編『日本とアメリカ相手国のイメージ研究』（日本学術振興会、1991年）

増田弘・土山實男編『日米関係キーワード』（有斐閣、2001年）

ジョン・W.ダワー著・斎藤元一訳『容赦なき戦争

太平洋戦争における人種差別』(平凡社、2001年)。
 細谷千博・入江昭・大芝亮編『記憶としてのパールハーバー』(ミネルヴァ書房、2004年)。
 『日本の「ミドルパワー」外交 戦後日本の選択と構想』(ちくま新書、2005年)。

演習
 「共和党の台頭と現代アメリカ政治」 2単位 春学期
 天野 拓

〔授業科目の内容〕

1994年以降の共和党の台頭が、現代アメリカ政治 特に内政 に及ぼしたインパクトについて学ぶのが、本授業の目的である。1994年の中間選挙において、共和党は約40年ぶりに、上下院で多数を占めるという、歴史的勝利を収めた。重要なのは、その後、政策公約「アメリカとの契約」に端的に示されているように、これまでになく保守的な性格の強い政策を推し進めようとした点である。しかしこうした政策は、当然のことながら、クリントン政権や民主党、リベラル系団体の強い反発を招いた。では、共和党の歴史的勝利から十年以上が経過した現在、当初共和党が押し進めようとした保守的な政策は、どの程度実現したのだろうか。その背景要因とは何か。本授業では、こうした点について、主に医療政策や福祉政策などの内政を事例に、可能な限り具体的な問題を参照しながら、考えてみたい。

〔教科書〕

Chris Edwards and John Samples eds., *the Republican Revolution 10 Years Later: Smaller Government or Business as Usual?* Whshington D.C.: Cato Institution, 2005を予定している。

〔参考書〕

吉原欽一「現代アメリカの政治権力構造 岐路に立つ共和党とアメリカ政治のダイナミズム」(日本評論社)など。

演習
 「一極構造時代の国際政治」 2単位 春学期
 今野 茂充

〔授業科目の内容〕

本演習では、一極構造に関する国際政治の基本的な知識を習得した上で、冷戦後のアメリカ一極構造の様々な側面を、理論と政策の両面から考察していくことを目的とします。毎回、数人の報告者を決めて課題文献の内容について報告してもらい、報告内容と担当者による補足説明を土台に全員で討論する形をとります。

〔教科書〕

Stephen M. Walt, *Taming American Power: The Global Response to US Primacy* (W.W. Norton, 2005) . その他の課題文献については、初回の授業の際にリストを配布します。

〔参考書〕

チャールズ・カプチャン『アメリカ時代の終わり』

(日本放送協会出版、2003年)上下巻、ロバート・ケーガン『ネオコンの論理』(光文社、2003年)、デービッド・ハルバースタム『静かなる戦争』(PHP研究所、2003年)上下巻など。

演習

「戦時期アメリカの対日イメージ」 2単位 春学期
 玉井 清

〔授業科目の内容〕

日中戦争から太平洋戦争に至る過程において、アメリカは日本に対していかなるイメージを抱いていたのだろうか?この問題意識に立ち、当時アメリカにおいて公開された研究書、新聞、週刊誌、さらには当時プロパガンダ用として製作されたドキュメンタリー映画やアニメの映像等も題材にして、当該期アメリカの対日イメージの実像に考察を加えていきたいと考えている。

〔教科書〕

特定の教科書は用いず、資料はコピーを用いる予定である。

演習

「国際政治経済の理解」 2単位 春学期
 西野 純也

〔授業科目の内容〕

国際政治経済学の分析枠組みを用いて、経済発展、地域経済統合、グローバリゼーションといった現象を理解するためのセンスを身につけることを目標とする。

〔教科書〕

Robert Gilpin, *Global Political Economy: Understanding the International Economic Order* (Princeton University Press, 2001)

〔参考書〕

授業の中で適宜紹介する。

演習

「戦後東アジアの国際関係」 2単位 春学期
 昇 亜美子

〔授業科目の内容〕

本演習は、戦後東アジアの国際関係に関する基本的知識と分析視角を習得することを目的とする。戦後東アジアの国際関係には欧州とは異なるパターンがあったのか。同地域の国際関係の展開は、歴史の遺産、「大国」の勢力均衡の変化、政治経済的発展、地域主義の制度化の動きによって、どのような影響を受けたのか。また、冷戦の終焉は東アジアの国際関係にどのような影響をもたらしたのだろうか。本演習では、Michael Yahuda, *The International Politics of the Asia-Pacific 1945-1995* (Routledge Curzon, 2nd edn, 2004) を輪読しながら、こうした問題を考えていきたい。

毎回の授業の進め方は、教科書の1章(英文25ページ程度)につき、要旨のまとめと問題提起の2名の報告者

を割り当てる。授業の後半は、東アジアの国際関係に関する自由な研究テーマに基づき各自が発表を行う。

下記参考書以外にも逐次日本語の参考文献を紹介するので、教科書と併せて読むことが望ましい。

【教科書】

Michael Yahuda, *The International Politics of the Asia-Pacific 1945-1995* (Routledge Curzon, 2nd edn, 2004).

【参考書】

石井修『国際政治史としての二〇世紀』(有信堂、2000年)

山極晃『東アジアと冷戦』(三嶺書房、1994年)

下斗米伸夫『アジア冷戦史』(中公新書、2004年)

矢野暢編『講座 東南アジア学・第九巻 東南アジアの国際関係』(弘文堂、1991年)

添谷芳秀・田所昌幸編『現代東アジアと日本1 日本の東アジア構想』(慶応義塾大学出版会、2004年)

山影進『ASEANパワー アジア太平洋の中核へ』(東京大学出版会、1997年)

演習

「ネイション・ステイト(国民国家)と戦争」

2単位 秋学期

阿南 友亮

【授業科目の内容】

本演習では、18世紀後半以降形成されたネイション・ステイト(国民国家)と軍隊・戦争との相関性について考察する。学生は、テキストを読み、報告をおこない、その報告に関して積極的に討論をすることが求められる。報告と議論は基本的に日本語を用いておこなうが、英語によるプレゼンテーションとディベートをおこなう機会も設ける予定である。

【教科書】

Theda Skocpol, *States and Social Revolution*

(Cambridge: Cambridge University Press, 1979).

Theda Skocpol, "Social Revolutions and Mass Military Mobilization", Rosemary O'kane, *REVOLUTION vol.2* (London: Routledge, 2000).

【参考書】

Bruce D. Porter, *War and the Rise of the State: The Military Foundations of Modern Politics* (New York: Free Press, 1994).

ウィリアム・マクニール著、高橋均訳『戦争の世界史技術と軍隊と社会』(刀水書房)

アンソニー・ギデンズ著、松尾精文他訳『国民国家と暴力』(而立書房)

加藤陽子『徴兵制と近代日本1868-1945』(吉川弘文館)

アルフレート・ファークツ著、望田幸男訳『ミリタリズムの歴史 文民と軍人』(福村出版)

演習

2単位 秋学期

井上 一明

【授業科目の内容】

Current History、およびEconomistなどの雑誌から、アジア、アフリカ、ラテンアメリカそして中東などのいわゆる発展途上国における政治、経済、社会そして開発の問題に関するできるだけ新しい論文ないしは特集記事を取り上げて輪読する。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業のなかで紹介する。

演習

「1930年代、各国出版界のナチス・ドイツ認識」

2単位 秋学期

岩村 正史

【授業科目の内容】

1930年代における英米出版界の対独姿勢に関する研究書を輪読し、議論を行う。また、同時代の日本の言論状況との比較を行う。全体主義に対する言論人・出版人のあり方について、歴史から考える。

【教科書】

James J. Barnes and Patience P. Barnes, *Hitler's Mein Kampf in Britain and America: A Publishing History 1930-1939* (Cambridge: Cambridge University Press, 1980) のコピーを配布する。

【参考書】

岩村正史『戦前日本人の対ドイツ認識』(慶應義塾大学出版会、2005年)

演習

「世界政治の動向と分析」

2単位 秋学期

小野 直樹

【授業科目の内容】

履修者が、現在の世界政治の動向を把握し、社会科学としての国際関係論を適用してそれらを理解出来るようになることを目的として、報告、討論を行う。

【教科書】

授業後半で、ラセット、スター、キンセラ、『世界政治の分析手法』、論創社、2002年を使用する予定。

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

演習

「民主化後途上国のガバナンス」

2単位 秋学期

粕谷 祐子

【授業科目の内容】

1970年代以降におこった多くの途上国での民主化は、

20世紀の政治史における重要なできごとのひとつです。しかし、権威主義体制から民主主義体制への移行をもってハッピーエンドとなるわけではありません。民主化後に特有の新しい課題、例えば、新しい体制が権威主義に逆行しないためにはどうしたらよいのか、また民主的な政治運営の蓄積がないなかで民主的な統治をうまくこなうにはどうしたらいいのか、といった問題が浮上してきます。本演習では、民主化後に途上国が直面するさまざまな政治的問題について、英語の文献講読、ディスカッション、レポート作成を通じて検討します（毎週10から25ページ程度の英語論文を読むので、かなりの負担となることを覚悟してください）。本演習の目的としては、まず、民主化を果たした途上国が民主主義体制を定着させるにあたって争点となっている諸問題はなにか、それらはどのように分析され、どのような知見が蓄積されているのかを把握すること、があります。そのうえで、自分の興味をもっている国あるいは問題に関するレポート作成を通じ、民主主義の定着の問題を（他人の議論の受け売りではなく）能動的に考えてもらうことを目的としています。また、より一般的な目的としては、英語の読解力を高める、政治学的な思考方法を身につける、学術的な討論のしかた及び論文の書き方を学ぶ、などがあります。

【教科書】

特になし。必要な資料を授業初回に配布します。

【参考書】

随時紹介する。

演習

「選挙の実態をアメリカに学ぶ」 2単位 秋学期
河野 武司

【授業科目の内容】

下記の教科書の輪読を通して、アメリカの実態から代議制民主主義を駆動させるエンジンの一つである選挙の諸問題を理解します。

【教科書】

Stephen J. Wayne, *Is this any Way to Run a Democratic Election?*, Boston: Houghton Mifflin Company, 2003. 本書は全9章230ページからなる比較的短くて読みやすい英書です。

【参考書】

特に指定しません。

演習

「徳富蘇峰の生涯と近代日本史」 2単位 秋学期
沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰（1863～1957年）は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。蘇峰の生涯を記した英語文献を講読することにより、近代日本の歴史を内面から探ってみたい。

【教科書】

授業内に指示（コピー配布の場合あり）

演習

「西洋政治思想史 ソクラテスから現代まで」

2単位 秋学期
堤林 剣

【授業科目の内容】

教科書として指定した文献を輪読しながらディスカッションを行うことにより、西洋政治思想の基礎を学ぶと同時にその理解を深める。古代から現代まで概観する予定ではあるが、当然ながらすべての著名な思想家を扱うことは不可能なので、履修者と相談の上、以下のリストから数名選ぶことにする。

ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、アウグスティヌス、アキナス、マルシリウス、マキアヴェッリ、ホブズ、ロック、ヒューム、モンテスキュー、ルソー、フェデラリスト、ウルストンクラフト、トクヴィル、ベンサム、ミル、バーク、ヘーゲル、マルクス、ニーチェ、オークショット、ハーバーマス、ロールズ、フーコー

【教科書】

David Boucher and Paul Kelly (ed.), *Political Thinkers: From Socrates to the Present* (Oxford: Oxford University Press, 2003)

演習

「現代中東論に関する英語文献の講読」 2単位 秋学期
富田 広士

【授業科目の内容】

現代中東論に関する次の文献を初めとする英語文献の一部をコピーして、講読する。

- (1) United Nations Development Programme, et al. (2003), *The Arab Human Development Report 2003: Building a knowledge society*, United Nations Publications
- (2) Saad-Ghorayeb, Amal (2002), *Hizbu'llah: Politics and Religion*, London, Pluto Press
- (3) Mishal, Shaul and Sela, Avraham (2000), *The Palestinian Hamas: Vision, Violence and Coexistence*, New York, Columbia University Press
- (4) el Khazen, Farid (2000), *The Breakdown of the State in Lebanon: 1967-1976*, London, I.B.Tauris Publishers
- (5) Norton, Augustus Richard, ed. (1995), *Civil Society in the Middle East*, vol. 1, Leiden, E.J.Brill (1996), *Civil Society in the Middle East*, vol. 2, Leiden, E.J.Brill

【教科書】

テキスト：文献のコピーの求め方は初回授業時間に指示する。

演習

「第一次世界大戦後の国際政治」 2単位 秋学期
細谷 雄一

【授業科目の内容】

第一次世界大戦はそれまでの古い世界を破壊して、新しい秩序を生み出すことになった。しかしそれは、脆弱で問題を多く抱えた新秩序であった。第一次世界大戦は伝統的なくつもの帝国を崩壊させて、アメリカとソ連というイデオロギー国家を国際政治の中核に導くことになった。そして日本が東アジアで台頭する契機を生み出し、ワシントン体制と呼ばれる国際体制をもたらした。

この授業では、少人数の演習形式により、エリック・ゴールドスティンの優れた戦間期国際政治史についての英語テキストを読むことになる。「20世紀の幕開け」としての第一次世界大戦の後の国際政治を学ぶことで、20世紀の国際政治を理解する手がかりを得たい。

【教科書】

Erik Goldstein, *The First World War Peace Settlements 1919-1925* (Longman, 2002).

【参考書】

細谷雄一『大英帝国の外交官』（筑摩書房）
E.H.カー『両大戦間における国際関係史』（清水弘文堂）
キッシンジャー『外交（上）』（日本経済新聞社）
齋藤孝『戦間期国際政治史』（岩波書店）

演習

2単位 秋学期
三船 毅

【授業科目の内容】

政治学における、実証研究分野の基礎的文献を講読する。今年度は、アメリカにおける大統領選挙の投票率低下に関する文献を講読する予定である。また、時間があれば受講生の要望も取り入れて、他の文献も講読する。

演習

「ナショナリズム論入門」 2単位 秋学期
山本 信人

【授業科目の内容】

ナショナリズムとはなにか。ネーションとはなにか。なぜ特定のネーションへの帰属意識が人びとにとって重要なのか。ナショナリズムを理解することは、現代の社会的紛争や政治的対立関係の理解につながる。本演習では、ナショナリズムの基本的な考え方とその変遷について学び、議論する。また、ナショナリズムに関連した期末ペーパーを作成することで、問題設定の仕方、調査の方法、論文の書き方についても指南する。

【教科書】

STEVEN GROSBY, *NATIONALISM: A VERY SHORT INTRODUCTION* (OXFORD UNIVERSITY PRESS, 2005)

【参考書】

適宜紹介する予定。

4 商学部

商学部では2005年4月一年次入学者より新カリキュラムが導入されました。それにより設置科目や設置形態が学則により異なりますので、シラバスを読む際に気をつけてください。参照ページは以下のとおりです。

2005年4月以降一年次入学者 337ページ～
2004年以前入学者(2005年度二年編入含) 361ページ～

基礎科目 類 (基礎必修科目)

経済学基礎

「マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎」 2単位 春学期
桜本 光 早見 均
牧 厚志

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する。

〔教科書〕

井原哲夫・牧厚志・桜本光・辻村和佑著『経済学入門』
日本評論社(2003年)

〔参考書〕

牧担当のクラスのみ牧厚志著『日本人の消費行動』ちくま新書(1998年)

経済学基礎

「マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎」 2単位 秋学期
桜本 光 早見 均
牧 厚志

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する。

〔教科書〕

井原哲夫・牧厚志・桜本光・辻村和佑著『経済学入門』
日本評論社(2003年)

微積分

「微積分の基礎(前)」 2単位 春学期/秋学期
小宮 英敏 白旗 優
菅原 昭博 安田 公美
渡部 睦夫

この科目を履修し不合格だった場合は秋学期開講「微積分」を履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

社会科学の様々な学問において、数学的な考え方や数学的手法が必要とされています。専攻科目の基礎となる経済学、経営学などを、数学を用いて理解、研究する時に必要となる、微分、積分の基礎について学ぶのがこの「微積分I」です。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

微積分

「微積分の基礎(後)」 2単位 春学期/秋学期
小宮 英敏 白旗 優
安田 公美 矢野 裕子
渡部 睦夫

この科目は春学期開講「微積分」が不合格だった場合は履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

「微積分I」に引き続き、微分、積分の基礎について学びます。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

統計学

「統計学入門コース」 2単位 春学期
新保 一成 早見 均
吉岡 完治

〔授業科目の内容〕

統計学 および統計学 を通じて、統計学の基本的知識を身に付けるとともに、データの分析手法を習得する。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版)
(東洋経済新報社)

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』
(NTT出版)

統計学

「統計学基礎コース」 2単位 秋学期
新保 一成 早見 均
吉岡 完治

〔授業科目の内容〕

統計学Iに引き続き、統計学の基本的知識を身に付けるとともに、データの分析手法を習得する。統計学 を履修してあることを前提とする。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版)
(東洋経済新報社)

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』
(NTT出版)

基礎科目 類 (基礎基盤科目)

経済史 2単位 春学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。春学期の授業では、第二次大戦後の復興期から高度成長期までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業をケースとしてとりあげ、「日本的」と称されるシステムがどのようなプロセスで生成してきたのかを講義する予定です。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭『現代日本経済』有斐閣、1998年。

経済史 2単位 秋学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、将来、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。秋学期の授業では、「日本型」経済・企業システムの変化を意識しつつ、1970年代の石油危機以降から90年代までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業・企業の事例に注目して講義する予定です。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭『現代日本経済』有斐閣、1998年。

経済史 「近代日本経済史入門」 2単位 春学期
平野 隆

〔授業科目の内容〕

開港・明治維新期から1920年代（昭和恐慌）までの時期を対象として、日本の経済・社会の歴史的展開を概観することによって、現代の様々な経済・社会問題の背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しないが、次の資料集を講義中に参照するので準備すること。

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』（第2版）東京大学出版会

〔参考書〕

三和良一『概説日本経済史・近現代』（第2版）東京大

学出版会

中村隆英『日本経済』（第3版）東京大学出版会

梅村又次他編『日本経済史』（1～6巻）岩波書店

尾高煌之助・斎藤修（編）『日本経済の200年』日本評論社

大野健一『途上国ニッポンの歩み』有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

経済史

「現代日本経済史入門」

2単位 秋学期

平野 隆

〔授業科目の内容〕

経済史 を受けて、1930年代（高橋財政）から21世紀初頭までの時期を対象として、現代日本の経済・社会の歴史的背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しないが、次の資料集を講義中に参照するので準備すること。

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』（第2版）東京大学出版会

〔参考書〕

三和良一『概説日本経済史・近現代』（第2版）東京大学出版会

中村隆英『日本経済』（第3版）東京大学出版会

梅村又次他編『日本経済史』（6～8巻）岩波書店

中村隆英『昭和経済史』岩波書店

橋本寿朗『戦後の日本経済』岩波新書

大野健一『途上国ニッポンの歩み』有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

社会経済学

2単位 春学期

赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

社会経済学

2単位 秋学期

赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史

的・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

私法基礎

「民事法の基礎」 2単位 春学期
本田 耕一

〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

〔教科書〕

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

私法基礎

「民事法の基礎」 2単位 秋学期
本田 耕一

〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

〔教科書〕

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

私法基礎

「市民法の基本概念と基礎理論(1)」 2単位 春学期
松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、家族、財産、契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利（人格権、物権、債権および家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権）が帰属するかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎（春学期分）では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の主体および客体を

中心にして解説を行う。

〔教科書〕

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎（第4版）』慶應義塾大学出版会（2005年）。

〔参考書〕

道垣内弘人『ゼミナール民法入門（第2版）』日本経済新聞社（2003年）、二宮周平『家族法』新世社（1999年）。

私法基礎

「市民法の基本概念と基礎理論(2)」 2単位 秋学期
松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、家族、財産、契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利（人格権、物権、債権および家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権）が帰属するかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎（秋学期分）では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の変動を中心にして解説を行う。

〔教科書〕

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎（第4版）』慶應義塾大学出版会（2005年）。

〔参考書〕

道垣内弘人『ゼミナール民法入門（第2版）』日本経済新聞社（2003年）、二宮周平『家族法』新世社（1999年）。

専攻科目 類（専攻核科目）

経営学（環境と戦略） 2単位 春学期
岡本 大輔 佐藤 和
谷口 和弘

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

経営学（組織と管理） 2単位 秋学期
岡本 大輔 佐藤 和
谷口 和弘

【授業科目の内容】

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

【教科書】

初回の講義で説明する。

【参考書】

初回の講義で説明する。

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期
坂口 博

【授業科目の内容】

簿記はビジネスの言葉といわれて、現実の経済社会を正しく理解するうえで非常に重要な科目です。講義では、企業の簿記である複式簿記の基本的な考え方と、企業の活動とその業績を知るために不可欠になる財務諸表の作り方とその見方について学修します。半期科目で授業の回数が少ないので、進み方が早いですから休まないように心がけてください。

【教科書】

坂口博著『現代企業の簿記会計提要』泉文堂刊

【参考書】

日本商工会議所編『商業簿記問題集・3級』一ツ橋出版・税務経理協会等

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期
鷹野 宏行

【授業科目の内容】

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

【教科書】

友岡賛、福島千幸著『アカウンティング・エッセンシャルズ』有斐閣

基本簿記と財務諸表の見方
「複式簿記論と財務諸表分析」 2単位 春学期
佐藤 康廣

【授業科目の内容】

複式簿記の処理手続を体系的知識として修得すること。更に、記録に基づき財務諸表の作成・分析の技法を修得することを目的とする。このため、講義資料により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために練習を行う。

【教科書】

講義資料プリントを配布します。

【参考書】

『新検定簿記講義3級』中央経済社、『新検定ワークブック3級』中央経済社

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期
永見 尊

【授業科目の内容】

企業の成績を評価するためには、会計数値を理解することが不可欠です。どの企業がより優れているのか、あるいは一企業の3年間の成績はどのように推移しているのか、といった側面を知るためには、たとえば売上高、経常利益、流動資産あるいは自己資本といった会計用語や数値の意味が理解できなければなりません。この授業は、簿記の仕組み、貸借対照表および損益計算書の意味、そして財務諸表の分析といった幅広い領域を対象として、簿記および会計の基本的な考え方を学びます。

【教科書】

中村忠『新訂 現代簿記』白桃書房。

講義資料プリントおよび問題プリントを適宜配布します。

基本簿記と財務諸表の見方
「企業活動の記録システムを学ぶ」 2単位 春学期
高田 京子

【授業科目の内容】

本講義では、複式簿記の概要、および、財務諸表の基本的な読み方を学習する。複式簿記とは、企業の経済活動を翻訳し、記録し、報告するためのシステムである。また、このシステムによって作成される情報（財務諸表）は、企業の財政状態や経営成績を表すものとして、企業をとりまく種々の利害関係者によって利用されている。本講義の学習内容は企業や経済環境を理解するための基礎となるだろう。

【教科書】

開講時に指示する。

商業学（春学期開講です）
「ミクロ・マーケティング論の基礎」 2単位 春学期
齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究のミクロ・マーケティング論部分の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。また、秋学期に開講される商業学を同時に受講することが望ましい。講義内容は以下の通りである。

- ・商業学とマーケティング論
 1. 商業学とはなにか
 2. 商業学研究の領域 - ミクロおよびマクロ・マーケティング
- ・ミクロ・マーケティング論
 1. マーケティングの生成と発展
 2. マーケティング戦略意思決定とそのプロセス
 3. マーケティング・ミックスの構成要素
 4. サービス・マーケティング
 5. 生産財（B to B）マーケティング
 6. ブランド戦略
 7. 競争の戦略
 8. 消費者行動研究とマーケティング

〔教科書〕

講義で指示する。

〔参考書〕

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学（秋学期開講です）
「マクロ・マーケティング論の基礎」 2単位 秋学期
齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中でマクロ・マーケティング論の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。講義内容は以下の通りである。

- ・商業学とマーケティング論
 1. 商業学とはなにか
 2. 商業学研究の領域 - ミクロおよびマクロ・マーケティング
- ・マクロ・マーケティング論
 1. 社会における流通・商業の役割と機能
 2. 日本の流通システムおよび商業の特質
 3. 小売業の発展と諸理論
 4. 小売流通の特質と課題
 5. 卸売業の特質と課題
 6. マーケティングと環境

〔教科書〕

講義で指示する。

〔参考書〕

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学
「マクロ・マーケティングの基礎理論と実際」 2単位 春学期
里村 卓也

〔授業科目の内容〕

本講義の目的は、三田において提供されるミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中の、マクロ・マーケティング論についての基礎的な知識を提供することである。本講義では生産と消費を結びつける流通の社会経済的役割とその変化を中心とした、マクロ・マーケティングの研究成果についてとりあげる。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料は事前にWebサイト www.fbc.keio.ac.jp/satomura/ で配布するので各自で印刷し授業に持参すること。

〔参考書〕

講義の中で必要に応じて指示する。

商業学
「ミクロ・マーケティングの基礎理論と実際」 2単位 秋学期
里村 卓也

〔授業科目の内容〕

本講義の目的は、三田において提供されるミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中の、ミクロ・マーケティング論についての基礎的な知識を提供することである。本講義では個別企業の活動を対象とした、ミクロ・マーケティングの研究成果についてとりあげる。

〔教科書〕

特に指定しない。講義資料は事前にWebサイト www.fbc.keio.ac.jp/satomura/ で配布するので各自で印刷し授業に持参すること。

〔参考書〕

講義の中で必要に応じて指示する。

商業学（春学期開講です）
「ミクロ・マーケティング基礎論」 2単位 春学期
鄭 潤澈

〔授業科目の内容〕

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。商業学は、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果と、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をミクロ・マーケティング論、後者をマクロ・マーケティング論と呼んでいます。商業学（春学期：ミクロ）では、上記のような商業学の構

造の説明をした上で、「企業レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料は適宜配布します。

【参考書】

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

鈴木安昭・田村正紀、『商業論』(有斐閣)1980年

嶋口充輝・石井淳蔵、『現代マーケティング』(有斐閣)1995年

石原武政・池尾恭一・佐藤善信、『商業学』(有斐閣)2000年

丸山雅祥、『経営の経済学：Business Economics』(有斐閣)2005年

商業学 (秋学期開講です)

「マクロ・マーケティング基礎論」 2単位 秋学期
鄭 潤澈

【授業科目の内容】

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。商業学は、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果と、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をミクロ・マーケティング論、後者をマクロ・マーケティング論と呼んでいます。商業学II(秋学期：マクロ)では、上記のような商業学の構造の説明をした上で、「社会レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料は適宜配布します。

【参考書】

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

鈴木安昭・田村正紀、『商業論』(有斐閣)1980年

嶋口充輝・石井淳蔵、『現代マーケティング』(有斐閣)1995年

石原武政・池尾恭一・佐藤善信、『商業学』(有斐閣)2000年

丸山雅祥、『経営の経済学：Business Economics』(有斐閣)2005年

産業経済論a(春学期)/b(秋学期)

2単位 春学期/秋学期
コーディネーター 八代 充史
遠藤 正寛

【授業科目の内容】

本講義は、商学部の4大専攻分野のひとつである「経済・産業」に属する諸分野の総合的な入門講義である。他の3分野(経営、会計、商業)については、それぞれ入門的な講義が用意されているので、日吉の学生諸君に

も比較的なじみがあるものと思われる。しかし、「経済・産業」を構成する様々な分野、すなわち、国際経済、労働経済、労務管理、社会保障、財政、金融、国際金融、保険、産業組織、交通・公共政策、産業史・経営史については、必ずしも十分には知られていないのが実情である。いずれも経済学(ミクロ経済学およびマクロ経済学)を基礎とする学問であるという点は共通性を持つが、取り上げる題材は異なり、アプローチの仕方も一様ではない。そこで、各分野の担当者による入門講義を集中的に組むことで、これらの学問に対する認識を深めてもらい、あわせて三田でそれらを学ぶのに必要な基礎知識を身につけてもらうというのがこの講義のねらいである。

【教科書】

本講義に関する統一の教科書はない。文献は必要に応じて各担当者が講義中に指示する。

【参考書】

上に同じ。

専攻科目 類(専攻基本科目)

応用経営学(企業をめぐる諸課題)

2単位 秋学期
コーディネーター 岡本 大輔

【授業科目の内容】

本講義は日吉キャンパスに設置されている経営学(環境と戦略)・経営学(組織と管理)と、三田キャンパスに設置されている現代企業経営各論・経営管理各論・経営学説史各論などの講義との、橋渡しの役割を持っている。前者では経営学の初学者を対象に入門的な経営学概論が講義され、後者ではより専門的な各論が扱われるが、本講義では三田の各論担当者による各専門分野・各論の紹介が毎週オムニバス方式で行なわれ、経営学という学問分野全体に対する位置づけが考察される。

【教科書】

(なし)

【参考書】

(なし)

応用簿記

4単位 秋学期集中
佐藤 康廣

【授業科目の内容】

「基本簿記と財務諸表の見方」の科目で修得した基本原則・知識を基礎にして、個人企業及び株式会社を対象にした複式簿記を学習する。このため講義資料・教科書により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために記帳練習を行う。

【教科書】

講義資料プリント・『新検定簿記講義商業簿記2級』中央経済社、『新検定簿記ワークブック商業簿記2級』中央経済社

【参考書】

『日商簿記検定試験問題集3級、2級』日本商工出版

応用簿記 4単位 秋学期集中
高田 京子

〔授業科目の内容〕

本講義では、「基本簿記と財務諸表の見方」をふまえて商業簿記の学習を進める。特殊取引や株式会社固有の会計処理などを学習し、日商簿記2級程度（商業簿記）の修得を目指す。

〔教科書〕

開講時に指示する。

応用簿記 4単位 秋学期集中
鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

本講義は、春学期科目「基本簿記と財務諸表の見方」を履修済みの学生を対象に、株式会社で行われる簿記の諸手続を中心に展開される。概ね日商簿記検定2級商業簿記の学習範囲を対象とする。

〔教科書〕

開講時に指示する。

応用簿記 4単位 秋学期集中
永見 尊

〔授業科目の内容〕

複式簿記の原理から始まり、特殊商品売買取引、本支店の簿記、あるいは複雑な帳簿組織といった商業簿記の応用項目まで学びます。さまざまな取引、仕訳あるいは帳簿の意味を学び、できるだけ多くの問題を解いていくことによって、最終的に日商商業簿記2級程度の実力を付けることを目標とします。

〔教科書〕

中村忠『新訂 現代簿記』白桃書房

講義資料プリントおよび問題プリントを適宜配布します。

財務会計論 4単位 春学期集中
黒川 行治

〔授業科目の内容〕

財務会計の基本的枠組み、会計基準の設定過程の問題、会計代替案選択に関する企業の会計意思決定の問題、会計認識および測定に関する基本的論理、会計測定の拡大・変容をふまえた近年の会計諸基準の具体的内容について、理解を深めることを目標とする。

〔教科書〕

武田隆二「会計学一般教程 [第6版]」(中央経済社)

当日配布資料

〔参考書〕

黒川行治「合併会計選択論」(中央経済社)

管理会計論 4単位 秋学期集中
横田 絵理

〔授業科目の内容〕

管理会計の基礎を習得し、専門的な研究を行う基礎力をつけることを目的とします。

主たる内容は、

- ・管理会計とは
- ・経営活動と会計
- ・原価計算とコスト情報
 - 費目別原価計算
 - 部門別原価計算
 - 個別原価計算
 - 単純総合原価計算
- ・意思決定のための会計
 - 損益分岐点
 - CVP分析
- ・問題発見のための会計

〔教科書〕

櫻井通晴『経営のための原価計算』中央経済社

〔参考書〕

必要に応じて授業内に提示します。

監査論 2単位 春学期
永見 尊

〔授業科目の内容〕

本講義では、監査論に初めて触れる人を対象に、監査とは何か、なぜ監査が必要とされるのか、監査の対象は何か、監査はどのように行われ、どのような形で報告されるのか、といったテーマについて学んでいきます。具体的には、「監査の主題」「監査生成論」、さらに財務諸表監査における「監査主体論」「監査証拠論」「監査報告論」に取り組んでいきます。また、毎回の授業で新聞記事の切り抜きを配布し、現在の監査の問題、現状、規定の動向、事件などに触れていきたいと思えます。

〔教科書〕

最初の時間に指定します

また、講義資料プリントおよび問題プリントを適宜配布します。

企業法 4単位 秋学期集中
来住野 究

〔授業科目の内容〕

一般に「企業法」といえば、会社法のほか、商法総則・商行為法、手形法・小切手法などをも含むが、本講義では平成17年に成立した会社法を概観し、主要な法制度の体系的な理解と主要な論点に関する考え方の養成を目的とする。

〔教科書〕

特に指定しない。レジュメを配布する。

〔参考書〕

新会社法に対応した概説書を別途指示する。

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング意思決定入門」 2単位 春学期
濱岡 豊

〔授業科目の内容〕

この授業では、マーケティングにおける意思決定の諸局面および、そこで利用される主要な概念、モデルを紹介する。これを通じて、マーケティングにおける諸概念、なかでも情報、モデル、論理の一貫性の重要性を理解してもらいたい。あわせてマーケティングの最新の動向についても紹介し、日吉での商業学（マイクロ・マーケティング）から三田での専門科目（マイクロ・マーケティング各論）への橋渡しとしたい。

〔教科書〕

講義資料は濱岡のホームページからダウンロード可能とする予定である。

<http://news.fbc.keio.ac.jp/hamaoka/>

〔参考書〕

上記の資料およびホームページを参照

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング戦略立案のための理論と実際」 2単位 秋学期
高橋 郁夫

〔授業科目の内容〕

マーケティング戦略を立案する上で必要となる理論や考え方を具体的事例も踏まえながら講義する。商業学では取り上げ切れなかった応用的領域や先端的事例も適宜取り上げることによって、マーケティングへのより深い関心と理解を受講生に与えることを目的とする。

〔教科書〕

特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

〔参考書〕

高橋郁夫（2004）『消費者購買行動 - 小売マーケティングへの写像』千倉書房。その他については、講義の際に紹介する。

経済学

「現実社会や政策を理解するためのマクロ経済学」 2単位 春学期
中島 隆信

〔授業科目の内容〕

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、マクロ経済学の視点から考察する。景気変動やインフレ、デフレはなぜ起こるか。これに対する政府や中央銀行の対策はいかにあるべきか。経済成長はどのような要因によって決まってくるかなどについて講義する。

〔教科書〕

授業内で適宜指示する。

〔参考書〕

授業内で適宜指示する。

経済学

「現実社会や政策を理解するためのマクロ経済学」 2単位 春学期
樋口 美雄

〔授業科目の内容〕

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、マクロ経済学の視点から考察する。景気変動やインフレ、デフレはなぜ起こるか。これに対する政府や中央銀行の対策はいかにあるべきか。経済発展はどのような要因によって決まってくるか。少子高齢化とどのように関連しているかなどについて講義する。

〔教科書〕

樋口美雄『労働経済学』東洋経済新報社

〔参考書〕

中馬宏之・樋口美雄『労働経済学』岩波書店

経済学

「現実社会や政策を理解するためのミクロ経済学」 2単位 秋学期
樋口 美雄

〔授業科目の内容〕

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、ミクロ経済学の視点から考察する。資源配分やイノベーションが企業行動や家計行動、市場を通じてどのように変化していくかについて考察する。

〔教科書〕

樋口美雄『労働経済学』東洋経済新報社

〔参考書〕

中馬宏之・樋口美雄『労働経済学』岩波書店

経済学

「金融経済を理解するためのミクロ経済学」 2単位 秋学期
山本 勲

〔授業科目の内容〕

この授業では、金融経済を理解するツールとしてのミクロ経済学を学習するとともに、身の回りで問題になっている経済現象に適用することを試みる。三田の専門課程で経済学の応用分野を学習する準備段階として、また、現実経済を経済学の視点から捉える訓練として、家計や企業の行動、価格、市場や政府・中央銀行の役割などについて、日本経済を例に取りながらわかりやすく講義する。

〔教科書〕

最初の授業において指示。

〔参考書〕

授業において適宜指定。

総合教育科目（ 類）

社会との対話S / 社会との対話D

「短期インターンシップ科目」	2単位 秋学期
	4単位 通年
朝比奈 緑	遠藤 正寛
吉川 肇子	中島 隆信
成田 和信	前田 淳
森吉 直子	

〔授業科目の内容〕

この授業は商学部2年生を対象に、平成11年度に設置されました。他の授業との最大の違いは、夏休み中の2週間ないし3週間に企業・機関で実地研修を受けるという点にあります。

開講の趣旨

商学部では、これまでもカリキュラムの抜本的改革を通して、学生の自主性を引き出す試みを様々に展開してきましたが、大学で学ぶ理論と自らの社会的体験の不一致に起因するところに問題の根本が存在しているように思われます。このような事態を克服し、社会に占める自らの位置を確認し、学外での実地研修を通じて大学における教育内容と現実問題との関連を自覚的に把握できる機会を新たに提供する目的で、短期インターンシップ科目「社会との対話」を平成11年度から開講しました。

当学部が設置する「社会との対話」は、以下の特色があります。

- (1) 学業へのフィードバックを目的とするものであり、その後の研究・勉学、学生生活の改善、目的意識の明確化などに役立てることが期待されています。学業へのフィードバックを目的とすることから、対象を2年生としています。
- (2) 学生は与えられたテーマを年間をとおして研究・検討することを要求されます。したがって、実地研修は重要な構成要素であるとはいえ、年間授業のあくまでも一部にすぎません。事前教育、実地研修、事後教育をきっかけにしてテーマに対する理解を段階的に深め、粘り強く自主的に研究を進める事により、総合的な問題解決能力を高めていく授業であることを理解しておいてください。
- (3) 上記(2)の理由により、実地研修だけで成立する科目ではないので、7名の商学部専任教員が、研修計画の決定から、研修先の訪問、学生の事前教育、事後教育、最終報告会まで指導を行います。
- (4) 人気の高い大企業だけではなく、中小の特徴ある優良企業、成長著しい新興のベンチャー企業、非営利組織など、多様な企業・機関に研修先を求めています。

授業の概要

- ・設置学年
商学部2年生
- ・単位数
「社会との対話S」(秋学期・2単位)、「社会との対話D」(通年・4単位)

(注意) 同一研修先に希望者が集中した場合には、事前教育の結果に基づいて選考(マッチング)を行います。実地研修に派遣されることが決定した場合には、「社会との対話D」(通年・4単位)を履修することになります。マッチングが成立しなかった場合には実地研修には派遣されません。しかし、十分な意欲と能力があると認められた場合には、年間をとおして事前・事後教育に出席し、実地研修を除くすべての課題を達成した場合には、「社会との対話S」(秋学期・2単位)が取得可能となります。詳細については第一回目の授業で説明します。

- ・学生への報酬
無給
- ・講義概要
事前・事後教育および研修先での実地研修からなります。
- ・研修時期と期間
8月15日(月)～9月2日(金)を中心とする2週間ないし3週間研修先によって研修期間が若干異なる場合があります。
- ・実施規模
履修学生30名～40名程度
研修先として30～40社・機関を予定しています。
- ・開設曜日・時限
火曜日4限。ただし、授業は4・5限を使って行います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定しませんが、各自が年間を通じて取り組むテーマに応じて、多くの参考図書を自分で見つけて内容を良く理解する必要があります。

情報リテラシー基礎	4単位 春学期 / 秋学期
	飯箸 泰宏 恩田 憲一
	河内谷幸子 瀬川 清
	吉舗 紀子 山本 喜一

〔授業科目の内容〕

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについて理解することが大切である。

授業計画については講義担当者によって細部に違いがあるが、全般的な内容を次に示す。なお、春学期は5月、秋学期は10月に、メディアセンターにおける文献検索などについての講義を行う。

〔教科書〕

山本喜一著：入門情報処理 Office XP版、J.B.企画、

2100円

【参考書】

慶應義塾大学日吉メディアセンター編：情報リテラシー入門、慶應義塾大学出版会、1200円

日本の産業と経営

2単位 秋学期

コーディネーター 遠藤 正寛

【授業科目の内容】

日本の産業と経営に関する諸問題あるいは課題について、下記（予定）のテーマごとに、それぞれの専門家がオムニバス形式で講義をおこなう。本講義の目的は、商学部で勉強をはじめるとにさいし、当学部の研究対象がいかに多様かつ興味ある課題をかかえているかを知り、問題意識をもってもらうことにある。したがって、各講演者は、興味深い話題の選択と、1回ずつの講義が完結したものとなるように配慮している。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

総合教育科目（類）

確率論基礎

2単位 秋学期

安田 公美

【授業科目の内容】

ランダムに起こる現象を数学的に取り扱う、確率論の基礎を学びます。

【教科書】

最初の授業の時に指示。

【参考書】

最初の授業の時に指示。

ゲーム理論基礎

2単位 秋学期

木戸 一夫 小宮 英敏

【授業科目の内容】

ゲーム理論とは、互いに無視し得ない力を持つ、複数の主体に係る最適化問題である。この授業では、ゲーム理論の基本概念および定理を、わかりやすいストーリーと対比させながら学ぶことにより、「使えるゲーム理論」を身に付けることを目指す。すなわち、問題に直面した時、現状を鋭く分析し、現実的な解決策を提案する能力を養成する。

【教科書】

松井彰彦・清水武治著『ゲーム理論 どんなケースでも「最高の選択」ができる"勝つための戦略"』三笠書房

【参考書】

中山幹夫著『はじめてのゲーム理論』有斐閣ブックス

線形代数演習

2単位 春学期

白旗 優

【授業科目の内容】

同時に開講される『中級線形代数』の授業内容に即して、例題の解説と演習を行います。

また、宿題も課します。

パターンに沿った計算に習熟する（コンピュータでもできる）だけではなく、きちんとした証明を書ける（コンピュータにやらせると、宇宙が消滅するまで時間をかけても、できないかもしれない）ようになることまでを目標とします。

【教科書】

授業開始時に適当なテキストを指定します。

【参考書】

必要に応じて紹介します。

微積分演習

2単位 秋学期

白旗 優

【授業科目の内容】

同時に開講される『中級微積分』の授業内容に即して、例題の解説と演習を行います。

また、宿題も課します。

パターンに沿った計算に習熟する（コンピュータでもできる）だけではなく、きちんとした証明を書ける（コンピュータにやらせると、宇宙が消滅するまで時間をかけても、できないかもしれない）ようになることまでを目標とします。

【教科書】

授業開始時に適当なテキストを指定します。

【参考書】

必要に応じて紹介します。

線形代数

2単位 春学期 / 秋学期

白旗 優 菅原 昭博

安田 公美

【授業科目の内容】

社会科学のかなりの分野で、その理論が数学を用いて記述されたり、数学的手法により問題解決が図られたりして、数学の知識の必要性が増してきている。この講義では、線形代数の中でも、特に、行列の理論を中心に講義する。行列は経済学、経営学においても用いられているので、この講義を通して、行列を自由に使いこなせるようになることを期待したい。

【教科書】

最初の授業の時に指示。

【参考書】

最初の授業の時に指示。

中級線形代数

「線形代数の完結に向けて」

2単位 春学期
渡部 陸夫

〔授業科目の内容〕

この科目では、「線形代数」で学んだ内容を前提として、引き続き、線形代数のいろいろな概念と理論を、応用を視野に入れて講義します。

〔教科書〕

渡部陸夫著『線形代数とその応用』培風館

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

中級微積分

「経済学への応用のための微積分学」

2単位 秋学期
渡部 陸夫

〔授業科目の内容〕

経済学を学ぶには、数学の知識とその運用能力が求められます。この科目の内容は、『微積分』、『微積分』の内容をさらに発展させた内容から構成されています。経済学への応用を念頭に講義をします。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

講義の中で紹介します。

データとの対話D

「表計算応用」

4単位 春学期集中
木戸 一夫

〔授業科目の内容〕

EXCELの機能はあまりに豊富で、全てを予め覚えることは不合理である。こういうことをしたいという問題が生じた時に、最後までくじけずに試行錯誤し、「自分の力で」解決法を探すことを身につけたい。このような状況は予め解答が用意されていない世の中では必ず発生するものであり、この授業を通じて、一生を通じて役に立つ問題解決能力養成を目指す。最後までがんばれば、立派なEXCEL使いになっていることも必然である。

〔教科書〕

清水 誠著「データ分析 はじめの一步」講談社ブルーバックス

データとの対話D

「Rによる経済分析のための統計的方法」

4単位 通年
新保 一成

〔授業科目の内容〕

この授業では、コンピューターを使うことによって「統計学」および「統計学」で学習する内容の理解を深めることを目的にします。授業では、フリーソフトウェアとして国際共同開発されているRという統計分析

のためのソフトウェアを使い、経済現象の実証分析に役立つプログラミング能力も養いつつ、統計学上の重要な概念の確認と実際のデータを用いた実習を行います。

「データとの対話D」(Delphi)

「オブジェクト指向プログラミングとは」

4単位 通年
田村 高幸

〔授業科目の内容〕

DELPHIはWINDOWS形式で、WINDOWSプログラミングを簡単に行うことができる言語です。

そして、この言語はオブジェクトPASCALを基にしています。JAVAなどに代表されるオブジェクト指向のプログラミングの概念を実際のWINDOWSプログラミングを通して、理解してもらうことを目的としています。

オブジェクト指向プログラミングの考え方はこのネットワーク社会において重要な役割を果たしているとともに、問題解決手法としても大変重要な方法であり、この点もあわせて、明らかにしていきます。

〔教科書〕

Delphiオブジェクト指向プログラミング 塚越一雄著 / 技術評論社 / ISBN4-7741-0427-2

〔参考書〕

Delphiによるプログラミング入門 山崎 秀記 著 / 培風館 / ISBN 4-5630-1413-3

「データとの対話D」(ネットワーク活用)

「コンピュータネットワークセキュリティ入門」

4単位 通年
田村 高幸

〔授業科目の内容〕

コンピュータネットワークセキュリティの基礎となるTCP/IPプロトコルを中心にコンピュータネットワークにおける重要なプロトコルについて学び、それらが、コンピュータネットワークセキュリティに果たしている役割について、学びます。

〔教科書〕

図解標準 最新TCP/IPハンドブック 若林 宏 著 秀和システム 2002年 ISBN4-7980-0244-5

〔参考書〕

久米原栄『TCP/IPセキュリティ』ソフトバンクパブリッシング

2004年以前入学者用(旧学則)

基礎科目 類

商学概論

2単位 春学期 / 秋学期
(なし)

「商学概論」は以下の科目を読み替え科目としますので、単位未取得者は5科目の中から選択してください。

- ・基本簿記と財務諸表の見方（シラバスP.343～参照）
- ・経営学（環境と戦略）（シラバスP.343参照）
- ・経営学（組織と管理）（シラバスP.343参照）
- ・商業学（シラバスP.345参照）
- ・商業学（シラバスP.345参照）

なお以下の表のとおり履修出来ないケースもありますので注意してください。

	経営学既習者もしくは 今年度履修希望者	商業学既習者もしくは 今年度履修希望者
基本簿記と財務諸表の見方		
経営学(環境と戦略)	×	
経営学(組織と管理)	×	
商業学		×
商業学		×

経済学 4単位 通年
桜本 光 早見 均
牧 厚志

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学基礎」「経済学基礎」（P.337）を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

基礎科目 類（A群）

簿記論 4単位 通年
高久 隆太 李 精

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、経済学部設置の講義要綱「簿記a/b」（P.276～）を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会科学の考え方 4単位 通年
小野 修三

「社会科学の考え方」は以下の科目を読み替え科目としますので、履修希望者は2科目の中から選択してください。

- ・社会科学概論 ・（小野修三）（P.34参照）
 - ・近代思想史 ・（小野修三）（P.20参照）
- ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

情報処理 4単位 春学期集中 / 秋学期集中
飯箸 泰宏 恩田 憲一
河内谷幸子 瀬川 清
山本 喜一 吉舗 紀子

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「情報リテラシー基礎」（P.356）を参照してください。

情報処理
「表計算応用」 4単位 春学期集中
木戸 一夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」（P.359）を参照してください。

情報処理（Delphi） 4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」（P.360）を参照してください。

情報処理（ネットワーク活用） 4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」（P.360）を参照してください。

情報処理
「Rによる経済分析のための統計的方法」 4単位 通年
新保 一成

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」（P.360）を参照してください。

基礎科目 類（B群）

線形代数 2単位 春学期 / 秋学期
白旗 優 菅原 昭博
安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数」（P.358）を参照してください。

微分法 2単位 春学期 / 秋学期
小宮 英敏 白旗 優
菅原 昭博 安田 公美
渡部 睦夫 矢野 裕子

「微分法」は「微積分」「微積分」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分」「微積分」（P.337）を参照してください。

解析 2単位 春学期
渡部 睦夫

「解析」は「中級線形代数」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」(P.358)を参照してください。

解析 2単位 秋学期
渡部 睦夫

「解析」は「中級微積分」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」(P.359)を参照してください。

数理計画法 2単位 秋学期
木戸 一夫 小宮 英敏

「数理計画法」は「ゲーム理論基礎」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「ゲーム理論基礎」(P.357)を参照してください。

基礎科目 類 (C群)

統計学 2単位 春学期
新保 一成 早見 均
吉岡 完治

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学」(P.338)を参照してください。

統計学 2単位 秋学期
新保 一成 早見 均
吉岡 完治

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学」(P.338)を参照してください。

専攻科目 類

経済史 4単位 通年
牛島 利明 平野 隆

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済史」「経済史」(P.339)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会経済学 4単位 通年
赤川 元章

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会経済学」「社会経済学」(P.340)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

私法基礎 4単位 通年
本田 耕一 松尾 弘

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「私法基礎」「私法基礎」(P.341)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

商業学 4単位 通年
齊藤 通貴 里村 卓也
鄭 潤澈

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「商業学」「商業学」(P.345)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

経営学 4単位 通年
岡本 大輔 佐藤 和
谷口 和弘

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経営学(環境と戦略)」「経営学(組織と管理)」(P.343)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

専攻科目 類

会計学 4単位 春集中
黒川 行治

「会計学」は「財務会計論」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「財務会計論」(P.350)を参照してください。

理論経済学 4単位 通年
樋口 美雄
(春)中島 隆信(秋)山本 勲

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学」「経済学」(P.353~)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

産業経済論 4単位 通年
 コーディネーター 遠藤 正寛
 八代 充史

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「産業経済論a/b」(P.347)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

総合教育科目 (類)

社会との対話 S・D 2単位・4単位 / 秋学期・通年
 朝比奈 緑 遠藤 正寛
 吉川 肇子 中島 隆信
 成田 和信 前田 淳
 森吉 直子

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会との対話 S・D」(P.354)を参照してください。

日本の産業と経営 2単位 秋学期
 コーディネーター 遠藤 正寛

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「日本の産業と経営」(P.356)を参照してください。

自主選択科目

確率論基礎 2単位 秋学期
 安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「確率論基礎」(P.356)を参照してください。

線形代数演習 2単位 春学期
 白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数演習」(P.357)を参照してください。

微積分演習 2単位 秋学期
 白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分演習」(P.358)を参照してください。

中級線形代数 2単位 春学期
 渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」(P.358)を参照してください。

中級微積分 2単位 秋学期
 渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」(P.359)を参照してください。

5 医学部

【第1学年】

基礎科学必修科目

数学

02学則の学生は数学

「線形代数学」

2単位 春学期

竹下 彬 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

線形代数の基礎理論を学びます。

線形空間、行列、行列式、線形写像、内積空間、固有値問題を理解できるようにします。

【教科書】

青木利夫・大野勝寛・川口俊一共著「改訂 線形代数要論」 培風館

数学

02学則の学生は数学（春学期分）

「微分学」

2単位 春学期

竹下 彬 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の微分に関する基礎理論とその応用を学びます。

極限と連続関数、微分、偏微分を理解できるようにします。

【教科書】

難波 誠著「微分積分学」裳華房

数学

02学則の学生は数学（秋学期分）

「積分学」

2単位 秋学期

竹下 彬 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の積分に関する基礎理論とその応用を学びます。

1変数関数の積分、多変数関数の重積分、級数を理解できるようにします。

【教科書】

難波 誠著「微分積分学」裳華房

物理学（既習）

02学則の学生は物理学（春学期分）

「1）物質・原子・原子核，2）生物物理・ナノバイオテクノロジー」

2単位 春学期

古野 泰二

【授業科目の内容】

物理学では、原理や法則に基づいて多くの自然現象を理解し、結果を予測する。考え方ひとつで答えが簡単に見つかることもあるし、物理量の間の関係を方程式に表現しそれを解けばよいという場合も多い。数学の解がなぜ現実を表現できるのか、考えると不思議であるが、振り子の振動や電場中の荷電粒子の運動など、方程式の解が実際の現象を正しく表現していることが分かる。

春学期の物理学Iでは、全体として数式をあまり使わない方針の講義をおこなう。高校物理では原子や放射線の物理学をあまり学ばなかったと思われるが、これらは諸君が信濃町に進級したときに実地に役立つし、生体の物理学的研究法や最近のナノバイオテクノロジーなども知識として有用であろう。できるだけ具体的なトピックを取り上げながら解説と考察を試みる。高校物理で学習した力学や電磁気学の知識を前提とした簡単な数式や数値計算はおこなう。

【教科書】

・講義資料プリントを配布する。

【参考書】

・物質・原子・原子核の物理学については、物理（高校物理学の教科書）

・生物物理学・ナノバイオテクノロジーについては、医学部の「生物学」および「分子細胞生物学」の講義で使用する教科書が役立つかもしれない。その他、単行本や論文は講義中に適宜紹介する。

物理学（既習）

02学則の学生は物理学（秋学期分）

「力学・波動・電磁気学の数学的理解」

2単位 秋学期

古野 泰二

【授業科目の内容】

高校で学んだ力学・波動・電磁気学について、春学期の物理学Iとは対照的に数式や方程式を使った理解および解析を試みる。

【教科書】

・講義資料プリントを配布する。

【参考書】

・原 康夫著 力学と電磁気学 東京教学社

・ファインマン物理学 ~ 岩波書店

物理学 (未習)

02学則の学生は物理学(春学期分)

「力学および熱現象」

2単位 春学期

三井 隆久

【授業科目の内容】

生命を含む自然現象は複雑で理解しがたいように思えるが、自然現象の中で物体の運動と力に関する部分は物理法則として既に解明されており、厳密な記述が容易に可能である。容易に記述できることについて無意味な苦勞や誤解をしないため、物理学の基本法則を理解している必要がある。

第1回目の講義では、表現について述べる。ガリレオが述べたように、「自然という書物は数学の言葉で書かれている」。ここでは、自然現象を数学の言葉で表現するとはどのようなことなのかについて述べる。写生と同じような感覚で、自然現象を数式で表現できるようになって頂きたい。

力学では、力と運動との関係を理解し、ニュートンの運動方程式を使いこなして運動の解析ができるようになって頂きたい。

熱力学では、複雑なように思える熱現象が、エネルギー保存則とエントロピー増大の法則をもちいれば、熱平衡状態に関しては厳密な記述が可能であることを理解して頂きたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義内容の復習を容易にするため、講義に沿ったテキストを毎回講義の前に配布するので、教科書を購入する必要はない。以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

- (1) ファインマン物理学 , , , ファインマン、レイトン、サンズ著 岩波書店
- (2) 力学(物理入門コース) 戸田盛和著 岩波書店
- (3) フェルミ熱力学 エンリコ フェルミ著 三省堂
- (4) 熱物理学 キッテル著 丸善

物理学 (未習)

02学則の学生は物理学(秋学期分)

「電磁気学および医用画像診断装置」

2単位 秋学期

三井 隆久

【授業科目の内容】

ニュートン力学では、力と運動の関係について学ぶが、世の中に存在する力について学ばない。ここでは、最も重要な力である電磁気力について述べる。電磁気力は、電荷と呼ばれる物体の持つ性質と相互作用して力を及ぼすが、物体の持つ性質であるだけでなく、空間の持つ性質でもある。このような空間の働きについて数式を用いて定量的に述べる。また、電磁気現象の応用として、交流回路、光学、レーザー、医用画像診断装置について述べる。

×線CT、磁気共鳴イメージング装置などの医用画像

診断装置は、現代の医療に欠かすことができない機器であるが、いずれも電磁気現象の応用である。この講義を通じて、動作原理を理解して頂きたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義内容の復習を容易にするため、講義に沿ったテキストを毎回講義の前に配布するので、教科書を購入する必要はない。以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

- (1) ファインマン物理学 , , , ファインマン、レイトン、サンズ著 岩波書店
- (2) 電磁気学 , (物理入門コース) 長岡洋介著

化学

02学則の学生は化学(春学期分)

「現代物理化学の基礎」

2単位 春学期

久保田真理

【授業科目の内容】

一般に物理化学とよばれる化学の理論的分野を学ぶ。物理化学の理論は、微視的観点からのものと巨視的観点からのものに大別できる。微視的観点からの理論としては、量子力学が代表格であるが、その量子力学に立脚して原子の電子構造や化学結合のメカニズムについて考える。また、巨視的観点からの理論である化学反応速度論と化学熱力学の基本的考え方についても学ぶ。

【教科書】

小林常利著「基礎化学結合論」(培風館)

【参考書】

- (1) 玉虫伶太他編「エッセシャル化学辞典」(東京化学同人)
- (2) 吉岡甲子郎著「化学通論」(裳華房)
- (3) 児島邦夫他著「基礎物理化学(上,下)」(朝倉書店)
- (4) P.W.アトキンス著「アトキンス物理化学(上,下)」(東京化学同人)
- (5) 原田義也著「化学熱力学」(裳華房)

化学

02学則の学生は化学(秋学期分)

「現代有機化学の基礎」

2単位 秋学期

小林 常利

【授業科目の内容】

有機化学の基礎について学ぶ。化学反応は、結局は、電子の働きによって起きる。本講義では化学 , 化学(春学期分)で学んだ定性的量子論の考え方を早速活かして、有機化学反応のメカニズムを量子論的に考えてゆく。また、有機化学の構造決定には、現代では、分子分光学的手法が盛んに用いられるので、分子分光学的考え方についても解説する。

【教科書】

小林常利著「基礎化学結合論」(培風館)

J.マクマリー著「有機化学概説」第5版(東京化学同

人)

【参考書】

玉虫伶太他編「エッセンシャル化学辞典」(東京化学同人)

補助教材: HGS分子構造模型B型セット(丸善)

生物学

4単位 春学期

長井 孝紀 鈴木 忠

【授業科目の内容】

この講義の生物学の対象は生物個体ばかりでなく、細胞の次元、もっと小さな分子の世界へと、あるいは逆に地球全域へと広がる。その広がりのゆえ、また科学としての進歩の急速さのゆえ、現代の生物学はそのほかの自然科学の学問領域からの知識を統合したものとなっている。したがって学ぶべき項目は非常に多い。しかし、よく整理して学べば恐れることはない。整理された生物学の知識は医学での基礎専門分野である解剖学、生理学などを学ぶために不可欠である。学習内容の量、詳細さ、常に最新の知見に基づき更新されている現状などを考え、海外で出版されている英文の教科書をそのまま使用する。

【教科書】

Biology (最新版、2005) NACampbellほか著

Benjamin/Cummings(春学期開始時までに購入すること)

物理学実験

1単位 通年隔週

古野 泰二 三井 隆久
浜野 明子

【授業科目の内容】

多くの諸君は、将来、信濃町あるいはそれ以後において、短期あるいは長期に亘って実験研究を経験する筈である。発見・発明・理論の検証など、創造的な研究はとても楽しいものであるが、すぐにこのレベルに達するのは困難である。そのための導入・練習として、日吉での実験科目が用意されている。

物理学実験では、長さの測定から始まり、オシロスコープによる電圧変化、パソコンを使った計測からプロテイングラフィックスまで、1年間に12課題を設定している。高校や大学の物理学講義で習った現象も出てくるし、物理法則や演繹法の有用性が実感できるので面白いはずである。長さ・質量・温度・時間など、必要な物理量を測定で求め、電卓を使ってそれらを数式に代入し、得られた結果をグラフ用紙にプロットし曲線でつないでみる。場合によっては、まったく的はずれな値や奇妙なグラフになってしまい、大いに悩むこともあると思われるが、「まずは自分で手を動かしてやってみる」、これが実験の基本であり、とても大切である。

【教科書】

慶應義塾大学医学部物理学教室編「物理学実験」を実験初日に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、必要に応じて図書館備え付けの物理教科書および物理学実験書などを利用。

化学実験

1単位 通年隔週

小林 常利 久保田真理
大石 毅

【授業科目の内容】

春学期には、無機陽イオンの定性分析を題材として、化学実験の基本操作と実験のマナーを身に付けると共に、無機化学の各論的分野を主体的・体験的に学ぶ。

秋学期は、有機化学実験を行う。有機化合物を合成・抽出し、定性分析やスペクトルによる構造決定などを行う。基礎的な有機化学実験を通して有機化学の理解を深めると共に、有機化合物の取扱法、安全に実験を行うために注意すべき事項などを学ぶ。

【教科書】

J.マクマリー著「有機化学概説」第5版(東京化学同人)

【参考書】

【通年】

- (1) 阿部光雄編「分析化学実験」(裳華房)
- (2) 木下是雄著「理科系の作文技術」(中央公論新社)
- (3) 泉美治他監「化学のレポートと論文の書き方」(化学同人)
- (4) 玉虫伶太他編「エッセンシャル化学辞典」(東京化学同人)

【春学期】

- (1) 松浦二郎他著「無機半微量分析」(東京化学同人)
- (2) 高木誠司著「定性分析化学(上、中、下)」(南江堂)
- (3) F.A.コットン、G.ウィルキンソン著「基礎無機化学」(培風館)
- (4) F.B.ヘスロップ、K.ジョーンズ著「無機化学(上、下)」(東京化学同人)
- (5) F.A.コットン、G.ウィルキンソン著「無機化学(上、下)」(培風館)

【秋学期】

- (1) 畑一夫、渡辺健一著「基礎有機化学実験」(丸善)
- (2) L.F.フィーザー、K.L.ウィリアムソン著「有機化学実験」(丸善)
- (3) R.M.シルバースタイン、F.X.ウェブスター著「有機化合物のスペクトルによる同定法」(東京化学同人)
- (4) 「有機化合物への吸収スペクトルの応用」J.R.ダイヤヤー著(東京化学同人)
- (5) 日本化学会編「実験化学講座」(丸善)シリーズ

生物学実験

2単位 通年

長井 孝紀 鈴木 忠
中澤 英夫

【授業科目の内容】

生物学実験ではアメーバ、ゾウリムシなど単細胞生物から始めて、マウス(ラット)までが観察対象として用意される。顕微鏡観察のために標本化された試料を観

察する場合もあるが、その他に多くの生きた材料が提供される。動き回る精子、そして卵細胞が細胞分裂する瞬間を観て欲しい。そして観たものには、それを同定する和名、英名、ラテン名を与えてやって欲しい。3つの表記を用いなければならないのは、我が国の自然科学者の宿命である。自らの手を動かすことで、記憶の脳細胞は活性化される。

【教科書】

生物学実験教本 医学部生物学教室編（春学期に配布する）

医学基礎教育科目

基礎分子細胞生物学

「基礎医学科目への準備と入門」 4単位 秋学期
末松 誠（医化学）他

【授業科目の内容】

基礎分子細胞生物学 は、高校で十分な生物学教育を受けなかった学生にも第2学年から信濃町キャンパスで基礎医学科目の専門的且つ広範な領域での勉学についていけるよう、ごく基本的な生命現象の物質論的理解と統合的把握を目指すために設けられた科目である。教科書は最新の生物学分野を幅広く網羅しているMolecular Cell Biologyを用いるが、単に全章の網羅的読破を目的とするのではなく、各章内の重要な概念や生命活動の「しくみ」をピンポイントに理解してもらい、第2学年以降の専門教育の礎としていただきたい。

【教科書】

“Molecular Cell Biology 5th Edition” W.H. Freeman and Company

医療科学

4単位 通年
樽井 正義 他

【授業科目の内容】

医療はもとより自然科学としての医学研究も、それに関わるのは人です。人を自然科学とは異なる視点から考察する人文科学系の文献を講読し、報告と討議を行い、レポートを作成することを通じて、人と社会についての理解を深めることが、この授業の課題です。(1)人を理解する多様な視点を得ること、(2)医療や科学が生活のなかで占める位置、担っている課題を検討する基礎を得ること、(3)医師や研究者として診療や研究の場で人とどう関わればよいのかを考える基礎を得ることを目標とします。

【教科書】

春学期のテキストは、掲示にて通知する。

EEP

「本格的医学教育前の早期医療現場体験実習」

	1単位	特定期間集中		
天野	隆弘	鹿島	春雄	
長井	孝紀	長谷	公隆	
星野	晴彦	山岸	敬幸	
村松	太郎	広瀬	信義	
大塚	宣夫	川城	丈夫	
		木村	彰男	

【授業科目の内容】

EEP (Early Exposure Program) は、文字通り医学教育早期から医療現場を体験実習する科目である。医学教育の早い段階で医療現場に医学生が足を運び参加して、患者さん、御家族、そして看護師、PT、OT、福祉関係者など医師以外の多く医療関係者からお話しを伺い、医療チームの一員の体験もして、医療の実際、現実を自ら体験し医師の役割を考えることを目的としている。

人文・社会科学科目（選択履修）

心理学

「医学のためのミニマム・サイコロジー」 4単位 通年
増田 直衛

【授業科目の内容】

将来医学を学ぶ学生であることを考慮し、その専門に必要と考えられる心理学の問題を中心に捉えて、基礎的な心理学の問題を扱います。人間を理解するためにはどのような枠組みがあり、心理学はそれらに対してどのような立場をとり、どのような事実を明らかにしてきたかを考えます。

【教科書】

山田 富美雄（監修）「シリーズ 医療の行動科学 医療行動科学のためのミニマム・サイコロジー」北大路出版1900円

【参考書】

講義に関連した文献は授業中に随時紹介します。

6 理工学部

基礎教育科目

数学A1 (学門1、3、4、5)

「微分法の基礎と応用」

2単位 春学期

井口 達雄	石川 史郎
加藤 剛	亀谷 幸生
小松 建三	下村 俊
田村 要造	仲田 均
八森 祥隆	宮崎 琢也
森吉 仁志	

〔授業科目の内容〕

1変数関数および多変数関数の微分法に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を身につけるのが本講義の目的です。

〔教科書〕

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編「数学 A1・B1」
(生協で購入可能)

数学B1 (学門1、3、4、5)

「重積分の基礎と応用」

2単位 秋学期

井口 達雄	石川 史郎
加藤 剛	亀谷 幸生
小松 建三	下村 俊
田村 要造	八森 祥隆
宮崎 琢也	森吉 仁志

〔授業科目の内容〕

1変数および多変数関数の積分に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を習得することが本講義の目標です。

〔教科書〕

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編「数学 A1・B1」
(生協で購入可能)

数学A2 (学門1、3、4、5)

「線形代数」の入門としての行列 (特に2次行列) の理論とその応用」

2単位 春学期

石井 一平	太田 克弘
小田 芳彰	小松 建三
清水 邦夫	田村 明久
	前田 吉昭

〔授業科目の内容〕

線形代数の基礎を2次行列の計算を通して習得する。また、線形微分方程式の解法を通して、「線形性」の重要性を理解する。その過程で行列の対角化と線形微分方程式の解を求める計算の基礎が身に付くようにする。

〔教科書〕

指定のテキスト (生協で販売)

数学B2 (学門1、4、5)

「線形代数の基礎を学んだ学生がさらに深くその内容を理解するためのコース」

2単位 秋学期

石井 一平	太田 克弘
小田 芳彰	小松 建三
田村 明久	前田 吉昭

〔授業科目の内容〕

数学A2で2次行列で学んだ線形代数の基本計算を3、4次行列で習得し多元連立方程式を解けるようにする。さらに多変数関数の極値問題を固有値問題と共に理解し、具体的計算法を身につける。

〔教科書〕

指定のテキスト (生協で販売)

数学A3 (学門2)

「解析学の基礎 (その1)」

2単位 春学期

谷 温之 前島 信

〔授業科目の内容〕

解析学の基礎理論を講義する。

1. 実数の定義、性質 (上限、下限、実数の連続性)
2. 数列とその極限 (収束の定義、コーシー列、基本性質)
3. 級数 (定義、収束性、絶対収束)
4. 1変数関数の連続性とその性質 (最大値の定理、中間値の定理)
5. 定積分の定義、計算
6. 1変数関数の微分法 (平均値の定理、逆三角関数)
7. 微分積分法の基本定理

〔参考書〕

微分積分学 伊藤雄二 朝倉数学講座

数学B3 (学門2)

「解析学の基礎 (その2)」

2単位 秋学期

谷 温之 前島 信

〔授業科目の内容〕

数学A3 の続き

1. ベキ級数 (収束性、収束半径)
2. テーラー展開 (剰余項の評価、初等関数の展開)
3. 多変数関数 (連続性、偏微分、全微分)
4. 多変数関数のテーラー展開
5. 極値問題

〔参考書〕

微分積分学 伊藤雄二

数学A4(学門2)

「線形代数」

2単位 春学期

石井 一平 栗原 将人

【授業科目の内容】

線形代数とは、ベクトルや行列を扱う数学の分野であり、理工学の数学の基礎の大きな部分を占めるものである。この講義では線形代数の基礎概念である「ベクトル」「ベクトル空間」「行列」「行列式」「一次変換」などを学び、また実際の計算方法を習得する。

【教科書】

「線形代数入門」中岡稔、服部晶夫 著、紀伊国屋書店

【参考書】

授業中に指示する。

数学B4(学門2)

「線形代数」

2単位 秋学期

石井 一平 栗原 将人

【授業科目の内容】

春学期の数学A4に引き続き、線形代数の基礎を学ぶ。この講義の主な内容は、「固有値」「固有ベクトル」および「行列の対角化」である。

【教科書】

「線形代数入門」中岡稔、服部晶夫 著、紀伊国屋書店

【参考書】

授業中に指示する。

物理学A(全学門)

2単位 春学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
福田礼次郎 泰岡 顕治

【授業科目の内容】

高校時代の力学とは異なり、ニュートン方程式を微分方程式と捉えて、すべての力学の法則はここから出てくるといふ、力学はまさに近代的な物理の理論の始まりといわれるゆえんを味わっていただく。

微分、積分、ベクトルなどの基本的な知識を仮定する。

【教科書】

教科書としてつぎのものを使用します。

佐川弘幸、本間道雄著「力学」(シュプリンガーフェアラーク東京)

なお、物理学Aの最初の講義で、物理学A&Cの共通補助教材(講義の追加資料、問題集、解答集)を販売します。価格は現在のところ決定していませんが、およそ500円程度です。履修者全員が購入するようにしてください。

【参考書】

特に指定しません

物理学C(全学門)

2単位 秋学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
杉浦 壽彦 福田礼次郎

【授業科目の内容】

物理学Aに続いて、力学の後半を学ぶ。主に、中心力の場の中の運動、多粒子系の運動、剛体の運動である。

【教科書】

教科書としてつぎのものを使用します。

佐川弘幸、本間道雄著「力学」(シュプリンガーフェアラーク東京)

なお、物理学Aの最初の講義で、物理学A&Cの共通補助教材(講義の追加資料、問題集、解答集)を販売します。価格は現在のところ決定していませんが、およそ500円程度です。履修者全員が購入するようにしてください。

【参考書】

特に指定しません。

物理学B(全学門)

「真空中の静電磁気学と電磁誘導」

2単位 春学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

【授業科目の内容】

電界、電位、磁気密度、電流、起電力など電磁気学の基本概念を学びながら、例えば対称性のよい電荷分布による電界の計算法などを身につける。さらに、流体力学、弾性体力学などの背景にある「場」というものの概念も身につける。

【教科書】

「物理学B&D」(プリント)

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

【参考書】

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

物理学D(全学門)

「物質中の電界・磁界からマックスウェル方程式まで」

2単位 秋学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

【授業科目の内容】

誘電体にはどういう電界ができるか、磁性体中にはどういう磁界ができるか、ということを理解する。さらに、電磁気学の基本法則を微分形で表してマックスウェル方程式を導出したのち電磁波についての基本知識を身につける。同時にベクトル解析の基礎を身につける。

【教科書】

「物理学B&D」(プリント)

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

【参考書】

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

化学A（全学門）

「原子や分子の電子構造論と化学結合論入門」

2単位 春学期

中嶋 敦 藪下 聡
山元 公寿 吉岡 直樹

【授業科目の内容】

原子構造論の基礎として、1s,2s,2pなどの原子軌道および原子の電子配置と周期律の関係を理解します。また簡単な分子の電子状態についても学び、1年生秋学期の化学B、あるいは化学C、Dの基礎となることを目指します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

教科書として特に指定はしませんが、以下の参考書の中から自分に合ったものを買っておくと便利です。

伊藤正時ら、「物理化学演習」裳華房

中田宗隆、「量子化学」東京化学同人

ヘイワード著、立花明知訳、「入門量子化学」(化学同人)

ウィンター著、西本吉助訳、「フレッシュマンのための化学結合論」(化学同人)

田中政志・佐野充著、「原子・分子の現代化学」(学術図書出版社)

小林常利著、「基礎化学結合論」(培風館)

平尾公彦・加藤重樹著、「化学の基礎」(講談社サイエンスフィク)

化学B（学門1、2、4、5）

「無機化学、物理化学、有機化学の基礎（化学全般におけるものづくりの基礎）」

2単位 春学期

伊藤 正時 磯部 徹彦
栄長 泰明 須貝 威
千田 憲孝 中田 雅也
平島 碩 山田 徹

【授業科目の内容】

理工学部1年生においては、数学、物理、化学を基礎科目として全員履修します。化学は「もの」づくりの基本となる分野であり、私達の身の回りにたくさんある「もの」を、サイエンスの立場から理解するためには、化学全般に渡る知識が必要です。講義の前半では無機化合物を、後半には有機化合物をとりあげ、サイエンスの化学的基礎知識、ものづくりの基礎知識を修得することを目標としています。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

茅幸二著 『物理化学演習』 裳華房

太田博道著 『コンパクト基本有機化学』 三共出版

化学C（学門3）

「初等物理化学」

2単位 秋学期

美浦 隆

【授業科目の内容】

1. 分子科学の基礎
 - 1.1 結合エネルギー
 - 1.2 結合のイオン性と原子の電気陰性度
 - 1.3 分子の極性と誘電分極
 - 1.4 分子間相互作用
 - 1.5 実在気体の状態方程式
2. イオン結晶
 - 2.1 イオン配列の規則性
 - 2.2 クーロンポテンシャルとイオン間平衡距離
 - 2.3 イオン半径
 - 2.4 イオン半径比と配位数
 - 2.5 イオン結晶の溶解（溶媒和）とイオン伝導
3. 金属・半導体
 - 3.1 等大球の充填と最密充填; 金属結晶
 - 3.2 異種原子の混在; 合金
 - 3.3 自由電子と束縛された電子
 - 3.4 価電子帯・禁止帯・伝導帯
 - 3.5 不純物半導体
 - 3.6 電子伝導率の温度変化
4. 錯体・錯イオン
 - 4.1 配位共有結合と配位子
 - 4.2 配位子場中の d 軌道電子
 - 4.3 d 軌道を含む混成
 - 4.4 不対電子と常磁性
 - 4.5 吸光スペクトルと分光化学系列
5. 化学熱力学の基礎
 - 5.1 系と外界
 - 5.2 系の内部エネルギー
 - 5.3 系の状態変化とエネルギー保存則
 - 5.4 熱が状態量となる条件; エンタルピー
 - 5.5 可逆過程での熱とエントロピー変化
 - 5.6 自発変化の判定条件
 - 5.7 純化学変化の自発性判定条件; 自由エネルギー
 - 5.8 H, S, G の温度変化
 - 5.9 体積仕事以外の仕事も関わる化学変化
6. 化学反応速度論の基礎
 - 6.1 応速度式; 微分形と積分形
 - 6.2 気体分子間の衝突反応
 - 6.3 活性錯体
 - 6.4 反応速度定数の温度変化

【教科書】

なし

【参考書】

一般に「物理化学」に分類される書籍。

特定のものには推奨しないが、アトキンス、パーローなどが著名。

どうせ購入するならば英語リプリント版の方が安価で、後々の役に立つ。

化学D (学門3)

「有機化学の基礎。有機化合物と反応。」 2単位 秋学期
西山 繁

【授業科目の内容】

炭素原子を中心に構成される有機化合物に特有の電子配置と立体化学を解説します。さらに、有機化合物の変化(反応)にともなう電子の動きを理解できるようにします。以上のような基本事項は、生命現象に関わる生体反応の仕組みを理解する上で非常に重要な手がかりとなります。

【教科書】

なし。必要に応じて、PDFファイルとして配布します。

【参考書】

ボルハルト・ショアー著「現代有機化学」(上・下) 化学同人
ストライトウィーザー著「有機化学解説」(1、2) 廣川書店

生物学序論

「ヒトの理解を目指して」 2単位 春学期 / 秋学期
小野 裕剛 金子 洋之
長井 孝紀 中島 陽子
星 元紀 松本 緑

【授業科目の内容】

科学や技術を通じて次の時代を担う人材となることが期待されている理工学部の学生にとって、基礎的な生物学の知識(敢えていえば、生命のしなやかさとしたたかさをもたらす複雑なシステムの理解)は欠くことの出来ない素養であり、それ無しには人類が解決すべき諸問題に立ち向かうことはおぼつかないといっても過言ではない。生物は、歴史的に獲得した情報を内包している遺伝プログラムの枠組みのうちで、環境からの刺激に回答しながら、複雑な系を安定な状態に維持することができる。このような柔軟な統合システムの考え方・見方を学ぶことは、理工学部の学生にとっては特に意義深いものと考えられる。また、すべてのテクノロジーはヒトによって担われ、最終的にヒトを対象としたものであり、生物としてのヒトという観点を抜きにしたテクノロジーは本来ありえない。

生物学序論はこのような認識に基づいて昨年度より新たに開講されたもので、細胞と個体を中心にすえて生命現象の多様性と共通性を見るときにも、それぞれのシステムの成り立ちとその活動の基本的な機構を学ぶことによって、生物の“しなやかさ”と“したたかさ”、およびそれらの裏返しでもある“もろさ”を理解し、その延長としてヒトHomo sapiensのより深い理解を目指す。それぞれのテーマにつき、典型的なあるいは理解しやすい具体例を用いて説明するが、さらに深く学ぶために、関連する書籍等を随時紹介する。

【教科書】

指定せず

【参考書】

生命科学のための基礎シリーズ 生物 実教出版

自然科学実験

「科学の基礎に関する物理および化学実験」

2単位 春学期 / 秋学期
西山 繁 他

【授業科目の内容】

自然科学実験は、物理学編と化学編から構成されています。物理学編は、重要な物理現象と基本的な測定技術習得を目的として各テーマを置いています。また、化学編は化学の基礎を理解する上で役立つ「ものを作る実験」と「物の性質を調べる実験」を中心にテーマを組み立てています。この実験を受講することで、あらゆる分野に関連する科学の基礎知識を習得します。

【教科書】

自然科学実験 物理学編および化学編の2冊があり生協で購入して下さい。

【参考書】

特にありません。

情報処理同実習

「パソコンを使いこなす」 2単位 春学期
大野 義夫 大村 亮
佐藤 春樹 篠沢 佳久
高田 眞吾 高橋 正樹
中西はるみ 萩原 将文
三田 彰 山本 喜一
柚木 克之

【授業科目の内容】

これからの科学者、技術者にとってコンピュータを使いこなせることはもっとも基礎的な技術です。この科目では、ITCのパソコンを利用して、コンピュータに馴れ、その特徴を知るところを目的としています。このため、コンピュータ・リテラシー(コンピュータの基本的な使い方)を短期間に密度濃く実習します。

【教科書】

教科書は講義のはじめに指示します。また、Webに講義資料を載せておきます。

理工学概論

2単位 春学期 / 秋学期
小山内州一 中村 義春

【授業科目の内容】

新聞や雑誌でしか知らなかった、最新の学問分野あるいは社会の大きな潮流とその背景を把握するとともに、自身が目指す勉強あるいは働く分野の中身を十分に理解し、同時に自分自身が持つ可能性を再認識することを目的としている。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

「理科系の作文技術」木下是雄著 中公新書 ¥700
 「情報リテラシー入門」慶應義塾大学日吉メディアセンター編 慶應義塾大学出版会 ¥1200

専門基礎科目

アルゴリズム 2単位 秋学期
大野 義夫

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて解きたい問題には、いくつかの典型的なパターンがあります。また代表的なパターンの問題に対しては、解法の定跡が確立しています。

この科目では、定跡となっているアルゴリズムやデータ構造を学ぶとともに、アルゴリズム同士の定量的な比較の仕方についても考えます。

〔教科書〕

石畑清「アルゴリズムとデータ構造」(岩波書店)

アルゴリズム同演習 2単位 秋学期
眞田 幸俊

〔授業科目の内容〕

処理対象をフローチャートにまとめ、C言語によってプログラミングする方法を学ぶ。またキュー、スタック、ソートなどの探索アルゴリズムを学ぶ。オセロゲームを対象とする。学期末にトーナメントを開く。OSはLinuxを用いる。

アルゴリズムと情報処理 2単位 秋学期
榊原 康文

〔授業科目の内容〕

プログラミング言語を勉強しただけでは、データ解析などの実際の仕事を行うためのプログラムを書くことはできない。問題を解決するための手順を正確に記述して、それをプログラムに書き下す必要がある。この問題を解決するための手順には、いくつかの定石があり、その定石を組み合わせることにより、上質なプログラムを完成させることができる。計算機科学において、この定石はアルゴリズムと呼ばれている。

本講義では、データ構造の設計からはじめて、いくつかの代表的なアルゴリズム、ソーティング、グラフ探索、などを紹介し、さらにいくつかのアルゴリズムスキーマについても勉強する。

さらに、生命科学においてもっとも重要なデータ構造である「配列」を扱うための基礎理論である形式言語とオートマトン理論についても勉強する。

〔教科書〕

「アルゴリズム データ構造 計算論」横森貴著 サイエンス社

〔参考書〕

質問などは、電子メール(yasu@bio.keio.ac.jp)で受け付けている。

また、講義ノートなどの情報は、次のウェブページを参照のこと：

<http://dna.bio.keio.ac.jp/lecture/algorithm/>

アルゴリズム論 2単位 秋学期
山口 高平

〔授業科目の内容〕

さまざまな問題解決の場で利用することになるアルゴリズムの基本的な考え方と手法を学ぶ。また、これらアルゴリズムの現実の場での利用についても話をします。

〔教科書〕

資料配布。あるいは指定したWebページ各自ダウンロードして持参すること。

〔参考書〕

講義中に示す

位相数学
「トポロジー」 2単位 秋学期
亀谷 幸生

〔授業科目の内容〕

トポロジー(位相)は、場所(Topos)の概念を美しく抽象化した学問です。高度の抽象化により大幅に適用範囲が広がり、あらゆる数理科学分野に欠くことのできない礎となっています。ここでは、「もの」の中の点や集合の間の位置関係の基礎諸概念を実例をあげつつ学びます。たとえば、点と点の近さ(距離)、点と点が線でつながるか(連結性)、集合の中の点が無限小に動いたとき外にはみ出るか(開集合)、与えられた写像が、入力を無限小に動かせば出力も無限小に動くか(連続性)さらに、他分野で極めて重要な応用をもつコンパクト性、分離性、完備性を学びます。

〔教科書〕

特になし

〔参考書〕

松坂和夫 『集合・位相入門』(第4章～) 岩波書店

インダストリアル・エンジニアリング
「作業システムの分析と改善」 2単位 春学期
松本 俊之

〔授業科目の内容〕

経営工学で中心的役割を果たすインダストリアル・エンジニアリング(IE)の諸手法を、歴史的な観点や哲学的な観点を加えながら説明します。企業活動におけるIEの役割、「改善のための発想」に重点をおいた仕事の方法の分析、仕事の時間の把握、工程設計の基礎知識に関して講義します。

〔参考書〕

藤田彰久著 『IEの基礎』 建帛社

川瀬武志著 『IE 問題の解決』 日刊工業新聞社

エレクトロニクス・デバイス

「半導体デバイスの基礎」

2単位 秋学期
荒井 英輔

【授業科目の内容】

エレクトロニクス・デバイスは、現在の情報通信化社会の基盤技術として大きな役割を担っている。パソコン、ディスプレイ、携帯電話を始め、様々なエレクトロニクス機器には、半導体材料で作製された多種のデバイスが用いられている。この中で、本講義では、もっとも基本的なデバイスである p n 接合ダイオードとLSIを構成しているMOSトランジスタおよび基本的MOS論理ゲートに関して、その動作原理、動作特性について学習する。バイポーラ・トランジスタ、化合物半導体高速トランジスタ、太陽電池、半導体レーザ等の多種のエレクトロニクス・デバイスについては、3年秋学期「半導体デバイス」で講義を行う。

【教科書】

半導体デバイスの基礎 (松本 智著)(培風館)

【参考書】

半導体デバイス、S.M.Sze著 (産業図書)

エレクトロニクス基礎

「シリコンの中の電子を理解する」

2単位 春学期
斎木 敏治

【授業科目の内容】

電子工学科で回路、デバイスを学ぶ上で必須となる半導体 (特にシリコン) の基本事項を習得することを目指します。半導体中の電気伝導を理解するために必要なエネルギー帯構造、有効質量、正孔、状態密度、エネルギー分布、不純物準位など、独習が難しい概念に重点を置いて講義をおこないます。不純物半導体の理解まで到達することを目標とし、秋学期の「エレクトロニクス・デバイス」へスムーズに移行できるように配慮します。

【教科書】

初回の講義で指定します。

【参考書】

初回の講義で紹介します。

エレクトロニクス創造演習

2単位 秋学期
岡田 英史 高橋 信一

【授業科目の内容】

エレクトロニクス創造演習は、自らのアイデアを生かしてエレクトロニクス・システムを製作する“実験書なき実験”を行う科目です。個々の学生が主体的に取り組めるよう、与えられるのは基本的にはテーマのみで、あとは決められた予算の範囲内でより高性能になるよう、各グループが自由に工夫を行ってシステムを構築します。システム構築の過程において、調査、討論、プレゼンテーションなどを実施して、研究・開発に必要なとさ

れる基本的なスキルについて学びます。学期末には、各グループが作成したシステムを用いてコンペティションを実施するとともに、各自の成果に関するプレゼンテーションを行います。

なお、2~4名程度の少人数でグループを組む演習科目ですので、履修制限を行うことがあります。

【教科書】

適宜プリントを配布する。

応用解析第1 (応化、化学)

2単位 春学期
朝倉 浩一

【授業科目の内容】

化学及び物理現象の解明に必要な種々の微分方程式に対する解析法の基礎を学びます。単に数学としての講義ではなく、化学及び物理現象と関連させて説明します。

【教科書】

志水・鈴木著 『常微分・偏微分方程式ノート』 コロナ社、1995年

応用解析第1 (機械)

「微分方程式の理解とその解法 / ベクトル微分演算の基礎」
2単位 春学期
澤田 達男 松尾亜紀子

【授業科目の内容】

本講義は大きく2つに分けられる。

- (a) 微分方程式の解法
- (b) ベクトルの微分演算

の2つについてそれぞれ6回の講義が行われる。演習・宿題を数多く取り入れ、理解が深まるようにする。担当教員も (a) 松尾、(b) 澤田、が行う。(a) 微分方程式の解法では、常微分方程式・偏微分方程式の性質を理解、その解法をマスターすることが目標である。(b) ベクトルの微分演算では、添字表示に基づくベクトルの微分演算法をマスターし、微分演算の物理的性質を理解することが目標である。

【教科書】

- (a) 微分方程式の解法
渋谷仙吉・内田伏一、物理数学コース「常微分方程式」(1998)、裳華房
- (b) ベクトルの微分演算
無し。プリントを用意します。

【参考書】

無し

応用解析第1 (電子、SD)

2単位 春学期
佐野 昭

【授業科目の内容】

微分方程式は、理工学分野に現れる現象を記述し解析するための重要なツールの一つである。常微分方程式、偏微分方程式の基礎を理解し、実際に微分方程式を導出したたり解いたりできる应用能力を修得することが目的で

ある。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

志水・鈴木：常微分・偏微分方程式ノート、コロナ社

応用解析第1（数理、物理）

「常微分・偏微分方程式及び関数解析・変分問題への入門」

2単位 春学期

井口 達雄

【授業科目の内容】

常微分及び偏微分方程式の初期値問題及び境界値問題、積分方程式、Fourier展開、変分問題

【教科書】

担当教員による講義原稿を配布

【参考書】

高橋陽一郎「微分方程式入門」東京大学出版会

応用解析第2

「線形システム解析の基礎理論」

2単位 秋学期

池原 雅章

【授業科目の内容】

線形常微分方程式で記述される対象（現象）すなわち、線形動的システムの基礎的理解を深めることを目的とし、線形システム理論、回路網理論、制御理論等への準備と位置付けられる。線形代数の基礎、ラプラス変換、Z変換を履習したあと、常微分方程式、差分方程式の解法、解析へ向かう。したがって、応用解析第1の履修を前提としない。

【教科書】

「線形システム解析入門」高橋進一、高橋徹 共著（培風館）

応用化学計算基礎

「コンピュータ操作のスキルアップと化学計算への適用法」

2単位 秋学期

寺坂 宏一 吉岡 直樹

【授業科目の内容】

化学分野においてもコンピュータは必要不可欠な道具となっており、実験結果の整理および論文作成、実験操作の支援、反応装置の開発や設計を目的とした数値計算あるいは分子構造のシミュレーションなどを行う機会が非常に多くなってきました。

そこで、応用化学分野においてコンピュータ計算を必要とする例題を、Windows上の表計算ソフトやプログラミング言語を用いた実習の中で解きながら、コンピュータの操作方法や応用方法について理解を深めます。

表計算ソフトの実習ではExcelを用い、主としてデータの整理法および公的論文や報告書のグラフ様式として不都合のない作図法について学び、さらにマクロやVBAを使ったプログラミングへの入門へ導きます。

プログラミング言語の実習ではVisual Basic for Applicationsを用い、主としてコンピュータ処理の流れおよびコンピュータ言語に共通のプログラミング技術の基礎に関して学習します。

履修学生は学内に設置されたパソコン等を利用し、普段からキーボードやマウス操作に十分慣れ、また興味のある学生はWindows上にインストールされている各ソフトのヘルプや専門書籍を参照し、実習で用いなかった機能などについても十分に体験しておくことを望みます。

【教科書】

2006年度秋学期までにテキストが発刊される予定です。

【参考書】

かんたんプログラミングVBA基礎編、大村あつし、技術評論社

応用確率論（機械、物情）

「確率論・統計学を基礎にした乱数を用いたシミュレーション法」

2単位 秋学期

横井 康平

【授業科目の内容】

質点の運動はおなじみの運動方程式で表され、初期条件さえ決めれば完全に決定できます。しかし、我々が現実に出会う現象には、とても解けないほど数の多い気体分子の運動や、複雑な要因がからんで解が決定できない射的的当てやサイコロ投げなどの確率的に扱わなければならないものがあります。ミクロの世界では、量子効果のため現象の記述に本質的に確率が使われます。ここでは、このような確率現象をどのように取り扱うかということと、このような現象を理工学の問題に応用する方法について解説します。

まず、確率の基礎を説明し種々の確率分布になじんでもらい、統計手法への応用を扱います。ついで、乱数を用いた確率的なモンテカルロ・シミュレーションでいくつかの自然科学現象を調べます。そこでは確率を自由にコントロールしてその現象と同じ確率をもつ「粒子」を発生させ、その振る舞いを観察します。

【教科書】

なし

【参考書】

1. ガットマン、S.S. ウィルクス 共著（石井恵一、堀素夫 共訳）『工科系のための統計概論』 培風館

応用確率論（電子）

「理工学における現象を確率過程としてとらえるための基礎を学ぶ」

2単位 春学期

真壁 利明

【授業科目の内容】

駅改札口の込み具合、携帯電話の呼び、PCの故障など事故予測、・・・は、確定現象と異なり、「その事象がある確率で起こることを予言する」立場の確率現象で

ある。本講義では理工学の諸課題を確率過程の立場で明らかにするためのスキルを身につける入門編である。これまでに学んだ確率の諸概念を簡単に復習した後、確率現象を確率過程としてとらえる基礎をやさしく学ぶ。自然を解き明かす喜びを伝えたい。

【教科書】

中川・真壁著 「確率過程」(培風館)

応用確率論(情報) 2単位 春学期
大槻 知明

【授業科目の内容】

確率は、情報理論、通信理論、信号処理、ネットワーク工学などの様々な工学分野から、経済などの分野まで広く利用されている。本講義では、確率の基礎から確率過程まで、工学分野で見られる様々な現象を例にして解説する。

【教科書】

中川正雄、真壁利明著、「確率過程」、培風館

応用数学(機械、電子、物理)
「フーリエ解析」と「線形代数」 2単位 秋学期
岡田 英史

【授業科目の内容】

理工学における現象の解明や工学機器の設計などへの応用を目的とした数学が応用数学です。この講義では、データ解析において必要とされるフーリエ解析と線形代数を中心に解説を行います。

応用数学(情報)
「デジタル情報処理のための数学」 2単位 春学期
斎藤 英雄

【授業科目の内容】

【講義項目】

1. フーリエ級数
2. フーリエ変換
3. ラプラス変換
4. z変換

画像や音声等のマルチメディア情報を解析・処理するために必須となる数学の基礎として、フーリエ・ラプラス変換を用いた信号解析法について講義します。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

- ・キーポイントフーリエ解析 船越満明 岩波書店 ISBN4-00-007869-0
- ・ラプラス変換とフーリエ解析要論 田代嘉宏 森北出版 ISBN4-627-02610-2
- ・フーリエ解析とその応用 洲之内源一郎 サイエンス社 ISBN4-7819-0134-4
- ・信号解析のための数学 三谷政昭 森北出版 ISBN4-627-78521-6

- ・フーリエ解析・ラプラス変換 寺田文行 サイエンス社 ISBN4-7819-0893-4
- ・フーリエ解析 大石進一 岩波書店 ISBN4-00-007776-7
- ・現代複素関数通論 樋口・田代・瀧島・渡邊 培風館 ISBN4-563-00572-X

応用電気電子回路
「実践的な電気回路・電子回路演習」 1単位 秋学期
松本 佳宣

【授業科目の内容】

概要)

電気回路と電子回路に関して、身の回りや研究で良く用いられている回路を中心に概説して、演習問題等を通して各種回路理論を理解する。また、回路の設計論と実際の回路の関係に関して解説する。

学習の目標)

電気回路と電子回路の基礎知識をもとにして、様々な用途の回路の具体例を理解しながら、実際に道具として使いこなせるように回路理論を修得する。また、身近にある電気機器の仕組みがある程度わかるようにする。

【教科書】

「電子回路」須田健二・土田英一著 コロナ社 及び配布プリント

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

応用電磁気学同演習 2単位 秋学期
畑山 明聖 白鳥 世明

【授業科目の内容】

1) マクスウェル方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、2) 電磁気学の応用問題を自分自身でモデル化し、解くことができる、3) そのための数学的な力を身につける。

【教科書】

プリント配布

オペレーションズ・リサーチ第1
「計画の科学としてのORのアプローチ」 2単位 秋学期
森 雅夫

【授業科目の内容】

オペレーションズ・リサーチ(OR)とは、システムの計画や管理の主として計量的な側面に焦点を当て、社会や企業の諸システムの中に内在する法則性を知り、その情報を意思決定の一助とするための“道具”であると云えます。システムの大規模化・複雑化に伴って、ORの管理技法を有効に活用することは、適正な意思決定を下すためにも、また、意思決定の根拠を他の人々に理解してもらうためのコミュニケーションのツールとしても、重要な“道具”である。いわば、物理学が諸工学のbasisであるように、ORは社会や経済などの人間活動の

諸問題を科学的に解明するbasisと云えます。それでは、新聞や世間でORの手法やその活躍ぶりが、なぜ喧伝されないのでしょうか？しかし、開発された手法やそれを用いたソフトが、すでに多くのシステムに組み込まれ、知らず知らずのうちに社会で利用されています。身近なところでは、コンビニの商品の無駄の少ない在庫の管理や、適切なタイミングでの配送の計画などなど…。OR第1では、ORの考え方や、ORの方法についての基礎を習得することを目的とする。まず、問題を理解する上で、対象を“モデル化”して考えます。その造ったモデルにいろいろな手法を適用して思考実験を行います。これらのプロセスについて学習します。モデルには、大きく分けて“確定的なモデル”と偶然現象をも考慮するための“確率的なモデル”があります。ことにOR第1では、主として、確定的なモデルに対するアプローチである「数理計画法」の基礎について学習します。

〔教科書〕

適宜、プリントを配布する。

〔参考書〕

後期にテキストとして使用する次の本を第1の参考書とする。

森 雅夫、松井知巳 「オペレーションズ・リサーチ」(朝倉書店)

解析力学

2単位 春学期
福田礼次郎

〔授業科目の内容〕

「物理学A」、「物理学C」で学んだニュートン力学は、変分原理に基づいて解析力学と呼ばれる新しい形式に体系化されます。それは現代物理学の理論体系の基礎となるものです。本講義では、解析力学のうち、「ラグランジュの運動方程式」と「ハミルトンの正準方程式」について解説をします。

解析力学を使うと力学の演習問題を見通しよく、容易に解くことができますが、その力を身につけることを目指します。量子力学への橋渡しに注目します。

〔参考書〕

原島鮮著「力学II 解析力学」(裳華房)

回路とシステム第1

「電気回路の表現と解析」

2単位 春学期
大森 浩充 浜田 望

〔授業科目の内容〕

電気工学の中心的な理論である回路論の体系化された表現法・解析法・設計法は、電磁気現象がその他の物理現象と類似していることから、力学、化学、生物学など他の工学分野へ広く導入され、それぞれの分野で独自の理論へと発展している。このように、電気回路理論の概念は、多くの工学理論の根底を支える重要な考え方となっている。講義では、電気回路を用いてシステムを表現するセンスを養うことをひとつの目的とし、その基礎として、回路素子の性質と回路に係る諸定理を述べ、

回路方程式による表現法を習得した後、回路解析法として過渡応答解析法と交流回路解析法を習得する。授業は理論的内容を具体的に直ちに理解・確認できるように、演習・例題を含めた構成とする。

〔教科書〕

システムデザイン工学科配布のテキストを使用する。

〔参考書〕

浜田望著 電気回路 森北出版(株)

森真作著『電気回路ノート』(コロナ社)

森真作、南谷晴之著『電気回路演習ノート』(コロナ社) など

回路とシステム第2

「回路とシステムのアドバンスな内容」2単位 秋学期

浜田 望

〔授業科目の内容〕

回路解析手法のオーバービュー

回路の電力・エネルギーと受動性

3相交流回路と電力伝送

2端子対回路 - 回路の特性表示 -

演算増幅器(オペアンプ) 便利な機能素子

分布線路 - 回路における波動現象 -

周期信号に対する回路の解析

信号処理機能としての回路

非線形回路とシステム

動的システムのアナロジー-電気回路と他の動的システム

〔教科書〕

浜田望著書籍タイトル未定(共立出版)の予定

化学統計熱力学

2単位 春学期
中嶋 敦

〔授業科目の内容〕

Introduction 熱、温度、仕事(熱力学第0法則)

Part 1 エネルギー(気体分子運動論と熱力学第1法則)

§ 1 気体の状態方程式

§ 2 気体分子運動論
分子の運動と温度

§ 3 エネルギーと熱力学第1法則

仕事と熱、エネルギー

内部エネルギー、エンタルピー、比熱、熱化学

Part 2 エントロピー(統計熱力学と熱力学第2法則)

§ 4 気体分子の量子力学

§ 5 分子のエネルギー分布---統計熱力学入門

§ 6 量子統計(Bose-Einstein分布、Fermi-Dirac分布)とMaxwell-Boltzmann分布

§ 7 エントロピーと第2法則

統計熱力学的エントロピー、第2法則、第3法則

Part 3 自由エネルギー(平衡)

§ 8 自由エネルギーと化学ポテンシャル

- § 9 化学平衡
化学反応と自由エネルギー、平衡定数、平衡定数の温度変化、
- § 10 相平衡
実在気体の挙動と相平衡、Clausius-Clapeyronの式、Gibbsの相律、平衡状態図、
- § 11 物質の混合：理想溶体と実在溶体
- § 12 「平衡状態」と「定常状態」

【教科書】

プリントを配付します。

【参考書】

- 茅 幸二、他「物理化学演習」 裳華房
バーロー「物理化学」(第6版)上・下 東京化学同人、
アトキンス「物理化学」(第6版)上・下 東京化学同人、
ライフ『統計熱力学の基礎』吉岡書店、
その他、講義の進行に合わせて紹介する。

化学統計熱力学演習 1単位 春学期
中嶋 敦 三井 正明

【授業科目の内容】

「化学統計熱力学」の講義に対応して、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーといった重要な新しい考え方を中心として、これらの理解を具体的な問題を解くことを通じて深めるために演習を行なう。講義「化学統計熱力学」と進度をあわせて補足・先取りしながら進めるので、効果的な学習が期待できる。

【参考書】

アトキンス『物理化学』東京化学同人

学外実習第1 2単位 秋学期
岡 浩太郎

【授業科目の内容】

定められたカリキュラム以外に理工学部外、塾外の大学等での授業の履修、あるテーマに関する講習会等の受講、企業・研究機関等での一定期間以上の実習等の内容が専門基礎科目の単位として相応しい内容を有するものであると認定されたとき、本学科目の単位として認定する。すなわち、内容(場所・時間等を含む)については学生自身が企画することになる。

確率(機械、応化、物理、化学、数理)
「統計解析の基礎」 2単位 春学期
竹内寿一郎

【授業科目の内容】

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学ぶ。講義は解析を中心に進められ、推定、検定等、統計解析の入門として確率を学ぶ。

【教科書】

清水良一著「確率と統計」新曜社、1980
講義資料プリントを配布します。講義は概ね講義資料

プリントに従いますが、テキストも参照してください。

確率(管理) 2単位 春学期
増田 靖

【授業科目の内容】

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学びます。工学的・社会的現象への応用についても解説します。

【教科書】

清水良一著「確率と統計」新曜社、1980
講義資料プリントはwebサイト
<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm>よりダウンロードできます。

【参考書】

伏見正則著「確率と確率過程」講談社、1987

環境化学概論 2単位 秋学期
「地球環境の化学」 鹿園 直建

【授業科目の内容】

- ・地球環境問題(温暖化学)
- ・廃棄物問題
- ・資源問題
- ・地球環境倫理

【教科書】

鹿園直建著「地球システム科学入門」東大出版、1992
鹿園直建著「廃棄物とのつきあい方」コロナ社、2001

【参考書】

鹿園直建著「地球システムの化学」東大出版、1997

関数論第1同演習 3単位 秋学期
「複素変数関数についての微積分学」 下村 俊 田中 孝明

【授業科目の内容】

関数論の基本事項について解説する。これらが自由自在に活用できるようになることを目標にする。

1. 複素平面、複素関数、数列、級数
2. 正則関数、べき級数の正則性
3. コーシーの積分定理、コーシーの積分公式とその応用
4. テーラー展開、一致の定理
5. 有理型関数、留数
6. ローラン展開、孤立特異点

【教科書】

解析関数 田村二郎 裳華房

管理工学基礎演習 1単位 春学期
篠崎 信雄 他

【授業科目の内容】

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を

通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なう（班分けは事前に掲示する）。また、最終回に演習内容全般についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れぬこと。

【教科書】

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

【参考書】

それぞれのテーマの参考書等については、担当者に尋ねること。

管理工学基礎演習 1単位 秋学期
篠崎 信雄 他

【授業科目の内容】

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なうが、そうでないものもあるので注意すること。班分けについては事前に掲示する。また、最終回に演習内容全体についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れぬこと。

【教科書】

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること（管理工学基礎演習 で購入するテキストの後半部分）。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

【参考書】

それぞれのテーマの参考書等については、各担当者に尋ねること。

管理工学用数学第1 「管理工学のための線形数学」 2単位 春学期
森 雅夫 小澤 正典

【授業科目の内容】

1年生のときに線形代数の基本的なことは勉強していると思いますが、これから管理工学を学ぶ上で、線形代数が大事な用具・方法となります。この授業では、線形代数の幾何学的なイメージを養い、アルゴリズムを学ぶことを主眼とし、その工学や統計への応用、最適化の考え方などについて紹介し、講義+演習の形でしっかりと修得してもらうことを狙っています。

【教科書】

適宜、プリントを配布する

【参考書】

授業のときに紹介する

機械工学創造演習

「自主的行動力と表現力の向上」 2単位 秋学期
小茂鳥 潤 他

【授業科目の内容】

機械工学創造演習は、各人の興味や才能に基づき、自らの発想でテーマを決め、自分で考えた実験や物作りを実際に行うことで、学びつつあることの具体的な意味や相互の関連を理解し、主体的な勉学の習慣を身につけることを目的とした実技科目です。演習の進行はおよそ以下ようになります。テーマの検討などは4 クラス×2 曜日（20人程度）に分かれて行いますが、実験・加工などの相談についてはすべての科目担当者が対応します。このような自主的活動を通して、専門学力のみならず、これからの科学技術者に求められる行動力と表現力も向上することを期待しています。

【教科書】

テキストを配布する

【参考書】

特に指定しない

機械力学の基礎

「機械を動かすための仕組みと運動の力学」 2単位 春学期
杉浦 壽彦 三木 則尚
森田 寿郎 山崎 信寿

【授業科目の内容】

目的とする動きを実現するための機構要素と、そのために必要な力やモーメントの計算方法を学びます。これにより、ある機能を達成するにはどのような仕掛けにすればいいのか、それが動くときにはどのような力が加わるのか、あるいはどのような運動が起こるのかがわかるようになることを目指します。講義前半は、機構の模型も回覧します。また、機構の発想力や運動の解析力を養うために、毎回演習を行い、かつ毎回宿題も出します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

（講義の前半）森田均：機構学、サイエンス社

（講義の後半）S・ティモシェンコ・D・H・ヤング、渡辺茂・三浦宏文訳：応用力学（動力学編）好學社

基礎化学実験 2単位 秋学期
鈴木 孝治 他

【授業科目の内容】

化学実験の基礎となる操作、考え方並びに専門知識を修得するため、以下の内容について、少人数単位の実験実習を行う。

実験ガイダンス

過マンガン酸カリウムによる酸化還元滴定

アルカリ金属の原子発光分析

遷移金属錯体の可視スペクトル
電解質溶液の電導度
臭化アルキルの生成反応速度
D グルコースの変換光速度
アズラクトンの合成と同定
ポリマー粒子の作製と粒度分布

【教科書】

専門の実験テキストを生協で販売する。

【参考書】

理工学部のメディアセンターなどを利用のこと。

基礎生物学

2単位 春学期
星 元紀

【授業科目の内容】

生物の世界は、地球のごく表面を占めるに過ぎず、物理量としても微々たるものであるが、数千万種あるいは数億種からなる多彩な世界である。しかし、そのような多様性を示すにもかかわらず、生命体の基本構造やその営みの素過程は、驚くほどに共通性が認められる。この講義では、現代生物学の基礎知識として、生命活動の基本単位である細胞の構造と機能、生命活動を支える物質およびエネルギーの流れ、個体としての統一性を支える情報の処理と統合、個性の認識、生命の連続性を支える生命情報の流れ、につき学習する。

【教科書】

Campbell and Reece “Biology” (7th ed.)

【参考書】

Molecular Biology of the Cell (細胞の分子生物学) 等を随時紹介する

基礎生命実験

2単位 秋学期
井本 正哉 他

【授業科目の内容】

生命現象を理解するには、化学、生物、物理・情報の総合的な理解が必要である。

本講義では、実験を通してそれらの基礎を習得することを目的とする。

空間設計製図 A

3単位 秋学期
岸本 達也 他

【授業科目の内容】

設計製図の基礎と空間構成手法を習得する。平面図、立面図、断面図、立面図の描き方、パース(透視図)の描き方、模型製作など建築の各種設計・表現手法を学ぶ。さらに用途を限定した小建築、小住宅の設計を通して空間構成手法の基礎を体得し、製図の基礎から小規模建築の空間構成手法までを習得することを目標とする。

経営管理論

「組織体における経営管理とは何か」 2単位 春学期
福川 忠昭

【授業科目の内容】

組織体の経営管理活動に関する理解を深めるために、ここでは企業を代表例として取り上げます。企業は財やサービスなどの社会的な価値の生産と分配に携わる経済主体であるとともに、複数の構成員からなる組織体でもあります。そこで、経営管理活動に関わる経済的、財務的、社会心理的諸側面の基本的概念の理解や知識の習得を図るとともに、組織構造的な側面と組織行動的な側面とから経営管理活動のあり方、およびそれらの活動を支える経営管理システムのあり方を学びます。

【教科書】

テキストは特に指定しません。

講義資料は、毎回の講義の折に配布します。

【参考書】

適宜、講義の中で示します。

計算機科学同実習

「コンピュータ言語(C言語)入門」 3単位 秋学期
野寺 隆

【授業科目の内容】

マルチメディアやバーチャルリアリティなど、インターネットを使ったサイバースペースの世界が次々に出現している。このような現代社会で、新たに人とコンピュータのコミュニケーションを考えることは重要な事柄である。本講義は、最初に数式を含む文書処理の入門として、LaTeXの基本概念について実習を通して学習する。次に、コンピュータのプログラミングの入門として、C言語を利用し、その実習を通してアルゴリズムの構成法やコンピュータの役割などについて学習する。C言語は、ワークステーション用のオペレーティングシステムUNIXの記述に利用され、高水準プログラミング言語の持つ「構造化」と呼ばれる機能を持ち、コンピュータの金物(ハードウェア)としての機能を充分発揮できるように考えられた高級言語である。この講義では、C言語の学習を通してコンピュータの持つ力を各自の情報処理の仕事に充分発揮できるための基礎的な素養を育成することにある。

【教科書】

なし

【参考書】

野寺隆志著『楽々LaTeX(第2版)』共立出版

野寺隆志著『これだけは知っておきたい数学ツール』共立出版

浦昭二、原田賢一共著『C入門』培風館

B.W.カーニハン、D.M.リッチー著、石田晴久訳『プログラミング言語C』共立出版

計算機基礎（機械、管理、数理、物理）

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」

2単位 春学期
山中 直明

【授業科目の内容】

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

本授業は、本来はコンピュータを主たるトピックスとしない学科の学生のために情報系と分けて平行授業を行なっている、基礎からの理解を図るものである。

【教科書】

特に指定しません。

以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布する予定です。

<http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/>

ただし、ダウンロードは授業と平行して行なわれ、テスト前等に一括しては不可能です。

【参考書】

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編 『電子計算機I 基礎編』 コロナ社

計算機基礎（化学、情報）

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」

2単位 春学期
山崎 信行

【授業科目の内容】

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

【教科書】

特に指定しません。

以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布します。

<http://www.ny.ics.keio.ac.jp/>

【参考書】

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編 『電子計算機I 基礎編』 コロナ社

計算機基礎（SD）

「デジタル回路、情報の表現、ノイマン型計算機、プログラミング」

2単位 春学期
矢向 高弘 西 宏章

【授業科目の内容】

文書整形や表計算、通信などの情報リテラシに計算機を利用するだけならば、ソフトウェアの使い方だけ知っ

ていれば十分であろう。しかし、研究の現場では計算機を研究装置に接続して制御する能力や計算精度に対する検討能力が必要とされており、単に既存のソフトウェアが利用できるだけでは十分ではない。研究に必要な基礎知識としての計算機を学習してもらうため、本講義では現在主流の計算機の動作の仕組みを全般的に取り扱い、プログラミングの初歩的な概念についても講義する。

【教科書】

矢向高弘、村上俊之、大西公平共著 数理工学基礎シリーズ5 『コンピュータの数理』朝倉書店

計算機構成同演習

2単位 秋学期
天野 英晴

【授業科目の内容】

マイクロコンピュータのCPUをHDL（Hardware Description Language）を用いて設計しながら、その内部構造を理解する。16bit RISC型CPU（パイプライン化されていないもの）の設計までを半期で行なう。1コマの授業の後に1コマの設計演習を行なう。具体的には、（1）加算、減算回路、パレルシフトを含むALUの設計ができる。（2）アキュムレータマシンの設計ができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。（3）16bit RISCに独自の命令を付け加えることができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。を目標とする。

【教科書】

天野、西村『作りながら学ぶコンピュータアーキテクチャ』培風館

計算力学の基礎 1

「コンピュータを用いた数値計算および実習」

2単位 春学期
泰岡 顕治

【授業科目の内容】

本科目では主に以下の内容を扱う：

- A 基本的なコンピュータ言語の習得
- B ワークステーションの利用
- C 簡単な数値計算のプログラムの作成・実行

プログラミングアプリケーションとしてMATLABを用い、数値計算のプログラムを作成・実行できるようになることを目的とする。また、MAPLEの併用によって数値解析がもたらす誤差についての理解を深める。秋学期の「計算力学の基礎2」では、微分方程式の数値解析を取り扱うため、2つの科目を履修することにより機械工学で扱うさまざまな方程式について自力で数値解析を行う力が身につくことが期待される。コンピュータ（UNIX）に関する知識は前提としない。

【参考書】

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社
『矢上キャンパスIT利用バイブル』慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター
芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかりMATLAB』共立出版

森下信編著『(機械工学基礎コース) コンピュータの基礎と数値計算』丸善株式会社

計算力学の基礎2

「微分方程式の数値解析」

2単位 秋学期
小尾晋之介

【授業科目の内容】

この科目では微分方程式の数値解析について学ぶ。物理学の基礎となる常微分方程式、流体力学や伝熱工学で用いる偏微分方程式などの解の性質を調べることで物理現象の理解を促進する。単なる知識の習得にとどまらず、方程式を自分で解ける、解いた結果の精度を評価できる、結果が正しく解釈できる、といった力を身につけることを目指す。「計算力学の基礎1」の履修が必須。

【教科書】

配布テキストを使用

【参考書】

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社
『矢上キャンパスIT利用バイブル』慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター

芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかりMATLAB』共立出版

森下信編著『(機械工学基礎コース) コンピュータの基礎と数値計算』丸善株式会社

Numerical Methods for Engineering Application, J.H. Ferziger, John Wiley & Sons, Inc. など

計算論理学

「論理と計算のつながり」

2単位 秋学期
岡田 光弘

【授業科目の内容】

計算機科学や情報工学の理解のために必要な論理的基礎を与えることを目的とする。論理的言語及び論理的知識表現論、論理的意味論、ルールベースの推論システム、証明論等の基礎理論を与える。又、それらと計算モデル理論(チューリングマシンやラムダ計算等)、プログラム言語理論、フォーマルメソッド、AI分野等で提案されてきた推論エンジンモデル等との関係を示す。計算機や計算理論の基礎は論理学分野で確立されたが、それらの歴史的経過についても解説する。

【教科書】

教材については秋学期開始時に授業及び掲示で指示する。

【参考書】

授業の中で紹介する。

形状情報の表現

「三次元物体を二次元の図面に表現する方法、技術内容の指示方法等の習得」

2単位 秋学期
徳岡 直静 他

【授業科目の内容】

図面は、設計技術者の世界共通言語である。将来、機械技術者として自ら設計を行う場合は、自分が意図した機械等の構造や形状、精度、特性等を図面上に自由に表現するとともに、他の技術者の意図を自由に読み取ることができなければならない。また、直接設計に携わらない場合でも、製品の良否を判断する上で、図面内容を適確に把握できる能力が必要である。特に、グローバル化された現在、世界的に活躍するためには国際基準の図面を作成する能力が必要である。本講義では、グローバルに活躍できる技術者になるために、図面に記入すべき項目や国際基準に準拠した指示方法等を、CADを使った実習を通して教授する。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

日本機械学会編「機械実用便覧」(常に持参してください)

計測工学

「電気計測を中心とする「はかる」ことへの考え方と技術」

2単位 秋学期
本多 敏 南谷 晴之

【授業科目の内容】

はかるということは、観察・調査・実験などに基づいて、自然・事物・対象についての知識を手に入れることです。私達が科学的に物事を進めようとする場合、まずはかることから始めます。これを称して「計測なくして科学なし」といいます。もちろん、科学のみでなく、技術の発展にもはかることは欠かすことができません。この講義では、個別の測定法や測定装置もあげますが、それを通じて優れた計測システムの構成方法を理解できるように進めます。

【教科書】

なし。

講義に関する図・資料は、配布します。

【参考書】

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』オーム社

南茂夫・木村一郎・荒木勉著『はじめての計測工学』談社サイエンティフィック

前田良昭・木村一郎・押田至啓著『計測工学』コロナ社

光学基礎 2単位 秋学期
木下 岳司

〔授業科目の内容〕

光技術は現在最も急速に発展している技術の一分野です。レーザを応用した多くのハイテク機器が身近に使われています。光の波としての性質と代表的な応用例について講義します。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

Eugene Hecht 著 『Optics』 Addison- Wesley (丸善から和訳3冊組があります)

左貝潤一著 『光学の基礎』 コロナ社 大頭仁、高木康博著 『基礎光学』 コロナ社

大坪順次著 『光入門』 コロナ社 羽根一博著 『光工学』 コロナ社

光学システム
「Optics System」 2単位 秋学期
内山 太郎

〔教科書〕

『光学の基礎』

工学数学 2単位 春学期
大西 公平 野口 裕久

〔授業科目の内容〕

工学をシステム論から解析し、設計しようとするれば、必ず数学の助けが必要になる。本講では、級数、微積分、複素解析、ベクトル解析等を横断的に取り上げ、総合的な見方が出来るよう講義を行う。

〔教科書〕

資料プリント配布

高分子化学基礎
「分子レベルから材料レベルまでの“高分子”」
2単位 秋学期
川口 春馬

〔授業科目の内容〕

‘高分子とは’から始め、「構造」「構造をつくり出す方法」「構造がもたらす物性」「物性に由来する機能」を学び、‘高分子を理解しながら使いこなす’能力をつける。同時に、高分子を題材として、科学する力を培う。

1. 序論

- 1.1 高分子とは
- 1.2 高分子化学の歴史と未来

2. 高分子の化学構造

- 2.1 一次構造
- 2.2 モノマーの結合様式
- 2.3 分子量

3. 高分子鎖の特性と溶液の性質

- 3.1 高分子鎖の形と大きさ
- 3.2 溶液の熱力学
- 3.3 浸透圧
- 3.4 光散乱
- 3.5 粘度

4. 高分子の構造と物性

- 4.1 高分子の構造解析
- 4.2 ガラス転移と融解
- 4.3 高分子結晶
- 4.4 粘弾性

5. 高分子の合成

- 5.1 高分子生成の様式
- 5.2 連鎖重合
- 5.3 逐次重合
- 5.4 共重合

6. 高分子の反応

- 6.1 高分子改質
- 6.2 分解・劣化

7. 生体高分子

〔教科書〕

高分子学会編集 『基礎高分子科学』(東京化学同人) 2006年3月発行(予定)

〔参考書〕

参考書:

成智聖司他著 基礎化学シリーズ3 『基礎高分子化学』朝倉書店
蒲池幹治著 『高分子化学入門』 NTS

コンピュータ実習

「UNIXの基礎」 2単位 春学期
斎藤 博昭 重野 寛

〔授業科目の内容〕

現在のコンピュータには様々な種類がある。その中にUNIXに基づいて動くものがあるが、UNIXはコマンドラインを中心としたものであり、Windowsと異なる部分が多々ある。本講義では、UNIXを利用する際の基本的なコマンドや基本的なソフトウェアを実習することにより、UNIXに関する基礎の習得を目指す。

〔教科書〕

講義の初めに指示する。

〔参考書〕

講義の初めに指示する。

細胞生物学第1 2単位 秋学期
井本 正哉

〔授業科目の内容〕

生命を分子レベルで研究する上で必要な分子細胞生物学の基礎知識を教科書に沿って学ぶ。

〔教科書〕

分子細胞生物学 第5版 上巻 東京化学同人

材料力学の解法

「はり軸の強度・変形に関する実例と解法」

2単位 春学期

小茂鳥 潤 宗宮 詮
高橋 邦弘

〔授業科目の内容〕

必修科目「材料力学の基礎」と表裏を成す科目であり、選択科目ですが是非履修するよう勧めます。本科目では「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としています。すなわち機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材に関する理解を演習を通じて深めることとなります。

個々人に対して丁寧な説明を行いながら演習問題を解説します。実際の計算の例題を豊富に提示することになりますから、「材料力学の基礎」の良き復習となるように構成されています。

内容は「材料力学の基礎」と同様で、下に示す項目です。教科書、参考書は特に定めません。必修科目である「材料力学の基礎」の講義の5日後に、本科目で例題を解くこととなりますので、「材料力学の基礎」の授業を良く把握して臨んで下さい。

〔教科書〕

特に指定しませんが、同名の書籍が多数あるのでそれを参考にして下さい。

材料力学の基礎

「はり軸の強度と変形」

2単位 春学期

小茂鳥 潤 宗宮 詮
高橋 邦弘

〔授業科目の内容〕

機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材を取り上げます。はりや軸のような棒材における力と変形、あるいは応力とひずみについて解析を行います。材料力学の基本的考え方、基本原理を解説し、3年次以降の材料力学関連科目を学ぶ上での基礎固めを目的としています。

基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることにも力を注ぎます。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を解くこととなります。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えますから、併せて履修することにより深い理解が得られるよう配慮されています。

教科書、参考書は特に定めませんが、材料力学のテキストには市販のものが多くあるので個人的に参照することが可能です。ただし本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。

〔教科書〕

特に指定しませんが、同名の書籍が多数あるのでそれを参考にして下さい。

酸塩基及び酸化還元

「あらゆる化学現象を理解するための基礎的概念」

2単位 春学期

大坂 武男

〔授業科目の内容〕

化学全般の基礎である「酸・塩基反応」および「酸化・還元反応」を理解できるようにします。

〔教科書〕

特に用いない。毎回、講義内容のプリント（A4用紙10枚程度）を配布し、同じ内容のOHPを用いて講義する。

〔参考書〕

「物理化学」関連の参考書
藤永太郎訳「酸塩基の理論」化学同人
曾根興三著「酸化と還元」培風館

システム制御論

2単位 秋学期

富田 豊

〔授業科目の内容〕

1. Introduction
2. Control Systems Terminology
3. Differential Equations and Linear Systems
4. Laplace Transform
5. Stability
6. Transfer Functions
7. Block Diagram Algebra and Transfer Functions of Systems
8. System Sensitivity Measures and Classification of Feedback Systems
9. Analysis and Design of Feedback Systems with Bode Plot
10. Introduction to Nonlinear Control Systems
11. Controller

〔教科書〕

Joseph J. Distefano, et al., Schaum's Outlines Feedback and Control Systems Second Edition, McGraw Hill, Paperback

システムデザイン工学概論

2単位 春学期

村上 周三 村上 俊之

〔授業科目の内容〕

「システムデザインとは何か」について、特別講義、課外講義を通して学ぶ。

システムデザイン工学が目指すものは何か、何をどのように学ぶべきか？ システムデザイン工学に関して、学内の講義のみではない課外講義を含む活力ある形式により、その理念とその視点からの先端技術の状況を講義する。

この講義では、人類（社会・経済・文化）と自然との調和を考えた工学の必要性、情報化社会に適したシステ

ムづくり、複雑そして総合的なシステムを扱える工学の確立など、社会で本学科が果たす役割を理解して、既成の分野に拘らない広い学識を持ち、新しい発想から新分野を開拓できる、横断的な思考と学際的な発想からシステムデザイン目指して学ぶその動機づけを与えることを目的としている。

機能を追求するだけでなく、現象の本質をグローバルな視点で解析するとともに取り巻く環境との調和にも十分配慮してシステムデザインすることを学びひとりひとりが積極的にシステムデザイン工学そのものを創造することを目指してほしい。

システムデザイン工学基礎演習 1単位 秋学期
佐藤 春樹 他

〔授業科目の内容〕

本科目は、システムデザイン工学科2年生春学期に開講した「熱流体システム第1」「力学的モデリング」「電磁気工学」「回路とシステム第1」なる4つの基礎必修科目に関する理解を深めさせ、学生に十分にその内容を身に付かせることを目的として設置した演習科目であり、基礎的な問題に対処できるようになることと、これら基礎科目に関する分野横断的な側面もカバーしている。春学期に履修した授業内容の演習を秋学期に行うことで、さらなる習熟度向上が期待され、同時に、秋学期に履修しているアドバンスな関連科目に関する理解向上に貢献することもねらいである。本演習科目は、上記基礎必修科目の担当教員8名による2クラス制のオムニバス形式で開講される。

〔教科書〕

『熱流体システム第1』『力学的モデリング』『電磁気工学』『回路とシステム第1』のテキスト

社会・経済と工学 2単位 秋学期
青山藤詞郎 三田 彰

〔授業科目の内容〕

科学技術を道具として出発したコンピューターを例にとれば、単なる計算道具でなく、経済活動や社会システムまでも変えてしまう、予期しなかった大きな影響を生み出している。あるいはエネルギーの例に見れば、生活を豊かにしただけでなく、地球温暖化や資源競争など、国際・法律・社会心理へも及ぶ広い影響がある。科学技術者には、一方では技術の波及効果について社会的責任を求められる機会が増えており、また、他方では経済や社会の広い知識と問題意識を持つ人が社会で求められている。この講義では、一部は外部専門家の話を依頼して、現在の具体的な事例を挙げることにより、科学技術の影響の広がりを知り、将来の対応の糸口を考える。

周期表の化学基礎

「元素各論」 2単位 春学期
山元 公寿

〔授業科目の内容〕

宇宙と地球における元素の誕生と分布の過程を知る。また、周期表にしたがって各元素の特性を把握し、それが化学物質の構造や性質にどのように反映されているかを理解する。特に、類似の性質を持つ元素群(族)に分類して、具体的な特徴を解説する。

- 1 元素の誕生
- 2 周期律
- 3 元素各論

〔参考書〕

コットン、ウイルキンソン、ガウス著、中原訳 『基礎無機化学』 培風館
田中政志、佐野充著 『原子、分子の現代化学』 学術図書
井口洋夫 『元素と周期律』 裳華房

周期表の化学第1

「無機化学、錯体化学、配位子場理論、群論入門、群論の化学への応用」 2単位 秋学期
伊藤 正時

〔授業科目の内容〕

無機化学の基礎となる配位子場の考え方、配位結合について述べます。無機化合物を学ぶ上で最も大切な基礎を扱います。

〔教科書〕

特になし、プリントを配布する。

〔参考書〕

F. Basolo, R.C. Johnson (山田祥一郎訳) (配位化学) 化学同人

集合論

「数学の基礎的手法」 2単位 春学期
八森 祥隆

〔授業科目の内容〕

現代数学の基本的言語である集合の概念とその基本的演算について解説する。話題としては 集合の概念、和と共通部分、写像、積集合、巾集合、無限集合と濃度の概念、選択公理、同値関係と商集合など。その後、集合に数学的構造を入れることを考える。特に距離空間とその抽象化である位相空間について解説する。

話題の性質上、抽象的な議論は不可避だが、具体例をなるべく多く交えながら理解を図りたい。数学における標準的な記号法と議論の前提となる論理規則も合わせて導入していくので慣れてもらいたい。

通常数学で行われる論理展開の方法に習熟し、頭で理解するだけでなく実際に自分で手を動かして自力で数学的な推論が実行できるようになることが目標である。

【参考書】

内田伏一 集合と位相 裳華房
 松阪和夫 集合・位相入門 岩波書店
 齋藤正彦 数学の基礎 集合・数・位相 (基礎数学14)
 東京大学出版会
 志賀浩二 集合への30講 朝倉書店
 志賀浩二 位相への30講 朝倉書店
 シンガー/ソープ トポロジーと幾何学入門 培風館
 赤堀也 集合論入門 培風館
 井関清志 集合と論理 新曜社

情報経済学 2単位 秋学期
 増田 靖

【授業科目の内容】

この科目では、管理工学の経済学的側面からのアプローチを考え、企業間・企業内活動を主な分析対象とします。具体的には、二つのテーマを取り扱います。第一のテーマは価格設定です。企業の行動に焦点をあて、市場と企業組織内部の両方に対する価格の役割を調べます。第二のテーマは不確実性と情報です。意思決定者が不確実性にどのように取り組むかという問題を、モデル分析を通じて検討します。そのために不可欠な道具である期待効用理論を学び、危険回避行動を議論します。典型的な応用問題として保険を扱います。

【教科書】

教科書は特に指定しません。講義資料はwebサイト <http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm>よりダウンロードできます。

【参考書】

奥野正寛・鈴村興太郎著「ミクロ経済学I, II」岩波書店、1985、1988
 H.R.ヴァリアン著、佐藤隆三・三野和雄訳「ミクロ経済分析」勁草書店、1986
 P.ミルグローム・J.ロバーツ著「組織の経済学」NTT出版、1997

情報数学概論 2単位 春学期
 「計算機科学に使われる数学」 田村 明久

【授業科目の内容】

計算機科学でよく使われる数学概念を概説します。特に、論理的推論、集合、同値関係、半順序関係、グラフ、組合せ論、簡単なアルゴリズムなどに重点をおき、講義を行います。広い範囲の話題を扱うので、それぞれの話題についてはあまり深入りせず、具体的な例を通じて概念や記法を理解してもらうことに主眼をおきます。

【教科書】

使用せず。毎回資料を配布します。配布方法については、受講人数にも依存するため初回に説明します。

【参考書】

特に指定せず。

情報通信工学基礎 2単位 春学期
 小沢 慎治

【授業科目の内容】

情報・通信分野の基礎を統括する科目として、以下の項目の概要が把握でき、重要な術語が理解できることを目的とする。また3年で設置される、情報・通信関連科目の関連、系統が理解できるように配慮する。

【参考書】

授業で用いるスライドのコピーを配布する。

情報理論 2単位 秋学期
 「情報を把握するための第一歩」 中川 正雄

【授業科目の内容】

情報とは何か、情報の量とは何か、情報をどう伝えるのか等、情報の本質に迫ります。情報理論は確率の基礎がわかれば、きわめて簡単な法則ですので理解の容易な分野です。以下に目次を示します。

1. 情報理論の背景

軍用暗号の解析から始まったといわれる情報理論は、通信、計算機、メディア、経済など広い応用分野があります。コンパクトディスクに傷をつけても音に変化がないのも情報理論の成果の一つです。

2. 確率過程のモデル

文章や音符などは、一定の法則で構成されますが、それを表すのにマルコフモデルを使い、情報の流れを解析します。そこで見つけた遷移確率は逆に文章の自動作文や音楽の自動作曲に利用できるはずですが、はたしてどうでしょうか？モーツァルト風自動作曲はできますか？

3. 平均情報量 (エントロピー)

めったに起こらないメッセージが伝わると大きな情報量になります。砂漠の国の雨のようなものです。しかし、殆ど晴れなので、平均情報量 (エントロピー) は低いのです。日本では雨がよく降るので、雨の情報量は少ないのですが、晴れも、曇りもよくありますので、平均情報量 (エントロピー) は砂漠の国よりも多いのです。エントロピーはこの場合天気予測のしにくさをあらわすことになります。

マルコフ過程のエントロピー、誤りのある場合のエントロピーなども紹介されます。

4. 通信路

情報源は複数のメッセージ (晴れ、曇り、雨など) とその確率で表し、通信路はそれらのメッセージの時間長で表します。短い時間長は高速な伝送を可能にします。この通信路でどれだけの最大の通信速度ができるかが通信路容量Cです。

5. シャノンの符号化定理: 第一符号化定理 (情報源符号化) と第二符号化定理 (通信路符号化)

情報源から通信路に1、0の符号で送りだすには種々の問題があります。まず、10進数字やアルファ

ベット、音声、画像などの情報源は、固有の性格があり、そのままでは、必ずしも1、0の2進数と整合がよいものではありません。整合をうまく取り損失を少なくしようというのが、情報源符号化です。また、1、0は通信路で誤ります。これを検出したり、訂正するのが、通信路符号化の役目です。

情報源符号化としてシャノンの符号化、通信路符号化としてパリティ検査符号や、その拡張のブロック符号を紹介します。

6. 連続的情報源の情報量

どんな分布をもつ連続な情報源がエントロピー最大になるのでしょうか？これを追求していくと、雑音をもつ連続通信路の通信路容量を求める問題になります。雑音にもっとも強い情報源はガウス分布をもちますが、この関係から最大の通信速度、すなわち通信路容量と信号対雑音電力比(SN)の関係が示されます。SN比が大きいかほど通信路容量は大きいのです。よく澄み切った(SN比が高い)空間では遠くの山の細部まで見える(通信路容量が大きい)のです。

7. 標本化定理

連続的情報源をデジタル化するには、サンプリング(標本化)が必要です。ではどれだけ細かく標本化するのでしょうか？細かすぎると冗長ですし、粗いと、元のアナログ波形に戻りません。連続波形の最高周波数の2倍のサンプリングが答えですが、それを証明します。

標本化定理と、6の通信路容量を利用すると、通信路容量は周波数帯域とSN比によって決まるのです。周波数帯域を広くすれば、通信路容量を大きくできるでしょう。たとえば光ファイバーの周波数帯域はすごく広いので、通信路容量は大きいのです。

【教科書】

藤田広一著『基礎情報理論』昭晃堂

振動と波動

2単位 春学期
下村 晋

【授業科目の内容】

振動と波動は、力学以外にも様々な物理系においてあらわれる現象である。本講義では、振動・波動現象を共通する性質としてとらえ、その考え方を理解することを目的とする。また、フーリエ級数、フーリエ変換について学び、その応用にもふれる。

【教科書】

特に指定しません(参考書の欄を参照してください)。

【参考書】

いくつか良いと思われる参考書をあげます。

「振動と波」 長岡洋介 裳華房

「振動・波動」 小形正男 裳華房テキストシリーズ

フーリエ級数・変換については、物理数学の教科書を含め数多く出ていますので、自分にあった参考書で良いと思います。例えば、「フーリエ解析」 大石進一 岩波書店

振動波動論

2単位 秋学期
大橋 良子

【授業科目の内容】

私達の身の回りには機械の振動、水の波、音、光(電磁波)など色々な種類の振動波動現象が見られます。これらはそれぞれ異なった原因で起こる現象ですが、そこには物質の一部や電場、磁場など対象が時間的、空間的に周期的な変化をするという共通の性質があります。振動波動論では、この共通する性質を統一的に把握する方法を身につけ、現象を横断的に理解するための数学的手法に慣れることを目的の一つとしています。

【教科書】

特に指定しない。プリントを配布する。

【参考書】

同じようなタイトルの参考書は、数多く出版されています。適宜選んで下さい。

数学解析第1

2単位 春学期
石川 史郎 井口 達雄

【授業科目の内容】

数学A1、B1及び数学A3、B3にひきつづき解析学の基礎を学ぶ。

数学A1、B1を履修したクラスでは解析の基本的な概念を学ぶ。予定している主な内容は、数列の収束性と極限、関数の連続性及びその基本的性質、関数列の収束性と極限、級数、ベキ級数等である。

数学A3、B3を履修したクラスでは陰関数定理と積分論を主に学ぶ。予定している内容は、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、変数変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等である。

演習はレポート提出の形で行なう。

数学解析第2

2単位 秋学期
石川 史郎 下村 俊

【授業科目の内容】

微分方程式(常微分方程式)についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電氣的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第1」を既に履修していることが望ましい。

1. 微分方程式の基礎概念(定義、解、解の延長など)
2. 解の存在と一意性
3. 線形常微分方程式(独立解、一般解、解空間の構造)
4. 定数係数同次線形常微分方程式の解法
5. 定数係数非同次線形常微分方程式の解法(定数変化法)
6. 線形常微分方程式の級数解

数理科学基礎第1 2単位 春学期
太田 克弘

〔授業科目の内容〕

1年生で学んだ数学の内容の復習を中心に、解析学、線形代数の基礎事項に関し演習を中心に学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

数学A3、B3、A4、B4の教科書

数理科学基礎第2 2単位 秋学期
「数理科学の論理基礎」 田村 明久

〔授業科目の内容〕

数理科学の基礎となる下記の内容について、演習を中心に学びます。

- (1) 命題・論理
- (2) 集合・順序・同値
- (3) 位相構造
- (4) 代数構造

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

特に指定せず。

数理計画法 2単位 秋学期
「Mathematical Programming」 佐野 昭

〔授業科目の内容〕

与えられた目的関数の最小値または最大値を求めるために必要となる数理的最適化の手法の基礎を身につけ、さらにそれを応用できる能力を修得することが目的である。講義内容は、最適化問題を取り扱うために必要な基礎的な数学、線形計画法の原理とその応用、拘束条件のない非線形計画法およびその繰り返し計算法、拘束条件のある非線形最適化問題へのアプローチ、さらに時間を含む工学システムや物理システムに関連した多くの最適化問題を、変分法やダイナミックプログラミングからアプローチする。また最近の話題にも触れる。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

各内容の理解のための参考書をそのつど紹介する。

図形情報処理 2単位 春学期
小茂鳥 潤 他

〔授業科目の内容〕

設計を行う際に必要となる図形情報の表現・伝達に関して、講義および演習を行う。具体的には、まず、

CAD /CAM/CAEの製品開発における位置づけ、ならびにその現状と動向に関して、基礎知識の解説を交えて講義する。つぎに、図形情報の表現・伝達に関する基本スキルの修得を図るべく、CADおよび簡単なCGの演習を行う。さらに、その基本スキル習得のために不可欠な立体表現能力の養成に関しても、スケッチや概案図などの演習を通じて試みる。

〔教科書〕

CADの利用法に関してはマニュアルを配布する。

〔参考書〕

とくに指定しない

生化学 2単位 春学期
「生命現象を分子のレベルで理解する」 松本 緑

〔授業科目の内容〕

複雑な生命現象を分子レベルで理解するために必要な基礎を習得する。生命活動の基本である細胞を作っている分子とそこで働いている分子の構造と機能およびそれらの代謝過程を理解する。

〔教科書〕

分子細胞生物学 第5版 東京化学同人

〔参考書〕

『細胞の分子生物学 第4版』 トッパン

生体計測論 2単位 秋学期
「電気・電子回路を用いた生体計測方法の理解」 岡 浩太郎

〔授業科目の内容〕

本講義では生命現象を解析する計測方法のうち、特に電気回路を利用した計測方法を理解するための基礎的な知識について講義する。まず電気回路を構成する基本的な受動素子(RCL)について理解を深め、回路網を記述する方法と電気回路の諸定理について説明する。また能動素子の例としてトランジスタとオペアンプに着目し、加算減算、微分・積分回路を取り扱う。生体信号の取得はノイズとの戦いでもあるので、フィルタ回路(受動・能動)についても詳述する。また生命現象との関係として、生体膜等価回路としての電気回路についても述べる。本講義を履修することにより、基礎生命情報実験で扱う電子回路の動作についても理解が深まるものと考えている。

〔教科書〕

毎回プリントを配布する。

〔参考書〕

安藤繁『電子回路 基礎からシステムまで』培風館
伊藤正夫他『応用システム数学』共立出版
藤原修『電子回路A』オーム社

生体反応論第1

「有機化学、反応機構」

2単位 秋学期

太田 博道

〔授業科目の内容〕

有機化合物の反応がどのように進行するかを予測すること、反応の結果をきちんと解釈し理論的な説明を付けることは非常に重要である。新しい化学反応を見出すという有機化学的な意味だけではなく、生体内の様々な生合成反応、代謝反応も有機化学の反応理論によって説明できる。したがって生命機能、生命システムを理解する上で必須の素養である。有機化合物の反応はおよそ以下の要素に支配されていることを様々な場面で応用できるよう理解を深めていきたい。

- (1) 電子の片寄りの度合い
- (2) 立体化学的嵩高さ
- (3) 立体化学的な形
- (4) HOMOおよびLUMOのエネルギーレベル、ローブの大きさと方向

この講義を理解した後に生体反応をその観点から見たとき、それがいかに巧みにデザインされているか実感できるようになることを到達目標としたい。

〔教科書〕

特に指定しない

〔参考書〕

右田俊彦、永井洋一郎「有機反応機構」、裳華房

生体物質の化学

2単位 秋学期

梅澤 一夫

〔授業科目の内容〕

- 生化学の基礎と最近のトピック -

以前の生物学が主に事実の集積であったのに比べ、現代の生物学は、有機化学、物理化学で多くの部分が説明される、系統的に整理された科学になった。本講では生体分子の構造と機能を中心に、生物学の骨子を解説する。生命科学における最近のトピックも合わせて紹介する。

1. 蛋白質の構造と機能
2. 酸素の構造と作用機構
3. 脂質の構造と機能
4. 糖質の構造と機能
5. 生体エネルギーの生成
6. 核酸の生化学

生体分子構造論

「生命を支える有機化合物の構造化学」

2単位 秋学期

佐藤 智典

〔授業科目の内容〕

生命現象を支える有機化合物分子の構造と構造に密接に関わる化学的性質について概説する。

〔教科書〕

マクマリー「生物有機化学」 生化学編 丸善株式

会社

生物量子化学

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動、生物量子化学基礎」

2単位 秋学期

敷下 聡

〔授業科目の内容〕

現在、量子化学を代表とする分子科学における理論的手法は非常に高度に発展し、そのターゲットはより複雑な化学現象に向かっている。生命現象に関わりをもつ分子の構造や機能を解明する手段としても、近い将来大いに威力を発揮するものと予想出来る。この授業では、化学的な視点から量子論の基本的な考え方を論じ、分子中の電子の運動(分布)および分子の振動回転運動を概説し、化学現象との関わりを述べる。取り扱う内容は、

1. 古典力学の復習。ハミルトンの運動方程式。
2. シュレディンガーの波動方程式と、簡単な系への応用。不確定性原理。波動関数の直交性、対称性など。
3. 軌道角運動量、水素原子、および多電子原子。
4. 二原子分子の電子状態。LCAO 近似。
5. 多原子分子とヒュッケル分子軌道法。HOMO-LUMO 相互作用と反応性。
6. 分子の振動回転運動と分子分光法入門。
7. 生物量子化学。分子軌道法の応用。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html>よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業時にお知らせします。

〔参考書〕

田中政志、佐野充 『原子・分子の現代化学』 学術図書

茅幸二編著 『物理化学演習』 裳華房

朽津耕三・濱田嘉昭 『量子化学』 放送大学教育振興会

小林常利 『基礎化学結合論』 培風館

藤永茂 『入門分子軌道法』 講談社サイエンティフィック

平尾公彦・加藤重樹 『化学の基礎』 講談社サイエンティフィック

生命科学のための確率論

「生命科学の鍵となる確率論」

2単位 秋学期

柴田 里程

〔授業科目の内容〕

生命科学で必要となる確率論を、それがどのように役立っているかという視点で、基礎から講義します。駆使できるようになることが目標です。必要に応じて演習やレポートを課します。

〔教科書〕

特に指定しません。プリントを配布するとともに、Web で入手できるようにします。

【参考書】

講義中に随時紹介します。

生命系の数学 2単位 春学期
富田 豊 岡 浩太郎

【授業科目の内容】

生命現象を記述するのに必要な数学、すなわち線形代数および微分方程式を学ぶ。主要な項目は、

1. 量の演算（次元解析）
2. 線形システムの数学（線形システムとは何か、行列、1次独立と1次従属、逆行列、基底と基底変換、固有値、部分ベクトル空間、システム変数の並び替え、グラフの行列表現）
3. 連続システムの数学（常微分方程式、定常解と周期解、解の安定性、偏微分方程式、熱伝導・拡散・波動・膜振動の方程式）
4. 確率的モデル
毎週演習（宿題）ができるよう、プリントを配布する。

【教科書】

伊理他、『応用システム数学』共立出版社

生命系の有機化学

「『分子レベルの生命科学』を指向した有機化合物の合成と反応入門」 2単位 春学期
太田 博道

【授業科目の内容】

1年生の化学B、Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について個々に合成法、反応性を解説する。

遺伝子の情報とは要するにどのようなタンパク質を創り出すかという情報である。そのタンパク質は、酵素として生体内で様々な有機化合物の反応を促進したり、レセプターとして機能して必要な情報の伝達を担っている。したがって生命機能を語る時、有機化学の基本的知識は本質的に重要であり、これ無しに生命の機能を理解することは難しい。生命体の中で起こる化学反応の理解に最低限必要なことをていねいに論述する。また、生命機能を理解したり、物質変換に応用するときには有機化学との相互作用が必要になることが多い。有機化学分野との会話を可能にする最小限の「知識と言葉」は身につける必要がある。そこへ到達することを目標としたい。

各化合物間の相互関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さも忘れたいようにしたい。

【教科書】

太田博道、西山繁著「ビギナーのための有機合成反応」三共出版

生命系の量子力学

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」 2単位 春学期
川村 清

【授業科目の内容】

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

【教科書】

川村清「量子力学I」(産業図書)

生命物理化学

「生命現象を理解するための論理を学ぶ」2単位 春学期
岡 浩太郎

【授業科目の内容】

化学A、化学Bでの物質の物理的・化学的側面に関する知識を前提として、生命現象を物理学の基本原則に基づいて理解するために、熱力学（化学反応でのエネルギー変化、エントロピーと反応の進む方向、自由エネルギー、化学平衡）、輸送過程と膜現象、反応速度論（酵素反応速度論を含む）、電気化学を中心に講義を行う。特に生命現象を定量的に把握することに重点を置き、適宜演習を行う予定である。本講義と共に生化学、生命系の量子力学、生物量子化学を受講することにより、生命系に必要な物理化学について全般の知識を取得することが可能となる。

【教科書】

早川勝光、白浜啓四郎、井上亨『ライフサイエンス系の基礎物理化学』三共出版

また毎回プリントを配布する。

【参考書】

講義の最中に必要に応じて紹介する。

線形代数（機械、物理、SD）

「対称行列の対角化問題」 2単位 春学期
栗原 将人

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

- ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A 2、B 2 での内容の復習および補足をする。
- 内積と直交行列の性質を調べる。
- 線形空間の基本的性質について。
- 行列の固有値・固有ベクトル。
- 対称行列の対角化。
- 2次形式の標準形と応用問題。
- ジョルダン標準形。

【教科書】

裕野 敏博、加藤 芳文著「理工系の基礎線形代数学」
学術図書出版社

【参考書】

斉藤正彦著『線型代数入門』東京大学出版会
斉藤正彦著『線型代数演習』東京大学出版会
佐竹一郎著『行列と行列式』裳華房

線形代数（応化、化学）

「対称行列の対角化問題」

2単位 春学期

前田 吉昭

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

1 ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。2 内積と直交行列の性質を調べる。3 線形空間の基本的性質について。4 行列の固有値・固有ベクトル。5 対称行列の対角化。6 2次形式の標準形と応用問題。7 ジョルダン標準形。

【学生への要望】

目的の項で述べた様にこの科目は君達がどの学科に進んでも必ず大事となるものです。私達も理解を深めてもらう様工夫しますが、講義を聞く君達もぜひ努力して下さい。特に、計算がしっかり出来る様要望します。講義の中で演習も出来るだけ多く取り入れますが、講義90分についてそれと同等の予習復習をしてください。単位は上記の目的に到着した者に対して与えるつもりです。なお学期内に一度中間試験を行う予定です。

【教科書】

中岡稔・服部昌夫著『線型代数入門』紀伊国屋書店

【参考書】

斉藤正彦著『線型代数入門』東京大学出版会
斉藤正彦著『線型代数演習』東京大学出版会
佐竹一郎著『行列と行列式』裳華房

線形代数（管理、数理）

「線形空間の理論と行列の標準化（対角化とジョルダン標準形）」

2単位 春学期

小田 芳彰

【授業科目の内容】

線形空間の基礎的な概念と計算をマスターすることを目標とします。具体的には、線形代数が単にベクトルと行列の話にとどまらずに幅広い応用があることを理解することと、対称行列の対角化やジョルダン標準形の計算ができるようになることが目標となります。

【教科書】

講義内で指示します。

ソフトウェア工学

2単位 秋学期

櫻井 彰人

【授業科目の内容】

アセンブリ言語を通じて、コンピュータの基本的な機能、構成あるいはその可能性と限界などを修得する。

【教科書】

プリントを配布

【参考書】

なし

代数学基礎同演習

「基礎的な群の理論」

3単位 秋学期

宮崎 琢也 田中 孝明

【授業科目の内容】

正多角形や正多面体をみたとき、回転させたり折り返したりという操作、つまり「対称性」があるということは経験的に理解できるでしょう。またある種のパズルで見られる並べ換えの操作や、もうすこし高級な感じでは代数方程式の解の間に考えられる置き換え操作（互いに共役という感じ）もある種の「対称性」だと理解することもできます。このような「対称性」を代数的にとらえるものとして、「群」の概念はわれわれの前に姿を現します。今では幾何学や物理学でも群の作用という基本的な考え方は深く浸透していると考えられます。理論にまとめられたのは19世紀半ばくらいからで、それからおよそ本講義で扱うような内容が定式化されてきました。なかなか根源的であるゆえに結構高級な概念なので最初難しいですが、慣れてくれば不思議といろいろ調和のとれていることに気付くでしょう。ゲームみたいで面白いです。演習もがががやって下さい。

【参考書】

永尾汎『代数学』朝倉書店
今井淳、寺尾宏明、中村博昭『不変量とはなにか』
講談社ブルーバックスB1393
原田耕一郎『群の発見』（数学、この大きな流れ）岩波書店

ダイナミカルシステム（機械）
「ダイナミカルシステムのモデリングと制御」
2単位 秋学期
江上 正

【授業科目の内容】

現在の状態が過去の入力に依存して変化するシステムがダイナミカルシステム（動的システム）であり、メカニカルシステムの多くはダイナミカルシステムです。ダイナミカルシステムを制御するためには、まずこのダイナミカルシステムを数式を用いてモデル化し、そのモデルを解析して、特性を調べる必要があります。

本講義ではこのダイナミカルシステムのモデル化の方法や、その特性について述べます。さらにこの特性を望みのものに変えるフィードバック制御系の基礎について論じます。

【教科書】

土谷武士・江上正 『新版現代制御工学』 産業図書

【参考書】

土谷武士・江上正 『基礎システム制御工学』 森北出版
溝田喬・中溝高好 『自動制御の講義と演習』 日新出版

ダイナミカルシステム（SD）
「Dynamical Systems」
2単位 秋学期
佐野 昭

【授業科目の内容】

工学システムを構成する力学系、電気系、熱系、化学系などのアナロジー（相似性）を通して線形システムのダイナミクスの表現とその性質や構造の共通点や相違点など関連性を理解し、ダイナミクスを表現し解析する手法として、ラプラス変換、システムの入出力表現、微分方程式や状態変数表現、安定性の解析、状態空間の構造などの基礎知識を修得することを目標とする。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

関連する参考書については授業で紹介する。

通信システム
2単位 秋学期
重野 寛

【授業科目の内容】

通信ネットワークの基礎的な概念や技術とともに、電話網、ISDN、ATMネットワーク、移動体通信網などの構成や仕組みについて学びます。

【教科書】

松下温著 『図解 通信ネットワークの基礎』 昭晃堂
講義資料はwebサイトで提供します。

【参考書】

講義の中で適宜紹介します。

デジタル回路
2単位 秋学期
天野 英晴

【授業科目の内容】

現在のIT産業で不可欠なデジタル回路のデバイスレベル、回路レベルの設計技術を習得する。ブール代数等の論理回路の基礎は「計算機基礎」で、ハードウェア記述言語によるRTL（Register Transfer Level）設計は「計算機構成」でそれぞれ習得するため、この授業では、それらの技術により設計されたデジタル回路が動作するデバイスの特性、利用法に関してが中心となる。今後、情報工学科で行なうLSI設計関連の基礎科目である。具体的には、（1）CMOS回路の動作を判別でき、簡単なゲートのレイアウトを行なうことができる（2）規格表を見て、動作レベル、消費電力を見積もることができる（3）規格表から簡単な順序回路のSTA（Static Timing Analysis）ができる（4）バス構成用の素子の記号と意味を判別する（5）SRAM回路を設計できる（6）FPGA、GPLDの分類を知り、簡単な回路の設計ができる、を目標とする。

【教科書】

天野 『デジタル設計者のための電子回路』 コロナ社

デザインリテラシー演習
2単位 春学期
青山 藤詞郎 他

【授業科目の内容】

工業図面を正確に読みとりかつ作成できることは、物づくりの基本能力の一つである。この講義では、工業図面情報の理解とその記述を行うための基礎知識を教授する。すなわち、工業図面の機能と規格、投影法、公差、はめあい、部品の簡略図法などについて具体的な解説を行い、実際の機能部品を図面上に記述する能力を養う。また、演習においては、CAD（コンピュータ援用設計）システムを利用して、機能部品の設計を行い、部品の形状・寸法を、2次元図面情報あるいは3次元図面情報として記述するトレーニングを行う。

【教科書】

独自の資料を使用する

デジタル・アナログ回路
「アナログ回路とデジタル回路の基礎」
2単位 秋学期
岡田 英史

【授業科目の内容】

アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析と、デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路について講義する。また、アナログ信号とデジタル信号を変換するD/A変換、A/D変換について講義する。

【教科書】

電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3 電子回路

(高橋進一・岡田英史共著) 培風館

デジタル基礎

2単位 春学期
内山 孝憲

〔授業科目の内容〕

計算機の内部では、どのように数が扱われているのか、またそれらはどのように計算されているのかについて学びます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

Digital Fundamentals, Floyd, Prentice Hall International

電気回路基礎 (電子)

「電気回路理論と回路解析の基礎を学ぶ」2単位 春学期
津田 裕之

〔授業科目の内容〕

この科目では電気、電子、情報、通信などの諸分野に共通した基礎である電気回路についてその基本的な部分を中心に解説します。また、理解を深めるために演習を行います。回路解析に必要な微分方程式の解法についても理解できるようにします。

1. キルヒホッフの法則
2. 回路素子の性質
3. 基本回路の性質
4. ラプラス変換
5. 正弦波定常状態の解析
6. 回路方程式
7. 回路における諸定理

〔教科書〕

森真作著 『電気回路ノート』 コロナ社

〔参考書〕

森真作、南谷晴之共著「電気回路演習ノート」コロナ社

電気回路基礎 (情報)

「電気回路の基本的性質」 2単位 春学期
南谷 晴之

〔授業科目の内容〕

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用してください。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方的に聴くだけのものとならないよう、各時間の1/3を演習にあて

学習効果が上がるようにしています。

〔教科書〕

南谷晴之、松本佳宣 共著「詳しく学ぶ 電気回路 - 基礎と演習 - 」コロナ社

電気回路同演習

「電気回路の基本的性質」 2単位 春学期
南谷 晴之

〔授業科目の内容〕

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用してください。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方的に聴くだけのものとならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

〔教科書〕

南谷晴之、松本佳宣 共著「詳しく学ぶ 電気回路 - 基礎と演習 - 」コロナ社

〔参考書〕

森 真作、南谷晴之 共著「電気回路演習ノート」コロナ社

電気回路理論

2単位 秋学期
池原 雅章

〔授業科目の内容〕

春学期の電気回路基礎に続く科目であり、電気・電子系に必要とされる回路に関するより高度な内容について講義する。

1. 複雑な回路の初期値
2. 2端子対回路
3. 三相交流回路
4. 分布定数回路
5. 波形解析

〔教科書〕

高橋進一著 『定常回路解析』 オーム社

〔参考書〕

末崎輝雄、森真作、高橋進一著 『回路理論例題演習』 コロナ社

電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの基礎と実際」 1単位 春学期
津田 裕之

【授業科目の内容】

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうゆう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。セミナーは、電気メーカ等の見学による課外講義と講演を軸に行う。講演は、電子工学科教員が順番に自分の専門分野を例にとって、産業界における技術開発と講義を通しての学問習得の関連を平易に解説する。また、企業見学に関連して企業から講師を招き、わかりやすく産業界の動向を講演いただき、同時に大学時代の勉学の姿勢を含めてアドバイスをいただく。

電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの展望」 1単位 秋学期
津田 裕之

【授業科目の内容】

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうゆう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。セミナーは、電気メーカ等の見学による課外講義と講演を軸に行う。講演は、電子工学科教員が順番に自分の専門分野を例にとって、産業界における技術開発と講義を通しての学問習得の関連を平易に解説する。また、企業見学に関連して企業から講師を招き、わかりやすく産業界の動向を講演いただき、同時に大学時代の勉学の姿勢を含めてアドバイスをいただく。

(基本的に電気電子工学セミナーの継続である。)

電気電子材料

「電気・電子材料」 2単位 秋学期
山下 久直

【授業科目の内容】

電子デバイスには多くの種類が用いられています。こ

れらの材料は最先端の科学技術を支える重要な基盤となるものです。この講義では、電子工学科の基盤分野の基礎として、材料の種類、特性、応用などについて、解りやすく概説します。

電子回路基礎(機械・応化・化学・物理)

「アナログ回路とデジタル回路の基礎」 2単位 春学期
岡田 英史

【授業科目の内容】

アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析と、デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路について講義する。また、アナログ信号とデジタル信号を変換するD/A変換、A/D変換について講義する。

【教科書】

電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3 電子回路(高橋進一・岡田英史共著)培風館

電子回路基礎(情報)

2単位 春学期
小沢 慎治

【授業科目の内容】

トランジスタ等の素子を含む回路の動作についての講義を行う。電気・電子回路における現象の解析法とともに、増幅回路、演算増幅器などについて学ぶ。また2年秋学期に開講される「デジタル回路」への導入とする。

【参考書】

竹村裕夫著『電子回路の基礎』コロナ社

電子回路同演習

「トランジスタと演算増幅器を用いた能動回路」
2単位 秋学期
宮下 照夫

【授業科目の内容】

増幅機能を持つ素子をふくんだ基本的な電子回路を取り上げて、能動回路の解析方法や実用回路の設計方法を易しく解説します。また、講義の中でしめされる演習問題を各自が解くことによって回路の動作を理解し、解析方法を身に付けるとともに応用力を養います。講義は、「電子回路基礎」の講義内容に含まれる受動回路の知識を踏まえて、トランジスタ素子や演算増幅器の回路要素としての特性を解説し、更にこれらを用いた実用的な能動回路網の特性解析や設計方法を、例題を用いて説明します。

【教科書】

プリントを配布します。

電磁エネルギー変換工学

「モータ、アクチュエータの原理と解析法」

2単位 秋学期
沢 孝一郎

〔授業科目の内容〕

物理現象の中には、圧電効果、Seebeck 効果などエネルギー変換に関する様々な現象が存在する。特に、電磁エネルギーから機械エネルギーへの変換は産業の発展に関わる重要な工学分野であり、現在の科学文明を支える分野といっても過言ではない。こうした観点から、電気-機械エネルギー変換の基本原則からはじめ電気機械系システムの統一的解析手法までを概説し、電気機械エネルギー変換システムの基本を知る。

〔教科書〕

村上 他著 『電磁気工学』 培風館 と配布プリント

〔参考書〕

宮入庄太 『大学講義最新電気機器学』 丸善

難波江章 『電気学会大学講座 基礎電気機器学』 電気学会

電磁気学

2単位 春学期
木下 岳司

〔授業科目の内容〕

物理 B、D で学んだ電気学を発展させて一般的な理論展開を理解することによってより問題解決力を向上させ、応用範囲を広げます。

1. 静電界

Gaussの法則、立体角、微分形のガウスの法則、球座標のdiv、電位、球座標のgrad、ポアソンの方程式、デルタ関数、電気双極子、電気二重層、鏡像法、誘電体、誘電体の境界条件、静電容量、帯電エネルギー、仮想変位の原理、起電力

2. 静磁界

ビオ・サバールの法則、ベクトルポテンシャル、円筒座標のrot、アンペールの法則、Stokesの定理、微分形のアンペールの法則、磁束、インダクタンス、磁気モーメント、磁界、磁位、磁気二重層、磁性体における境界条件

3. 電磁誘導と変位電流 ローレンツ力、電磁誘導の法則、磁界のエネルギー、変位電流

4. 電磁波 ゲージ変換、波動方程式、遅延ポテンシャル、ポインティングベクトル、電気双極子からの放射

〔参考書〕

『電磁気学』 砂川重信 岩波書店

電磁気学第 1

「Maxwell方程式に立脚し真空・物質中の電磁場を解析する」

2単位 秋学期
宮島 英紀

〔授業科目の内容〕

電磁気学は1年生の物理学B・Dで、現象や分野別に勉強してきた。これらの電磁気学の諸現象は、物理学の中で最も美しい方程式、Maxwell方程式として集約される。物理学B・Dとは逆に電磁気学第1では、Maxwell方程式を出発点として、主として時間に依存しない静的な電磁気現象、回路素子の特性、および物質の電磁氣的性質などについて解説する。なお、時間を陽に含んだ動的な電磁気学は、3年次に電磁気学第2で講義する。

〔教科書〕

毎回プリントを配布し、これをもとに講義を行う。

〔参考書〕

1年生のときの教科書「物理学B、D」

後藤憲一、山崎修一郎共編「詳解電磁気学演習」(共立出版)

両者とも生協の書籍部で入手できる。

電磁気学同演習

2単位 春学期
伊藤 公平 畑山 明聖

〔授業科目の内容〕

授業のターゲット/ゴール:

1) 真空中のマクスウェル方程式を書き下すことができる、2) 各方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、3) 電磁気学の基本的問題を自分自身でモデル化し、解ける、4) そのための数学的な基礎力を身につける

〔教科書〕

プリント配布

電磁気工学

「Electromagnetic Engineering」 2単位 春学期
内山 太郎 村上 俊之

〔授業科目の内容〕

現代の産業機器システムの動力メカニズムは力学と電磁気学にその基礎を置いているといっても過言ではない。本科目はそのうち電磁気現象について電磁気力、電磁エネルギーに重点を置き、さらに電磁波までを理解することを目的とする。電磁気学は、とかく物理現象の解釈に偏りがちであるが、ここではとくに工学的視野に立って、具体例をあげてわかりやすい身近な学問としてシステムの設計に役立つ電磁気学を身につける。

1. 電荷と力
2. 電界中のエネルギーと力
3. 電流と力
4. 磁界中のエネルギーと力

5. 電磁界

【教科書】

『電磁気工学』培風館

統計解析

「データ解析のための基礎としての統計的推測」

2単位 秋学期

篠崎 信雄

【授業科目の内容】

標本データを記述するための基礎的概念・道具としての平均や分散の議論から始め、分割表、散布図、相関係数といった次元データの記述について学びます。その上で、標本分布、推定・検定の統計的推測の議論に進みます。現実の問題に適用し情報を引き出すためには、統計学のものの方・考え方を正しく理解することが必要であり、その修得に努めます。基本的な信頼区間や仮説検定の手法を使いこなせるようになり、その意味を正しく理解できるようになることをめざします。

【教科書】

篠崎信雄著 『統計解析入門』 サイエンス社

【参考書】

鷲尾泰俊著 『日常のなかの統計学』 岩波書店
 東京大学教養学部統計学教室編 『統計学入門』 東京大学出版会

熱物理

「巨視的な現象の理解の基礎をかためよう。」

2単位 秋学期

藤谷 洋平

【授業科目の内容】

見通しよく一新された最近の熱力学理論の枠組みで解説する。旧来の多くの熱力学の教科書では、なにが仮定で、どういう前提条件でなにが結論されるのかが、全く不明確であった。本講義ではこの点が明確になる。

【参考書】

熱力学（培風館、田崎晴明著）

熱力学

2単位 秋学期

田島 圭介

【授業科目の内容】

以下に示す順序で講義を行う。

1. 熱力学の基礎概念
 2. 熱と分子運動
 3. 熱力学第一法則
 4. 熱力学第二法則
 5. エントロピー
 6. 熱力学関数と平衡条件
 7. 熱力学第三法則
 8. 相転移と相平衡
- また、演習時間も設ける。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

三宅哲：熱力学（裳華房）同名の著者、本名、出版社の演習書もあるので注意。

演習書として、久保亮五編：大学演習 熱学・統計力学（裳華房）

熱力学の基礎

「熱力学の基礎となる第1、第2法則、状態量、実在気体と理想気体」

2単位 秋学期

植田 利久 小川 邦康

森 康彦

【授業科目の内容】

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱である。熱力学によって「熱を仕事に変換する熱効率」や「自然界で起こる変化の方向」を決めることができる。この講義では、熱力学の基本概念、熱力学の第1、第2法則とその応用を学ぶ。以下に講義の内容を示す。

第1章 概要

- 1.1 熱力学の意義
- 1.2 熱の授受と熱力学
- 1.3 熱力学の歴史的背景

第2章 基本概念と熱力学第0法則

- 2.1 系・物質・エネルギー
- 2.2 熱力学の微視的理解
- 2.3 温度と熱平衡
- 2.4 熱量と比熱
- 2.5 状態量
- 2.6 単位系

第3章 熱力学第1法則

- 3.1 熱と仕事（動力発生装置）
- 3.2 閉じた系の熱力学第1法則
- 3.3 熱力学的平衡と準静的過程
熱力学的平衡、準静的過程、可逆過程と不可逆過程
- 3.4 準静的過程における閉じた系の熱力学第1法則
サイクルの正味の仕事、定積比熱と定圧比熱
- 3.5 開いた系の熱力学第1法則
定常流動系と質量保存、流動仕事とエンタルピー、定常流動系のエネルギー保存則、各種機械における定常流動系
- 3.6 理想気体における熱力学の第1法則
理想気体と内部エネルギー、比熱、準静的過程、混合

第4章 熱力学の第2法則

- 4.1 熱を仕事に変換する効率
熱効率の限界、カルノーの考え
- 4.2 熱機関のモデル化
サイクル、可逆過程と不可逆過程、内部可逆過程
- 4.3 カルノーサイクルの性質
- 4.4 閉じた系の第2法則
一つの熱源と作業するサイクル、二つの熱源と

作用するサイクル、 n 個の熱源の場合

4.5 エントロピー

状態量としてのエントロピーの定義、閉じた系のエントロピーバランス、開いた系のエントロピーバランス、エントロピー生成

4.6 エントロピーの利用

エントロピー変化の式、理想気体、液体、固体のエントロピー変化、蒸気表でのエントロピー変化、エントロピー生成、線図

第5章 エネルギー有効利用とエクセルギー

5.1 エクセルギー解析の必要性

5.2 仕事を発生する潜在能力

5.4 自由エネルギー

さらに、実在気体、蒸気の性質、エントロピー生成の具体例、サイクルなどの事例紹介を行う。

【教科書】

JSMEテキストシリーズ「熱力学」丸善

【参考書】

Yunus A. Çengel and Michael A. Boles, Thermodynamics - An engineering approach (4th edition) 2002, McGraw-Hill

熱流体システム第1

「モデリングと熱力学」

2単位 春学期

佐藤 春樹 長坂 雄次

【授業科目の内容】

熱および流体の関わる問題を、総合的に理解するための基礎的な科目である。従来の熱力学、流体力学を部分的に講義するのではなく、非平衡開放系からスタートし、熱流体システムにおける基礎方程式とモデル化の基本を教える。身近なテーマの演習問題やアニメーション等を利用して、本講義内容がデザインにどのように役立つかを強調する。熱流体システム第2とは内容が連続している。

【教科書】

学科で作成し配布するテキスト

【参考書】

JSMEテキストシリーズ、「熱力学」、(日本機械学会、2002年、1886円)

熱流体システム第2

2単位 秋学期

佐藤 洋平 谷下 一夫

【授業科目の内容】

システムデザインに即座に適用できる、流体力学及び流体工学に関して授業を行う。

【教科書】

システムデザイン工学科用意

バイオプログラミング第1

2単位 春学期

榊原 康文

【授業科目の内容】

C言語の学習と実践を通して、プログラミングの基本

的な考え方と、技術を習得することを目標とする。C言語は、現在もっとも広く使われている実際的なプログラミング言語である。まずはじめに、プログラムの制御構造と基本的なデータ型、及び関数の使い方を学習する。次に、より実際的なプログラミング技術を習得することを目指し、関数の再起処理やポインタ、ファイル処理などを学習する。毎回、講義中にプログラミングの演習を行う。成績評価は、4回くらいを予定しているレポートと期末試験により行う。プログラミングの勉強は、とにかく自分でプログラムを作成して、何度も間違いを起こすことを通じて、プログラミング技法を覚えていくことが重要である。

【教科書】

石田晴久他著 『入門ANSI-C』 実教出版

【参考書】

カーニハン・リッチー著 石田訳 『プログラム言語C (第2版)』 共立出版

バイオプログラミング第2

2単位 秋学期

榊原 康文 岡 浩太郎

富田 豊

【授業科目の内容】

バイオプログラミング第1でのC言語習得を踏まえて、第2ではより実際的な問題の解法のために必要となるプログラミング手法とアルゴリズムについて学ぶ。プログラミング言語の文法を学んだだけでは問題の解を計算するためのプログラムを書くことは出来ない。効率的なプログラムを書くためには、アルゴリズムと呼ばれる基本的ないくつかのプログラム手法を習得して、それらを組み合わせることにより目的の問題のためのプログラムを作成できる。本講義では、微分方程式や線形代数を扱うための数値計算アルゴリズムと、木やグラフ構造などの離散データを扱うアルゴリズムを中心に勉強する。

毎回、講義中にプログラミングの演習を行なう。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

反応有機化学

「有機化学反応をいかに理解するか」

2単位 秋学期

山田 徹

【授業科目の内容】

複雑で膨大な数の有機化学反応を反応形式で分類し、電子密度の片寄り、立体規制などの基本原理にもとづく理解を目指す。有機反応の基礎・酸と塩素・求核置換反応・脱離反応・求核付加反応・求核付加-脱離反応・求電子付加反応・芳香族求電子置換反応・芳香族求核置換反応「曲がった矢印」で電子の流れを記述できること、反応を理解することを学ぶ。

【参考書】

・参考書：ボルハルト・ショアー、古賀・野依・村橋監

訳『現代有機化学』化学同人 ストライトウィーザー、湯川泰秀監訳 『有機化学解説』 廣川書店 畑一夫著 『有機化合物の命名 - 解説と演習 - 』 培風館、ISBN 4-563-04222-6

・演習書：吉原・神川・上方・藤原・鍋島共著『有機化学演習』三共出版

光デバイス工学

2単位 秋学期
高橋 信一

【授業科目の内容】

光ディスク、レーザプリンタ、デジタルカメラといった製品や光通信には種々の光デバイスが高度情報化（IT）社会を維持していくのに不可欠なものとして多数使われている。

この講義ではそうした光デバイスの動作原理を固体中の光の吸収と放出の基本から理解して、光デバイスをよりよく利用出来るようにする。前半では光の持つ性質と固体中の電子のエネルギー構造を理解して吸収・発光の理論及びそれらと密接に関連する光学定数について学ぶ。後半では光デバイスの例として光伝導素子、太陽電池、フォトダイオード、アバランシェフォトダイオード、CCD、発光ダイオード、半導体レーザを取り上げ、その動作原理や応用について述べる。

最後に人工超格子や低次元の量子井戸などの量子サイズ効果を利用した各種光デバイスを紹介する。

【教科書】

板書しながら講義を進めます。OHP（パワーポイント）の図表等はプリントで配布します。

【参考書】

「オプトエレクトロニックデバイス」青木昌治編著（昭華堂）

「光エレクトロニクスデバイス」針生 尚著（培風館）

「半導体レーザー工学の基礎」沼居貴陽著（丸善）

その他個々のデバイスについて適宜講義の中で紹介します。

ヒューマン・ファクターズ

「人間の諸特性に関する管理工学的基礎」2単位 秋学期
岡田 有策

【授業科目の内容】

作業者と機械・製品だけでなく、作業者をとりまくシステム、組織・社会までを対象とし、そこにおける人間に関わる諸要因を総合的に評価する学問であるヒューマンファクターズの基本概念とアプローチの仕方について概説する。

【教科書】

ヒューマンファクターズ概論

岡田 有策 著

慶應義塾大学出版会 ISBN 4-7664-1173-0

複素解析（機械、応化）

「複素関数が舞う世界」

2単位 春学期

宮崎 琢也

【授業科目の内容】

これまでの微分積分学では実数を変数とする関数をあつかってきました。しかしたとえばよく勉強してきた多項式関数、三角関数などでも実は複素変数の世界で考えることができ、さらにそうやって広い視野に立ってみると、ずっと優雅で統制のとれた風景が開けてきます。こういう豊かな舞台のうえで複素変数関数をのびのびと解析してみましょう。

【教科書】

特になし。

【参考書】

神保道夫 「複素関数入門」 岩波書店

R.V.チャーチル、J.W.ブラウン 「複素関数論入門」サイエンティスト社

複素解析（電子、化学、物理）

「複素変数複素数値関数の微分積分」

2単位 春学期

本田 郁二

【授業科目の内容】

複素関数の微分積分計算が行えるようになることを当面の目標とします。

そのために原則として毎回講義の後に演習を行います。

【教科書】

用いません。補充プリントを配布します。

【参考書】

補充プリント内で提示します。

物質の精製分析

「相平衡の物理化学」

2単位 秋学期

山元 公寿

【授業科目の内容】

物質の機能や物性を正確にしかも効率よく引き出し利用するために、分離・精製して高純度の物質を得ることは極めて大切である。物質の分離・精製の過程は相平衡を基盤にしているものが多く、これを中心に物理化学の立場から平易に解説する。次の項目について演習も含めて講義する。

- 1) 相平衡
- 2) 分配平衡（溶媒抽出）
- 3) 沈殿平衡（沈殿、再結晶）
- 4) クロマトグラフィー
- 5) 蒸留による分離（気液平衡）
- 6) 結晶化による分離（固液平衡）

【教科書】

なし

【参考書】

プリント配布

物理化学1

「変化の方向と速度」

2単位 秋学期

木村 敏夫

【授業科目の内容】

「物質の性質」は、原子やイオンの配置などの「物質の構造」により決まります。そこで、所望の性質を持つ物質(製品)を合成するには、まず製品の構造を設計し、次に、その製品を合成する原料を選択し、反応経路を設計します。この講義は、主に反応経路の設計に関係し、原料から製品ができる反応(変化)が進行するか? 変化が生じるとすれば、どの程度の速さで進行するか? といった問題を取り扱います。これらのことは、変化の速度 = 駆動力 × 移動度という関係で表されます。この講義の目標は、駆動力と移動度を定める原理を理解することです。この講義を受講した結果、物理変化や化学反応の速度についての洞察力が養われ、所望の性質を持つ物質を合成する方法を設計する基礎が身につきます。

【教科書】

アトキンス物理化学(上)(下)第6版(東京化学同人、2001年)

講義資料(プリント)を配布します。

【参考書】

多くの「物理化学」という名前の教科書が出版されていますが、教科書を含め、どれか一冊を読むと良いでしょう。

物理化学演習

「物理化学1」の演習」

1単位 秋学期

片山 靖 木村 敏夫

藤原 忍

【授業科目の内容】

専門基礎科目の「物理化学1」の理解を深めるために、講義内容についての演習を行う。

【教科書】

アトキンス物理化学(上)(下)第6版(東京化学同人、2001年)

演習問題のプリントを配布します。

物理化学基礎

2単位 春学期

朝倉 浩一

【授業科目の内容】

有機、無機に関わらず、化学の基礎として必須の学問である熱力学の初歩を学ぶ。

1. 気体の圧力、温度、体積は、それぞれどのような関係になっているのか?
2. 系に熱を流すと、どのように温度が変化し、またどのように仕事をするのか?
3. 化学反応が進行すると、どのように発熱や吸熱がお

こるのか?

4. 熱は高温領域から低温領域へ、物質は高濃度領域から低濃度領域へと流れるのはなぜか? また、その流れはどのような速度で起こるのか?
5. 化学反応が進行する方向は、どのようにして決まるのか?
6. 1つの相を形成する個々の分子の挙動と相全体の挙動とは、どのような関係になっているのか?

といった物質の挙動に関する法則を理解し、化学の基盤となる知識を習得する。

【教科書】

Atkins著、千原・中村訳、「物理化学」、東京化学同人(2001)

物理学演習第1

1単位 秋学期

江藤 幹雄

【授業科目の内容】

「量子力学第1」の演習をおこなう。したがって本科目の受講者は上記の講義を受講しているものと仮定して授業をおこなう。量子力学の具体的な問題や、その解法に必要な数学の問題を解くことで、講義の理解を深めることを目的とする。

物理学演習第2

1単位 秋学期

江藤 幹雄 光武亜代理

【授業科目の内容】

「電磁気学第1」の講義、物理数学(複素解析、フーリエ変換、ラプラス変換、特殊関数など)に関する演習を行う。従って、本科目の受講者は「電磁気学第1」、「複素解析」の講義を受講しているものと仮定して、授業を行う。また、「振動波動論」、「応用数学」、「応用解析第1」を受講していることが望ましい。

【参考書】

電磁気学(学部生の時に、下記の参考書または自分が気に入った本を読むことを望みます。)

後藤憲一、山崎修一郎著 「詳細電磁気学演習」(共立出版)

砂川重信著 「理論電磁気学」(紀伊国屋書店)

後藤尚久 「なっとくする電磁気学」(講談社)

砂川重信著 物理テキストシリーズ 「電磁気学」(岩波書店)

砂川重信著 物理テキストシリーズ 「電磁気学演習」(岩波書店)

ファインマン著ファインマン物理学III 「電磁気学」(岩波書店)

ランダウ=リフシッツ 「電磁気学」(東京図書株式会社)

ジャクソン著 「ジャクソン 電磁気学(上)」(吉岡書店)

物理数学(下記の参考書から問題を出す場合が多い)

弥永守著 「理工学部のための応用数学I、II」(朝倉書店)

後藤健一、山本郁夫、神吉健著 「詳細 応用物理数学演習」(共立出版)

神部勉、有馬朗人 「物理のための数学入門 複素関数論」(共立出版)

物理情報数学 A

2単位 春学期

足立 修一 大橋 良子

〔授業科目の内容〕

様々な物理現象の理解とその工学への応用に際して重要となる複素解析およびフーリエ解析の基礎を学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しない。プリントを配布する。

〔参考書〕

第1部、第2部ともに同様のタイトルの参考書が多数出版されています。適宜選んで下さい。

第1部 については

例：複素関数入門（原書第4版）、R.V.チャーチル/J.W.ブラウン著、中野實訳、サイエンティスト社

物理情報数学 B

「数理から物理まで横断的に「線形性」を学ぶ」

2単位 春学期

相吉英太郎 斎藤 英治

〔授業科目の内容〕

大学での「線形代数」という科目で初めて「線形」という用語に接しますが、小学校で習う「1次関数」から、高校で習う「ベクトルや行列」や「微分・積分」まで、そして高校の物理で習う「運動方程式」から「電気回路」に至るまで、これらすべてに「線形」という共通した性質があります。つまり、これまで習得してきた数学や物理の多くの事柄が、場合によっては経済現象や社会現象までも「線形現象」として、統一的に把握できます。そして、これらの性質が工学的に利用され、様々な技術を生み出してきました。この科目では、小学生以来大学1年生までに習得したことを、「線形」という概念の「横系を通す」ことによって、統一的に把握してその知識を工学の分野に応用できるようにし、1冊の教科書には書けない、きわめて横断的な数理的知識を学習します。

〔教科書〕

数回に1回の割合で、パワーポイントの内容を縮刷したプリントを配布します。欠席した人には、原則として渡しません。この授業およびプリントの内容は非公開としますので、プリントのコピー・転用・他人への譲渡を厳禁とします。

〔参考書〕

授業全体の参考になるような1冊を紹介することは不可能ですので、授業中に適宜紹介します

プログラミング演習

「システムデザインのためのプログラミング技法」

2単位 秋学期

西 宏明 高橋 正樹 藤井 飛光

中澤 和夫 矢向 高弘

〔授業科目の内容〕

物理システムを対象として、高性能な計測制御システムを総合的に構築するには、実際の物理モデルと整合性のあるプログラムの作成法を習得し、情報の処理・変換・伝送などをマイクロコンピュータに実行させる必要がある。本講義では、単にソフトウェアを使用した情報の取り扱い手法を習得することよりも、物理システムとマイクロコンピュータ間の情報のやりとりを通して最適なシステムをデザインすることを目的としたプログラミングの方法論の習得に重点が置かれている。具体的には、計測制御用コンピュータを理解する上で基礎となる計算機の基本構成、入出力インターフェイスの基礎を理解し、C言語を用いたプログラミング実習により、計算機ユーザとして必要とされるシステム計測・制御と画像処理等の情報処理の基礎知識およびプログラミング技法を習得する。

〔教科書〕

SD配布のテキストを利用する。

〔参考書〕

特に指定しないが、C言語の参考書は多く販売されている。

プログラミング基礎同演習

「C言語によるプログラミング入門」

2単位 秋学期

田中 敏幸

〔授業科目の内容〕

C言語を用いて、コンピュータシミュレーションに必要なプログラミング技法の基礎を習得することを目的とする。各講義時間の後半に、その日に習ったC言語文法を用いたプログラミング実習を行い授業内容の理解を深める。また、実習は短時間でできる簡単な題材を扱うため、3週に一度程度の割合でプログラミングに時間のかかる課題を宿題とし、結果を提出してもらう。課題の作成によってそれまでに習ったC言語文法を体系的に理解し、いろいろな問題を解決できるようになる。授業の内容は次のようになっている。

〔教科書〕

田中敏幸著 『C言語によるプログラミングの基礎』
コロナ社

プログラミング言語

「コンピュータのプログラムを作ってみよう」

2単位 春学期
櫻井 彰人

〔授業科目の内容〕

自分でコンピュータのプログラムが書けるようになるためのプログラムの基礎を学ぶ。プログラミング言語はJava言語を使用する。授業時間外にパソコンでプログラムを作成し、レポートとして提出する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

Java入門書がたくさん書かれています。自分の気に入ったものを選べばよい。また、WWW上にも多くあります。

プログラミング実習

2単位 春学期
高野 宏 古池 達彦

〔授業科目の内容〕

計算機の進歩（高速化、低価格化、ネットワーク化）にともない、物理学において計算機を使う機会が非常に多くなってきている。数値計算、数式処理、実験データの処理、実験装置の制御、データの可視化等、従来の理論物理学、実験物理学の分野においても、計算機の利用は非常に重要である。さらに、これまで解析的理論や実験で扱うことのできなかつた現象を、計算機を使うことによって初めて扱うことができるようになり、新しい物理学の分野として、計算物理学という分野も発展している。このような現状において、物理学における計算機利用の基礎として、自ら計算機を用いて問題解決を行うためのプログラミングの基本を習得することが、この授業の目標である。

プログラミングについての解説の後、物理学の基本的問題を中心に関連する課題が与えられ、各自が具体的にプログラムを作成し計算を行うという形式で授業を行う。プログラミング言語はFORTRANを使用する。

〔教科書〕

特に指定しない。資料としてプリントを配布する。

〔参考書〕

富田博之著「FORTRAN 90 プログラミング」(培風館)

プログラミング第1同演習

「C言語の基礎」 2単位 春学期
寺岡 文男 山本 喜一

〔授業科目の内容〕

プログラミングの初心者を対象とし、C言語の基礎およびプログラミングの基礎を学習する。授業ではLinuxオペレーティングシステムを使用し、コンピュータを操作しながら学習する。毎回演習を行い、レポートを提出

する。

〔教科書〕

浦 昭二、原田賢一：C入門 電子計算機のプログラミング(11)(培風館)

〔参考書〕

なし。必要な情報は適宜Webにて公開。

プログラミング第3同演習

「C言語中級コース」 2単位 秋学期
山崎 信行 川島 英之

〔授業科目の内容〕

C言語を正確により深く理解するとともに、C言語を用いたプログラミング能力を磨く。

〔教科書〕

独自のものを販売します。

〔参考書〕

カーニハン&リッチー著(石田晴久訳)「プログラミング言語C」(共立出版)がお奨めです。他は、授業時に紹介します。

プログラム実習

「プログラミング言語Cとその応用」 2単位 春学期
岡田 英史 中野 誠彦

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて問題を解決するためのアルゴリズムとそのプログラミング言語での記述について講義および実習を行う。プログラミング言語にはC言語を用いる。初回の講義は全体で行うが、実習は原則としてプログラミング言語の習熟度に応じたグループに分けて行うことにする。

〔参考書〕

中野 誠彦 プログラミング言語C

分子生物学第1

2単位 秋学期
柳川 弘志

〔授業科目の内容〕

2003年4月、ヒトゲノムの全塩基配列解読完了が宣言され、これまで166個のゲノム(145個の原核生物ゲノム、21個の真核生物ゲノム)が解読されている。さらに現在、775のゲノム解読プロジェクト(415個の原核生物ゲノム、360個の真核生物ゲノム)が進行中である。2003年には、アメリカでENCODE(ENCyclopedia Of DNA Elements)計画が発表され、いよいよポストゲノム時代が始まった。日本でも、文科省のゲノムネットワークプロジェクトが2004年10月にスタートした。ゲノムネットワーク解析は、ポストゲノム時代の最も重要な課題であり、その成果は生命現象の統合的理解と共に、ゲノム産業やゲノム創業といった具体的実用化が期待されている。

また2002年1月には、チンパンジーのゲノムが解読され、ヒトのゲノム配列との差はわずか1.23%しかないこ

とがわかった。ヒトとチンパンジーの差はゲノム配列からだけではとても説明できないものであった。ここからわかることは、我々はまだ、「進化」を記録したゲノム地図の読み方、ゲノム配列が意味することを知らないということである。ポストゲノム研究とは、このゲノム地図の読み方を知ることにあるだろう。すなわち、ヒトとチンパンジーの差は、ゲノム配列から翻訳されるタンパク質とそのタンパク質間相互作用に支えられた遺伝子ネットワークのパターンの違いによる可能性がある。ポストゲノム研究に求められるものは、従来の一遺伝子を深く掘り下げる研究だけではなく、網羅的な遺伝子群の機能解析研究である。

このような日進月歩の生命科学の進展を背景に、21世紀のゲノムサイエンス時代を切り拓いて行く若い人達に、その基礎となるこれまでにわかった分子生物学の知識を、広くかつ深く理解してもらい、問題解決能力を養ってもらおうのが本科目の主旨である。

【教科書】

『分子細胞生物学』(上)第5版、H. Lodishら著、石浦章一ら訳、東京化学同人の第4章、第10章、第11章、第12章を担当します。

【参考書】

配布プリント

分析化学 1

「Analytical Chemistry」

2単位 秋学期
鈴木 孝治

【授業科目の内容】

前提科目である「分析化学基礎」の授業で、“化学物質”に関する十分な知識を身につけた。また、物質を分離する手法や理論的考え方を学んだ。この授業では、“物質”を検出する手法を学ぶことを中心に、分離分析の実際と使う機会の多い汎用の機器分析の基礎を講義とビデオで学ぶ。

1. 化学分析と機器分析の基礎
2. 分離分析
3. 光関連分析
4. 磁気関連分析
5. 電子関連分析
6. 分析化学トピックス

【教科書】

生協から販売。

分析化学基礎

「Basic Analytical Chemistry」

2単位 春学期
鈴木 孝治

【授業科目の内容】

物質を分離し、同定し、定量する。この操作を確実に行うためには、先ず様々な物質そのものの性質や特性を十分理解していなければならない。このことを念頭に置き、本科目では物質化学に立脚した分析化学および機器分析の基礎について学ぶ。

- ・分析化学体系
 - ・化学物質の性質と見方
 - ・化学物質の平衡
 - ・物質の分離と検出
- 必要に応じて演習を行う。

【教科書】

生協から販売

【参考書】

基礎化学コース 『分析化学I』及び『分析化学』丸善

分布系の数理

2単位 秋学期
本多 敏

【授業科目の内容】

【概要】

物理現象を情報として扱うということはシンボル/記号化するということから始まります。物理的变化を担う媒質が空間的に連続に分布しているような、物理学工学のいろいろな分野で現れる連続体の問題を、線形分布定数系という共通性に着目して理解できるようにします。数学的には応用偏微分方程式論に相当する内容ですが、物理的工学的意味を物理情報として理解できるようにします。

【学習の目標】

講義計画に示した毎回の演習を通じて

- ・放物型・楕円型・双曲型偏微分方程式が表現する拡散、熱移動、対流、振動、波動、ポテンシャル等の物理現象が理解できる。
 - ・現実のそれらの問題を境界条件も含めて定式化できる。
 - ・あたえられた問題を、変数分離法、積分変換法等を用いて解くことができる。
- ようになることをめざします。

【参考書】

スタンリー・ファーロウ(伊理訳) 『偏微分方程式』啓学出版

マテリアルデザイン概論1

2単位 春学期
仙名 保

【授業科目の内容】

僕たちの生活はモノがなくては始まらない。マテリアルは平たく言えばその「モノ」のことです。ケイタイでもクルマでも、便利になる一方ですが、それらの便利はマテリアルの研究と製造によって支えられています。薬や生活関連用品もマテリアルです。でも、エネルギーや環境、国際価格競争など、たくさんの制約に囲まれながらマテリアルを作っていくためには、ものすごく幅広い知恵が必要です。マテリアル概論(1)では、みなさんがこうした大問題に挑戦するための基礎体力をつけることを目的に、全くあたらしく用意された科目です。下に書いた表のようなあらましに沿って、わかりやすい話をしたいと思っています。

〔教科書〕

資料としては、プリントを毎回配布します。

〔参考書〕

最初の授業のときに紹介します。

マテリアルデザイン概論2

2単位 秋学期
今井 宏明

〔授業科目の内容〕

マテリアルとは、僕らの役に立つ機能を持つ「モノ」のことです。ですから、僕たちの快適で豊かな生活はマテリアルの機能に支えられていることとなります。マテリアルデザイン概論(Ⅰ)ではマテリアルの実例を紹介し、それらの合成法、キャラクターゼーションなどについて学んで基礎体力をつけてきました。マテリアル概論(Ⅱ)では、マテリアルの機能について少し詳しく掘り下げ、なぜ、どうして、どのように、マテリアルが使われるのかを学んでいきます。多様なマテリアルの世界から皆さんの未来が見出せるかも知れません。授業計画に示したテーマに沿って、わかりやすい話をしていこうと思っています。

〔教科書〕

資料としては、プリントを毎回配布します。

無機化学1

2単位 春学期
磯部 徹彦

〔授業科目の内容〕

本講義では、無機化学の基礎が身につくことを目標としています。はじめに、原子、分子、錯体および固体の構造や結合に関して解説し、つぎに、酸塩基反応や酸化・還元による反応を紹介する予定です。

〔教科書〕

シュライバー「無機化学」

無機化学2

「無機化学や分子モデリングを理解するための量子論入門」
2単位 秋学期
井上 秀成

〔授業科目の内容〕

量子論が誕生してシュレーディンガー方程式が提案され約1世紀が経過し、機能材料を指向した「無機化学」の本質を理解するためにも、ますます量子化学の基礎が必要になって来ている。当初、シュレーディンガー方程式の水素原子への適用は成功をおさめたが、今日、多電子原子や分子の電子構造への応用ではまだ多くの未解決問題を残している。しかし、ここ十数年のコンピュータの発展は、これら量子化学における未解決問題の比較的簡単な系に対する近似計算を可能にした。ここでは、コンピュータによる近似計算(例えば、分子モデリング)の際に、ともするとブラックボックスになりがちな部分の理解を深める。そのため、量子論と原子の電子構造、分子の電子構造と対称性、原子および分子の分光、分

子の磁気的性質などについて分かりやすく解説する。

〔教科書〕

P. W. Atkins (千原秀昭・中村亘男 訳)、物理化学(上、下)、東京化学同人(2001)。

有機化学基礎

「有機化合物の合成と反応入門」 2単位 春学期
山田 徹

〔授業科目の内容〕

1年生の化学Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について、個々に合成法、反応性を解説する。各化合物間の相互の関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さをも忘れないようにしたい。内容を箇条書きにすると以下のようである。

〔参考書〕

ボルハルト・ショアー著『現代有機化学』(第3版上・下)化学同人 畑一夫著『有機化合物の命名 解説と演習』培風館、ISBN 4-563-04222-6

有機立体化学

「三次元でみた有機化合物の構造と反応性」
2単位 秋学期
只野 金一

〔授業科目の内容〕

天然より見出される多種多様な有機化合物も、実験室で化学合成される有機化合物も、それらの大半は三次元立体構造をもつ。sp³混成をした炭素原子が、正四面体構造をとる事に由来した結果である。酵素などの生体触媒により司られる生体内での化学反応の本質を理解するためにも、機能性分子を創製する際にも、研究目的とする有機分子を三次元構造で捉えねばならない。2001年度のノーベル化学賞が我が国の野依良治博士に授与されたが、この快挙は「有用な有機化合物を望む三次元構造をもつものとして化学合成する」という野依博士の研究業績が評価された結果である。本講義ではまず有機化合物を立体構造の視点から説明し、ついで有機化合物が行う化学反応を立体化学的な見地から考察し、さらには三次元構造をもつ有機化合物を実際に合成する手段について順次講述していく。受講者に、有機化合物を三次元構造で捉えることに慣れ、また有機化学反応を立体的に考えるようになってもらうことを講義の目的・目標としている。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

カガン著、小田順一訳「有機立体化学」(化学同人) バクストン、ロバーツ著、小倉克之他訳「基礎立体化学」(化学同人)等。

力学的アナリシス 2単位 秋学期
野口 裕久 吉田 和夫

【授業科目の内容】

静力学と動力学に関するモデリングの基礎を力学的モデリングで学んだ後、その特性と応答解析の基礎を学ぶために設けられた科目である。機械工学、建築工学、土木工学の基礎としての静力学、動力学、機械力学、材料力学などの基礎知識を習得でき、基礎的で重要な科目である。近年制御工学、ロボット工学などの学際的な分野においても、対象は力学系であることが多く、エンジニアリングの広範な分野の基礎を学ぶことができる。

【教科書】

自作テキスト

【参考書】

坂田勝著『工学力学』共立出版
下郷、田島著『振動学』コロナ社
日本機械学会『機械システムのダイナミクス入門』丸善

力学的モデリング 2単位 春学期
野口 裕久 吉田 和夫

【授業科目の内容】

システムデザイン工学科のカリキュラムの一つの重要な柱として、静力学および動力学がある。これらの基礎知識はエンジニアにとって必須の基礎学力である。本科目は、静力学と動力学の学問的な基礎を学び、それらの知識を基にして物理現象のモデリングの方法を学ぶために設けられた基礎科目である。なお、力学を横断的に学ぶことができるように縦割りの内容を講義するのではなく、静力学と動力学を融合した教育を行う。以下の項目について講義する。

【教科書】

自作テキスト

【参考書】

坂田勝著『工学力学』共立出版 L.Meirovitch
"Introduction to Dynamics and Control" Wiley

理工学基礎実験 2単位 春学期
富田 豊 他

【授業科目の内容】

春学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABCを、また、秋学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABDの組合せによって全12課題について実験、レポートの提出、討論を完了する。

- A 実験 1. トランジスタ増巾回路
2. 熱の移動
3. 機械加工
4. 応力およびひずみの測定
5. 流体の流動

- B 実験 1. 音波の干渉
2. 偏光
3. 分光測定
4. 回路の共振
5. マイケルソンの干渉計
6. 核磁気共鳴

- C 実験 1. 吸光光度法による銅の定量
2. ガスクロマトグラフ法
3. pH と電離平衡
4. 可逆電池の超電力と平衡定数

- D 実験 1. 表示系のヒューマンインターフェース
2. コンピュータシミュレーションコンプレキシティ
3. 経営意思決定問題
4. グラフィカルデータ解析
5. 幾何学的確率の実験

【教科書】

理工学基礎実験（慶應義塾大学理工学部編）

流体力学の基礎 2単位 秋学期
小尾晋之介 澤田 達男
松尾亜紀子

【授業科目の内容】

流体力学は、水や空気など、気体や液体を問わず、流れと物体の運動やそれらの相互作用に関係する問題を扱う学問分野です。人間の体内やエンジンなどの機械の内部では様々な流体が熱や物質の輸送に重要な役割を果たし、風車やタービンでは流体のもつ運動エネルギーの有効利用が重要であり、大気や海洋の流れは地球環境に決定的な影響を及ぼす、というように、我々の周りの問題は流体運動なしでは考えられないもので満たされていることから、その重要性は容易に想像できるでしょう。

授業では、非常に多岐にわたる問題のなかから、流体運動を考えるための基礎理論とその応用力を身につけることを目指します。3年次の設置科目である「流体力学」、「高速空気力学」、「環境流体力学」は、「流体力学の基礎」から発展した内容を扱いますが、すべて共通の教科書を使いますので、一貫した内容となっています。

【教科書】

F.M.White "Fluid Mechanics" 5th Edition,
McGraw- Hill International Editions

量子化学基礎

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動」

2単位 秋学期
藪下 聡

【授業科目の内容】

化学的な視点から量子論の基本を学び、分子中の電子状態および分子の振動回転運動を題材に、様々な化学現象にとって量子論の考え方がなぜ必要なのかを理解する。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト

<http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html>

よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業にお知らせします。

【参考書】

田中政志、佐野充『原子・分子の現代化学』学術図書

茅幸二編著『物理化学演習』裳華房

朽津耕三・濱田嘉昭『量子化学』放送大学教育振興会

小林常利『基礎化学結合論』培風館

藤永茂『入門分子軌道法』講談社サイエンティフィック

平尾公彦・加藤重樹『化学の基礎』講談社サイエンティフィック

量子力学基礎

「『エレクトロニクス』を学ぶための基礎物理の1つ」

2単位 春学期

梅垣 真祐

【授業科目の内容】

本科目は、電磁気学、統計力学と共に、20世紀後半の技術社会の根幹を成した「エレクトロニクス」を理解する上で不可欠な基礎物理の1つである。21世紀は、さらに発展させた「電子技術」と、20世紀後半になって現れたレーザーを基とする「光技術」とを融合した「フォトンクス」の時代と言われる。レーザーもまた基礎物理に立脚した電子技術の産物である一方、将来の電子デバイス、光デバイスにおいては量子効果を十分に発揮させたデバイスが多用されるものと予想される。授業は教科書を中心に進めるが、上述の応用を念頭におき、固体物理、レーザー物理さらには量子化学との関連を理解するため、随時、参考書の内容についても触れる。教科書の範囲外の内容についてはプリントを配布する予定であるが、教科書の範囲内の内容についても教科書だけに頼らない自習を勧める。

本科目は上記の応用を念頭においた「量子力学の基礎」であり、(1)量子論が成立していく背景をなす物理現象を述べることから始め、(2)プランクの見出したエネルギー量子の考え方、(3)ボーアの前期量子力学、(4)ハイゼンベルグの行列力学、(5)ド・ブロイによる物質の波動論を経て、(6)シュレーディンガー方程式に至る量子力学を講義する。

【教科書】

砂川重信著『量子力学の考え方』岩波書店(物理の考え方シリーズ4)

【参考書】

1. 朝永振一郎(みすず書房)

『量子力学I、II』

2. R.H.Pantell and H.E.Puthoff (John Wiley&Sons Inc.)

“Fundamentals of Quantum Electronics”

(絶版になっているが、当方に有り。興味のある学生は申出てください。)

3. 山下次郎他訳(丸善)

『キッテル固体物理学入門(上・下)』

4. 原田義也(裳華房)

『量子化学』

量子力学第1

2単位 秋学期

福田次郎

【授業科目の内容】

本格的な量子力学の履修の始まりと考える。

量子力学の基本原理解、数学的な構造、観測量と観測値、シュレーディンガー表示とハイゼンベルグ表示、対称性と保存則、(できれば群論との関係)、時間発展と定常問題、角運動量、など

【教科書】

特に指定はしない。プリントを前もって配り、それに従って講義する。

【参考書】

特に指定しない。

量子力学入門(機械、物理)

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」

2単位 春学期

高野 宏

【授業科目の内容】

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

【教科書】

川村清「量子力学I」(産業図書)

量子力学入門(応化、数理、化学)

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」

2単位 春学期

川村 清

【授業科目の内容】

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

【教科書】

川村清「量子力学I」(産業図書)

量子力学入門(物情) 2単位 秋学期
椎木 一夫

〔授業科目の内容〕

原子、分子などのミクロな世界を支配する物理法則は日常世界における常識とは必ずしも相いれない。ミクロ世界の法則を理解して、ここから情報を得て制御する、つまり新しい機能性材料を開発したり電子波デバイスなどの先端素子を研究する、その準備段階として、量子力学の基礎を学ぶ。演習を行い、勉強した内容が使えるようになることを目標にする。

〔教科書〕

椎木一夫著「工科系 量子力学」裳華房

〔参考書〕

小出昭一郎著「量子力学()」裳華房

総合教育科目

遺伝子の科学 2単位 春学期
梅澤 一夫

〔授業科目の内容〕

1950年代にWatson-Crickのモデルが提唱され、分子レベルの生物学が盛んになった。1970年代にはDNAの操作技術が飛躍的に進歩して、現在では生物学のほとんどすべての分野で、DNAがかかわって研究が行われるようになった。本講ではDNA操作の実際(ビデオ使用)、最近の生物学と医療をDNAの役割を中心に説明してゆきたい。

1. 生体物質入門
2. 生命の情報の流れ
3. 遺伝子の構成
4. 遺伝子操作
5. ノックアウトマウス
6. その他のトピック

初学者用に「生体物質入門」を入れ、遺伝子は実際にどんな風に扱われているかをビデオで説明。

宇宙科学 2単位 春学期
「宇宙人はいるだろうか」 加藤万里子

〔授業科目の内容〕

この講義では、現代天文学が明らかにした宇宙の姿を解説する。宇宙はビッグバンで始まり、大規模構造や銀河、最初の星が形成された。星は今でも生まれたり死んだりしている。星の中では核融合反応により重い原子核ができ、超新星爆発などにより宇宙にまきちらされる。太陽系は宇宙誕生後100億年たってから誕生した。惑星の形成についてもかなりわかってきている。それらの知識をふまえて、宇宙人はいるのかについても考えたい。

〔教科書〕

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

〔参考書〕

プリントを配布します

現代物理学概論

「原子核・素粒子物理学の過去・現在・未来」

2単位 秋学期

平田 光司

〔授業科目の内容〕

原子核・素粒子物理学は、物質の根源的な存在形態を研究する分野である。物質の根源形態を探求して、人類は原子、原子核、核子(陽子や中性子、中間子)そして核子を構成する基本粒子クォークにいきついた。現在では、クォークとレプトン(電子やニュートリノ)そしてそれらの相互作用を媒介するゲージ粒子によって、(重力の量子化が問題となる宇宙初期を除く)すべての現象が理解されている、と信じられている(素粒子の標準理論)。

物質の根源を求める知的好奇心に導かれて、20世紀前半には、原子核変換が発見され、核兵器および原子力へとつながっていった。20世紀後半には(1)核兵器は国際政治を大きく変えた、(2)夢のエネルギー源と思われた原子力の様々な問題も明らかになった(3)巨大加速器の進歩によって、高エネルギー物理学が発達し、標準理論へとつながったが、巨額の資金を要し、産業に貢献しない「知識のための科学」は、今後も続けられるのか不明である。

このような、輝かしい、しかし、問題を含んだ原子核・素粒子物理学について、物理学としての発展だけでなく社会への影響と社会からの影響を知ることは、理工系の学生にとって必須の課題であろう。

講義は(1)原子核・素粒子物理学の発展(2)原爆の開発と国際政治(3)原子力の利用と問題点(4)巨大科学となった素粒子物理学、についてそれぞれ解説する。歴史的には、これらすべてが半ば独立に、なかばもつれあって進んできたので、これら4つのテーマを別個にあつかうことはできないが、最低限、それぞれについての基本的な知識を持つように、授業を進めたい。

【予備知識】

高校までの数学。物理学の知識は必要に応じて復習するようにします。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

レーダーマン・シュラム『クォークから宇宙へ』東京化学同人

平田光司『加速器とビームの物理』(岩波講座・物理の世界)岩波書店

総研大ジャーナル2号特集「世界最強の加速器KEKBの挑戦」

(<http://www-kekb.kek.jp/Publication/Sokendai/sokendai.pdf>)

その他、インターネットからダウンロードできる資料

を授業中に指示する

人体の生理

「人体調節の分子機構とその破綻」 2単位 秋学期
河上 裕

〔授業科目の内容〕

担当教員：河上裕・桜井敏晴・藤田知信・松崎ゆり子・住本秀敏・塚本真・工藤千恵

医学部先端医学研究所では生体防御機構の一つである免疫システムの研究を行っている。免疫系はリンパ球などの様々な血液細胞がネットワークを形成して、細菌やウイルスなどの微生物から体を守っている。AIDSでは、HIVによりリンパ球が破壊されるために、通常ではかからない微生物や癌におかされてしまうことは、免疫機構の重要性を示している。また、免疫ネットワークは神経・内分泌・免疫と呼ばれるように、神経系による情報伝達や内分泌系の各種ホルモンとも相互作用を行っている。このように、人体は、外界からの影響に対して、様々な制御システムにより、その恒常性が維持されているが、それが破綻したときに病気となる。例えば、免疫機構の異常により、免疫系が自己の体を障害してしまう自己免疫疾患や、外来分子に異常に反応してしまうアレルギーなども起こる。本講義では、人体の恒常性維持機構に関して、マクロな生理学から、細胞生物学としての細胞間相互作用、細胞内での遺伝子、蛋白質などの分子調節機構まで、その概要を解説する。正常調節機構の破綻による病気の一つとして、癌や自己免疫疾患などの病態も紹介する。現在、多くの生命現象が分子レベルで説明できるようになってきたが、まだ、不明なことだらけである。そのために、多くの病気の発症機構は明らかでなく、よい治療法も存在しない。これらを解決していくためには、今後の分子レベルでの、さらなる研究が必要である。そこで、最近、話題のヒトゲノム計画も含めて、現代の医学研究の手法についても紹介したい。理工学部の学生にとっても、このような生物の巧妙なシステムとその破綻による異常、またその研究方法を知っておくことは、役立つのではないかと思う。知的好奇心旺盛な熱意のある方の受講を希望します。

〔教科書〕

特定の教科書は指定しませんが、生理学、細胞生物学の薄い本を読むことを勧めます。

〔参考書〕

必要であれば講義で紹介します。(オックスフォード生理学、丸善など)

心理学

「対人関係・人格の生涯発達」 2単位 春学期
高山 緑

〔授業科目の内容〕

本講義では、“生涯発達の視点”から、乳幼児から思春期、青年期を経て高齢期までを視野に入れて、それぞれの発達段階における心身の発達に関して広く学んでい

きます。具体的には、最新の実証研究から得られた知見をもとに、各発達段階特有の心身の発達過程、愛着や性格の形成プロセス、対人関係、ストレスとコーピング、恋愛と結婚、仕事、ライフスタイル等のテーマを取り上げます。

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します

心理学

「認知と学習」 2単位 秋学期
高山 緑

〔授業科目の内容〕

人の心の奥底では、いったい何が行われているのでしょうか。私たちはどのように外界から情報を受け取り、それを加工し、行動をとるのでしょうか。本講義では人間が“事物について物事を知る”といったことがどのようなメカニズムで行われているのか、そしてその能力がどのように発達していくのか学んでいきます。

〔教科書〕

特に指定しません

〔参考書〕

講義中に適宜紹介します

生物科学入門

「ヒトの生物学：疾患を分子で捉える」 2単位 春学期
中村真理子

〔授業科目の内容〕

生体を1つの宇宙と見なすと、その中で起こっていることは無数のランダムなイベントの結果であることがわかります。近年問題になっている抗生物質に対する耐性菌の問題、免疫系の多様性を説明するclonal selection theoryなどは、まさに生物がランダムな事象から成り立っていることを示しています。

21世紀の医学では、病気について考える際に、生体反応を分子や細胞のレベルで考えることが必須であります。病気とは、前述の様なランダムな偶然が重なり、遺伝子が先天的あるいは後天的に極端に振れる結果として生じるわけですから、逆に病気は正常を知るための良いモデルとなるわけです。

社会のグローバル化、生態系の変化と共に、エボラ、AIDS、インフルエンザなどの新興・再興感染症の出現がめまぐるしく、人類に脅威を与えています。感染症の古典的な理解は同じ病気に2度かからないという免疫の基本を教えてください。自己免疫疾患、アレルギー、糖尿病や高血圧など体質依存性といわれている疾患や悪性腫瘍などのいわゆる難病には、生体防御系としての免疫反応が強く関与しています。さらにこれら疾病の発病に関しては、遺伝子変異に起因する部分と環境因子が作用した結果であることが知られています。さらに、細胞の分化誘導と幹細胞の再生医療への応用可能性の模索、

gene chipを用いた診断法の確立など最近の生物学に関する手法の進歩は著しく、以前には未知の世界とされていた事象も次々に明らかにされてきました。今後の10年を考えるならばその進歩はさらに加速されるに違なく、現時点では想像もできないような世界が拓かれている可能性が大きいと言わざるを得ません。こうした内なる宇宙への探索の旅に携えるべき知恵と知識を求めての講義を進行させたいと考えています。

オリエンテーションとして分子生物学の基本言語について説明しながら、AIDS、癌、遺伝子治療を中心に、最新の知見も加えながら生物学について学びます。その際に微生物（特にウイルス）という観点から病気の理解をしてゆきたいと考えています。なぜならば、今日の分子生物学の発展はウイルス研究に端を発しているからであり、生物の内包する原理を理解するための最もシンプルな実験系として当時の科学者がウイルスを選択したその視点も、今後の私たちの真理追究へのヒントを与えてくれると感じるからであります。

【教科書】

特に指定しませんが、分子生物学の簡単なテキストを一読することをお勧めします。

基礎分子生物学 第2版 田村隆明、村松正實 著（東京科学同人）など

【参考書】

講義のたびに紹介します。

生物学実験

「生物のかたち、機能、メカニズムの理解 細胞を中心として」
2単位 春学期
金子 洋之

【授業科目の内容】

生物が持つ多様なかたち、機能、それらを裏打ちするいくつかの巧緻なメカニズムを理解するためには、それらの構成単位となる細胞をいろいろなテーマのもとで体験することが重要である。本実習では、種々の生物を材料に、細胞のかたちや動態を観察する。また細胞を構成する分子の同定操作も行う。これらの過程で、本質を見抜く眼力、柔軟な思考をトレーニングしたい。この科目は教職科目の「生物実験（コンピューター活用を含む）」との併設である。

【教科書】

指定しない。教材は教員が準備する。

【参考書】

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

生物学実験集中

「臨海実習」
2単位 春学期集中
松本 緑 他

【授業科目の内容】

生物世界の多様性と豊饒性を体験するとともに、分類体系の基本を理解することを目標にして、三浦半島西海岸のほぼ先端に位置する東京大学三崎臨海実験所にお

いて、夏休み期間中に実施する。各種採集法により自ら集めた磯の生物、プランクトン、ベントス等を材料にして観察と同定、ならびに初期発生の観察を行う。4月中旬に行うガイダンスに参加すること、上記の全期間参加することが条件。収容人員は20名以内。ガイダンス日程は別途掲示参照のこと。

【教科書】

指定せず。

【参考書】

随時紹介する。

世界の経済

2単位 秋学期
竹森 俊平

【授業科目の内容】

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

【教科書】

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

天文学

「重力の不思議」
2単位 秋学期
加藤万里子

【授業科目の内容】

重力は宇宙の現象の中で重要な位置をしめている。星の形や進化、宇宙膨張や宇宙空間の曲がり、ブラックホールなど重要な現象にかかわっている。ここでは重力という観点から宇宙をみていく。「宇宙科学」ではいろいろな天文現象を広く浅くとりあつかうが、この「天文学」では、テーマをしぼって、やや深く考えることを目的とする。

【教科書】

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

【参考書】

プリントを配布します。

日本の経済

「平成大不況の終結とこれからの日本経済」
2単位 秋学期
相沢 幸悦

【授業科目の内容】

日本経済は、ようやく長期不況から抜け出したといわれていますが、平成大不況というのはどういうものであったか、日本経済の現状をどうみたらいいか、これからの日本経済はどうあるべきかということを、理論的かつ実証的に講義します。とくに、経済学が自然をどのよう

に把握してきたか、アメリカやドイツ、アジア経済の特長はどこにあるのかということを見ながら日本の進むべき道を考えます。

【教科書】

教科書は、現在印刷中の「反市場原理主義の経済学」（仮題）を使用する予定ですが、講義の最初にお知らせします。

【参考書】

相沢幸悦『平成大不況』ミネルヴァ書房（2001年、3200円）

比較文化論

「中国文化とフランス文化」 2単位 春学期 / 秋学期
森 英樹

【授業科目の内容】

中国文化とフランス文化、この二つの文化伝統の性格の対比ないし相互の交渉を、さまざまな個別的テーマのもとに考察することによって、われわれの生活の基盤である文化や文明への幅広い視野を獲得します。

【教科書】

森 英樹（南仙）著『比較文化論・講義要旨』三訂版

物性科学

「物性工学入門 - 身のまわりで用いられている材料の性質の理解 - 」 2単位 春学期
佐藤 徹哉

【授業科目の内容】

我々の身のまわりの電子機器の基になる様々な素子は、金属、半導体、磁性体や誘電体といった材料を用いて作られています。物性科学では、我々の生活を豊かにしてくれる電子機器等に用いられる素子などが、材料のどのような性質を利用しているのだろうか、という点を理解してもらうことを目的に勉強を進めていきます。高校の物理と化学の知識のみを前提として、実演やビデオなどの視覚教材を積極的に取り入れて分かりやすく講義します。物性科学の考え方が、将来ものを考える時の基礎として使えるように授業内容を工夫する予定です。

【教科書】

プリントを毎時間配布します。

【参考書】

参考書は最初の時間に紹介します。

研究所設置講座、履修案内

1 メディア・コミュニケーション研究所

【メディア・コミュニケーション研究所とは】

メディア・コミュニケーション研究所 (Institute for Media and Communications Research, <http://mwr.mediacom.keio.ac.jp>) は、昭和21年(1946年)に産声を上げた新聞研究室を母体とする歴史の長い研究所です。新聞研究室は、後に新聞研究所と名称を改め、平成8年(1996年)に50回目の誕生日を迎えました。まさに、研究所は日本の戦後とともに歩んできたこととなります。新聞研究所は、第2次世界大戦前と戦争中、新聞報道を中心とする日本のマスメディアが軍国主義に迎合した報道姿勢をとったことを憂いた連合国占領軍が、戦後の民主化に新聞を中心とする言論報道機関の果たす役割の大きさを考慮して、その役割の遂行に貢献しうる人材の育成とともに、マス・メディア研究を行いうる研究機関の設置を幾つかの日本の大学に求めました。選ばれた大学の一つが慶應義塾であり、後に法学部の学部長になった米山桂三教授に研究所の運営が任されることになったというのがその発端であると、伝えられております。

既述のとおり、当初、新聞研究所は新聞研究室として出発しましたが、後に研究機能の重視を目的に研究所に名称を改めました。かつては、新聞を実際に発行して実習授業を盛んに行っていましたが(当時発行された新聞はマイクロフィルム化されていますので読もうと思えば読めます) 今日では実習的な側面よりは研究生(新聞研究所に入所した学生はこう呼ばれます)にはマス・メディアおよびマス・コミュニケーション研究の基礎的教育を行い、専任教員を中心として基礎的な研究に力を入れてきました。メディア業界からは、すぐに陳腐になりやすいテクニカルな知識や技術のみを身に付けた人間よりは、基礎的な知識や思考能力そして人間関係能力に裏打ちされ、しっかりとした考えと独創的な発想力をもつ人材が求められており、そうした要求に沿った教育と、各種メディア・コミュニケーション産業にとり有益な研究成果を提供することに新聞研究所は力を入れてきました。

しかし、時代は急速に変わりつつあります。戦後50年の情報通信技術の革新の動きは目覚ましく、新聞研究所がスタートした頃の報道機関といえば活字メディアが中核で、ラジオがそれに多少付け加わっているだけでした。その後、テレビ放送が本格化しメディアの中核は電気通信・放送へと移行して行きました。近年では地上波だけではなく、衛星放送・衛星通信、ケーブルテレビなど多面的かつグローバルにコミュニケーションが展開する時代になってきました。また、インターネットを中核とし、マルチ・メディアの展開が叫ばれ、コンピュータ・メディアの時代へと大きく変化し、新聞、ラジオ・テレビの融合現象も注目されるようになりました。と同時に、かつては一方向的な伝達を中心であったものが、コンピュータ・メディアの発達により双方向的なものとなると同時に、その情報通信範囲もパーソナルなレベルからグローバルなレベルへと拡大化し、コミュニケーション能力

の著しい発展と質的な変化は驚くべきものとなりました。また、多チャンネル時代を迎え、放送内容も多様なものになり、アイデアや創造力がメディア業界で働く人々に要求される度合いも格段に高くなりました。

こうなってくると、新聞研究所という名称はさすがに古めかしさを感じさせるようになったため、平成8年(1996年)には、研究所50年の記念式典を行い翌平成9年度より名称を変更いたしました。それが、メディア・コミュニケーション研究所出発の経緯です。新しいメディアの発展による新しいコミュニケーションの時代に合致した名称に変更したというわけです。もっとも、メディア・コミュニケーションの形態・技術は変化しても、報道ジャーナリズムの健全な発達のため、つまり、民主主義的で自由で公正なる報道を行うための前途有為な人材育成の目的はそのままです。そして、そのための少人数精鋭教育のためのカリキュラム変更も行いました。研究生には、報道ジャーナリズムやマス・コミュニケーション研究の基本を学び、新しいメディア(とくにコンピュータ・メディア)をある程度理解した上に自由に使いこなせるだけの能力も身に付けて欲しいと思っています。そのために、平成11年(1999年)10月より、この方面のメディア・リテラシー向上を求めて、「メディア・ワークショップルーム(MWR)」を開設致しました(本格的稼働は平成12年4月より)。インターネット放送もはじめました。今では大学生になるまでに、インターネットに十分習熟した学生も増え、より高度なメディア・リテラシーが期待できるので、インターネット放送やオン・ライン新聞を盛んにしたいと思っています。

1996年秋に新聞研究所は記念式典を実施し、その際に新しい名称を与え新たなスタートを切りました。基本的な研究所の研究生教育とメディア・コミュニケーション研究は変わりませんが、新たな名称のもとに生まれ変わった研究所の次の50年の発展が大変期待されます。なお、現在のスタッフは所長、専任および兼任所属、事務職員総勢でも10名に満たない小さな研究所ですが、非常勤講師の諸先生のご協力を得て研究生150名(2~4年生)の教育を行っております。本年入所される研究生を含め現在の研究生は、新たな歴史を刻む当事者となります。研究所が大きな成果を生むために大いに頑張ってください。

最後に、メディア・コミュニケーション研究所は、平成18年、つまり、今年ですが、改称して10年目の記念の年を迎えることになりました。名称を変えてあつという間に10年が経ちました。その間のインターネットの普及と展開はめざましく、在来メディアをインターネット会社が買収しようという騒ぎが日本でも発生するようになりました。今後もそうした激動の10年が繰り返されると思います。規模は小さいけれど、網町三田会というOB・OG組織の皆さん(修了生の同窓会)の協力を得て、さらなる発展をめざしたいと思います。

平成17年度 カリキュラム

1 設置科目について

研究所には、基礎科目、研究会、特殊研究、基礎演習の4つの講義群がある。

このうち、基礎科目は研究生以外（2年生以上）でも履修可能なオープン科目となっている。但し、2年生以上で、三田設置科目を含めて履修可能であるが、学部によっては履修できない場合もあるので、学部履修要項等で確認すること。また、学部での単位の取扱いは、学部履修要項を熟読すること。

- ・基礎科目（オープン科目）
メディア・コミュニケーション研究に必要な基礎的知識を提供する講義群。
- ・研究会（研究生のみ対象）
研究所における学習の中心となる科目で、2年生より履修できる。
- ・特殊研究（研究生のみ対象）
少人数の講義で、実務家を中心とした特殊講義と大学教員による特殊研究がある。
- ・基礎演習（研究生のみ対象）
メディア・コミュニケーション関連分野の調査方法の学習を目的とした講義群。

2 研究生制度

研究所には研究生制度がある。研究生制度は、メディア・コミュニケーションの研究、あるいは将来マス・メディアへの就職を希望するものに総合的な教育を行い、

同時に研究の場を与えるために設けられている。

例年12月中旬に行われる入所選考に合格し、研究生となることを許可された者は、修了までに合計28単位以上取得しなければならない。所定の単位を取得した研究生には修了証書が与えられる。各学部の授業科目で研究所が認めたものは修了単位に含めることができるが、それでも一般の塾生より余分な科目を履修しなければならず、それだけ余力のあることが入所の条件といえる。

- (1) 入所説明会（入所申込書配布）11月中旬三田、日吉、藤沢の各キャンパスで行う。これについては掲示する。
- (2) 入所試験（選考）12月中旬三田で行う。

3 修了単位について

研究生が研究所の課程を修了するためには、以下の各群から所定の単位を合計28単位以上取得しなければならない。

- ・基礎科目 10単位以上
- ・研究会 8単位以上
- ・特殊研究 4単位以上
- ・基礎演習 2単位以上
- 合計 28単位以上

2～4年春学期までに研究会I～Vを順番に履修し6単位以上取得する。4年秋学期には必ず研究会VI（論文指導）を履修すること。すなわち、研究会I～IIIと研究会VIIは全員が履修するが、研究会IVとVは必修ではない。

3～4年では原則として同一研究会を履修すること。

平成18年度慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所基礎科目（オープン科目）一覧

* 基礎科目（オープン科目）研究生以外も履修可能

設置場所	科目名	単位数	講師
三田設置科目	マス・コミュニケーション論 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	大石 裕
三田設置科目	マス・コミュニケーション発達史 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	鈴木 雄雅
三田設置科目	国際コミュニケーション論 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	伊藤 英一
三田設置科目	メディア社会論 （法学部併設）	秋2	藤田 真文
三田設置科目	メディア法制 ・	春2 / 秋2	佐々木秀智
三田設置科目	ジャーナリズム論 ・	春2 / 秋2	伊藤 高史
三田設置科目	世論 ・	春2 / 秋2	小川 恒夫
三田設置科目	情報行動論	春2	川浦 康至
三田設置科目	異文化間コミュニケーション	秋2	浅井亜紀子
三田設置科目	メディア文化論 ・	春2 / 秋2	岩淵 功一
三田設置科目	メディア産業と政策	春2	菅谷 実
三田設置科目	メディア産業と政策	秋2	宿南達志郎
三田設置科目	情報産業論 ・	春2 / 秋2	宿南達志郎
三田設置科目	ジャーナリズム総合講座 ・	春2 / 秋2	荒田茂夫・萩原 滋・伊藤高史(3名で行う)
日吉設置科目	マス・コミュニケーション論 （法学部併設）	春2	川端 美樹
日吉設置科目	社会心理学 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	萩原 滋

日吉キャンパスに設置されている「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

印は朝日新聞寄付講座

電子ネットワーク調査法

「ネットワーク上のメディア情報を検索する」

2単位 秋

【日吉設置科目】

菅谷 実

【授業科目の内容】

ネット上には全世界の多様な情報が膨大な数 存在していますが、どこにどのような情報が存在しているかを熟知している人は多くありません。ここでは、はじめにメディア、ネットワーク産業、情報通信政策に関わる情報を収集するために必要な探索法とサイトの利用法を紹介します。さらに、受講者の興味に従い特定のテーマで情報を収集し、それをプレゼンする効果的方法を学びます。

【教科書】

特に使用しません。

時事英語 ・

「英文記事から学ぶ世界情勢」

各2単位 春・秋

【日吉設置科目】

蓮実 潔

【授業科目の内容】

速報を重視する外国通信社電や米有力紙の記事を教材に使い時事英語の読解力を養うとともに、世界情勢の現況と背景を学ぶ。

【教科書】

特に指定しない。できるだけ直近の報道をテキストにする。

【参考書】

特に指定しない。

文章作法 ・

各2単位 春・秋

【日吉設置科目】

浜村 寿紀

【授業科目の内容】

文章作成技術の基本を固める。企業などの競争試験に備えるとともにジャーナリスティックな視点の涵養を図る。

【参考書】

随時指定する。

2 体育科目（体育研究所）

体育科目は授業形式と評価方法により以下の4つに分類されます。

履修にあたっては学部ごとに取り扱いが異なりますので、確認の上、申告してください。

体育学講義 半期2単位 「身体」「運動」「健康」等に関する講義 P465～468へ

体育学演習 半期1単位 講義+実習による演習形式の授業 P469～470へ

体育実技A 半期1単位 身体運動を中心にした実技 A～Dの4段階で評価する

1) ウィークリースポーツ： 週1回実施の授業

2) シーズンスポーツ： 夏季・春季休業中の集中授業

体育実技B 半期1単位 身体運動を中心にした実技 合否（pass/fail）の2段階で評価する

3) ウィークリースポーツ： 週1回実施の授業

4) シーズンスポーツ： 夏季・春季休業中の集中授業

ウィークリースポーツの種目には以下のものがあります。

区分	種目別	掲載頁	区分	種目別	掲載頁
球技	1 アメリカンタッチフットボール(A)	P471	武道・格技	17 フェンシング(A)	P487
	2 サッカー(A)	P471		18 ボクシング(A)	P488
	3 フットサル(A)	P472		19 レスリング(A)	P488
	4 ソフトテニス(A)	P473	個人種目	20 体力アップコース(A)	P488
	5 テニス(A)	P473		21 エアロビクス(A)	P490
	6 卓球(A)	P476		22 ダンス(A)	P491
	7 バドミントン(A)	P477		23 ウォーキングエクササイズ(A)	P491
	8 バasketボール(A)	P478		24 ジョギング(A)	P492
	9 バレーボール(A/B)	P480		25 ゴルフ(A)	P492
	10 ハンドボール(A)	P482		26 自動車(A)	P493
	11 ソフトボール(A)	P483		27 水泳(A)	P493
	12 野球(A)	P483		28 陸上競技(A)	P496
	13 軟式野球(A)	P485		29 アーチェリー(A)	P496
武道・格技	14 合気道(A)	P485		30 トランポリン(A)	P496
	15 柔道(A)	P485		31 ニュースポーツ(A/B)	P497
	16 剣道(A)	P486		32 フライングディスク(A/B)	P498

シーズンスポーツの種目には以下のものがあります。日数・費用の有無などがそれぞれ異なります。

春学期実施日程 7月27日(木)~8月3日(木) 日曜を除く7日間

秋学期実施日程 9月14日(木)~22日(金) 日曜・祝日を除く7日間

実施日 (学期)	科目	定員	開始時間	実施場所	初日 集合場所	備考	掲載頁
7・8月 (春)	体育実技A(空手)	40	10:00	空手道場(虻谷)	同左		P498
	体育実技A(弓術)	40	9:00	志正弓道場(虻谷)	同左	¥500(教本)	P499
	体育実技A(水泳(オープンウォータースイミング))(合宿)	25	8/3(木)~8(日)	体育会館山合宿所 (千葉県館山市)	同左	¥27,000 交通費除く	P499
	体育実技B(山岳)(合宿)	20	7/29(土)~8/1(火)	北アルプス表銀座周辺 (長野県)	同左	¥36,000 交通費除く	P500
	体育実技B(馬術)(合宿)	36	8/1(火)~8/4(金)	朝霧乗馬牧場 (静岡県)	日吉キャンパス 8:00 集合	¥49,000 交通費含む	P500
	体育実技B(ヨット)(合宿)	40	7/31(月)~8/3(木)	ヨット部合宿所 (神奈川県三浦市)	同左 14:00	¥37,000 交通費除く	P501
9月 (秋)	体育実技A(器械体操) (女子は器械体操または新体操)	30	9/13(水)~22(金) 土・日・祝日を除く 15:00	日吉記念館	同左		P501
	体育実技A(端艇)	20	9:00	端艇部戸田艇庫 (埼玉県)	同左		P502
	体育実技B(バレーボール)	30	9/14(木)~21(木) 日曜・祝日を除く6日間	日吉記念館および 湘南サーフビレッジ	日吉記念館 10:00 集合	¥1,440 (交通費)	P502
	体育実技B(アウトドア レクリエーション)(合宿)	50	9/5(火)~9(土)	立科山荘(長野県)	同左	¥27,000 交通費除く	P502
2月 (秋)	体育実技B(スキー)(合宿)	120	2/8(木)~11(日)	志賀高原発哺 (長野県)	同左	¥45,000 交通費除く	P503
	体育実技B(スケート)(合宿)	40	2/8(火)~9(金)	軽井沢スケート センター(長野県)	スケートセン ターホテル	¥28,000 交通費除く	P503

合宿種目費用納入

納入日時 4月24日(月)~27日(木) 8:45~17:00

納入場所 日吉学事センター総合窓口

(費用が納入期間に間に合わない場合は、窓口で相談してください。)

体育学講義

体育学講義 「アウトドアを考える」	火曜2限 秋 村山 光義 野口 和行
----------------------	-----------------------

〔授業科目の内容〕

1999年8月、神奈川県玄倉川の河原でキャンプをしていた人々が大雨による増水に流され、13名もの犠牲者を出す大事故が起きてしまった。また、2004年は台風や地震による自然災害が日本列島を震撼させた。被災地では大自然の中で厳しい避難生活が続いた。こうした事故や災害から我々は何を学ぶべきなのだろう。

休日ともなると、思い思いのキャンプ道具や遊び道具を車に積んで、海や山に出かける人々で道路は渋滞している。町に出ればパタゴニアやノースフェイスといったアウトドア・ブランドに身を包んだ人々が闊歩している。こうした現代の「アウトドア文化」は、レジャーであり、スポーツであり、ファッションである。しかし、そこには本来自然の中に生まれ育って来た我々人間が失いかけている何かが映し出されているのではないだろうか。ある調査では、都会の人間の7割以上が自然に対して「中にいるとほっとする」「出かけるのが好き」「安らぎの場である」と感じている。アウトドアでの活動が我々に魅力的で有益なものであることも事実である。本講義では「アウトドア」をQuality of Life（生活の質）を高めるライフスタイルのひとつとして享受していく上で、今何をしていくべきかを一緒に考えていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

授業の中で随時紹介します。

体育学講義 「スポーツの効用を多角的にみる（スポーツ総論）」	火曜3限 春 村山 光義 佐々木玲子 近藤 明彦 吉田 泰将
-----------------------------------	--------------------------------------

〔授業科目の内容〕

スポーツは社会の中で文化として多様な姿を持ちますが、その中心は我々が身体活動をすることです。体育・スポーツ活動は、ヒトの身体（こころとからだ）に多くの影響を与えます。本講義はこうした体育・スポーツ活動が我々に与える効用についてオムニバス形式で解説します。身体に関する知識を得るとともに、人文・社会・自然の科学的視点から身体活動実践の現代的意義を考えます。スポーツ実施・指導および教育場面に幅広く役立つ内容（教職や体育会・スポーツサークルのリーダーを目指す人に適切な内容）となるでしょう。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

授業の中で随時紹介します。

体育学講義 「アスリートのためのスポーツ科学」	火曜3限 秋 近藤 明彦 佐々木玲子 加藤 幸司
----------------------------	--------------------------------

〔授業科目の内容〕

競技者にとって効果的・合理的なトレーニング計画を立てることは重要な課題です。そしてこの目的を達成するためにはスポーツトレーニングに関する様々な基礎的知識が必要です。この講座では「心・技・体」の三つの観点から効果的なトレーニングを考える上で必要な基本的知識の習得を目指します。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

適宜紹介します。

体育学講義 「健康と運動の科学」	火曜3限 秋 近藤 明彦 齊藤 郁夫 辻岡三南子 和井内由充子 森 正明
---------------------	---

〔授業科目の内容〕

高度な文明化が達成された現代を生きる我々が健康な生活をおくるために必要な知識を体系的に学んでいく。本講座では、人体の主要な臓器の機能、健康と生活習慣（運動、食事、喫煙、飲酒など）との関連を学び、健康な生活習慣が健康の保持増進に必要なことを理解する。疾病に関しては、青年期に正確な知識を身につけておくことが特に重要なものを取りあげる。さらには運動が健康とどのように係わるかについて理解する。

〔教科書〕

指定しない。

体育学講義 「スポーツ心理学の世界」	水曜4限 春 近藤 明彦
-----------------------	-----------------

〔授業科目の内容〕

20世紀はスポーツが大きく飛躍した世紀でした。そのスポーツの発展とともにスポーツ心理学が誕生し最近急速にその広がりが増えています。運動心理学・体育心理学・スポーツ心理学といった分野から現在ではスポーツの実施と健康の関連が着目され健康運動心理学という新しい領域も広がっています。この授業では、スポーツに関連する様々な心理学の分野からのアプローチを概観し、スポーツ実施に伴う心理的側面で現在どのような知見があるかを学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。

体育学講義	木曜4限 春
「スポーツの技と文化を探る」	
植田 史生	綿田 博人
石手 靖	須田 芳正

〔授業科目の内容〕

スポーツ文化は人類の遺産として21世紀も益々発展するであろう。一方、人間の身体能力によって極められてきた「技」「技術」も、スポーツ文化を形成する重要な構成要素といえる。本講義は、人間のスポーツ技能の獲得や発達を基礎に置き、スポーツ文化を幅広く解説することを目的としている。世界のスポーツ技術やトレーニング方法の最前線、文化的側面からみたスポーツの現状、そして、そこから市民スポーツのレベルに応用・示唆されることは何か？スポーツをする者にも見る者にも役立つ講義内容を目指し、4名の担当者のオムニバス形式で、様々な専門種目から話題を提供する。

体育学講義	金曜3限 春
「スポーツと身体（からだ）の基礎理論」	
	吉田 泰将

〔授業科目の内容〕

健康の大切さを実感するのは、その肝心な健康を損なってしまったときでしょう。現代社会において、私達は様々なストレスに曝されながら生活をしています。そこで、本講義では身体のメカニズムやスポーツ・トレーニングの基礎知識を学習することにより、「心身の状態を常に良好に保つ」方法を身につけることを目的とします。日々の生活をいかに送っていくのか、どのように生活をプログラムしていくのか、一緒に考えて行きましょう。

体育学講義	金曜3限 秋
「政治社会とスポーツノスポーツ事故と法」	
高嶺 隆二	加藤 大仁

〔授業科目の内容〕

スポーツは元来、私的な活動で非政治的なものであり、公的な権力が介入すべきではないと論じられることが多い。

しかしながら現実には、スポーツは社会の中に制度化されており、国際的、国内的にも政治と無関係には存在できないものである。さらに、スポーツに関わる人々や団体もまた、さまざまな形で法の下に規制や指導を受け、時には責任を負わされる場合も多々ある。

そこで、本講義では、1) スポーツと政治・社会の関係、2) 体育・スポーツ事故における個人や団体の法的責任について、具体例を示しながら解説する。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜講義資料プリントを配布する。

体育学演習

体育学演習 火曜2限 春
「自然体験活動演習」

野口 和行

〔授業科目の内容〕

近年、夏休み等を利用した自然体験を中心としたキャンプ等の活動が各所で行われるようになり、ボランティアとして子供のキャンプ等に参加する学生も増えている。そこで、さまざまな自然体験活動にボランティアとして参加したいと考えている学生を対象に、自然体験活動に関する知識、技術、対人関係トレーニング等を学び、夏休みに行われるキャンプにボランティアとして参加し、OJT (on the job training) を行う。

体育学演習 水曜4限 春
「アスレチックトレーニング演習」

山内 賢 西村 忍

〔授業科目の内容〕

「アスレチックトレーニング演習」では、多くの学生がこれから経験する可能性のある学校教育現場やレクリエーションスポーツ現場などで発生する損傷や疾病に対する予防法や心肺蘇生法を含む応急処置法に関する基礎知識を身に付けることを目標として授業を展開していきます。また体を鍛えるために必要なスポーツ栄養学やトレーニング方法論に関する内容についても指導を行う予定である。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習 水曜4限 秋
「ライフセービング（救急法の基礎）」

山内 賢 西村 忍

〔授業科目の内容〕

事故に出あったり、怪我をしてしまった場合、その直後の処置がとて大切でです。この授業の目的は、第一に「事故防止」の考え方を身につけてもらうこと。第二に緊急時に備え、各種の処置を実際に身につけることにあります。いつ、どこで、どのような事故にあったとしても、医師に患者を手渡すまでに落ち着いて適切な処置ができるような理論と対処の方法について、実技を伴い学んでもらいます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習 水曜4限 秋
「スポーツメンタルトレーニング」

近藤 明彦

〔授業科目の内容〕

スポーツにおけるメンタルトレーニングの重要性が指摘されている。この講義では体力のトレーニングや技術の練習との係わりを基本に現在行われているメンタルトレーニング技法の理論と実際について学ぶことを目的とする。

〔教科書〕

指定しない。

体育学演習 木曜4限 秋
「からだの動きをはかる（バイオメカニクス）」

佐々木 玲子 村山 光義
村松 憲

〔授業科目の内容〕

人の動きやスポーツの動作をバイオメカニクスの手法を用いて測り、分析することによって、定量的、客観的にながめてみます。本年度は、動作中のビデオ撮影および筋の活動状態を記録し、それらを分析することによってその運動の特徴を探ります。自分たちが興味のある動きをとりあげ、実際に自分たちをモデルとして測り、分析してみます。

我々はどのように身体を使って動いているのか、巧い人の動きはどうなっているのか、動きのコツは何か、といったことにデータの分析から迫っていきます。

〔教科書〕

指定なし。

〔参考書〕

授業時間内で適宜紹介します。

体育実技A/B(ウィークリー・スポーツ)

ウィークリー・スポーツ【球技】

体育実技A(アメリカンタッチフットボール/フラッグフットボール) 木曜3限
西村 忍

【授業の目的】

アメリカで最も人気のあるスポーツの1つである『アメリカンフットボール』をより簡単に、より安全にできるように改良された「アメリカンタッチフットボール/フラッグフットボール」は、男女差・体格差を問わず誰もが気軽に楽しむことができる。この授業では、複雑と思われがちなルールを楽しく基礎から学び親しみ、この種目の最大の特徴である“戦術的な作戦づくり”と“役割分担された動き”を理解し、かつ健康維持・増進に必要な基礎体力を向上することを目的とする。

【服装・携行品・その他】

運動着、屋外シューズ、タオル、ドリンク

体育実技A(サッカー) 月曜2限・3限・4限
大嶽 真人

【授業の目的】

サッカーに必要とされる基本技術の習得、コミュニケーションを通じてのチームワークの獲得を目的とし、生涯スポーツに向けてサッカーを楽しむ。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装、シューズ

体育実技A(サッカー) 火曜1限・2限、金曜2限・3限
(初心者・経験者問わず) 須田 芳正

【授業の目的】

世界のスポーツであるサッカーの魅力、楽しさを体験するとともに、競技力向上を目指すことを目的とする。

【実施場所】

陸上競技場、下田グラウンド

【服装・携行品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A(サッカー) 水曜1限・2限・3限、木曜1限・2限
(上級・中級・初級など) 李 宇諤

【授業の目的】

チームスポーツであるサッカーを通してコミュニケーションを理解する。

生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいけるように、基本的な技術及び戦術を習得する。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A(フットサル) 月曜1限
(初級者) 安松 幹展

【授業の目的】

フットサルは世界のミニサッカーを統一して、5人制サッカーとして制定されている。当然フットサルは、サッカーに匹敵するほど世界で行われている。さらに、フットサルは、脂肪の燃焼に有効な有酸素運動と筋肉や骨を強化する無酸素運動の両方を兼ね備えた運動である。つまり、フットサルは国際的かつ健康的な種目である。本講座は、初級者を主な対象とし、フットサルを生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

フットサルのできる服装。シューズは室内用で、ゴム底が黒くないもの。

体育実技A(フットサル) 月曜2限・3限
安松 幹展

【授業の目的】

フットサルは世界のミニサッカーを統一して、5人制サッカーとして制定されている。当然フットサルは、サッカーに匹敵するほど世界で行われている。さらに、フットサルは、脂肪の燃焼に有効な有酸素運動と筋肉や骨を強化する無酸素運動の両方を兼ね備えた運動である。つまり、フットサルは国際的かつ健康的な種目である。本講座は、この種目の特性を理解し、フットサルを生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

フットサルのできる服装。シューズは室内用で、ゴム底が黒くないもの。

体育実技A(ソフトテニス) 木曜2限
濱名 邦雄

【授業の目的】

日本で生まれ、現在国際化の進展している、ソフトテニスの楽しさを、授業で体験し、生涯スポーツとして実践して行く動機(キッカケ)作りを行う。

【実施場所】

日吉下田地区 体育会ソフトテニス部コート

【服装・携行品・その他】

運動可能な服装・テニスシューズ・ラケット(用意有り)

体育実技A(テニス) 月曜1限・2限
(初級・中級) 加藤 大雄

〔授業の目的〕

生涯スポーツとしてのテニスの基本的技術と、ルールの習得。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット、テニスシューズ、運動ができるウェア

体育実技A(テニス) 月曜3限、木曜2限・3限
(中級) 手島 智佳子

〔授業の目的〕

テニス技術の向上並びに試合での戦術。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

- ・運動の出来る服装(出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

体育実技A(テニス) 月曜4限
(初級) 手島 智佳子

〔授業の目的〕

テニス技術の向上

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート。(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

- ・運動の出来る服装(出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

体育実技A(テニス) 火曜1限
(中級) 村松 憲

〔授業の目的〕

試合を楽しむために役立つ技術・戦術を身につけます。エチケット、ルールを再確認します。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット・運動に適した服装(シューズ、ラケットの貸し出しはありません)

体育実技A(テニス) 火曜2限・3限
(初級) 村松 憲

〔授業の目的〕

テニスを楽しむために必要な技術・エチケット・ルールを身につけます。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット・運動に適した服装(シューズ、ラケットの貸し出しはありません)

体育実技A(テニス) 水曜1限
(中級) 松本 健太郎

〔授業の目的〕

テニスの基礎的な技能を習得する。打球技術を向上し、実際のゲームで使えるようにする。また、生涯スポーツの一つとして、テニスを楽しめるようにする。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

ラケット、テニスシューズは各自で準備する。(テニスシューズはハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス) 水曜2限・3限
(初級) 松本 健太郎

〔授業の目的〕

テニスの基礎的な技能を習得する。生涯スポーツの一つとして、テニスを楽しめるようにする。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

〔服装・携行品・その他〕

ラケット、テニスシューズは各自で準備する。(テニスシューズはハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス) 木曜1限、金曜3限
(初級) 竹村 りょうこ

〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ(ハードまたはオールコート用)

体育実技A(テニス) 金曜1限
(中級) 竹村 りょうこ

【授業の目的】

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

【実施場所】

蝸谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

【服装・携行品・その他】

硬式テニスラケット、テニスシューズ(ハードまたはオールコート用)

体育実技A(テニス) 金曜2限
(上級) 竹村 りょうこ

【授業の目的】

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

【実施場所】

蝸谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

【服装・携行品・その他】

硬式テニスラケット、テニスシューズ(ハードまたはオールコート用)

体育実技A(卓球) 月曜2限・3限、金曜2限
松田 雅之

【授業の目的】

手軽に楽しめる卓球の特性を活かし、それぞれのレベルにあった技術の向上とゲームの展開を目的とする。

【実施場所】

体育館卓球場

【服装・携行品・その他】

トレーニングウェア・室内シューズ・ラケット(持っている人は持参)

体育実技A(卓球) 火曜2限・3限、木曜2限・3限
吉田 武

【授業の目的】

1. 卓球の楽しさの体験、基礎知識の習得、技術の向上
2. スポーツによる健康作り
3. 授業の中での級友とのコミュニケーション

【実施場所】

体育館卓球場

【服装・携行品・その他】

運動できる軽装、室内用運動靴、タオル

体育実技A(バドミントン) 月曜1限・3限、金曜1限・3限
加藤 幸司

【授業の目的】

バドミントンの基礎技術を身につけ、ゲームを楽しむ。また審判法も学ぶ。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを必ず用意すること。

体育実技A(バドミントン) 月曜2限、金曜2限
(中・上級者：競技としてのバドミントン経験者)
加藤 幸司

【授業の目的】

バドミントンの技術を再確認しながら、技能を向上させ、高いレベルでゲームを楽しめるようにする。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを用意し、自分のラケットを使うこと。

体育実技A(バドミントン) 木曜1限・2限・3限
(初心者) 平井 克英

【授業の目的】

【気軽に楽しめるバドミントン】

バドミントンの基礎知識と基本ストロークの技術を習得し、審判方法とルールを理解する。又、試合を通して、生涯スポーツ、社会体育、ファミリースポーツとしてのバドミントンの本来の楽しさも学ぶことを目的とする。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

屋内シューズとスポーツ出来る服装

体育実技A(バスケットボール) 月曜1限・2限・3限
(初中級) 谷口 こゆき

【授業の目的】

仲間とのコミュニケーションを楽しみながら、バスケットボールの技術の向上を目指す。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装、バスケットボール用の室内靴、タオル、水分など

体育実技A(バスケットボール) 火曜1限、金曜3限
(経験者問わない) 山内 賢

〔授業の目的〕

バスケットボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、バスケットボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、止まる、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、バスケットボールの楽しさを学んでもらう。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ(土足厳禁)、水分・栄養補給用のドリンク類、(ただし、記念館フロア内での飲食厳禁、スタンド内は可。)

体育実技A(バスケットボール)
火曜2限・3限、水曜1限・2限、金曜1限・2限
加藤 大仁

〔授業の目的〕

バスケットボールを通じて基礎体力の向上を図ると同時に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。初級者から経験者まで、あらゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として体育の授業以外ではバスケットボールに取り組んだことのない学生を念頭においた授業内容となっている。

〔実施場所〕

記念館

体育実技A(バスケットボール) 水曜3限
(経験者) 加藤 大仁

〔授業の目的〕

基礎体力の向上を図ると同時に、基本的なMan Offense/Man Defenseの考え方やプレーの習得を目指す。対象は小・中・高の何れかの時期にクラブ活動や愛好会活動を通じてバスケットボールに取り組んだことのある学生とする。

〔実施場所〕

記念館

体育実技A(バスケットボール) 木曜1限・3限
(全レベル対象) 木塚 孝幸

〔授業の目的〕

この授業は、初心者から経験者までの全レベルの学生を対象とする。体力の向上とバスケットボールの技術の習得を図りながら、ゲームを通してバスケットボールを楽しむことを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、室内シューズを準備すること。

体育実技A(バスケットボール) 木曜2限
(経験者対象) 木塚 孝幸

〔授業の目的〕

この授業は、中・高いいずれかでクラブ活動を通じてバスケットボールを経験した学生を対象とする。5人で協力して攻守することを目標に、体力、技術の向上を図り、毎時限実施されるゲームの内容(レベル)を上げていく。

〔実施場所〕

日吉記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、バスケットシューズを準備すること。

体育実技B(バレーボール)
月曜3限・4限、火曜1限・2限・3限
石手 靖

〔授業の目的〕

バレーボールゲームを楽しみ、仲間と大いにコミュニケーションをとること。

〔実施場所〕

記念館(火1・2・3)及び 第3校舎下バレーボールコート(月3・4)

〔服装・携行品・その他〕

スポーツウェア及びシューズ

体育実技A(バレーボール) 水曜1限
野口 和行

〔授業の目的〕

チームスポーツであるバレーボールの実践を通して、個々の技術レベルに応じた役割分担をしながら、相互のコミュニケーションを促進する。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装・屋内シューズ

体育実技A(バレーボール) 水曜2限
村山 光義

〔授業の目的〕

バレーボール実践における技能向上と戦術の理解を通じてバレーボール競技を理解するとともに、リーダーシップとメンバーシップを発揮したコミュニケーション能力を養う。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技B(バレーボール)	水曜3限 村山 光義
---------------	---------------

〔授業の目的〕

バレーボールゲームを用いてメンバー相互のコミュニケーションを深め、その過程における自己表現・リーダー/メンバーシップ等を発揮し合うグループワークを実践する。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技A(バレーボール)	木曜2限・3限・4限 山田 美絵子
---------------	----------------------

〔授業の目的〕

ボールを落とさないようにカバーリングをしあう「バレーボール」の種目特性を活かし、コミュニケーションをとりながら、個人の体力と技術の向上、集団での知識と技能の習得をねらいとする。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携行品・その他〕

「バレーボール」を行なうのにふさわしい服装(ジャージ、Tシャツ、短パン等)、シューズ、タオル等

体育実技A(バレーボール) (初心者から経験者まで可)	金曜2限・3限 山村 貴映
--------------------------------	------------------

〔授業の目的〕

バレーボールという種目を通し、基本技術の習得とチーム編成とゲーム展開をみんなで力を併せ実行する経験の中で、人の意見と自己主張とのバランスをとりながら、コミュニケーションの重要性を認識させる。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携行品・その他〕

スポーツウェア及びシューズ

体育実技A(ハンドボール) (経験を問わない)	水曜2限・3限 山内 賢
----------------------------	-----------------

〔授業の目的〕

ハンドボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、ハンドボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、ハンドボールの楽しさを学んでもらう。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ(土足厳禁)、水分・栄養補給用のドリンク類、(ただし、記念館フロア内での飲食厳禁、スタンド内は可。)

体育実技A(ソフトボール)	火曜2限・3限 望月 康司
---------------	------------------

〔授業の目的〕

ソフトボールの基本的な技術・知識を習得するとともに、スポーツの楽しさを実感し、生涯スポーツの足がかりおよび集団の中での協調性を養うことを目的とする。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装およびシューズを持参すること

体育実技A(ソフトボール)	金曜2限・3限・4限 秋 石渡 千草
---------------	-----------------------

〔授業の目的〕

ソフトボールの基本技術(投球法、打撃法、守備法、走塁法など)を習得し、ゲームを中心とする実践練習にて、ゲームの進め方、ルールを学習する。ソフトボールを通して、スポーツに取り組む楽しさや社会性を学び、自主性や協調性の態度を身につける。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、運動靴を使用すること

体育実技A(野球) (初心者)	月曜2限 綿田 博人
--------------------	---------------

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・グラブ・アップシューズ

体育実技A(野球) (経験者)	月曜3限 綿田 博人
--------------------	---------------

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム、又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

体育実技A（野球） 火曜2限
（初心者） 菊地 啓太

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることが目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・グラブ・アップシューズ

体育実技A（野球） 火曜3限
（経験者） 菊地 啓太

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム、又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

体育実技A（軟式野球） 木曜3限
鈴木 秀五郎

〔授業の目的〕

野球の基本技術及びチームプレイの習得を通じて、チームにおける個人の役割を認識し、野球の技術的向上を実践し、共同作業における人との関係を学ぶこと。また、生涯を通じて軟式野球にかかわり楽しんで貰うことを目的とする。

〔実施場所〕

日吉台野球場（蝮谷）

〔服装・携行品・その他〕

野球用ユニフォームが望ましいがトレーナー等の運動着でも可。野球用スパイクが望ましいが、運動靴でも可。グローブ、帽子、タオル、夏季のスポーツドリンクは持参のこと。

ウィークリー・スポーツ【武道・格技】

体育実技A（合気道） 水曜4限
藤平 信一

〔授業の目的〕

合気道の実技を通して、心と身体からだの正しい使い方しんしん（心身統一どういつ）を習得する。

心身統一を日常生活で活用できるように習得する。

大切な場面での心の落ち着きを習得する。危険に対する察知と対応を習得する。

〔実施場所〕

蝮谷合気道場

〔服装・携行品・その他〕

道着は貸与。Tシャツ（女子のみ）・タオル（汗をふくため）・道着を持ち運ぶバッグ等。

体育実技A（柔道） 水曜3限、金曜2限・3限
（初心者、経験者を問わない：男女共習） 安藤 勝英

〔授業の目的〕

柔道を通して技術、体力の向上を図り、これから生涯スポーツとして取り組むことの出来るよう行う。中でも礼法、受身、正しい技の掛け方等をより深く解説する。また、見る柔道の立場から、国際、国内ルールを説明する。更に、昇段希望者にはこの授業の中で実施指導する。

〔実施場所〕

体育館柔道場

〔服装・携行品・その他〕

柔道着（希望者には貸与する）・タオル・Tシャツ（女子のみ）

体育実技A（剣道） 火曜2限、木曜2限・3限
（初心者から有段者まで） 吉田 泰将

〔授業の目的〕

剣道をはじめて行うものから、有段者まですべてのレベルを対象に、初心者は一級に、有段者はさらにひとつ上の段に挑戦するために、基本的な技術、知識、日本剣道形を学習します。それぞれのレベルの人が協力して、クラス全体の実力アップを図りましょう。そして、生涯を通じて実践できる剣道をしっかりと身につけましょう。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴（運動に相応しい服装も可）・手ぬぐい
剣道着（防具）・竹刀は準備しています。

体育実技A（剣道） 水曜2限・3限
（経験を問わないクラス） 植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え（心構え、身構え）から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、このクラスにおいては上級者、初級者に分け技術レベルに応じて正しい剣道を学習する。上級者は初級者への指導法も含め技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の方は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技A(剣道 日本剣道形クラス) 金曜2限
(経験は問わない) 植田 史生

〔授業の目的〕

日本剣道形は、大正元年(1912年)10月に制定、大正6年(1917年)9月に加注を行い、昭和8年(1933年)5月に加注を増補した。現在は全てこれを定本として実施している。打太刀(うちだち) 仕太刀(しだち)の二名によって実施され、「太刀の形」が七本、「小太刀の形」が三本、計十本の技によって構成されている。この剣道形を学習する事により、1.正しい打突の筋を知る。2.正しい打撃の間合いを知る。3.正しい身体のさばきを知る。4.気味が養われる。これらの事を体得でき、現代剣道に果たす役割は大きいと考える。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の方は、運動できる服装とし、木刀、形用模擬刀は貸与する。

体育実技A(剣道) 金曜3限
(有段者クラス) 植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え(心構え,身構え)から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である、この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげていくことを目的とする。また、各自ひとつ上の段(全日本剣道連盟)の昇段を各自の目標とし、技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。(試合や審判技術等の理解と実践。日本剣道形や古文書を通し、より深い知識を学習する。)

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の方は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技A(フェンシング) 木曜2限
(初級~上級) 田中 由美子

〔授業の目的〕

ヨーロッパに起源を持ち、発達してきたフェンシングの基本技術を習得し、試合形式の練習でさらに興味を深めていく。

〔実施場所〕

蝮谷フェンシング場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア(下は必ず長ズボン)、ハイソックス、シューズ(滑りにくいもの)

体育実技A(ボクシング) 金曜3限
(初心者~上級) 島田桂太郎

〔授業の目的〕

ボクシング基本実技の習得・体験

〔実施場所〕

蝮谷ボクシング道場

〔服装・携行品・その他〕

運動着・室内用シューズ・バンデージ又は軍手

体育実技A(レスリング) 水曜2限 春
(初級) 大津 信行

〔授業の目的〕

レスリングを通しての基礎体力作り、身体能力の開発向上。

〔実施場所〕

蝮谷レスリング部道場

〔服装・携行品・その他〕

運動着上下・ソックス・タオル(別途、レスリングシューズ・ヘッドギア準備。)

ウィークリー・スポーツ【個人種目】

体育実技A(体力UPコース) 月曜2限・3限、木曜2限
牛山 潤一

〔授業の目的〕

基礎的なトレーニングを通じて、人間の身体の構造・機能を理解するとともに、目的に即したトレーニング方法を考案すること。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装ならびに靴を持参すること

体育実技A(体力UPコース) 火曜2限・3限、金曜2限
山内 賢

〔授業の目的〕

この授業は、トレーニングの理論を基に、人間の体力を構成する筋力、パワー、柔軟性、持久力等をバランスよく鍛え、同時にトレーニングによる効果や体組成(体内脂肪量)の変化を自己観察するための授業である。この授業の目的は、自己の健康関連体力を観察し、その体力の向上と改善を個々のペースで管理するボディビルディングとコンディショニングのすすめにある。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ（土足厳禁）、水分・栄養補給用のドリンク類、サプリメント（ただし、ルーム内での飲食厳禁）

体育実技A（体力UPコース）

水曜2限・3限、金曜3限
西村 忍

〔授業の目的〕

体を鍛える為のトレーニングの授業ではなく、一生涯を通じて健康維持・増進する方法論として体と知を育む授業を目的とする。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動着、インシューズ（土足厳禁）、タオル、ドリンク（ルーム内での飲食は禁止）

体育実技A（体力UPコース）

木曜3限
近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、この講座ではレジスタンストレーニングマシンを用いた筋力のトレーニング、エアロバイクを用いた持久力のトレーニングそして、いつでもどこでも出来る自分の体重を負荷としたトレーニングを行うことにより、運動を継続的に行うことの重要性を理解するとともに、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、室内用運動靴、タオル

体育実技A（エアロビクス）

月曜3限・4限、火曜2・3限、金曜4限
清水 静代

〔授業の目的〕

エアロビクスについての基礎知識や基本的なステップを習得しながら、エアロビクス（有酸素運動）の特性を理解し、総合的な体力・健康づくりのための基礎を学びます。自らの健康の維持・増進のために、音楽に合わせて安全で楽しいエクササイズを実践し、身体を動かすことの楽しさを実感することを目的とします。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動着に着替えて、室内シューズを持参して授業に出席してください。また、水分補給は各自で行えるように用意してください。

体育実技A（エアロビクス）

水曜2限・3限、金曜2・3限
佐々木 玲子

〔授業の目的〕

日常生活を円滑に行うための体力向上を目指すとともに、シェイプアップも含めた総合的な体力・健康づくりのための基礎を学びます。エアロビクスダンスエクササイズを中心に行いますが、ストレッチング、リラクゼーション、筋力アップのためのエクササイズも取り入れ、広く身体についての理解を深めながら、身体を動かすことの楽しさを実感することを目指します。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動着、室内用シューズは必須。水分補給のための飲料は適宜用意してください。

体育実技A（ダンス）

月曜2限、木曜2・3限

「ボールルームダンス」

（入門及び初級）

篠原 しげ子

〔授業の目的〕

種目ごとのリズムの特徴を理解し、動けるようになる。相手の動きも理解して協力して動けるようになる。

〔実施場所〕

記念館

〔定員〕

男性10名、女性10名

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装・ソックス

体育実技A（ウォーキング・エクササイズ）

火曜2限、水曜2限、木曜2限
近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、その予防・改善を目的とした有酸素運動としてのウォーキングの実践を通し、継続的な運動の実施および様々な生活習慣が健康にどのような影響を与えるかについて理解を深める。この授業では単に「歩けば健康になる」ということを強調するのみではなく、歩くことから派生する様々な文化的事象をも取り上げウォーキングへの興味を高めることを意図する。体力レベルが低い、あるいは技術系のスポーツ種目が不得意な者でも取り組みやすい種目である。誰でも出来るウォーキングの楽しみ方を理解し、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

陸上競技場・日吉周辺

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

体育実技A(ジョギング) 木曜4限
松田 雅之

〔授業の目的〕

歩行・ジョギング・ランニングへと基本的な正しい走り方を学び、有酸素の能力の向上を図る。野外走などを通じ、ジョギングの効用や楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場ほか

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ジョギングシューズ

体育実技A(ゴルフ) 火曜2限・3限、木曜2限・3限
(初心者) 綿田 博人

〔授業の目的〕

ゴルフの基本動作、打ち方を習得し、またゴルフのマナーを知ることが目的とする。

〔実施場所〕

梅里カントリークラブ

〔服装・携行品・その他〕

ゴルフスラックス、ポロシャツ又はトレーニングウェア・アップシューズ

体育実技A(ゴルフ) 水曜2限・3限
(初級、上級いずれも可) 勝又 正浩

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ体力の向上、技術、ルール、マナーを習得する。
- ・ゴルフ初心者の方々をコースラウンドが出来るレベルに向上させる。
- ・従来よりゴルフに取り組んでいる中・上級者を更にもう一段上のレベルに引き上げる。
- ・ゴルフ本来の楽しさを学ぶことにより、幅広い人間関係が構築できるように図る。

〔実施場所〕

体育会ゴルフ部練習場(矢上下)

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装、運動靴(ゴルフスパイクは不可)、練習用クラブ数本、ゴルフグローブ

体育実技A(自動車) 水曜1限春・水曜2限春秋、水曜3限秋
(初級(普通自動車運転免許のない方)各時限とも同じ) 松山 保幸

〔授業の目的〕

自動車運転の基本操作に不可欠な知識と操作技術の習得。普通運転免許取得希望者が、正確な操作手順を身に付け、安全性への高い配慮ができるようになることを到達点とします。

〔実施場所〕

日吉宮崎台 自動車部専用練習場(塾高等学校グラウンド裏)

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(かかとの高い靴、サンダルは運転安全性の面で問題があるため避けて下さい。)

体育実技A(水泳) 曜日時限未定
(上級者クラス) 高嶺 隆二
(水泳経験が豊富で、個人メドレーができるレベル)

〔授業の目的〕

- ・競泳4種目の技術の特性を学び、合理的技能の修得を目指すと同時に指導法を学ぶ。
- ・着衣水泳の体験を通して水難事故から身を守る方法を学ぶ。
- ・競技力の向上、体力の維持・増進、エンジョイ・スイミング

〔実施場所〕

未定

〔服装・携行品・その他〕

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル、運動着上・下(Tシャツ、短パン)

ゴムサンダル等、(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

* 着衣水泳の用品：ジーンズパンツ、長袖トレーナー、運動靴

体育実技A(水泳) 曜日時限未定
(中級者クラス) 高嶺 隆二
(クロール、平泳ぎ、背泳ぎのいずれか一つの泳法で50m以上泳げるレベル)

〔授業の目的〕

- ・競泳4種目の技術の特性を学び、合理的で美しい泳ぎの修得し、長い距離を泳げるようになる。
- ・着衣水泳の体験を通して水難事故から身を守る方法を学ぶ。
- ・水泳の楽しさを見つけて、夏のマリン・スポーツに備える。

〔実施場所〕

未定

〔服装・携行品・その他〕

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル、運動着上・下(Tシャツ、短パン)

ゴムサンダル等、(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

* 着衣水泳の用品：ジーンズパンツ、長袖トレーナー、運動靴

体育実技A(水泳) 曜日時限未定
(初級者クラス)
(水泳未習者、息継ぎが難しい、少し泳げるレベル)
高嶺 隆二

【授業の目的】

水中で意のままに自分のからだを操って、浮き、潜り、進む技術を身につけてもらい、生活を豊かにすると共に、万が一の水難事故に際して、自らの生命を守る技能を修得することを目的とする。

さらに、泳げるようになって健康維持・増進のための手段として水泳を活用できるようになることを目的とする。

【実施場所】

未定

【服装・携行品・その他】

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル、運動着上・下(Tシャツ、短パン)

ゴムサンダル等、(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

* 着衣水泳の用品：ジーンズパンツ、長袖トレーナー、運動靴

体育実技A(水泳) 曜日時限未定
(初・中級者)
(水泳未習者、上手く泳げないと思っているレベル)
高嶺 隆二

【授業の目的】

水中で意のままに自分のからだを操って、浮き、潜り、進む技術を身につけてもらい、水泳を楽しむと共に、万が一の水難事故に際して、自らの生命を守る技能を修得することを目的とする。さらに、泳げるようになって健康維持・増進のための手段として水泳を活用できるようになることを目的とする。

【実施場所】

エポック・スポーツクラブ日吉(民間クラブ 室内25mプール)

所在地；横浜市港北区箕輪町2-3-7(日吉駅から綱島街道を綱島方面へ徒歩12分)

【服装・携行品・その他】

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル等(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

体育実技A(水泳) 曜日時限未定
(上級者)
(水泳経験が豊富で、個人メドレーができるレベル)
高嶺 隆二

【授業の目的】

・競泳4種目の技術の特性を学び、合理的技能の修得を目指すと同時に指導法を学ぶ。

・水難救助に役立つ競泳以外の泳法(日本古式泳法)の習得。
・競技力の向上、体力の維持・増進、エンジョイ・スイミング

【実施場所】

エポック・スポーツクラブ日吉(民間クラブ 室内25mプール)

所在地；横浜市港北区箕輪町2-3-7(日吉駅から綱島街道を綱島方面へ徒歩12分)

【服装・携行品・その他】

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル等(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

* 着衣水泳の用品：ジーンズパンツ、長袖トレーナー、運動靴

体育実技A(陸上競技) 木曜3限
松田 雅之

【授業の目的】

陸上競技に限らず、様々なスポーツに役立つ正しいランニングフォームを身に付ける。走・跳・投の各種目を通じて、陸上競技の楽しさを体験する。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

トレーニングウェア・ランニングシューズ・スパイク(ある者のみ)

体育実技A(アーチェリー) 月曜2限・3限
(初・中級) 川西 大介

【授業の目的】

・スポーツ経験の少ない者も基礎練習から技術向上のための工夫を通じてスポーツの面白さを体験する。
・個人の身体能力に関わらず、学習し努力すれば達成できる体験を得る。
・的中の向上という目に見える結果に向かって集中力を養う。
・生涯スポーツへの取り組みのきっかけとする。

【実施場所】

日吉台洋弓場(蛸谷東側の丘の上の高校野球場隣) = 慶應義塾Webの日吉台野球場西側)

【服装・携行品・その他】

上衣：運動に適したもので、特に腕、胸や首の周囲がだぶつかないもの。下衣：スカートでの参加は認めません。

靴：ゴム底の運動靴・トレッキングシューズ等のランニングも可能なスポーツシューズ以外での参加は認めません。

服装や態度が不適で、安全の確保ができないと講師が判断した場合は受講を認めません。

着替えが必要な者は、予め記念館・体育研究所内の更衣室を利用すること。

体育実技A(トランポリン) 月曜4限
(初心者向け) 菊池 秀悦

【授業の目的】

トランポリン運動を安全に楽しく行い、基本的な技術を習得する。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

運動に適した服装。(詳細はガイダンスで説明します)

体育実技A(ニュースポーツ) 水曜3限
野口 和行

【授業の目的】

1. 一般的に「ニュースポーツ」と呼ばれるレクリエーション的なスポーツを取り上げ、幅広いスポーツ文化を体験する。
2. スポーツの実践を通して、仲間とのコミュニケーションを図り、生涯にわたってスポーツを楽しむ心を養う。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技B(ニュースポーツ) 金曜3限
村山 光義

【授業の目的】

世界の様々なスポーツ文化・人間の遊びの文化を体験し理解する。スポーツ文化の歴史から、遊ぶ人間「ホモ・ルーデンス」を理解するとともに、スポーツ(遊び)の将来を考える。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技B(フライングディスク) 火曜3限
野口 和行

【授業の目的】

フライングディスクは通称「フリスビー」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称です。ディスクは大きなカーブも長い滞空時間もスローイング次第で自由自在、人間が自力で最も遠くに投げられる物体のひとつです。この授業ではそのような特性を持ったディスクを使用した競技を紹介しながら、公園や海岸でも気軽に楽しむことのできるフライングディスクの楽しさを体感してもらいたいと思っています。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技A(フライングディスク)

木曜2限、金曜2限

村山 光義

【授業の目的】

FLYING DISCとは通称「フリスビー」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称で、数多くの専門競技があります。本授業は、こうしたFLYING DISCの専門競技の紹介と実践をし「空中を浮遊するDISCを本能的に追いかける人間の営み」を通じて新たなスポーツ文化を吸収することをねらいとしています。DISCの最大の特徴は世界記録で200mを越す飛距離と円盤特性による曲進性・滞空性です。DISCを遠くへ、思う所へ投げるとはとても難しく、投げ方も一通りではありません。このスポーツを楽しむ重要な要素が、投げる技術の獲得です。従って、技能向上も重要な目的として授業を展開します。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技A/B(シーズン・スポーツ)

体育実技A(空手)

蓮池 敬一郎

【実施期間】

7月27日(木)~8月3日(木)日曜を除く7日間

【開始時間】

午前10時

【実施場所】

蟻谷道場

【定員】

40名(男女共習)

【目的】

空手の基本(立ち方、突き、蹴り)を実につける。また、希望選択によって組手あるいは形を実施。

【授業内容】

- 1日目 (基本)立ち方、突き、蹴り
- 2日目 1日目と同じ。形希望と組み手希望に分ける。
- 3日目~6日目
基本練習後、グループに分かれ各々の種目の練習。
形・・・平安初段(初心者用)の順番・意味・技の実践を通じてマスターする
組み手・・・突き、蹴りの攻撃技を実践し、徐々にバツグなどを突き、蹴りし、相手をつけて1対1でその技を試してみる。(寸止め)
- 7日目 基本練習後、各自順番に披露。

形・・・平安初段演武

形・・・1対1の試合

〔服装携帯品等〕

空手着を貸すことが原則ではあるが、不足の場合は運動しやすい服装(Tシャツ、長ズボン)。空手着着用の場合、女子は空手着の下にTシャツ。

体育実技A(弓術)

齋藤 隆男

〔実施期間〕

7月27日(木)～8月3日(木)日曜を除く7日間

〔開始時間〕

午前9時

〔実施場所〕

蛸谷 志正弓道場

〔定員〕

40名(男女共習)

〔費用〕

500円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

教本、下ガケ代

〔目的〕

正射必中の射の技術を習得すると共に、道場における礼儀作法、射場における体配(立ち居振る舞い)を学び慶應弓術を理解してもらおう。

〔授業内容〕

(未経験者)

初日 射法説明、イメージトレーニング
2日目～3日目 イメージ、ゴム弓、巻藁
4日目～6日目 巻藁、的前
7日目 班を編成し対抗戦を行う。

(経験者)

初日 射法説明、ゴム弓、巻藁
2日目～6日目 巻藁、レベルをみでの前練習
7日目 班を編成し対抗戦を行う。

〔服装携帯品等〕

前にボタンの無い服装(Tシャツが望ましい)、ピアス、時計、アクセサリ類は外す。熱中症対策の飲料。

体育実技A(水泳)

海洋体験 - Open Water Swimming

鷺見 全弘

〔実施期間〕

8月3日(木)～6日(日)(合宿)(3泊4日)

〔実施場所〕

体育会館山合宿所(千葉県館山市)

〔定員〕

25名(男女共習、ただし種目を問わず50m以上泳げること)

〔費用〕

27,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費(民泊泊)、食費、保険料、スイムキャップ代、その他

〔目的〕

水泳を含めた海洋での体験を通じて、四方を海に囲まれた日本の自然環境を理解するとともに、海での活動の楽しさを知り、レベルに応じた泳力を身に付けることを目的とする。

〔授業内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

レベル (初級者)

- ・海で安全に活動するために必要な、基本的な最低限の泳力を身につける
- ・合宿所前海岸での練習中心

レベル (中・上級者)

- ・効率の良い泳ぎ方や進路のとり方など、海での活動に欠かせない泳力・技術を身につける
- ・合宿所前海岸での練習から入り、海に慣れたら合宿所前の海岸と隣の海岸の間の岸沿いで練習

レベル ・ 共通

- ・シーカヤックおよびシュノーケリングの体験
- ・状況が常に変化する海という環境における自己保全能力(適応能力)の習得

*レベルを問わず、海での練習では3人でパディを組み常に安全確認を行う

*最終日にレベルに応じた距離で集団泳を行う

*海岸間での練習や集団泳には手漕ぎボートまたはレスキュー艇が伴走する

1日目午後 開講式(ガイダンス)、レベル分けテストおよび試泳

2日目午前 水泳

2日目午後 水泳およびシーカヤック体験

3日目午前 水泳およびシーカヤック体験

3日目午後 水泳およびシュノーケリング体験

4日目午前 レベルに応じた距離で集団泳、その後レスキュー艇でシュノーケリング適地に遠征

4日目午後 水泳、シュノーケリング、シーカヤックの選択練習、閉講式

〔服装・携行品・その他〕

日常衣類、水着、水泳用ゴーグル、水中メガネ、シュノーケルほか

体育実技B(山岳)

丸 誠一郎

〔実施期間〕

7月29日(土)～8月1日(火)(合宿)(3泊4日)

〔開始時間〕

7月29日午前11時

〔実施場所〕

北アルプス表銀座周辺(常念岳～餓鬼岳)

〔定員〕

20名(男女共習)

【費用】

36,000円(山岳傷害保険料含む、東京～信濃大町の往復交通費を含まず)

【費用内訳】

宿泊・食費:30,000円 輸送費4,500円 保険料:1,100円 雑費:400円

【目的】

1915年来受け継がれた、塾山岳部の「重装主義」という登山哲学を基本に、北アルプスの高山植物に親しみ、リーダーシップとチームワーク、縦走登山の基礎技術を楽しく学ぶ。

【授業内容】

【指導戦略】:4名の登山現役の山岳部POB・OG、1名の医学部山岳部OBが帯同し、登山経験が全くない塾生でも、楽しい山の思い出が作れるよう、登高会(山岳部OB会)全体で緻密な準備を行います。急病人・怪我人の救出対応に関しても、万全の対応を図れるよう塾体育研究所とも協議を重ねております。

【日程】7月初旬 健康ストレッチ会・気象・医療・地形準備会(勉強会)

7月27日 最終準備会・装備貸し出し

7月29日 11時 信濃大町駅集合 一の沢登山口 常念小屋 常念岳アタック

7月30日 大天井岳 燕山荘

7月31日 燕岳 東沢乗越 餓鬼岳

8月1日 大風山 白沢三俣へ下山 信濃大町駅解散
8月下旬までに、エッセイ提出、貸与した登山用品の返却をお願いします。

【服装携帯品等】

夏山登山用具一式をご用意いただき、ザック、雨具など一部の用具は貸与します。但し、夏山とは言え、北アルプスの縦走を計画しているので、歩きやすい登山靴をご用意ください。

体育実技B(馬術)

細田 壮一

【実施期間】

8月1日(火)～8月4日(金)(合宿)(3泊4日)

【開始時間】

集合8月1日(火) 午前8時日吉キャンパス構内

【実施場所】

朝霧乗馬牧場(〒418-0190 静岡県富士宮市麓585 TEL0544-52-0890)

宿泊 朝霧高原グリーンパーク(静岡県富士宮市麓字浅野146 TEL0544-52-0101)

【定員】

36名(男女共習)

【費用】

49,000円(交通費を含む)

【費用内訳】

宿泊代 交通費 食費 テキスト代 借馬料 施設利用料等込み

【目的】

馬術というスポーツを通じて、活発な身体活動を図り、体育会活動の経験をさせる。

馬上での技術向上と共に、馬の世話や厩舎作業など総合的な馬の管理を体得する。

合宿課目であるため起床から就寝まで規則正しい生活をして、ルール・マナーの徹底を図る。

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

騎乗練習:乗馬、下馬、常歩・速歩での発進、停止、左右への回転

作業実習:厩舎作業、馬の手入れなどの体験

講義:馬の扱い方、馬術の基本、馬具・飼料についてなど

(内容と順序は変更になる場合があります)

【服装・携行品・その他】

ポロシャツ(白) トレーニングウエア上下 運動靴 靴下 軍手 着替え 洗面用具 筆記用具 防寒具 帽子 虫除け 持薬 保険証のコピー 学生証 領収書

体育実技B(ヨット)

金子 隆司

【実施期間】

7月31日(月)～8月3日(木)(合宿)(3泊4日)

【開始時間】

第一日目 集合時間 14:00(京浜急行三崎口駅)

【実施場所】

神奈川県三浦市

【定員】

40名(男女共習)

【費用】

37,000円(自宅から集合・解散場所までの交通費を除く)

【費用内訳】

宿泊費、食費、用具費、教材費、他

【目的】

小泉信三塾長は、ヨットについて「自然に順(したが)い、自然を制す」と表現し、スポーツとしてのヨットの意義について記されています。本クラスの目的は、人を相手とする他のスポーツと異なり、一切の妥協を許さぬ海上で、セーリング技術の習得を通じて、自然の素晴らしさと厳しさを体験し、理解することにあります。

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

短い期間中にできるだけヨットに乗り、セーリングの基本技術と安全知識を習得することを目的とした実習プログラムを編成します。

第1日目 ガイダンス、座学:「ヨットに関する基本知識(セーリングの原理、ヨットの構造)」、ローワーク実習

第2日目 小型艇(ディンギー)、大型艇(クルーザー)を使用したセーリング実習

第3日目 セーリング実習

第4日目 セーリング実習、実技合宿成果のまとめ

・小型艇は大学選手権に使われる2人乗りのレース艇で

す。インストラクター1名と履修生1~2名が乗艇します。大型艇は外洋帆走可能な10人以上乗れるヨットです。インストラクター1~2名と履修生5~7名が乗艇します。

- ・小型艇と大型艇のどちらにも乗艇できるように配慮します。
- ・初めてヨットに乗る人を対象とした実習となりますが、再受講者、ヨット/ウィンドサーフィン経験者の参加も歓迎します。
- ・実習中は全員ライフベスト(救命胴衣)を着用しますので、泳げない人でも大丈夫です。船酔いする人もこの機会に乗り物酔いを克服しましょう。
- ・大学での唯一の臨海学校ですので毎年楽しい思い出ができますが、授業というルールのもとでの合宿なので、団体生活が苦手な人にはお勧めしません。

〔服装・携行品・その他〕

ヨットに乗ると必ず濡れますので、4日間の着替えは多めに持ってきてください。水着のままでの乗艇はできませんが、その上にTシャツなどを着用するのは構いません。直射日光の下での実習になりますので、肌を守るための準備(長袖シャツや日焼け止めクリーム等)を心がけてください。帽子は必携です。ただし、つばの大きいもの(麦わら帽子等)は風で飛ばされてしまいます。

[持参するもの] 水着、ポロシャツ/Tシャツ、ウィンドブレーカー、長ズボン、短パン、パジャマ、下着類、スニーカー(乗艇用と陸上用の2足)、洗面用具、タオル(大・小)、日焼け止め、筆記用具、防水腕時計、演芸小道具など。

[お小遣い] 実技合宿中はお金を使う機会はほとんどありません(実習中の飲み物は用意されています)ので、往復の電車賃と少しのお小遣いがあれば十分です。

体育実技A(器械体操)(女子は器械体操または新体操)
首藤 聡史

〔実施期間〕

9月13日(水)~9月22日(金)土曜・日曜・祝日を除く7日間

〔開始時間〕

15:00~17:00

〔実施場所〕

記念館

〔定員〕

30名

〔目的〕

タンブリングフロア、トランポリン等様々な器具を使用して、身体バランス、巧緻性を養い安全で楽しく器械体操・新体操の基礎を学ぶ

〔授業内容〕

器械体操

- 1日目 ガイダンス及び器具のセッティングの方法、各種目のポイント説明 基礎運動
- 2日目 床運動、トランポリンの基礎練習(前方系の技)選択種目の説明

3日目 床運動、トランポリンの基礎練習(後方系の技)選択種目の説明

4日目 床運動、トランポリン練習及び選択種目の練習

5日目 床運動、トランポリン練習及び選択種目の練習

6日目 床運動、トランポリン練習 演技発表に向けての練習

7日目 演技発表会

〔服装携帯品等〕

安全に授業をおこなうために、ネックレス、ブレスレット、時計等ははずして授業をうけること。

体育実技A(端艇)

月村 繁雄

〔実施期間〕

9月14日(木)~9月22日(金)日曜・祝日を除く7日間

〔開始時間〕

9:00

〔実施場所〕

体育会端艇部戸田艇庫(埼京線戸田公園駅下車10分)

〔定員〕

20名(男女共習)

〔費用〕

交通費は実費

〔目的〕

日吉・三田といった従来のキャンパスを出て端艇部の施設を利用して、同じ塾内に運動に熱心に取り組んでいる塾生(端艇部員)の姿をみせつつ、普段慣れ親しみのない漕艇を体験し運動不足を解消し、また今後の体力増進のきっかけとなるように指導する。

〔授業内容〕

第1日目 - ボートに対する知識を教示する。艇庫利用および戸田コース使用上の注意説明。艇の取り扱い説明。基礎運動。バック台・エルゴ(陸上で漕ぐ動きを確認する機材)で体の動かし方を指導。

第2日目 - 前日と同様とする。乗艇練習の時間を増やす。

第3日目 - バック台・エルゴおよび乗艇練習。艇とオールさばきに個々のペースでまず慣れてもらう。

第4日目 - 乗艇練習。体の動きをあわせることを意識してもらう。

第5日目 - 乗艇練習。乗艇時間、距離ともに増やす。

第6日目 - 乗艇練習。

第7日目 - 他の練習艇と並べてボートの楽しさを実感してもらう。

〔服装携帯品等〕

着替えを用意していただきたい。風呂シャワーは艇庫のものを利用可。

体育実技B(夏のバレーボール)

石手 靖

〔実施期間〕

9月14日(木)~9月21日(木)日曜・祝日を除く6日間

〔開始時間〕

10:00~12:30

〔実施場所〕

日吉記念館及び県立湘南海岸公園内サーフビレッジ
(神奈川県藤沢市鵜沼海岸)

〔定員〕

30名

〔費用〕

1,440円

〔費用内訳〕

鵜沼海岸への交通費(参考:日吉~鵜沼海岸往復)

〔目的〕

集中的な練習により、バレーボールを理解し技術の向上を目指す。またビーチバレーを通じて、仲間との新たな遊び方を体験する

〔授業の内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

1~2日目:基礎技術の練習(パス・トス・レシーブ・サーブ・スパイク・ブロック)

3~4日目:実践的な複合練習(攻撃法と守備法)

5~6日目:ゲーム練習

ビーチバレー体験は、3日目と6日目の2日間の予定

実施時間は10:00~15:00

ただし期間中の天候(雨・風)により日程変更あり

〔服装・携行品・その他〕

スポーツウェア及びシューズ

体育実技B(アウトドアレクリエーション)

野口 和行

〔実施期間〕

9月5日(火)~9日(土)(合宿)(4泊5日)

〔実施場所〕

長野県立科町 慶應義塾立科山荘

〔定員〕

50名(男女共修)

〔費用〕

27,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、食費、プログラム費、傷害保険料、雑費

〔目的〕

- ・自然の中でのレクリエーションな活動を通しての自然環境の理解
- ・各活動に関する技術とそれに伴うさまざまな知識の習得
- ・集団生活を通しての人間関係の理解

〔授業の内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

この授業は長野県立科町にある慶應義塾の山荘に宿泊しながら、周辺の豊かな自然環境を利用したさまざまなプログラムを行います。いくつかのプログラムから自分の希望するものをチョイスする選択プログラム制で、経験豊かなスタッフがそれぞれのプログラムのガイド役を務めます。立科での5日間を通して、自然、ひと、自分とうまく付き合っていく方法を学んでみませんか?

1日目:設営、夕食作り

2日目:選択プログラム1

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミング、ロッククライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

3日目:選択プログラム2

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミング、ロッククライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

4日目:森の時間、アウトドアパーティー

山荘周辺でクラフト、料理等の静的なプログラムの体験、会食形式のパーティー

5日目:撤収、ふりかえり

〔服装・携行品・その他〕

要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

体育実技B(スキー)

吉田 久男

〔実施期間〕

2月8日(木)~11日(日)(合宿)(3泊4日)

〔実施場所〕

志賀高原発着温泉スキー場周辺(長野県)

〔定員〕

120名(男女共習)

〔費用〕

45,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

リフト代含む。

〔目的〕

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する(自然・人間の理解)。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定された達成目標をクリアするための努力実践をする(自己への挑戦)。

達成目標の具体例

初心者:山頂からのツアーの達成

初級班:ブルークボーゲンの完成

中・上級班:緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

〔授業内容〕

1日目

午後 開校式、実技(技術班分・導入実技)夕食後班別ミーティング

2日目

午前・午後 実技(ビデオ撮影・課題練習)夕食後班別ミーティング

3日目

午前・午後 実技(ポール体験・ツアー・課題練習)夕食後班別ミーティング

4日目

午前 実技(班別デモンストレーション・まとめ)

閉校式〔服装携帯品等〕

詳細は別途実施要項を参照のこと。

〔服装・携行品・その他〕

詳細は別途実施要項を参照のこと。

体育実技B（スケート）

小山 正

〔実施期間〕

2月6日（火）～9日（金）（合宿）（3泊4日）

〔実施場所〕

軽井沢スケートセンター

〔定員〕

40名（男女共習）

〔費用〕

28,000円（交通費を除く）

〔費用内訳〕

宿泊費、リンク貸切料、滑走料、障害保険料、雑費

〔目的〕

- ・スケートに関する知識及び技術の習得
- ・合宿生活の経験及び他学部の仲間との懇親

〔授業の内容〕（内容と順序は変更になる場合があります）

スケートの基礎知識を習得し、スケートの各種目（フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート）の体験をします（選択可能）。レベル別に班分けをし指導しますので初心者、経験者共に十分に楽しむことの出来る内容になっています。この機会にスケートの楽しさを体感しましょう！

一日目：開講式、基本技術の習得（フォア、バック、ストップ等）

二日目：基本技術の習得（ターン、クロス、ジャンプ、スピン）

三日目：フィギュア、アイスホッケー、スピードスケート、各種目の体験

四日目：氷上運動会、閉校式

〔服装・携行品・その他〕

防寒着、手袋、帽子など。要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

3 保健管理センター

1. 保健管理センター設置講座開講にあたり

めまぐるしい医学の前進と社会情勢の変化に対応でき、健康で健康志向の強い人になるための独自の講座を設置しています。

2. 設置科目履修上の取扱について

「現代社会と医学」(月曜日4時限)と「現代社会と医学」(水曜日4時限)は、日吉キャンパスで春学期と秋学期にそれぞれ開講します。春学期と秋学期の講義内容は同じで、単位は2単位です。受講を希望する場合は履修の取扱について、各学部、研究科で確認の上、履修申告をして下さい。

現代社会と医学
「海外生活と医療」

【全】 2単位 春・秋
コーディネーター 保健管理センター教授
南里清一郎 ほか

〔授業科目の内容〕

現在の日本では、1600万人以上の人々が海外旅行をし、仕事や留学などの長期滞在者は、60万人以上です。途上国は医療事情が悪く、いざという時の緊急医療でさえも不安があります。先進国では医療費が高く医療機関受診方法に不安があります。感染症の予防に関しては、予防接種が重要な意味を持ちますが、途上国においては、個人防衛のために必要であり、先進国、特にアメリカでは集団生活(留学など)を行う際に義務となります。生活習慣病に関しては、環境の変化による持ち出し病の悪化や、発症を早める可能性もあります。また、カルチャーショックによる、精神保健的な問題も生じます。

以上のような事に関し、保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。塾派遣留学生など留学を希望する学生は是非受講してください。留学先を勘案し、講義内容は変更することがあります。

〔参考書〕

保健衛生、各担当者による資料の配布

現代社会と医学
「現代社会とCommon Disease」

【全】 2単位 春・秋
コーディネーター 保健管理センター所長
齊藤郁夫 ほか

〔授業科目の内容〕

高血圧症、高脂血症、糖尿病、肥満、がんなど、日本人の代表的な病気(common disease)は、運動不足、食べ過ぎ、喫煙などの生活習慣との関連が強いことから生活習慣病と呼ばれています。また、エイズ、結核などの感染症、ストレスと関連する精神疾患も増えてきてい

ます。アメリカのBreslowは7つの健康な生活習慣、喫煙をしない、適度な飲酒、定期的な運動、適正体重の維持、適正な睡眠時間、毎日朝食を食べる、間食をしない、について健康習慣を多く続ける人ほど加齢による老化を相対的に遅らせ、不健康な生活習慣を続ける人ほど早く老化し、死亡率も高くなっているといっています。若いときから、common diseaseについて知り、健康的な生活習慣を理解し、実行するための保健教育の意義はますます大きくなっています。下記の講義内容に関し保健管理センターの各専門家がオムニバス形式で講義を行います。

〔参考書〕

保健衛生、各担当者による資料の配布

4 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターでは、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、インドネシア語、アラビア語、およびイタリア語の9外国語について、「表現技法」をキーワードとし、「聴く」「話す」ことから出発し、「読み」「書き」さらに「発想・思考」にいたる外国語学習本来のプロセスを尊重し、各要素のバランスのとれた外国語コミュニケーション能力が確実に身につくよう、少人数編成のクラスで授業を行います。また、超上級クラス、基礎固めのクラス、各種の検定試験に特化したクラスも用意されています。さらに、これらの設置科目のほかに、学部で開講されている外国語科目の一部が外国語教育研究センターに併設されています。

外国語教育研究センターでは、夏休みに慶應立科山荘で行う外国語集中セミナーや、春休みに行う海外短期語学研修、および高校生から大学院生を対象としたアカデ

ミック論文コンテストなどを企画しています。詳細が決定し次第、外国語教育研究センターのホームページや掲示で広報し、参加者を募る予定です。

以下に本年度開講される外国語教育研究センター設置科目の一覧を掲載します。ガイダンス、履修の手続き、および各科目の詳しい講義内容ならびに併設科目については、別途配布の『外国語教育研究センター 履修案内・講義要綱』を参照してください。

ガイダンス日程：4月7日（金）13：00～ J14番教室

履修希望者が定員を超えた科目は抽選あるいは選考となります。

なお、センターが履修を許可した科目は必ず履修申告しなければなりません。

外国語教育研究センター設置科目一覧（日吉）

* 科目名に(a)(b)と表記されている科目は春(a)と秋(b)をセットで履修することが義務付けられている科目です。

* 科目名に()()と表記されている科目は春()・秋()どちらかひとつの履修あるいは両方の履修が可能です。

* 英語テスト対策TOEFL (Writing) ・英語初級1 ・英語初級2 は「半期終了科目」です。

* 英語研修は2006年2月から3月に実施した海外研修に参加した学生のみ履修できます。

語種	科目名	担当講師名	設置学期	曜日・時限	定員	形態	単位数
英語	英語最上級 アドバンス英語(a)	レイサイド、ジェイムズ	春	月・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンス英語(b)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンス英語		春秋			通年	2
	英語最上級 アドバンス英語(a)	シェイ/ハンリ	春	木・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンス英語(b)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンス英語		春秋			通年	2
	英語最上級 アドバンス英語(a)	ハッター、デビット	春	木・2	25	半期	1
	英語最上級 アドバンス英語(b)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンス英語		春秋			通年	2
	英語最上級 アドバンス英語(a)	スネル、ウィリアム	春	金・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンス英語(b)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンス英語		春秋			通年	2
	英語異文化トレーニング(a)	吉田 友子	春	水・4	25	半期	1
	英語異文化トレーニング(b)		秋			半期	1
	英語異文化トレーニング		春秋			通年	2
	英語ドラマ(a)	横山 千晶	春	火・2	15	半期	1
	英語ドラマ(b)		秋			半期	1
	英語ドラマ		春秋			通年	2
	英語翻訳(a)	武藤 浩史	春	木・2	20	半期	1
	英語翻訳(b)		秋			半期	1
	英語翻訳		春秋			通年	2
	英語テスト対策 TOEFL()	中村 優治	春	木・2	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEFL()		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEFL()	バトラー、アン	春	水・3	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEFL()		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEFL(Writing)	水野 邦太郎	春	火・4	25	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC()	狩野 みき	春	木・3	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC()		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC()	狩野 みき	春	木・4	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC()		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC()	パロウス、リチャード	春	月・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC()		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC()(上級)	パロウス、リチャード	春	金・5	30	半期	1
英語テスト対策 TOEIC()(上級)	秋		半期			1	

英語	英語テスト対策 IELTS()	ギブソン、ロバート	春	水・4	30	半期	1
	英語テスト対策 IELTS()		秋			半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション() (初級)	ファロン、ルース	春	金・4	20	半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション() (初級)		秋			半期	1
	英語アカデミック・ライティング()	和田 朋子	春	火・4	25	半期	1
	英語アカデミック・ライティング()		秋			半期	1
	英語初級1 (文法・作文・リーディング)	横山 千晶	春	水・4	30	半期	1
	英語初級2 (発音・リスニング・スピーキング)	横山 千晶	秋	水・4	30	半期	1
	英語研修 オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ大学	横山 千晶	春		25	半期集中	2
英語研修 米国 カリフォルニア大学サンタクルーズ校	吉田 友子	春		30	半期集中	2	
ドイツ語	ドイツ語表現技法1(a) (初級発音・聴解練習)	境 一三	春	金・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法1(b) (初級発音・聴解練習)		秋			半期	1
	ドイツ語表現技法1 (初級発音・聴解練習)		春秋			通年	2
	ドイツ語表現技法2(a) (ボキャブラリー・トレーニング)	鈴村 直樹	春	火・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法2(b) (ボキャブラリー・トレーニング)		秋			半期	1
	ドイツ語表現技法2 (ボキャブラリー・トレーニング)		春秋			通年	2
	ドイツ語表現技法3(a) (初級文章表現法)	ゲラート、アンネ	春	水・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法3(b) (初級文章表現法)		秋			半期	1
	ドイツ語表現技法3 (初級文章表現法)		春秋			通年	2
フランス語	フランス語表現技法1() (課題作文)	前島 アンヌ=マリー	春	木・1	20	半期	1
	フランス語表現技法1() (課題作文)		秋			半期	1
ロシア語	ロシア語聴解(a) (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)	杉野 由紀	春	金・4	25	半期	1
	ロシア語聴解(b) (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)		秋			半期	1
	ロシア語聴解 (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)		春秋			通年	2
中国語	中国語聴解1() (上級) (耳で中国語をキャッチしよう)	劉 穎	春	火・4	25	半期	1
	中国語聴解1() (上級) (耳で中国語をキャッチしよう)		秋			半期	1
	中国語表現技法1() (上級) (中国語作文・翻訳技法)	呉 敏	春	金・3	25	半期	1
	中国語表現技法1() (上級) (中国語作文・翻訳技法)		秋			半期	1
	中国文翻訳() (最上級)	関根 謙	春	木・3	25	半期	1
	中国文翻訳() (最上級)		秋			半期	1
	中国語表現技法2() (最上級)	呉 敏	春	金・4	25	半期	1
	中国語表現技法2() (最上級)		秋			半期	1
スペイン語	スペイン語表現技法1(a) (初級)	モジャーノ、ファン・カルロス	春	金・2	25	半期	1
	スペイン語表現技法1(b) (初級)		秋			半期	1
	スペイン語表現技法1(初級)		春秋			通年	2
	スペイン語表現技法2(a) (中級)	大楠 栄三	春	金・2	25	半期	1
	スペイン語表現技法2(b) (中級)		秋			半期	1
	スペイン語表現技法2(中級)		春秋			通年	2
インドネシア語	インドネシア語ベーシック1(a)	野村 亨 トク、スハルディアント	春	月・1 金・4	30	半期	2
	インドネシア語ベーシック1(b)		秋			半期	2
	インドネシア語ベーシック1		春秋			通年	4
アラビア語	アラビア語(a)	高田 康一	春	水・3	30	半期	1
	アラビア語(b)		秋			半期	1
	アラビア語	高田 康一	春秋	水・4	30	通年	2
	アラビア語(a)		春			半期	1
	アラビア語(b)		秋			半期	1
アラビア語	春秋	通年	2				
イタリア語	イタリア語表現技法() ボキャブラリー・トレーニング	ジョエ、イニャツィオ	春	水・3	25	半期	1
	イタリア語表現技法() ボキャブラリー・トレーニング	未 定	秋			半期	1

2006年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)春学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月	インドネシア語ベーシック1(a) インドネシア語ベーシック1	野村			英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語	レイザイ			英語テスト対策 TOEIC()	ハロウス
火			英語ドラマ(a) 英語ドラマ	横山			英語テスト対策TOEFL(Writing) 英語アカデミックライティング() ドイツ語表現技法2(a) ドイツ語表現技法2 中国語聴解1() (上級)	水野 和田 鈴村 劉		
水					英語テスト対策 TOEFL() アラビア語(a) アラビア語 イタリア語表現技法()	ハトラ 高田 ジョエ	英語異文化トレーニング(a) 英語異文化トレーニング 英語初級1 英語テスト対策IELTS() ドイツ語表現技法3(a) ドイツ語表現技法3 アラビア語(a) アラビア語	吉田 横山 ギブソン グレート 高田		
木	フランス語 表現技法1()	前島	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語 英語翻訳(a) 英語翻訳 英語テスト対策TOEFL()	ハッター 武藤 中村	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語 英語テスト対策TOEFL() 中国文翻訳() (最上級)	シェイ 狩野 関根	英語テスト対策 TOEFL()	狩野		
金			スペイン語表現技法1(a) (初級) スペイン語表現技法1(初級) スペイン語表現技法2(a) (中級) スペイン語表現技法2(中級)	モジャーノ 大楠	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語 中国語表現技法1() (上級)	スネル 呉	英語オーラル・ プレゼンテーション() (初級) 中国語表現技法2() (最上級) ドイツ語表現技法1(a) ドイツ語表現技法1 ロシア語聴解(a) ロシア語聴解 インドネシア語ベーシック1(a) インドネシア語ベーシック1	ファロン 呉 境 杉野 トク	英語テスト対策 TOEIC() (上級)	ハロウス
土										

2006年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)秋学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月	インドネシア語ベーシック1(b) インドネシア語ベーシック1	野村			英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語	レイザイ			英語テスト対策 TOEIC()	ハロウス
火			英語ドラマ(b) 英語ドラマ	横山			英語アカデミックライティング() ドイツ語表現技法2(b) ドイツ語表現技法2 中国語聴解1() (上級)	和田 鈴村 劉		
水					英語テスト対策 TOEFL() アラビア語(b) アラビア語 イタリア語表現技法()	ハトラ 高田 未定	英語異文化トレーニング(b) 英語異文化トレーニング 英語初級2 英語テスト対策IELTS() ドイツ語表現技法3(b) ドイツ語表現技法3 アラビア語(b) アラビア語	吉田 横山 ギブソン グレート 高田		
木	フランス語 表現技法1()	前島	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語 英語翻訳(b) 英語翻訳 英語テスト対策TOEFL()	ハッター 武藤 中村	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語 英語テスト対策TOEFL() 中国文翻訳() (最上級)	ハンリ 狩野 関根	英語テスト対策 TOEFL()	狩野		
金			スペイン語表現技法1(b) (初級) スペイン語表現技法1(初級) スペイン語表現技法2(b) (中級) スペイン語表現技法2(中級)	モジャーノ 大楠	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語 中国語表現技法1() (上級)	スネル 呉	英語オーラル・ プレゼンテーション() (初級) 中国語表現技法2() (最上級) ドイツ語表現技法1(b) ドイツ語表現技法1 ロシア語聴解(b) ロシア語聴解 インドネシア語ベーシック1(b) インドネシア語ベーシック1	ファロン 呉 境 杉野 トク	英語テスト対策 TOEIC() (上級)	ハロウス
土										

5 情報処理教育室

情報処理教育室では、情報処理に関する講座を開講しています。

情報処理に関する知識・技術を持つことは、学生諸君にとって今や必須のこととなっています。将来、各学部専門課程に進学してからの学習・研究活動に役立つだけでなく、1年生からの学習・学内の諸活動に大変有効です。なるべく早い機会に履修しておくことを勧めます。

1 ガイダンス

次の2回のうち、都合の良い時間に出席してください。

4月5日(水) 14:00~14:45 J21番教室

14:45~15:30 J21番教室

2 受講申し込み手続き

受講する科目が決まったら、証紙券売機で受講料分の証紙を購入し、申し込み用紙に貼付して窓口へ提出してください。各講座とも定員になり次第締め切ります。

その際、学生証を提示してください。

日時：4月10日(月) 9:00~16:00

4月11日(火) 9:00~16:00

4月12日(水) 9:00~16:00

場所：日吉学事センター 情報処理教育室窓口

3 履修上の注意

情報処理教育室に申し込みを行った科目については、必ず各学部の履修案内にしたがって各自で履修申告をしてください。履修申告を行わないと単位は与えられませんので特に注意してください。また、受講申し込みを提出しないで履修申告をしても単位は認められません。

履修申告により単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

4 問合せ先

情報処理教育室(日吉学事センター内)

5 平成18年度開講科目及び受講料

設置講座は受講料が必要です。なお、文学部、経済学部、法学部、商学部生が当年度学部設置の情報処理基礎関連の科目(文学部：基礎情報処理 経済学部：情報処理 法学部：情報処理 ・ 商学部：情報リテラシー基礎)を定員の関係で履修できずに「情報処理概論(パソコンによる情報整理学)」を申し込む場合には受講料は免除されます。申し込み方法は変更ありませんが、学生証を提示してその旨申し出てください。

平成18年度 情報処理教育室設置講座(日吉)

講座名	クラス	担当者	時期	定員	受講料	単位	
情報処理概論	11A	恩田 憲一	通年	100	12,000円	4	
	11B	斎藤 博昭		50			
情報処理概論	13A	河内谷幸子		46			
情報処理概論	JAVA	12D	藤村 光	春学期	50	6,000円	2
情報処理概論	JAVA	12E	藤村 光	秋学期	50	6,000円	2
情報処理応用	コンピュータグラフィックス	31A	大野 義夫	春学期	50	5,000円	2

開講曜日・時限は学部の時間割ではなく、情報処理教育室設置講座の時間割に記載されます。授業は、学部授業と同様4月8日(土)から開始されます。

情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年
恩田 憲一

【授業科目の内容】

当科目はコンピュータプログラムの初心者を対象として開講します。具体的な内容としては、コンピュータの原理、式、変数、入出力、条件分岐、ループ、配列、ポインタ、関数、記憶クラス、スコープ、構造体、ファイル入出力などの項目を学び、C言語における中級レベルのプログラミング能力が身に付く事を目標として、通年で実習を交えた講義を行います。初心者を対象としているので基礎的な事項から講義を行いますが、既にプログラムが書ける学生が履修した場合にも、より高度な知識の習得と体系化に役立つよう配慮した内容となっています。C言語の基本的な知識の習得が終わる秋学期の後半からは、一般的に広く普及しているWindows上で動作する、Windowsプログラミングの書き方を学習する予定です。教室での実習はITCのパーソナルコンピュータにインストールされたMicrosoft VisualStudio.netを使用しますが、ノートPCや自宅PCでの学習を希望する人を対象として、フリーソフトウェアのみで構成されたプログラミング環境の構築も指導します。

【教科書】

河西朝雄著「入門ソフトウェアシリーズ C言語」(ナツメ社、2002年、1750円)

【参考書】

B.W.Kernighan,D.M.Ritchie著/石田晴久訳「プログラミング言語C」(共立出版、2001年、2,800円)
Charles Petzold著/長尾高弘訳「プログラミングWindows 第5版(上・下)」(MicrosoftPress、2002年、各5,200円)

情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年
斎藤 博昭

【授業科目の内容】

C言語を使ってプログラミングの基礎を習得します。C言語は広く世の中で使われているコンピュータ言語です。難しい数学は使わず、“きちんとした考え方”をすることで、プログラミングの楽しさを味わえます。プログラミングをすることで、コンピュータの中でどのようなことが起こっているのかがわかり、IT社会で生きていく上で必ずや役に立つでしょう。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。Web上に資料を載せるので、必要に応じて印刷して授業に臨んでください。

【参考書】

授業時に指示します。

情報処理概論

「パソコンによる情報整理学」 4単位 通年
河内谷幸子

【授業科目の内容】

日吉ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を覚えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。この講義では、できるだけ多くの実習をとり入れる予定である。

【教科書】

山本喜一著「入門情報処理」(J.B.企画)

情報処理概論 (Java)

「Java言語によるプログラミング入門」 2単位 春
藤村 光

【授業科目の内容】

プログラミングの経験のない学生に対し、Java言語を用いてコンピュータを動かす方法、および基本的な考え方を紹介します。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順で、プログラムを作成する際に必要となる一般的な知識を習得するのが目的です。

【教科書】

Webサイト <http://web.hc.keio.ac.jp/fujimura/> で公開。適宜更新します。

【参考書】

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理概論 (Java)

「Javaらしいプログラミングとは」 2単位 秋
藤村 光

【授業科目の内容】

Java言語を用いてコレクション(構造をもつデータ)の処理、描画、入出力(ファイルや通信)といったテーマを扱います。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順で、オブジェクト指向プログラミングを習得するのが目的です。

情報処理概論 (Java)を受講したレベルの前提知識を想定していますが、他の言語のプログラミング経験があれば十分です。

【教科書】

Webサイト <http://web.hc.keio.ac.jp/fujimura/> で公

開。適宜更新します。

【参考書】

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理応用

「コンピュータ・グラフィックス」

2単位 春
大野 義夫

【授業科目の内容】

コンピュータを用いて画像やアニメーションを作る技術を、実習中心として学ぶ。実習には、大学のパソコンを使用し、フリーソフトであるPOV-Rayを用いる。フリーソフトなので、自宅のパソコンで続きを行うことも可能である。

【教科書】

特定の教科書は使いません。必要な教材はPowerPointファイルなどとしてWebに掲示します。

【参考書】

小室日出樹「はじめてのCG-POV-Rayで出会う3DCGの基礎」CG-ARTS協会

6 教養研究センター

大学教養研究センター設置科目(極東証券寄附講座)

人類の知的営為の成果を継承・発展させることは大学の重要な役割のひとつです。また、大学には実際に広大な「知」の世界が広がっています。この世界に触れることで多様な価値観を知り、そこから自分の関心と進むべき方向を定めることは有意義な大学生活を送るための不可欠な作業です。と同時に、大学では「自ら考え、選び、学ぶこと」も求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を支える「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。

そのために、教養研究センターでは、極東証券寄附講座として「生命の教養学」(春学期1コマ)と「アカデミック・スキルズ」(春学期3コマ)「同」(秋学期3コマ)を授業設置しています。「生命をどう捉えるか?」をキーワードとする「生命の教養学」は、広大な「知」の世界に触れるためのきっかけとなるはずの授業です。「アカデミック・スキルズ」の目的は、「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを、グループ作業と個人研究を通じて身につけることにあります。皆さん方の積極的な履修を期待します。

1. 平成18年度開講科目

- 春学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)
火曜日5時限 定員15名
- 春学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)
水曜日5時限 定員15名
- 春学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)
金曜日5時限 定員15名
- 秋学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)
火曜日5時限 定員15名
- 秋学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)
水曜日5時限 定員15名
- 秋学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)
金曜日5時限 定員15名
- 春学期「生命の教養学」(2単位)
木曜日3時限 定員100名

2. ガイダンス

履修希望者は下記のガイダンスに必ず出席してください。

- 教養研究センター設置科目全体ガイダンス
4月7日(金) 14:30~16:00
会場: J21番教室
科目・クラス別ガイダンス
1)「生命の教養学」
4月13日(木) 13:00~
会場: 来往舎1Fシンポジウム・スペース

- 2)「アカデミック・スキルズ(/)」
4月11日(火) 16:30~
会場: 来往舎1Fシンポジウム・スペース
4月12日(水) 16:30~
会場: 来往舎1Fシンポジウム・スペース
4月14日(金) 16:30~
会場: 来往舎1Fシンポジウム・スペース

3. 受講申込み手続き

上記のガイダンス(初回の授業)に出席し、その際に氏名登録した学生のみ「受講申込み」の権利を与えます。ただし、定員オーバーの場合には抽選を行います。

「授業申込み」の権利を得た学生は、所属学部の履修案内にしたがって「履修申告」をしてください。

4. 履修上の注意

教養研究センターの科目については、単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないように履修してください。成績評価は各科目につきますが、履修上、次のことに注意してください。

- *「アカデミック・スキルズ」の履修者は、より広い視点から学習テーマを見据えるという意味で、春学期・教養研究センター設置「生命の教養学」(木曜日3時限)を履修することが望ましい。
- *「生命の教養学」だけを単独科目として履修することは可能です。
- *上記以外、各曜日の「アカデミック・スキルズ / 」では、学部設置の関連講義科目との組み合わせ履修が原則とされる場合があります。関連講義科目の詳細については各クラスの初回授業(ガイダンス)にて説明いたしますので、履修希望者は必ず参加してください。

5. 問合せ先

教養研究センター事務室(来往舎1階事務室)
教養研究センター極東証券寄附講座担当
(TEL 045-566-1151 平日8:30~17:00)

教養研究センター極東証券寄附講座

「アカデミック・スキルズ」[春学期]

「知の基盤を築く・」

湯川 武	伏見岳志
村山光義	武藤浩史
鵜崎明彦	加茂具樹
佐藤元状	横山千晶

【授業科目の内容】

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生

を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行なわれる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、本年度は基礎編「アカデミック・スキルズ」[春学期]と、応用編にあたる「アカデミック・スキルズ」[秋学期]がそれぞれ3コマ開講されます。「アカデミック・スキルズ」の履修者は、原則として秋学期に「アカデミック・スキルズ」を履修することになります。各「アカデミック・スキルズ」の定員は15名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。履修希望者は、ガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座
「アカデミック・スキルズ」[秋学期]
「 知の基盤を築く・ 」

湯川 武	伏見岳志
村山光義	武藤浩史
鵜崎明彦	加茂具樹
佐藤元状	横山千晶

【授業科目の内容】

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行なわれる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、基礎編「アカデミック・スキルズ」[春学期]と、応用編にあたる「アカデミック・スキルズ」[秋学期]がそれぞれ3コマ開講されます。「アカデミック・スキルズ」の履修は、原則として春学期に「アカデミック・スキルズ」を履修することを前提とします。各「アカデミック・スキルズ」の定員は15名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。「アカデミック・スキルズ」の履修希望者は、春学期のガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座

「生命の教養学」[春学期]

「生命を見る・観る・診る」

中島 陽子 石原あえか
武藤 浩史

【授業科目の内容】

今年度の講座『生命の教養学』では、「生命をどう捉えるか?」という問題を提起し、これに対して「見る」「観る」「診る」という3つの「みる」という動詞をキーワードに、さまざまな方向から生命について考えたい。

本授業は、塾内外からの各領域で活躍されている講師によるオムニバス講座である。一口に「生命を捉える」と言っても、実に多様なアプローチがあること、また「しなやかで多様な生命の素晴らしさ、尊さ、不思議さ」を伝える刺激的な授業を展開したい。コーディネーターは中島・石原の2名が担当する。

まず基本となるのは、生命を「見る」こと。生物は、世界をどのように捉えているのか。眼に入ってきた情報が視覚として成立する仕組みは?人間と他の動物(たとえば昆虫)の視覚にはどんな違いがあるのか。たとえば驚異的な進歩を遂げた分子生物学領域では、ミクロのレベルで生物の構造や機能が解明されている。最新の光学・電子顕微鏡は「生命のありさま」をどのように可視化したのか。そこから何を見つけたのか。

次いで生命を「観る」こと。科学が成立するためには、観察者としての視点形成が不可欠だった。「錯視」という現象は「眼で見る」と「脳で観る」をつなげる格好のテーマではないだろうか。目的を持って生命を観察しようとするとき、どんな方法が可能なのか。そしてまた生命のありさまをいかにビジュアル化できるのだろうか。

そして生命を「診る」こと。日々「心で生命をみる、対峙する」プロフェッショナルの方々を通して、たとえば医療の現場における人間存在、臓器移植や心の病(特に鬱病)などの問題に取り組む。なお、定員は100名とする。

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示します。

7 国際センター

研究講座

外国および日本の文化や社会、国際関係を理解するために国際センターでは英語による講座を開講しています。国際研究講座では、米国、カナダ、オーストラリア、アジア、ラテンアメリカ等、様々な国・地域を取り扱っています。一方日本研究講座では、経済、産業、文学、芸術、マスコミなど幅広い側面から日本を探究します。

内容については、国際センター発行のパンフレットもしくは以下のURLを参照してください。

<http://www.ic.keio.ac.jp/jp/iccourses/index.html>
ただし、新生は対象となりません。

在外研修プログラム

全学部および研究科に在籍している学生を対象に、夏季および春季休業中に海外で在外研修プログラムを開講しています。

これは、外国語による講義およびディスカッションのほか、大学内の寮生活などを初めとする多彩な諸活動を通して、さまざまな異文化交流を体験することで、国際性豊かな学生を育成することを目的としています。

短期間に質の高い充実した内容が盛り込まれていますので、海外生活体験をしたい方、外国語によるコミュニケーション能力向上を期待する方、将来長期の留学を考えている方などにとって、ふさわしい講座といえるでしょう。

形態は原則として、往復とも大学手配の航空便による団体旅行形式で、教職員が同行する講座もあります。

また、現地への出発前には事前研修を数回実施します。(事後研修を実施する場合もあります。)

なお、プログラムは、自然災害、戦争、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する場合があります。をあらかじめご了承ください。

【問合せ先】

三田国際センター
URL : <http://www.ic.keio.ac.jp/j-index.html>
詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

【夏季講座ガイダンス】

4月4日(火)	SFC	12番教室	16:10~17:40
4月5日(水)	三田	519番教室	13:00~14:30
4月6日(木)	矢上	14-201番教室	13:00~14:30
	日吉	J11番教室	17:00~18:30

【夏季講座応募について】

- (1) 募集期間 4月12日(水)、13日(木)(予定)
- (2) 一次合格発表 4月20日(木)(予定)
- (3) 面接審査 4月22日(土)(予定)

- (4) 選考結果発表 4月28日(金)(予定)

慶應義塾大学 - ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ 夏季講座

ケンブリッジ大学は、オックスフォード大学と並ぶ英国の名門校で、美しいキャンパスは勉学に最適な環境にあります。

授業は英語による講義、ケンブリッジ大学在籍生を交えてのディスカッション、エッセイの作成・提出を中心としており、ケンブリッジ大学の教員が指導にあたります。

【現地研修期間】

2006年8月7日(月)~9月6日(水)(予定)

5月~7月に三田キャンパスにて事前研修を2回程度行います。

開講予定科目

English Literature, History of Art,
Ancient Greece and Western Civilization,
Astronomy: Unveiling the Universe, The Science of
Chaos, Evolution and Behaviour

6科目の中から3科目を選択して履修。

【研修内容】

講義(午前)、ケンブリッジ大生(TA: Teaching Assistant)をまじえてのディスカッション(午後)、エッセイ作成・提出(週末)。

単位数: 4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認をしてください。

【募集人数】60名

慶應義塾大学 - ウィリアム・アンド・メアリー大学 夏季講座

ウィリアム・アンド・メアリー大学は、米国東海岸ヴァージニア州ウィリアムズバーグにあり、教育・研究で高い評価を得ている州立大学です。創立は1693年で、アメリカではハーバード大学について古い歴史を誇っています。

本講座は、毎年定められるテーマに沿った英語による講義、グループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション等で構成されています。また、大学内での寮生活や、講演会、ワシントンDC近郊の家庭でのホームステイ等を通じ、さまざまな異文化交流を体験することができます。

【現地研修期間】

2006年7月28日(金)~8月15日(火)(予定)

4月下旬より事前研修(6回程度)、また、帰国後には事後研修(2回程度)を行います。

【研修内容】

ウィリアム・アンド・メアリー大学の教員による講義および質疑応答、ダイアローグクラス、ウィリアム・ア

ンド・メアリー大生をまじえてのグループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション、ワシントンDC近郊の家庭でのホームステイなど

単位数：4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認してください。

【募集人数】40名

慶應義塾大学 - ワシントン大学夏季講座

ワシントン大学はアメリカ北西部ワシントン州シアトルにある1861年に創立した歴史のある学校で、ワシントン州最大の大学です。豊かな自然に恵まれたキャンパスはとても広大で美しく、緑が多い環境の中で落ち着いて学業に専念することができます。

「環境」を多面的な視点から学ぶ講義・ワークショップとディスカッションのほか、フィールドトリップ、ワシントン大学の学外施設を利用した実地自然体験宿泊旅行などをバランスよく配置しています。

【現地研修期間】

2006年8月19日～9月9日（予定）

5月～7月に事前研修を2回程度行います。

【研修内容】

講義/ワークショップ、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション

体験宿泊旅行：

レーニア山、エコロジーウォーク（森林学）

フライデー・ハーバー・ラボ（海洋学）

【開講科目例（2005年度実績）】

Urban issues and environmental concerns

Marine conservation, fisheries, aquaculture

Biodiversity and the urban populace

単位数：4単位（予定）

本講座は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは、各学部・研究科によって異なりますので各自確認してください。

【募集人数】30名

慶應義塾大学 - パリ政治学院春季講座

パリ政治学院は、フランスのエリート養成機関『グランゼコール』の1つで、フランス現大統領のシラク氏をはじめ、歴代の政界・財界の著名人の母校として大変有名です。

本講座は、加盟国の増大により拡大するEUの政治・社会・財政・文化の問題のみならず、EU対アジアやEU対米国の関係など、様々なテーマを取り扱う非常に中身の濃いプログラムとなっています。

プログラム期間中に、各自が決めた研究テーマに沿ってエッセイを書き、プログラム修了時には、パリ政治学院からディプロマが授与されます。また、最終週にはベルギーの首都ブリュッセルにあるEUの諸機関を実際に訪問し、EUの組織に対する理解を深める機会が設けられています。

講義はすべて英語で行われますが、午後にはフランス

語の授業もありますので、2ヶ国語を同時にマスターできるのもこの講座の魅力となっています。

プログラムの詳細は、11月ごろ国際センターホームページで発表します。

【現地研修 2005年度参考】

2006年2月19日（パリ）～2006年3月18日

【講義内容 2005年度参考】

1. “ The History of Europe: Once upon a time...”
2. “ An introduction to European Institutions ”
3. “ European public Space and Democracy ”
4. “ National political parties and Europe: are they European? ”
5. “ The values of the European(s) ”
6. “ The latest EU enlargement: transition processes and successes of the integration of formerly Socialist countries ”
7. “ The Challenges of a Common Immigration Policy ”
8. “ Joining the EU: is Turkey specific? ”
9. “ European welfare states ”
10. “ Is there a European capitalism? ”
11. “ The growth performances of European economies ”
12. “ Monetary governance in Europe ”
13. “ Fiscal governance in Europe ”
14. “ Public services in Europe ”
15. “ US/EU conflicts of values and/or conflicts of interest ”
16. “ The challenges of a European security policy ”
17. “ Europe and the Middle East Conflict ”
18. “ Ageing and generational equality in Europe ”

単位数：4単位（卒業に必要な単位として認められることがあります。ただし、次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は対象外となります。）

【募集人数】

定員：30名（うち10名は上智大学生）

8 言語文化研究所

言語文化研究所特殊講座は三田に設置されています。時間割は文学部（2・3・4年）時間割に掲載してありますので履修希望者は文学部時間割を参照してください。

〔参考〕平成18年度言語文化研究所特殊講座

科目名	教員名	単位数
サンスクリットI（初級）	土田龍太郎	通年 2単位
サンスクリットII（中級）	土田龍太郎	
アラビア語I（基礎）	榮谷温子	
アラビア語II（現代文講読）	榮谷温子	
アラビア語II（古典）	岩見 隆	
アラビア語文献講読	岩見 隆	
ヴェトナム語I（初級）	嶋尾 稔	
ヴェトナム語II（中級）	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読	嶋尾 稔	
ペルシア語I（初級）	関 喜房	
ペルシア語II（中級）	岩見 隆	
タイ語I（初級）	三上直光	
タイ語II（中級）	ポンシー，ライト	
トルコ語I（初級）	ヤマンラール，アイドゥン	
トルコ語II（中級）	ヤマンラール，アイドゥン	
朝鮮語文献講読	野村伸一	
カンボジア語I（初級）	三上直光	
ヘブライ語I（初級）	笈川博一	
ヘブライ語II（中級）	笈川博一	
古代エジプト語I（初級）	笈川博一	
古代エジプト語II（中級）	笈川博一	
アッカド語I（初級）	高井啓介	
アッカド語II（中級）	高井啓介	

 サンスクリット (初級)

 言語文化研究所 講師 土田龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語入門の講義である。ほぼ一年かけて、サンスクリット語文法体系のあらましを修得することを目的とする。

〔教科書〕

ヤン・ホンダ著 鎧淳 訳「サンスクリット語初等文法」(春秋社)

辻 直四郎著「サンスクリット文法」(岩波書店)

サンスクリット (中級)

 言語文化研究所 講師 土田龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語の初歩をすでに一通り取得したもののための授業である。

〔教科書〕

参加者の希望で決める。

アラビア語 (基礎)

 言語文化研究所 講師 榮谷 温子

〔授業科目の内容〕

正則アラビア語(フスハー)のアラビア文字の読み方、綴じ方からはじめ、一年間で基礎文法を習得することを目的とします。また正則アラビア語による簡単な日常会話フレーズも練習します。

〔教科書〕

佐々木淑子著『アラビア語入門』(翔文社、2004年、1905円)

必要に応じてプリントや練習問題を配付します。

〔参考書〕

David Cowan, An Introduction to Modern Literary Arabic (Cambridge University Press)

アラビア語 (現代文講読)

 言語文化研究所 講師 榮谷 温子

〔授業科目の内容〕

基礎文法の習得を終えた人を対象として現代文の講読を行います。講読を通して、アラビア語の基本的な文章構造の理解、さらには母音記号などの補助記号がついていない文章にたいする読解力の養成を目的とします。

〔教科書〕

プリントを配布します。

辞書はHans Wehr, A Dictionary of Modern Written Arabic-English を使用します

〔参考書〕

佐々木淑子著『アラビア語入門』(翔文社、2004年、1905円)

David Cowan, An Introduction to Modern Literary

 Arabic (Cambridge University Press)

アラビア語 (古典)

 言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

母音符号のついていない普通のアラビア語テキストを読めるようになるための演習です。文法の知識をテキスト読みはどう生かすかを課題としてやります。

〔教科書〕

Brünnow-Fischer: Arabische Chrestomathie プリントで配ります

〔参考書〕

井筒俊彦: アラビア語入門、慶應出版社1950

アラビア語文献講読

 言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

アラビア語の定評ある古典の中、平易な散文(叙事の文)をあたりまえに読めるようになることを目指します。

〔教科書〕

受講者と相談して決めます

〔参考書〕

Wright: Arabic Grammar Cambridge Univ. Press, 1962

ヴェトナム語 (初級)

 言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

ヴェトナム語を基礎から学ぶ。発音、綴じ字、初級文法、簡単な会話力の習得を目指す。

〔教科書〕

『ベトナム語入門』(慶應外国語学校)

〔参考書〕

富田健次『ベトナム語 はじめの一步まえ』(DHC, 2001年)

ヴェトナム語 (中級)

 言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

初級ヴェトナム語を学び終えた人を対象に文献講読を行う。最初は簡単なものから始めるが、受講者のレベル・要望に応じて、雑誌・新聞の記事などを読んでいくことにしたい。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決める。

〔参考書〕

小高泰・Nguyen Thi Mai Hoa『会話で覚えるベトナム語666』(東洋書店、2005年)

 ヴェトナム語文献講読

 言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

ヴェトナム語で書かれたヴェトナムの歴史や文化に関する文章を広く読んでゆく。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決める。

〔参考書〕

富田健次『ヴェトナム語の世界：ヴェトナム語基本文典』（大学書林、2000年）

ペルシア語 （初級）

 言語文化研究所 講師 関 喜房

〔授業科目の内容〕

現代ペルシア語文法を全くの初歩から講義します。教科書の文法が終わり次第、易しい文章を読むつもりです。その際、文法書には記されていない文法上の例外事項などについて詳しく説明するつもりです。

〔教科書〕

岡崎正孝著『基礎ペルシア語』（大学書林）

〔参考書〕

黒柳恒男著『ペルシア語の話』大学書林

ペルシア語 （中級）

 言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

ペルシア語の文の流れをつかみとれるように、平易なペルシア語散文をできるだけたくさん読みます。

〔教科書〕

受講する人と相談して決めます。

〔参考書〕

Lambton : Persian grammar. Cambridge Univ. Press, 1974

タイ語 （初級）

 言語文化研究所 教授 三上直光

〔授業科目の内容〕

タイ語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

タイ語 （中級）

 言語文化研究所 講師 ポンシー，ライト

〔授業科目の内容〕

タイの小学校二年生の教科書より短編ストーリーを用いてタイ語の運用能力向上を目指します。

〔教科書〕

プリント使用。

トルコ語 （初級）

 言語文化研究所 講師 ヤマンラール，アイドゥン

〔授業科目の内容〕

トルコ共和国の現代トルコ語初級文法を講義します。基礎的な文法事項を学習しますが、簡単な講読も行います。

〔教科書〕

プリント使用

トルコ語 （中級）

 言語文化研究所 講師 ヤマンラール，アイドゥン

〔授業科目の内容〕

初級文法を学んだ人を対象に講読を行います。文法事項の復習にも重点を置くつもりです。

〔教科書〕

プリント使用

朝鮮語文献講読

 文学部教授 野村伸一

〔授業科目の内容〕

大韓民国という国家、社会の歴史と現状を知るためのテキストを講読します。

今日「韓流」というマスコミにより流布された一種の流行現象に興味を抱く人は多く、皆さんのなかにもそうした人はいるでしょう。そのこと自体はきっかけとしてはいいことです。しかし、それにまつわる言説だけをみていても、けっして内面的な理解には到達し得ないでしょう。

すべて、ものごとには、来歴と「いうにいわれぬこと」があるものです。朝鮮民族にとって、それはどういうものであったのか。それを知らない限り、日本と朝鮮半島は時流の往来をくり返すばかりではないでしょう。

〔教科書〕

韓洪九『大韓民国史03』、ハンギョレ新聞社、2005年。各自、韓国書籍を扱う書店（例、三中堂、高麗書林）もしくはソウルの大型書店に注文して入手してください。

〔参考書〕

韓洪九著、高崎宗司監訳『韓洪九の韓国現代史 韓国とはどういう国か』、平凡社、2003年、同『韓洪九の韓国現代史 2 負の歴史から何を学ぶのか』、平凡社、2005年。*上記の翻訳書は韓洪九『大韓民国史01』、『大韓民国史02』に相当します。

<http://web.hc.keio.ac.jp/shnomura/shohyou1.html>に書評を掲載しました。

カンボジア語 (初級)

言語文化研究所 教授 三上直光

〔授業科目の内容〕

カンボジア語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

古代ヘブライ語 (初級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

旧約聖書ヘブライ語の初歩。まったくの初心者想定している。

〔教科書〕

テキストは比較的繰り返しの多い創世記を用いるが、プリントを授業で配布する。

〔参考書〕

英語ないしドイツ語による辞書(¥2500~¥10000)が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代ヘブライ語 (中級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

旧約聖書サムエル記の講読。

〔教科書〕

テキストはプリントを授業で配布する。

〔参考書〕

英語ないしドイツ語による辞書(¥2500~¥10000)が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語 (初級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

文法体系が比較的良好に分かっている後期エジプト語の初歩。まったくの初心者想定している。

〔教科書〕

テキストは「ヴェナモン」を用いるが、プリントを授業で配布する。

〔参考書〕

5月ごろから辞書(約¥9000)が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語 (中級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

〔授業科目の内容〕

中期エジプト語の初歩。

〔教科書〕

テキストは「難破した水夫」であるが、プリントを授

業で配布する。

〔参考書〕

辞書はRaymond O. Faulkner "A Concise Dictionary of Middle Egyptian" Oxford (Amazon JPで¥3542)あるいはその日本語訳が必要となる。

アッカド語 (初級)

言語文化研究所 講師 高井啓介

〔授業科目の内容〕

アッカド語を学ぶ際の基礎となる古バビロニア方言(Old Babylonian)の初級文法及び文字表記システムの修得を目的とします。下記に指定した教科書を使いますが、足りないことは適宜プリントによって補っていく予定です。文法事項を学び進めながら、アッカド語が記されるときに使われた楔形文字のうち主要なものを覚えていきます。秋学期以降には、ハンムラビ法典など著名な作品の雰囲気にも触れていきたいと考えています。

〔教科書〕

Richard Caplice, *Introduction to Akkadian* (Biblical Institute Press)

〔参考書〕

開講時に指示します。

アッカド語 (中級)

言語文化研究所 講師 高井啓介

〔授業科目の内容〕

アッカド語の初級文法を一通り学んだ人を対象に文献講読を行います。文法事項の再度確認しながら、簡単なものからはじめていろいろなジャンルのテキストを読んでいくことにします。具体的なテキストは受講者と相談して選びます。

〔教科書〕

テキストはプリントを準備します。

9 知的資産センター設置講座

1. 知的資産センター設置講座開講にあたり

慶應義塾大学では、研究成果の社会への還元を、教育・研究と並ぶ大学の使命と考えています。そして、「慶應義塾で生れた研究成果は義塾にとって貴重な知的資産であり、大学はこれら知的資産の保護と活用を積極的に促進・支援する」という理念を公表しています。

こうした方針に基づき、知的資産センターは慶應義塾で生れた研究成果を社会へ還元するために、慶應義塾大学の技術移転機関として1998年11月に設立されました。技術に関するものだけでなく、電子メディアを始めとして広汎な研究成果を対象とするとともに、新しい事業の創出に資するという意味をこめて「知的資産センター」と名付けられました。

知的資産センターの事業は、研究成果の特許保護、技術の移転、起業の支援と拡大しています。そして、教職員の熱意と高いポテンシャルをもった研究成果に支えられ、既に数多くの慶應義塾の特許出願が生まれ、技術移転も活発化し、多くの新製品を生み出しています。さらに、バイオ分野を中心にベンチャー企業のスタートアップも相次いでいます。

また、知的資産センターは技術移転に密接に関係する知的財産に関する教育・研究も任務としています。

情報技術の劇的な革新に伴い電子メディア、ビジネスモデル特許に代表されるように、知的財産は社会のあらゆる分野に密接に関係してきました。こうした時代の変化に対応していくためには、専攻分野に係わらず知的財産に関する幅広い知識と理解が求められています。

そこで、知的財産に関する教育の一環として、全学部の学生を対象として知的財産全般について基本的な事項の理解を図るため、設置講座を開講しました。

2. 設置科目、履修上の取扱いについて

今年度は「知的資産概論」の1科目を、春学期 三田キャンパスで開講します。

授業時間は水曜日 18:10~19:40、単位は2単位です。その他授業に関する情報は、三田掲示板、<http://www.ipc.keio.ac.jp>でお知らせします。

受講を希望する場合は、履修の取扱いについて各学部、研究科の履修案内で確認の上、各学部窓口で履修申告をしてください。

知的資産概論

「知的財産の保護と活用をめぐる課題（ナテグリニド特別講座）」
知的資産センター所長（商学部教授） 清水 啓助

〔授業科目の内容〕

研究活動や創造活動の成果を知的財産として、戦略的に保護・活用し、我が国産業の国際競争力を強化するという国家戦略が策定され、知的財産に対する関心は高まっています。知的財産には、技術（特許）、デザイン

（意匠）、ブランド（商標）、音楽・映画のコンテンツ（著作権）といったものがあり、権利の内容や活用法はそれぞれ固有な特色があります。本講義では、代表的な知的財産の権利保護・活用における現状と課題についての理解を深め、知的財産に関する幅広い知識を得ることを目標とします。

〔教科書〕

講義資料を配布します。

〔参考書〕

清水啓助他著「知的創造時代の知的財産」慶應義塾大学出版会

竹田著「特許がわかる12章」ダイヤモンド社

岡本著「著作権の考え方」岩波新書

10 教 職 課 程 セ ン タ ー

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。本塾大学では「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

教職課程センターでは、毎年学年初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に「教職課程ガイダンス」を実施しています。履修希望者は、その教職課程ガイダンスに出席し、本塾大学における教員養成について十分理解した上で、教職課程を履修してください。

1998年に教育職員免許法の改正がなされ、2000年度入学者から新免許法が適用されることになりました。それ以前に入学した人は88年改正免許法が適用されます。したがって、入学年度により免許状取得に必要な履修科目および単位数が異なりますので、注意してください。

以下の説明は、98年改正法適用者向けとなっています。

本塾大学の教職課程で取得できる教員免許状の種類および教科は以下のとおりです。

文学部	人文社会学科	中学校 1種	国語、社会、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）
		高等学校 1種	国語、地理歴史、公民、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）、情報
経済学部	経済学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
法学部	法律学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
	政治学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
商学部	商学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民、商業
理工学部	機械工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	工業
	電子工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
	応用化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	工業
	物理情報工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	管理工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	数理科学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	物理学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	システムデザイン工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	情報
	情報工学科	中学校 1種	数学
高等学校 1種		情報	
生命情報学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種		

教職課程履修案内

【教職課程の履修・登録の学年について】

1 教職課程の履修学年

教職課程を区分しますと、次の4領域にわたっています。

- (1) 教科に関する科目
- (2) 教職に関する科目
- (3) 教科又は教職に関する科目
- (4) (1)と(2)と(3)以外の科目

以上のうち、(1)はそのほとんどを第3学年から履修します。(2)および(3)は第2学年から履修できます。(4)は「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけるための科目で、学部によって名称が異なりますが、総合教育科目などと呼ばれている科目です。この科目は第1学年から履修します。以上はおおよそその目安であり、学部のカリキュラムによって多少の違いがあります。

(注) 法学部秋学期入学の学生は教職課程の履修の仕方に異なる点がありますから、個別に学習指導を受けてください。

2 教職課程の登録

教職課程を履修しようとする人は、所定の登録をしなければなりません。教職課程登録は第2学年から行っています。

登録学年		登録場所
文学部	第2学年	(三田) 教職課程センター
経済学部	第2学年	(日吉) 学事センター
法学部	第2学年	
商学部	第2学年	
理工学部	第2学年	

参考：登録の際「教職課程費」(現行30,000円)を納入しなければなりません。

【2 科目の履修について】

前述の教職課程の4つの領域について、各領域ごとにその履修解説をしておきます。

1 教科に関する科目

この科目群の詳細については、教職課程の登録の際の三田または矢上で行われる「教職課程ガイダンス」で学習指導担当者が説明します。ここでは履修上学生がよく誤解する点のみ以下に述べます。

- (1) 「教科に関する科目」は、学則上以下の3つの科目区分にわたって設置されています。

所属学部・学科の専門的領域に属する科目
各学部・学科の「教職課程教科に関する科目」
教職課程センター設置の「教科に関する科目」

この科目の名称は、学部ごとに異なり、以下のようになっています。

文学部 専門教育科目

経済学部 専門教育科目
法学部法律学科 法律学科目
法学部政治学科 政治学科目、社会科学科目
商学部 専攻科目
理工学部 専門教育科目、基礎教育科目

以上の科目のうちすべてが「教科に関する科目」とはなりません。当該学部・学科で取得できる免許教科に関連する科目が「教科に関する科目」となります。学部1・2学年に配当されている所属学部・学科の科目のうち、この科目にあたるものがありますので、なるべく単位を取得しておく方が望ましいです。第1・2学年に配当されている「教科に関する科目」のうち、特に第1・2学年で単位取得が望ましい科目については、4月の「教職課程ガイダンス」で説明しますので、必ず出席するようにしてください。

この科目は、第2学年以降で履修しますので、教職課程登録を行う学年に進級した際に各キャンパスで行われる「教職課程ガイダンス」に出席し、学習指導担当者の説明を聞いて履修してください。

- (2) 同一名称や類似名称の科目であっても、専門教育科目・法律学科目・政治学科目・専攻科目および「教職課程教科に関する科目」でない科目は、原則として「教科に関する科目」とならないので、注意してください。詳細につきましては、「教職課程ガイダンス」で説明します。

2 教職に関する科目

「教職に関する科目」は、教職課程を登録する学年から履修できます。これらの科目に関する学部での履修上の扱いは、多くは「自由科目」となっています。学部によって「自由科目」の扱いが異なる場合がありますので、学生諸君は履修申告の際、十分注意をはらう必要があります。

3 教科又は教職に関する科目

主に三田キャンパスに設置されている科目です。履修については「教職課程ガイダンス」で説明します。

4 1、2、3以外の科目

教育職員免許法施行規則には「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。各学部で以下のような科目区分で設置されている科目を所属学部・学科の学則に従って履修すれば、この規定の要件は達成されます。

文学部 総合教育科目
経済学部 総合教育科目、保健体育科目
法学部 人文科学科目、自然科学科目、数学・統計・情報処理科目、社会科学科目、保健体育科目
商学部 総合教育科目
理工学部 総合教育科目

しかし、教員免許取得のためには、特に、次の単位が

必修となっていますので注意してください。

(1)「法学(憲法を含む)」(4単位)必修。または、「法学(憲法を含む)」(2単位)と「法学(憲法を含む)」(2単位)の2科目必修。 のみ、あるいは のみでは認められません。

(2)「体育」2単位必修

このうち、1単位は必ず実技科目でなくてはなりません。残りの1単位は、体育学講義、体育理論、体育学演習、体育実技のうちから選択できます。

(3)「外国語コミュニケーション」必修

卒業するための単位に含まれている外国語に関する必修科目を履修することによって単位修得できます。

(4)「情報機器の操作」必修

以下の科目のいずれかを修得しなければなりません。

文学部 基礎情報処理

経済学部 情報処理I・II・III

法学部 情報処理I・II・III・IV

商学部 情報処理I・II

理工学部 情報処理同実習

なお、「法学(憲法を含む)」と「体育」は、第1・2学年に配当・設置されていることが多いので、なるべく配当学年の内に取得しておくこと。また、所属学部設置されている科目を原則として履修すること。

【3 教職課程履修開始の心構え】

安易な気持ちで教職課程を履修することがないようにしてください。特に以下の点は十分に理解することが必要です。

(1) 教員免許状を取得するには卒業に必要な単位のほかに、かなり多くの単位を余分に履修しなければならないということ。

(2) 教員免許状が取得できたとしても、教員の需給の関係からして就職は最近特に困難であるということ。

将来中学校・高校の教員になることを志望している学生諸君は、以上の点をよく考慮した上で、教職課程の履修を第2学年からはじめてください。

【4 介護等体験について】

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」(通称・介護等体験特例法)が成立し、平成10年4月1日から施行されました。これにより、小学校教諭または中学校教諭の普通免許状は取得しようとする人には、7日間を下らない範囲内で、盲学校、聾学校若しくは養護学校または社会福祉施設等で、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人との交流等が必要となります。この法律は平成10年4月1日以降に入学した学生に適用されます。教職課程ガイダンスで、そのことについての説明がありますので、注意して聞いてください。なお、教職課程登録をした、3年生以上の学生のみが大学を通して社会福祉施設等に申し込むことができます。

【5 その他の注意】

(1) 教職課程の掲示板は、第4校舎19番教室手前にあります。重要な事項および各種ガイダンス日程などを掲示します。見落としのないよう十分注意してください。

(2) 教職課程ガイダンスについて

教職課程に興味のある1年生は、1年生向けの教職課程ガイダンスに出席してください。また、教職課程を履修しようとする2年生は、新規登録希望者向けの教職課程ガイダンスに必ず出席してください。

11 外国語学校

外国語学校は、昭和17年10月語学研究所（現在の言語文化研究所）の設置と同時にその実践部門として開校され、以来塾生はもとより、他校学生、一般社会人の外国語学習の場として、高い評価を得ています。現在、欧米諸国語はもとより、アジア諸言語など14外国語科を設置し、約1,000名の学生が在学しています。授業は、義塾内外の外国語担当教授をはじめ、外国語を使って実際の場で活躍している職業人、外国人講師など、優れた教員によって行われています。

授業時間は、全科目三田6時限（18：30～20：00）（英会話のみ5時限もあり）です。受講に当たっては外国語学校の定める入学手続きが必要で、詳細については、「外国語学校入学案内」（一部500円、三田・日吉正門警備室でも取扱う）を参照して下さい。開講は4月と10月で入学願書の受付は2月上旬～3月上旬、8月上旬～9月上旬の年2回です。

法学部の学生は、学部教授会によって認定された右表の科目を自由科目として春・秋学期各2単位履修することができます。履修申告の方法は、学部の自由科目の申告方法と同じです。必ず学部にお問い合わせください。

外国語学校の入学手続きは、4月期（春学期）の場合、履修申告手続きよりも前に行わなければならないので、後日もし学部の履修科目と時間が重なったことが判った時は、直ちに外国語学校事務室に相談して下さい。

また、日吉では日吉特別講座を6時限（18：30～20：00）に開講しています。開講する語学は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の5カ国語です。詳しくは、外国語教育研究センター日吉事務室へお問合せください。

語学科	クラス	週間授業数
(1) 英語	上 級	3回
(2) 英会話	中 級 上 級	2回 2回
(3) ビジネス・イングリッシュ		2回
(4) ドイツ語	基礎級	3回
(5) フランス語	初 級	3回
(6) スペイン語		
(7) 中国語	中 級	3回
(8) イタリア語	上 級	3回
(9) ロシア語	基礎級	2回
(10) インドネシア語		
(11) アラビア語	初 級	2回
(12) 朝鮮語		
(13) ベトナム語	中 級	2回
(14) タイ語	上 級	2回

スペイン語上級は週2回

2006年10月期より、中国語中級・上級は週2回

索引

索引

科目

あ	アッカド語 (初級)	292	科学史	11
	アッカド語 (中級)	292	科学史	11
	アフリカ現代史	182	化学実験	209
	アラビア語 (基礎)	290	化学統計熱力学	219
	アラビア語 (現代文講読)	290	化学統計熱力学演習	220
	アラビア語 (古典)	290	学外実習第1	220
	アラビア語文献講読	290	確率	220
	アルゴリズム	215	確率論入門	158
	アルゴリズム同演習	215	確率論入門	158
	アルゴリズムと情報処理	215	確率論基礎	202, 206
	アルゴリズム論	215	感覚文化	24
い	EEP	210	環境化学概論	220
	位相数学	215	監査論	199
	遺伝子の科学	248	関数論第1同演習	220
	医療科学	210	漢文	11
	インダストリアル・エンジニアリング	215	漢文 a	11
う	ヴェトナム語 (初級)	290	漢文 b	11
	ヴェトナム語 (中級)	290	カンボジア語 (初級)	292
	ヴェトナム語文献講読	291	管理会計論	199
	宇宙科学	248	管理工学基礎演習	220
	宇宙の科学	4	管理工学用数学第1	221
え	映像・音響文化論	4	管理工学基礎演習	221
	エレクトロニクス・デバイス	216	機械工学創造演習	221
	エレクトロニクス基礎	216	機械力学の基礎	221
	エレクトロニクス創造演習	216	企業法	199
	演習	184~188	基礎化学実験	221
	演習	189~192	基礎情報処理	141
お	応用解析第1	216, 217	基礎数学	162
	応用解析第2	217	基礎数学	162
	応用化学計算基礎	217	基礎生物学	222
	応用確率論	217, 218	基礎生命実験	222
	応用経営学	198	基礎統計学	162
	応用数学	218	基礎統計学	163
	応用電気電子回路	218	基礎の数学	12
	応用電磁気学同演習	218	基礎分子細胞生物学	210
	応用簿記	198, 199	基本簿記と財務諸表の見方	196
	オペレーションズ・リサーチ第1	218	教育学	12
	音楽	4~8	教育学	12
	音楽	4~8	教育学	12
	音楽	4~8	行政学	182
	音楽a	6, 8	行政学	182
	音楽b	6, 8	行政学	178
か	会計学	205	教養研究センター極東証券寄附講座	285, 286
	解析	205	近代思想史	13, 14
	解析	205	近代思想史	13, 14
	解析学入門	158	近代思想史	13, 14
	解析学入門	158	近代思想史 a	14
	解析力学	219	近代思想史 b	14
	回路とシステム第1	219	近代日本政治史	182
	回路とシステム第2	219	近代日本と福澤諭吉	14
	化学	9~10	空間設計製図 A	222
	化学	9~10, 208	け 経営学	195, 196, 205
	化学	9~10, 208	経営管理論	222
	化学 A	213	経済学	15, 204
	化学 B	213	経済学	15, 200
	化学 C	213	経済学	15, 200
	化学 D	214	経済学基礎	193
	科学史	10	経済学基礎	193
	科学史	11	経済原論	179
			経済原論	179
			経済史	205
			経済史	152, 194
			経済史	152, 194
			経済思想の歴史	153, 154

経済思想の歴史	154, 155	国際政治論	183
経済人類学	15	国際法	178
経済人類学a	15	古代エジプト語 (初級)	292
経済人類学b	15	古代エジプト語 (中級)	292
経済数学	155	古代ヘブライ語 (初級)	292
経済数学 A	155	古代ヘブライ語 (中級)	292
経済数学 B	155	コンピュータ実習	225
経済数学	155, 156	さ 細胞生物学第1	225
経済数学	156	財務会計論	199
経済数学入門	159	材料力学の解法	226
経済数学入門	159	材料力学の基礎	226
経済と環境	156	酸塩基及び酸化還元	226
計算機科学同実習	222	産業経済論	206
計算機基礎	223	産業経済論a	198
計算機構成同演習	223	産業経済論b	198
計算力学の基礎1	223	サンスクリット (初級)	290
計算力学の基礎2	224	サンスクリット (中級)	290
計算論理学	224	し ジェンダー論	20
形状情報の表現	224	ジェンダー論	20
計測工学	224	時事英語	256
刑法	178	時事英語	256
刑法	171, 172	辞書の世界	141
刑法 A	171, 172	システム制御論	226
刑法 B	171, 172	システムデザイン工学概論	226
刑法	172, 173	システムデザイン工学基礎演習	227
刑法 A	172, 173	自然科学研究会	109, 110
刑法 B	172, 173	自然科学研究会	109, 110
計量経済学概論	157	自然科学実験	214
ゲーム理論基礎	202	自然科学特論	20, 21, 141
言語	136	自然科学特論	20, 21, 141
健康科学	16	自然人類学	21
言語学	16, 136	私法基礎	205
言語学	16	私法基礎	195
言語学	16	私法基礎	195
言語学	16	社会・経済と工学	227
言語学	17	社会科学概論	21
言語認識論	17	社会科学概論	21
現代化学概論	17	社会科学特論	139, 140
現代芸術論	17	社会科学特論	139
現代思想論	18	社会科学特論	140
現代社会と医学	278	社会科学の考え方	204
現代社会と医学	278	社会学	22, 23, 177
現代社会論	18	社会学	22
現代生物学概論	19	社会学	22
現代世界史	19	社会学 a	23
現代中国論	182	社会学 b	23
現代日本史	19	社会経済学	205
現代物理学概論	248	社会経済学	194
現代メディア論	19	社会経済学	194
憲法	177, 178	社会心理学	23
憲法	167	社会心理学	23
憲法 A	167	社会との対話D	201, 206
憲法 B	167	社会との対話S	201, 206
憲法	168	社会問題	157
憲法 A	168	社会問題	157
憲法 B	168	周期表の化学基礎	227
こ 光学基礎	225	周期表の化学第1	227
光学システム	225	宗教学	24
工学数学	225	宗教学a	24
高分子化学基礎	225	宗教学b	24
国語国文	20	自由研究セミナー	100 ~ 108
国語国文	20	自由研究セミナーa	100 ~ 108
国語国文	20	自由研究セミナーb	100 ~ 108
国際政治基礎	181, 182	集合論	227

住宅・建築史概論	31	政治学基礎	180
商学概論	203	政治学基礎	180
商業学	205	政治思想基礎	180
商業学	197, 198	生体計測論	230
商業学	197	生体反応論第1	231
情報経済学	228	生体物質の化学	231
情報処理	149 ~ 150, 165, 166, 204	生体分子構造論	231
情報処理	149 ~ 151, 165, 166, 204	生物科学	38, 39
情報処理	149 ~ 151, 166	生物科学入門	249
情報処理	166	生物学	38 ~ 43, 209
情報処理応用	284	生物学	38 ~ 43
情報処理概論	283	生物学	38 ~ 43
情報処理概論	283	生物学実験	209, 250
情報処理概論	283	生物学実験集中	250
情報処理同実習	214	生物学序論	214
情報数学概論	228	生物量子化学	231
情報通信工学基礎	228	生命科学のための確率論	231
情報リテラシー基礎	201	生命系の数学	232
情報理論	228	生命系の有機化学	232
女性学	31	生命系の量子力学	232
書物の世界	142	生命現象の分子科学	43
身体	24	生命の科学	44
人体の生理	249	生命物理化学	232
身体文化論	24	西洋外交史	183
振動と波動	229	世界経済の現状と問題	144
振動波動論	229	世界の経済	250
人文科学特論	136 ~ 139	世界の政治	44
人文科学特論	111 ~ 114	積分入門	160
人文科学特論	111 ~ 114	線形代数	143, 202, 204, 232, 233
人文総合講座	24	線形代数演習	202, 206
人文総合講座	24	線形代数続論	143
心理学	210	戦争と社会	44
心理学	26 ~ 30, 249	そ 造形・デザイン論	44
心理学	26 ~ 30, 249	総合教育科目	4
人類学	31, 136	総合教育セミナー	98, 127 ~ 130
人類学	32	総合教育セミナー	98, 99, 130 ~ 133
人類学	32	総合教育セミナー-D (類)	115, 116
人類学a	31	総合教育セミナー-D (類)	117 ~ 123
人類学b	31	総合教育セミナー-D (類)	124
す 数学	32	総合教育セミナー-S (類)	124
数学	32, 163, 207	総合教育セミナー-S (類)	124 ~ 126
数学	32, 163, 207	総合教育セミナー-S (類)	126
数学	164, 207	ソフトウェア工学	233
数学	164	た 体育学演習	261
数学 A1	211	体育学講義	259, 260
数学 A2	211	体育実技A (アーチェリー)	271
数学 A3	211	体育実技A (合気道)	267
数学 A4	212	体育実技A (アメリカンタッチフットボール)	262
数学 B1	211	体育実技A (ウォーキング・エクササイズ)	269
数学 B2	211	体育実技A (エアロビクス)	269
数学 B3	211	体育実技A (空手)	272
数学 B4	212	体育実技A (器械体操)	275
数学解析第1	229	体育実技A (弓術)	273
数学解析第2	229	体育実技A (剣道)	267, 268
数学概論	144	体育実技A (ゴルフ)	270
数学概論	144	体育実技A (サッカー)	262
数理科学基礎第1	230	体育実技A (自動車)	270
数理科学基礎第2	230	体育実技A (柔道)	267
数理計画法	205, 230	体育実技A (ジョギング)	270
図形情報処理	230	体育実技A (水泳)	270, 271
せ 生化学	230	体育実技A (水泳)	273
政治学	32 ~ 37	体育実技A (ソフトテニス)	262
政治学	32 ~ 37	体育実技A (ソフトボール)	266
政治学	33 ~ 37	体育実技A (体力UPコース)	268, 269

体育実技A (卓球)	264	地理学	59
体育実技A (ダンス)	269	地理学a	58, 59
体育実技A (端艇)	275	地理学b	58, 59
体育実技A (テニス)	263, 264	つ 通信システム	234
体育実技A (トランポリン)	272	て デジタル回路	234
体育実技A (軟式野球)	267	データ解析	160
体育実技A (日本剣道形クラス)	268	データ解析	160
体育実技A (ニュースポーツ)	272	データ解析入門	160
体育実技A (バスケットボール)	264, 265	データ解析入門	160
体育実技A (バドミントン)	264	データとの対話D	203
体育実技A (バレーボール)	265, 266	デザインリテラシー演習	234
体育実技A (ハンドボール)	266	デジタル・アナログ回路	234
体育実技A (フェンシング)	268	デジタル基礎	235
体育実技A (フットサル)	262	哲学	59 ~ 63
体育実技A (フライングディスク)	272	哲学	59 ~ 63
体育実技A (フラッグフットボール)	262	哲学	59 ~ 63
体育実技A (ボクシング)	268	電気回路基礎	235
体育実技A (野球)	266, 267	電気回路同演習	235
体育実技A (陸上競技)	271	電気回路理論	235
体育実技A (レスリング)	268	電気電子工学セミナー	236
体育実技B (アウトドアレクリエーション)	276	電気電子工学セミナー	236
体育実技B (山岳)	273	電気電子材料	236
体育実技B (スキー)	276	電磁エネルギー変換工学	237
体育実技B (スケート)	277	電子回路基礎	236
体育実技B (夏のバレーボール)	275	電子回路同演習	236
体育実技B (ニュースポーツ)	272	電磁気学	237
体育実技B (馬術)	274	電磁気学第1	237
体育実技B (バレーボール)	265, 266	電磁気学同演習	237
体育実技B (フライングディスク)	272	電磁気工学	237
体育実技B (ヨット)	274	電子ネットワーク調査法	256
タイ語 (初級)	291	天文学	64, 250
タイ語 (中級)	291	天文学a	64
代数学基礎同演習	233	天文学b	64
ダイナミカルシステム	234	と 統計解析	238
団体法	175	統計学	151, 164, 193, 205
ち 地域研究基礎	181	統計学	152, 164, 193, 205
地域研究 スペイン事情	45	統計学	164
地域研究 スペイン事情	45	統計学	165
地域研究 中国事情	45	トルコ語 (初級)	291
地域研究 中国事情	45	トルコ語 (中級)	291
地域研究 中国事情	46	に 21世紀の実学	64
地域研究 中国事情	46	日本外交史	183
地域研究 北米事情	46	日本経済の現状と問題	144
地域研究 北米事情	46	日本政治基礎	181
地域生態文化論	47	日本の経済	250
地域文化論	47	日本の産業と経営	202, 206
地域文化論	49, 50	日本の政治	64
地域文化論	50 ~ 52	ね 熱物理	238
地域文化論	52 ~ 54	熱力学	238
地域文化論	54, 55	熱力学の基礎	238
地学	55 ~ 57	熱流体システム第1	239
地学	56	熱流体システム第2	239
地学	56, 57	は バイオプログラミング第1	239
地学a	55	バイオプログラミング第2	239
地学b	55	反応有機化学	239
地球科学概論	57	ひ 比較文化論	64, 251
知的資産概論	293	比較文化論a	64
中級線形代数	203, 206	比較文化論b	64
中級微積分	203, 206	光デバイス工学	240
中国事情	57	美術	65 ~ 68
朝鮮語文献講読	291	美術	65 ~ 67
朝鮮文化・文学の歴史	142	美術	66, 67
地理学	58, 59	美術a	66, 68
地理学	59	美術b	66, 68

微積分	193	簿記b	159
微積分	193	簿記論	204
微積分演習	202, 206	ま マーケティング・マネジメント論	200
人の尊厳	68	マクロ経済学初級	152
微分積分	143	マクロ経済学初級	153
微分積分入門	143	マス・コミュニケーション論	183
微分法	204	マテリアルデザイン概論1	244
ヒューマン・ファクターズ	240	マテリアルデザイン概論2	245
表象文化論	68	マルクス経済学	158
表象文化論a	68	マルクス経済学	158
表象文化論b	68	み ミクロ経済学初級	153
ふ ファイナンス数学	161	ミクロ経済学初級	153
ファイナンス数学	161	民主主義思想論	184
複素解析	240	民族文化論	83
物質の精製分析	240	民法	169, 170, 178
物性科学	251	民法 A	169
物理化学1	241	民法 B	169, 170, 173
物理化学演習	241	民法	170, 178
物理化学基礎	241	民法 A	170
物理学	69 ~ 71	民法 B	170
物理学	69 ~ 71, 207 ~ 208	民法	171
物理学	69 ~ 71, 207 ~ 208	民法 A	171
物理学 A	212	民法 B	171
物理学 B	212	民法演習	173, 174
物理学 C	212	民法演習 A	173, 174
物理学 D	212	民法演習 B	173, 174
物理学演習第1	241	民法演習	174, 175
物理学演習第2	241	民法演習 A	174, 175
物理学実験	209	民法演習 B	174, 175
物理情報数学 A	242	む 無機化学1	245
物理情報数学 B	242	無機化学2	245
プログラミング演習	242	ゆ 有機化学基礎	245
プログラミング基礎同演習	242	有機立体化学	245
プログラミング言語	243	ら ラテンアメリカ研究	83
プログラミング実習	243	ラテンアメリカ研究a	83
プログラミング第1同演習	243	ラテンアメリカ研究b	83
プログラミング第3同演習	243	り 力学的アナリシス	246
プログラム実習	243	力学的モデリング	246
文学	72 ~ 77	理工学概論	214
文学	72 ~ 77	理工学基礎実験	246
文学	72 ~ 77	流体力学の基礎	246
文学a	72 ~ 75, 77	量子化学基礎	246
文学b	72 ~ 75, 77	量子力学基礎	247
文化人類学	78	量子力学第1	247
文化人類学	78, 179	量子力学入門	247, 248
文化人類学	78, 179	理論経済学	205
分子生物学第1	243	倫理学	83 ~ 86
文章作法	256	倫理学	83 ~ 86
分析化学1	244	倫理学	84 ~ 86
分析化学基礎	244	倫理学a	86
分布系の数理	244	倫理学b	86
文明学説史	79	れ 歴史	86 ~ 93
文明学説史	79	歴史	86 ~ 93
へ ペルシア語 (初級)	291	歴史	86 ~ 93
ペルシア語 (中級)	291	ろ 論理学	93, 94
ほ 法学	79 ~ 83, 167, 177	論理学	93, 94
法学	79 ~ 83, 167	論理学	93, 94
法学	79 ~ 83, 167	論理学a	94
法学情報処理	175	論理学b	94
法制史	176	論理学序論	94
法制史	176	論理学本論	95
法制史	176		
簿記	159		
簿記a	159		

教員名

- あ 相沢 幸悦(アイザワ コウエツ) 250
 相磯 貞和(アイソ サダカズ) 44
 相吉英太郎(アイヨシ エイタロウ) 242
 青木 健一(アオキ ケンイチ) 21
 青木健一郎(アオキ ケンイチロウ) 69, 100, 156
 青木 淳一(アオキ ジュンイチ) 177
 青山藤詞郎(アオヤマ トウジロウ) 227, 234
 赤川 元章(アカガワ モトアキ) 194, 205
 赤木 完爾(アカギ カンジ) 181
 赤林 由雄(アカバヤシ ヨシオ) 149~152
 秋山 豊子(アキヤマ トヨコ) 38, 109
 秋山 裕(アキヤマ ユタカ) 100, 151, 152, 157
 阿久沢利明(アクザワ トシアキ) 175
 明田ゆかり(アケダ ユカリ) 44
 浅井 隆(アサイ タカシ) 173
 浅川 順子(アサカワ ジュンコ) 117
 朝倉 浩一(アサクラ コウイチ) 216, 241
 朝比奈 緑(アサヒナ ミドリ) 76, 117, 201, 206
 浅見 昇吾(アサミ ショウゴ) 127, 130
 浅見 雅一(アサミ マサカズ) 86
 麻生 良文(アソウ ヨシブミ) 179
 足立 修一(アダチ シュウイチ) 242
 足立 典子(アダチ ノリコ) 117
 厚地 淳(アツジ アツシ) 143, 155, 158
 阿南 友亮(アナミ ユウスケ) 32, 33, 184, 190
 阿部 祥人(アベ ヨシト) 137
 天野 隆弘(アマノ タカヒロ) 210
 天野 拓(アマノ タク) 187, 189
 天野 英晴(アマノ ヒデハル) 223, 234
 荒井 英輔(アライ エイスケ) 216
 荒金 直人(アラカネ ナオト) 18, 59
 有賀 誠(アリガ マコト) 13, 184
 有田 栄(アリタ サカエ) 4~5
 粟津 賢太(アワツ ケンタ) 22
 安藤 勝英(アンドウ カツヒデ) 267
 安藤 寿康(アンドウ ジュコウ) 68
 安藤 広道(アンドウ ヒロミチ) 87, 137
- い 李 宇諱(イ ウヨン) 262
 李 泰文(イ テムン) 142
 飯田 恭(イイダ タカシ) 152
 飯箸 泰宏(イイハシ ヤスヒロ) 201, 204
 井奥 成彦(イオク シゲヒコ) 87
 井垣 竹晴(イガキ タケハル) 141
 井口 達雄(イグチ タツオ) 211, 217, 229
 池田 薫(イケダ カオル) 143, 160
 池田 真朗(イケダ マサオ) 175
 池田 緑(イケダ ミドリ) 18
- 池田 康夫(イケダ ヤスオ) 44
 池田 幸弘(イケダ ユキヒロ) 153
 池原 雅章(イケハラ マサアキ) 217, 235
 石井 明(イシイ アキラ) 5, 6, 100
 石井 一平(イシイ イッペイ) 211, 212
 石井 達朗(イシイ タツロウ) 72
 石井 康史(イシイ ヤスシ) 64, 68, 83, 101
 石川 史郎(イシカワ シロウ) 210, 229
 石川 透(イシカワ トオル) 137
 石黒 仁揮(イシグロ ヒロキ) 130
 石多 正男(イシタ マサオ) 6
 石手 靖(イシデ ヤスシ) 260, 265, 275
 石橋 孝次(イシバシ コウジ) 153
 石原あえか(イシハラ アエカ) 124, 286
 石渡 哲(イシワタ サトシ) 79
 石渡 千草(イシワタ チグサ) 266
 磯部 哲(イソベ テツ) 178
 磯部 徹彦(イソベ テツヒコ) 213, 245
 井田 三夫(イダ ミツオ) 111
 板橋 勇仁(イタバシ ユウジン) 60
 市川 崇(イチカワ タカシ) 138
 出岡 直也(イツオカ ナオヤ) 83
 伊東 研祐(イトウ ケンスケ) 171
 伊藤 公平(イトウ コウヘイ) 237
 伊藤誠一郎(イトウ セイイチロウ) 153
 伊藤 正時(イトウ マサトキ) 213, 227
 伊藤 幹夫(イトウ ミキオ) 153, 159
 伊藤 行雄(イトウ ユキオ) 100
 井戸田総一郎(イトダ ソウイチロウ) 72
 稲田奈緒美(イナタ ナオミ) 24
 井上 逸兵(イノウエ イッペイ) 16, 17
 井上 一明(イノウエ カズアキ) 189, 190
 井上 京子(イノウエ キョウコ) 17, 78
 井上 秀成(イノウエ ヒデナリ) 245
 猪股 光夫(イノマタ ミツオ) 127
 今井 宏明(イマイ ヒロアキ) 245
 今泉 忠(イマイズミ タダシ) 160, 161
 今村 純子(イマムラ ジュンコ) 83, 84
 井本 正哉(イモト マサヤ) 19, 222, 225
 入野田義人(イリノダ ヨシンド) 117
 岩井 美好(イワイ ミヨシ) 84
 岩下 真好(イワシタ マサヨシ) 112
 岩谷 十郎(イワタニ ジュウロウ) 14, 176
 岩松研吉郎(イワマツ ケンキチロウ) 137
 岩見 隆(イワミ タカシ) 290, 291
 岩村 正史(イワムラ マサシ) 185, 190
- う 宇 振領(ウ シンリョウ) 45
 植田 利久(ウエダ トシヒサ) 238
 植田 史生(ウエダ フミオ) 260, 267, 268
 鵜崎 明彦(ウザキ アキヒコ) 52, 54, 285, 286
 宇沢 美子(ウザワ ヨシコ) 98

- 牛島 利明 (ウシジマ トシアキ) 124, 194, 205
 牛山 潤一 (ウシヤマ ジュンイチ) 268
 臼杵 陽 (ウスキ アキラ) 83
 内山 孝憲 (ウチャマ タカノリ) 235
 内山 太郎 (ウチャマ タロウ) 225, 237
 宇津木愛子 (ウツギ アイコ) 117
 内海 幸久 (ウツミ ユキヒサ) 156
 馬田 啓一 (ウマダ ケイイチ) 144
 梅垣 真祐 (ウメガキ シンスケ) 247
 梅澤 一夫 (ウメザワ カズオ) 231, 248
 梅田 聡 (ウメダ サトシ) 141
え 栄長 泰明 (エイナガ ヤスアキ) 17, 213
 エインジ, マイケル (エインジ マイケル) 24, 101
 江上 正 (エガミ タダシ) 234
 江藤 幹雄 (エトウ ミキオ) 212, 241
 遠藤 正寛 (エンドウ マサヒロ) 198, 201, 202, 206
お 笈川 博一 (オイカワ ヒロカズ) 292
 大石 毅 (オオイシ タケシ) 209
 大泉 郷子 (オオイズミ キョウコ) 12
 大串 尚代 (オオグシ ヒサヨ) 139
 大久保教宏 (オオクボ ノリヒロ) 49
 大坂 武男 (オオサカ タケオ) 226
 大沢 秀介 (オオサワ ヒデユキ) 177
 大路 樹生 (オオジ タツオ) 55
 太田 昭子 (オオタ アキコ) 49, 55, 112
 太田 克弘 (オオタ カツヒロ) 211, 230
 太田 博道 (オオタ ヒロミチ) 131, 231, 232
 大嶽 真人 (オオタケ マサト) 262
 大津 信行 (オオツ ノブユキ) 268
 大塚 宣夫 (オオツカ ノブオ) 210
 大槻 知明 (オオツキ トモアキ) 218
 大西 公平 (オオニシ コウヘイ) 225
 大西 瞳 (オオニシ ヒトミ) 127, 131
 大沼あゆみ (オオヌマ アユミ) 156
 大野 義夫 (オオノ ヨシオ) 214, 215, 284
 大場 茂 (オオバ シゲル) 9, 98
 大橋 良子 (オオハシ ヨシコ) 229, 242
 大畑 純一 (オオハタ ジュンイチ) 117
 大平 哲 (オオヒラ テツ) 153
 大前 和幸 (オオマエ カズユキ) 44
 大村 達弥 (オオムラ タツヤ) 144
 大村 亮 (オオムラ リョウ) 214
 大森 貴秀 (オオモリ タカヒデ) 164, 165
 大森 浩充 (オオモリ ヒロミツ) 219
 大森雄太郎 (オオモリ ユウタロウ) 87, 136
 大矢 玲子 (オオヤ レイコ) 118
 大山 耕輔 (オオヤマ コウスケ) 181, 182
 大和田俊之 (オオワダ トシユキ) 24, 49, 54
 岡 浩太郎 (オカ コウタロウ) 220, 230, 232, 239
 岡 伸浩 (オカ ノブヒロ) 173
 岡崎 哲郎 (オカザキ テツロウ) 179
 岡田あおい (オカダ アオイ) 18
 小湊 昭夫 (オガタ アキオ) 68, 101
 岡田 英史 (オカダ エイジ) 216, 218, 234, 236, 243
 岡田 光弘 (オカダ ミツヒロ) 94, 224
 岡田 有策 (オカダ ユウサク) 240
 岡野 栄之 (オカノ ヒデユキ) 44
 岡本 大輔 (オカモト ダイスケ) 195, 196, 198, 205
 小川 邦康 (オガワ クニヤス) 238
 小木曾啓示 (オギソ ケイジ) 143
 尾崎 裕之 (オザキ ヒロユキ) 153
 長田 進 (オサダ ススム) 58, 101
 長名 寛明 (オサナ ヒロアキ) 101, 153
 小山内州一 (オサナイ シュウイチ) 214
 小沢 慎治 (オザワ シンジ) 228, 236
 小澤 正典 (オザワ マサノリ) 221
 小田 芳彰 (オダ ヨシアキ) 221, 233
 尾高 暁子 (オダカ アキコ) 6
 小野 修三 (オノ シュウゾウ) 13, 14, 21, 22, 33, 118, 204
 小野 直樹 (オノ ナオキ) 33, 34, 190
 小野 裕剛 (オノ ヒロタケ) 38, 39, 109, 214
 小野 雅之 (オノ マサユキ) 20
 小原 實 (オバラ ミノル) 212
 小尾晋之介 (オビ シンノスケ) 224, 246
 表 實 (オモテ ミノル) 4, 69, 70, 115
 恩田 憲一 (オンダ ノリカズ) 165, 201, 204, 283
か 蔭山 宏 (カゲヤマ ヒロシ) 180, 185
 笠井 裕之 (カサイ ヒロユキ) 49, 50
 鹿島 晴雄 (カシマ ハルオ) 44
 鹿島 春雄 (カシマ ハルオ) 210
 霞 信彦 (カスミ ノブヒコ) 167, 176
 粕谷 祐子 (カスヤ ユウコ) 34, 181, 185, 190
 片山 直也 (カタヤマ ナオヤ) 171
 片山 靖 (カタヤマ ヤスシ) 241
 加地 直紀 (カチ ナオキ) 35, 185
 勝又 正浩 (カツマタ マサヒロ) 270
 桂田 昌紀 (カツラダ マサノリ) 143, 155
 加藤 幸司 (カトウ コウジ) 259, 264
 加藤 剛 (カトウ タケシ) 211
 加藤 久雄 (カトウ ヒサオ) 172
 加藤 大雄 (カトウ ヒロオ) 263
 加藤 浩子 (カトウ ヒロコ) 7
 加藤 大仁 (カトウ ヒロヒト) 260, 265
 加藤万里子 (カトウ マリコ) 64, 131, 248, 250
 金谷 信宏 (カナヤ ノブヒロ) 39, 110
 金子 隆司 (カネコ タカシ) 274
 金子 信久 (カネコ ノブヒサ) 65, 66
 金子 洋之 (カネコ ヒロユキ) 39, 40, 98, 214, 250
 金子 勝 (カネコ マサル) 157
 亀井源太郎 (カメイ ゲンタロウ) 178
 亀谷 幸生 (カメタニ ユキオ) 211, 215

- 加茂 省三(カモ ショウゾウ) 35
加茂 具樹(カモ トモキ) 285, 286
河井 啓希(カワイ ヒロキ) 151, 152, 157
河合 正朝(カワイ マサトモ) 66
川上新一郎(カワカミ シンイチロウ) 142
河上 裕(カワカミ ユタカ) 249
川口 春馬(カワグチ ハルマ) 225
川島 英之(カワシマ ヒデユキ) 243
川城 丈夫(カワシロ タケオ) 210
河田 幸視(カワダ ユキチカ) 102, 156
河内 恵子(カワチ ケイコ) 139
河内谷幸子(カワチャ サチコ) 201, 204, 283
川西 大介(カワニシ ダイスケ) 271
川端 美樹(カワバタ ミキ) 183, 185
川村 清(カワムラ キヨシ) 232, 247
川村 晃生(カワムラ テルオ) 137
河村 好彦(カワムラ ヨシヒコ) 79, 80
河原田有一(カワラダ ユウイチ) 80
神崎 忠昭(カンザキ タダアキ) 137
神成 文彦(カンナリ フミヒコ) 212
き 菊地 啓太(キクチ ケイタ) 267
菊池 秀悦(キクチ シュウエツ) 272
岸 由二(キシ ユウジ) 40, 41, 47, 102
岸田 和明(キシダ カズアキ) 141
来住野 究(キシノ キワム) 199
岸本 達也(キシモト タツヤ) 31, 222
喜田 浩平(キダ コウヘイ) 141
北居 功(キタイ イサオ) 171
北川 尚(キタガワ ヒサシ) 149, 150
北島 洋樹(キタジマ ヒロキ) 30
北村 洋基(キタムラ ヒロモト) 158
木塚 孝幸(キヅカ タカユキ) 265
吉川 肇子(キッカワ トシコ) 201, 206
木戸 一夫(キド カズオ) 202, 203, 204, 205
木下 亮(キノシタ アキラ) 66
木下 京子(キノシタ キョウコ) 19, 44, 131
木下 岳司(キノシタ タケシ) 225, 237
木原 弘行(キハラ ヒロユキ) 60
木俣 章(キマタ アキラ) 72
木村 彰男(キムラ アキオ) 210
木村 敏夫(キムラ トシオ) 241
木元 宏次(キモト ヒロツグ) 165
許 曼麗(キョ マンレイ) 57, 118
許 光俊(キョ ミツトシ) 112
桐本 東太(キリモト トウタ) 139
金田一真澄(キンダイチ マスミ) 131, 136
く 久我 俊二(クガ シュンジ) 113
串田 裕彦(クシダ ヒロヒコ) 93
鞠 重鎬(クック ジュンホ) 179
クナウプ, ハンス J(クナウプ, ハンス) 102
久保田真理(クボタ マリ) 208, 209
神代 光朗(クマシロ ミツオ) 154, 158
熊野谷葉子(クマノヤ ヨウコ) 127, 132
栗原 将人(クリハラ マサト) 212, 232
グレーヴァ香子(グレーヴァ タカコ) 153
黒川 行治(クロカワ ユキハル) 199, 205
黒沢 文貴(クロサワ フミタカ) 183, 186
こ 小坏 淳子(コアツク ジュンコ) 174
古池 達彦(コイケ タツヒコ) 243
河野 武司(コウノ タケシ) 35, 36, 186, 191
神崎勝一郎(コウザキ ショウイチロウ) 186
古賀 義顕(コガ ヨシアキ) 128, 132
国分 良成(コクブン リョウセイ) 182
小嶋 祥三(コジマ ショウゾウ) 26
児島やよい(コジマ ヤヨイ) 44
小菅 隼人(コスゲ ハヤト) 72, 73
小瀬村誠治(コセムラ セイジ) 9, 110
小谷 敏(コタニ サトシ) 22, 186
小林 潔(コバヤシ キヨシ) 128, 132
小林 邦夫(コバヤシ クニオ) 128, 132
小林 伸一(コバヤシ シンイチ) 178
小林 節(コバヤシ セツ) 167
小林 常利(コバヤシ ツネトシ) 208, 209
小林 正史(コバヤシ マサシ) 143
小林 良彰(コバヤシ ヨシアキ) 180
駒形 哲哉(コマガタ テツヤ) 158
小松 建三(コマツ ケンゾウ) 12, 211
小松 英海(コマツ ヒデミ) 29, 30
小松 光彦(コマツ ミツヒコ) 138
駒村 圭吾(コマムラ ケイゴ) 168
コミネツティ, フィリップ(コミネツティ, フィリップ) 118
小宮 繁(コミヤ シゲル) 128
小宮 英敏(コミヤ ヒデトシ) 115, 193, 202, 204, 205
小室 正紀(コムロ マサミチ) 14, 152, 154
小茂鳥 潤(コモトリ ジュン) 221, 226, 230
小屋 逸樹(コヤ イツキ) 16, 113
小安 重夫(コヤス シゲオ) 44
小山 剛(コヤマ ゴウ) 168
小山 正(コヤマ タダシ) 277
近藤 明彦(コンドウ アキヒコ) 259, 261, 269
近藤 光雄(コンドウ ミツオ) 24, 46
近藤 幸夫(コンドウ ユキオ) 17, 66, 128
今野 茂充(コンノ シゲミツ) 187, 189
さ 斎木 敏治(サイキ トシハル) 216
齋藤 郁夫(サイトウ イクオ) 259, 278
齋藤 英治(サイトウ エイジ) 242
齋藤 和夫(サイトウ カズオ) 170
齋藤 隆男(サイトウ タカオ) 273
齋藤 直樹(サイトウ ナオキ) 19
齋藤 英雄(サイトウ ヒデオ) 218
齋藤 博昭(サイトウ ヒロアキ) 225, 283
齋藤 文雄(サイトウ フミオ) 113

- 齊藤 通貴(サイトウ ミチタカ) 197, 205
 齋藤 幸夫(サイトウ ユキオ) 212
 斎藤 慶典(サイトウ ヨシミチ) 136
 酒井 良清(サカイ ヨシキヨ) 152
 榮谷 温子(サカエダニ ハルコ) 290
 榊 博文(サカキ ヒロフミ) 23
 榊原 康文(サカキバラ ヤスブミ) 215, 239
 坂口 尚史(サカグチ ナオフミ) 49
 坂口 博(サカグチ ヒロシ) 196
 坂倉 杏介(サクラキ キョウスケ) 129, 132
 坂田 幸子(サカタ サチコ) 141
 阪田 恭代(サカタ ヤスヨ) 183, 187
 坂本 邦彦(サカモト クニヒコ) 78
 櫻井 彰人(サクライ アキト) 233, 243
 櫻井 準也(サクライ ジュンヤ) 78
 桜本 光(サクラモト ヒカル) 193, 204
 佐古 彰史(サコ アキフミ) 143
 佐々木昭則(ササキ アキノリ) 93, 94
 佐々木孝浩(ササキ タカヒロ) 142
 佐々木玲子(ササキ レイコ) 259, 261, 269
 里 嘉千茂(サト カチシゲ) 56
 佐藤 孝雄(サトウ タカオ) 137
 佐藤 拓磨(サトウ タクマ) 80
 佐藤 徹哉(サトウ テツヤ) 251
 佐藤 智典(サトウ トモノリ) 231
 佐藤 望(サトウ ノゾミ) 7, 8, 124
 佐藤 春樹(サトウ ハルキ) 214, 227, 239
 佐藤 方宣(サトウ マサノブ) 154
 佐藤 道生(サトウ ミチオ) 20, 137, 142
 佐藤 元英(サトウ モトエイ) 88
 佐藤 元状(サトウ モトノリ) 285, 286
 佐藤 康廣(サトウ ヤスヒロ) 196, 198
 佐藤 和(サトウ ヤマト) 195, 196, 205
 佐藤 洋平(サトウ ヨウヘイ) 239
 里村 卓也(サトムラ タクヤ) 197, 205
 眞田 幸俊(サナダ ユキトシ) 215
 佐野 昭(サノ アキラ) 216, 230, 234
 佐谷真木人(サヤ マキト) 64, 83
 沢 孝一郎(サワ コウイチロウ) 237
 澤井 敦(サワイ アツシ) 177
 沢田 次郎(サワダ ジロウ) 36, 186, 191
 澤田 達男(サワダ タツオ) 216, 246
 三瓶 慎一(サンベ シンイチ) 51
し 椎木 一夫(シイキ カズオ) 248
 シェイ, デイビット(シェイ, デイビット) 125
 塩澤 修平(シオザワ シュウヘイ) 152
 塩澤 寛樹(シオザワ ヒロキ) 66
 鹿園 直建(シカゾノ ナオタツ) 56, 220
 識名 章喜(シキナ アキヨシ) 119
 重野 寛(シゲノ ヒロシ) 225, 234
 篠崎 信雄(シノザキ ノブオ) 220, 221, 238
 篠沢 佳久(シノザワ ヨシヒサ) 214
 篠原しげ子(シノハラ シゲコ) 269
 柴田 里程(シバタ リテイ) 231
 嶋尾 稔(シマオ ミノル) 290, 291
 島田桂太郎(シマダ ケイタロウ) 268
 島田 晴雄(シマダ ハルオ) 102, 144
 清水 邦夫(シミズ クニオ) 211
 清水 啓助(シミズ ケイスケ) 293
 清水 健一(シミズ ケンイチ) 9, 10, 156
 清水 静代(シミズ シズヨ) 269
 清水 透(シミズ トオル) 83
 志村 正(シムラ タダシ) 10, 20, 110
 霜野 寿亮(シモノ トシアキ) 177
 下村 俊(シモムラ シュン) 211, 220, 229
 下村 晋(シモムラ ススム) 229
 下村 裕(シモムラ ユタカ) 70
 首藤 聡史(シュトウ サトシ) 275
 鄭 潤澈(ジュン ヨンチョル) 197, 198, 205
 白井 義昌(シライ ヨシマサ) 152
 白崎 容子(シラサキ ヨウコ) 142
 白鳥 世明(シラトリ セイメイ) 218
 白旗 優(シラハタ マサル) 115, 193, 202, 204, 206
 新保 一成(シンボ カズシゲ) 193, 203 ~ 205
 神保 剛(ジンボ タケシ) 119
す 水津 太郎(スイズ タロウ) 81
 末松 誠(スエマツ マコト) 44, 210
 末吉 雄二(スエヨシ ユウジ) 67
 須貝 威(スガイ タケシ) 213
 菅野 智巳(スガノ サトシ) 174, 175
 菅野理樹夫(スガノ リキオ) 28
 菅谷 実(スガヤ ミノル) 256
 菅原 昭博(スガワラ アキヒロ) 193, 202, 204
 菅原万里子(スガワラ マリコ) 175
 杉浦 壽彦(スギウラ トシヒコ) 212, 221
 杉浦 章介(スギウラ ノリユキ) 24
 杉田 敦(スギタ アツシ) 4
 杉村 浩哉(スギムラ ヒロヤ) 67
 杉本 剛(スギモト タケシ) 70
 杉山 伸也(スギヤマ シンヤ) 152
 鈴木恵美子(スズキ エミコ) 51
 鈴木 孝治(スズキ コウジ) 221, 244
 鈴木左斗志(スズキ サトシ) 172
 鈴木 順二(スズキ ジュンジ) 64, 119
 鈴木 伸一(スズキ シンイチ) 47, 73
 鈴木 忠(スズキ タダシ) 209
 鈴木 達夫(スズキ タツオ) 143
 鈴木 恒男(スズキ ツネオ) 29
 鈴木 透(スズキ トオル) 24, 51, 53, 83
 鈴木秀五郎(スズキ ヒデゴロウ) 267
 鈴木 由紀(スズキ ユキ) 207
 須田 伸一(スダ シンイチ) 153

- 須田 芳正(スダ ヨシマサ) 260, 262
 鷺見 全弘(スミ マサヒロ) 273
 鷺見 洋一(スミ ヨウイチ) 73, 74
せ 瀬川 清(セガワ キヨシ) 201, 204
 関 喜房(セキ ヨシフサ) 291
 関根 政美(セキネ マサミ) 186
 関場 武(セキバ タケシ) 68, 137, 141, 142
 瀬古 美喜(セコ ミキ) 152
 仙名 保(センナ マモル) 244
そ 宗宮 詮(ソウミヤ サトシ) 226
 曾我 重司(ソガ シゲジ) 27
た 平館 英子(タイラダテ エイコ) 74
 高井 啓介(タカイ ケイスケ) 292
 高久 隆太(タカク リュウタ) 159, 204
 高桑 和巳(タカクワ カズミ) 17, 18, 129, 133
 高田 京子(タカタ キョウコ) 196, 199
 高田 眞吾(タカダ シンゴ) 214
 高野 宏(タカノ ヒロシ) 212, 243, 247
 鷹野 宏行(タカノ ヒロユキ) 196, 199
 高橋 郁夫(タカハシ イクオ) 200
 高橋 勇(タカハシ イサム) 139
 高橋 邦弘(タカハシ クニヒロ) 226
 高橋 智(タカハシ サトシ) 142
 高橋 信一(タカハシ シンイチ) 216, 240
 高橋 伸夫(タカハシ ノブオ) 181
 高橋 信裕(タカハシ ノブヒロ) 141
 高橋 宣也(タカハシ ノブヤ) 74
 高橋 則夫(タカハシ ノリオ) 173
 高橋 正樹(タカハシ マサキ) 214, 242
 高嶺 隆二(タカミネ リュウジ) 260, 270, 271
 高山 晶(タカヤマ アキ) 119
 高山 博(タカヤマ ヒロシ) 31, 98, 99, 136
 高山 緑(タカヤマ ミドリ) 249
 瀧本佳容子(タキモト カヨコ) 64, 125
 竹内寿一郎(タケウチ ジュイチロウ) 220
 竹内 勤(タケウチ ツトム) 44
 竹下 彬(タケシタ アキラ) 207
 竹村りょうこ(タケムラ リョウコ) 263, 264
 竹森 俊平(タケモリ シュンペイ) 144, 250
 武山 政直(タケヤマ マサナオ) 156
 田子山和歌子(タゴヤマ ワカコ) 60, 61
 田島 圭介(タジマ ケイスケ) 238
 田代 真(タシロ マコト) 64
 只野 金一(タダノ キンイチ) 245
 田中 孝明(タナカ タカアキ) 220, 233
 田中 辰雄(タナカ タツオ) 157
 田中 敏幸(タナカ トシユキ) 242
 田中由美子(タナカ ユミコ) 268
 田辺 秋守(タナベ シュウジ) 18
 谷 温之(タニ アツシ) 211
 谷 寿美(タニ スミ) 138
 谷口 和弘(タニグチ カズヒロ) 195, 196, 205
 谷口こゆき(タニグチ コユキ) 264
 谷下 一夫(タニシタ カズオ) 239
 種村 和史(タネムラ カズフミ) 11, 83, 120
 田上 雅徳(タノウエ マサナル) 180
 玉井 清(タマイ キヨシ) 181, 182, 188, 189
 玉田 康成(タマダ ヤスナリ) 153
 田村 明久(タムラ アキヒサ) 211, 228, 230
 田村 俊作(タムラ シュンサク) 141, 142
 田村 高幸(タムラ タカユキ) 203, 204
 田村 要造(タムラ ヨウゾウ) 211
 樽井 正義(タルイ マサヨシ) 14, 210
 段 瑞聡(ダン ズイソウ) 57, 120
ち 中条 潮(チュウジョウ ウシオ) 126
 崔 在東(チェ ゼドン) 103, 152
 千田 大介(チダ ダイスケ) 46, 103
 千田 憲孝(チダ ノリタカ) 213
つ 月村 繁雄(ツキムラ シゲオ) 275
 柘植 尚則(ツゲ ヒサノリ) 84, 85
 辻 幸夫(ツジ ユキオ) 113, 114
 辻岡三南子(ツジオカ ミナコ) 259
 津田 裕之(ツダ ヒロユキ) 235, 236
 蔦木 能雄(ツタキ ノリオ) 103, 154
 土田龍太郎(ツチダ リュウタロウ) 290
 土屋 博政(ツチヤ ヒロマサ) 103
 堤 康徳(ツツミ ヤスノリ) 74
 堤林 剣(ツツミバヤシ ケン) 184, 191
 坪田 幸政(ツボタ ユキマサ) 56, 57
 津谷 典子(ツヤ ノリコ) 104
て 手島智佳子(テシマ チカコ) 263
 手島 玲子(テシマ レイコ) 16
 寺岡 文男(テラオカ フミオ) 243
 寺坂 宏一(テラサカ コウイチ) 217
 寺澤 行忠(テラサワ ユキタダ) 74, 75, 104
と 土居 洋平(トイ ヨウヘイ) 23
 十重田裕一(トエダ ヒロカズ) 75
 遠山 公一(トオヤマ コウイチ) 137
 遠山 朋子(トオヤマ トモコ) 165
 徳岡 直静(トクオカ ナオチカ) 224
 戸瀬 信之(トセ ノブユキ) 143, 161
 トビン, ロバート(トビン, ロバート) 120
 富田 章(トミタ アキラ) 68
 富田 広土(トミタ ヒロシ) 191
 富田 豊(トミタ ユタカ) 226, 232, 239, 246
 友部 謙一(トモベ ケンイチ) 104, 152
な 内藤 恵(ナイトウ メグミ) 177
 長井 孝紀(ナガイ タカトシ) 209, 210, 214
 長沖 暁子(ナガオキ サトコ) 20, 31, 41, 105
 中川 純男(ナカガワ スミオ) 61
 中川 正雄(ナカガワ マサオ) 228
 長坂 雄次(ナガサカ ユウジ) 239

- 中澤 和夫(ナカザワ カズオ) 242
 中澤 英夫(ナカザワ ヒデオ) 209
 中嶋 敦(ナカジマ アツシ) 213, 219, 220
 中島 圭一(ナカジマ ケイイチ) 88
 中島 隆信(ナカジマ タカノブ) 200, 201, 205, 206
 中島 陽子(ナカジマ ヨウコ) 41, 42, 214, 286
 仲田 均(ナカダ ヒトシ) 211
 中田 雅也(ナカタ マサヤ) 213
 中妻 照雄(ナカツマ テルオ) 151, 152
 中西はるみ(ナカニシ ハルミ) 214
 中野 紀和(ナカノ キワ) 179
 中野 忠(ナカノ タダシ) 152
 中野 誠彦(ナカノ ノブヒコ) 243
 中野 文平(ナカノ ブンペイ) 162, 163
 中野 泰志(ナカノ ヤスシ) 27, 28, 104
 中丸 宣明(ナカマル ノブアキ) 75
 永見 尊(ナガミ タカシ) 196, 199
 中村 公則(ナカムラ キミノリ) 89
 中村 公博(ナカムラ キミヒロ) 61
 中村 慎助(ナカムラ シンスケ) 153
 中村真理子(ナカムラ マリコ) 249
 中村 義春(ナカムラ ヨシハル) 214
 中山 和久(ナカヤマ カズヒサ) 22
 中山 幹夫(ナカヤマ ミキオ) 156
 流矢 大士(ナガレヤ ヒロシ) 174
 名倉 正剛(ナクラ マサタカ) 141
 成田 和信(ナリタ カズノブ) 85, 120, 201, 206
 南里清一郎(ナンリ セイイチロウ) 278
- に** 西 宏章(ニシ ヒロアキ) 223, 242
 西尾 修(ニシオ オサム) 75, 105
 西岡久美子(ニシオカ クミコ) 143, 155, 158
 西川 正二(ニシカワ ショウジ) 121
 西川 尚生(ニシカワ ヒサオ) 139
 西川 僚介(ニシカワ リョウスケ) 76, 121
 西澤 直子(ニシザワ ナオコ) 14
 西野 純也(ニシノ ジュンヤ) 188, 189
 西村 忍(ニシムラ シノブ) 261, 262, 269
 西村多美子(ニシムラ タミコ) 16
 西山 繁(ニシヤマ シゲル) 214
 西山千恵子(ニシヤマ チエコ) 31
 新田 宗土(ニッタ ムネト) 71, 124
 二瓶 栄輔(ニヘイ エイスケ) 133
- ね** 根岸宗一郎(ネギシ ソウイチロウ) 64, 106
 鼠屋 将志(ネズミヤ マサシ) 165
- の** 野口 和行(ノグチ カズユキ) 259, 261, 265, 272, 276
 野口 建彦(ノグチ タケヒコ) 15
 野口 裕久(ノグチ ヒロヒサ) 225, 246
 野寺 隆(ノデラ タカシ) 222
 延近 充(ノブチカ ミツル) 106, 158
 昇 亜美子(ノボリ アミコ) 188, 189
 野村 伸一(ノムラ シンイチ) 99, 141, 142, 291
- は** 萩原 滋(ハギワラ シゲル) 23
 萩原 眞一(ハギワラ シンイチ) 129
 萩原 将文(ハギワラ マサフミ) 214
 萩原 能久(ハギワラ ヨシヒサ) 180, 187
 橋本 順一(ハシモト ジュンイチ) 121
 蓮池敬一郎(ハスイケ ケイイチロウ) 272
 蓮実 潔(ハスミ キヨシ) 256
 長谷 公隆(ハセ キミタカ) 210
 長谷川由利子(ハセガワ ユリコ) 42, 116
 長谷部浩二(ハセベ コウジ) 94
 長谷部史彦(ハセベ フミヒコ) 89, 142
 羽田 功(ハダ イサオ) 83
 秦 順一(ハタ ジュンイチ) 44
 羽田野洋子(ハタノ ヨウコ) 129
 畑山 明聖(ハタヤマ アキヨシ) 218, 237
 八森 祥隆(ハチモリ ヨシタカ) 211, 227
 花房 博文(ハナフサ ヒロフミ) 170
 英 知明(ハナブサ トモアキ) 125
 浜 日出夫(ハマ ヒデオ) 139
 濱岡 豊(ハマオカ ユタカ) 200
 浜田 望(ハマダ ノゾム) 219
 濱名 邦雄(ハマナ クニオ) 262
 浜野 明子(ハマノ アキコ) 209
 浜村 寿紀(ハナムラ ヒサノリ) 256
 林 栄美子(ハヤシ エミコ) 68, 106
 早見 均(ハヤミ ヒトシ) 193, 204, 205
 原田 隆史(ハラダ タカシ) 140, 141, 175
 針谷 寛(ハリガヤ ヒロシ) 14
 ハンリー, マシュー(ハンリー, マシュー) 126
- ひ** 光 道隆(ヒカリ ミチタカ) 143, 144
 樋口 美雄(ヒグチ ヨシオ) 200, 205
 日向 裕幸(ヒユウガ ヒロユキ) 212
 平井 克英(ヒライ カツヒデ) 264
 平島 碩(ヒラシマ ヒロシ) 213
 平田栄一朗(ヒラタ エイチロウ) 138, 141
 平田 光司(ヒラタ コウジ) 248
 平野 隆(ヒラノ タカシ) 14, 194, 205
 平野 裕之(ヒラノ ヒロユキ) 169
 平林 正司(ヒラバヤシ マサジ) 89, 90
 平林 義彰(ヒラバヤシ ヨシアキ) 130, 133
 比留川 彰(ヒルカワ アキラ) 106
 広瀬 信義(ヒロセ ノブヨシ) 210
 広田すみれ(ヒロタ スミレ) 164
- ふ** フォーグル, ヴァルター(フォーグル, ヴァルター) 121
 深澤はるか(フカザワ ハルカ) 121
 福川 忠昭(フクカワ タダアキ) 222
 福澤 利彦(フクザワ トシヒコ) 42, 43, 116
 福田 敦史(フクダ アツシ) 61, 62
 福田 真実(フクダ マミ) 29
 福田礼次郎(フクダ レイジロウ) 212, 219, 247
 福田 弥(フクダ ワタル) 8

- 福山 欣司(フクヤマ キンジ) 43, 106, 156
 藤井 飛光(フジイ ヒカリ) 242
 藤川 千歳(フジカワ チトセ) 23
 藤崎 康(フジサキ コウ) 68
 藤田 祥子(フジタ サチコ) 81
 藤田 康範(フジタ ヤスノリ) 107
 藤田 祐幸(フジタ ユウコウ) 10, 11, 21, 110
 藤谷 洋平(フジタニ ヨウヘイ) 238
 藤平 信一(フジヒラ シンイチ) 267
 伏見 岳志(フシミ タケシ) 83, 90, 122, 285, 286
 藤村 光(フジムラ コウ) 283
 藤原 茂樹(フジワラ シゲキ) 137
 藤原 忍(フジワラ シノブ) 241
 藤原淳一郎(フジワラ ジュンイチロウ) 167
 二見 千尋(フタミ チヒロ) 85
 船越 正太(フナコシ ショウタ) 143
 古田 和子(フルタ カズコ) 152
 古野 泰二(フルノ タイジ) 207, 209
 不破 有理(フワ ユリ) 107
ほ 星 元紀(ホシ モトノリ) 214, 222
 星野 慎吾(ホシノ シンゴ) 94, 95
 星野 嶽男(ホシノ タケオ) 63
 星野 晴彦(ホシノ ハルヒコ) 210
 細川 達己(ホソカワ タツミ) 151
 細田 衛士(ホソダ エイジ) 156
 細田 壮一(ホソダ ソウイチ) 274
 細谷 雄一(ホソヤ ユウイチ) 36, 183, 192
 堀江 聡(ホリエ サトシ) 62
 ポンシー, ライト(ポンシー, ライト) 291
 本田 郁二(ホンダ イクジ) 240
 本田 耕一(ホンダ コウイチ) 81, 195, 205
 本多 敏(ホンダ サトシ) 224, 244
 本谷 裕子(ホンヤ ユウコ) 53, 55
ま 真家 和生(マイエ カズオ) 32
 前島 和也(マエジマ カズヤ) 16
 前島 信(マエジマ マコト) 211
 前田 淳(マエダ ジュン) 201, 206
 前田 吉昭(マエダ ヨシアキ) 211, 233
 真壁 利明(マカベ トシアキ) 217
 牧 厚志(マキ アツシ) 193, 204
 マクリン・ニール B(マクリン・ニール) 114
 増田早哉子(マスダ サヤコ) 30
 増田 直衛(マスダ ナオエ) 26, 210
 増田 靖(マスダ ヤスシ) 220, 228
 増山 幹高(マスママ ミキタカ) 37
 町田 一(マチダ ハジメ) 62, 63
 松尾亜紀子(マツオ アキコ) 216, 246
 松尾 弘(マツオ ヒロシ) 169, 170, 195, 205
 松岡 勝男(マツオカ カツオ) 32, 164
 松崎 欣一(マツザキ キンイチ) 14
 松田 隆美(マツダ タカミ) 139, 142
 松田 雅之(マツダ マサユキ) 264, 270, 271
 松永 賢次(マツナガ ケンジ) 166
 松原 彰子(マツバラ アキコ) 58, 107, 156
 松村 高夫(マツムラ タカオ) 44, 152
 松村 友視(マツムラ トモミ) 137
 松村 宏(マツムラ ヒロシ) 14, 79, 124
 松本健太郎(マツモト ケンタロウ) 263
 松本 俊之(マツモト トシユキ) 215
 松本 典久(マツモト ノリヒサ) 91
 松本 緑(マツモト ミドリ) 214, 230, 250
 松本 佳宣(マツモト ヨシノリ) 218
 松山 保幸(マツヤマ ヤスユキ) 270
 丸 誠一郎(マル セイイチロウ) 273
 丸山 徹(マルヤマ トオル) 153, 155
 丸山 文綱(マルヤマ フミツナ) 149, 150
み 美浦 隆(ミウラ タカシ) 213
 三上 直光(ミカミ ナオミツ) 291, 292
 三木 則尚(ミキ ノリヒサ) 221
 水嶋 一雄(ミズシマ カズオ) 58
 三田 彰(ミタ アキラ) 214, 227
 三井 隆久(ミツイ タカヒサ) 208, 209
 三井 正明(ミツイ マサアキ) 220
 光武垂代理(ミツタケ アヨリ) 241
 水戸 克典(ミト カツノリ) 64
 南谷 晴之(ミナミタニ ハルユキ) 224, 235
 三根 慎二(ミネ シンジ) 141
 三船 毅(ミフネ タケシ) 37, 166, 187, 192
 宮内 環(ミヤウチ タマキ) 151, 152
 宮坂 敬造(ミヤサカ ケイゾウ) 140
 宮崎 琢也(ミヤザキ タクヤ) 211, 233, 240
 宮崎 直哉(ミヤザキ ナオヤ) 143, 155
 宮崎 洋(ミヤザキ ヒロシ) 91
 宮下 照夫(ミヤシタ テルオ) 236
 宮島 英紀(ミヤジマ ヒデキ) 237
 宮瀧 交二(ミヤタキ コウジ) 59
 宮地 忠幸(ミヤチ タダユキ) 59
 宮本 忠(ミヤモト タダシ) 141
む 武川 幸嗣(ムカワ コウジ) 170, 178
 武藤 功(ムトウ イサオ) 14
 武藤 浩史(ムトウ ヒロシ) 24, 51, 55, 76, 285, 286
 武藤 康史(ムトウ ヤスシ) 142
 村上 周三(ムラカミ シュウゾウ) 226
 村上 俊之(ムラカミ トシユキ) 226, 237
 村上 康代(ムラカミ ヤスヨ) 133
 村越貴代美(ムラコシ キヨミ) 108
 村田 真(ムラタ マコト) 19
 村松 弘一(ムラマツ コウイチ) 91, 92
 村松 憲(ムラマツ タダシ) 261, 263
 村松 太郎(ムラマツ タロウ) 210
 村山 達也(ムラヤマ タツヤ) 86

- 村山 光義(ムラヤマ ミツヨシ) 259, 261, 265, 266, 272, 285, 286
- 室田 憲司(ムロタ ケンジ) 63
- も** 孟 若燕(モウ ジャクエン) 122
- 望月 要(モチヅキ カナメ) 26, 27
- 望月 康司(モチヅキ コウジ) 266
- 森 英樹(モリ ヒデキ) 77, 251
- 森 庸(モリ ヤスシ) 86
- 森 正明(モリ マサアキ) 259
- 森 雅夫(モリ マサオ) 218, 221
- 森 康彦(モリ ヤスヒコ) 238
- 森田 寿郎(モリタ トシオ) 221
- 森山 剛(モリヤマ ツヨシ) 141
- 森吉 直子(モリヨシ ナオコ) 122, 201, 206
- 森吉 仁志(モリヨシ ヒトシ) 211
- や** 八木 章好(ヤギ アキヨシ) 138
- 八木 輝明(ヤギ テルアキ) 77
- 矢向 高弘(ヤコウ タカヒロ) 223, 242
- 矢澤 達宏(ヤザワ タツヒロ) 51
- 八嶋由香利(ヤシマ ユカリ) 45, 83
- 八代 充史(ヤシロ アツシ) 198, 206
- 安井 伸(ヤスイ シン) 83, 122
- 泰岡 顕治(ヤスオカ ケンジ) 212, 223
- 安田 公美(ヤスダ クミ) 116, 193, 202, 204, 206
- 安田 淳(ヤスダ ジュン) 52, 53
- 安松 幹展(ヤスマツ ミキノブ) 262
- 柳川 弘志(ヤナガワ ヒロシ) 43, 243
- 柳沢 遊(ヤナギサワ アソブ) 108, 152, 157
- 柳田 利夫(ヤナギダ トシオ) 19, 137
- 矢野 久(ヤノ ヒサシ) 44, 152
- 矢野 誠(ヤノ マコト) 153
- 矢野 裕子(ヤノ ユウコ) 193, 204
- 藪下 聡(ヤブシタ サトシ) 213, 231, 246
- 山内 賢(ヤマウチ ケン) 261, 265, 266, 268
- 山内 憲一(ヤマウチ ケンイチ) 162, 163
- 山岸 敬幸(ヤマギシ ヒロユキ) 210
- 山口 高平(ヤマグチ コウヘイ) 215
- 山崎 達也(ヤマザキ タツヤ) 63
- 山崎 信寿(ヤマザキ ノブトシ) 130, 221
- 山崎 信行(ヤマサキ ノブユキ) 223, 243
- 山下 輝彦(ヤマシタ テルヒコ) 141
- 山下 久直(ヤマシタ ヒサナオ) 236
- 山田 太門(ヤマダ タモン) 153
- 山田 徹(ヤマダ トオル) 213, 239, 245
- 山田 恒(ヤマダ ヒサシ) 50, 52
- 山田美枝子(ヤマダ ミエコ) 82
- 山田美絵子(ヤマダ ミエコ) 266
- 山中 直明(ヤマナカ ナオアキ) 223
- 山梨 あや(ヤマナシ アヤ) 12
- 山村 貴映(ヤマムラ タカオ) 266
- 山本 勲(ヤマモト イサム) 200, 205
- 山本 賀代(ヤマモト カヨ) 108
- 山元 公寿(ヤマモト キミヒサ) 213, 227, 240
- 山本 淳一(ヤマモト ジュンイチ) 141
- 山本 信人(ヤマモト ノブト) 182, 192
- 山本 正身(ヤマモト マサミ) 140
- 山本 喜一(ヤマモト ヨシカズ) 201, 204, 214, 243
- ヤマンラール, アイドウン(ヤマンラール, アイドウン) 291
- ゆ** 湯浅 吉美(ユアサ ヨシミ) 92
- 由木 義文(ユウキ ヨシフミ) 24
- 湯川 武(ユカワ タケシ) 92, 93, 123, 285, 286
- 柚木 克之(ユギ カツユキ) 214
- 弓削 隆一(ユゲ リュウイチ) 94
- 尹 仁河(ユン インハ) 82, 178
- よ** 横井 康平(ヨコイ コウヘイ) 217
- 横田 絵理(ヨコタ エリ) 199
- 横山 千晶(ヨコヤマ チアキ) 54, 55, 285, 286
- 横山和加子(ヨコヤマ ワカコ) 83, 123
- 吉岡 完治(ヨシオカ カンジ) 193, 205
- 吉岡 忠昭(ヨシオカ タダアキ) 15
- 吉岡 直樹(ヨシオカ ナオキ) 213, 217
- 吉舖 紀子(ヨシキ ノリコ) 166, 201, 204
- 吉澤 徴(ヨシザワ アキラ) 71
- 吉田 和夫(ヨシダ カズオ) 246
- 吉田 武(ヨシダ タケシ) 264
- 吉田 友子(ヨシダ トモコ) 123
- 吉田 久男(ヨシダ ヒサオ) 276
- 吉田 泰将(ヨシダ ヤスマサ) 259, 260, 267
- 頼松 瑞生(ヨリマツ タマオ) 83
- り** 李 精(リ セイ) 159, 204
- 林 秀光(リン シュウコウ) 50, 53
- れ** レイサイド・ジェイムス(レイサイド・ジェイムス) 77
- わ** 和井内由充子(ワイナイ ユミコ) 259
- 綿田 博人(ワタダ ヒロヒト) 260, 266, 270
- 渡邊 千秋(ワタナベ チアキ) 50
- 渡辺 秀樹(ワタナベ ヒデキ) 139
- 渡部 睦夫(ワタベ ムツオ) 116, 193, 203, 204, 205, 206